

# 中郷遺跡(2)

—旧石器・縄文時代編—

一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その2)報告書 第8集

第2分冊 土器編

2010

国 土 交 通 省  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

な か ご う  
中 郷 遺 跡 ( 2 )

— 旧石器・縄文時代編 —

一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書 第8集

第2分冊 土器編

2010

国 土 交 通 省  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

## 凡 例

1 本報告書は3分冊構成とし、第1分冊：本文道構編、第2分冊：土器編、第3分冊：石器編とした。  
本書は第2分冊：土器編である。

### 2 図中凡例

- スケール：1/4を基本とし、小型品の場合は1/2等の異なるスケールを用いており、  
( )内に縮尺を表記した。

- 図中網掛け  : 赤色塗彩

・断面図中の●は繊維含む記号である。

### 3 観察表

- 計測値欄：単位はcm。①は口径、②は高さ、③は底径とする。斜体数値は推定値である。
- 出土位置：住居中央を中心とする。また数値は床面又は底面からの高さである。
- 色調は農林水産省農林水産技術会議事務局監修の財団法人日本色彩研究所色票監修の「新版標準土色帖」1998年版を参照した。

## 挿 図 目 次

第1図	2区1号住居出土土器	1	第36図	11区1号住居出土土器(1)	27
第2図	3区出土土器	1	第37図	11区1号住居出土土器(2)	28
第3図	4区出土土器	2	第38図	11区1号住居出土土器(3)	29
第4図	7区出土土器	2	第39図	11区1号住居出土土器(4)	30
第5図	8区1号住居出土土器(1)	2	第40図	11区1号住居出土土器(5)	31
第6図	8区1号住居出土土器(2)	3	第41図	11区2号住居出土土器(1)	31
第7図	8区2号住居出土土器(1)	3	第42図	11区2号住居出土土器(2)	32
第8図	8区2号住居出土土器(2)	4	第43図	11区2号住居出土土器(3)	33
第9図	8区2号住居出土土器(3)	5	第44図	11区2号住居出土土器(4)	34
第10図	8区3号住居出土土器(1)	6	第45図	11区2号住居出土土器(5)	35
第11図	8区3号住居出土土器(2)	7	第46図	11区3号住居出土土器	35
第12図	8区4号住居出土土器	8	第47図	11区4号住居出土土器	36
第13図	8区5号住居出土土器(1)	8	第48図	11区5号住居出土土器(1)	37
第14図	8区5号住居出土土器(2)	9	第49図	11区5号住居出土土器(2)	38
第15図	8区6号住居出土土器	10	第50図	11区5号住居出土土器(3)	39
第16図	8区7号住居出土土器(1)	10	第51図	11区6号住居出土土器	40
第17図	8区7号住居出土土器(2)	11	第52図	11区7号住居出土土器(1)	41
第18図	8区7号住居出土土器(3)	12	第53図	11区7号住居出土土器(2)	42
第19図	8区8号住居出土土器	13	第54図	11区8号住居出土土器	42
第20図	8区土坑出土土器(1)	13	第55図	11区9号住居出土土器	43
第21図	8区土坑出土土器(2)	14	第56図	11区10号住居出土土器(1)	43
第22図	8区ビット出土土器	14	第57図	11区10号住居出土土器(2)	44
第23図	8区道構外出土土器(1)	15	第58図	11区10号住居出土土器(3)	45
第24図	8区道構外出土土器(2)	16	第59図	11区11号住居出土土器(1)	45
第25図	8区道構外出土土器(3)	17	第60図	11区11号住居出土土器(2)	46
第26図	8区道構外出土土器(4)	18	第61図	11区11号住居出土土器(3)	47
第27図	9区1号住居出土土器	18	第62図	11区12号住居出土土器(1)	48
第28図	9区2号住居出土土器	19	第63図	11区12号住居出土土器(2)	49
第29図	9区土坑出土土器(1)	20	第64図	11区13号住居出土土器(1)	49
第30図	9区土坑出土土器(2)	21	第65図	11区13号住居出土土器(2)	50
第31図	9区土坑(3)・配石出土土器	22	第66図	11区13号住居出土土器(3)	51
第32図	9区47号土坑出土土器	23	第67図	11区14号住居出土土器(1)	52
第33図	9区道構外出土土器(1)	24	第68図	11区14号住居出土土器(2)	53
第34図	9区道構外出土土器(2)	25	第69図	11区14号住居出土土器(3)	54
第35図	9区道構外出土土器(3)	26	第70図	11区15号住居出土土器	54

第71图	11区 16号住居出土土器 (1)	54
第72图	11区 16号住居出土土器 (2)	55
第73图	11区 18号住居出土土器	56
第74图	11区 19号住居出土土器 (1)	56
第75图	11区 19号住居出土土器 (2)	57
第76图	11区 21号住居出土土器 (1)	57
第77图	11区 21号住居出土土器 (2)	58
第78图	11区 22号住居出土土器	59
第79图	11区 23号住居出土土器	59
第80图	11区 24号住居出土土器 (1)	59
第81图	11区 24号住居出土土器 (2)	60
第82图	11区 24号住居出土土器 (3)	61
第83图	11区 24号住居出土土器 (4)	62
第84图	11区 24号住居出土土器 (5)	63
第85图	11区 25号住居出土土器	64
第86图	11区 26号住居出土土器	65
第87图	11区 27号住居出土土器	65
第88图	11区 28号住居出土土器	66
第89图	11区 29号住居出土土器	67
第90图	11区 30号住居出土土器	67
第91图	11区 31号住居出土土器	67
第92图	11区 32号住居出土土器 (1)	68
第93图	11区 32号住居出土土器 (2)	69
第94图	11区 33号住居出土土器	70
第95图	11区 35号住居出土土器	71
第96图	11区 36号住居出土土器	71
第97图	11区 37号住居出土土器 (1)	71
第98图	11区 37号住居出土土器 (2)	72
第99图	11区 37号住居出土土器 (3)	73
第100图	11区 37号住居出土土器 (4)	74
第101图	11区 38号住居出土土器	74
第102图	11区 39号住居出土土器	75
第103图	11区 40号住居出土土器	76
第104图	11区 41号住居出土土器	77
第105图	11区 42号住居出土土器	77
第106图	11区 43号住居出土土器	78
第107图	11区 45号住居出土土器 (1)	78
第108图	11区 45号住居出土土器 (2)	79
第109图	11区 46号住居出土土器	80
第110图	11区 47号住居出土土器	80
第111图	11区 49号住居出土土器 (1)	80
第112图	11区 49号住居出土土器 (2)	81
第113图	11区 50号住居出土土器	82
第114图	11区 51号住居出土土器 (1)	82
第115图	11区 51号住居出土土器 (2)	83
第116图	11区 51号住居出土土器 (3)	84
第117图	11区 51号住居出土土器 (4)	85
第118图	11区 51号住居出土土器 (5)	86
第119图	11区 52号住居出土土器	87
第120图	11区 53号住居出土土器	87
第121图	11区 54号住居出土土器	88
第122图	11区 55号住居出土土器	88
第123图	11区 56号住居出土土器	88
第124图	11区 土坑出土土器 (1)	89
第125图	11区 土坑出土土器 (2)	90
第126图	11区 土坑出土土器 (3)	91
第127图	11区 土坑出土土器 (4)	92
第128图	11区 土坑出土土器 (5)	93
第129图	11区 土坑出土土器 (6)	94
第130图	11区 土坑出土土器 (7)	95
第131图	11区 土坑出土土器 (8)	96
第132图	11区 土坑出土土器 (9)	97
第133图	11区 土坑出土土器 (10)	98
第134图	11区 土坑出土土器 (11)	99
第135图	11区 土坑出土土器 (12)	100
第136图	11区 土坑出土土器 (13)	101
第137图	11区 土坑出土土器 (14)	102

第138图	11区 土坑出土土器 (15)	103
第139图	11区 土坑出土土器 (16)	104
第140图	11区 土坑出土土器 (17)	105
第141图	11区 土坑出土土器 (18)	106
第142图	11区 土坑出土土器 (19)	107
第143图	11区 土坑出土土器 (20)	108
第144图	11区 土坑出土土器 (21)	109
第145图	11区 土坑出土土器 (22)	110
第146图	11区 土坑出土土器 (23)	111
第147图	11区 土坑出土土器 (24)	112
第148图	11区 土坑出土土器 (25)	113
第149图	11区 土坑出土土器 (26)	114
第150图	11区 土坑出土土器 (27)	115
第151图	11区 土坑出土土器 (28)	116
第152图	11区 土坑出土土器 (29)	117
第153图	11区 土坑出土土器 (30)	118
第154图	11区 土坑出土土器 (31)	119
第155图	11区 土坑出土土器 (32)	120
第156图	11区 土坑出土土器 (33)	121
第157图	11区 土坑出土土器 (34)	122
第158图	11区 土坑出土土器 (35)	123
第159图	11区 配石出土土器 (1)	123
第160图	11区 配石出土土器 (2)	124
第161图	11区 1号屋外炉 (即20号土坑)	124
第162图	11区 埋藏出土土器 (1)	124
第163图	11区 埋藏出土土器 (2)	125
第164图	11区 埋藏出土土器 (3)	126
第165图	11区 埋藏出土土器 (4)	127
第166图	11区 埋藏出土土器 (5)	128
第167图	11区 埋藏出土土器 (6)	129
第168图	11区 埋藏出土土器 (7)	130
第169图	11区 遺構外出土土器 (1)	130
第170图	11区 遺構外出土土器 (2)	131
第171图	11区 遺構外出土土器 (3)	132
第172图	11区 遺構外出土土器 (4)	133
第173图	12K1号住居出土土器	134
第174图	12K2号住居出土土器 (1)	134
第175图	12K2号住居出土土器 (2)	135
第176图	12K3号住居出土土器	136
第177图	12K4号住居出土土器 (1)	137
第178图	12K4号住居出土土器 (2)	138
第179图	12K5号住居出土土器	138
第180图	12K6号住居出土土器 (1)	138
第181图	12K6号住居出土土器 (2)	139
第182图	12K7号住居出土土器	140
第183图	12K8号住居出土土器 (1)	140
第184图	12K8号住居出土土器 (2)	141
第185图	12K8号住居出土土器 (3)	142
第186图	12K9号住居出土土器	143
第187图	12K10号住居出土土器 (1)	144
第188图	12K10号住居出土土器 (2)	145
第189图	12K10号住居出土土器 (3)	146
第190图	12K10号住居出土土器 (4)	147
第191图	12K11号住居出土土器 (1)	148
第192图	12K11号住居出土土器 (2)	149
第193图	12K13号住居出土土器 (1)	149
第194图	12K13号住居出土土器 (2)	150
第195图	12K14号住居出土土器	150
第196图	12K15号住居出土土器 (1)	150
第197图	12K15号住居出土土器 (2)	151
第198图	12K15号住居出土土器 (3)	152
第199图	12K15号住居出土土器 (4)	153
第200图	12K16号住居出土土器 (1)	153
第201图	12K16号住居出土土器 (2)	154
第202图	12K16号住居出土土器 (3)	155
第203图	12K16号住居出土土器 (4)	156
第204图	12K18号住居出土土器 (1)	156

第205図	12区18号住居出土土器	(2)	157
第206図	12区20号住居出土土器		157
第207図	12区21号住居出土土器		158
第208図	12区22号住居出土土器	(1)	158
第209図	12区22号住居出土土器	(2)	159
第210図	12区23号住居出土土器	(1)	159
第211図	12区23号住居出土土器	(2)	160
第212図	12区23号住居出土土器	(3)	161
第213図	12区24号住居出土土器	(1)	161
第214図	12区24号住居出土土器	(2)	162
第215図	12区25号住居出土土器		163
第216図	12区26号住居出土土器	(1)	163
第217図	12区26号住居出土土器	(2)	164
第218図	12区26号住居出土土器	(3)	165
第219図	12区26号住居出土土器	(4)	166
第220図	12区26号住居出土土器	(5)	167
第221図	12区27号住居出土土器	(1)	168
第222図	12区27号住居出土土器	(2)	169
第223図	12区28号住居出土土器		170
第224図	12区29号住居出土土器		170
第225図	12区30号住居出土土器		170
第226図	12区31号住居出土土器	(1)	170
第227図	12区31号住居出土土器	(2)	171
第228図	12区32号住居出土土器	(1)	171
第229図	12区32号住居出土土器	(2)	172
第230図	12区32号住居出土土器	(3)	173
第231図	12区32号住居出土土器	(4)	174
第232図	12区32号住居出土土器	(5)	175
第233図	12区33号住居出土土器	(1)	175
第234図	12区33号住居出土土器	(2)	176
第235図	12区34号住居出土土器	(1)	176
第236図	12区34号住居出土土器	(2)	177
第237図	12区34号住居出土土器	(3)	178
第238図	12区35号住居出土土器		179
第239図	12区36号住居出土土器		179
第240図	12区37号住居出土土器		180
第241図	12区38号住居出土土器		180
第242図	12区39号住居出土土器	(1)	180
第243図	12区39号住居出土土器	(2)	181
第244図	12区40号住居出土土器		182
第245図	12区41号住居出土土器	(1)	182
第246図	12区41号住居出土土器	(2)	183
第247図	12区41号住居出土土器	(3)	184
第248図	12区42号住居出土土器	(1)	184
第249図	12区42号住居出土土器	(2)	185
第250図	12区42号住居出土土器	(3)	186
第251図	12区42号住居出土土器	(4)	187
第252図	12区42号住居出土土器	(5)	188
第253図	12区42号住居出土土器	(6)	189
第254図	12区43号住居出土土器		189
第255図	12区44号住居出土土器		189

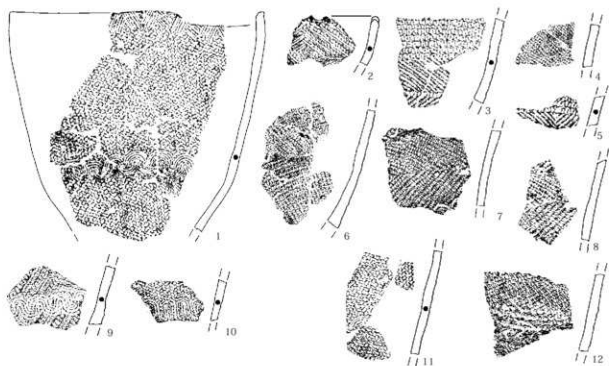
第256図	12区45号住居出土土器		190
第257図	12区46号住居出土土器		190
第258図	12区47号住居出土土器(1)		190
第259図	12区47号住居出土土器(2)		191
第260図	12区49号住居出土土器(1)		191
第261図	12区49号住居出土土器(2)		192
第262図	12区50号・55号住居出土土器(1)		192
第263図	12区50号・55号住居出土土器(2)		193
第264図	12区50号・55号住居出土土器(3)		194
第265図	12区51号住居出土土器		194
第266図	12区52号住居出土土器		194
第267図	12区53号住居出土土器		195
第268図	12区54号住居出土土器		195
第269図	12区56号住居出土土器		195
第270図	12区57号住居出土土器		195
第271図	12区土坑出土土器(1)		196
第272図	12区土坑出土土器(2)		197
第273図	12区土坑出土土器(3)		198
第274図	12区土坑出土土器(4)		199
第275図	12区土坑出土土器(5)		200
第276図	12区土坑出土土器(6)		201
第277図	12区土坑出土土器(7)		202
第278図	12区土坑出土土器(8)		203
第279図	12区土坑出土土器(9)		204
第280図	12区土坑出土土器(10)		205
第281図	12区土坑出土土器(11)		206
第282図	12区土坑出土土器(12)		207
第283図	12区土坑出土土器(13)		208
第284図	12区土坑出土土器(14)		209
第285図	12区土坑出土土器(15)		210
第286図	12区土坑出土土器(16)		211
第287図	12区土坑出土土器(17)		212
第288図	12区土坑出土土器(18)		213
第289図	12区土坑出土土器(19)		214
第290図	12区土坑出土土器(20)		215
第291図	12区土坑出土土器(21)		216
第292図	12区土坑出土土器(22)		217
第293図	12区土坑出土土器(23)		218
第294図	12区土坑出土土器(24)		219
第295図	12区土坑出土土器(25)		220
第296図	12区埋藏出土土器		221
第297図	12区配石出土土器		222
第298図	12区遺構外出土土器(1)		223
第299図	12区遺構外出土土器(2)		224
第300図	12区遺構外出土土器(3)		225
第301図	12区遺構外出土土器(4)		226
第302図	12区遺構外出土土器(5)		227
第303図	12区遺構外出土土器(6)		228
第304図	12区遺構外出土土器(7)		229
第305図	12区遺構外出土土器(8)		230

## 写真図版目次

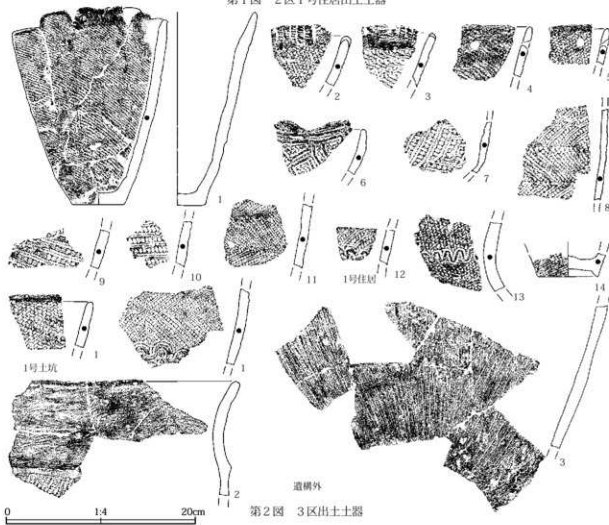
PL. 1	2区～4区出土土器
PL. 2	7区、8区住居(1号・2号)出土土器
PL. 3	8区2号住居出土土器
PL. 4	8区3号住居出土土器
PL. 5	8区4号・5号住居出土土器
PL. 6	8区5号～7号住居出土土器
PL. 7	8区7号住居出土土器
PL. 8	8区7号・8号住居・土坑出土土器
PL. 9	8区土坑・ビット・遺構外出土土器(1)
PL. 10	8区遺構外出土土器(2)
PL. 11	8区遺構外出土土器(3)

PL. 12	9区1号・2号住居出土土器
PL. 13	9区土坑出土土器(1)
PL. 14	9区土坑(2)・配石出土土器
PL. 15	9区遺構外出土土器(1)
PL. 16	9区遺構外出土土器(2)
PL. 17	11区1号住居出土土器
PL. 18	11区1号住居出土土器
PL. 19	11区1号・2号住居出土土器
PL. 20	11区2号住居出土土器
PL. 21	11区2号・3号住居出土土器
PL. 22	11区4号・5号住居出土土器

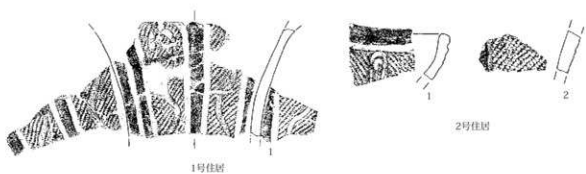
- PL. 23 11区 5号住居出土土器  
 PL. 24 11区 5号・6号住居出土土器  
 PL. 25 11区 7号住居出土土器  
 PL. 26 11区 8号～10号住居出土土器  
 PL. 27 11区 10号住居出土土器  
 PL. 28 11区 11号住居出土土器  
 PL. 29 11区 12号住居出土土器  
 PL. 30 11区 12号・13号住居出土土器  
 PL. 31 11区 13号住居出土土器  
 PL. 32 11区 14号住居出土土器  
 PL. 33 11区 14号～16号住居出土土器  
 PL. 34 11区 16号・18号・19号住居出土土器  
 PL. 35 11区 19号・21号住居出土土器  
 PL. 36 11区 21号～23号住居出土土器  
 PL. 37 11区 24号住居出土土器  
 PL. 38 11区 24号住居出土土器  
 PL. 39 11区 24号・25号住居出土土器  
 PL. 40 11区 25号～27号住居出土土器  
 PL. 41 11区 28号・29号住居出土土器  
 PL. 42 11区 30号～32号住居出土土器  
 PL. 43 11区32号住居出土土器  
 PL. 44 11区32号・33号住居出土土器  
 PL. 45 11区35号～37号住居出土土器  
 PL. 46 11区37号住居出土土器  
 PL. 47 11区37号～39号住居出土土器  
 PL. 48 11区 40号～42号住居出土土器  
 PL. 49 11区 43号・45号住居出土土器  
 PL. 50 11区 46号・47号・49号住居出土土器  
 PL. 51 11区50号・51号住居出土土器  
 PL. 52 11区51号住居出土土器  
 PL. 53 11区 51号・52号住居出土土器  
 PL. 54 11区 52号～56号住居出土土器  
 PL. 55 11区 土坑出土土器(1)  
 PL. 56 11区 土坑出土土器(2)  
 PL. 57 11区 土坑出土土器(3)  
 PL. 58 11区 土坑出土土器(4)  
 PL. 59 11区 土坑出土土器(5)  
 PL. 60 11区 土坑出土土器(6)  
 PL. 61 11区 土坑出土土器(7)  
 PL. 62 11区 土坑出土土器(8)  
 PL. 63 11区 土坑出土土器(9)  
 PL. 64 11区 土坑出土土器(10)  
 PL. 65 11区 土坑出土土器(11)  
 PL. 66 11区 土坑出土土器(12)  
 PL. 67 11区 土坑出土土器(13)  
 PL. 68 11区 土坑出土土器(14)  
 PL. 69 11区 土坑出土土器(15)  
 PL. 70 11区 土坑出土土器(16)  
 PL. 71 11区 土坑出土土器(17)  
 PL. 72 11区 土坑出土土器(18)  
 PL. 73 11区 土坑出土土器(19)  
 PL. 74 11区 土坑出土土器(20)  
 PL. 75 11区 土坑出土土器(21)  
 PL. 76 11区 土坑(22)・配石出土土器  
 PL. 77 11区 屋外<sup>1</sup>・埋藏出土土器(1)  
 PL. 78 11区 埋藏出土土器(2)  
 PL. 79 11区 埋藏(3)・遺構外出土土器(1)  
 PL. 80 11区 遺構外出土土器(2)  
 PL. 81 11区 遺構外出土土器(3)  
 PL. 82 12区1号・2号住居出土土器  
 PL. 83 12区2号・3号住居出土土器  
 PL. 84 12区4号・5号住居出土土器  
 PL. 85 12区6号住居出土土器  
 PL. 86 12区7号・8号住居出土土器  
 PL. 87 12区8号・9号住居出土土器  
 PL. 88 12区9号・10号住居出土土器  
 PL. 89 12区10号住居出土土器  
 PL. 90 12区10号住居出土土器  
 PL. 91 12区10号・11号住居出土土器  
 PL. 92 12区11号・13号・14号住居出土土器  
 PL. 93 12区15号住居出土土器  
 PL. 94 12区15号・16号住居出土土器  
 PL. 95 12区16号住居出土土器  
 PL. 96 12区16号・18号住居出土土器  
 PL. 97 12区20号・21号住居出土土器  
 PL. 98 12区22号・23号住居出土土器  
 PL. 99 12区23号住居出土土器  
 PL. 100 12区23号・24号住居出土土器  
 PL. 101 12区25号・26号住居出土土器  
 PL. 102 12区26号住居出土土器  
 PL. 103 12区26号住居出土土器  
 PL. 104 12区26号・27号住居出土土器  
 PL. 105 12区27号～30号住居出土土器  
 PL. 106 12区31号住居出土土器  
 PL. 107 12区32号住居出土土器  
 PL. 108 12区32号住居出土土器  
 PL. 109 12区32号・33号住居出土土器  
 PL. 110 12区33号・34号住居出土土器  
 PL. 111 12区34号住居出土土器  
 PL. 112 12区34号～36号住居出土土器  
 PL. 113 12区37号～39号住居出土土器  
 PL. 114 12区39号・40号住居出土土器  
 PL. 115 12区41号住居出土土器  
 PL. 116 12区42号住居出土土器  
 PL. 117 12区42号住居出土土器  
 PL. 118 12区42号住居出土土器  
 PL. 119 12区42号～44号住居出土土器  
 PL. 120 12区45号～47号住居出土土器  
 PL. 121 12区49号・50号・55号住居出土土器  
 PL. 122 12区50号～52号・55号住居出土土器  
 PL. 123 12区52号～54号住居出土土器  
 PL. 124 12区56号・57号住居・土坑出土土器(1)  
 PL. 125 12区土坑出土土器(2)  
 PL. 126 12区土坑出土土器(3)  
 PL. 127 12区土坑出土土器(4)  
 PL. 128 12区土坑出土土器(5)  
 PL. 129 12区土坑出土土器(6)  
 PL. 130 12区土坑出土土器(7)  
 PL. 131 12区土坑出土土器(8)  
 PL. 132 12区土坑出土土器(9)  
 PL. 133 12区土坑出土土器(10)  
 PL. 134 12区土坑出土土器(11)  
 PL. 135 12区土坑出土土器(12)  
 PL. 136 12区土坑出土土器(13)  
 PL. 137 12区土坑出土土器(14)  
 PL. 138 12区土坑出土土器(15)  
 PL. 139 12区土坑出土土器(16)  
 PL. 140 12区土坑出土土器(17)  
 PL. 141 12区土坑出土土器(18)  
 PL. 142 12区土坑出土土器(19)  
 PL. 143 12区埋藏出土土器  
 PL. 144 12区配石出土土器(3号住居)  
 PL. 145 12区遺構外出土土器(1)  
 PL. 146 12区遺構外出土土器(2)  
 PL. 147 12区遺構外出土土器(3)  
 PL. 148 12区遺構外出土土器(4)  
 PL. 149 12区遺構外出土土器(5)  
 PL. 150 12区遺構外出土土器(6)



第1图 2区1号住居出土土器



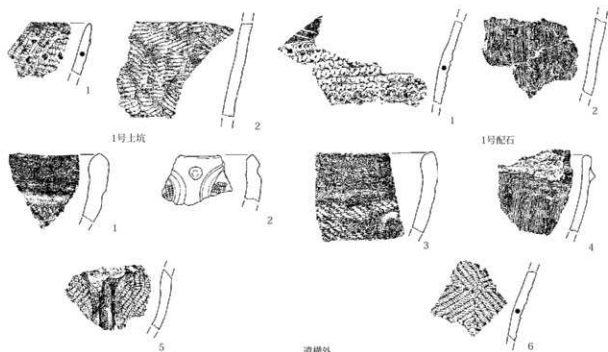
第2图 3区出土土器



1号住居

2号住居

第3图 4区出土土器

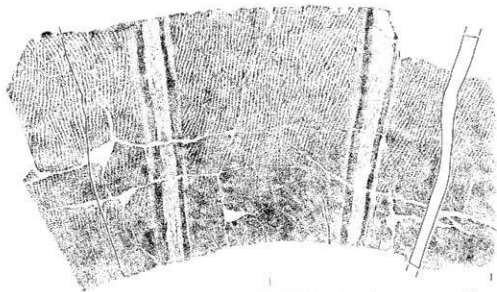


1号土坑

1号配石

道橋外

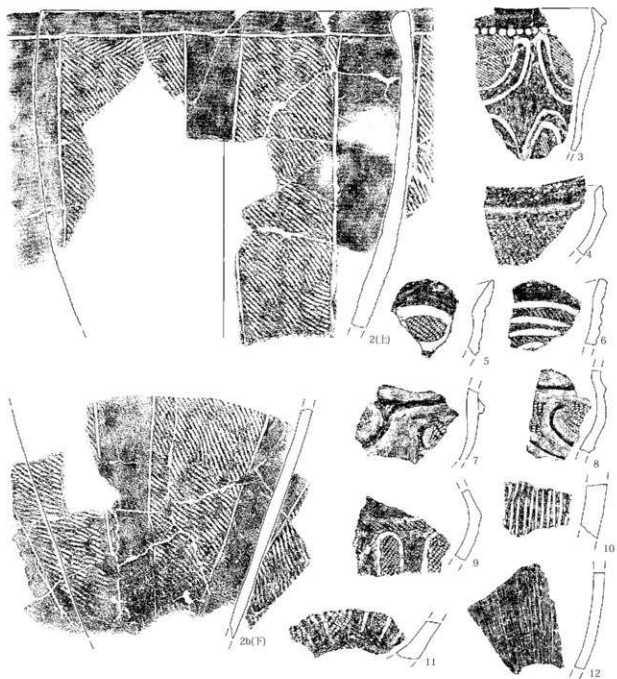
第4图 7区出土土器



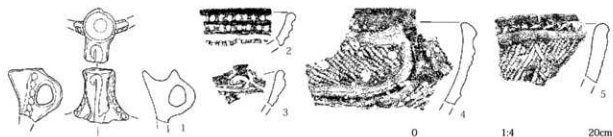
第5图 8区1号住居出土土器(1)



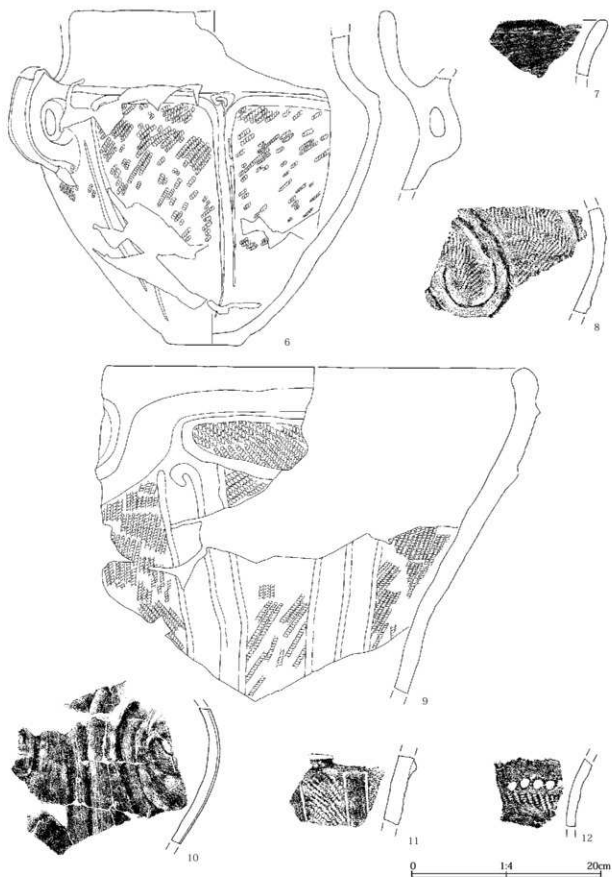




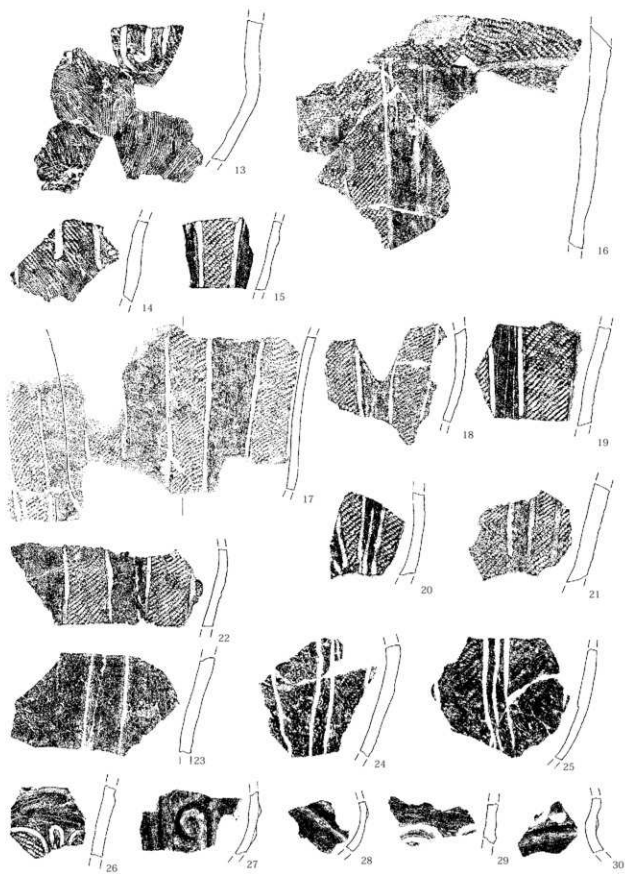
第6图 8区1号住居出土土器(2)



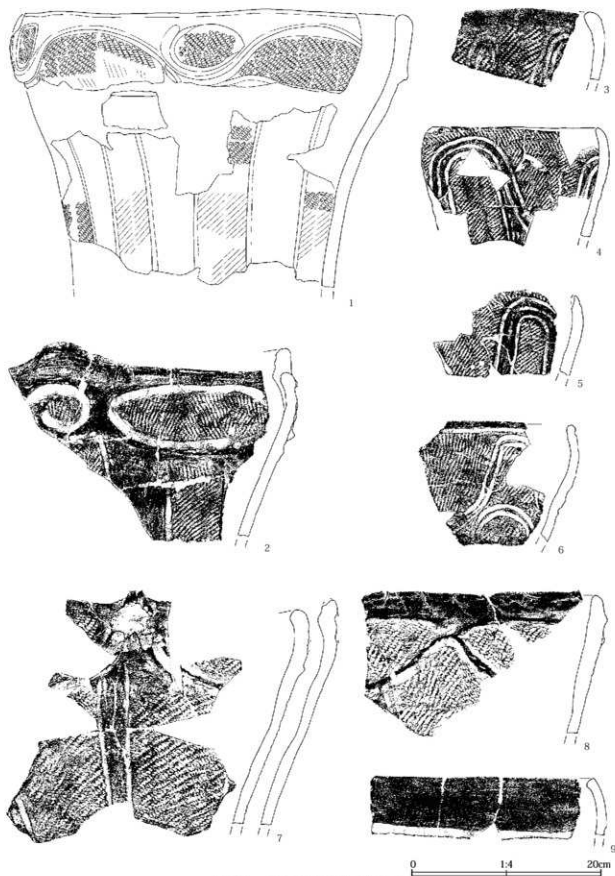
第7图 8区2号住居出土土器(1)



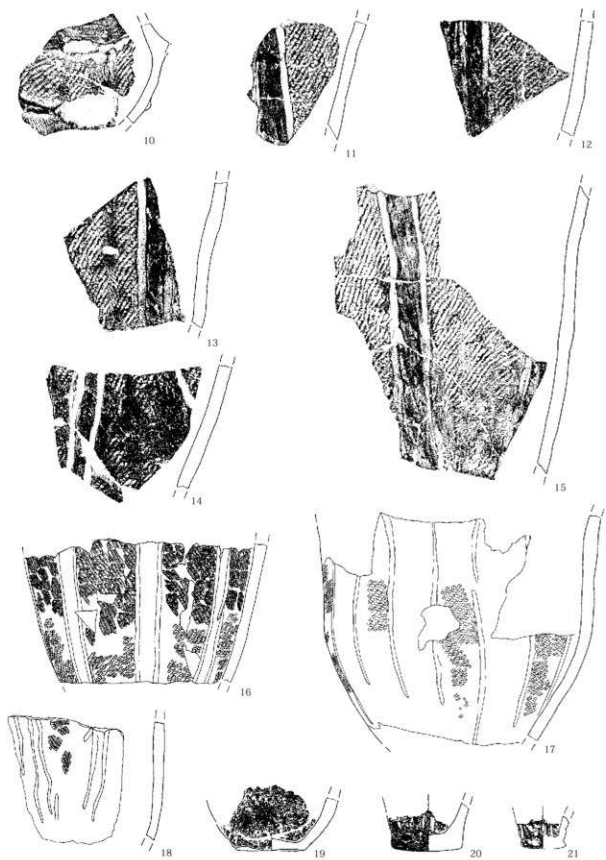
第8图 8区2号住居出土土器(2)



第9图 8区2号住居出土土器(3)

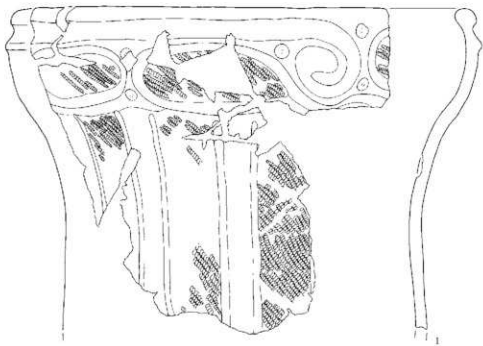


第10图 8区3号住居出土土器(1)

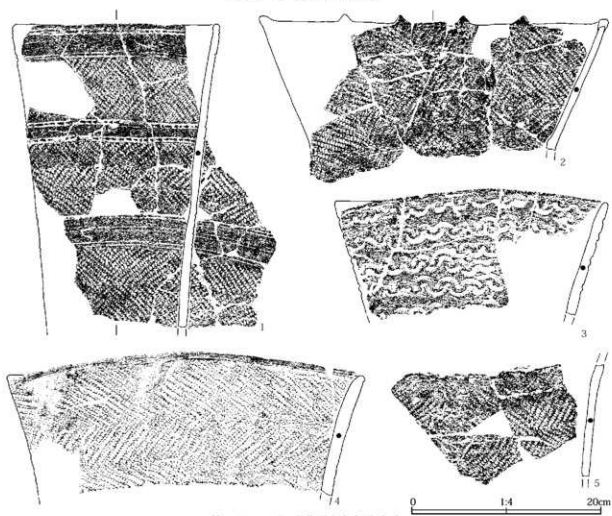


第11图 8区3号住居出土土器(2)

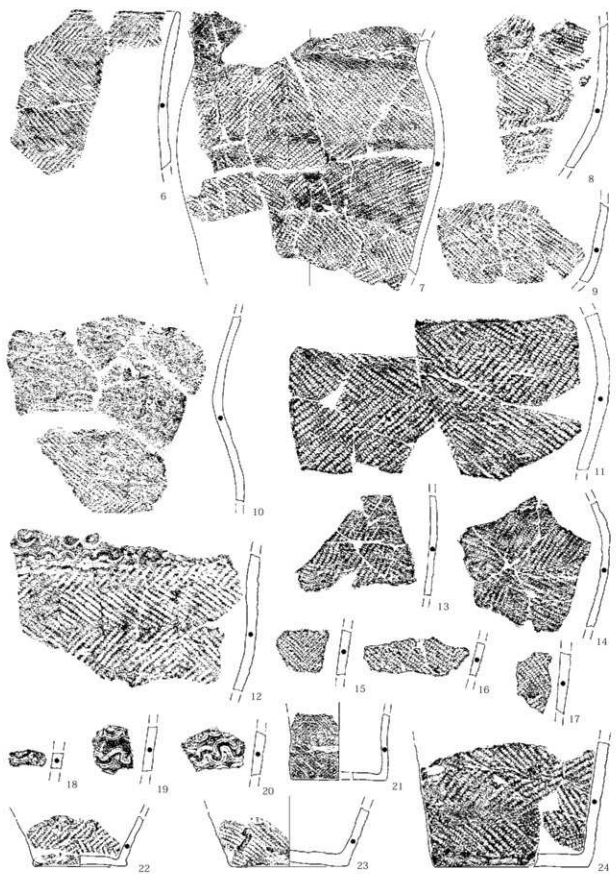
0 1.4 20cm



第12图 8区4号住居出土土器

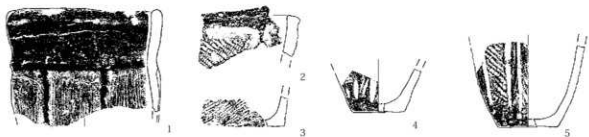


第13图 8区5号住居出土土器(1)

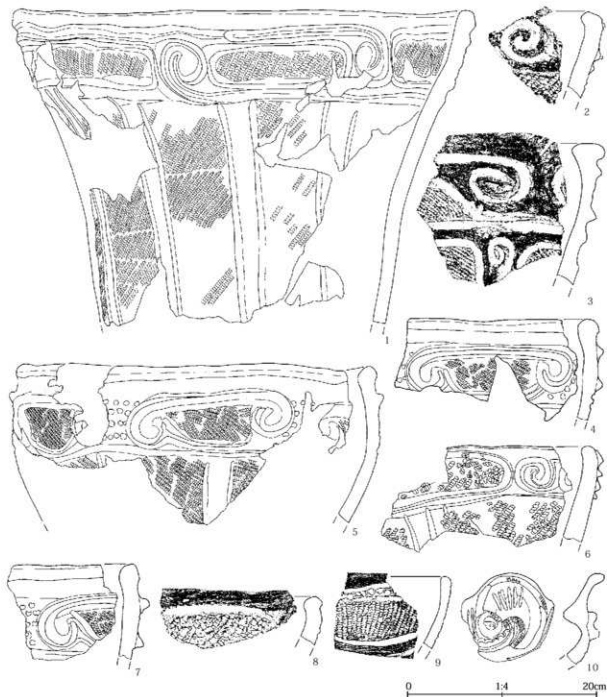


第14图 8区5号住居出土土器(2)

0 1.4 20cm

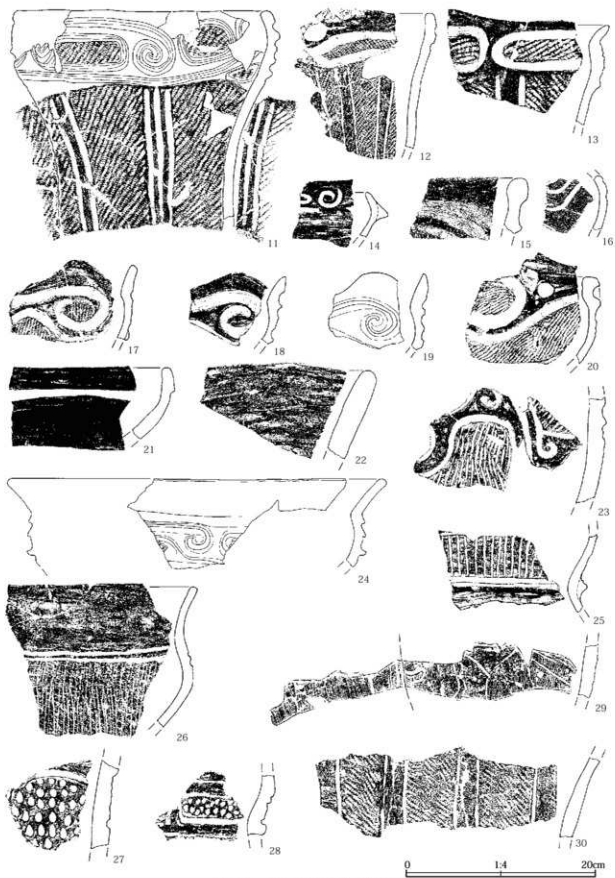


第15图 8区6号住居出土土器

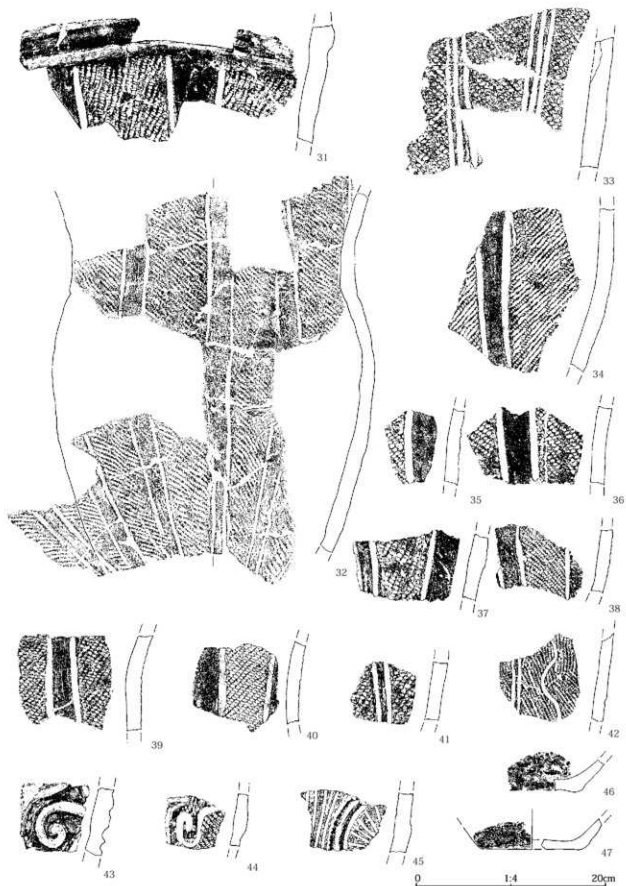


第16图 8区7号住居出土土器(1)

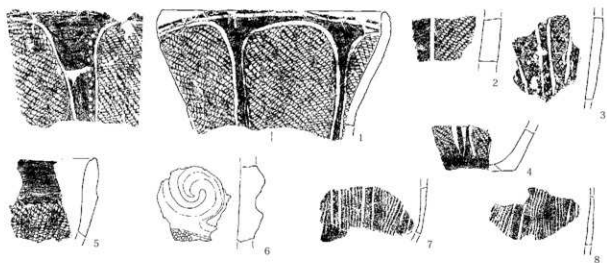




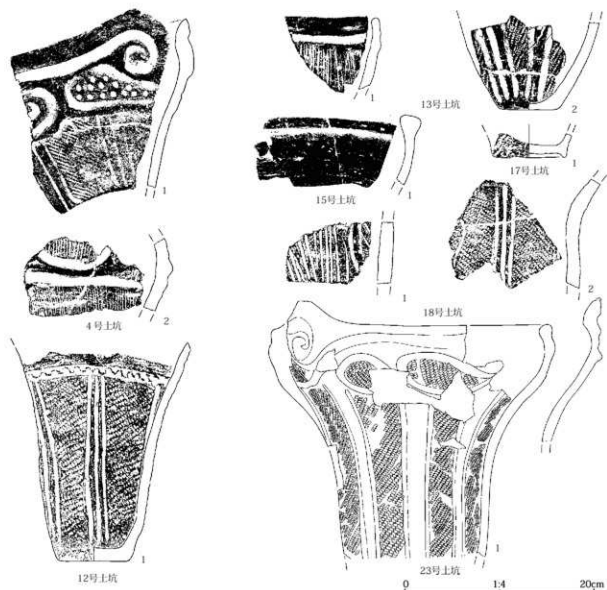
第17图 8区7号住居出土土器(2)



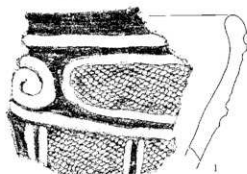
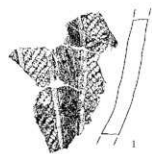
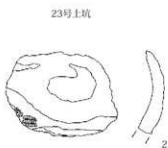
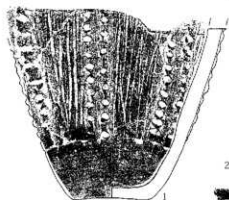
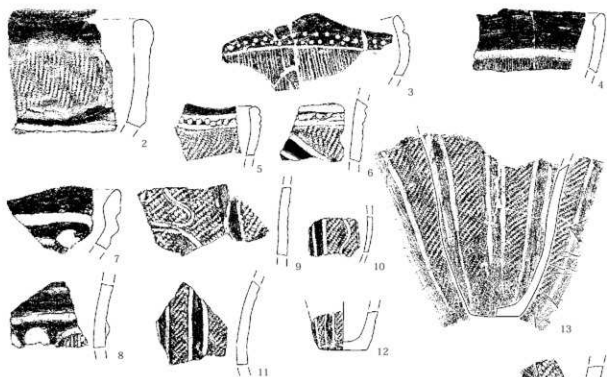
第18图 8区7号住居出土土器(3)



第19图 8区8号住居出土土器



第20图 8区土坑出土土器(1)



29号土坑

第21图 8区土坑出土土器(2)

27号土坑



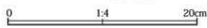
ピット11



ピット14



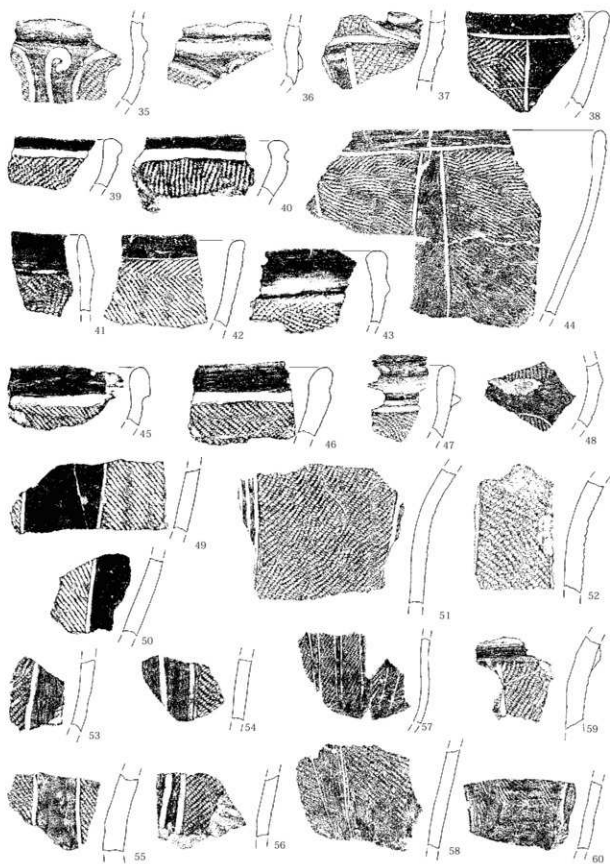
ピット15



第22图 8区ピット出土土器

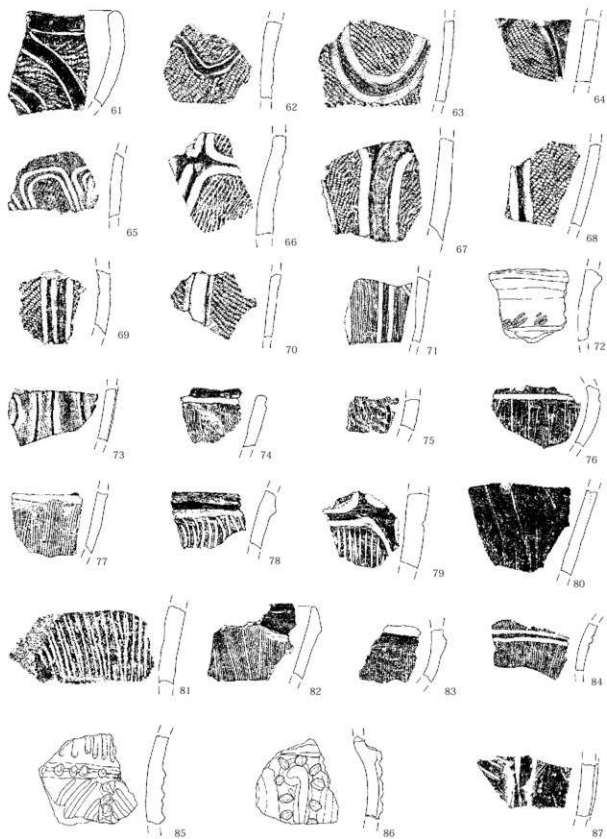


第23图 8区道槽外出土土器(1)

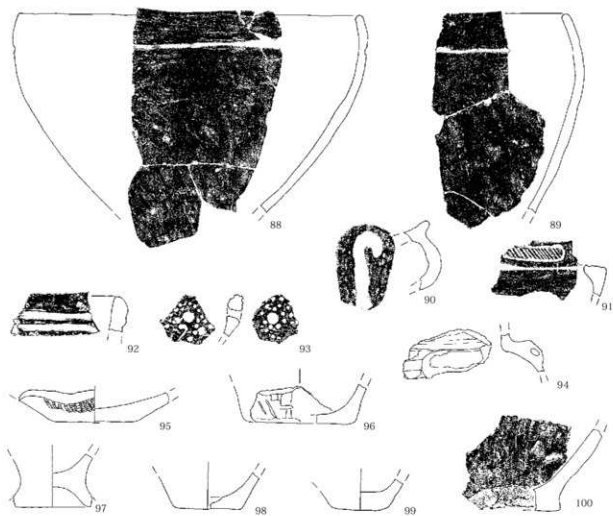


第24图 8区道桥外出土土器(2)

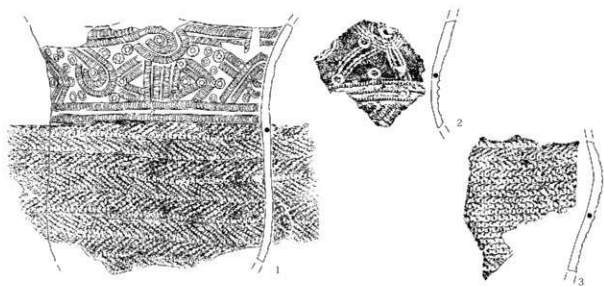
0 1:4 20cm



第25图 8区道桥外出土土器(3)

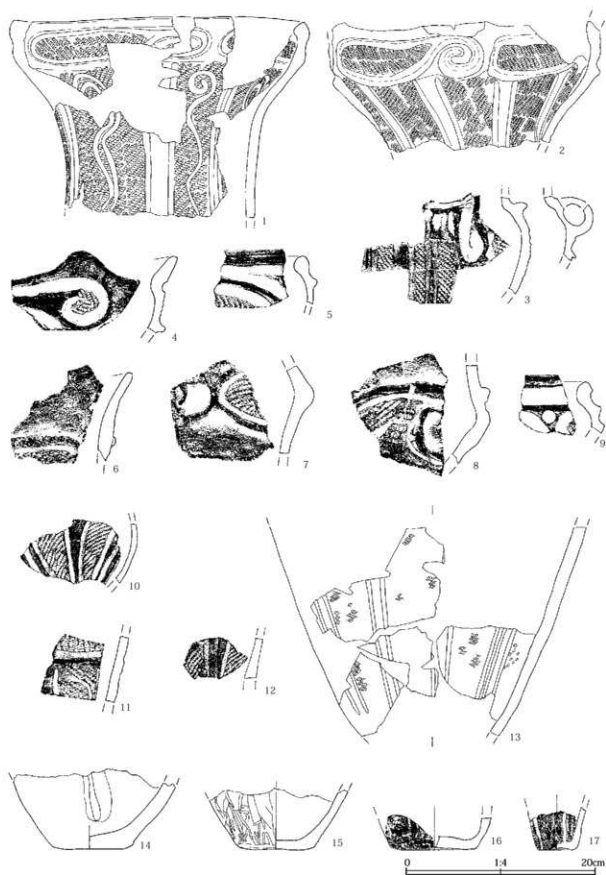


第26图 8区道槽外出土器(4)

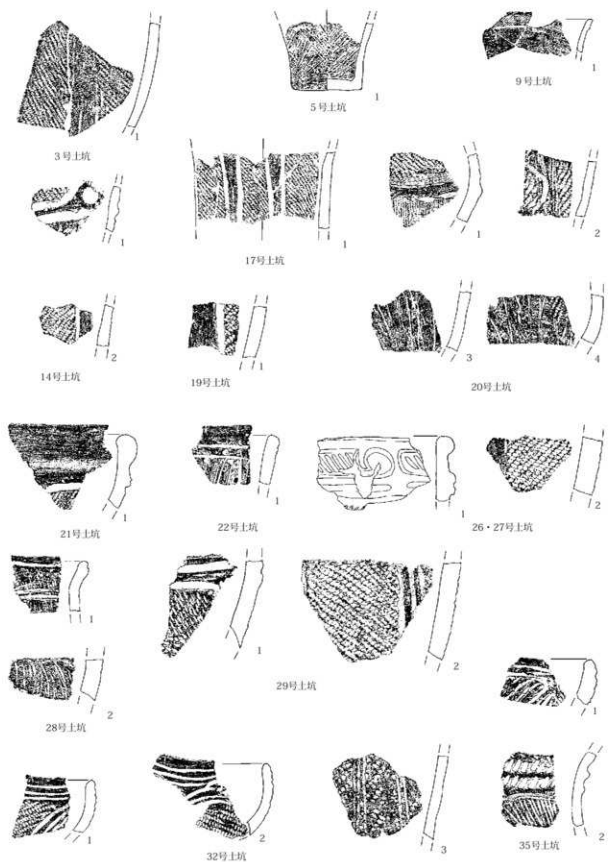


第27图 9区1号住居出土土器



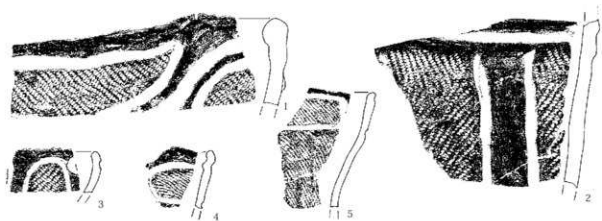


第28图 9区2号住居出土土器

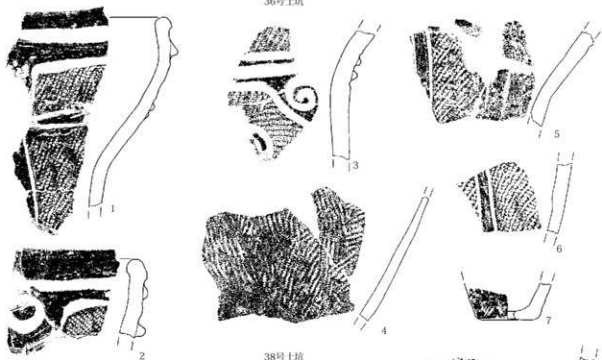


第29图 9区土坑出土土器(1)

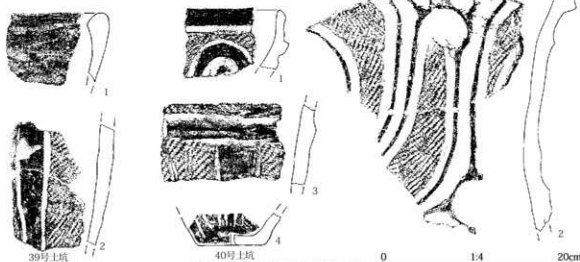
0 1:4 20cm



36号土坑



38号土坑

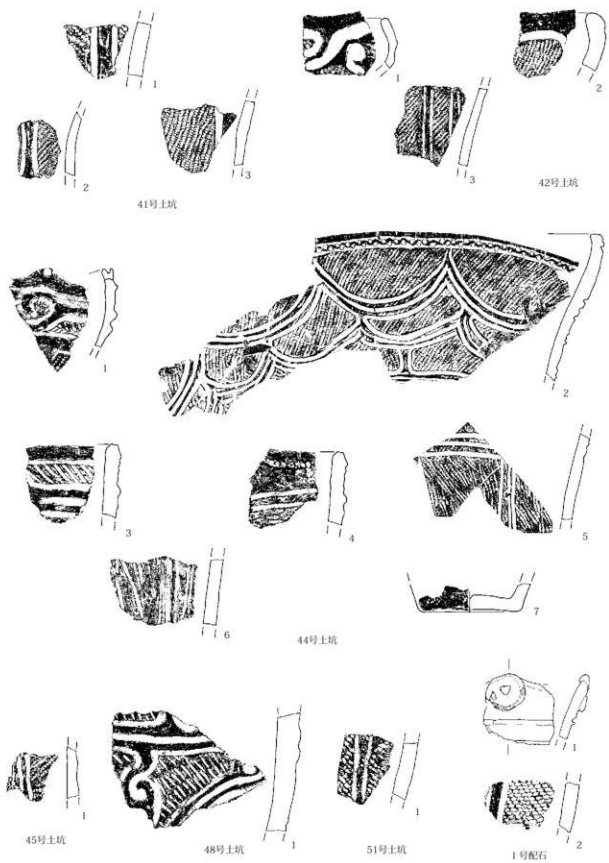


39号土坑

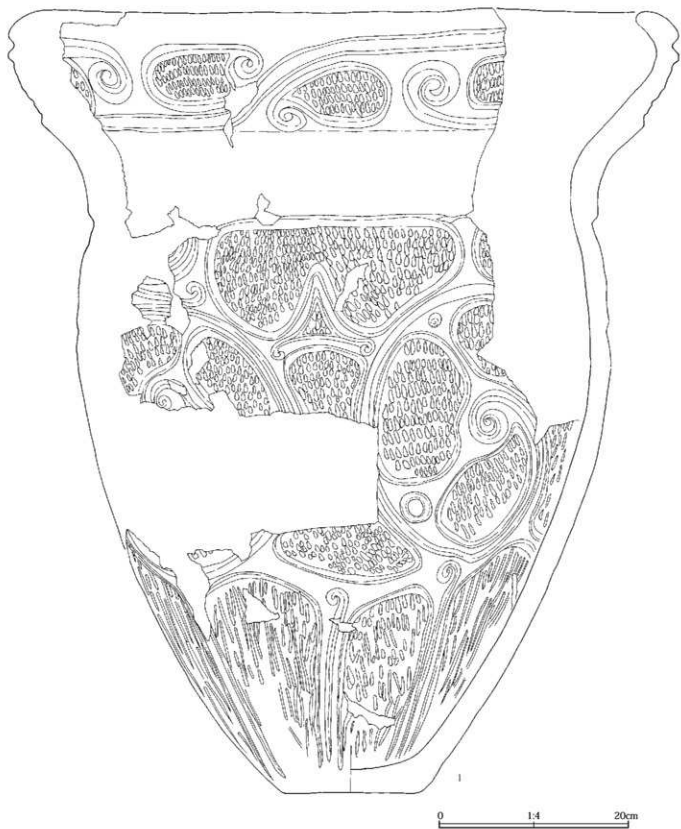
40号土坑

第30图 9区土坑出土土器(2)

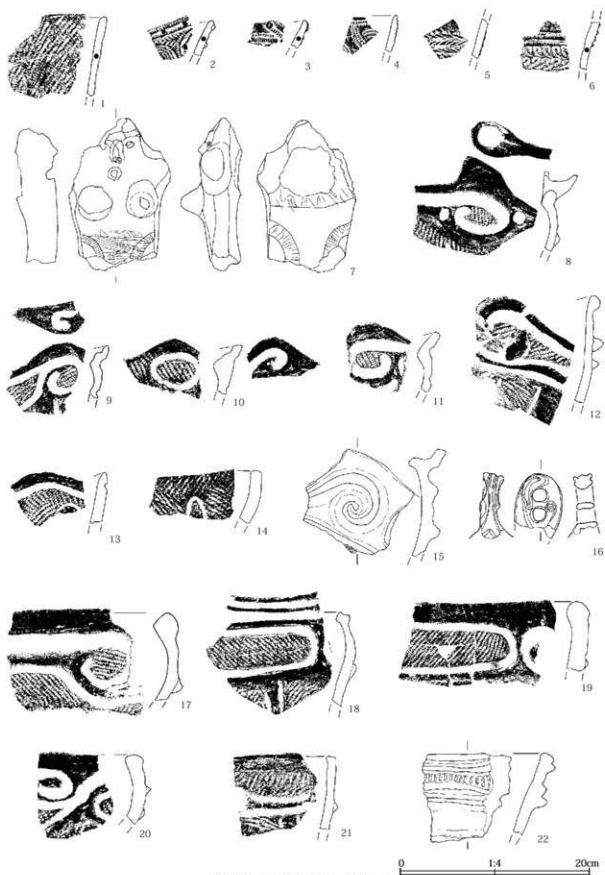
0 1:4 20cm



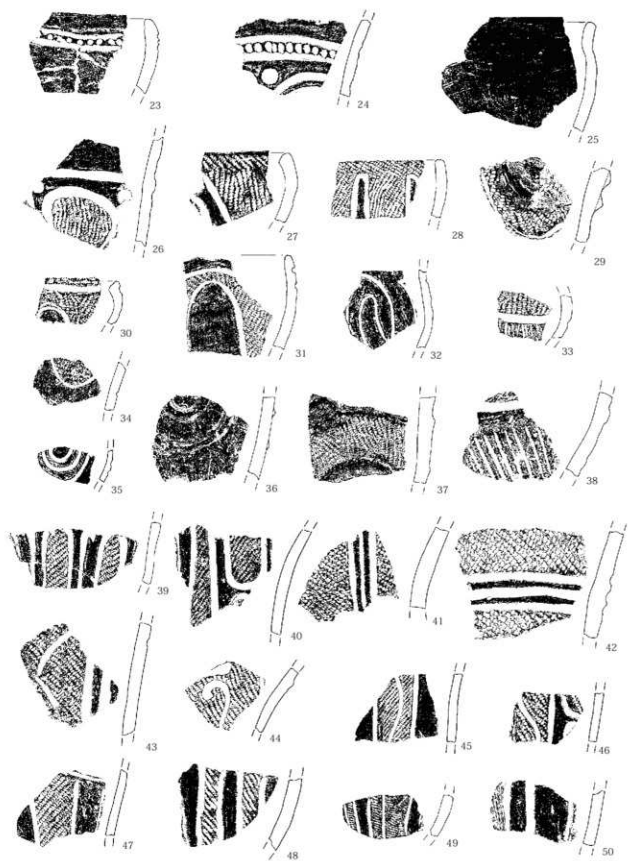
第31图 9区土坑(3)·配石出土土器



第32图 9区47号土坑出土土器

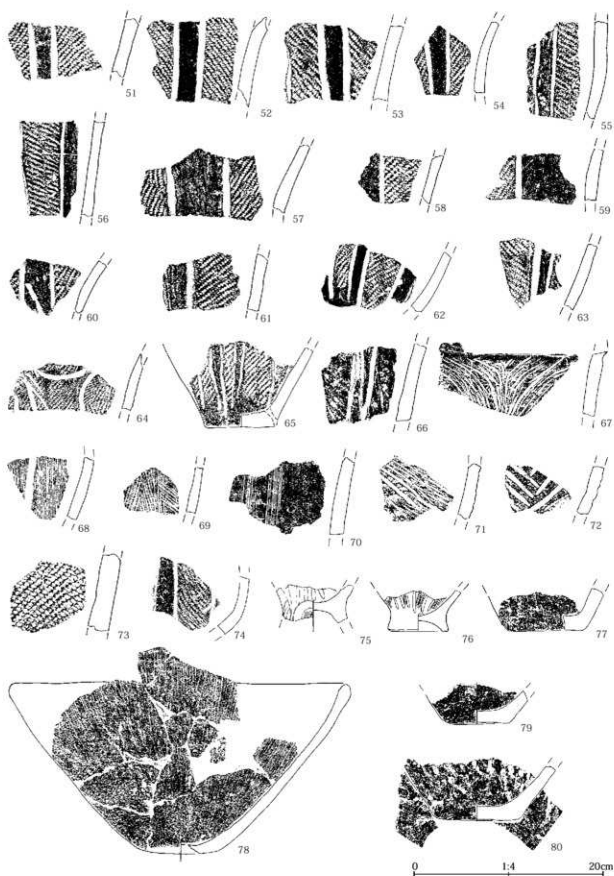


第33图 9区道栲外出土器(1)



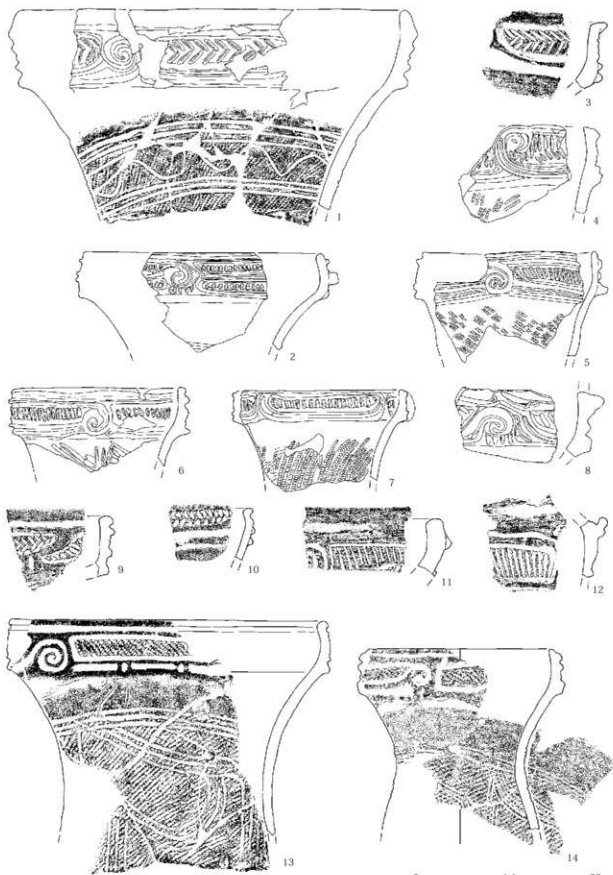
第34图 9区道桥外出土土器(2)

0 1.4 2.0cm

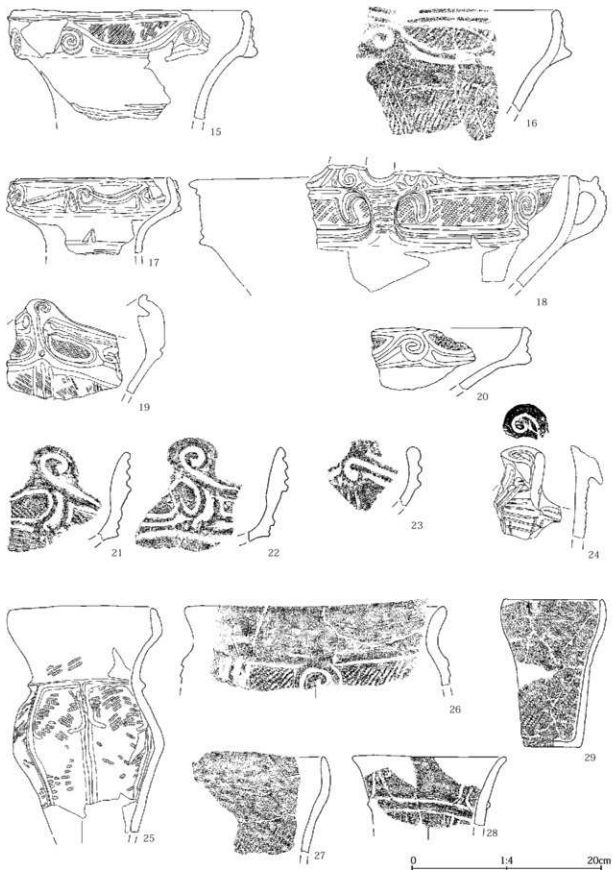


第35图 9区道槽外出土器(3)

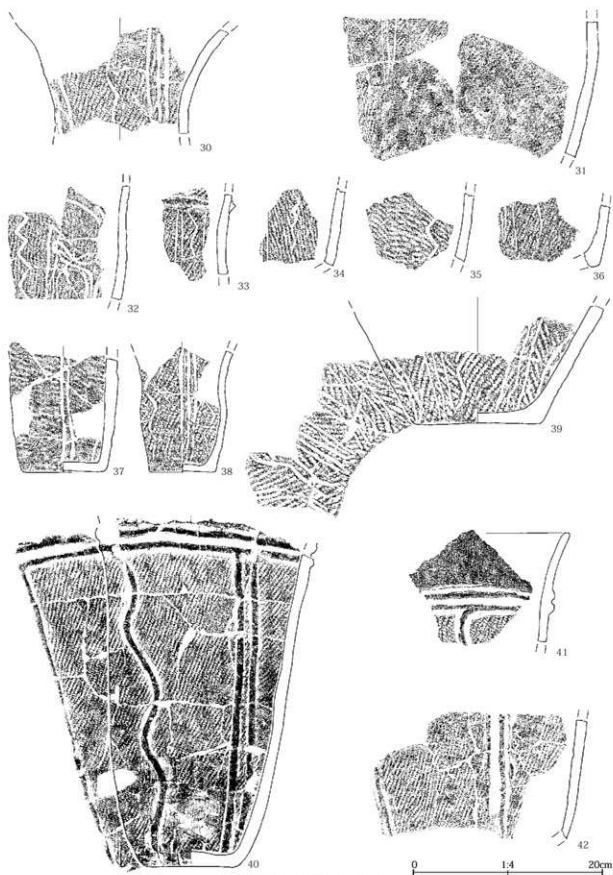




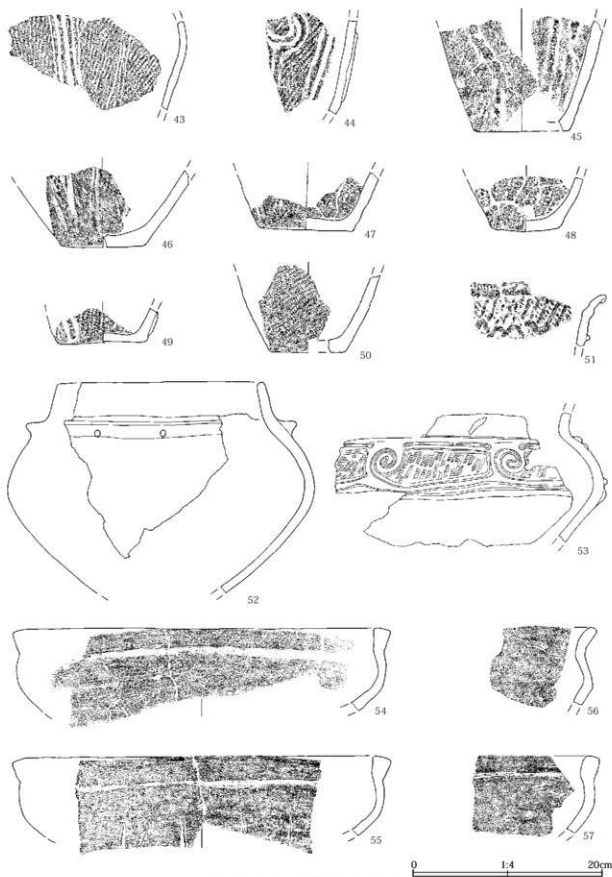
第36图 11区1号住居出土土器(1)



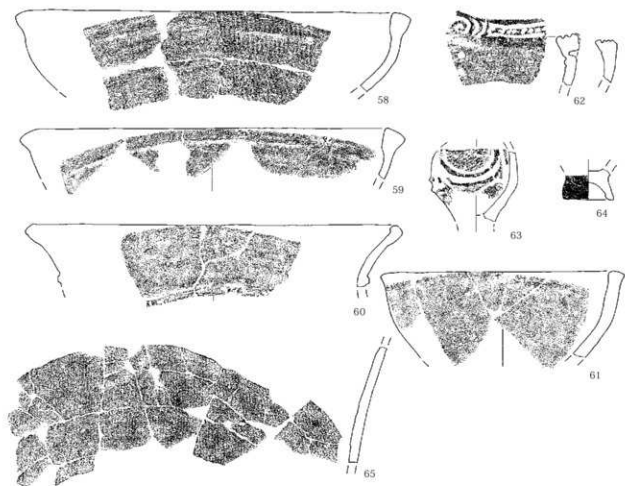
第37图 11区1号住居出土土器(2)



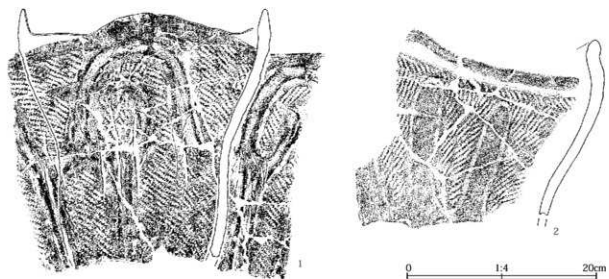
第38图 11区1号住居出土土器(3)



第39图 11区1号住居出土土器(4)



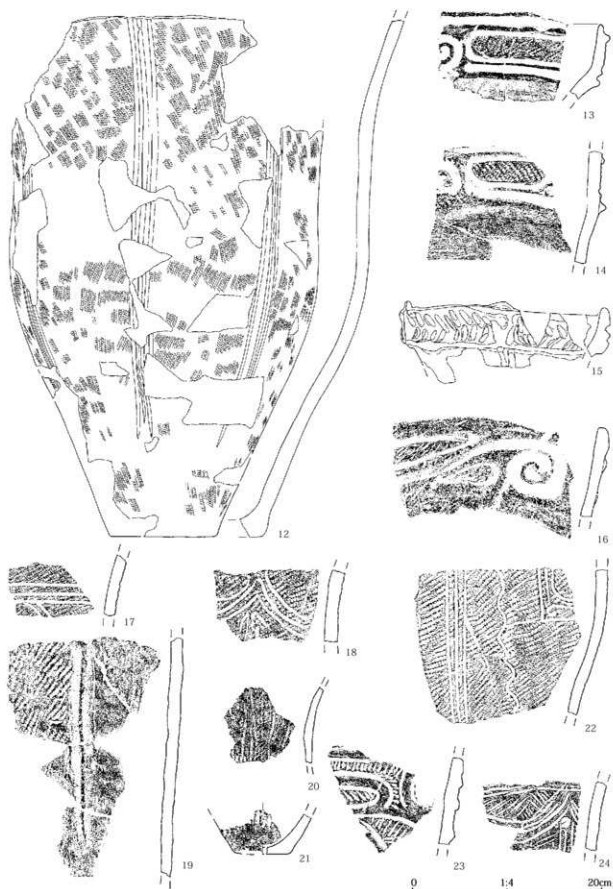
第40图 11区1号住居出土土器(5)



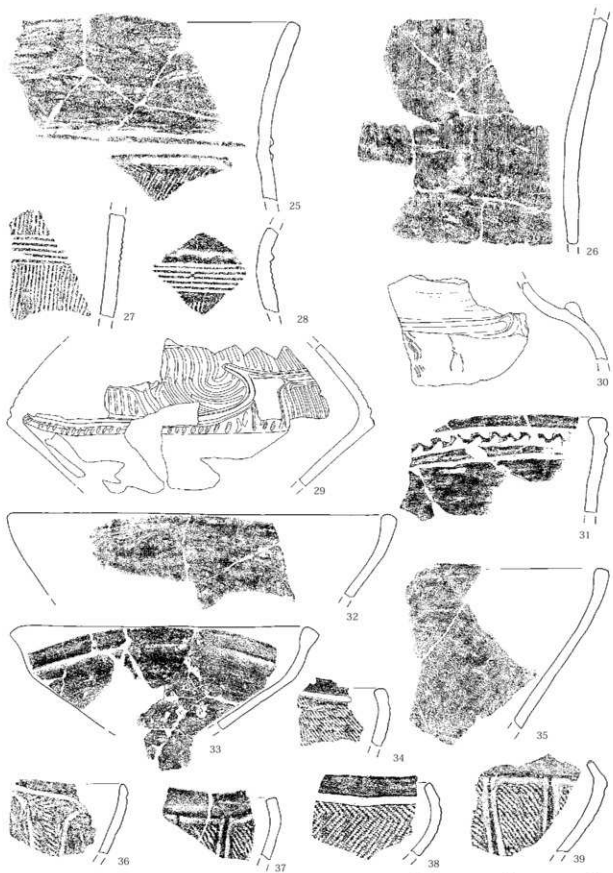
第41图 11区2号住居出土土器(1)



第42图 11区2号住居出土土器(2)

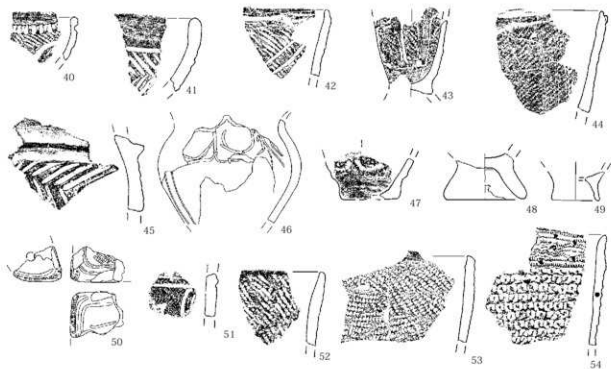


第43图 11区2号住居出土土器(3)

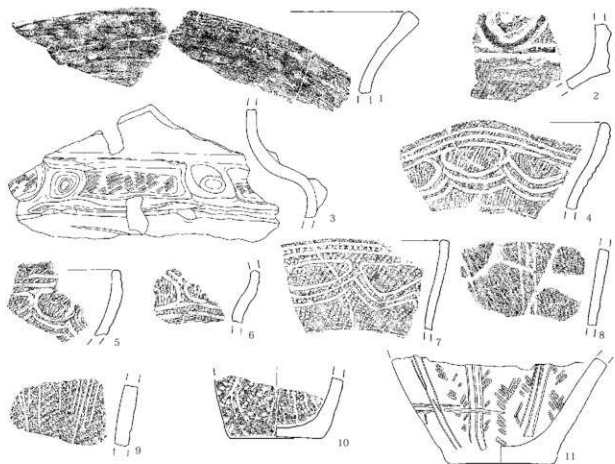


第44图 11区2号住居出土土器(4)

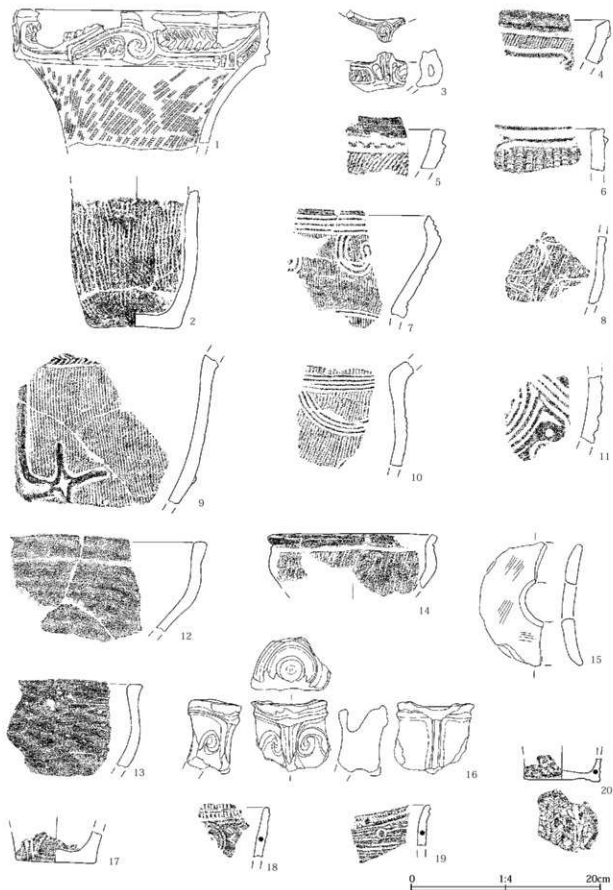




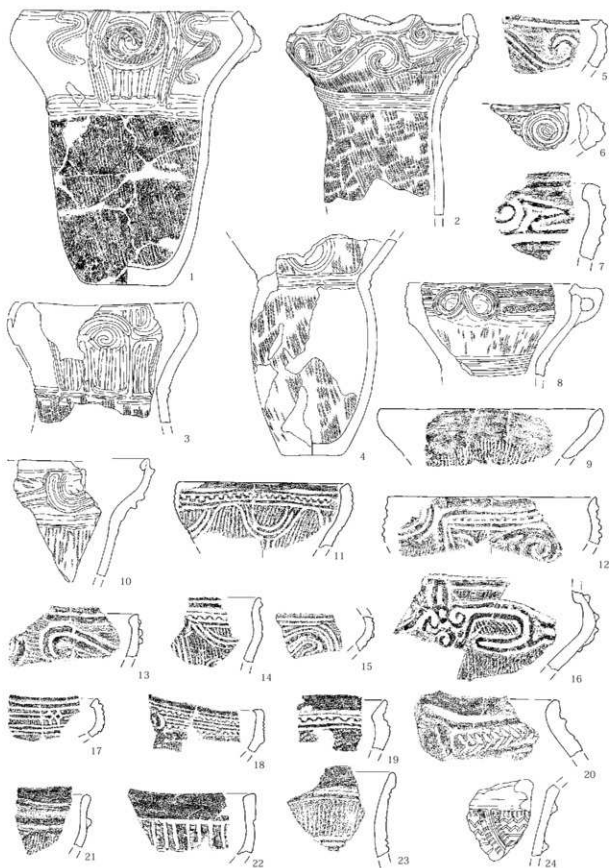
第45图 11区2号住居出土土器(5)



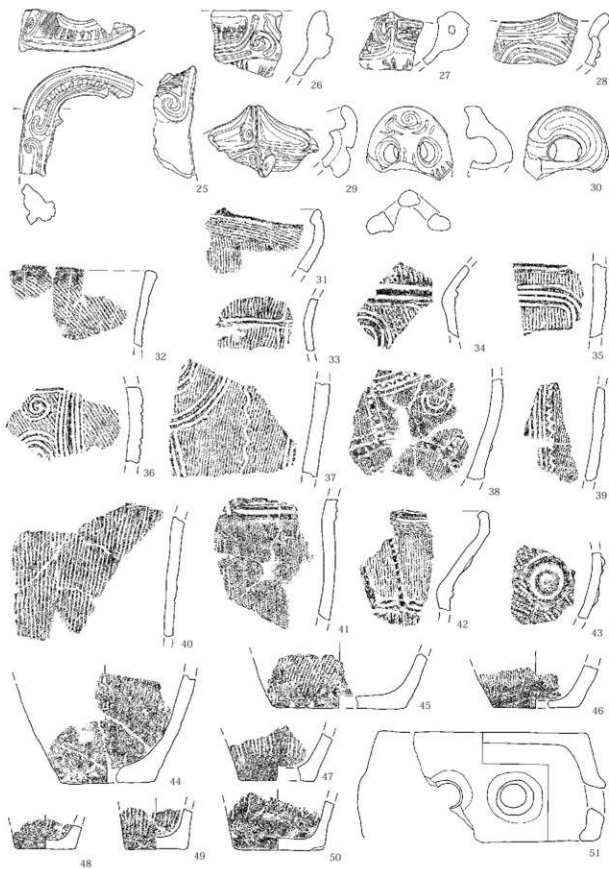
第46图 11区3号住居出土土器



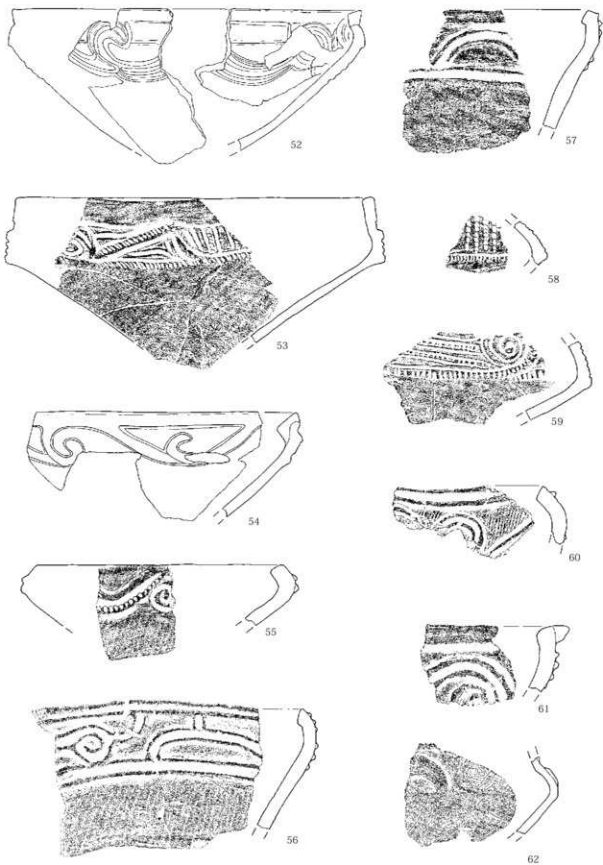
第47图 11区4号住居出土土器



第48图 11区5号住居出土土器(1)

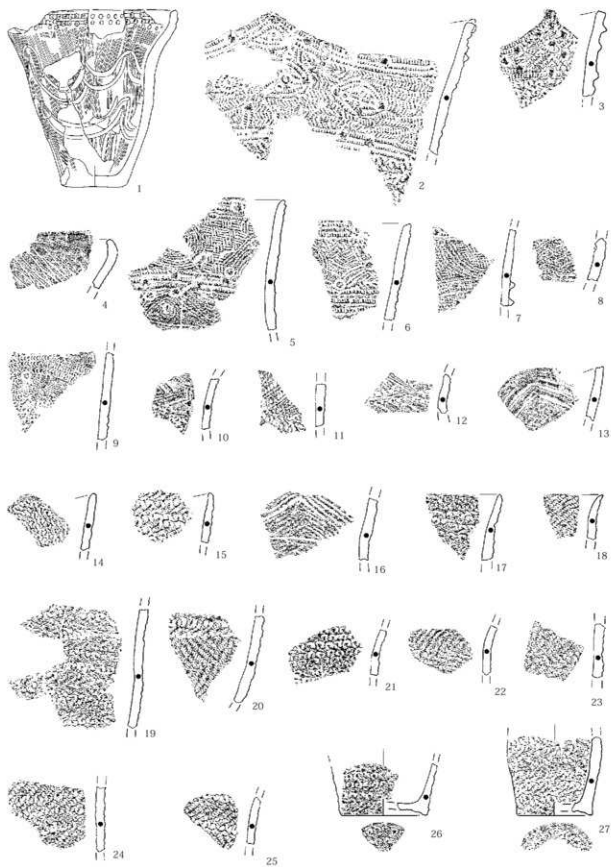


第49图 11区5号住居出土土器(2)



第50图 11区5号住居出土土器(3)

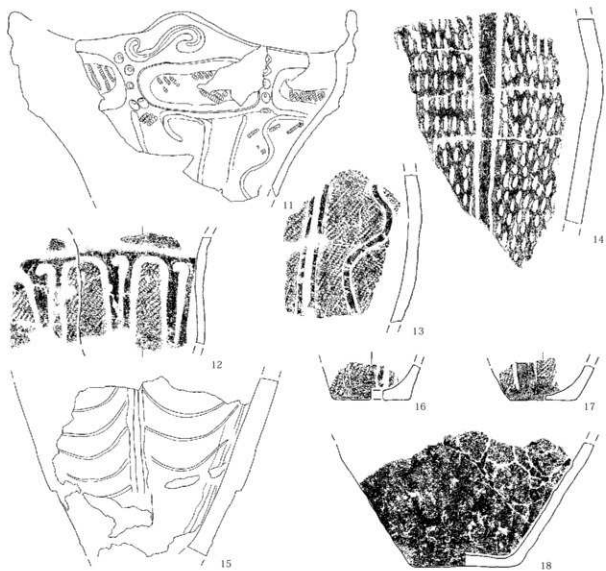
0 1:4 20cm



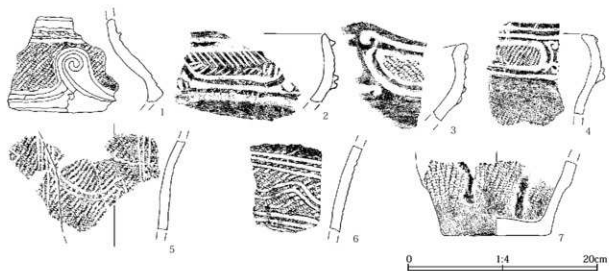
第51图 11区6号住居出土土器



第52图 11区7号住居出土土器(1)

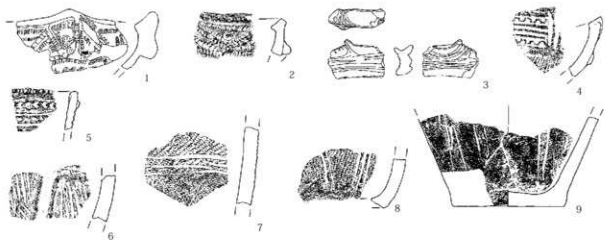


第53图 11区7号住居出土土器(2)

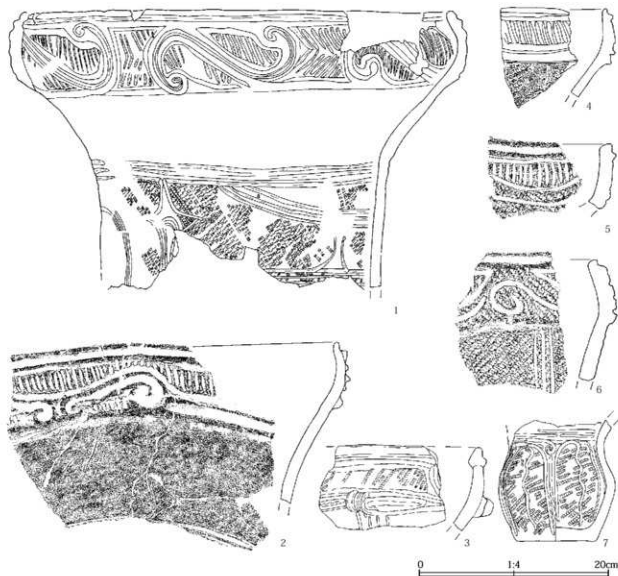


第54图 11区8号住居出土土器

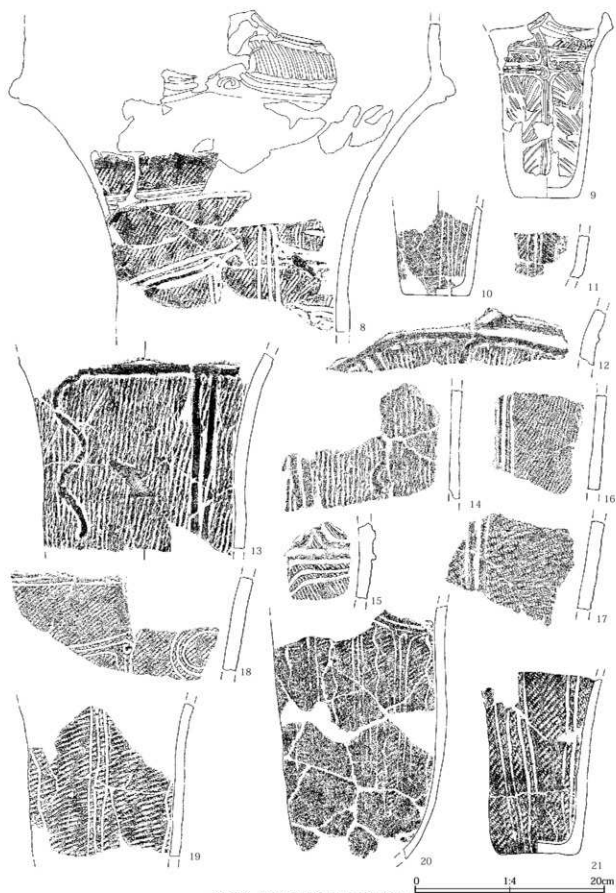




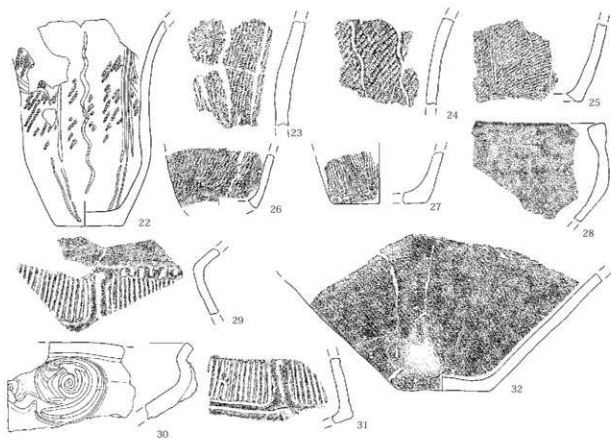
第55图 11区9号住居出土土器



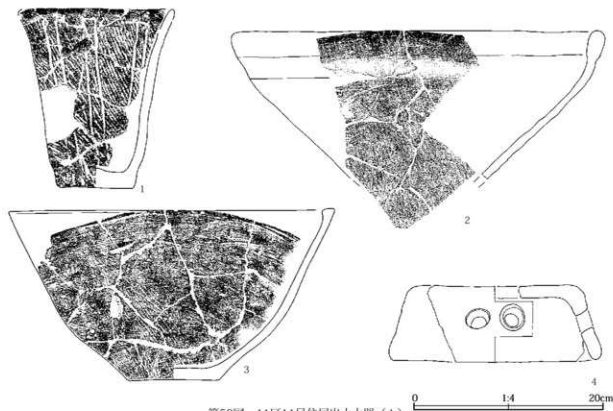
第56图 11区10号住居出土土器(1)



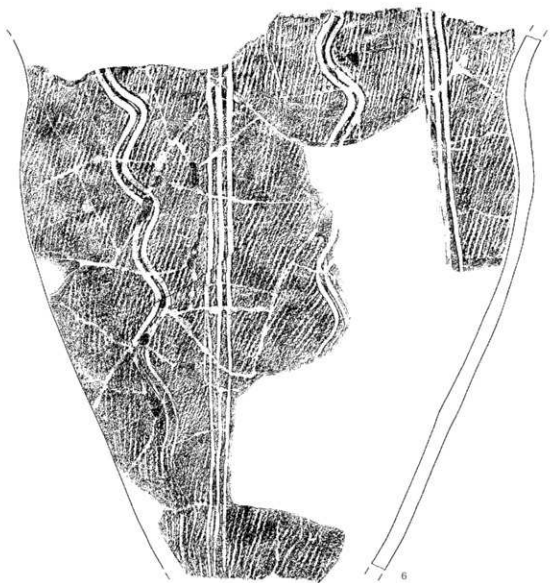
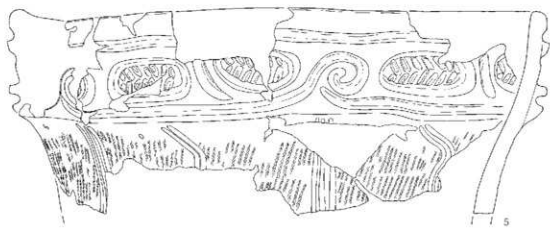
第57图 11区10号住居出土土器(2)



第58图 11区10号住居出土土器(3)

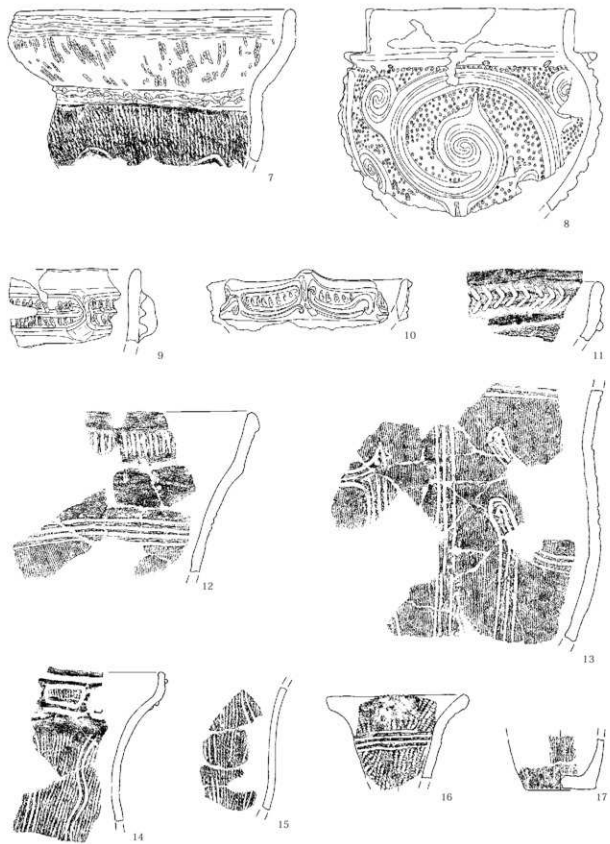


第59图 11区11号住居出土土器(1)



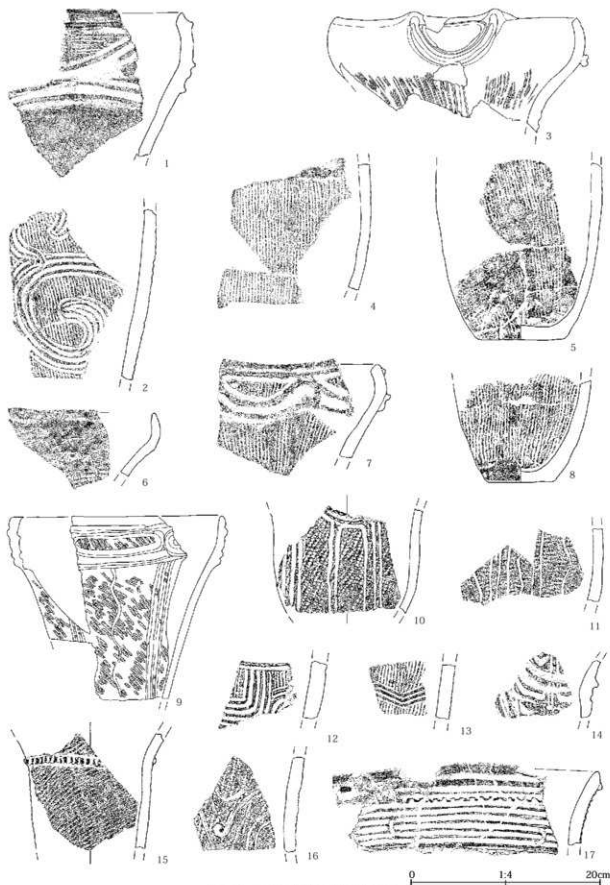
0 1:4 20cm

第60图 11区11号住居出土土器(2)

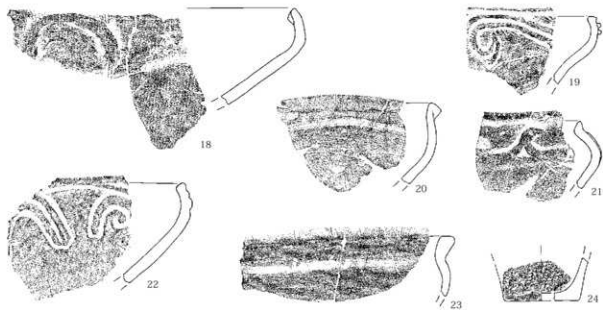


0 1:4 20cm

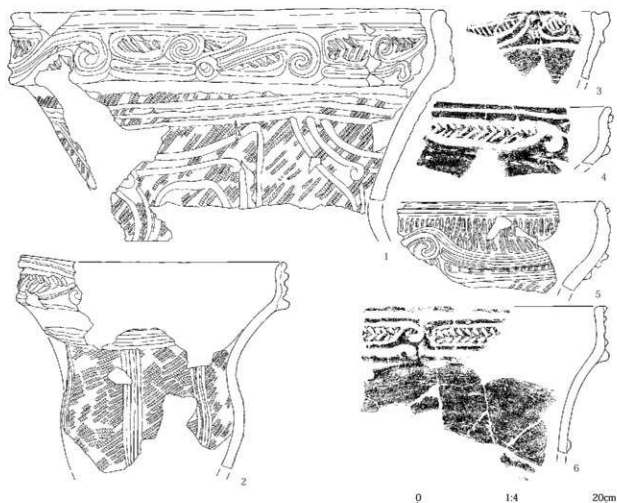
第61图 11区11号住居出土土器(3)



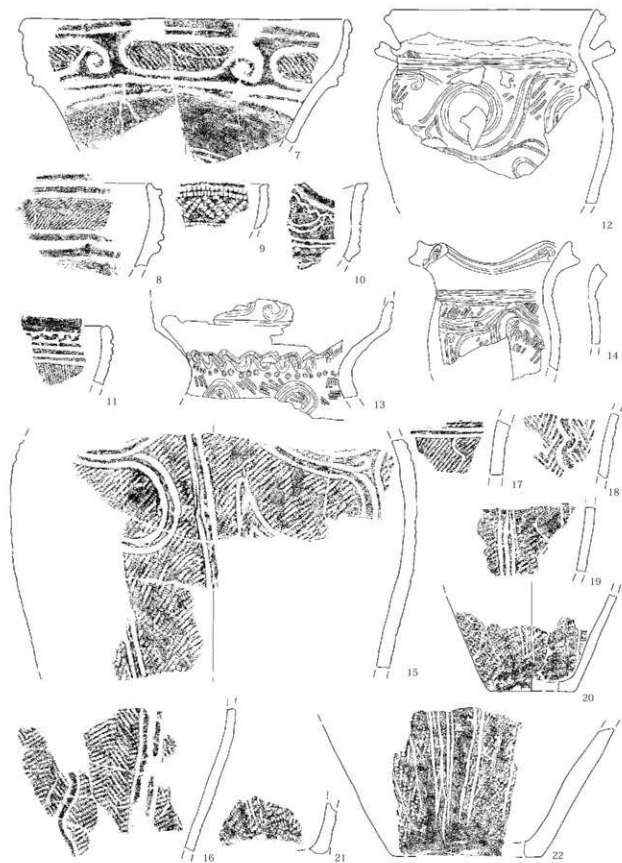
第62图 11区12号住居出土土器(1)



第63图 11区12号住居出土土器(2)

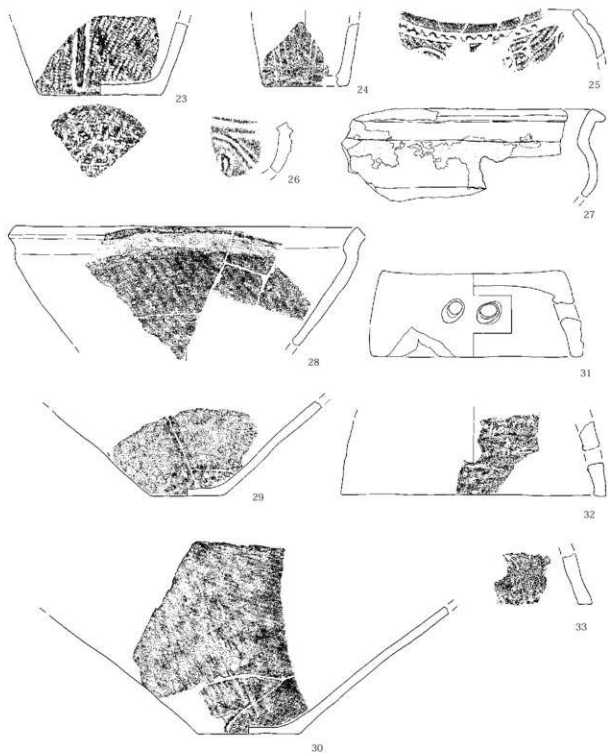


第64图 11区13号住居出土土器(1)

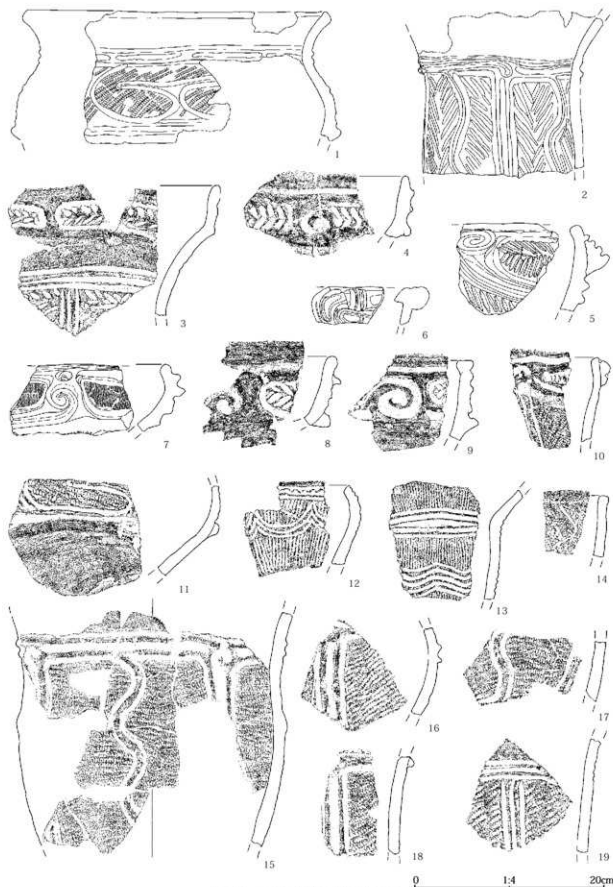


第65图 11区13号住居出土土器(2)

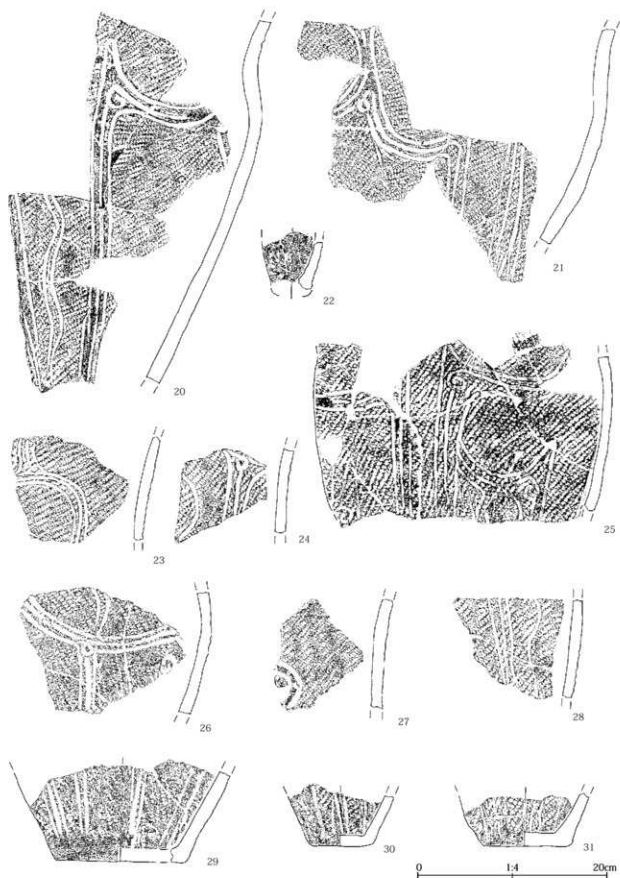




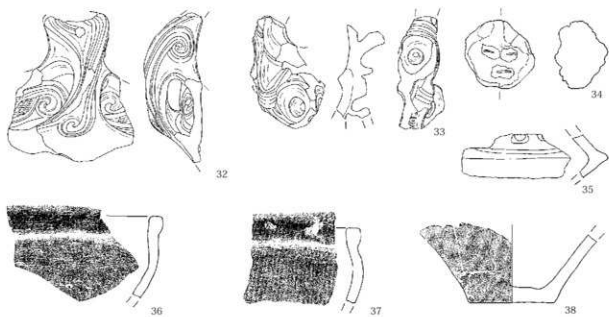
第66图 11区13号住居出土土器(3)



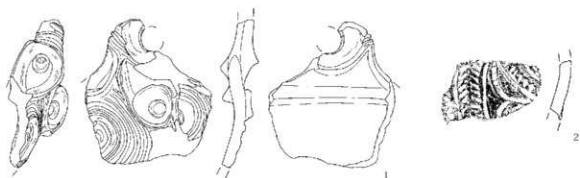
第67图 11区14号住居出土土器(1)



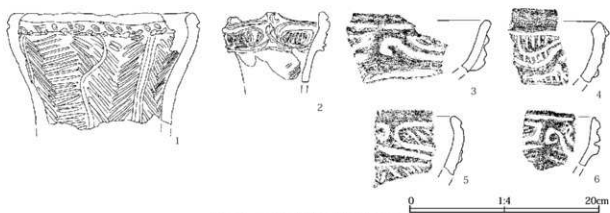
第68图 11区14号住居出土土器(2)



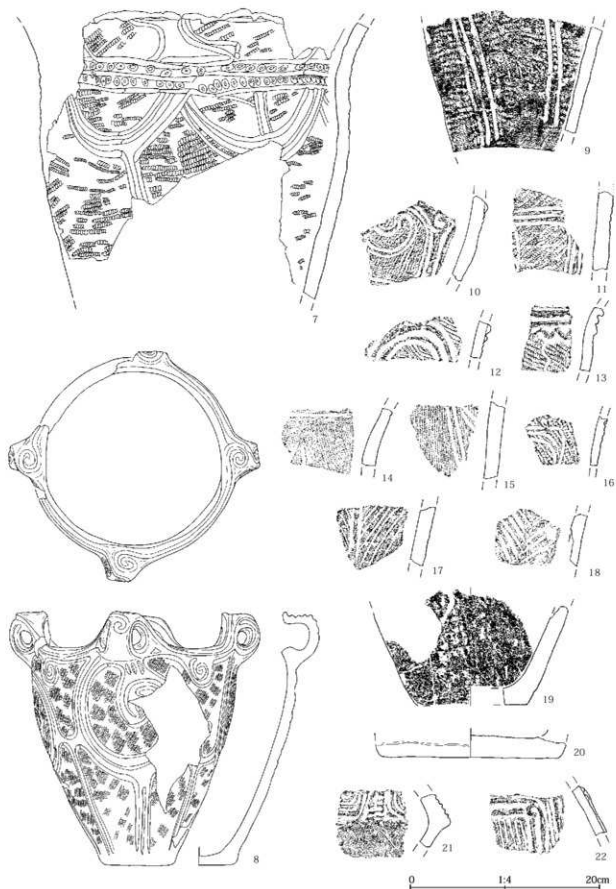
第69图 11区14号住居出土土器(3)



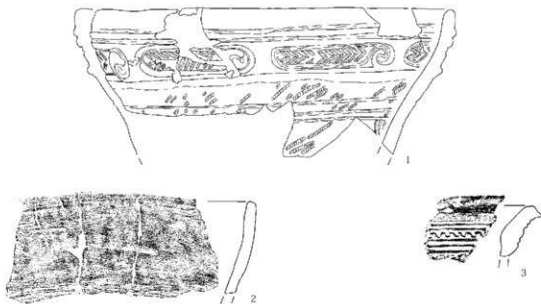
第70图 11区15号住居出土土器



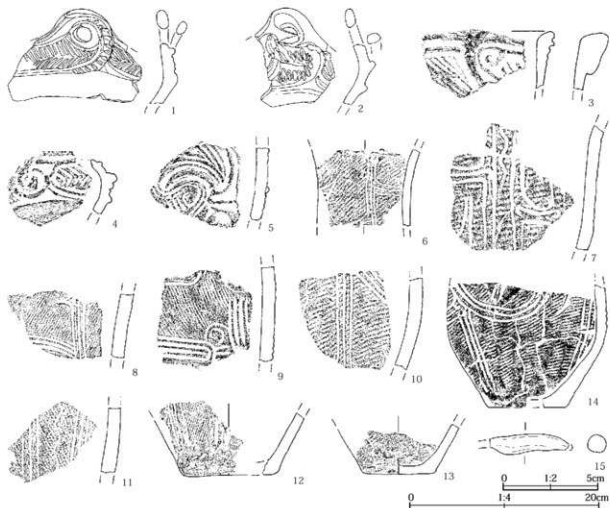
第71图 11区16号住居出土土器(1)



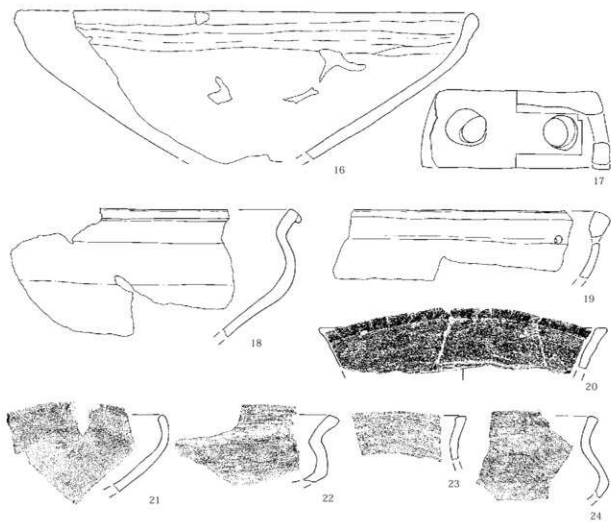
第72图 11区16号住居出土土器(2)



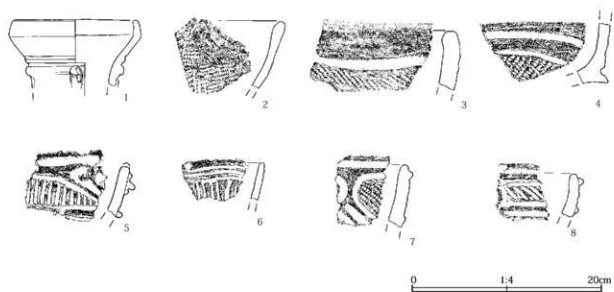
第73图 11区18号住居出土土器



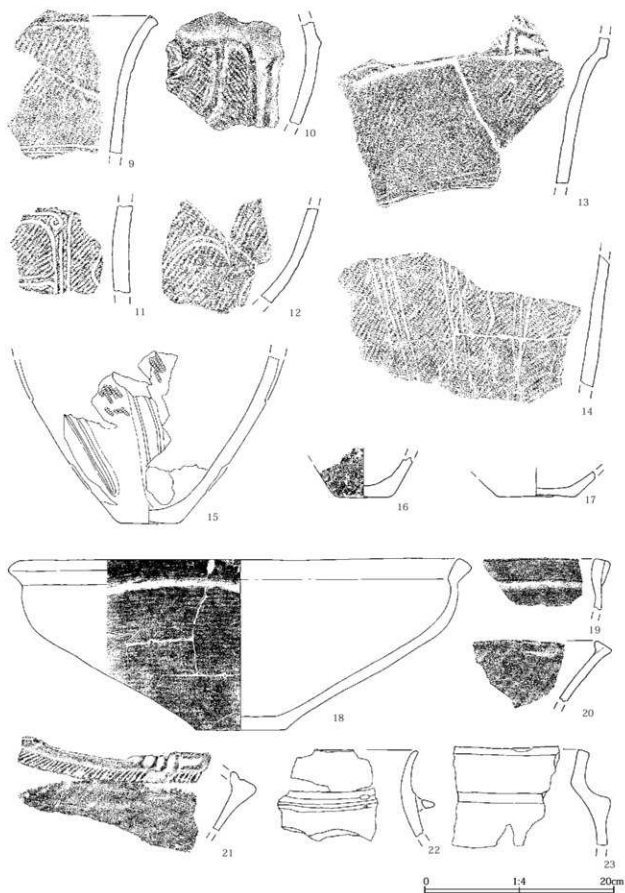
第74图 11区19号住居出土土器(1)



第75图 11区19号住居出土土器(2)

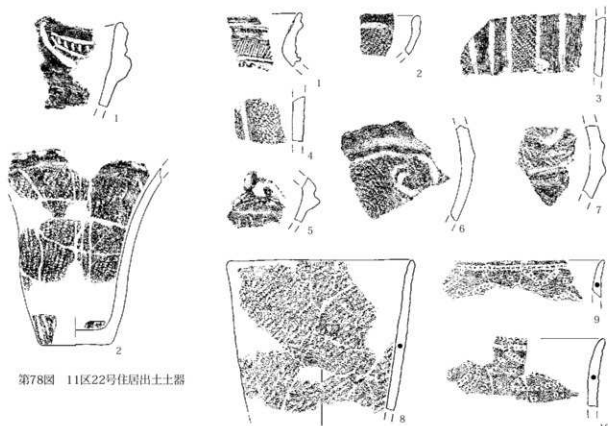


第76图 11区21号住居出土土器(1)

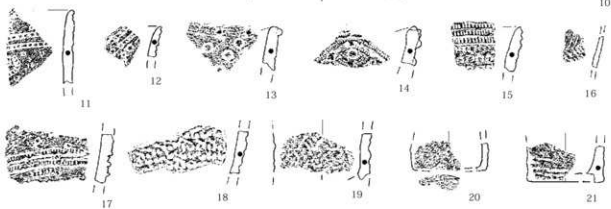


第77图 11区21号住居出土土器(2)

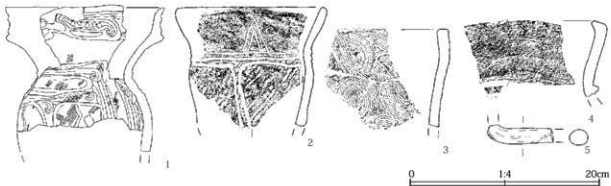




第78图 11区22号住居出土土器

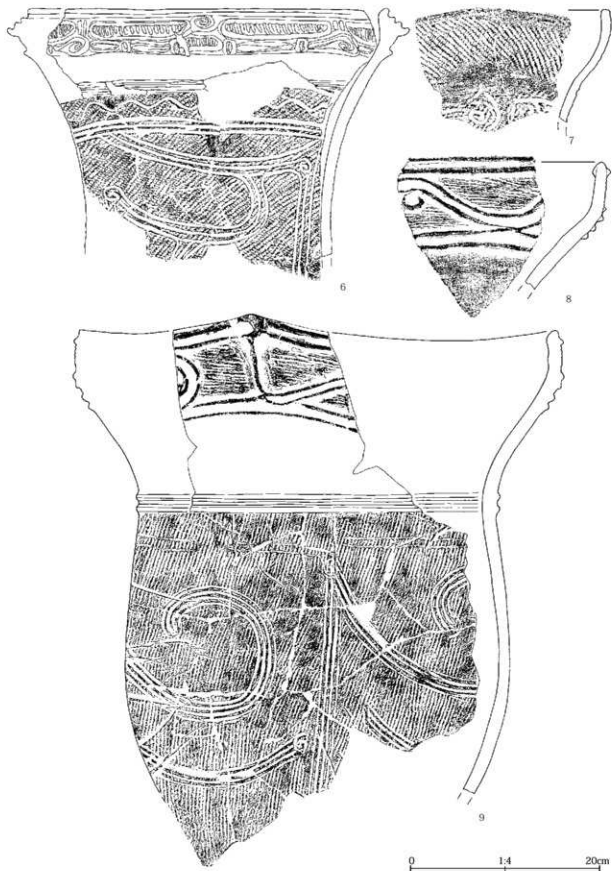


第79图 11区23号住居出土土器

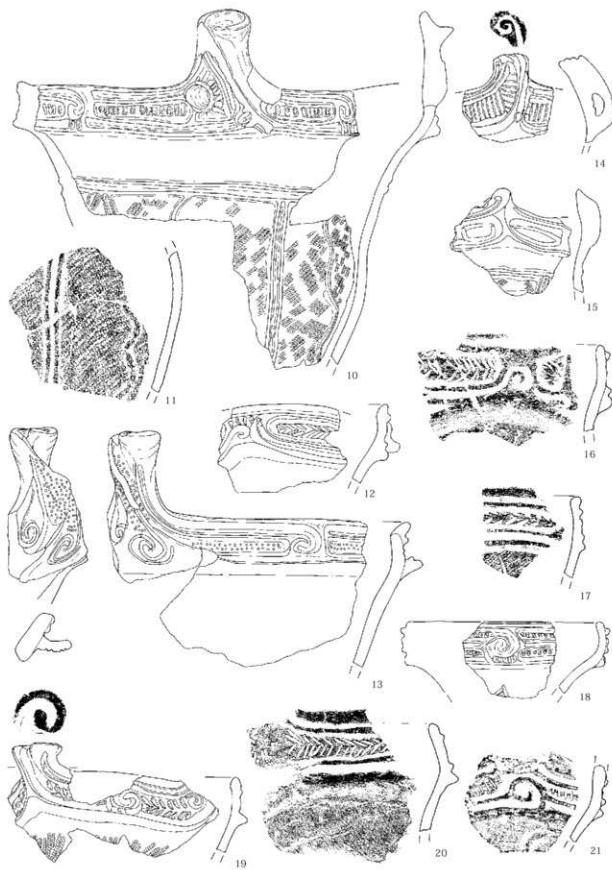


第80图 11区24号住居出土土器(1)

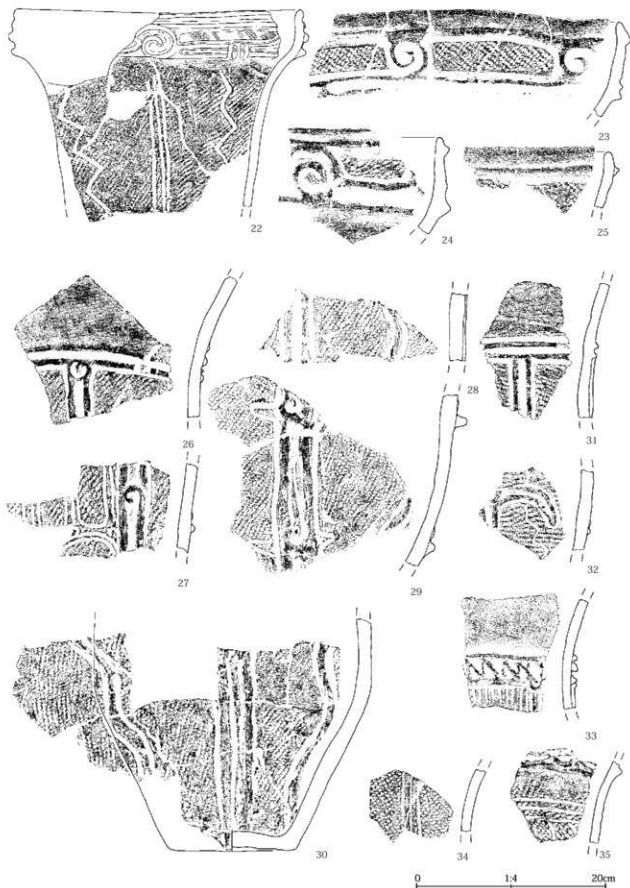
0 1:4 20cm



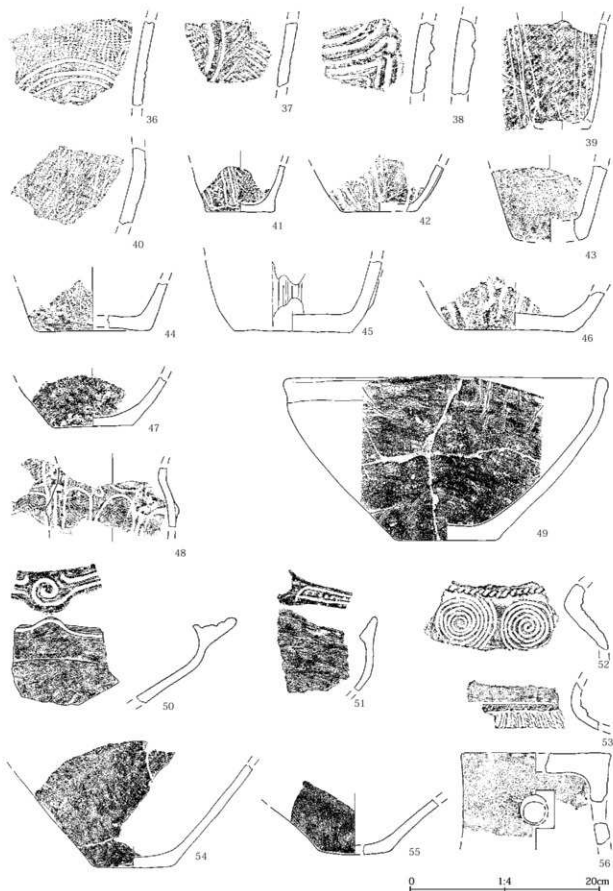
第81图 11区24号住居出土土器(2)



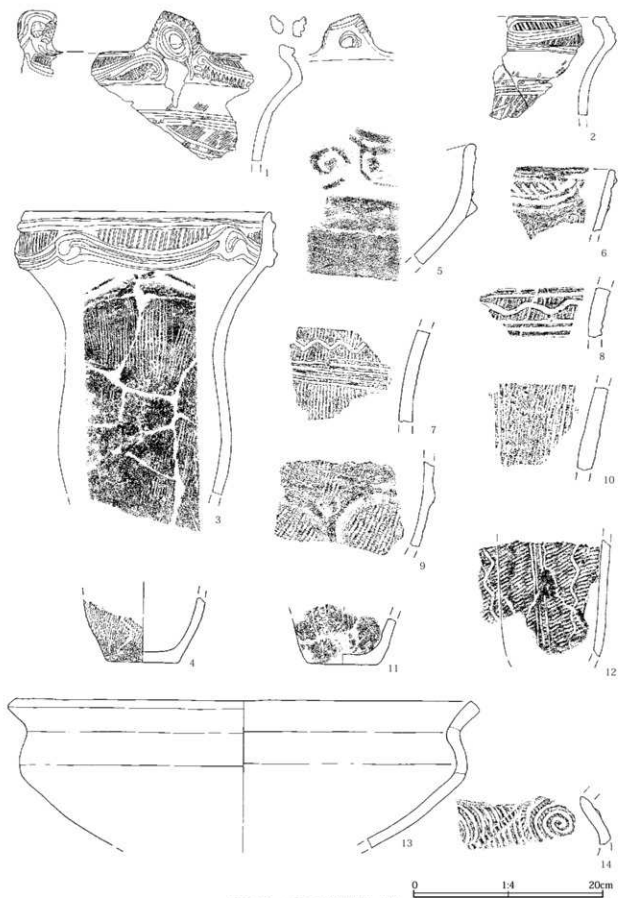
第82图 11区24号住居出土土器(3)



第83图 11区24号住居出土土器(4)



第84图 11区24号住居出土土器(5)



第85图 11区25号住居出土土器



第86图 11区26号住居出土土器



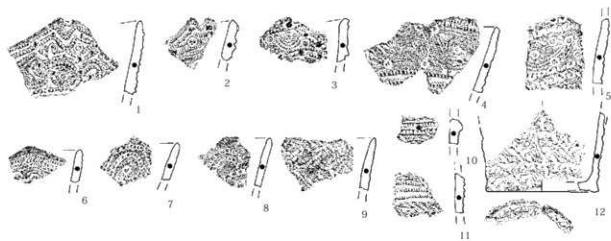
0 1:4 20cm

第87图 11区27号住居出土土器

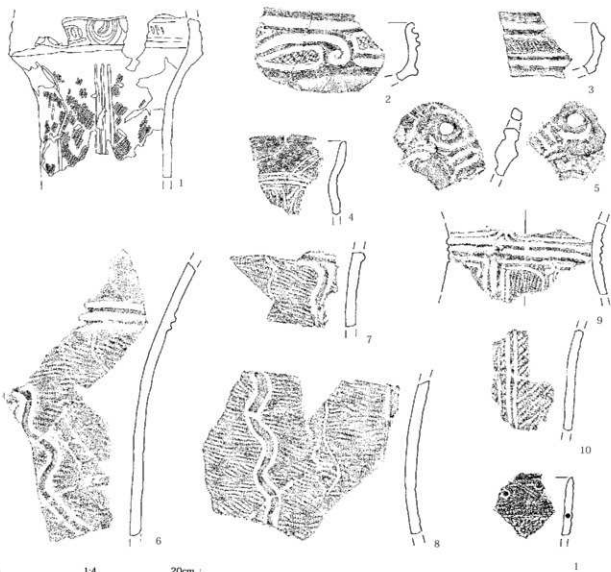


第88图 11区28号住居出土土器





第89图 11区29号住居出土土器

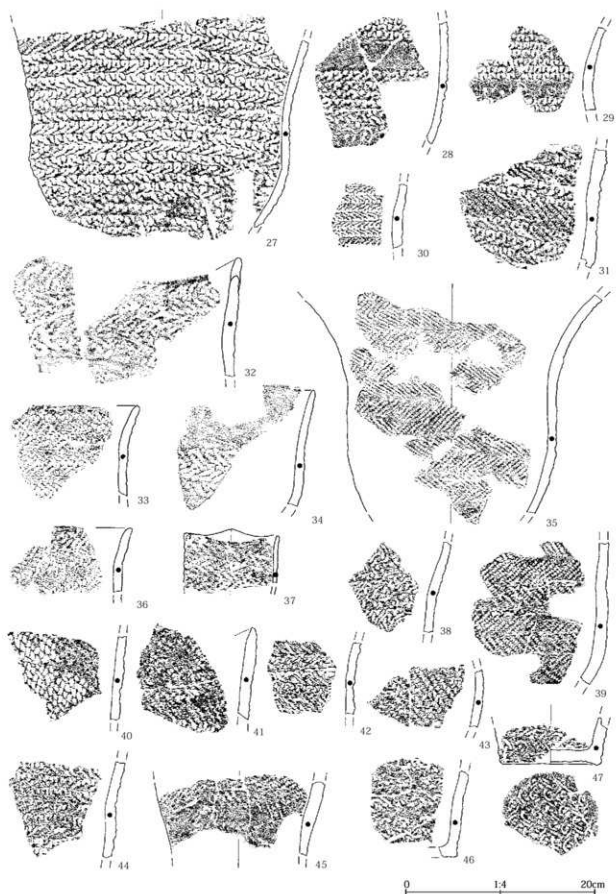


第90图 11区30号住居出土土器

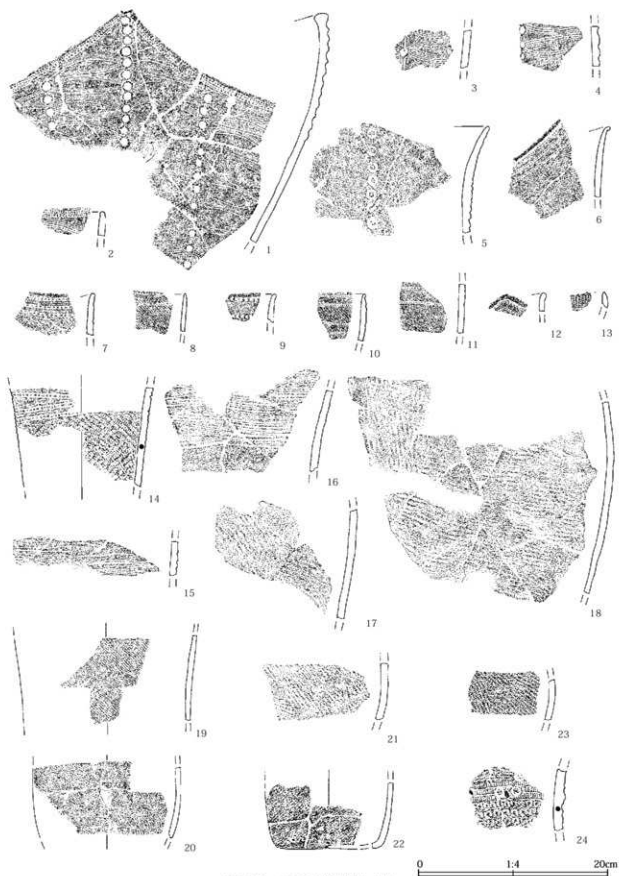
第91图 11区31号住居出土土器



第92图 11区32号住居出土土器(1)

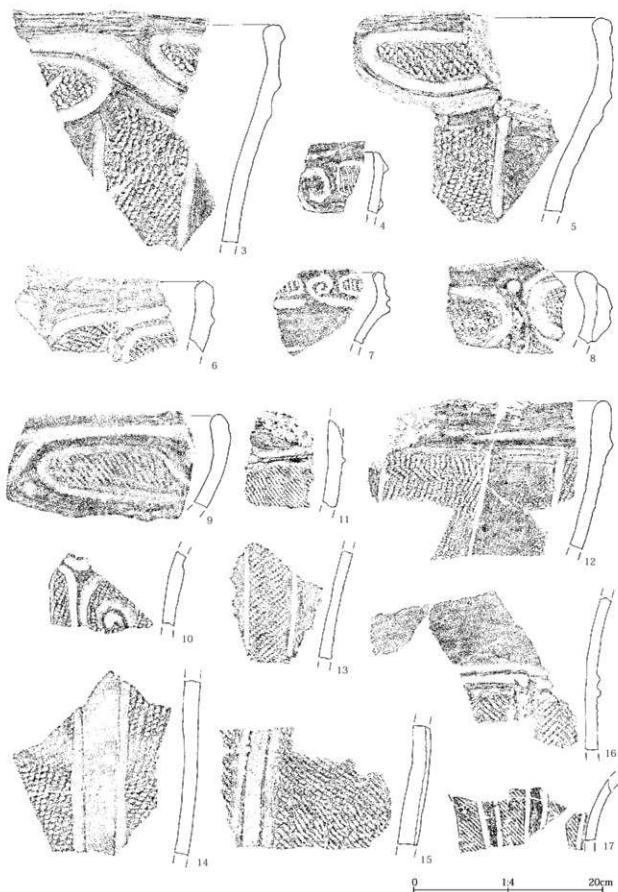


第93图 11区32号住居出土土器(2)

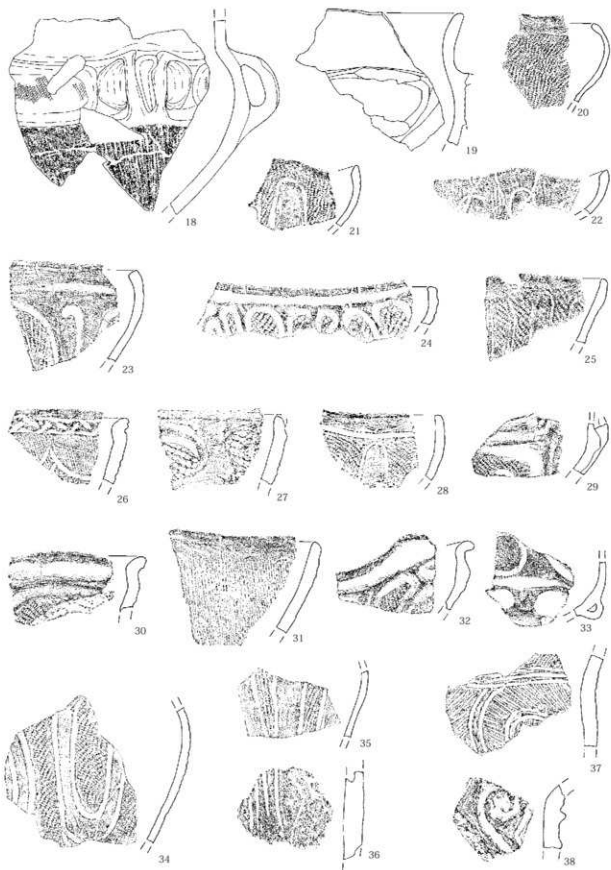


第94图 11区33号住居出土土器



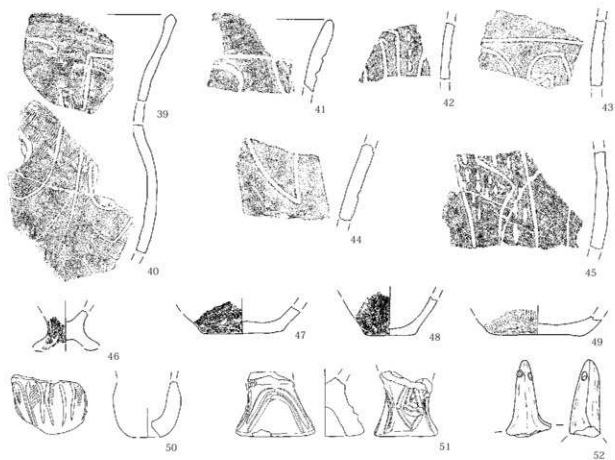


第98图 11区37号住居出土土器(2)

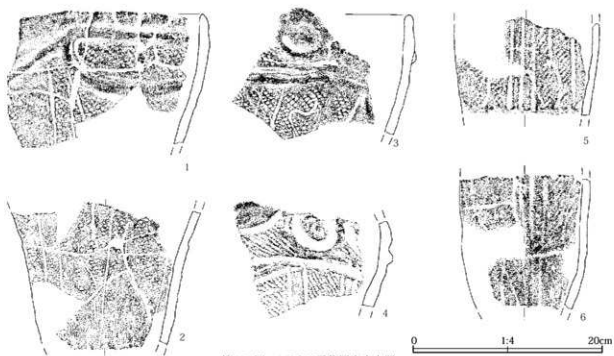


第99图 11区37号住居出土土器(3)

0 1.4 20cm

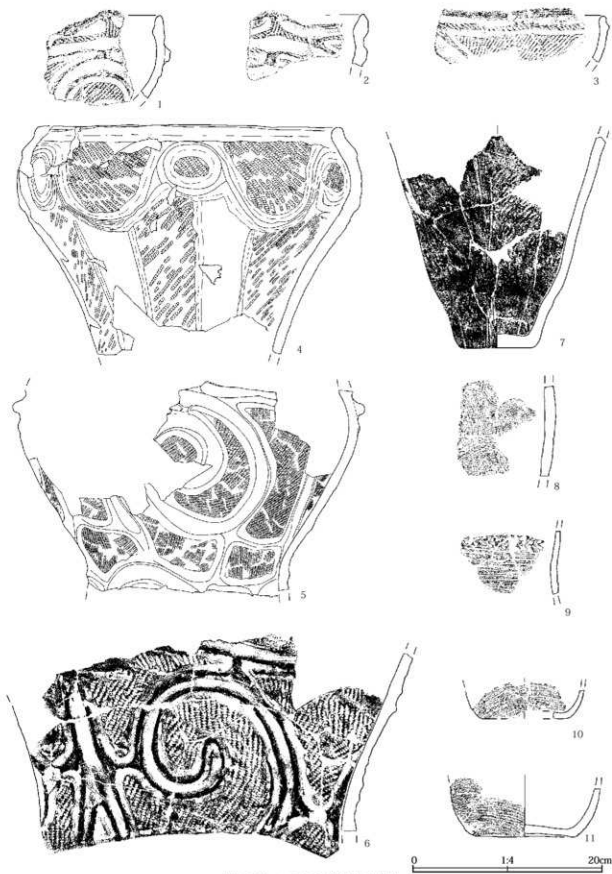


第100图 11区37号住居出土土器(4)

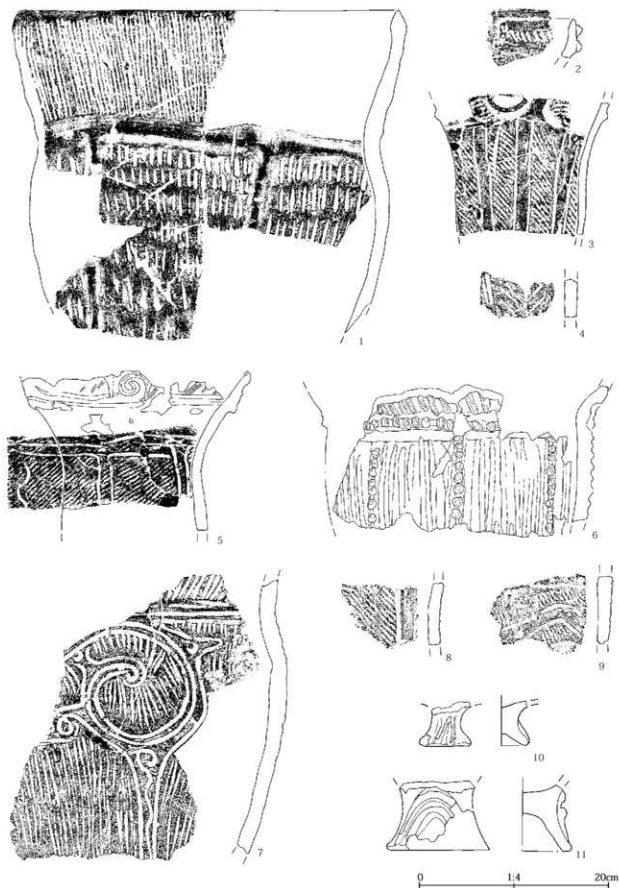


第101图 11区38号住居出土土器

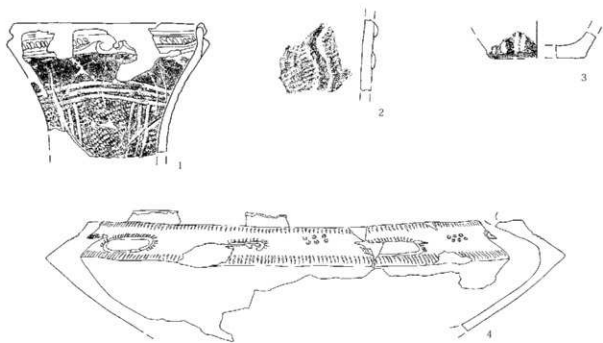




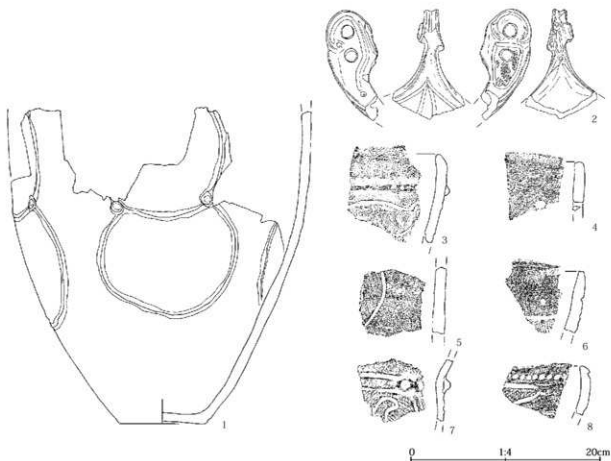
第102图 11区39号住居出土土器



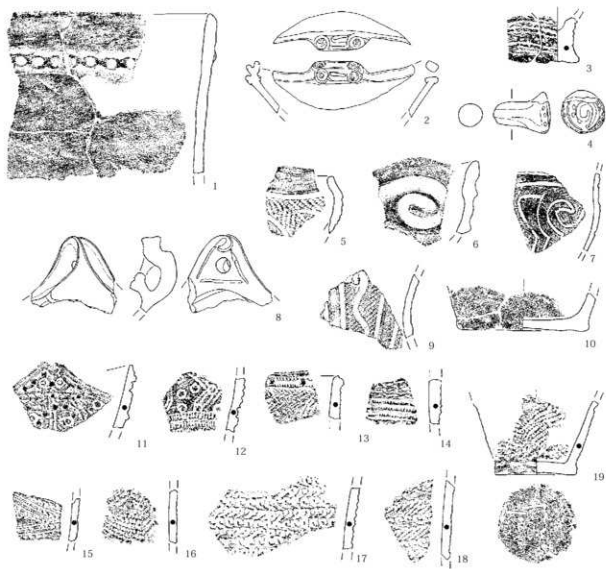
第103图 11区40号住居出土土器



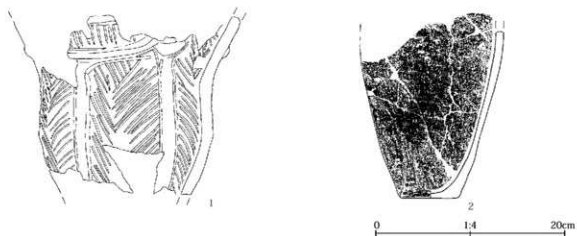
第104图 11区41号住居出土土器



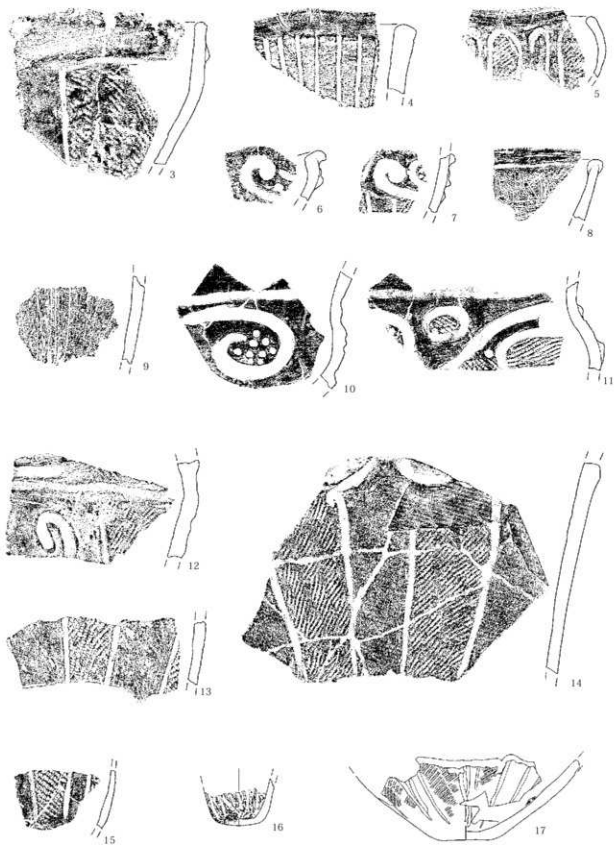
第105图 11区42号住居出土土器



第106图 11区43号住居出土土器

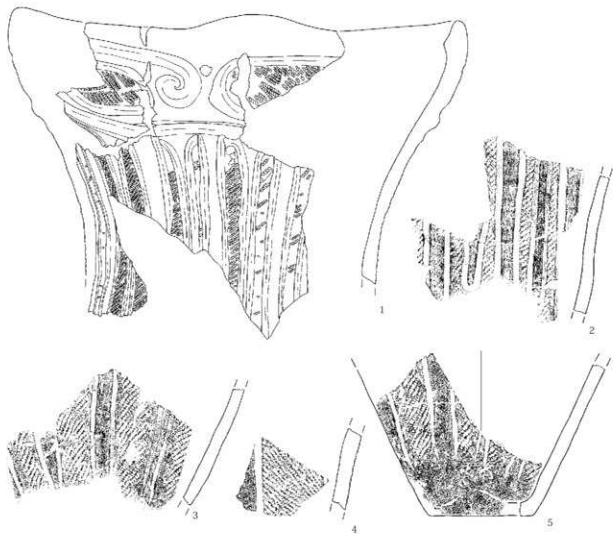


第107图 11区45号住居出土土器(1)



0 1:4 20cm

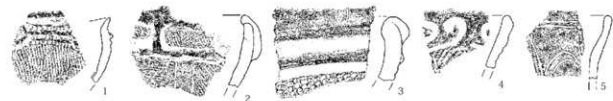
第108图 11区45号住居出土土器(2)



第109图 11区46号住居出土土器

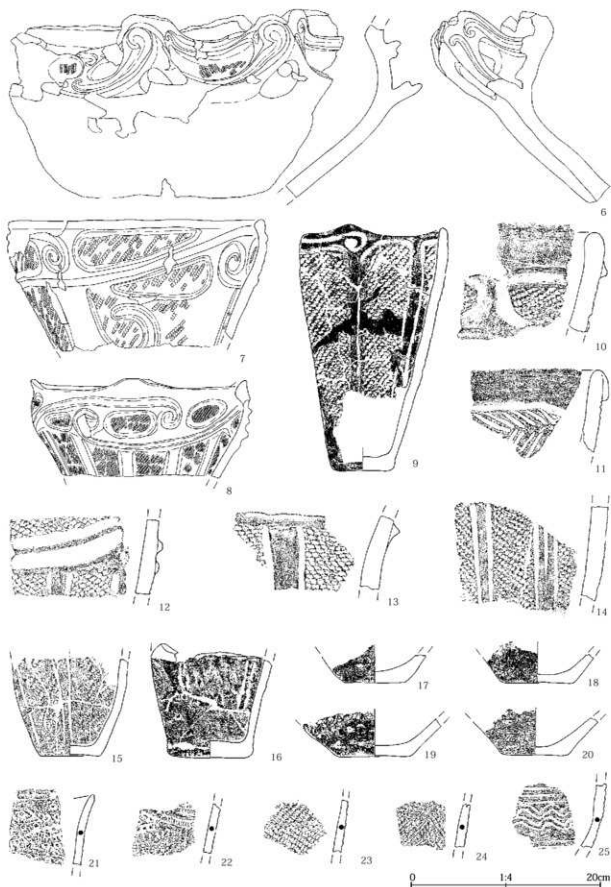


第110图 11区47号住居出土土器

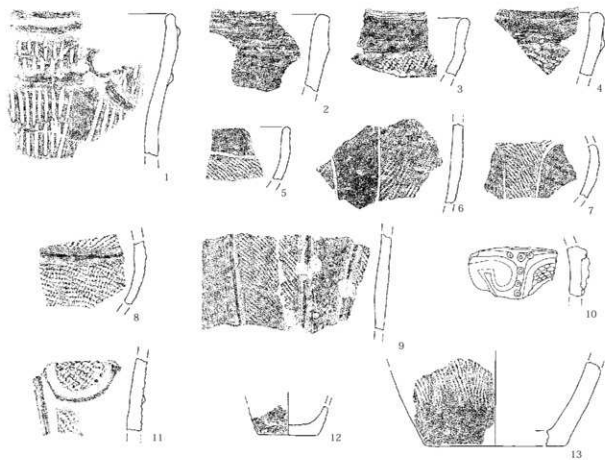


第111图 11区49号住居出土土器(1)

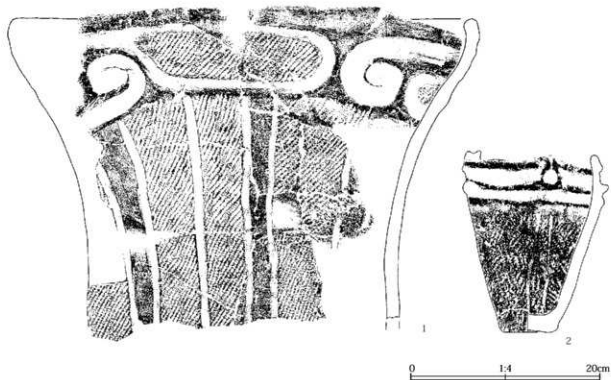
0 1:4 20cm



第112图 11区49号住居出土土器(2)

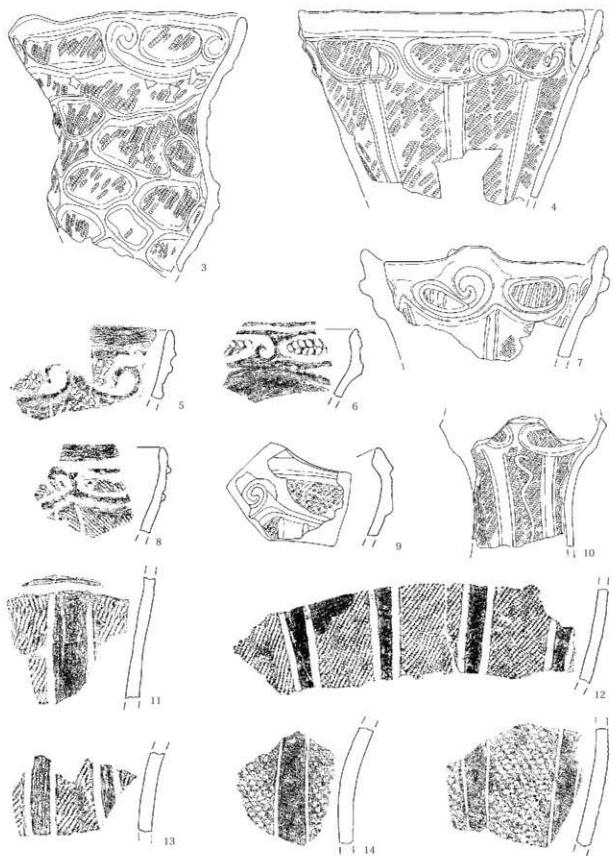


第113圖 11区50号住居出土土器

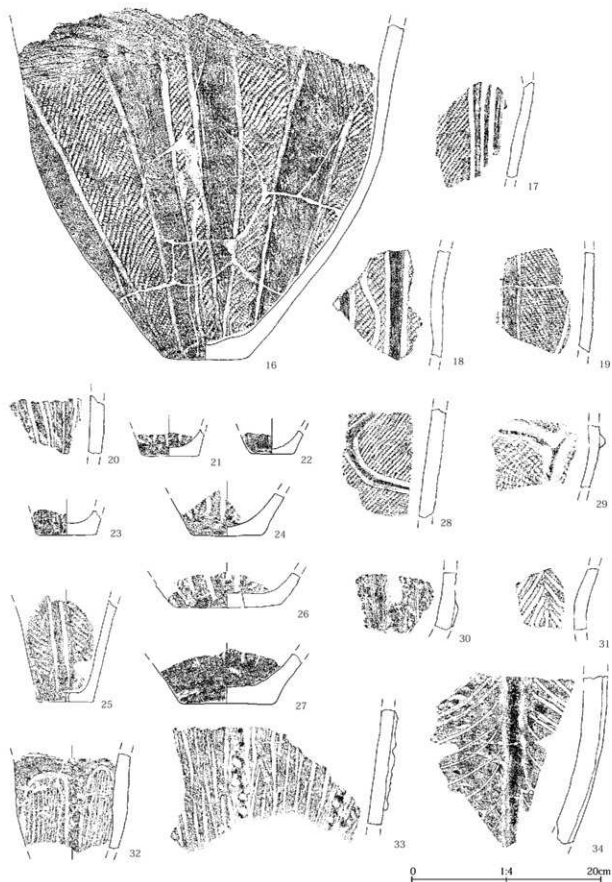


第114圖 11区51号住居出土土器(1)

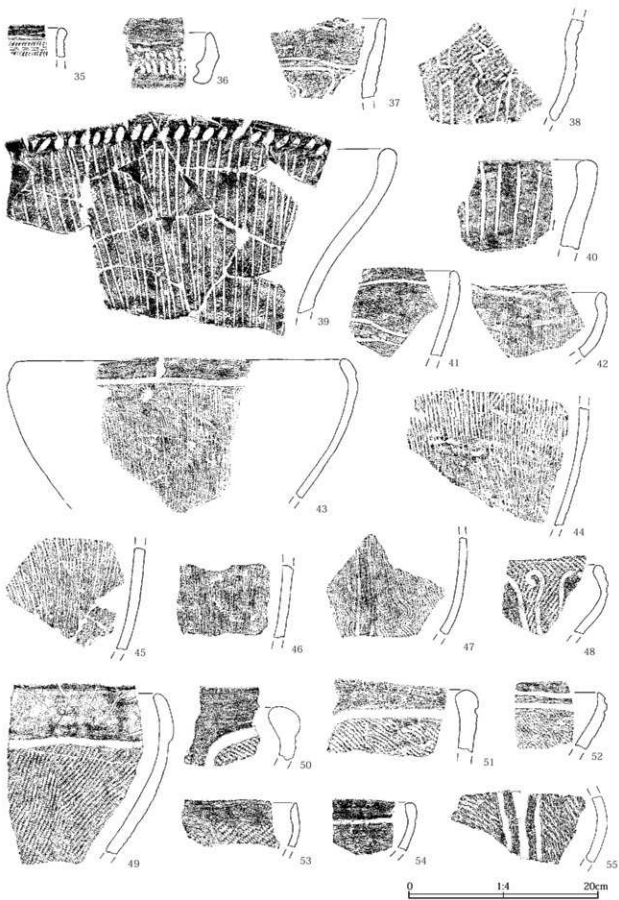




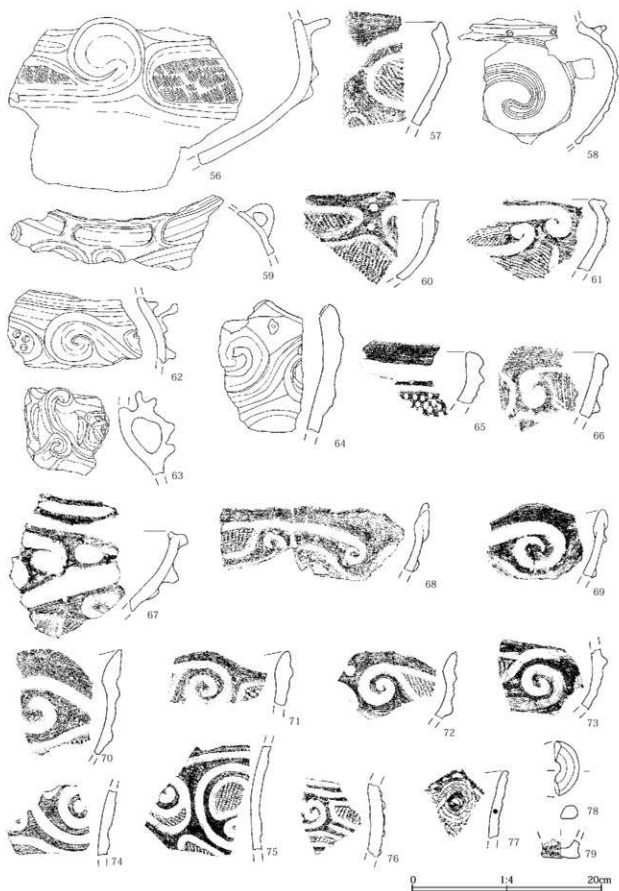
第115图 11区51号住居出土土器(2)



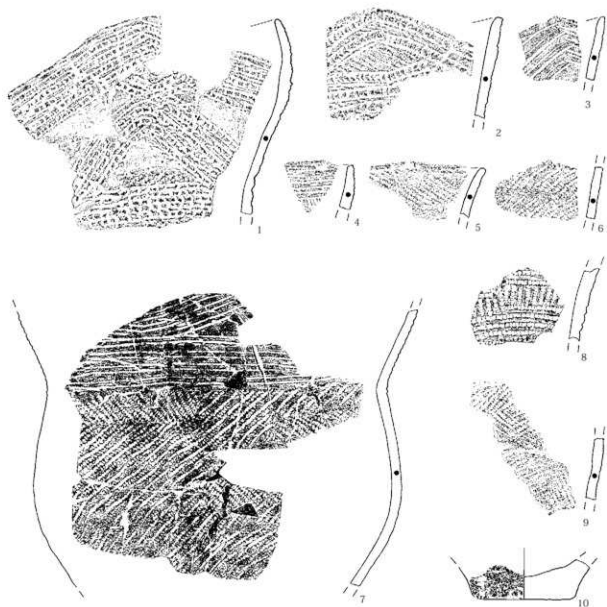
第116图 11区51号住居出土土器(3)



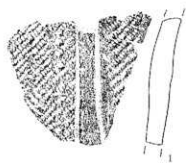
第117图 11区51号住居出土土器(4)



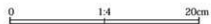
第118图 11区51号住居出土土器(5)

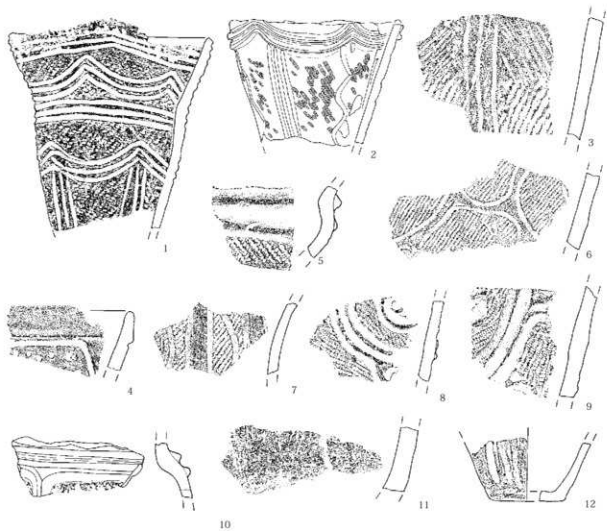


第119图 11区52号住居出土土器

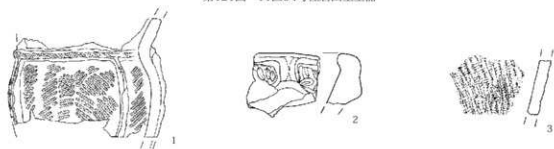


第120图 11区53号住居出土土器

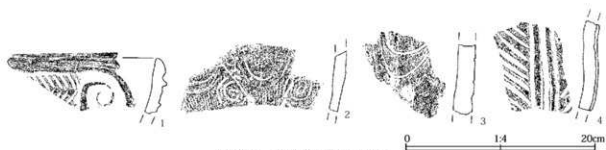




第121图 11区54号住居出土土器



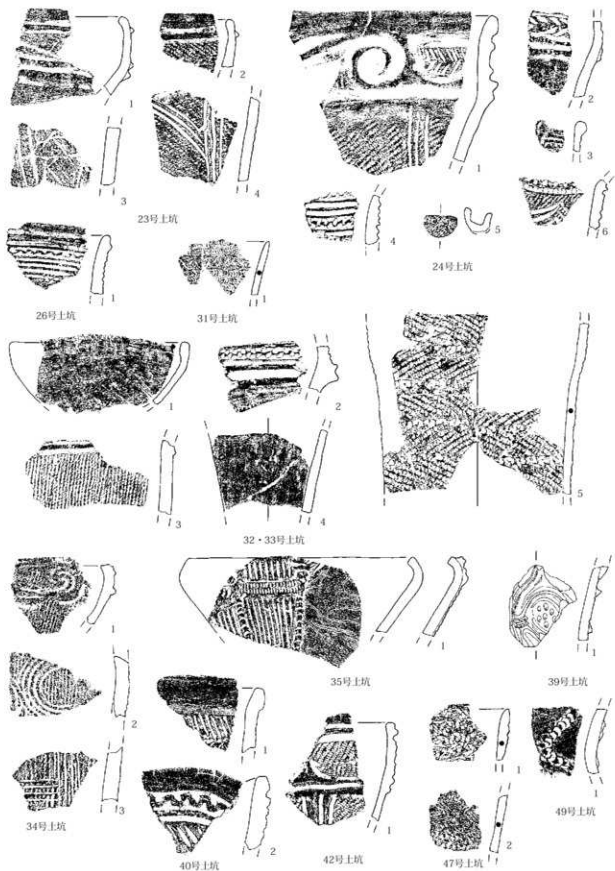
第122图 11区55号住居出土土器



第123图 11区56号住居出土土器

0 14 20cm

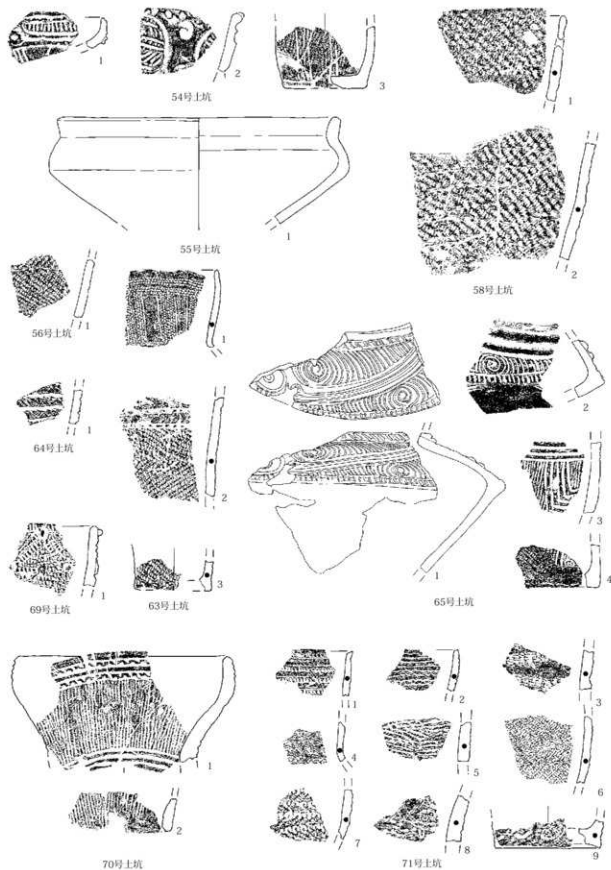




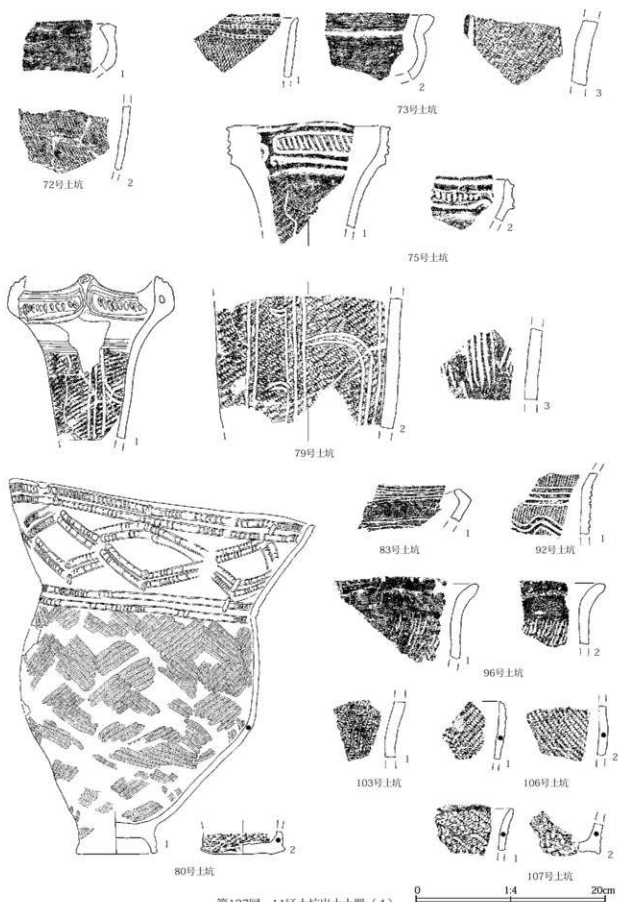
第125图 11区土坑出土土器(2)

0 1.4 20cm

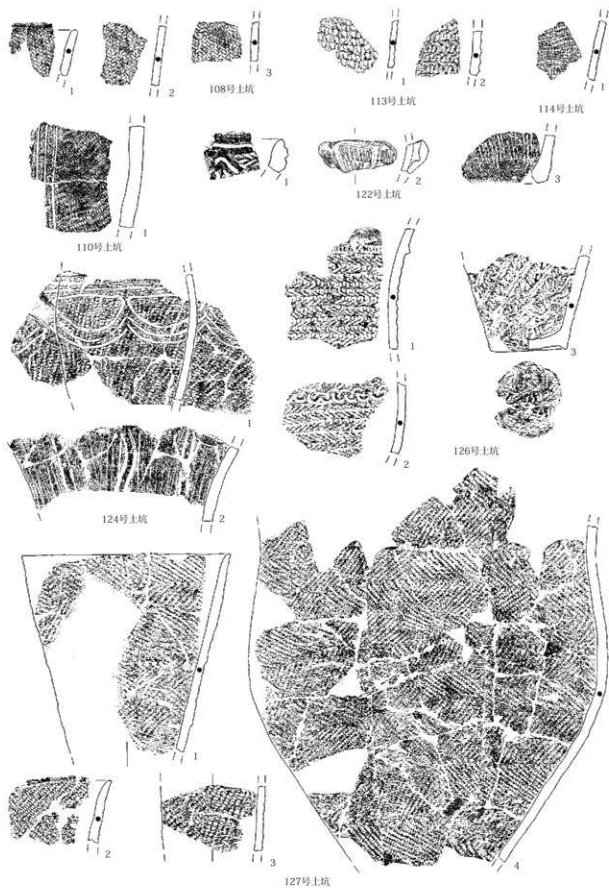




第126图 11区土坑出土土器(3)

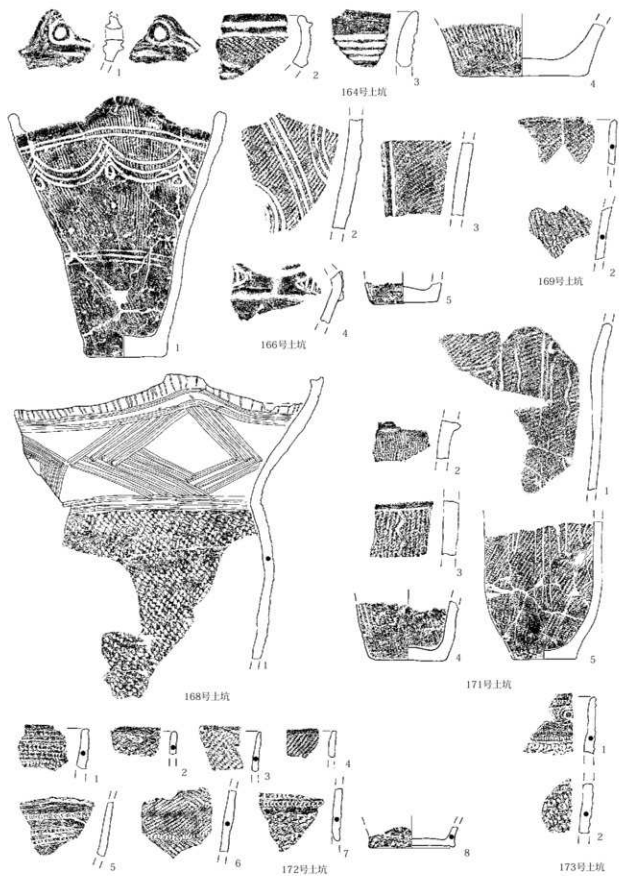


第127图 11区土坑出土土器(4)



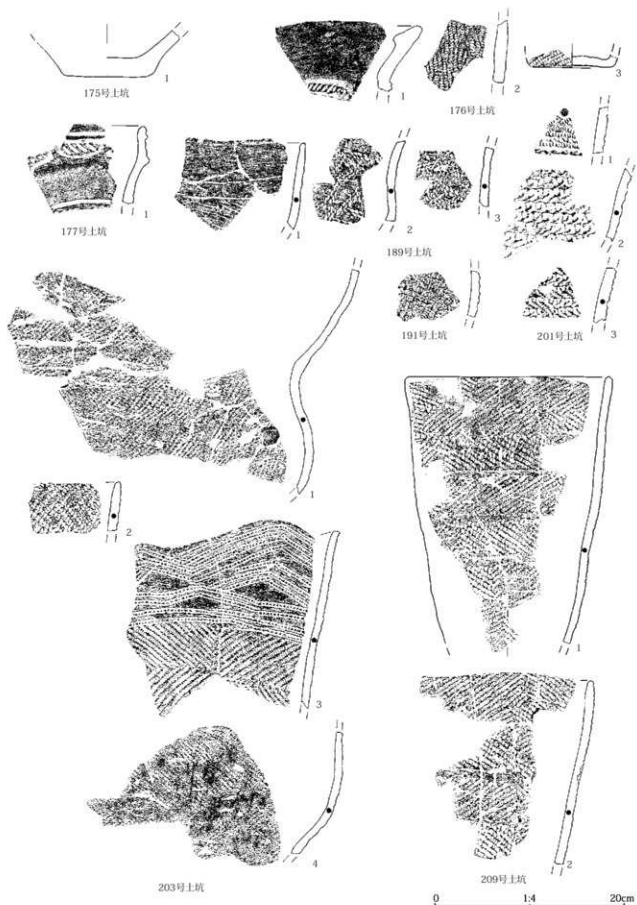


第129图 11区土坑出土土器(6)

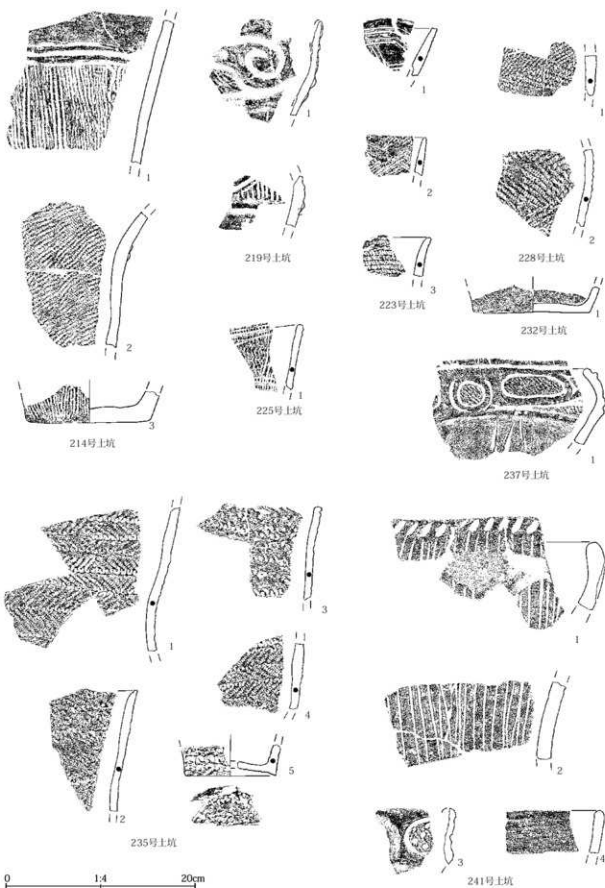


第130图 11区土坑出土土器(7)

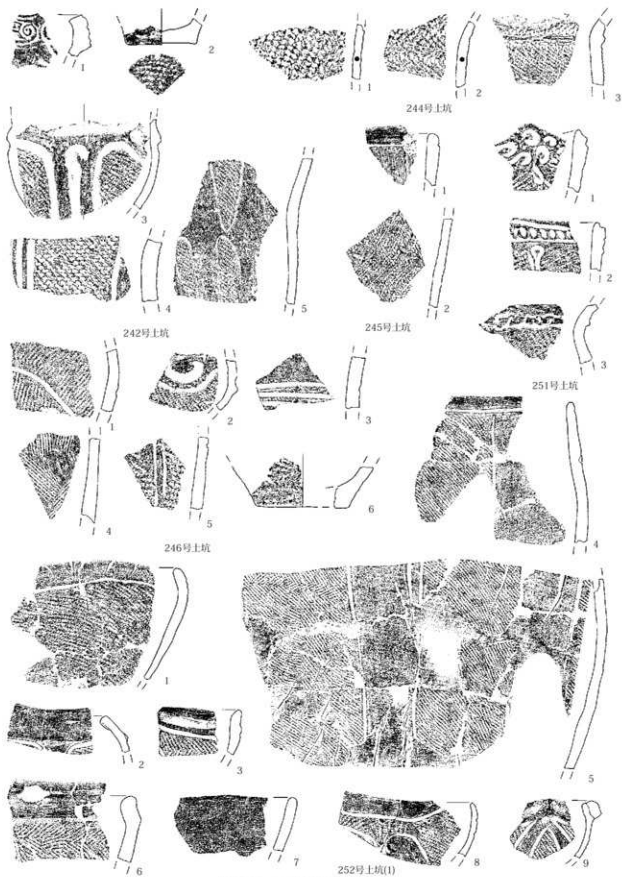
0 1:4 20cm



第131图 11区土坑出土土器(8)



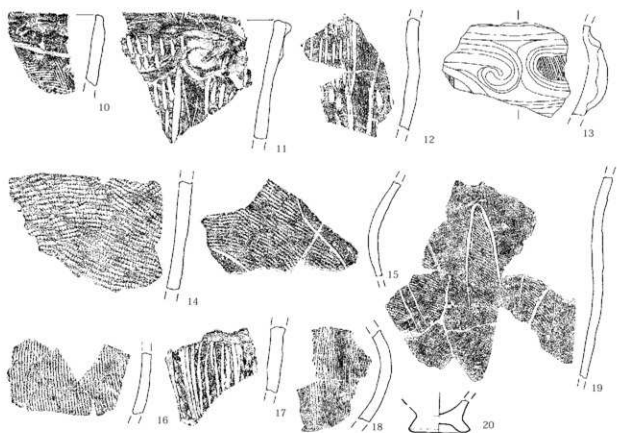
第132图 11区土坑出土土器(9)



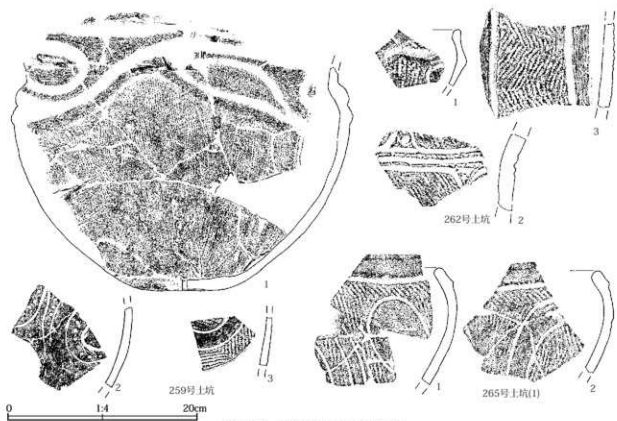
第133图 11区土坑出土土器(10)

0 1:4 20cm

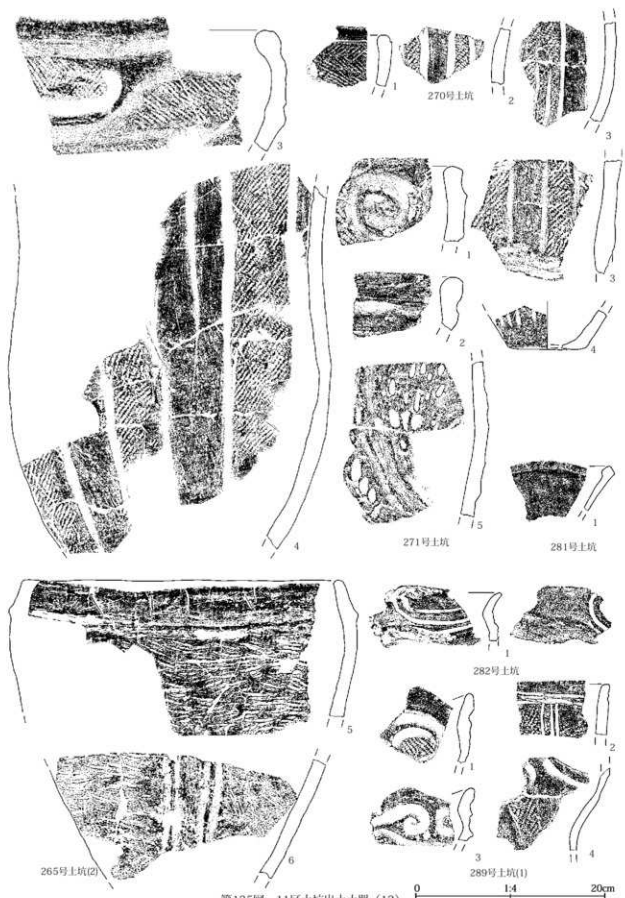




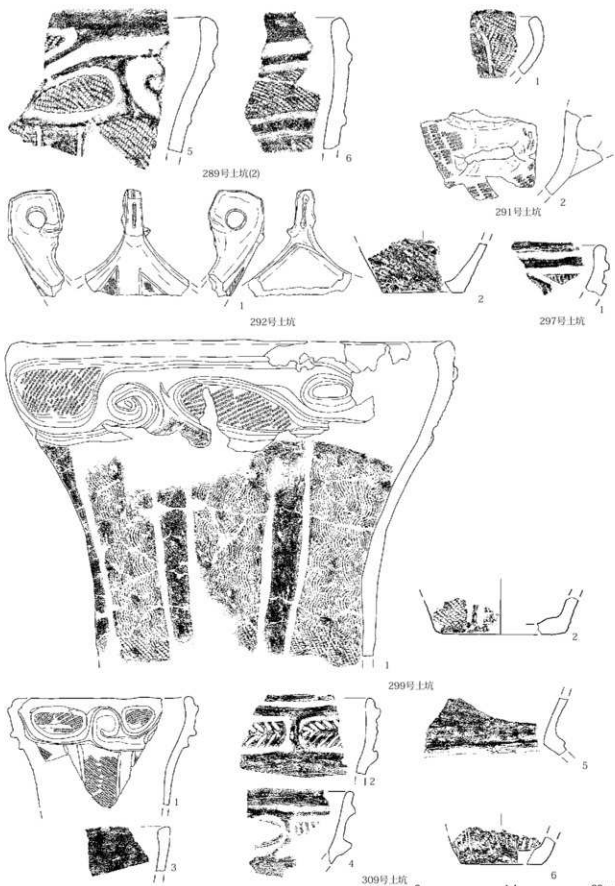
252号土坑(2)



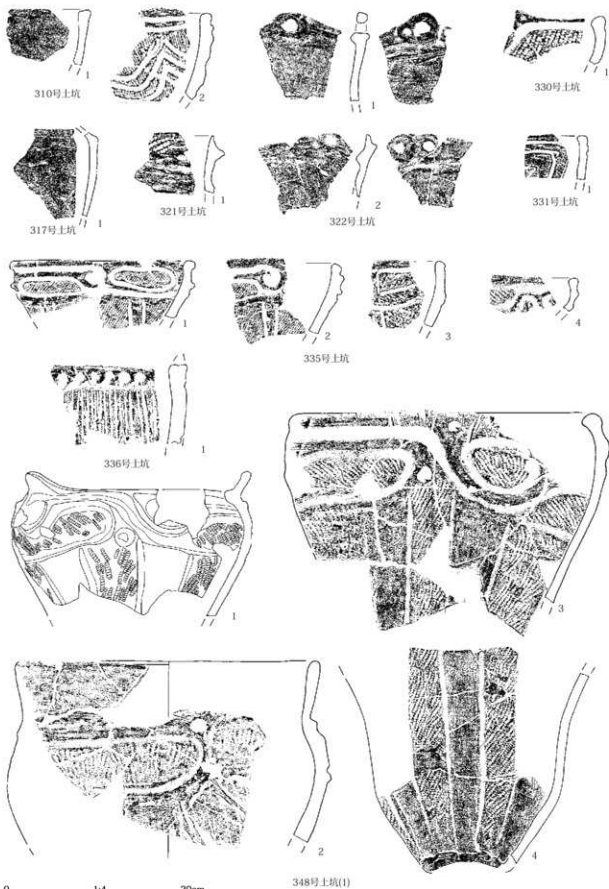
第134图 11区土坑出土土器(11)



第135图 11区土坑出土土器 (12)



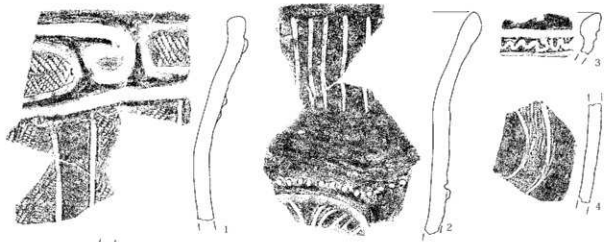
第136图 11区土坑出土土器(13)



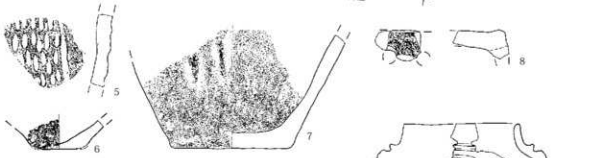
第137图 11区土坑出土土器 (14)



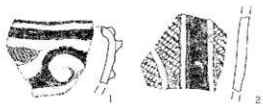
348号土坑(2)



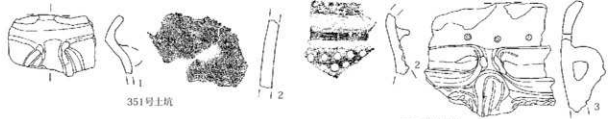
349号土坑



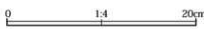
350号土坑



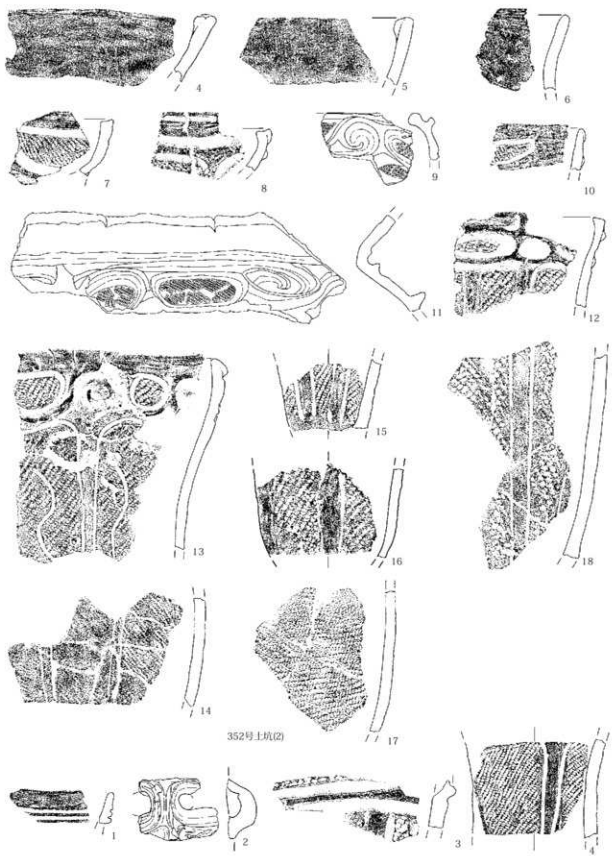
351号土坑



352号土坑(1)



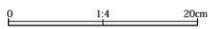
第138图 11区土坑出土土器 (15)

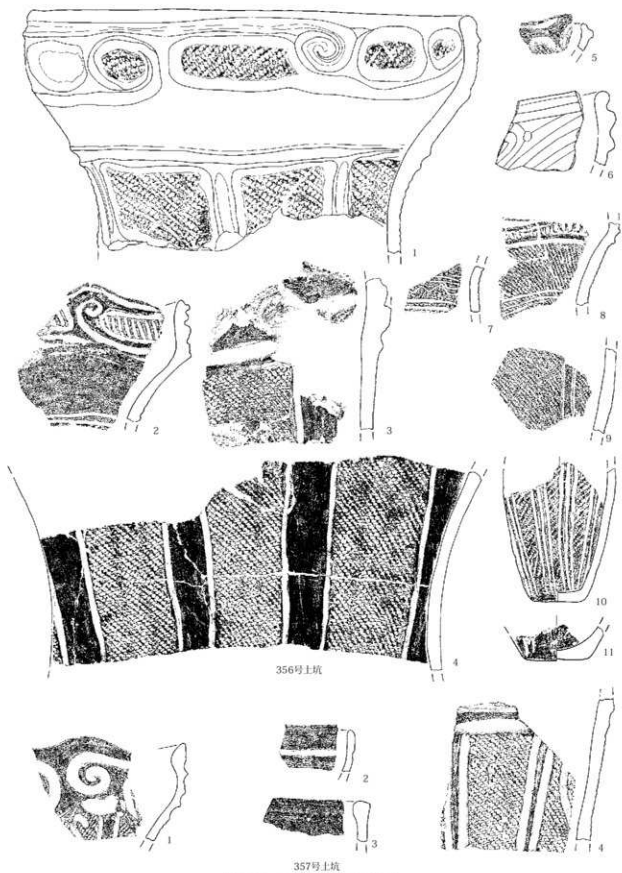


352号土坑(2)

355号土坑

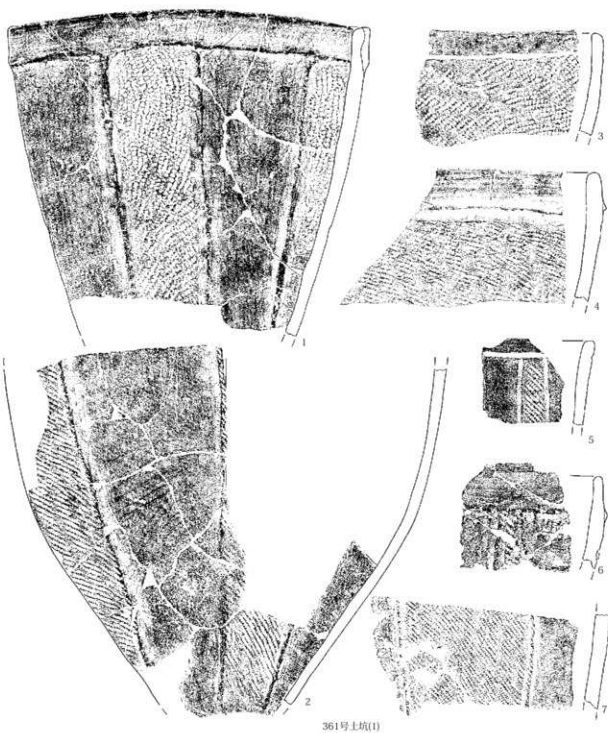
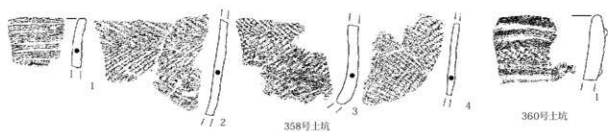
第139图 11区土坑出土土器(16)





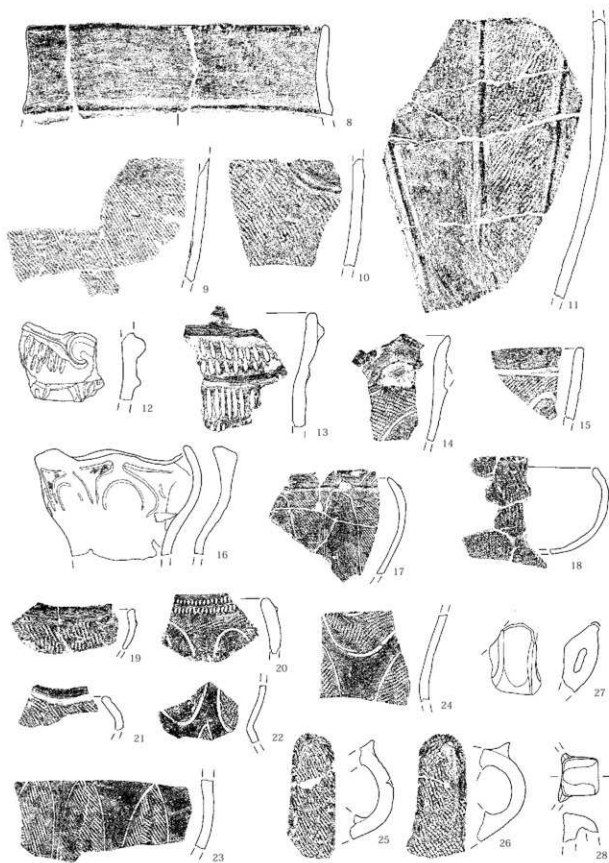
第140图 11区土坑出土土器 (17)

0 1:4 20cm



第141图 11区土坑出土土器 (18)



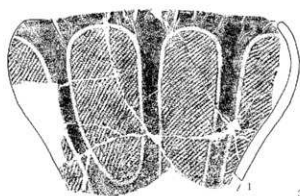


361号土坑(2)

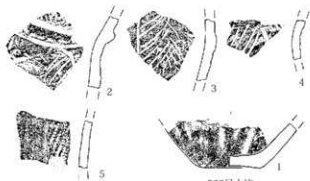
第142图 11区土坑出土土器 (19)

0 1:4 20cm

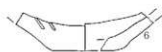
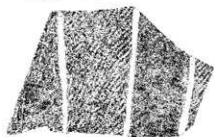
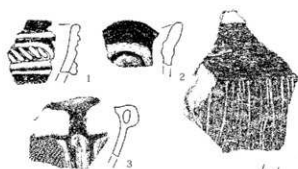




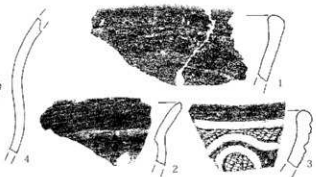
368号土坑



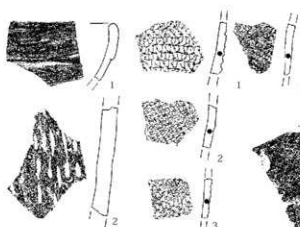
369号土坑



370号土坑

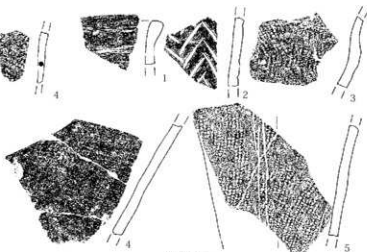


372号土坑



374号土坑

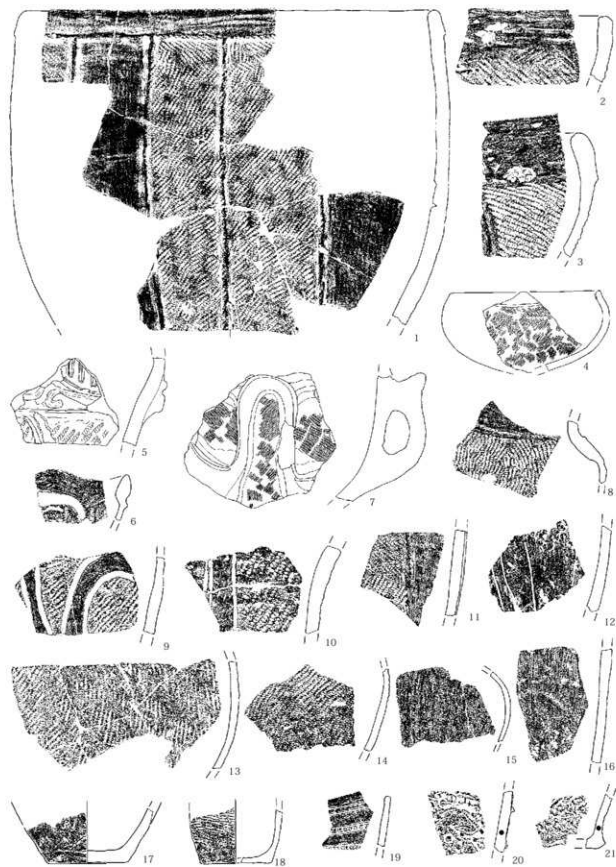
379号土坑



380号土坑

第144图 11区土坑出土土器 (21)



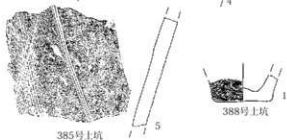


0 1:4 20cm

381号土坑  
第145图 11区土坑出土土器(22)

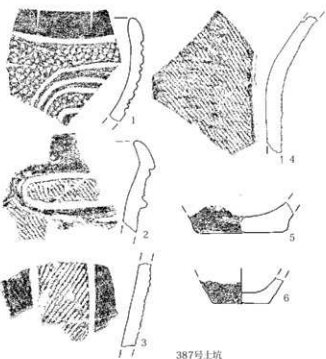


383号土坑

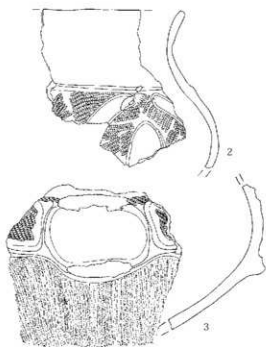
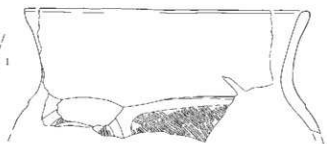


385号土坑

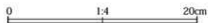
388号土坑



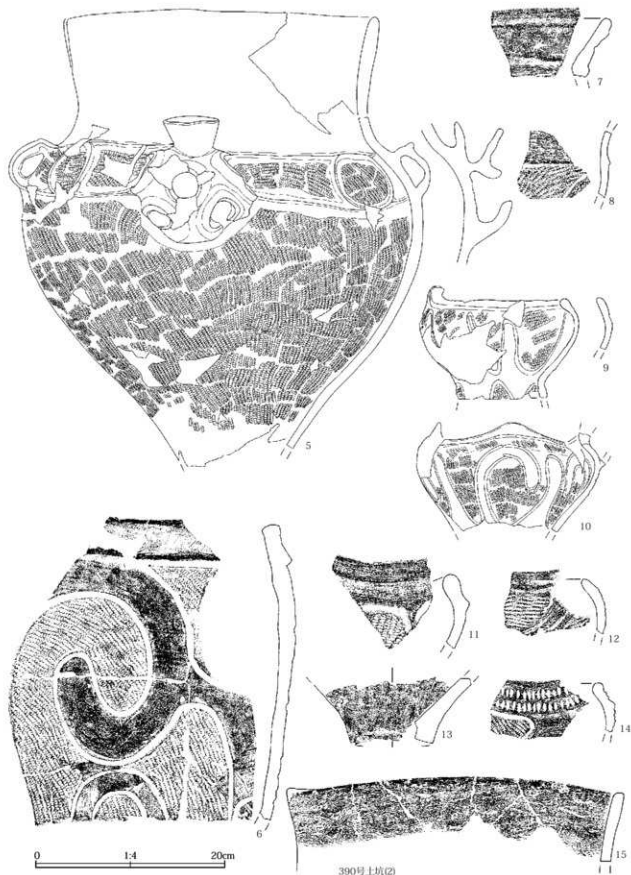
387号土坑

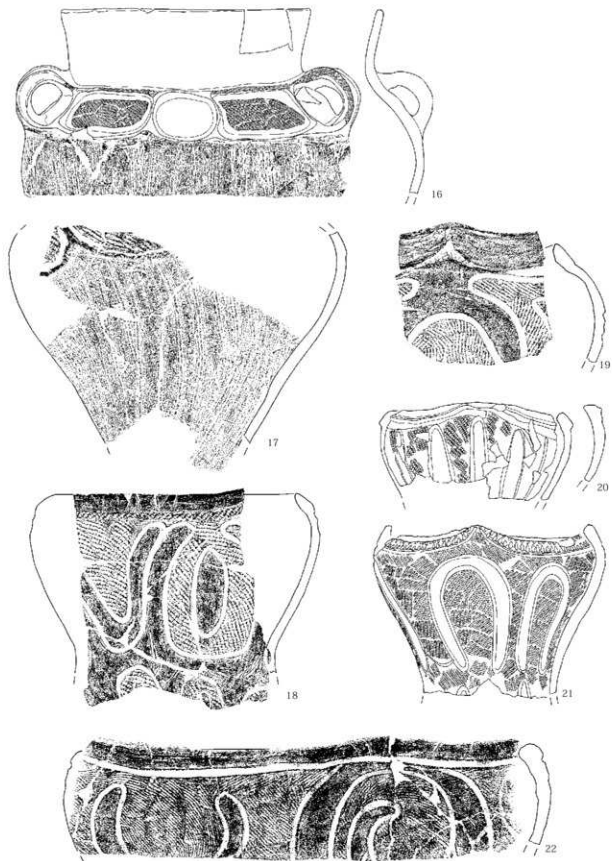


390号土坑(1)



第146图 11区土坑出土土器(23)

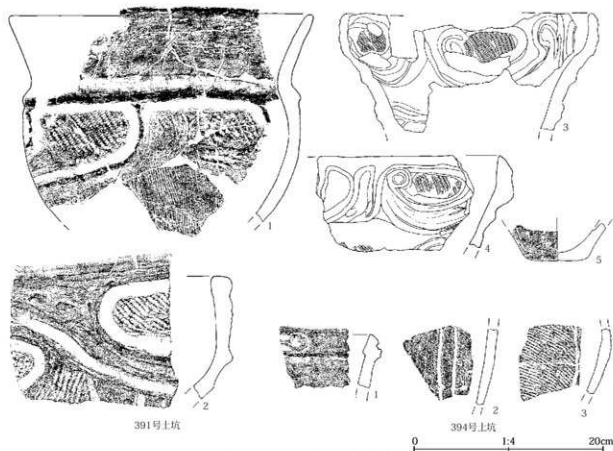
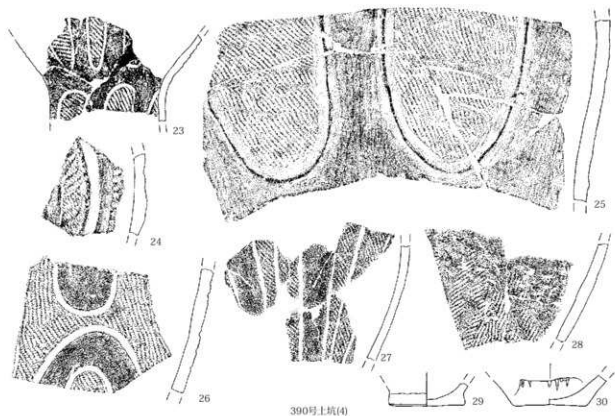




0 1:4 20cm

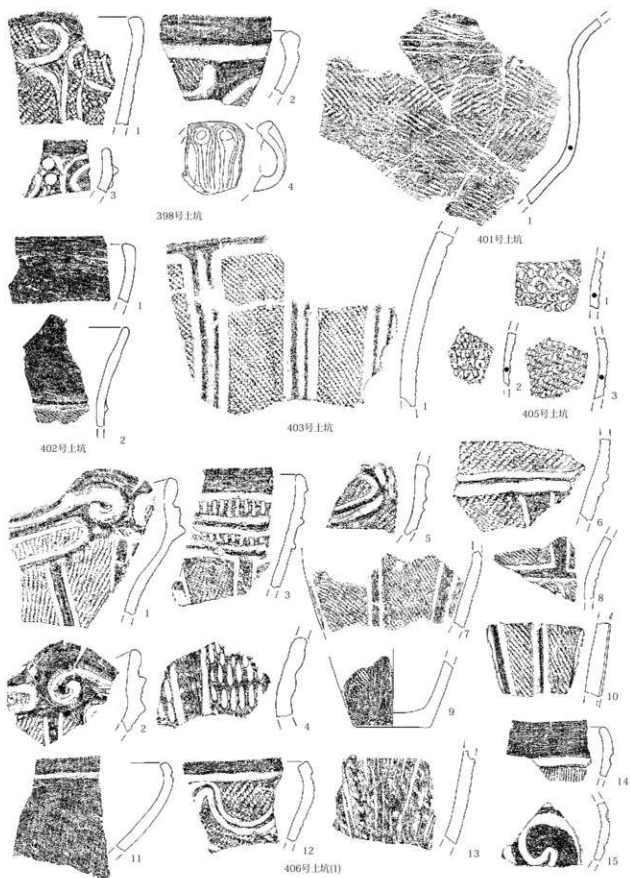
390号土坑(3)

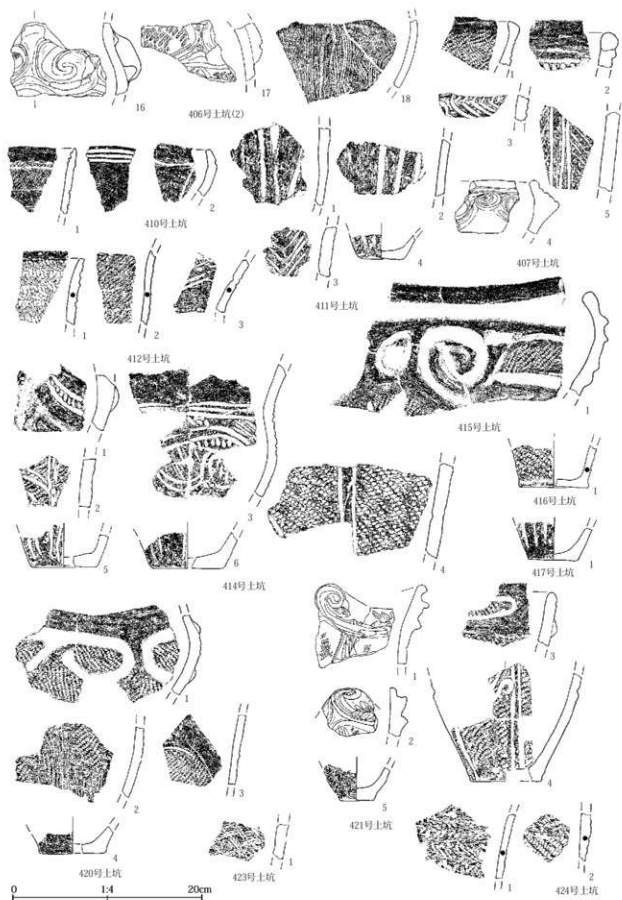
第148图 11区土坑出土土器 (25)



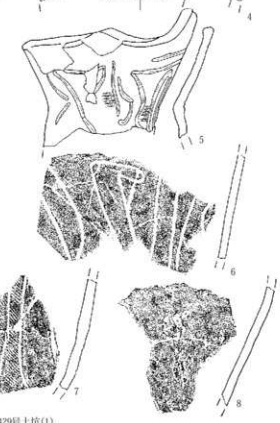
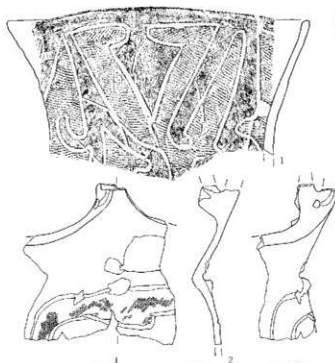
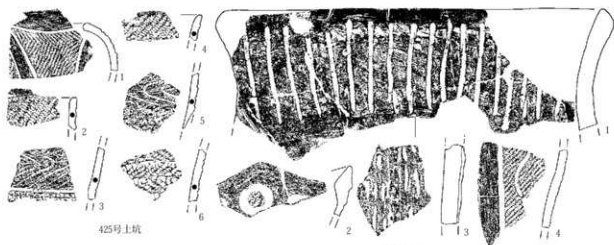
第149图 11区土坑出土土器(26)





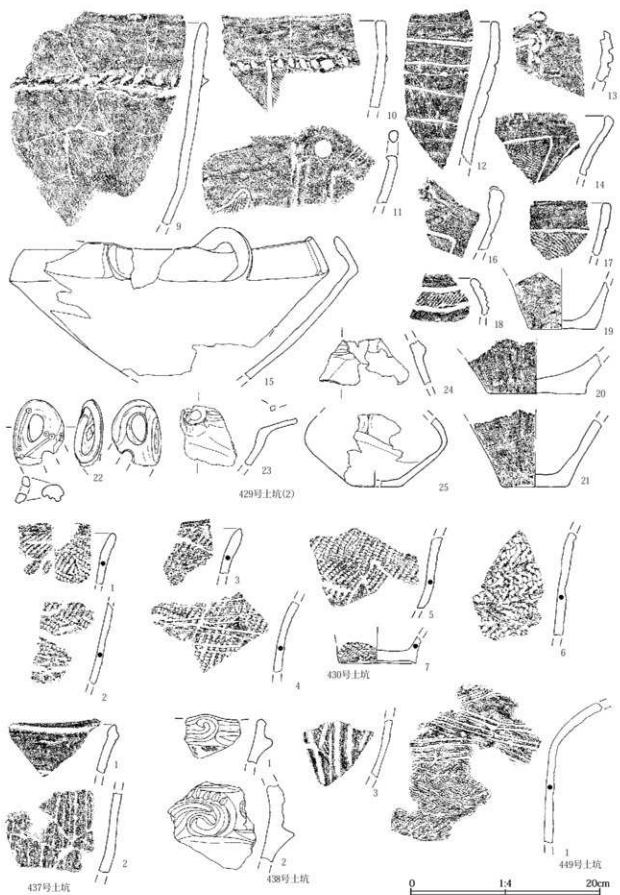


第151图 11区土坑出土土器(28)

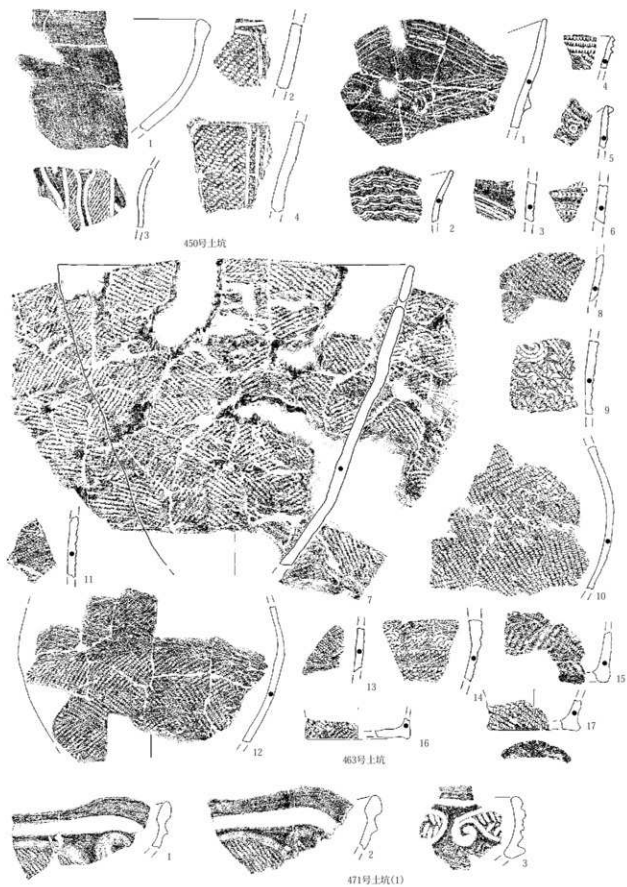


0 1:4 20cm

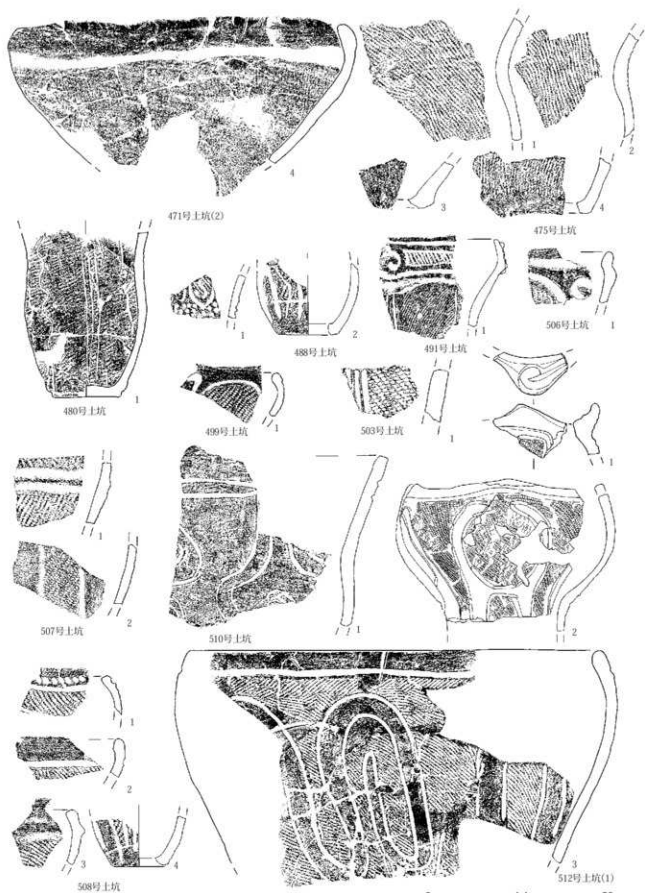
第152图 11区土坑出土土器(29)



第153图 11区土坑出土土器(30)

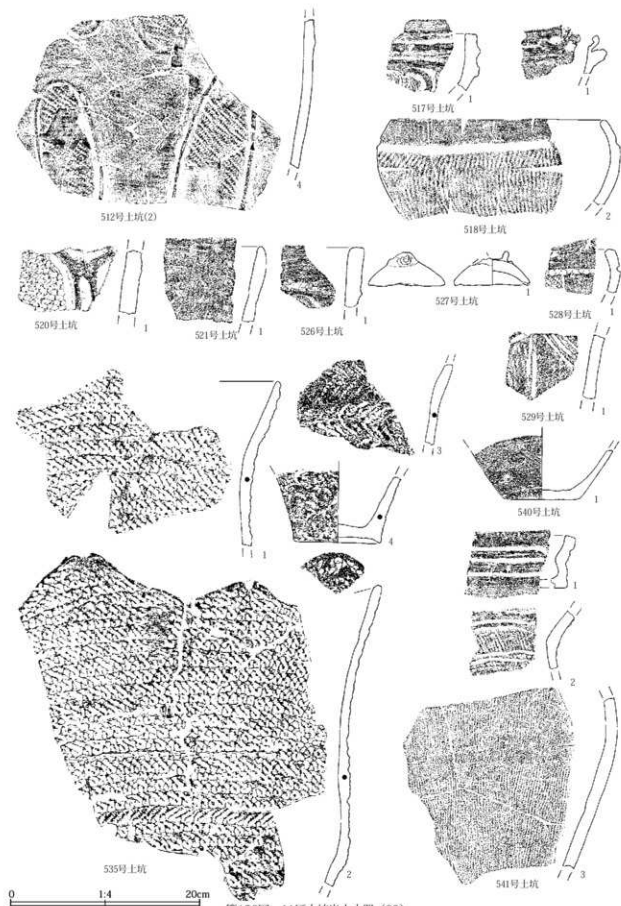


第154图 11区土坑出土土器(31)

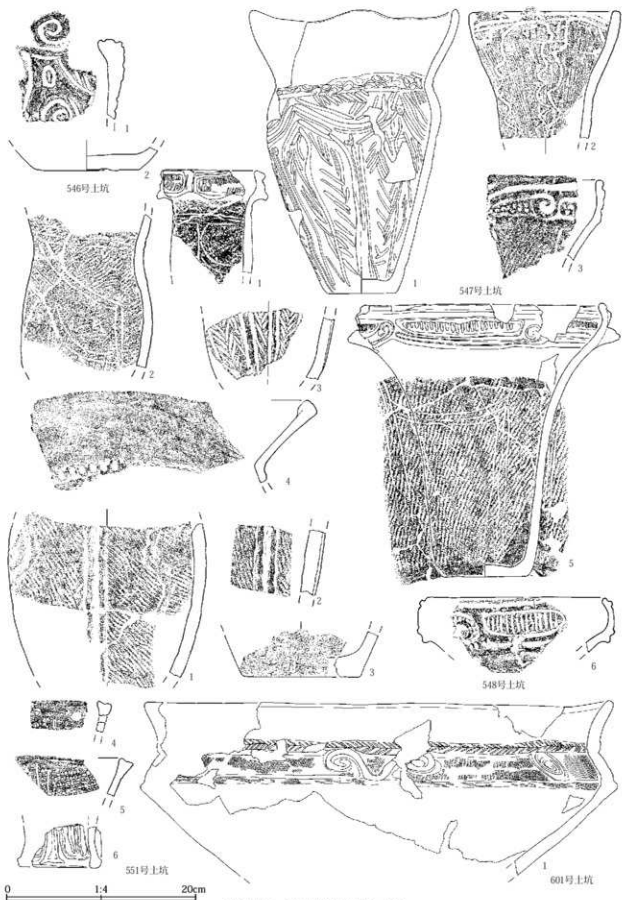


第155图 11区土坑出土土器(32)

0 1:4 20cm

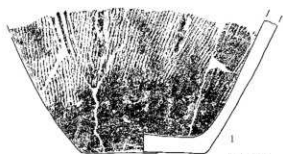


第156图 11区土坑出土土器(33)



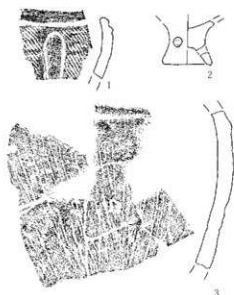
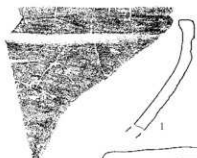
第157图 11区土坑出土土器(34)



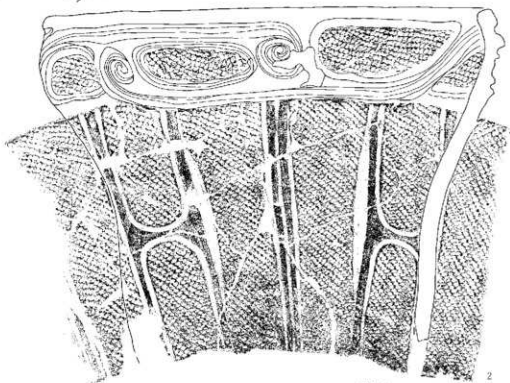


602号土坑

第158图 11区土坑出土土器 (35)



1号配石



2号配石

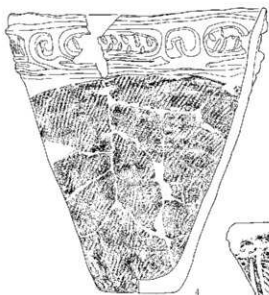


3号配石(1)

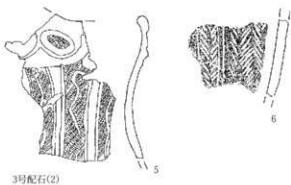


0 1:4 20cm

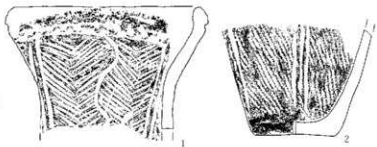
第159图 11区配石出土土器 (1)



第160图 11区配石出土土器(2)



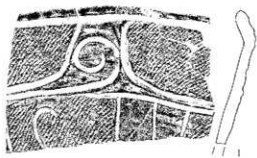
3号配石(2)



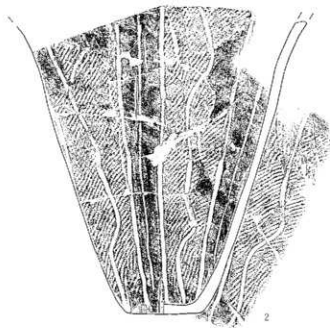
第161图 11区1号屋外炉(旧240号土坑)



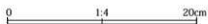
2号埋表

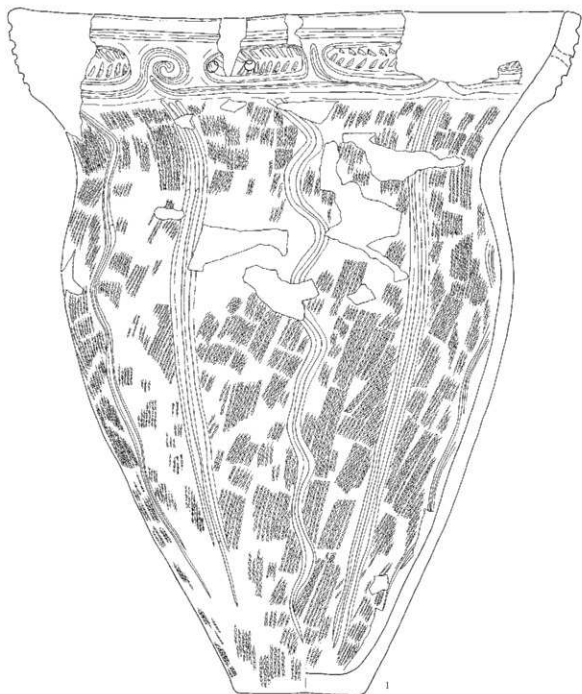


3号埋表



第162图 11区埋表出土土器(1)

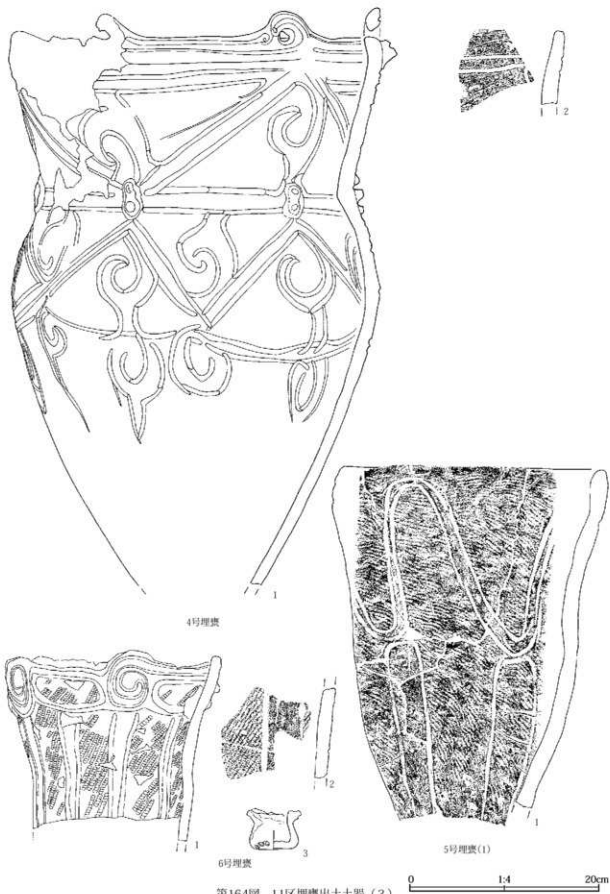




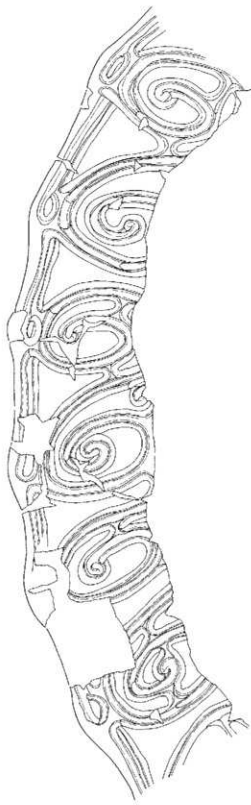
1号埋甕

第163图 11区埋甕出土土器(2)

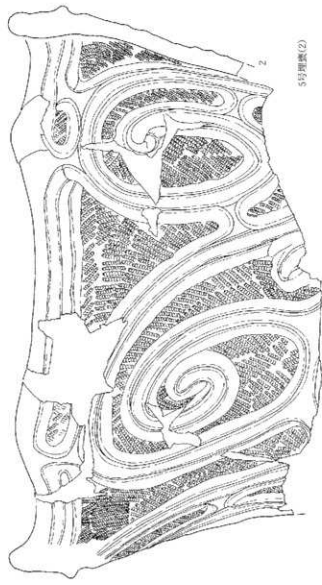
0 1:4 20cm



第164图 11区埋瓮出土土器(3)



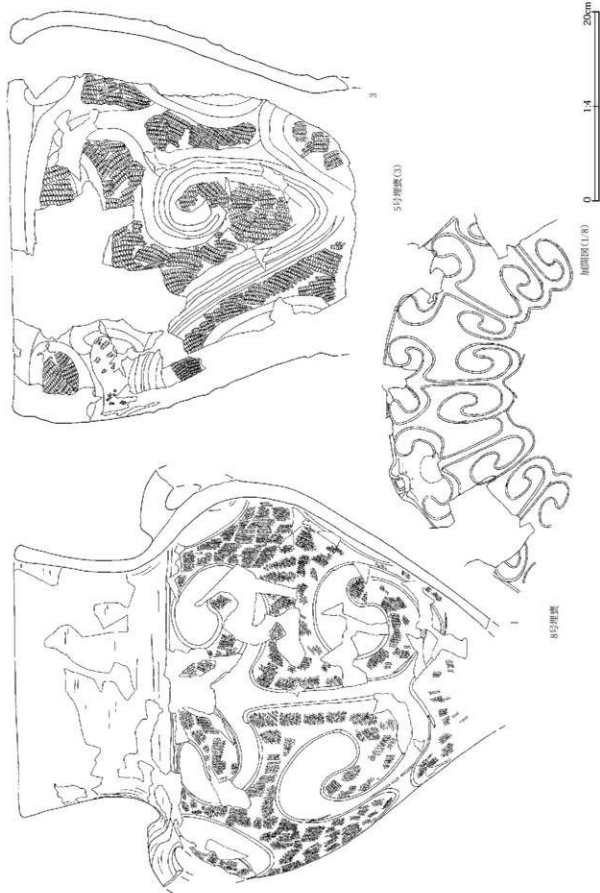
图四〇(8)



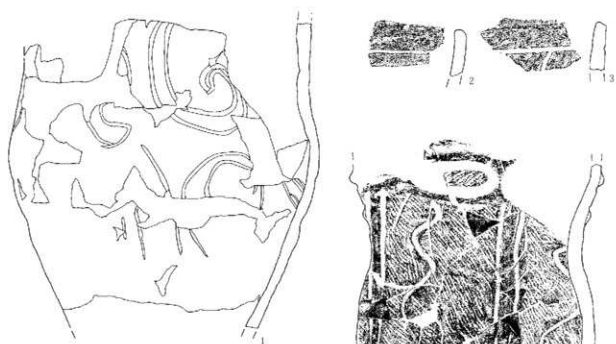
5号埋藏(2)



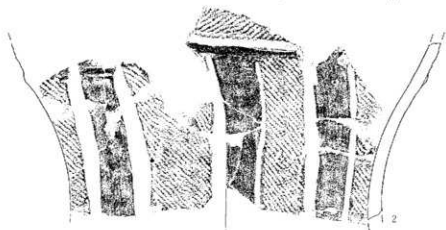
第165图 11区埋藏出土器(4)



第166図 11区埋藏出土土器(5)



9号埋瓮



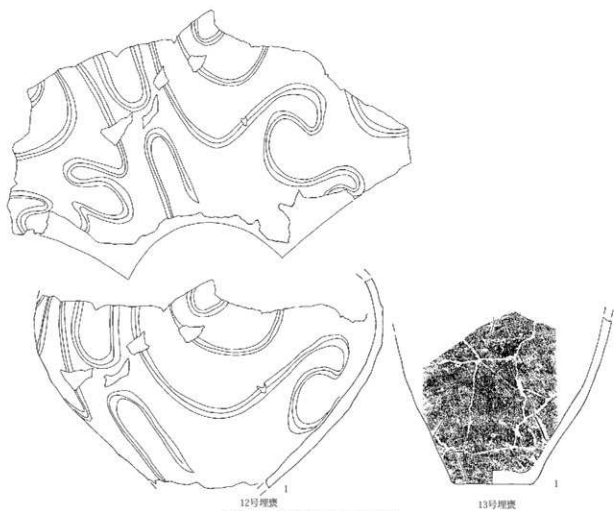
10号埋瓮



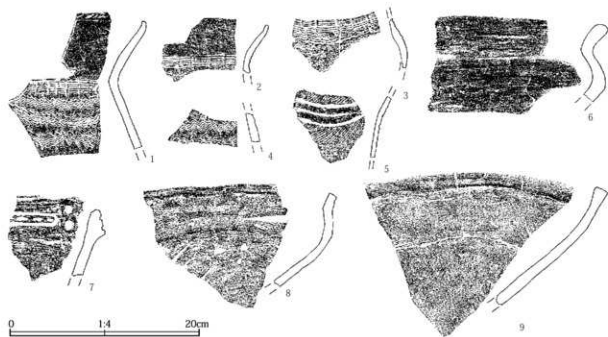
11号埋瓮

第167图 11区埋瓮出土土器(6)

0 1:4 20cm



第168图 11区埋藏出土土器(7)



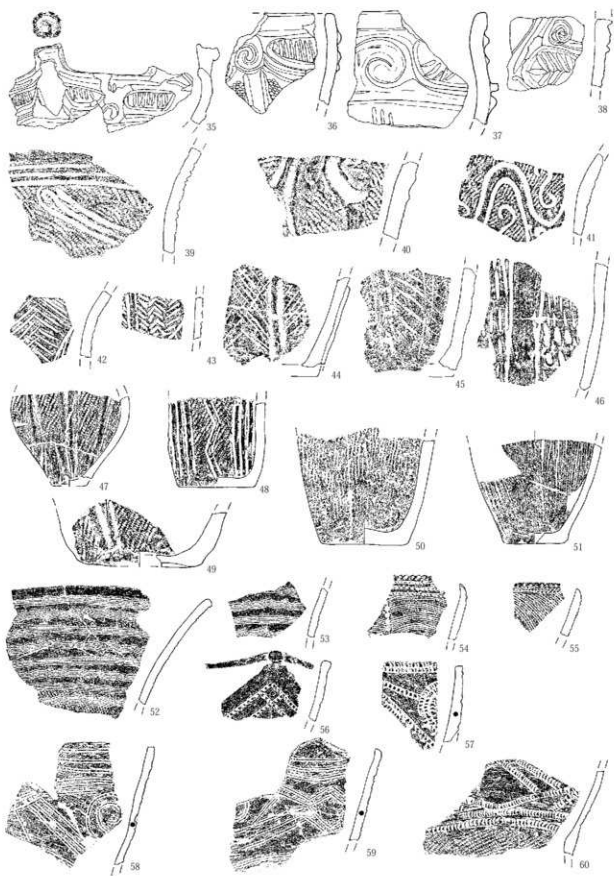
第169图 11区遺構外出土土器(1)



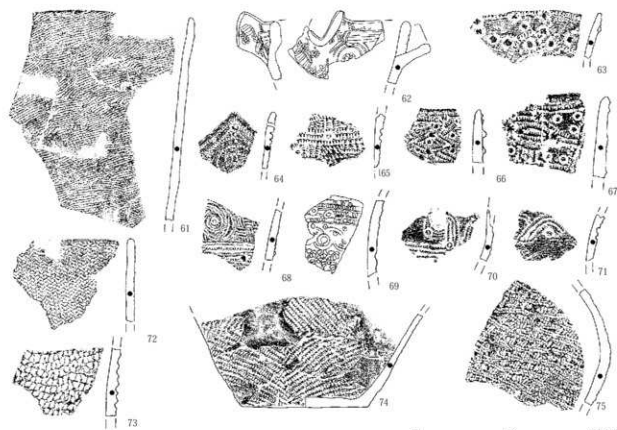


第170图 11区道桥外出土土器(2)

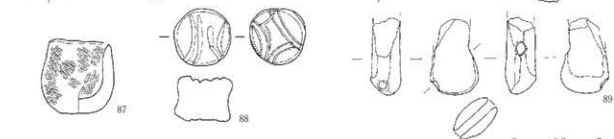
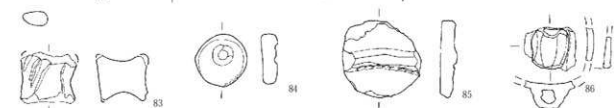
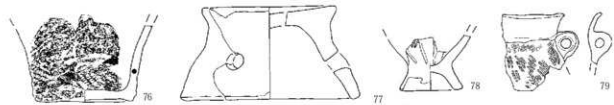
0 1:4 20cm



第171图 11区遺構外出土土器(3)



0 1:4 20cm

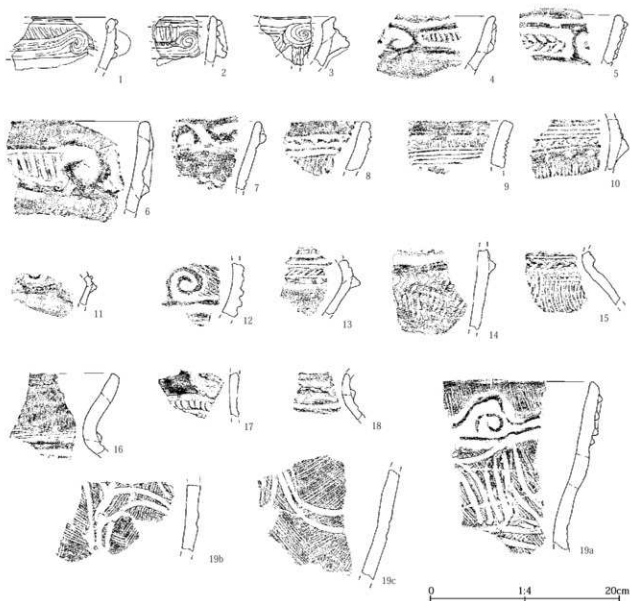


0 1:2 5cm

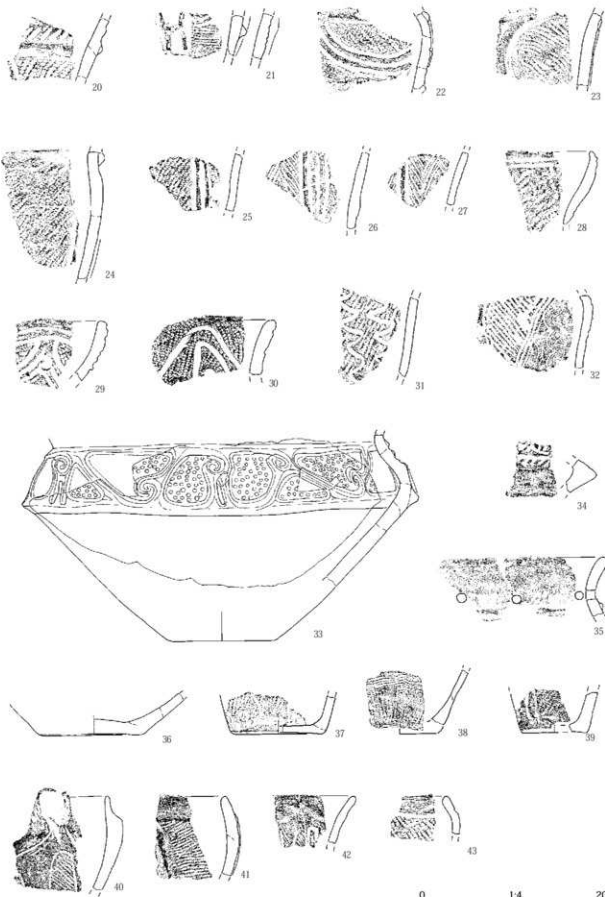
第172图 11区遺構外出土土器(4)



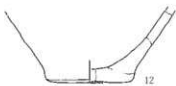
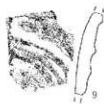
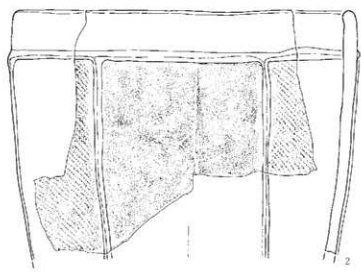
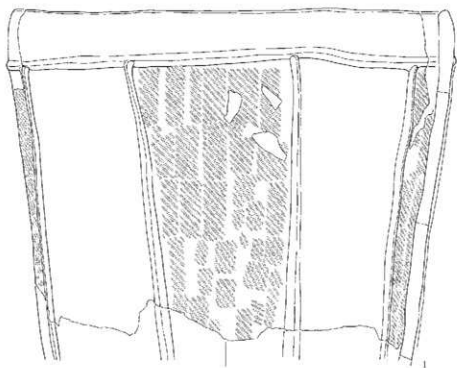
第173图 12区1号住居出土土器



第174图 12区2号住居出土土器(1)

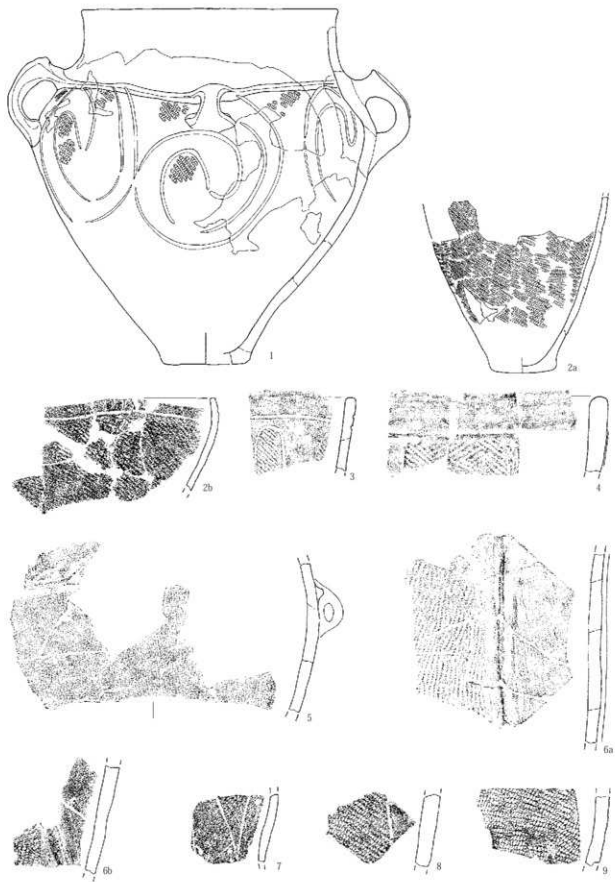


第175图 12区2号住居出土土器(2)



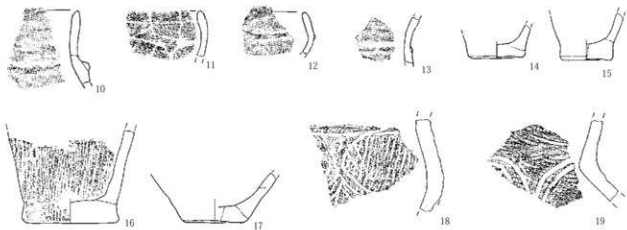
第176圖 12区3号住居出土土器

0 1:4 20cm

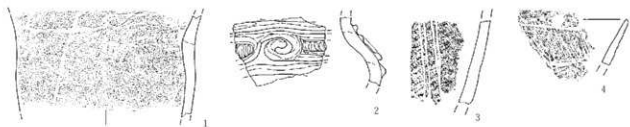


第177图 12区4号住居出土土器(1)

0 1:4 20cm



第178图 12区4号住居出土土器(2)



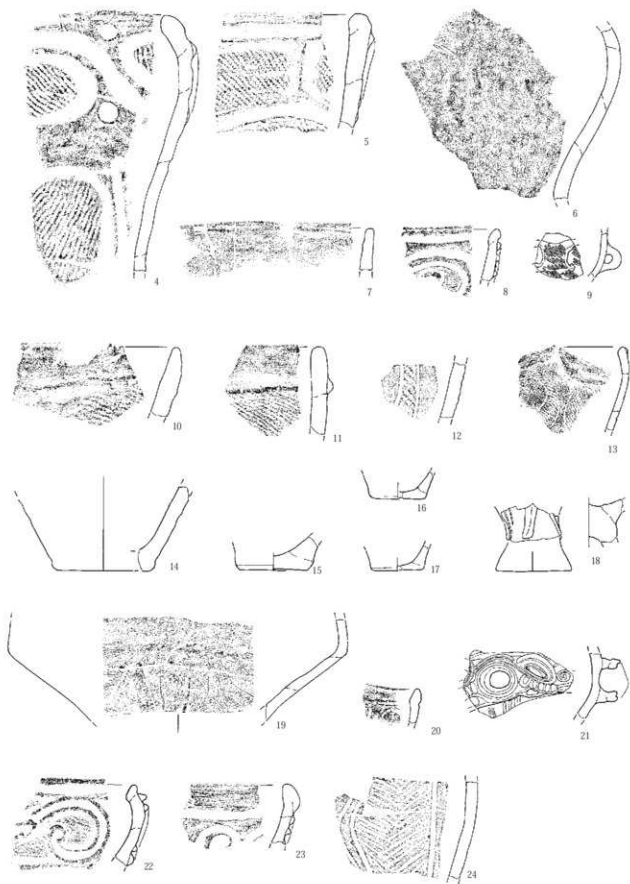
第179图 12区5号住居出土土器



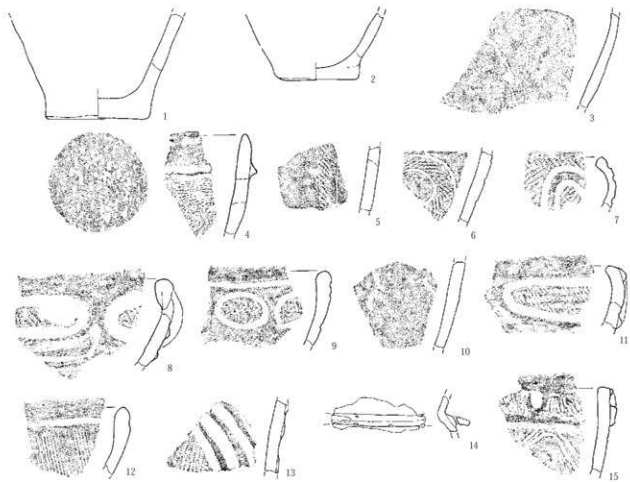
第180图 12区6号住居出土土器(1)

0 1:4 20cm

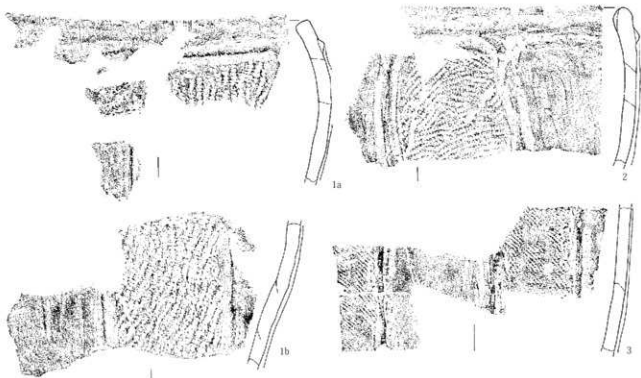




第181图 12区6号住居出土土器(2)

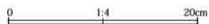
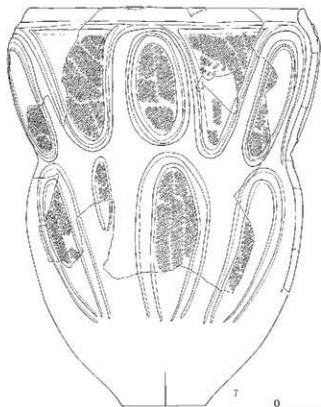
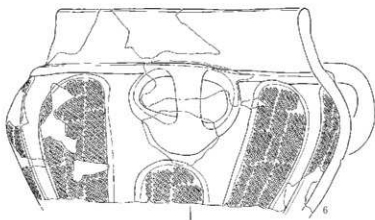
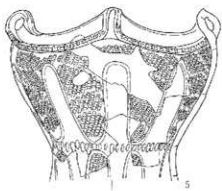
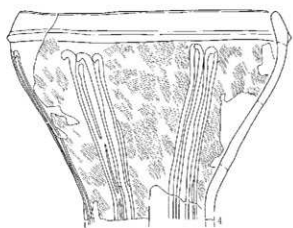


第182图 12区7号住居出土土器

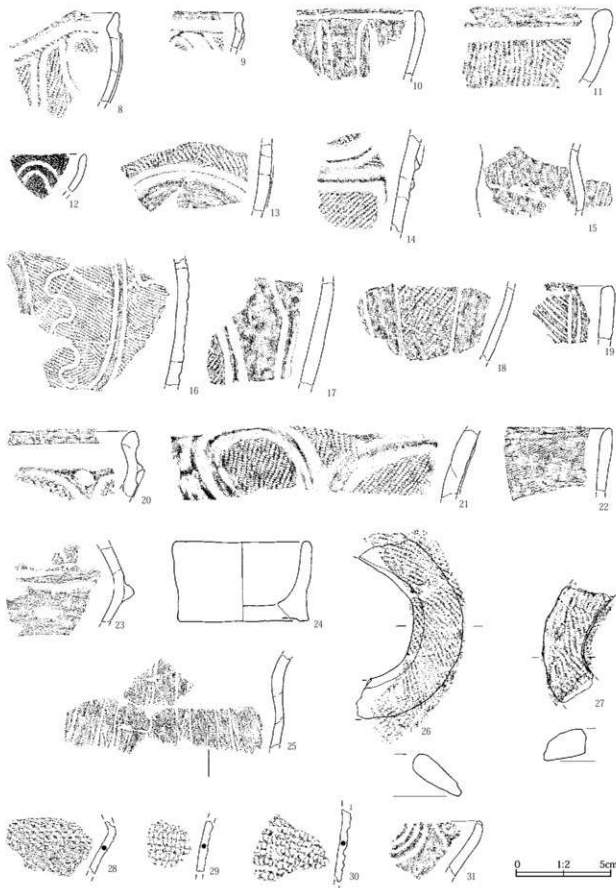


第183图 12区8号住居出土土器(1)

0 14 20cm

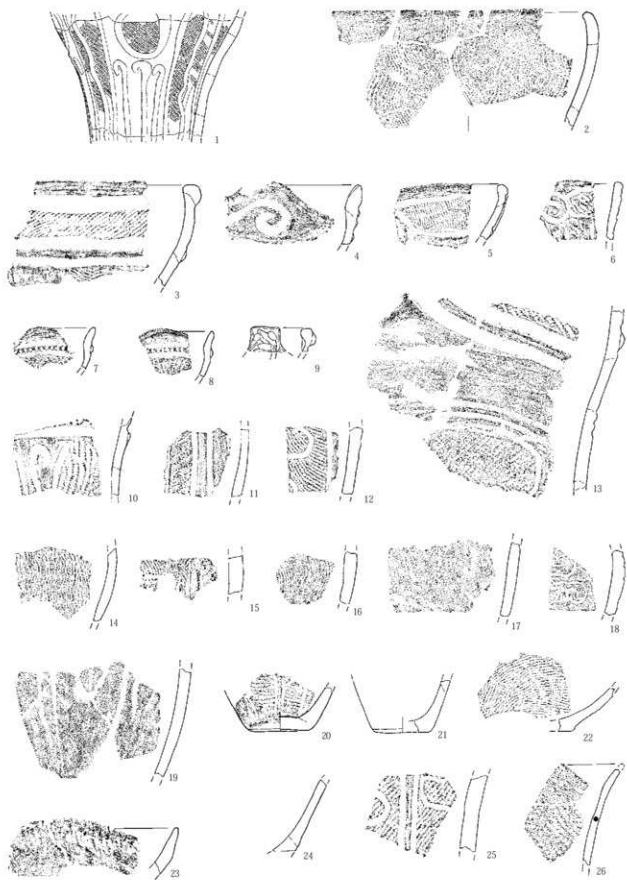


第184图 12区8号住居出土土器(2)



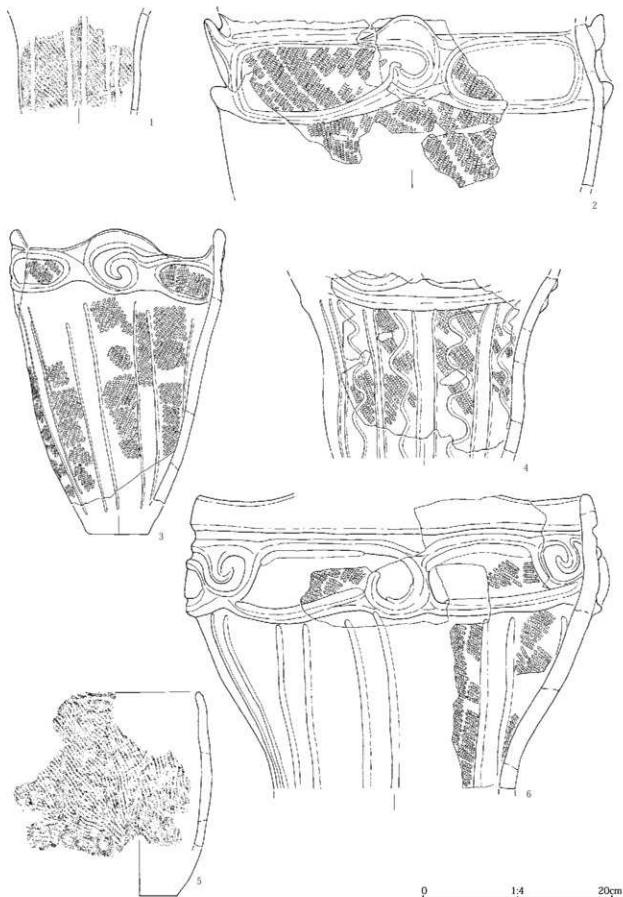
第185图 12区8号住居出土土器(3)

0 1.4 20cm

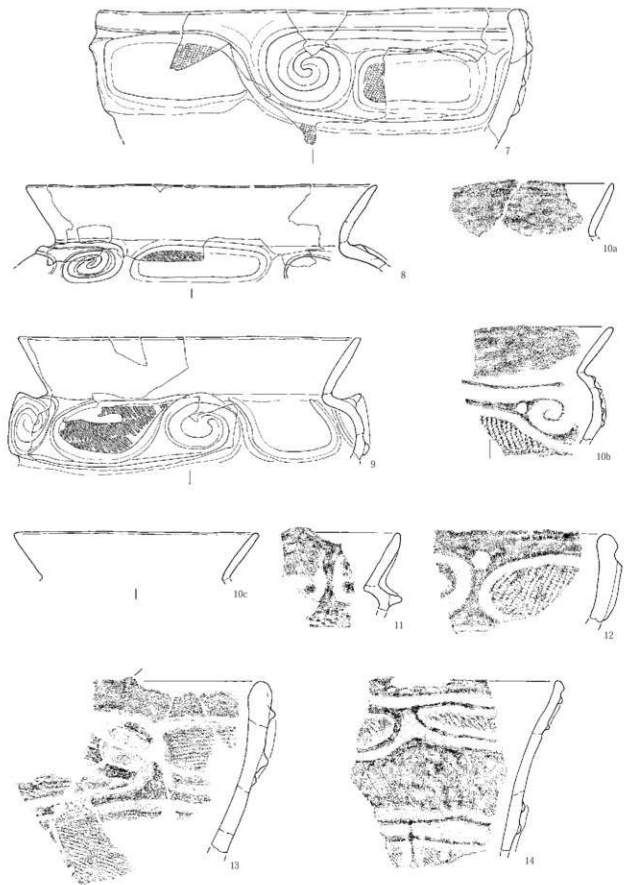


第186图 12区9号住居出土土器

0 1:4 20cm

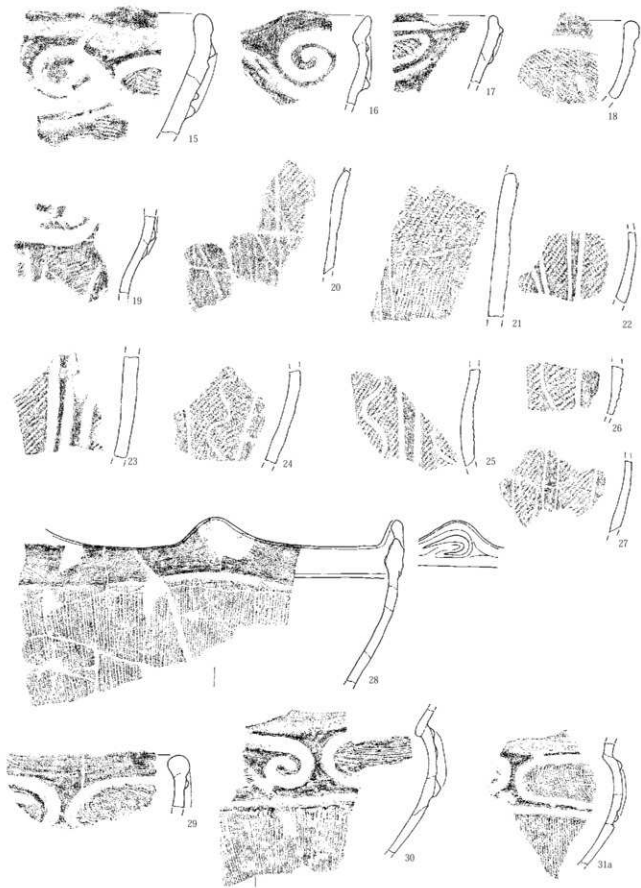


第187图 12区10号住居出土土器(1)



第188图 12区10号住居出土土器(2)

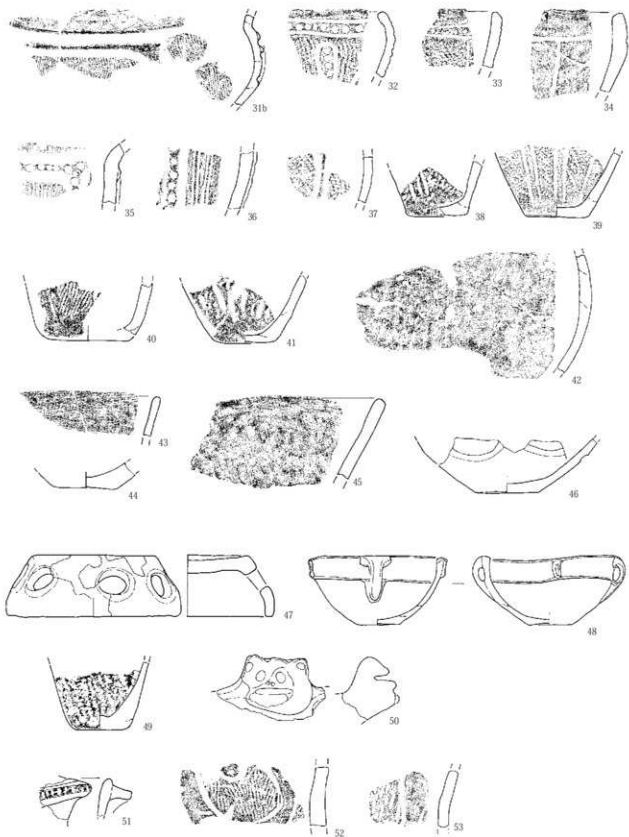
0 1:4 20cm



第189图 12区10号住居出土土器(3)



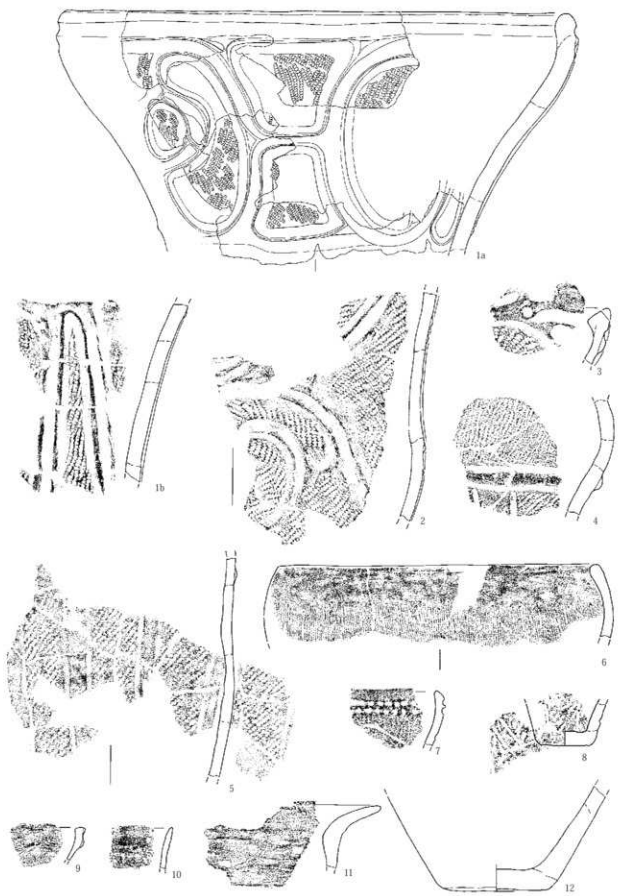




0 1.2 5cm

0 1:4 20cm

第190图 12区10号住居出土土器(4)



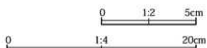
第191图 12区11号住居出土土器(1)



第192图 12区11号住居出土土器(2)

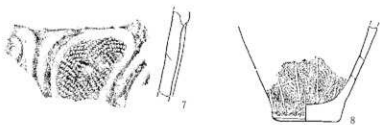
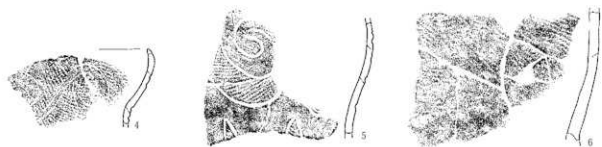
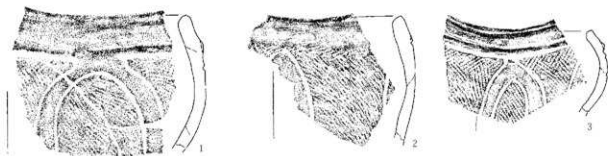


第193图 12区13号住居出土土器(1)





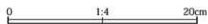
第194图 12区13号住居出土土器(2)

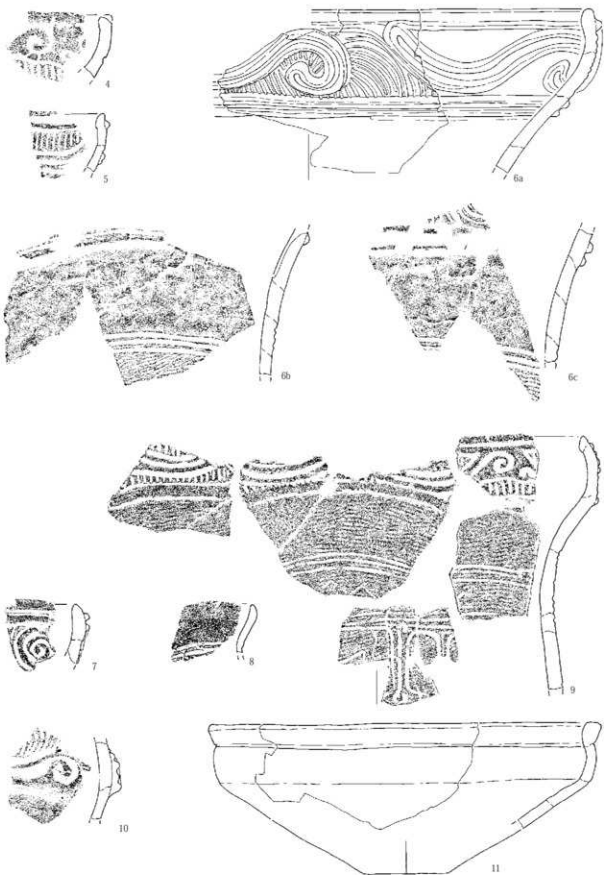


第195图 12区14号住居出土土器



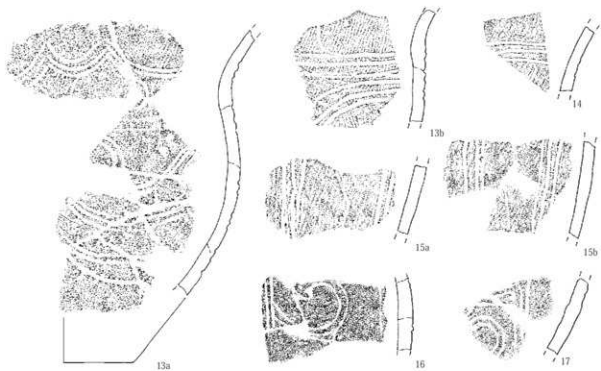
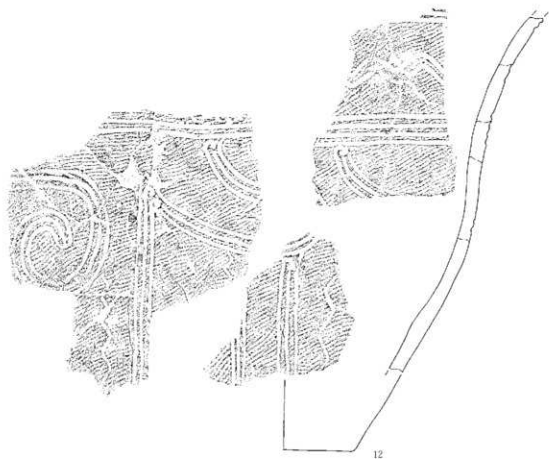
第196图 12区15号住居出土土器(1)



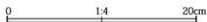


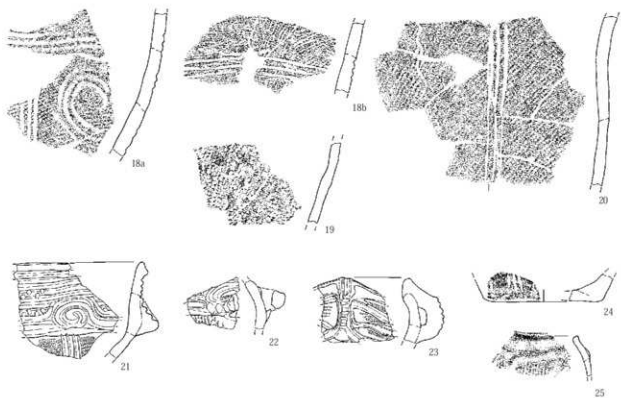
第197图 12区15号住居出土土器(2)

0 1.4 20cm

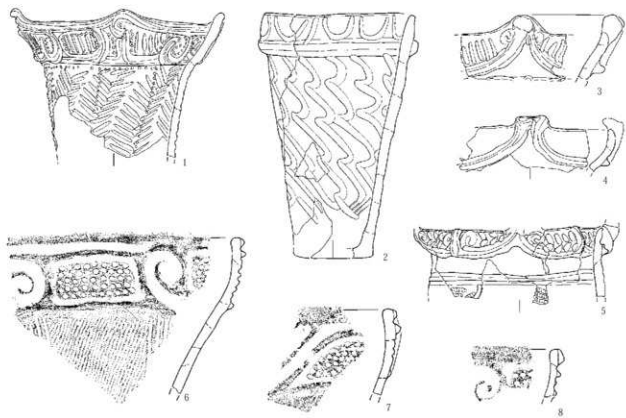


第198图 12区15号住居出土土器(3)



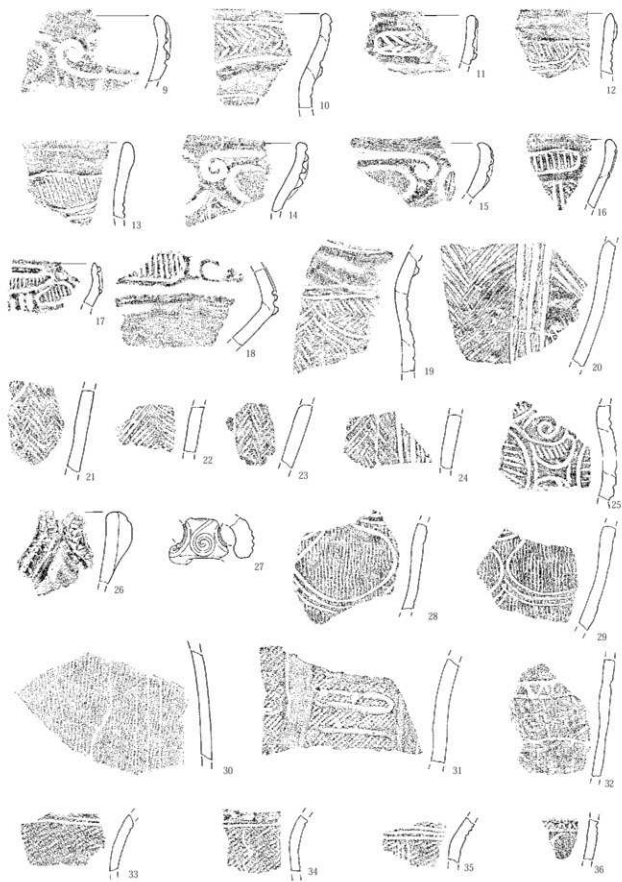


第199图 12区15号住居出土土器(4)



第200图 12区16号住居出土土器(1)

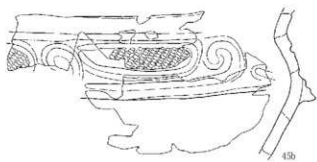
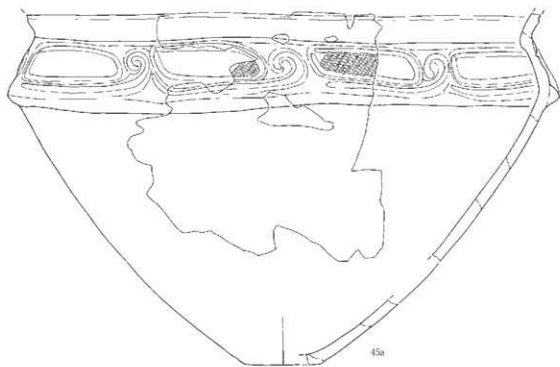
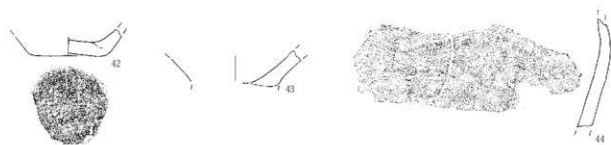
0 14 20cm



第201图 12区16号住居出土土器(2)

0 1:4 20cm



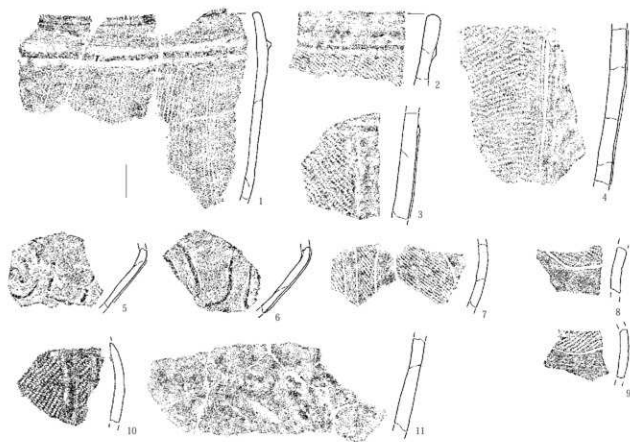


第202图 12区16号住居出土土器(3)

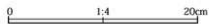
0 1:4 20cm

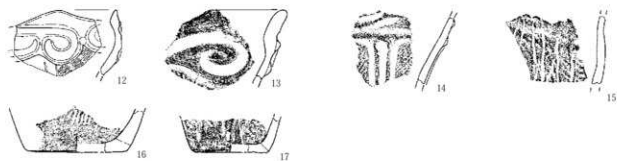


第203图 12区16号住居出土土器(4)

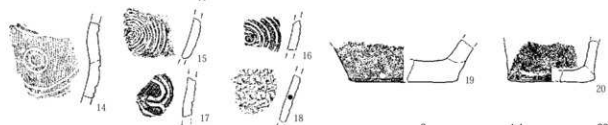
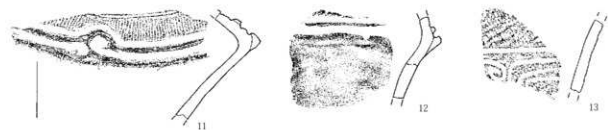
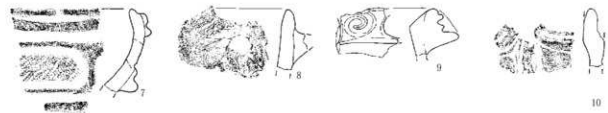
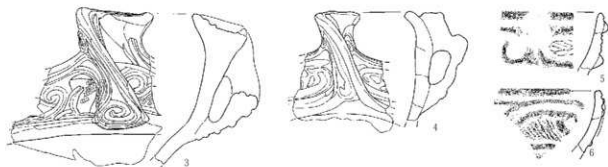
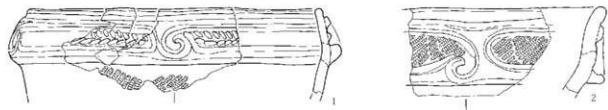


第204图 12区18号住居出土土器(1)



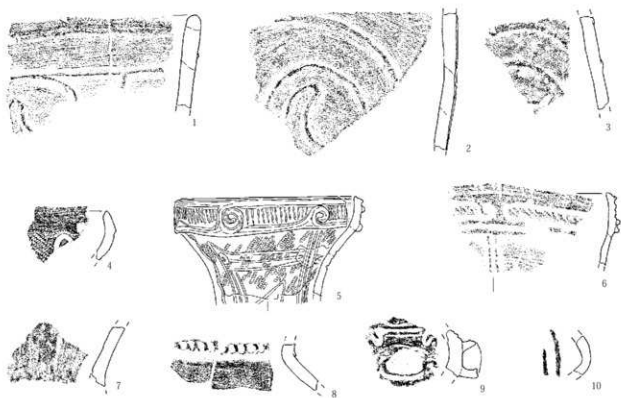


第205图 12区18号住居出土土器(2)

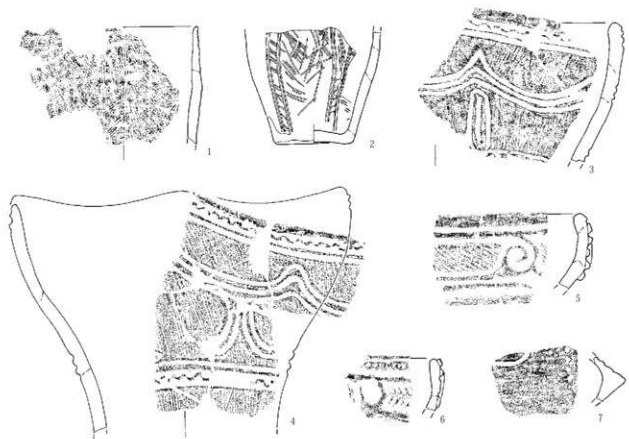


第206图 12区20号住居出土土器

0 1:4 20cm

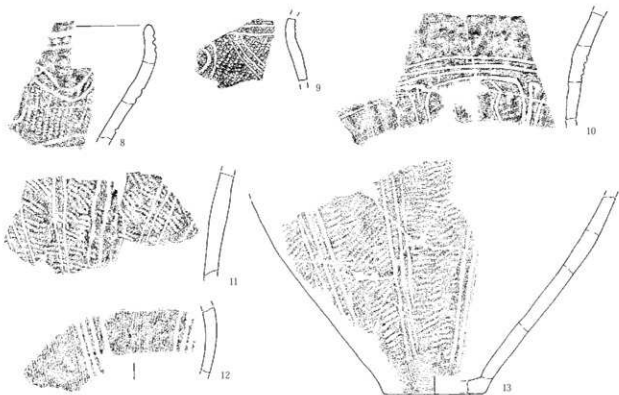


第207图 12区21号住居出土土器

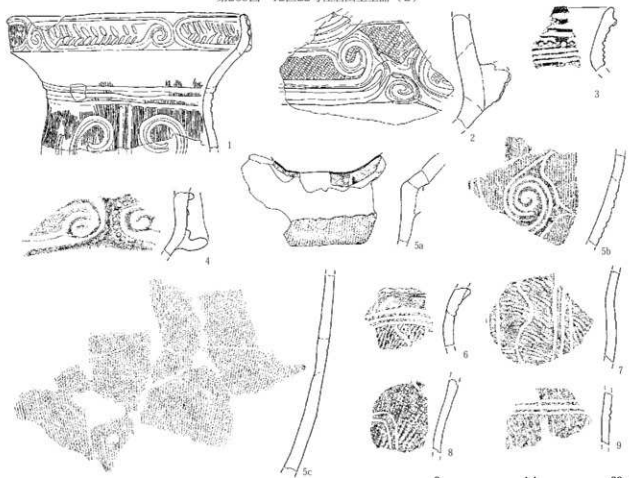


第208图 12区22号住居出土土器 (1)

0 1:4 20cm

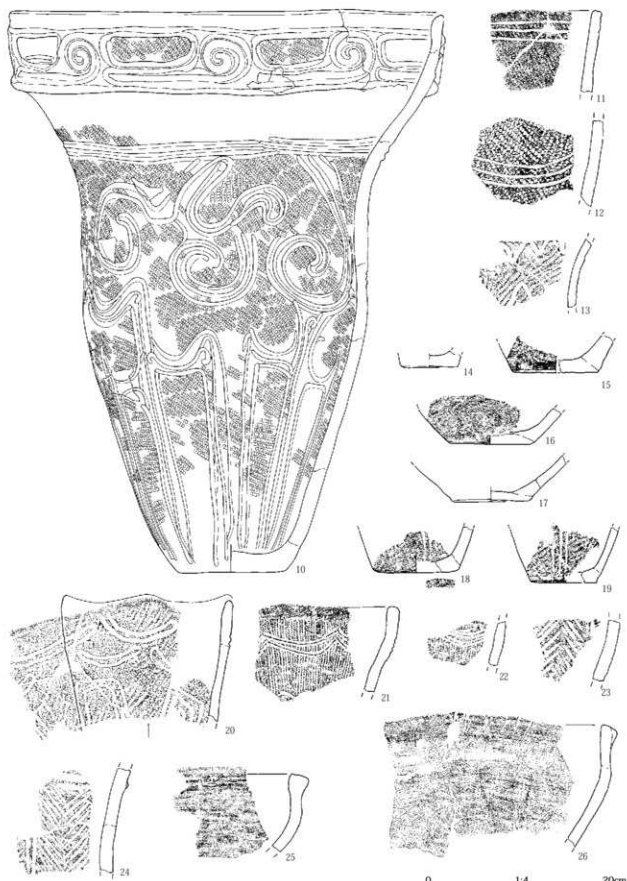


第209图 12区22号住居出土土器(2)

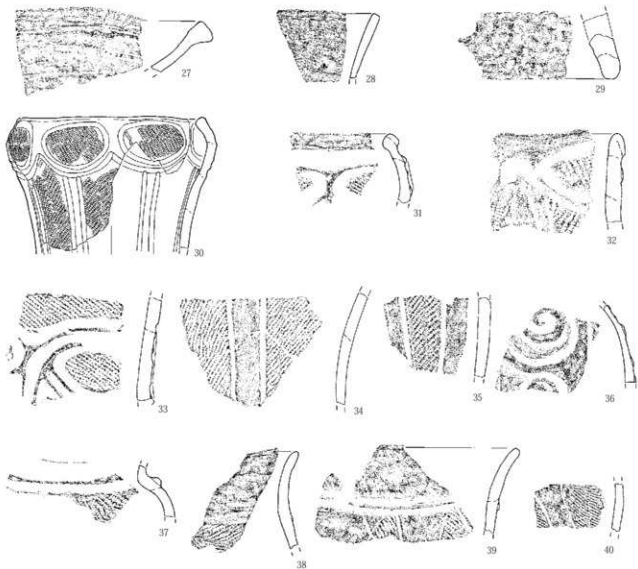


第210图 12区23号住居出土土器(1)

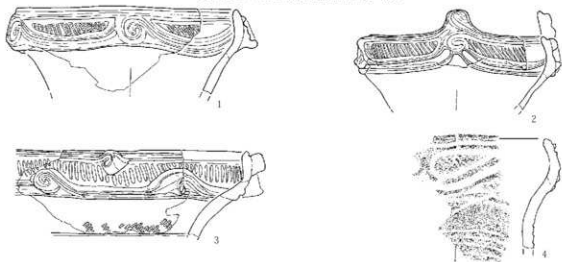
0 1:4 20cm



第211图 12区23号住居出土土器(2)

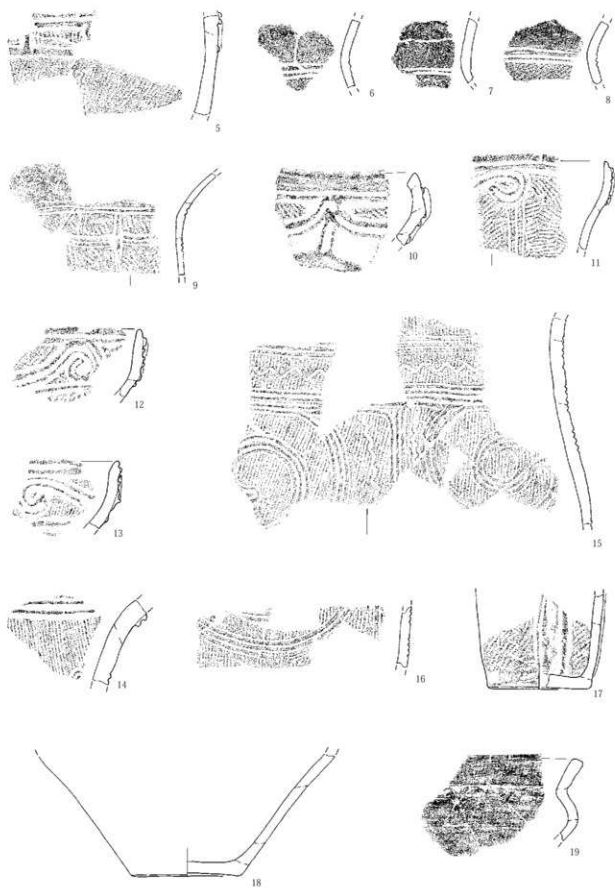


第212图 12区23号住居出土土器 (3)

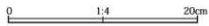


第213图 12区24号住居出土土器 (1)

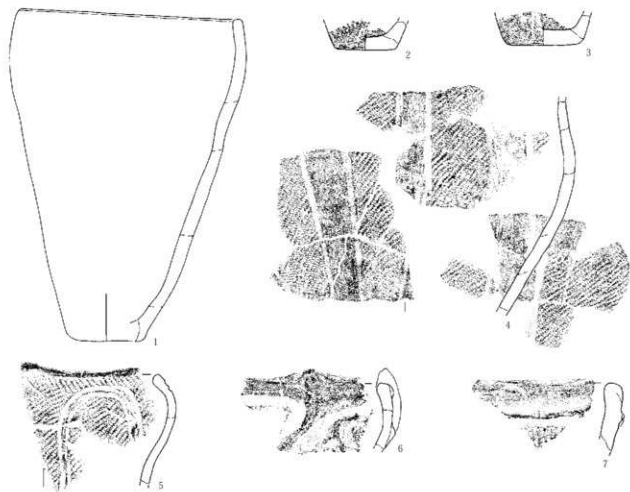
0 1:4 20cm



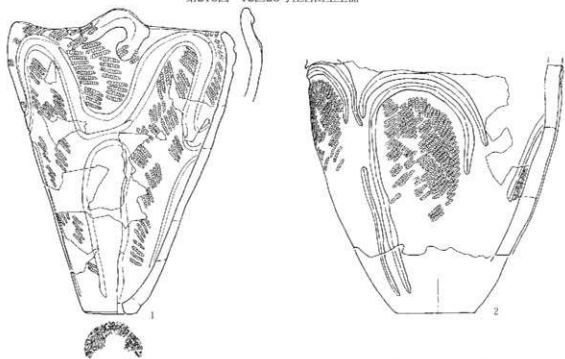
第214图 12区24号住居出土土器(2)





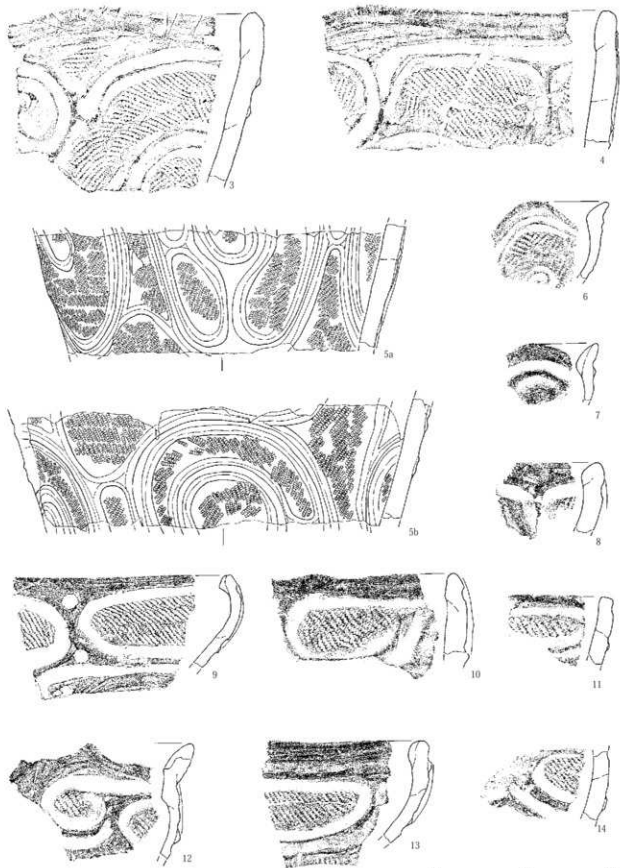


第215图 12区25号住居出土土器



第216图 12区26号住居出土土器(1)

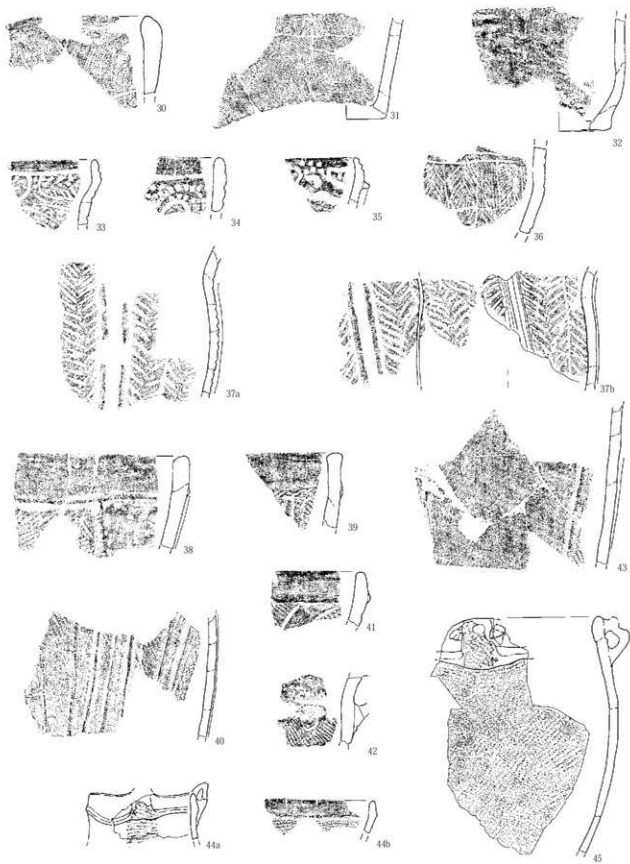
0 10 20cm



第217图 12区26号住居出土土器(2)

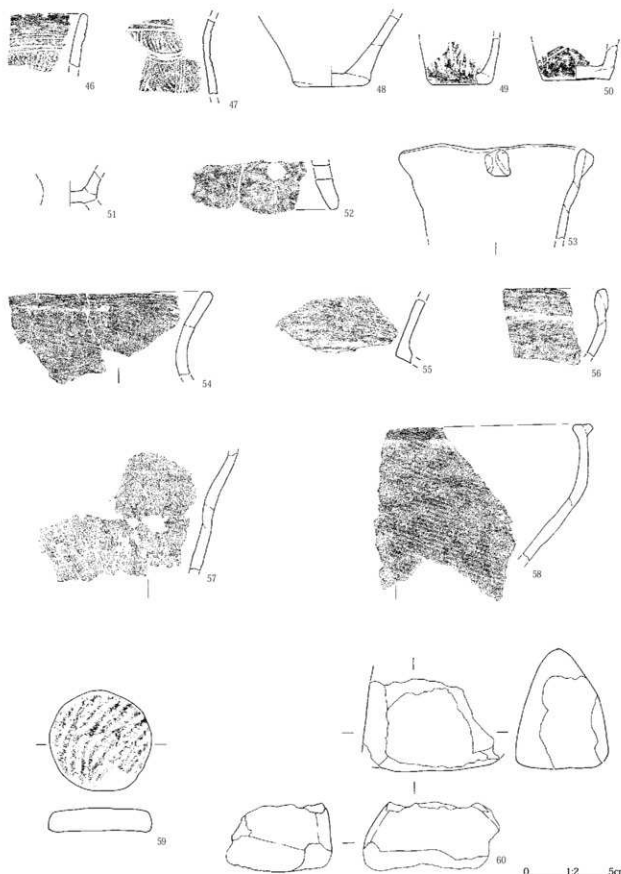


第218图 12区26号住居出土土器(3)

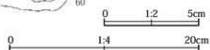


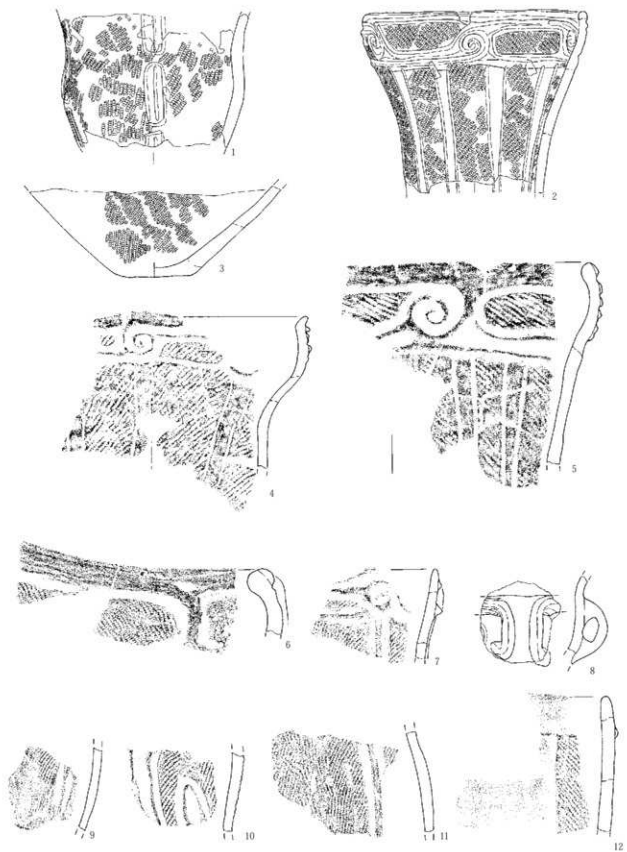
第219图 12区26号住居出土土器(4)

0 1:4 20cm

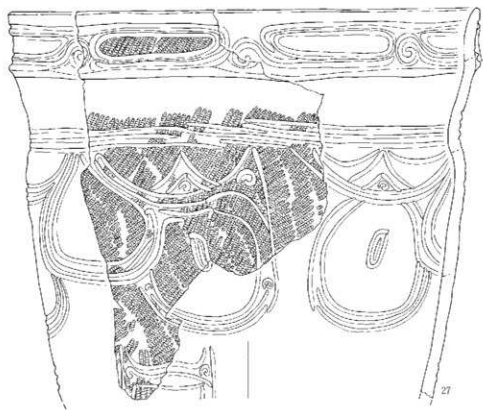
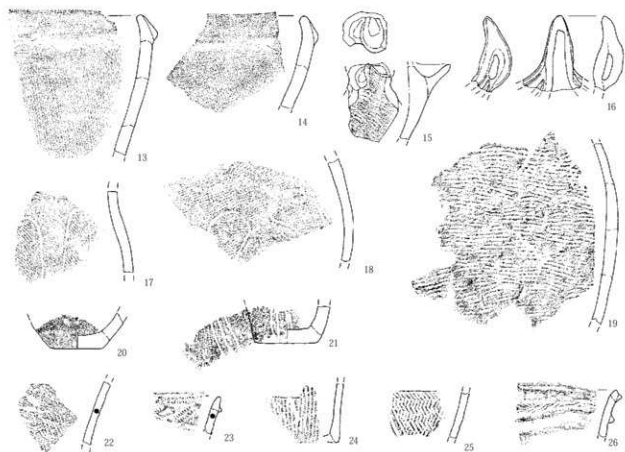


第220图 12区26号住居出土土器(5)





第221图 12区27号住居出土土器(1)



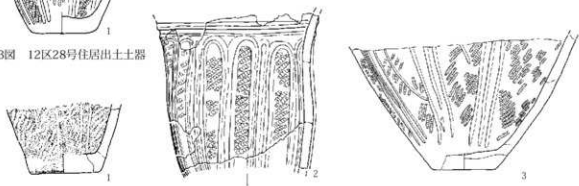
第222图 12区27号住居出土土器(2)

0 1:4 20cm

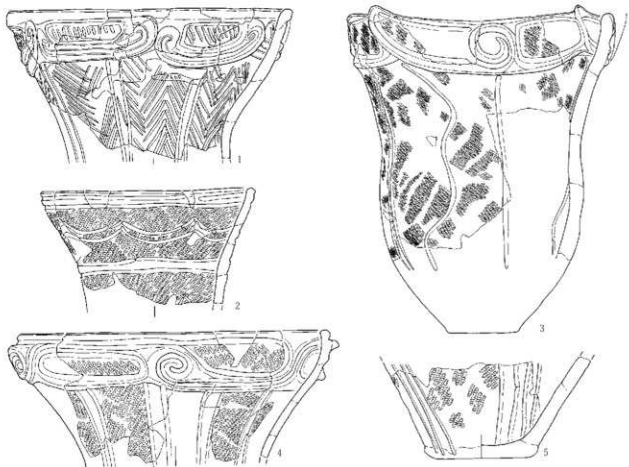


第224图 12区29号住居出土土器

第223图 12区28号住居出土土器



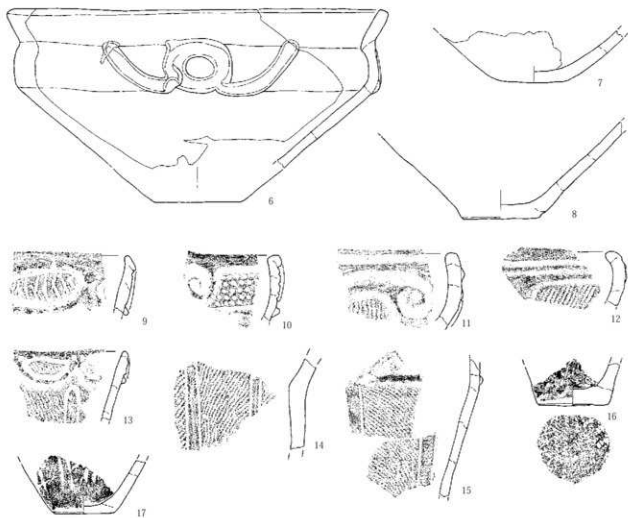
第225图 12区30号住居出土土器



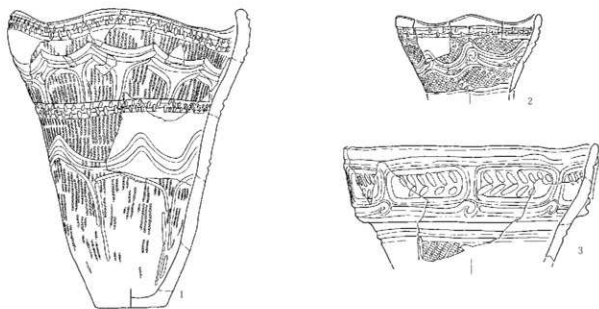
第226图 12区31号住居出土土器 (1)

0 1:4 20cm



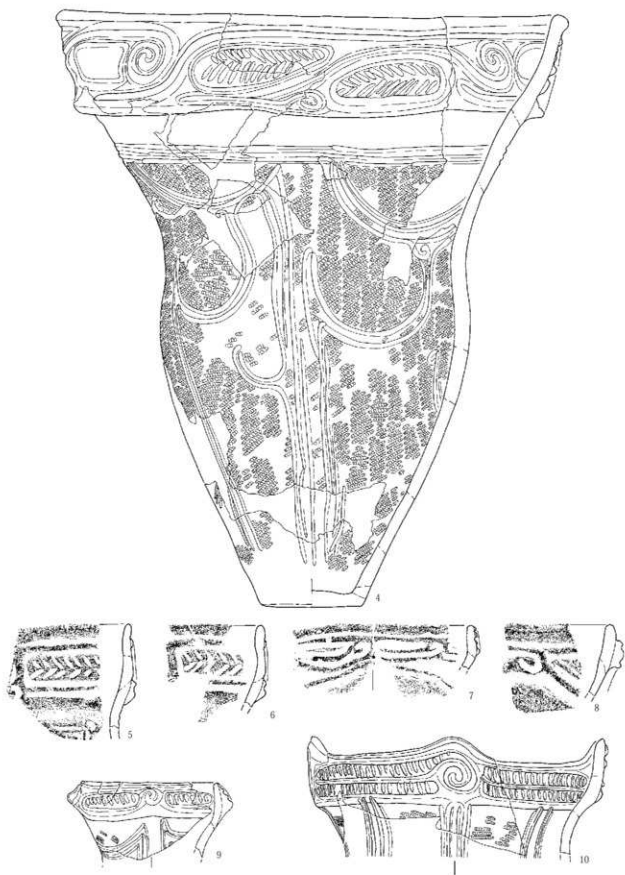


第227图 12区31号住居出土土器(2)



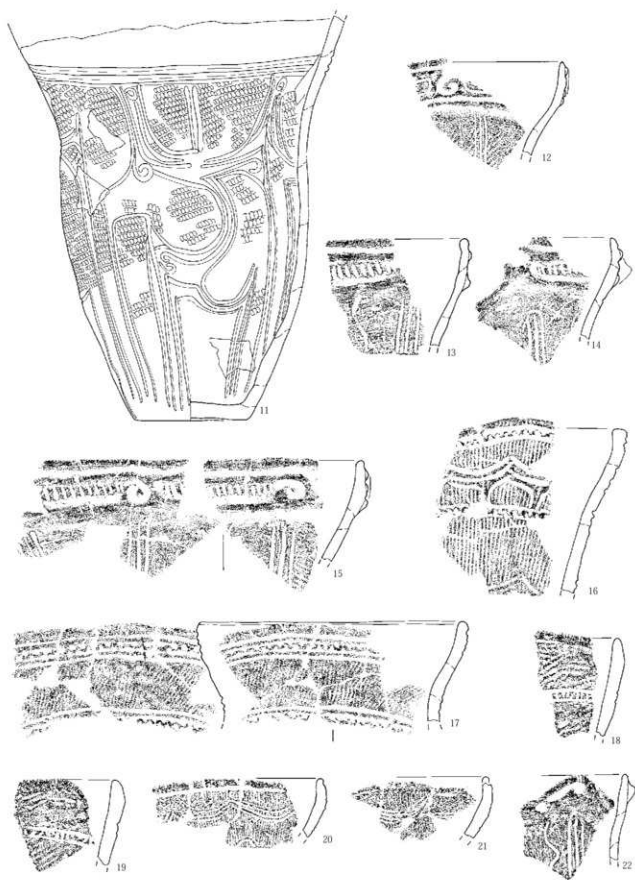
第228图 12区32号住居出土土器(1)





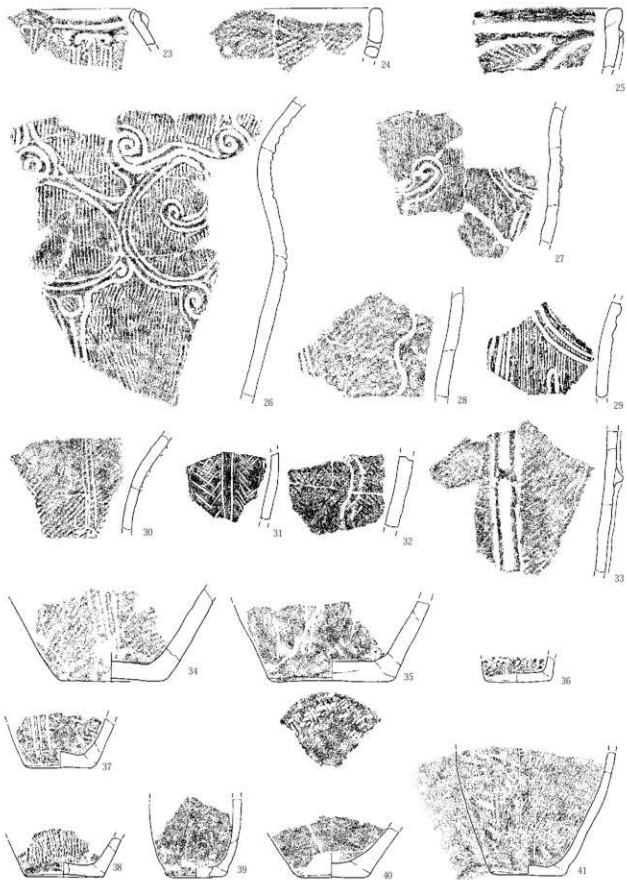
第229图 12区32号住居出土土器(2)

0 1:4 20cm



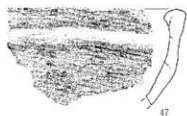
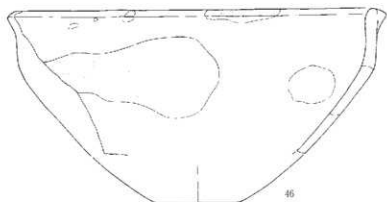
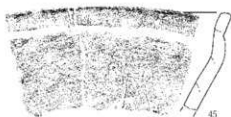
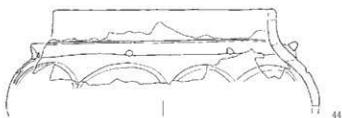
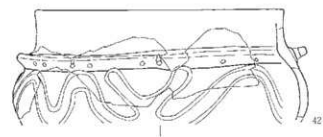
第230图 12区32号住居出土土器(3)

0 1.4 20cm



第231图 12区32号住居出土土器(4)

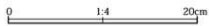


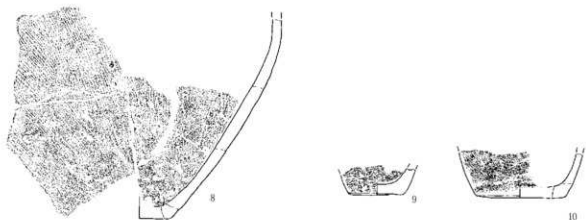


第232图 12区32号住居出土土器 (5)

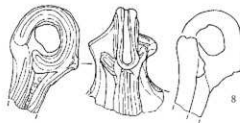
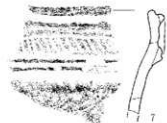
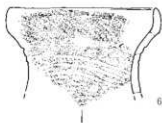
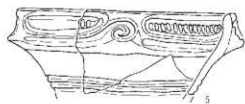
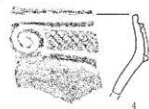
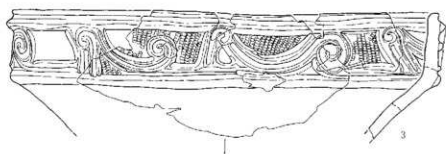
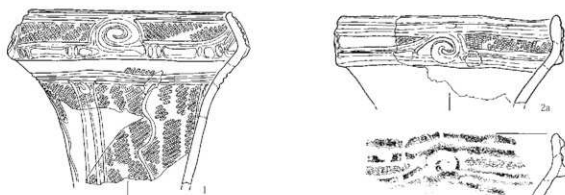


第233图 12区33号住居出土土器 (1)



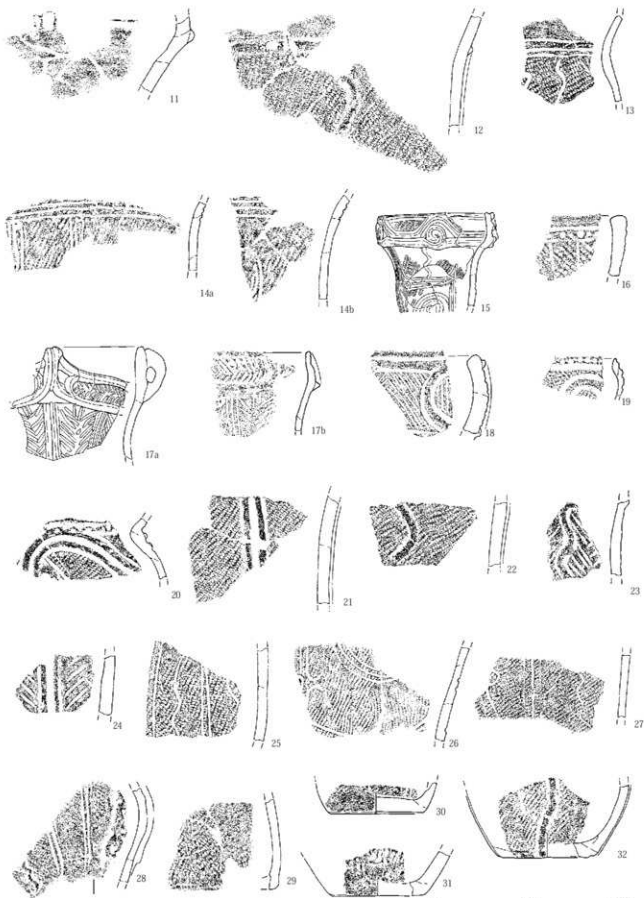


第234图 12区33号住居出土土器(2)



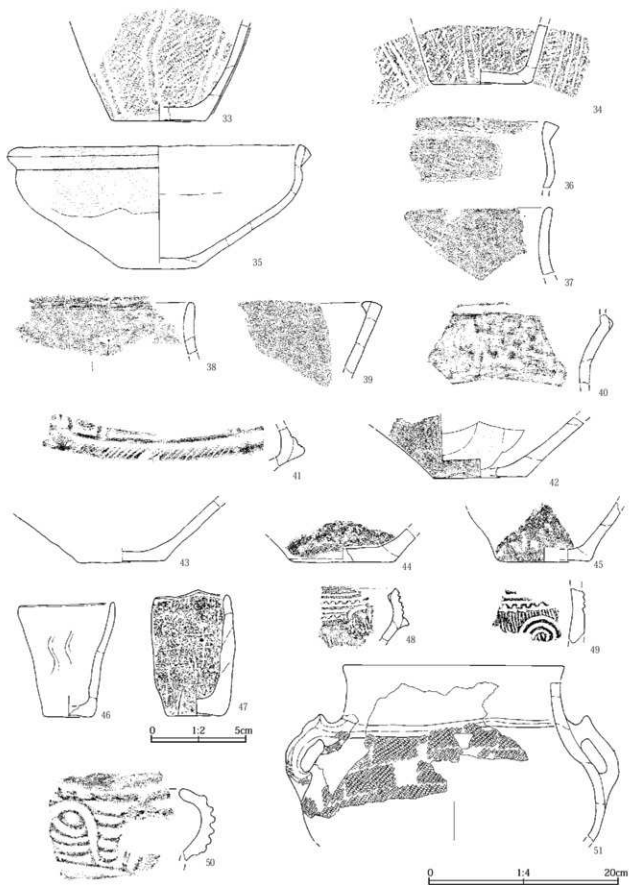
第235图 12区34号住居出土土器(1)

0 1:4 20cm



第236图 12区34号住居出土土器(2)

0 1:4 20cm

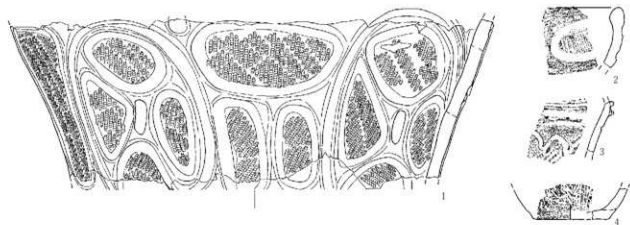


第237图 12区34号住居出土土器(3)



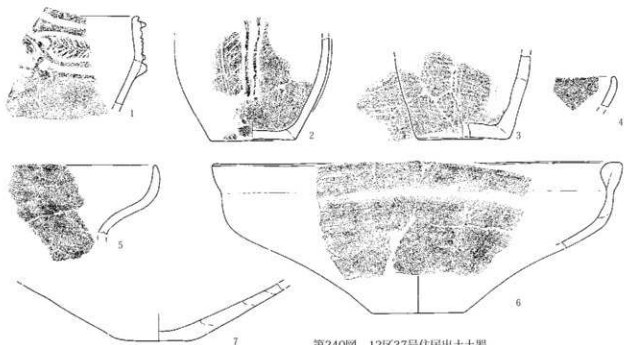


第238图 12区35号住居出土土器

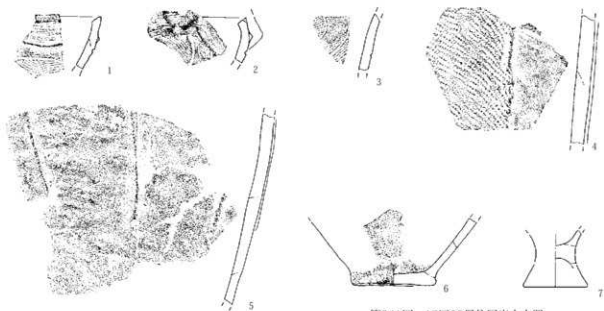


第239图 12区36号住居出土土器

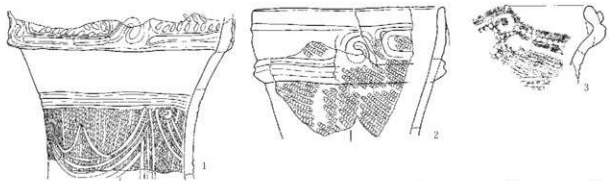
0 1:4 20cm



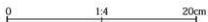
第240图 12区37号住居出土土器

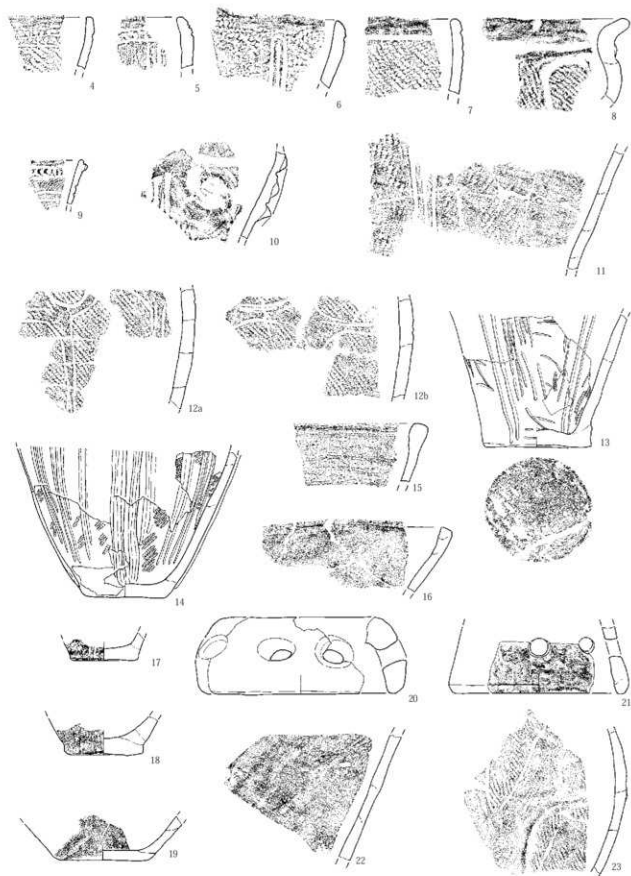


第241图 12区38号住居出土土器



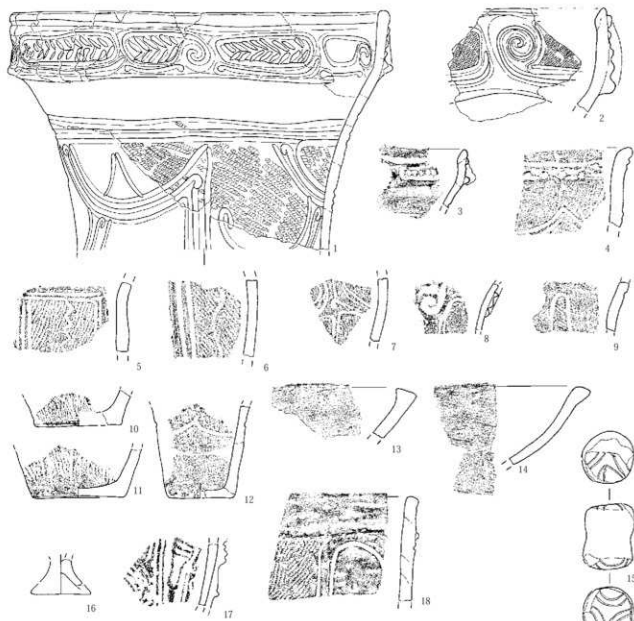
第242图 12区39号住居出土土器 (1)



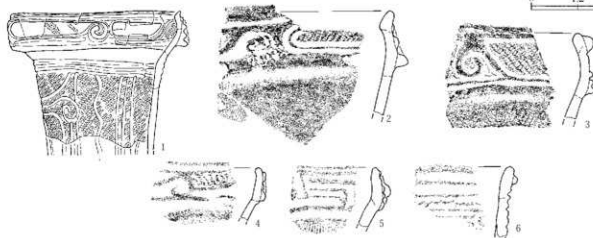


第243图 12区39号住居出土土器(2)

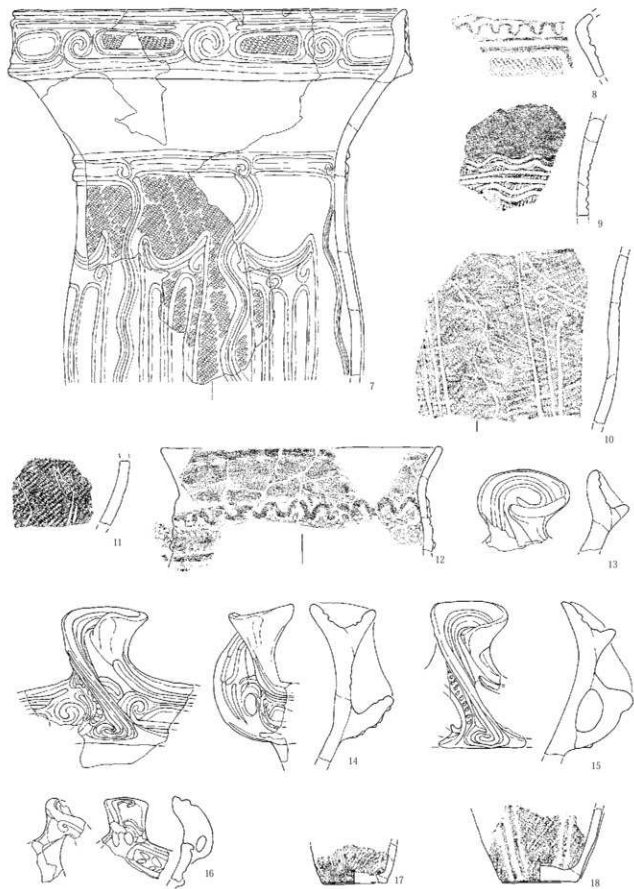
0 1:4 20cm



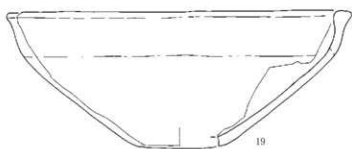
第244图 12区40号住居出土土器



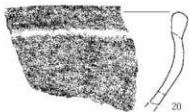
第245图 12区41号住居出土土器(1)



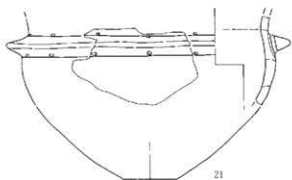
第246图 12区41号住居出土土器(2)



19



20



21

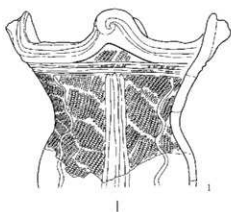


22

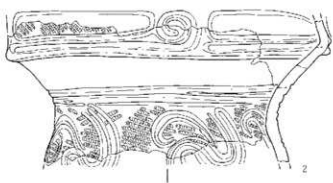


23

第247图 12区41号住居出土土器(3)



1

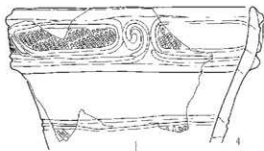


1

2

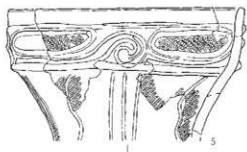


3



1

4



5

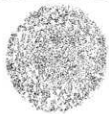
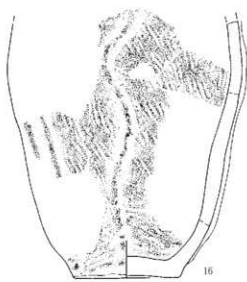
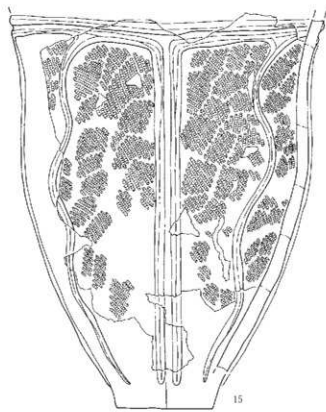
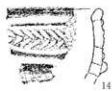
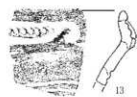
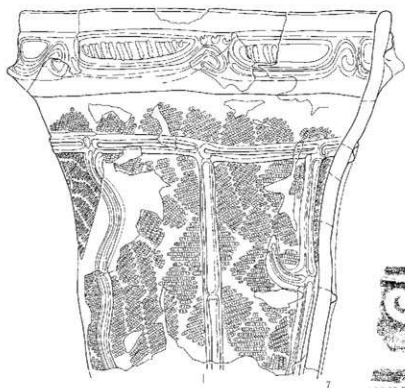


1

6

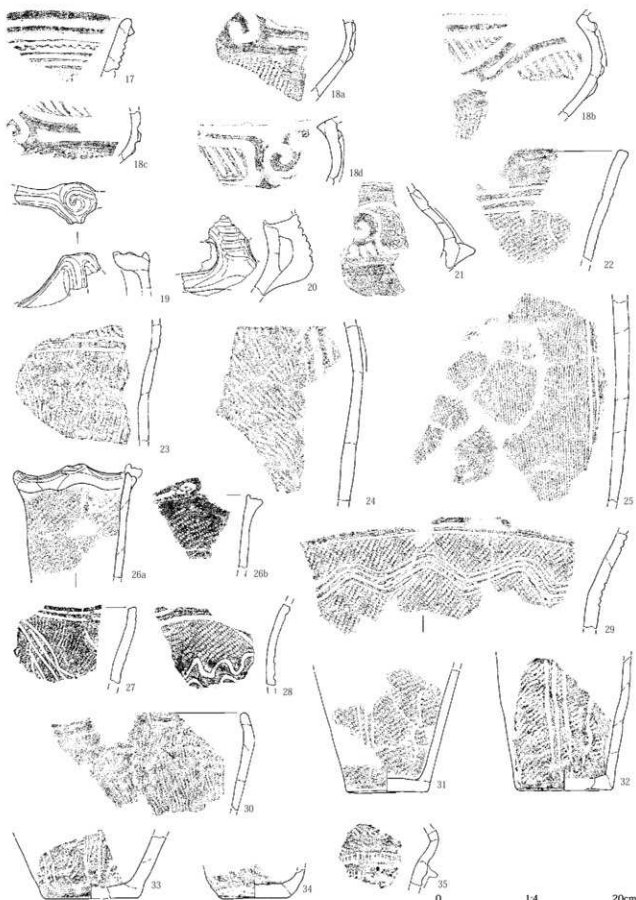
第248图 12区42号住居出土土器(1)

0 1:4 20cm



第249图 12区42号住居出土土器(2)

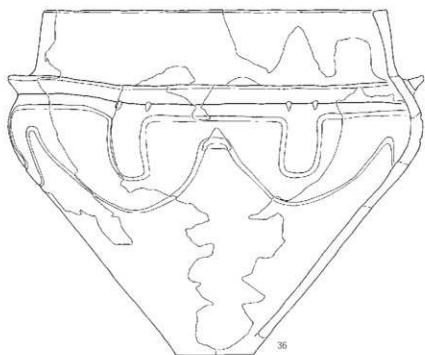
0 1:4 20cm  
185



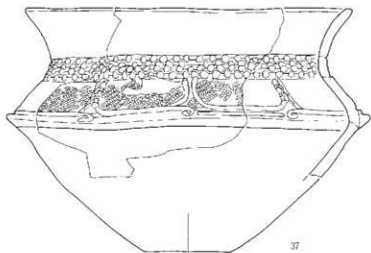
第250图 12区42号住居出土土器(3)

0 1:4 20cm





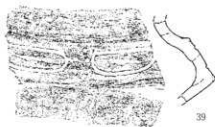
36



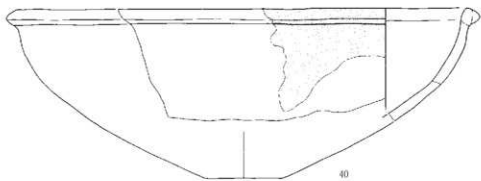
37



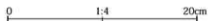
38



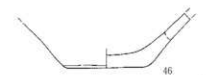
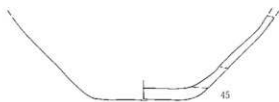
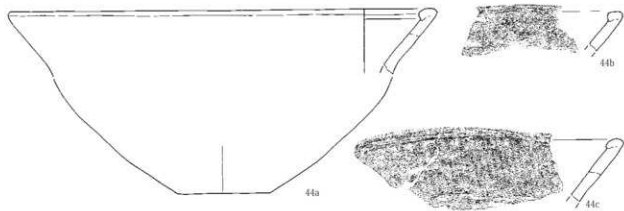
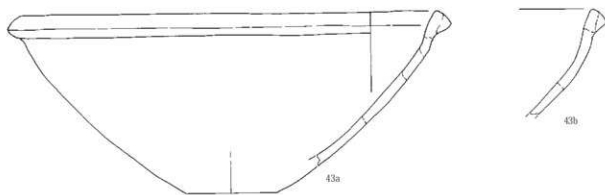
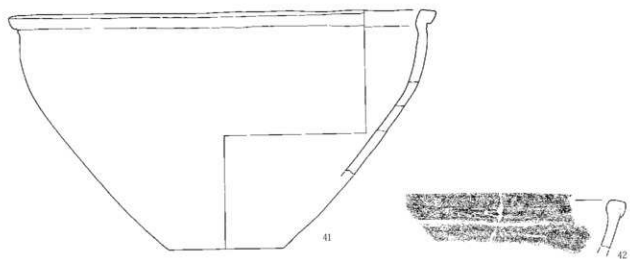
39



40

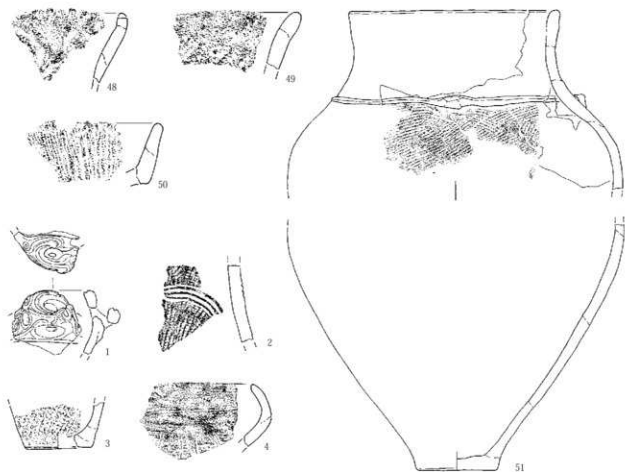


第251图 12区42号住居出土土器(4)

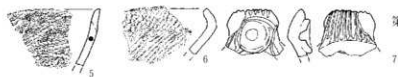


第252图 12区42号住居出土土器(5)

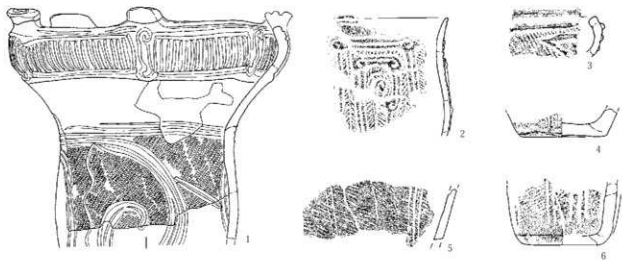
0 1:4 20cm



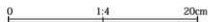
第253图 12区42号住居出土土器(6)



第254图 12区43号住居出土土器

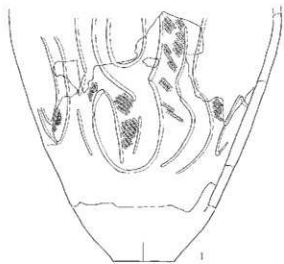


第255图 12区44号住居出土土器

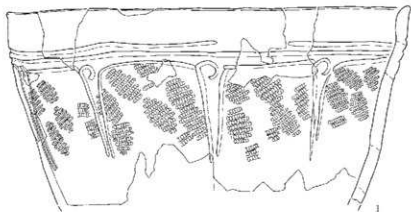




第256图 12区45号住居出土土器

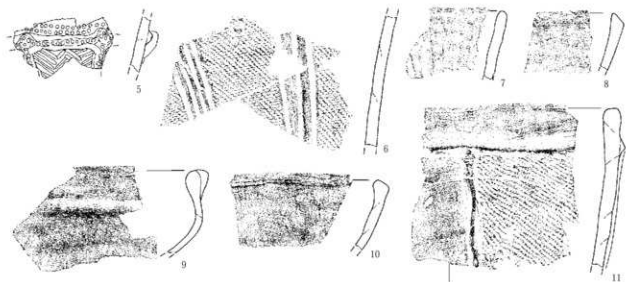


第257图 12区46号住居出土土器

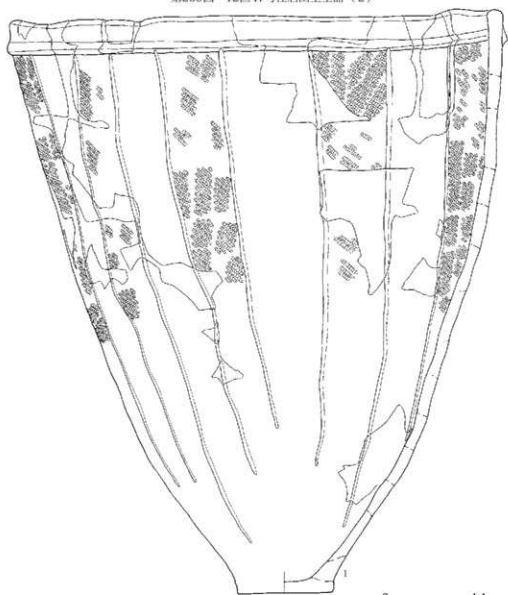


第258图 12区47号住居出土土器 (1)

0 1:4 20cm



第259图 12区47号住居出土土器(2)

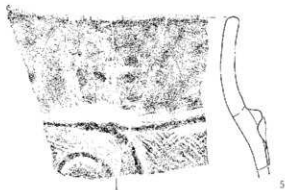
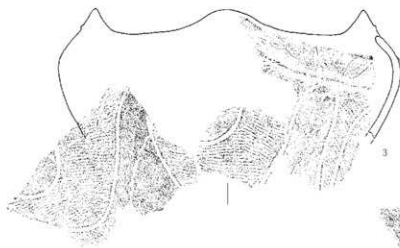
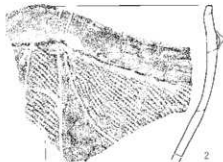
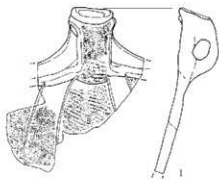


第260图 12区49号住居出土土器(1)

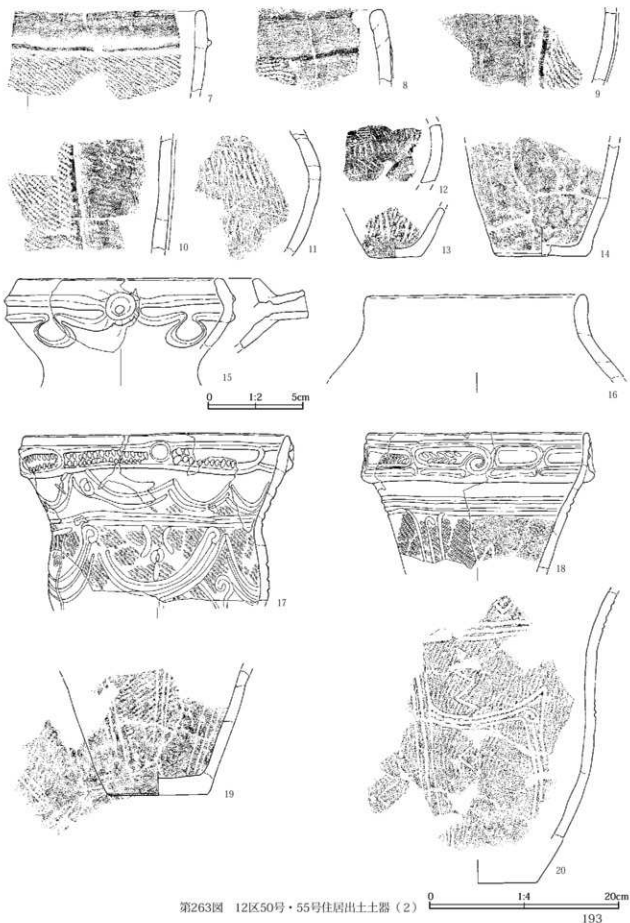
0 1:4 20cm



第261图 12区49号住居出土土器(2)



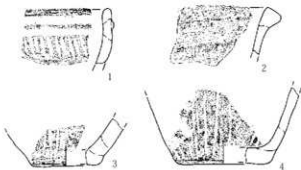
第262图 12区50号・55号住居出土土器(1) 0 1:4 20cm



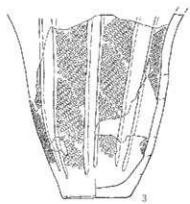
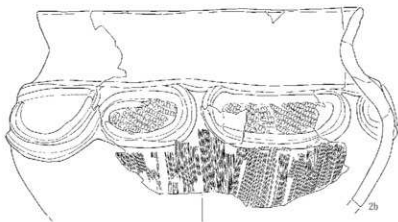
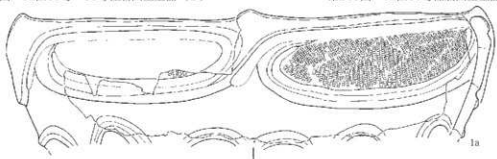
第263图 12区50号·55号住居出土土器(2)



第264图 12区50号·55号住居出土土器(3)



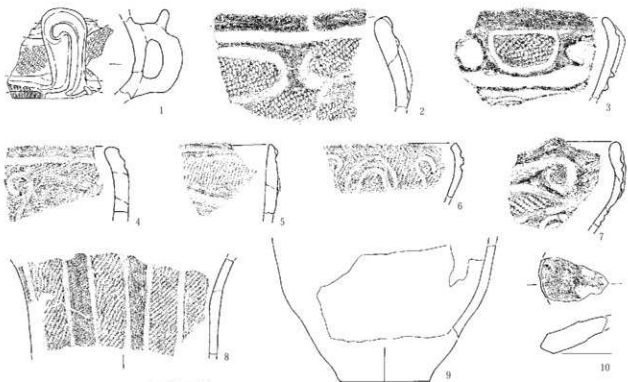
第265图 12区51号住居出土土器



第266图 12区52号住居出土土器

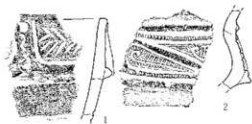
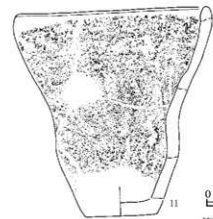
0 1:4 20cm



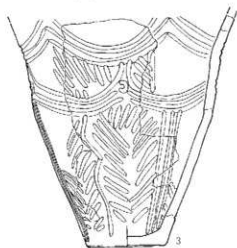


0 1:2 5cm

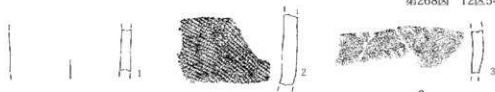
第267图 12区53号住居出土土器



第269图 12区56号住居出土土器

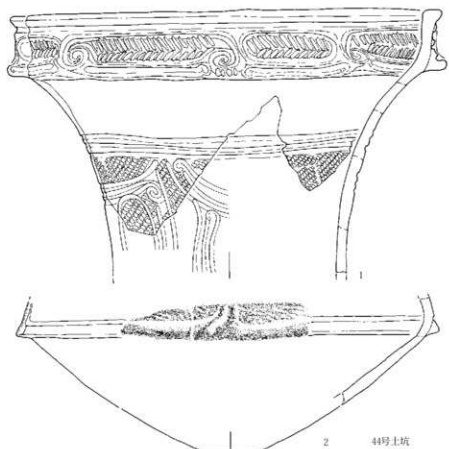
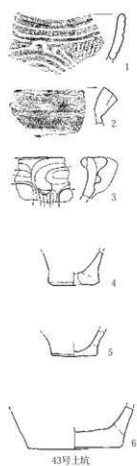
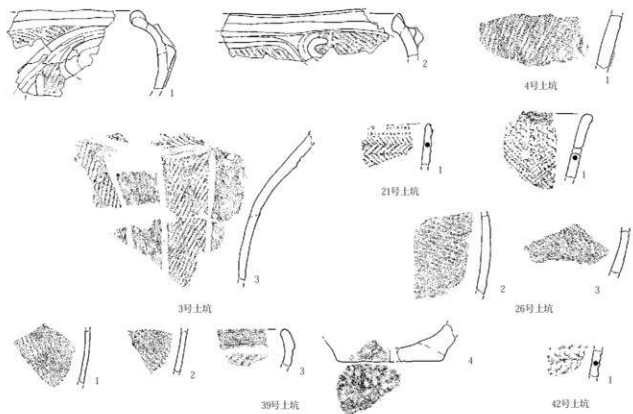


第268图 12区54号住居出土土器



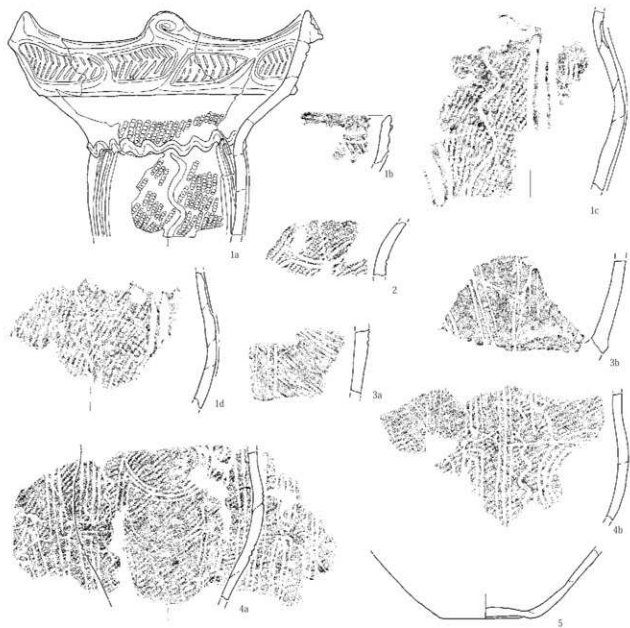
第270图 12区57号住居出土土器

0 1:4 20cm

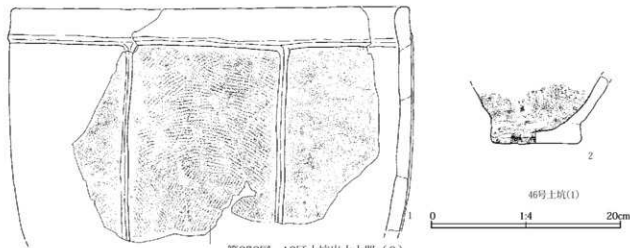


第271图 12区土坑出土土器(1)

0 14 20cm

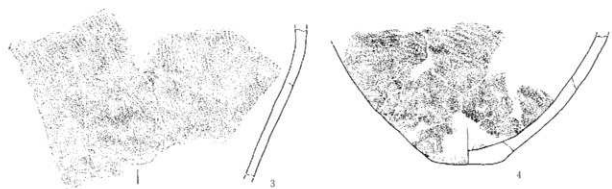


45号土坑

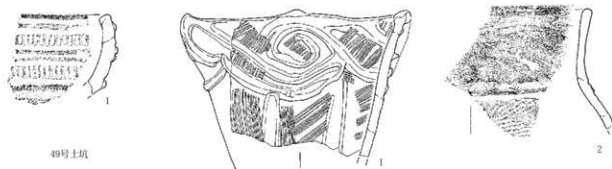


46号土坑(1)

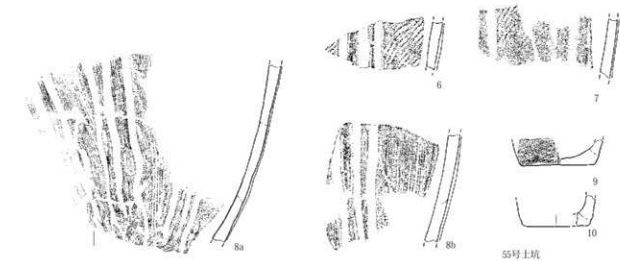
第272图 12区土坑出土土器(2)



46号土坑(2)



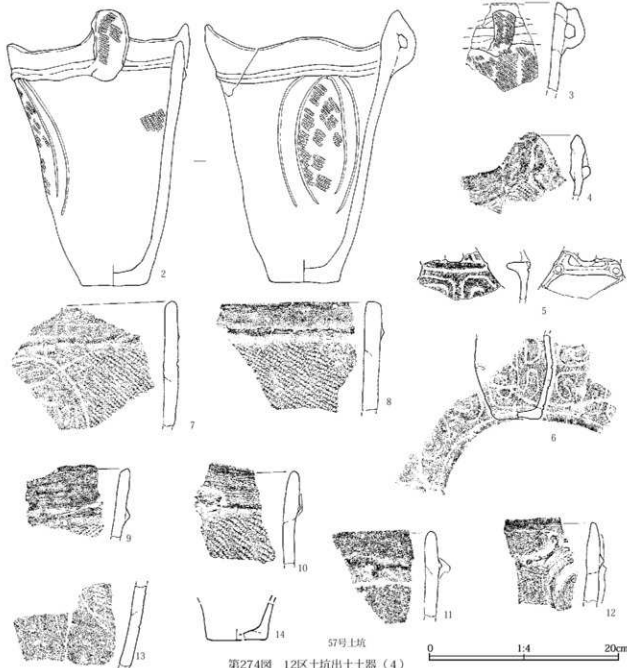
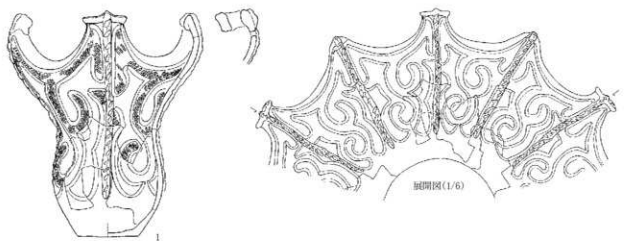
49号土坑



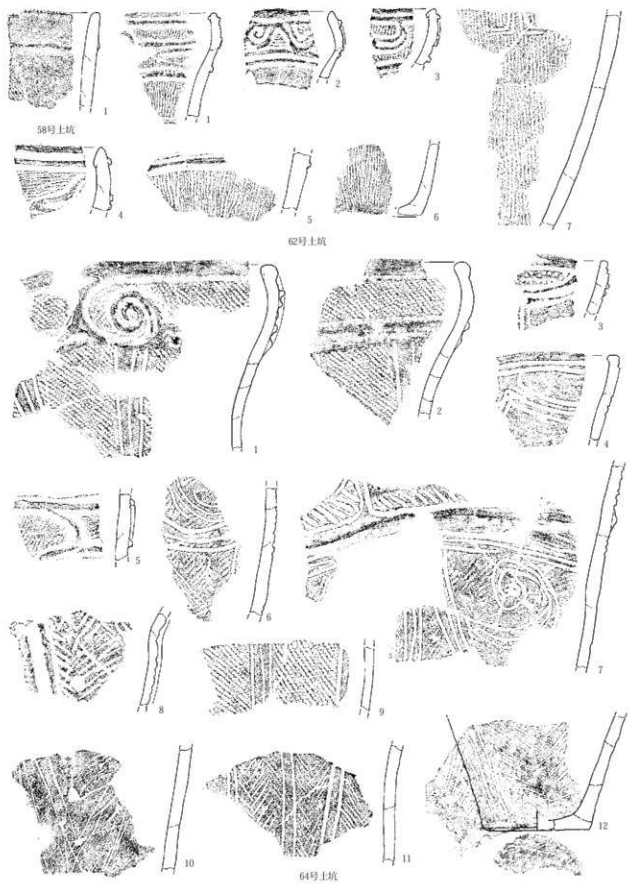
55号土坑

0 1:4 20cm

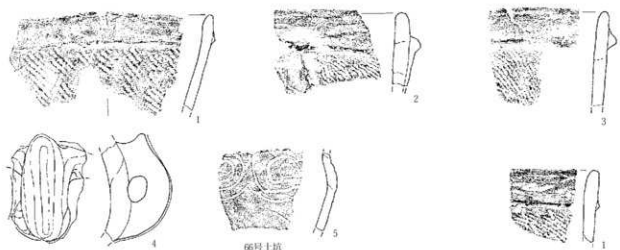
第273图 12区土坑出土土器(3)



第274图 12区土坑出土土器(4)

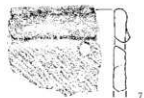
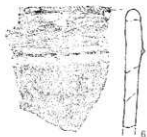
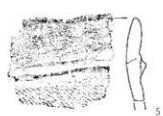
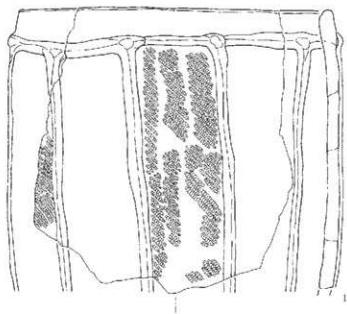


第275图 12区土坑出土土器(5)



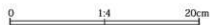
66号土坑

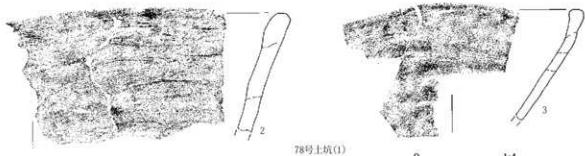
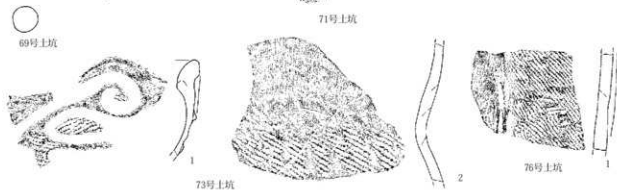
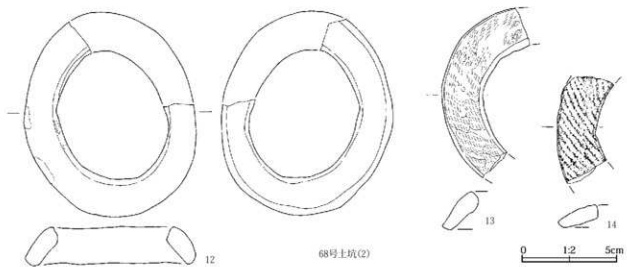
67号土坑



68号土坑(1)

第276图 12区土坑出土土器(6)

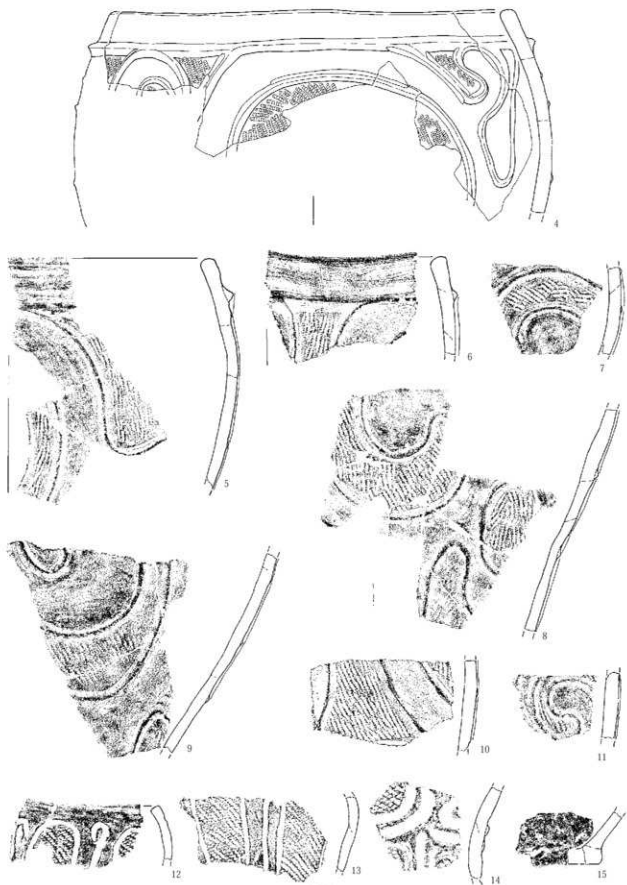




第277图 12区土坑出土土器(7)

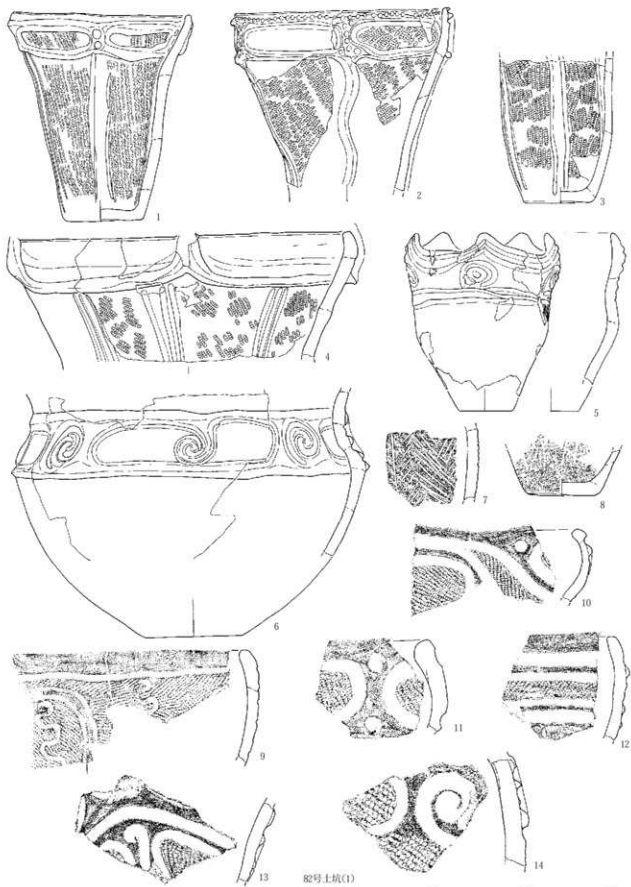
0 1.4 20cm





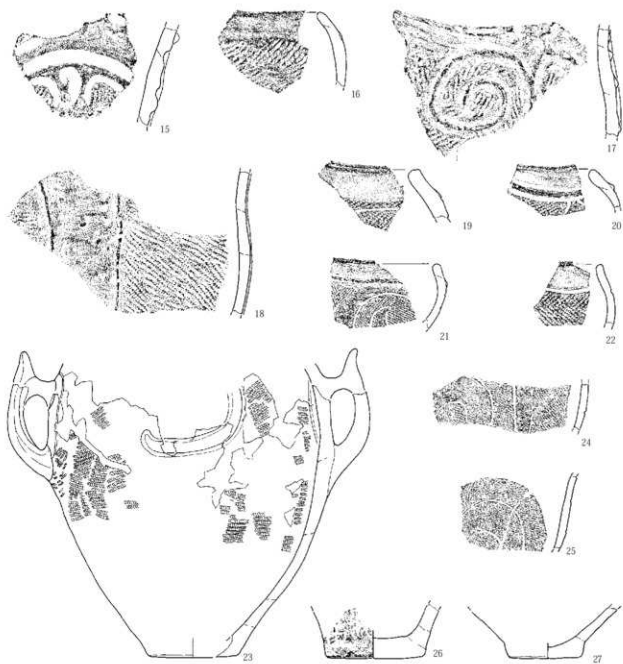
78号土坑(2)  
第278图 12区土坑出土土器(8)

0 1:4 20cm  
203

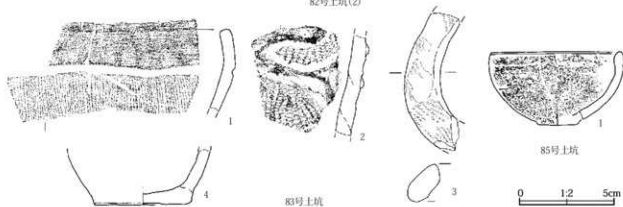


第279图 12区土坑出土土器(9)

0 10 20cm



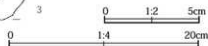
82号土坑(2)



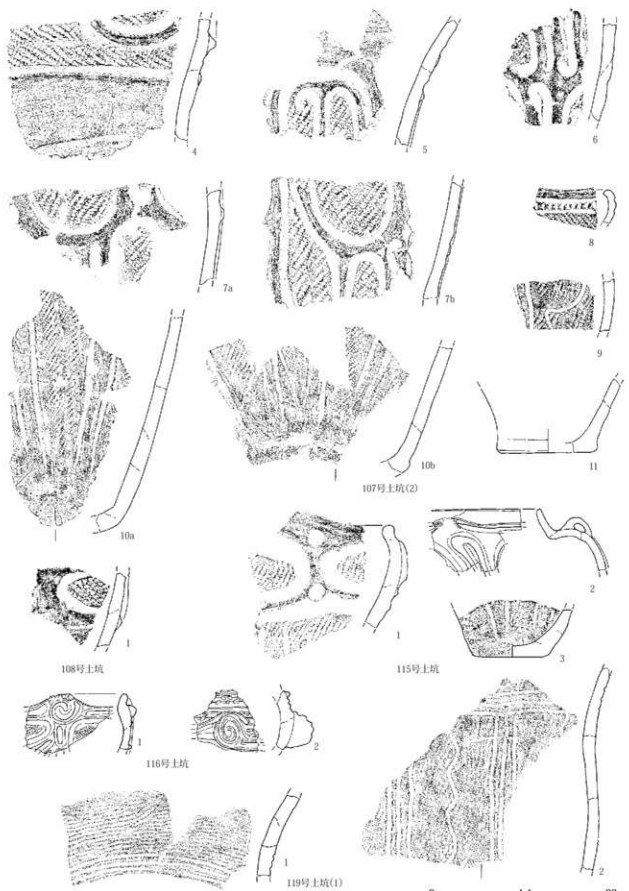
85号土坑

83号土坑

第280图 12区土坑出土土器 (10)



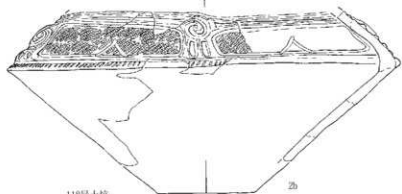
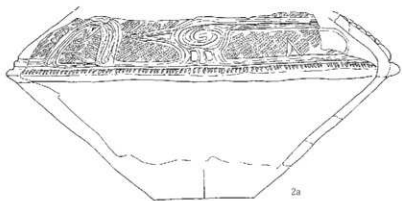
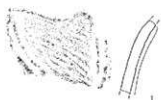




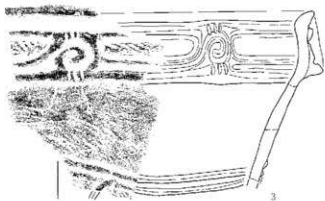
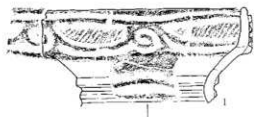
第282图 12区土坑出土土器 (12)



119号土坑(2)



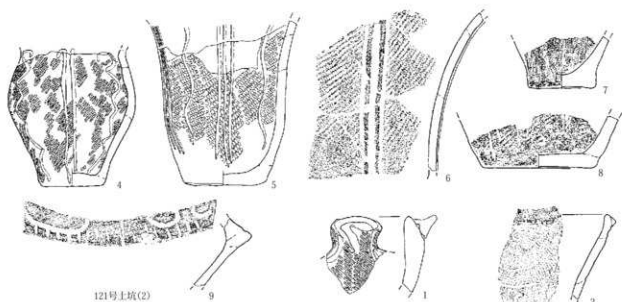
118号土坑



121号土坑(1)

0 1:4 20cm

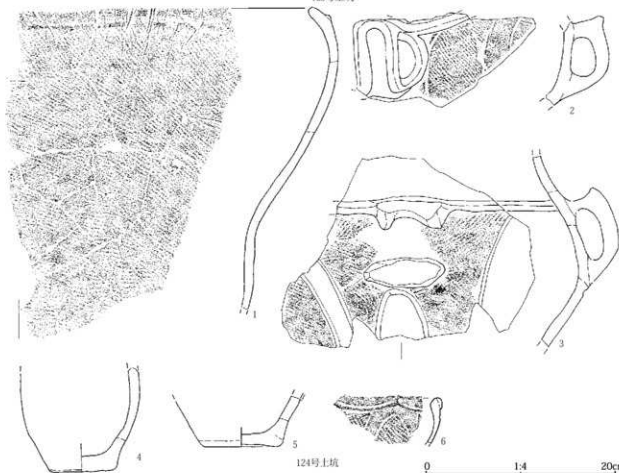
第283图 12区土坑出土土器 (13)



121号土坑(2)



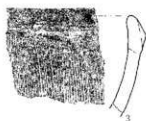
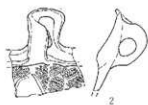
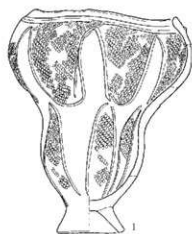
123号土坑



124号土坑

第284图 12区土坑出土土器(14)

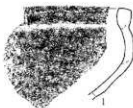
0 1:4 20cm



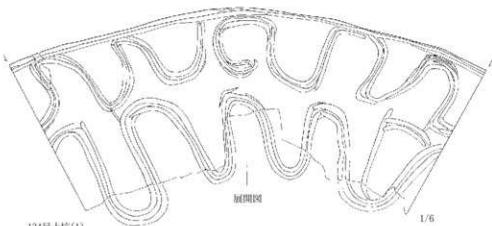
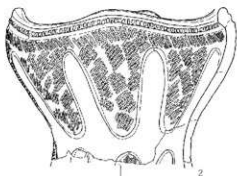
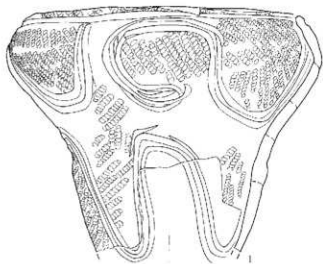
126号土坑



127号土坑



128号土坑



展开图

134号土坑(1)

1/6

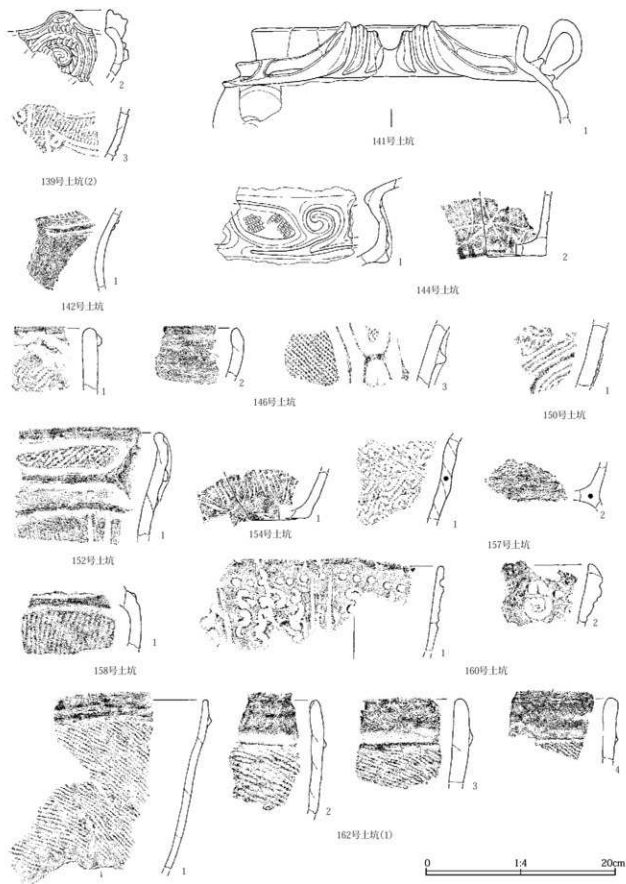


第285图 12区土坑出土土器 (15)

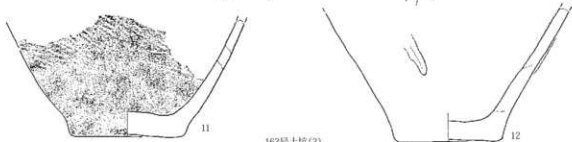
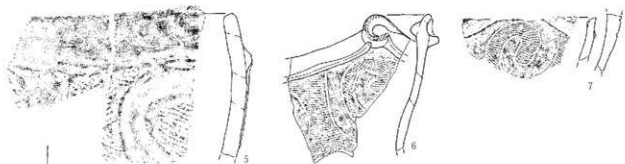
0 1:4 20cm







第287图 12区土坑出土土器(17)



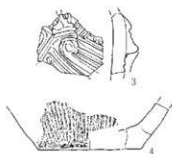
162号土坑(2)



163号土坑



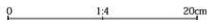
164号土坑

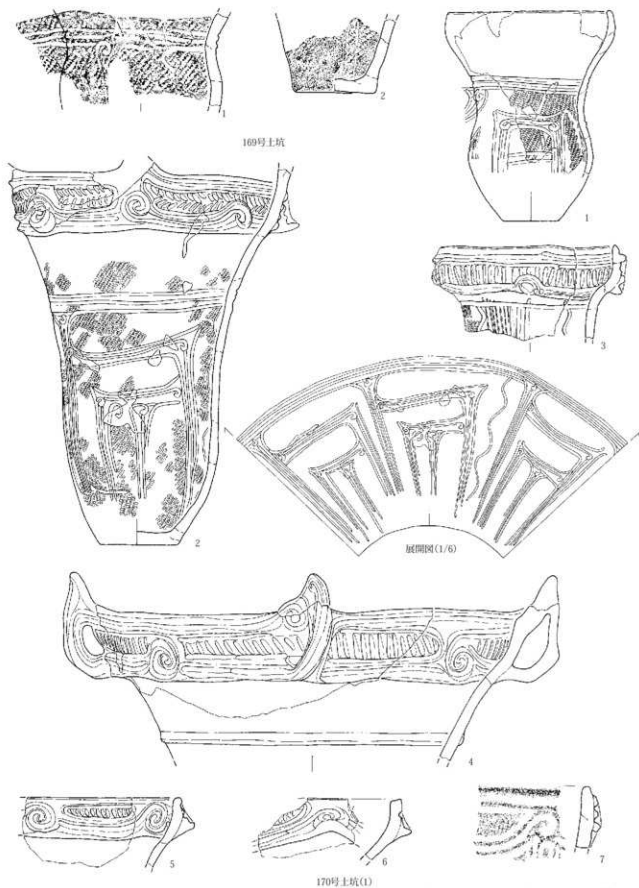


166号土坑

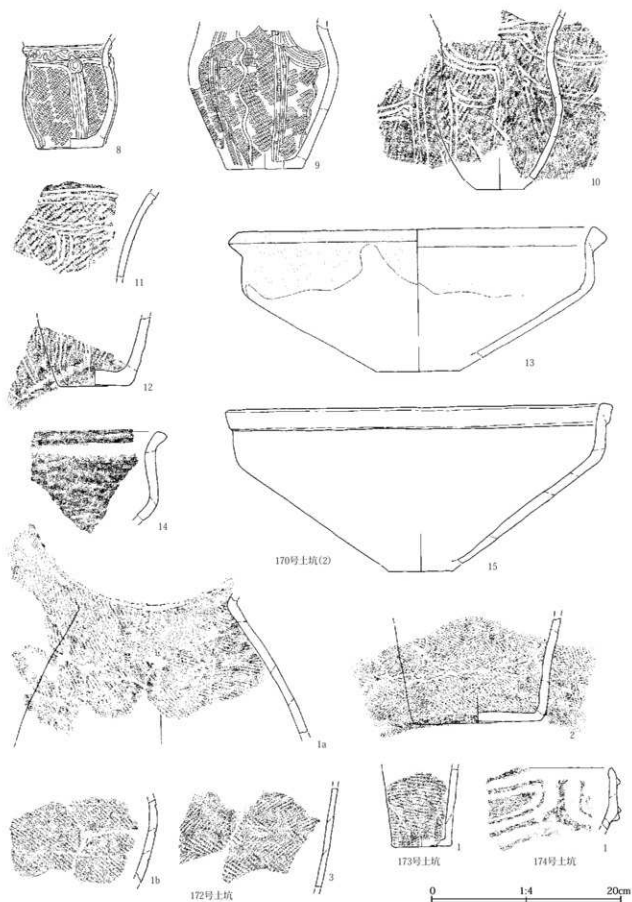


第288图 12区土坑出土土器(18)

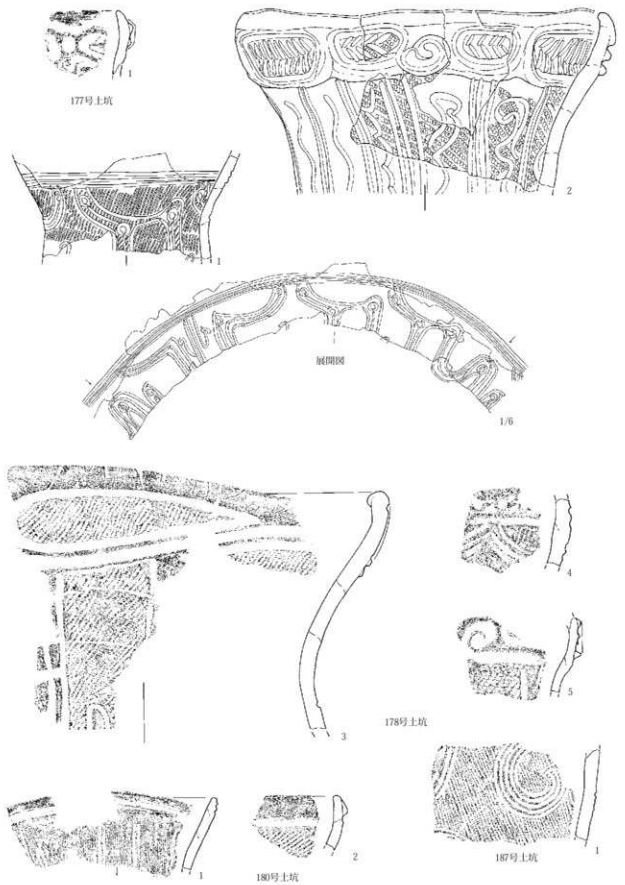




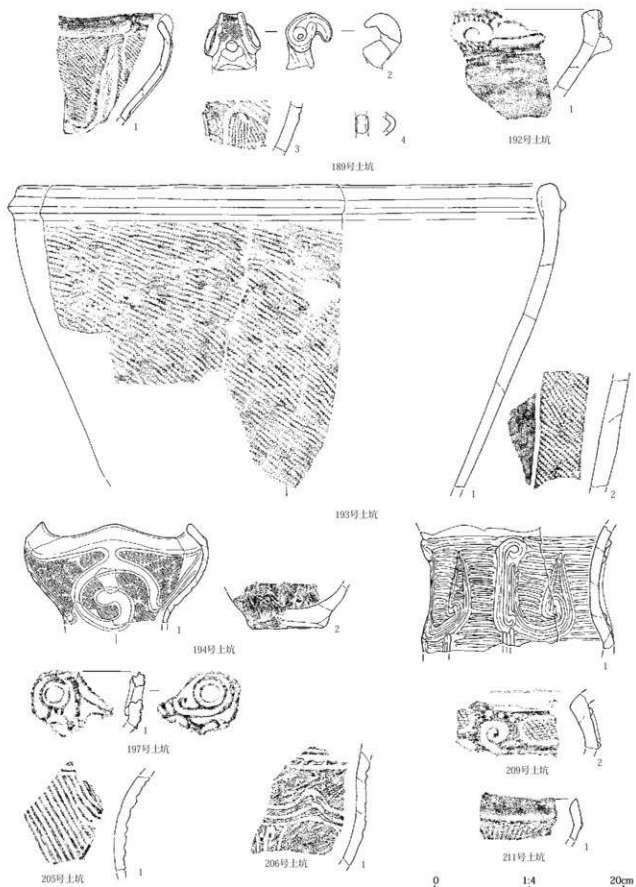
第289图 12区土坑出土土器(19)



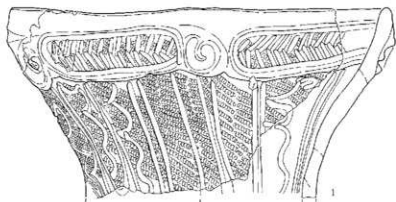
第290图 12区土坑出土土器(20)



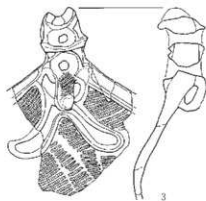
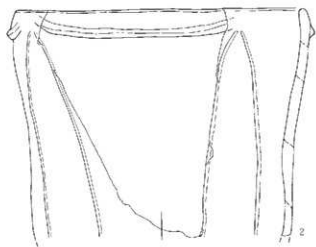
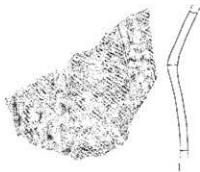
第291图 12区土坑出土土器(21)



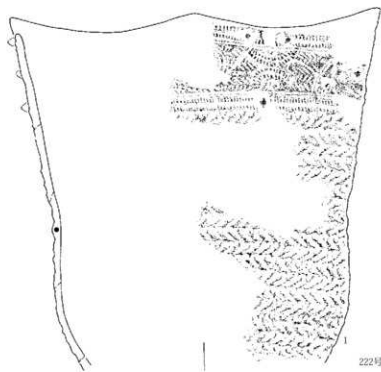
第292图 12区土坑出土土器(22)



218号土坑



219号土坑



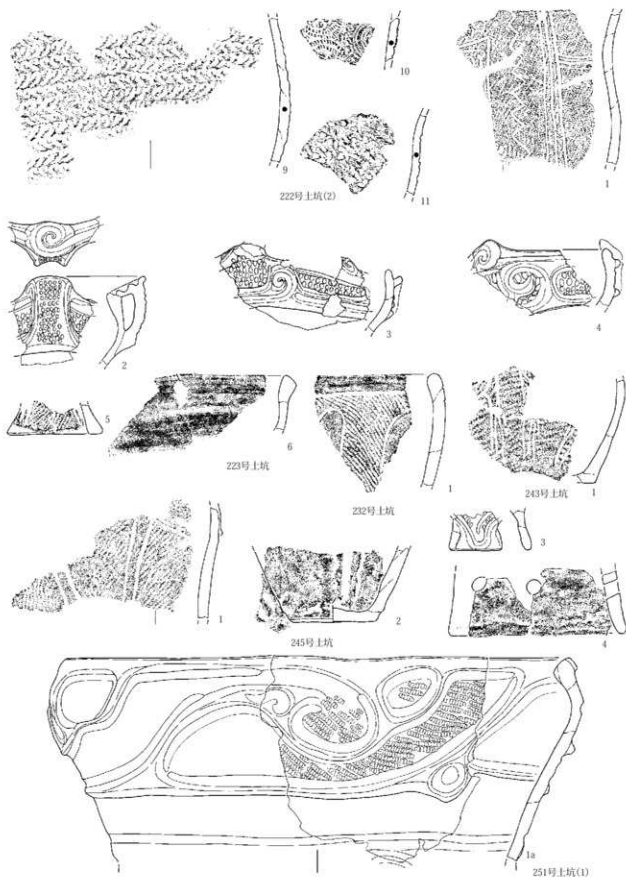
222号土坑(1)



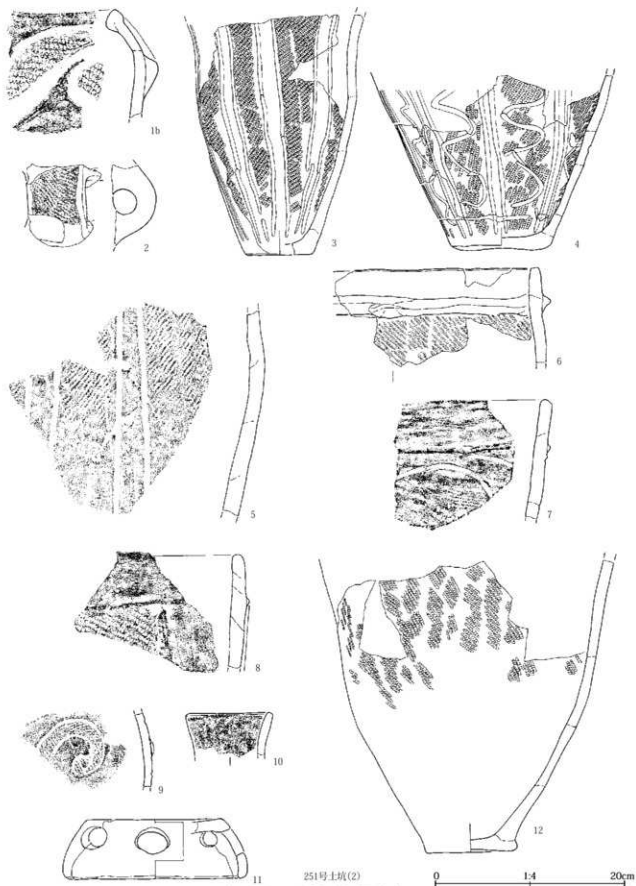
第293图 12区土坑出土土器(23)

0 1:4 20cm



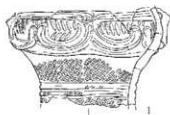
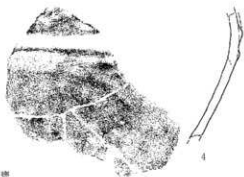
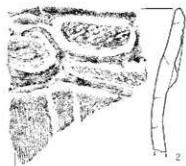
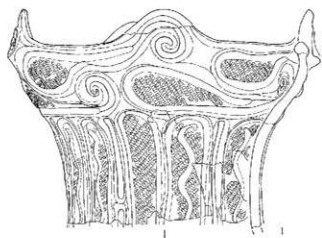


第294图 12区土坑出土土器(24)

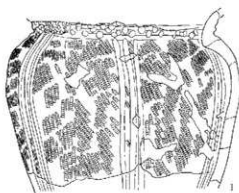


251号土坑(2)

第295图 12区土坑出土土器 (25)



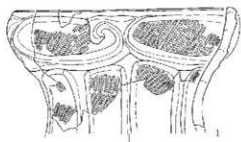
3号埋裘



4号埋裘



5号埋裘



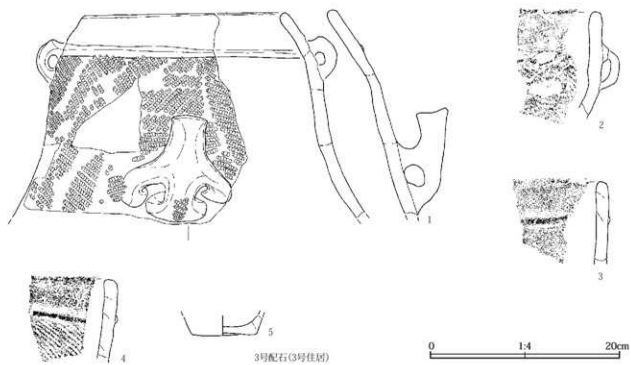
6号埋裘



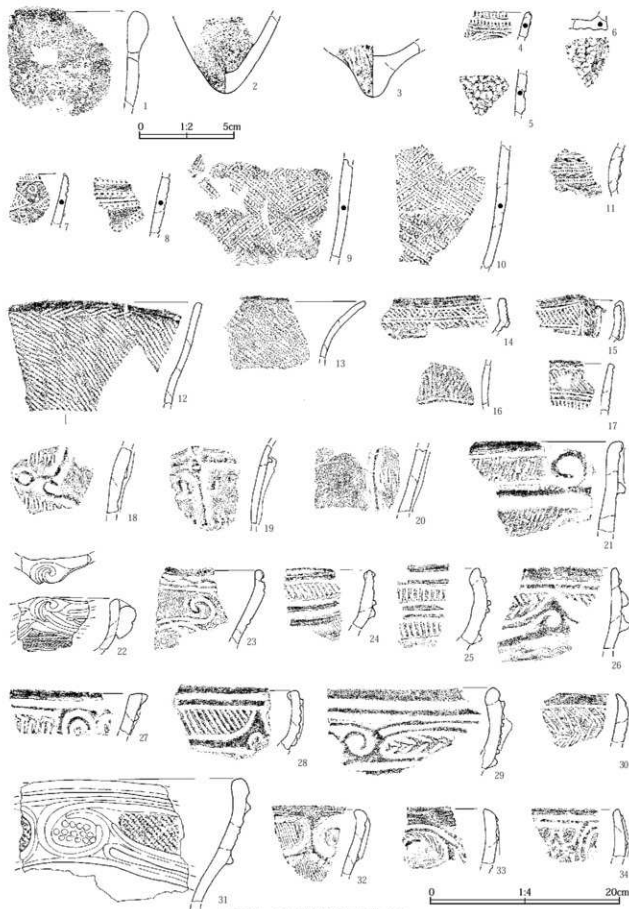
7号埋裘

0 1:4 20cm

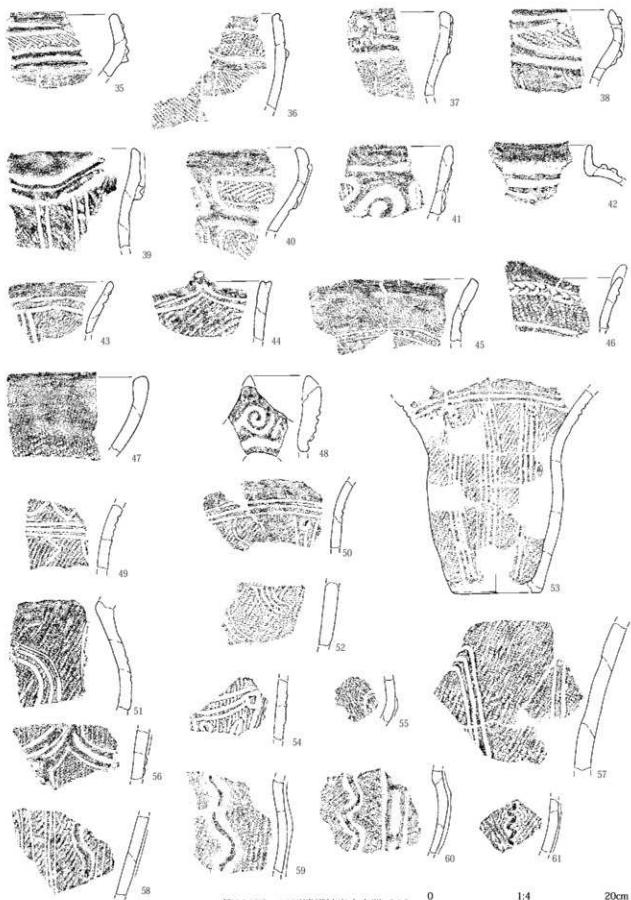
第296图 12区埋裘出土土器



第297图 12区配石出土土器

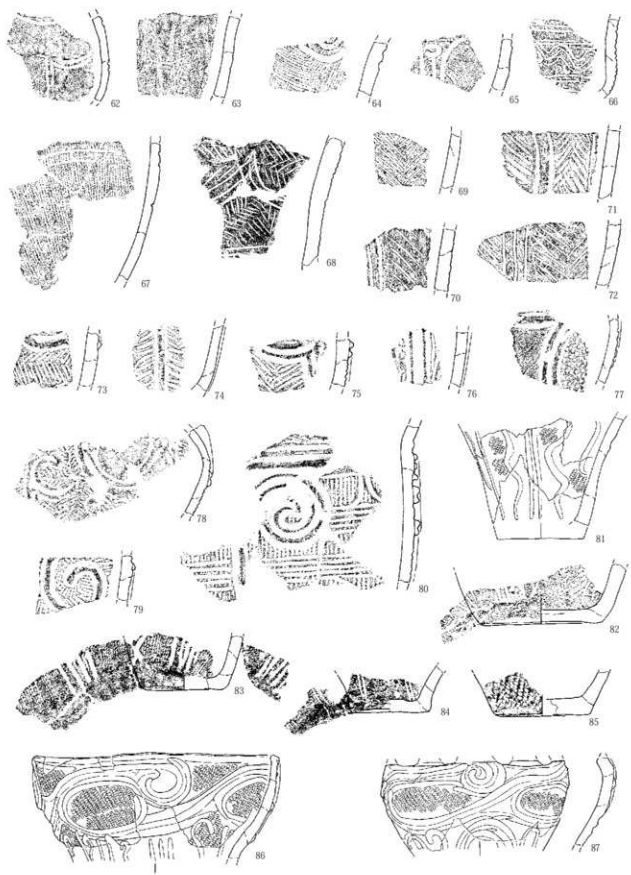


第298图 12区道槽外出土土器(1)



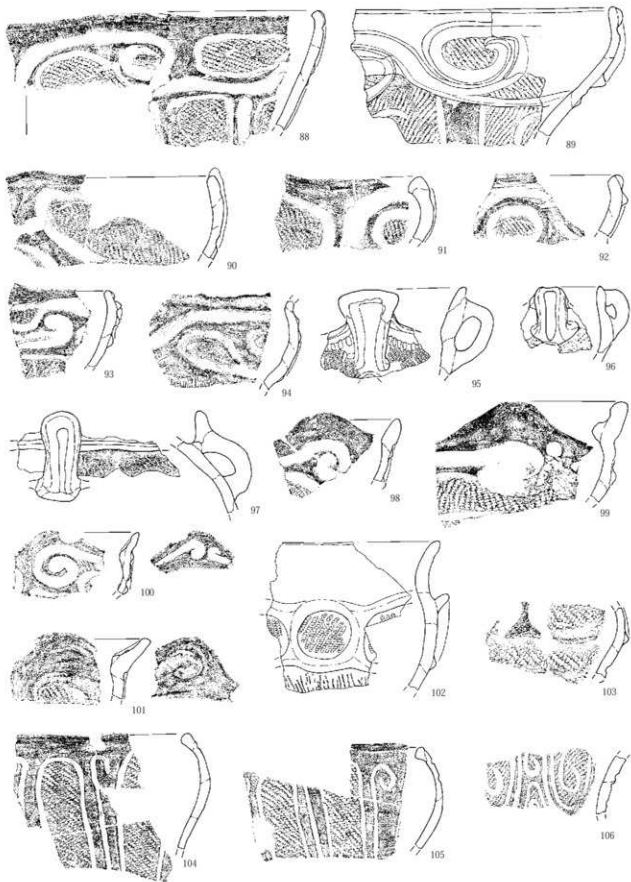
第299图 12区遺構外出土土器(2)

0 1:4 20cm



第300图 12区遺構外出土土器(3)

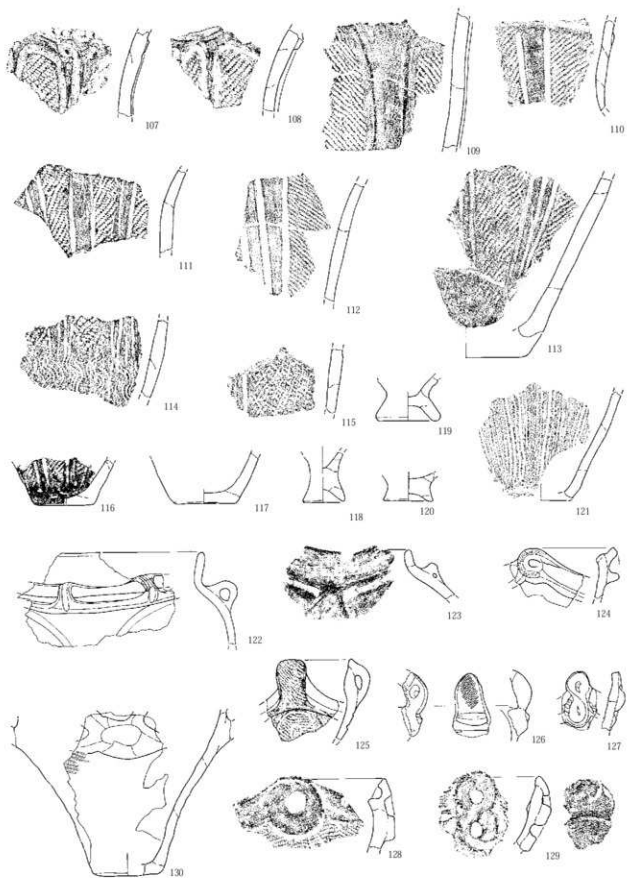
0 1 4 20cm



第301图 12区遺構外出土土器(4)

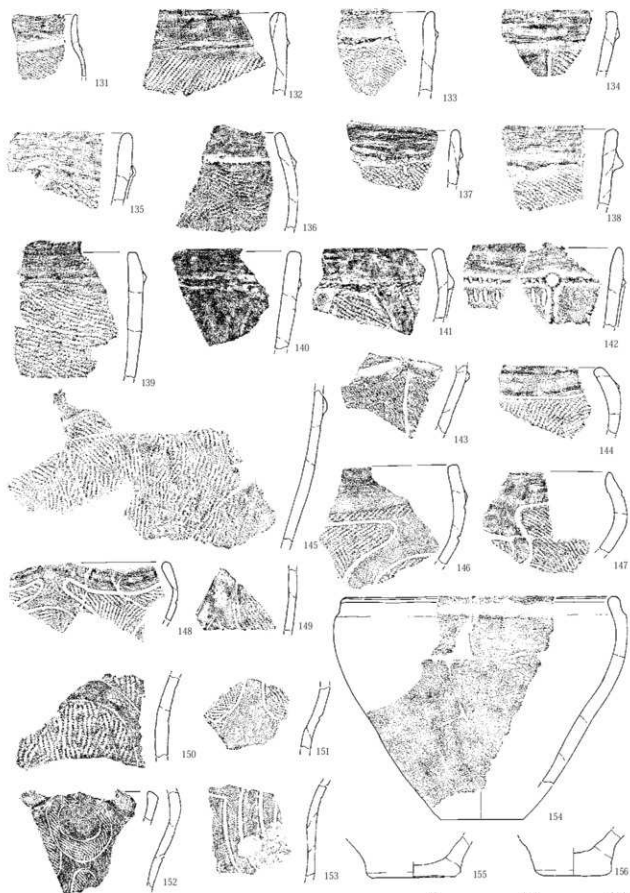
0 1:4 20cm



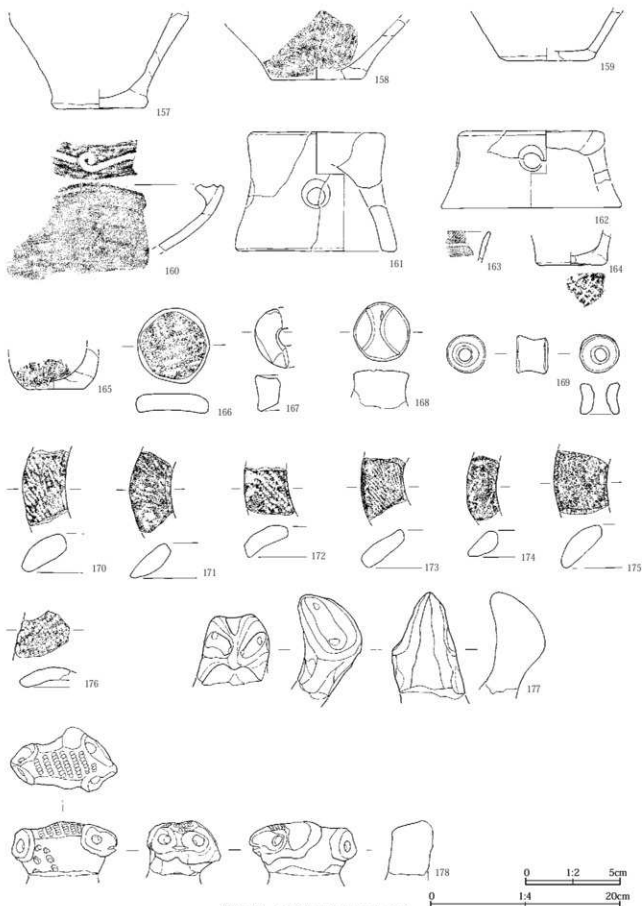


0 1:4 20cm

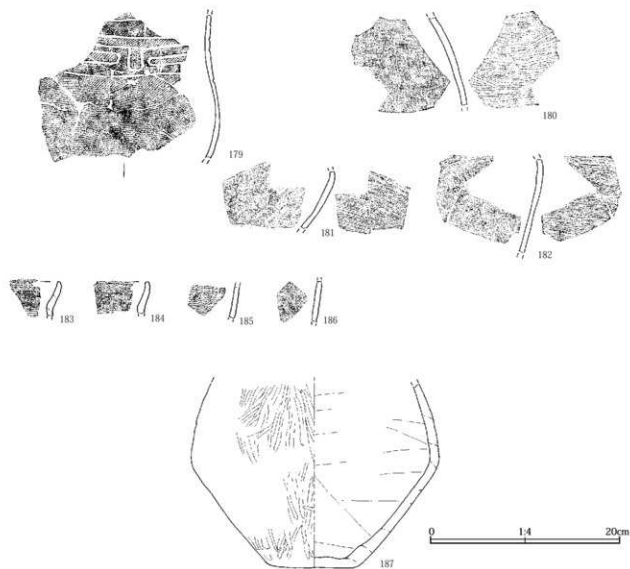
第302图 12区道棚外出土土器(5)



第303图 12区道槽外出土土器(6)



第304图 12区道桥外出土土器(7)



第305图 12区遺構外出土土器(8)

2区1号住居出土土器観察表 (通積:第1分層 第27回, 遺物:第2分層 第1回・P.L.1)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁一部	伊 +12.4	① 26.8 ② 20.5 ③ 5.5	①にぶい黄褐色②繊維③良好	口唇部平縁突帯, 6条一對の柳葉工具による副文, 体部下位に同一具によるコンパス, 地文組紐。	前期前葉
2	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②繊維微③良好	波状口縁双面部, 直前段合摺り。	前期前葉
3	深鉢 体部	伊 +11.1	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③普通	縄の閉端の環を多段施文, 横位施文の直前段合摺りによる羽状施文。	前期前葉
4	深鉢体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②細砂粒③良好	縄文 RL。	前期前葉
5	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維③普通	縄の閉端の環を多段施文。	前期前葉
6	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②細砂粒③普通	0段多条を横位施文, 羽状施文。	前期前葉
7	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①黒褐色②細砂粒多③普通	0段多条を横位施文, 羽状施文, コンパス文様の弧状沈線あり。	前期前葉
8	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明褐色②細砂粒③普通	羽状施文。	前期前葉
9	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②繊維③普通	4条一對の柳葉状工具によるコンパス文, 直前段合摺り。	前期前葉
10	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明黄褐色②繊維③普通	5条一對の縦長コンパス文, 地文組紐。	前期前葉
11	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	3条一對の柳葉状工具によるコンパス文, 地文組紐。	前期前葉
12	深鉢 体部	伊 +11.6	①-②-③-	①明赤褐色②細砂粒③普通	縄の閉端の環を組み合わせ羽状施文。	前期前葉

3区1号住居出土土器観察表 (通積:第1分層 第28-29回, 遺物:第2分層 第2回・P.L.1)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	片口土器 平突形	南東隅 +1	① 16.6 ② 20.5 ③ 5.5	①赤褐色②繊維③良好	口縁部1ヶ所平縁の突帯, その中央に片口部を作り出す。片口部は上方に口を向ける。縄の閉端の環横位多段施文。	前期前葉
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③普通	口唇部爪形文状の刻み入る粘土帯附け, 地文組紐。	前期前葉
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維微③普通	口唇部施文, 口縁部は地の閉端の環を多段施文。	前期前葉
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③普通	口縁部平縁, 穿孔1ヶ所。	前期前葉
5	深鉢口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維微③普通	口縁部平縁, 穿孔1ヶ所, 縄文組紐。	前期前葉
6	深鉢口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維微③普通	波状口縁, 竹管状工具による直線・矩形・弧状施文。	前期前葉
7	深鉢体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維微③普通	直前段合摺り, 羽状施文。	前期前葉
8	深鉢体部 北隅+13	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維微③普通	直前段合摺り, 羽状施文。	前期前葉
9	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③普通	直前段合摺り。	前期前葉
10	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維微③普通	直前段合摺り。	前期前葉
11	深鉢 体部	床下	①-②-③-	①明赤褐色②繊維③普通	直前段合摺り, 羽状施文。	前期前葉
12	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維微③普通	直前段合摺り, 2条一對の沈線によるコンパス文。	前期前葉
13	深鉢 体部	南西 +4	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③普通	2条一對の沈線によるコンパス文, 地文組紐。	前期前葉
14	深鉢 底部	北西 +14	①-②-③-	①明赤褐色②繊維③普通	底部上げ底, 縄文 RL。	前期前葉

3区1号土坑出土土器観察表 (通積:第1分層 第30回, 遺物:第2分層 第2回・P.L.1)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	1上 +13	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	平口縁, 地文組紐。	前期前葉

3区遺域外出土土器観察表 (遺物:第2分層 第2回・P.L.1)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部	V層	①-②-③-	①灰黄褐色②繊維微③普通	直前段合摺り, 羽状施文, 3条一對のコンパス文。	前期前葉
2	深鉢 口縁部	V層覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	横位の段線帯, 口縁部無文。	中期後半
3	深鉢 体部	V層覆土	①-②-③-	①明黄褐色②砂粒③普通	体部下半細密条線。	中期後半

4区1号住居出土土器観察表 (通積:第1分層 第32回, 遺物:第2分層 第3回・P.L.1)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明黄褐色②砂粒多③普通	2条一對の縦位沈線による区画, 沈線間は無文, 区画内は縄文 RL と縦位蛇行沈線。	中期後半

## 出土土器観察表

4区2号住居出土土器観察表 (道精:第1分冊 第33頁, 遺物:第2分冊 第3頁・P.L.1)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	伊 覆土	①・②・③	①にふい・黄褐色②砂粒③普通	口縁部横位の沈線。遠る。「口」の沈線区画。縄文 LR。	中期後半
2	深鉢 体部	伊 覆土	①・②・③	①にふい・黄褐色②砂粒③普通	隆線による縦区画。区画内縄文 RL。	中期後半

7区1号土坑出土土器観察表 (道精:第1分冊 第35頁, 遺物:第2分冊 第4頁・P.L.2)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢口縁部	+18	①・②・③	①褐色②繊維③普通	瘤状付文。地文引状縄文。	前期前半
2	深鉢 体部	+12	①・②・③	①にふい・褐色②細砂粒③良好	縄文 LR。	中期後半

7区1号配石出土土器観察表 (道精:第1分冊 第36頁, 遺物:第2分冊 第4頁・P.L.2)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部	+4	①・②・③	①にふい・赤褐色②繊維③良好	口縁部平行沈線。頸部爪形文で区画。横の閉端の環を横位に多段とコンパス文。	前期前半
2	深鉢 体部	+4	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	縦位細密条線。	中期後半

7区遺構外出土土器観察表 (遺物:第2分冊 第4頁・P.L.2)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	Bm-47	①・②・③	①にふい・黄褐色②細砂粒③普通	口縁部無文。凹線回り、下部縄文。	中期後半
2	深鉢 口縁部	Bp-51	①・②・③	①赤褐色②細砂粒③普通	隆帯上に12mmの円形押圧。沈線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
3	深鉢 口縁部	V1層	①・②・③	①にふい・黄褐色②砂粒③普通	口縁部無文。横位沈線。遠る。沈線による楕円形区画。縄文 RL。	中期後半
4	深鉢 口縁部	V1層	①・②・③	①にふい・黄褐色②細砂粒③普通	横位の隆線で区切られ体部縦位条線。	中期後半
5	深鉢 体部	Bf-42	①・②・③	①にふい・赤褐色②細砂粒③普通	縦位隆帯で区画。縄文 RL。	中期後半
6	深鉢 体部	V1層	①・②・③	①明赤褐色②繊維③普通	直前段合摺り。羽状條文。	前期前半

8区1号住居出土土器観察表 (道精:第1分冊 第38頁, 遺物:第2分冊 第5・6頁・P.L.2)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部～底部	伊体上部内 27	① 28 ②③	①にふい・黄褐色②砂粒③良好	体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文 Lr 充填。	中期後葉
2	深鉢 体部	伊体上部	①・②・③	①にふい・褐色②砂粒③普通	体部2条一對の縦位沈線で区画。無文帯と縄文 Lr 充填。	中期後葉
3	深鉢 口縁部	伊脇 +18	①・②・③	①にふい・赤褐色②砂粒③普通	口縁内積。横位連続刺突文。沈線による楕円形区画。縄文 Lr。	中期後半
4	深鉢 口縁部	伊体上部内 +9	①・②・③	①明黄褐色②砂粒多③普通	口縁部無文。横位隆線。遠る。縄文 RL。	中期後半
5	深鉢口縁部	覆土	①・②・③	①褐色②砂粒③普通	波状口縁。楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
6	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①にふい・黄褐色②細砂粒③普通	波状口縁。6mmの横位沈線4条。遠る。沈線間に縄文 RL。	中期後半
7	深鉢 体部	P2 南西 +21	①・②・③	①黄褐色②砂粒③普通	隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。縦位の条線あり。	中期後半
8	深鉢 体部	P2 脇 +16	①・②・③	①浅黄褐色②砂粒③普通	隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
9	深鉢体部	其東+25	①・②・③	①灰褐色②砂粒③普通	低い横位隆線。遠る。「口」の沈線区画。縄文 RL。	中期後半
10	深鉢体部	伊南+8	①・②・③	①褐色②砂粒③普通	縦位沈線。	中期後半
11	深鉢 体部	P3 脇 +14	①・②・③	①浅黄褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線による区画。縄文 RL。	中期後半
12	深鉢体部	伊脇+24	①・②・③	①黄灰色②砂粒③普通	縦位細密条線。	中期後半

8区2号住居出土土器観察表 (道精:第1分冊 第39頁, 遺物:第2分冊 第7～9頁・P.L.2-3)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	口縁突起	覆土, Bg.5	①・②・③	①褐色②砂粒③普通	瘤状把手。把手断面文。側縁φ6mmの連続円形刺突。	中期後半
2	深鉢口縁部	覆土	①・②・③	①灰褐色②砂粒③普通	3条の横位沈線。遠る。沈線内φ8mmの円形刺突。	中期後半
3	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①褐色②細砂粒③普通	口唇部突起。沈線による渦巻文。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①にふい・黄褐色②砂粒③普通	隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL・発見痕。	中期後半
5	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③普通	巾1cm程の横位の凹線。山型沈線で区画。縄文 RL。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
6	深鉢 口縁～底部	+31	① ② 35.3 ③ 7.5	①にぶい黄褐色②細砂 ③良好	口縁部無文。楕状把手を有する。前部低い横状隆線と縦位2条一對の沈線で区画。縄文RL。	中期後半
7	深鉢 口縁部	+33	① ② ③-	①にぶい黄褐色②細砂 ③普通	無文。赤色塗彩痕あり。	中期後半
8	深鉢 体部	+45	① ② ③-	①にぶい黄褐色②細砂 ③普通	2条一對の隆線による渦巻文。区画内縄文RL。	中期後半
9	深鉢 体部	+23	① 61.4 ②-	①灰白色②細砂③良好	口縁部内凹線寄り、楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文RL。充填。体部2条一對の縦位沈線で区画。沈線間に載手文から垂下する蛇行沈線。	中期後半
10	深鉢 体部	+31	① ② ③-	①にぶい褐色②細砂③普通	縦位隆線で区画及び渦巻文。一部赤色塗彩痕あり。	中期後半
11	深鉢 体部	+27	① ② ③-	①明赤褐色②細砂③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
12	深鉢 口縁部	覆土部	① ② ③-	①褐色②細砂③普通	φ8mmの円形連続刺突窓。横位縄文RL。	中期後半
13	深鉢 体部	+33	① ② ③-	①褐色②細砂多③普通	巾7mmの中広沈線による縦位「U」字区画。下方は斜位又は縦位の乱れた条線。14と同一個体。	中期後半
14	深鉢 体部	+28	① ② ③-	①褐色②細砂多③普通	縦位沈線による区画。沈線間縄文RL。下方は斜位又は縦位の乱れた条線。13と同一個体。	中期後半
15	深鉢 体部	+31	① ② ③-	①褐色②細砂③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
16	深鉢 体部	+44	① ② ③-	①浅黄褐色②細砂多③普通	横位の沈線一条と「丁」字形に縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
17	深鉢 体部	+25	① ② ③-	①にぶい褐色②細砂③良好	縦位沈線2条一對を4cm前後の中で均等に配する。縄文RL。	中期後半
18	深鉢 体部	+25	① ② ③-	①褐色②細砂③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
19	深鉢 体部	+44	① ② ③-	①にぶい黄褐色②細砂 ③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
20	深鉢 体～底部	+38	① ② ③-	①浅黄褐色②細砂③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
21	深鉢 体部	+48	① ② ③-	①浅黄褐色②細砂③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
22	深鉢 体部	+31	① ② ③-	①灰黄色②細砂③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
23	深鉢 体部	+31	① ② ③-	①にぶい褐色②細砂③普通	2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半
24	深鉢 体部	+23	① ② ③-	①にぶい黄褐色②細砂 ③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
25	深鉢 体部	+25	① ② ③-	①褐色②細砂③普通	3条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
26	深鉢 体部	+43	① ② ③-	①褐色②細砂③普通	沈線による区画。区画内縄文。	中期後半
27	深鉢 体部	+43	① ② ③-	①にぶい赤褐色②細砂 ③普通	隆線による区画。赤色塗彩痕あり。	中期後半
28	深鉢 体部	+31	① ② ③-	①にぶい赤褐色②細砂 ③普通	隆線による区画。	中期後半
29	深鉢 体部	+29	① ② ③-	①黒褐色②細砂③普通	沈線による区画。	中期後半
30	深鉢 体部	覆土	① ② ③-	①褐色②細砂③良好	隆線と沈線による区画。	中期後半

8区3号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第40回,通物:第2分冊 第10-11回・P.L.4)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	中体土器	① 40.0 ②-	①淡黄②細砂③良好	口縁部楕円形区画。区画内縄文充填。2条一對の縦位沈線で均等に区画。縄文RL。	中期後半
2	深鉢 口縁部	P3 脇+1	① ② ③-	①にぶい黄褐色②細砂 ③普通	舌状突起を有し口縁部楕円形区画。体部は2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
3	深鉢 口縁部	中脇+23	① ② ③-	①淡黄色②細砂③普通	口縁部短し無文帯。浅い2～3条の波状沈線。縄文RL。	中期後半
4	深鉢 口縁部	中脇+23	① ② ③-	①にぶい褐色②細砂③普通	3条の沈線による「U」字区画。縄文RL。	中期後半
5	深鉢 口縁部	中脇+22	① ② ③-	①にぶい褐色②細砂③普通	3条の沈線による「U」字区画。縄文RL。	中期後半
6	深鉢 口縁部	西+24	① ② ③-	①浅黄褐色②細砂③普通	口唇部横位沈線1条窓。体部に2条一對の沈線で区画。縄文RL。	中期後半
7	深鉢 口縁部	中東+20	① ② ③-	①淡黄褐色②細砂・粘土 ③普通	口縁部隆線による楕円形区画。体部に2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
8	深鉢 口縁部	P2 脇+20	① ② ③-	①淡黄色②細砂・粘土 ③普通	短い無文の口縁と連続弧状隆線による区画。縄文RL。	中期後半
9	深鉢 口縁部	覆土	① ② ③-	①明赤褐色②細砂③普通	無文の口縁と横位の沈線。	中期後半
10	深鉢 体～底部	中脇+18	① ② ③-	①淡黄色②細砂③普通	隆線による楕円形区画。区画内縄文。楕状把手刺痕。体部条線。縄文RL。	中期後半
11	深鉢 体部	P3 西+22	① ② ③-	①灰黄色②細砂③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
12	深鉢 底部	P3 脇 +27	①-②-③-	①淡黄色②細砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
13	深鉢 底部	南 +6	①-②-③-	①淡黄色②砂粒・粘土粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
14	深鉢 底部	伊東 +7	①-②-③-	①浅黄褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
15	深鉢 底部	P2 上 +21	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
16	深鉢 底部	南 +6	①-②-③-	①浅黄褐色②砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文上半 RL、下半 RL 分別施文。	中期後半
17	深鉢 底部	伊脇土 0	①-②-③-	①淡黄色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
18	深鉢 底部	伊東 +7	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
19	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 7.5	①浅黄褐色②砂粒③普通	縦位条線施文。	中期後半
20	深鉢 底部	伊脇 +18	①-②-③ 7.5	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半
21	深鉢 底部	伊東 +23	①-②-③ 4.8	①橙色②砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半

8区4号住居出土土器観察表 (通積:第1分層 第41-44層, 遺物:第2分層 第12回・P.L.5)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁~底部	北西 +9	① 48.2 ②-	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部凹線による渦巻文。除線及び沈線による楕円形区画。除線上に凹形刺突。体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半

8区5号住居出土土器観察表 (通積:第1分層 第42-43層, 遺物:第2分層 第13-14回・P.L.5-6)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁~底部	P3 脇 -4	① 21.7 ②- ③-	①明褐色②繊維③普通	円筒形。2条一對横位爪形文を有する無文帯を3段に配する。区画内羽状縄文。	前期中葉
2	深鉢 口縁~底部	南東隅 ±0	① 36.6 ②- ③-	①明褐色②繊維・片岩屑③普通	口唇部三角形突起を約6cm間隔で配する。羽状縄文。	前期中葉
3	深鉢 口縁~底部	P3 内 -30	① 28.6 ②- ③-	①褐色②繊維③良好	巾3mm沈線による横位コンパス文を多段に配する。	前期中葉
4	深鉢 口縁~底部	北西隅 +4	① 37.8 ②- ③-	①橙色②繊維③良好	横位羽状縄文。	前期中葉
5	深鉢 底部	南東隅 ±0	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維・片岩屑③普通	横位羽状縄文。	前期中葉
6	深鉢 口縁~底部	伊東 -4	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③普通	横位羽状縄文。	前期中葉
7	深鉢 底部	北東隅-1	①-②-③-	①暗赤灰②繊維③普通	横位羽状縄文。くびれ部に横位のコンパス文。	前期中葉
8	深鉢 底部	北東隅+1	①-②-③-	①赤褐色②繊維③良好	横位羽状縄文。	前期中葉
9	深鉢 底部	P2 脇 +8	①-②-③-	①明赤褐色②繊維③良好	直前段合摺り。横位羽状縄文。	前期中葉
10	深鉢 底部	伊南 5	①-②-③-	①にぶい赤褐色②繊維・粗砂粒③普通	横位羽状縄文。	前期中葉
11	深鉢 底部	P3 内 -30	①-②-③-	①橙色②繊維③普通	横位羽状縄文。	前期中葉
12	深鉢 底部	P3 内 -30	①-②-③-	①明赤褐色②繊維③良好	横位羽状縄文。くびれ部に横位のコンパス文。	前期中葉
13	深鉢 底部	南東隅 ±0	①-②-③-	①明褐色②繊維・片岩屑③普通	横位羽状縄文。	前期中葉
14	深鉢 底部	南東隅 ±0	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維・片岩屑③普通	横位羽状縄文。	前期中葉
15	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②繊維③普通	直前段合摺り。	前期中葉
16	深鉢 底部	北東隅 -1	①-②-③-	①にぶい赤褐色②繊維③普通	羽状縄文。	前期中葉
17	深鉢 底部	北東隅 +13	①-②-③-	①にぶい赤褐色②繊維③良好	羽状縄文。	前期中葉
18	深鉢 底部	覆土 Bg.57	①-②-③-	①にぶい赤褐色②繊維③良好	横位コンパス文。19・20と同一個体。	前期中葉
19	深鉢 底部	覆土 Bg.54	①-②-③-	①赤褐色②繊維③良好	横位コンパス文。18・20と同一個体。	前期中葉
20	深鉢 底部	覆土 Bg.54	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	横位コンパス文。18・19と同一個体。	前期中葉
21	深鉢 底部	西 -5	①-②-③ 10.0	①明赤褐色②繊維③普通	横位羽状縄文。	前期中葉
22	深鉢 底部	北原 -1	①-②-③ 10.0	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	横位羽状縄文。	前期中葉



番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
23	深鉢 底部	北東隅 1	① 46.0 ② - ③ 12.8	①に赤い赤褐色②細砂 ③普通	横位羽状襷文。	前期中葉
24	深鉢 底部	P3内 30	① - ② - ③ 16.6	①褐色②細砂③普通	横位羽状襷文。	前期中葉

8区6号住居出土土器調査表 (通積:第1分層 第44層, 遺物:第2分層 第15層・P1.6)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～底部	P3 脇 +24	① 15.2 ② - ③ -	①赤褐色②砂粒③普通	口縁部無文。横位隆線と「丁」字に縦位隆線で区画。区画内条線。体部 襷然により磨き。	中期後半
2	深鉢 口縁部	覆上	① - ② - ③ -	①に赤い黄褐色②砂粒 ③良好	隆線による区画。区画内縄文 RL 充填。	中期後半
3	深鉢 底部	伊脇 +24	① - ② - ③ -	①明赤褐色②砂粒③良 好	縄文 LR。	中期後半
4	深鉢 底部	覆上	① - ② - ③ 5.8	①褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線による区画。縄文 RL。	中期後半
5	深鉢 底部	伊脇 +16	① - ② - ③ 6.2	①明赤褐色②砂粒③普 通	2条一對の縦位沈線による区画。縄文 LR。	中期後半

8区7号住居出土土器調査表 (通積:第1分層 第45～47層, 遺物:第2分層 第16～18層・P1.6～8)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	P9 脇 7	① 46.0 ② - ③ -	①に赤い赤褐色②砂粒 ③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 LR。2条一對の 縦位隆線及び沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
2	深鉢 体部	伊脇 7	① - ② - ③ -	①明赤褐色②砂粒③良 好	隆線による渦巻文。縄文 LR。	中期後半
3	深鉢 口縁部	伊脇 7	① - ② - ③ -	①に赤い褐色②砂粒多 ③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。体部隆線による「丁」字区画。 断手文。縄文 RL。	中期後半
4	深鉢 口縁部	伊脇 6	① - ② - ③ -	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。渦巻文外φ 3mmほどの円 形刺突。区画内縄文 RL 充填。	中期後半
5	深鉢 口縁～体部	伊脇 8	① 36.6 ② - ③ -	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。隆帯上連続円形刺突。区画 内縄文 RL 充填。体部2条一對の縦位沈線で区画。区画内縄文 RL。	中期後半
6	深鉢 口縁部	伊脇 +55	① - ② - ③ -	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
7	深鉢 口縁部	伊脇 4	① - ② - ③ -	①明赤褐色②粗砂粒③ 良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。隆帯上連続円形刺突。区画 内縄文 RL 充填。5と同一個体。	中期後半
8	深鉢口縁部	伊脇 5	① - ② - ③ -	①褐色②砂粒③普通	口唇部隆線及び凹線による区画。縄文 LR。	中期後半
9	深鉢 口縁部	伊脇 +12	① - ② - ③ -	①に赤い黄褐色②細砂 粒③普通	口唇部凹線による楕円形区画。区画内縄文 RL。体部2条一對の縦位沈 線で区画。縄文 RL。	中期後半
10	深鉢口縁部	伊脇 6	① - ② - ③ -	①褐色②粗砂粒③普通	口縁部耳状突起。放射状沈線。刻み隆線及び手蕨竹管刺突。	中期後半
11	深鉢 口縁～体部	埋裏 5	① 26.3 ② - ③ -	①に赤い褐色②砂粒③ 良好	口縁部楕円形区画及び渦巻文。頸部わずかに無文帯。3条一對の縦位 沈線で区画。一部2条一對。区画内縄文 RL。	中期後半
12	深鉢 口縁～体部	中央 +17	① - ② - ③ -	①褐色②砂粒③良好	口縁部凹線による楕円形区画。区画内縄文 RL。体部2条一對の縦位沈 線で区画。縄文 LR。	中期後半
13	深鉢 口縁部	伊脇 7	① - ② - ③ -	①浅黄褐色②砂粒③普 通	口唇部舌状突起。口縁部沈線による楕円形区画。体部2条一對の縦位 沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
14	浅鉢口縁部	南東隅 +9	① - ② - ③ -	①に赤い黄褐色②細砂 粒③普通	口縁部隆帯貼付し平坦面作り出す。頸部に沈線による渦巻文。	中期後半
15	深鉢 口縁部	P6内 +28	① - ② - ③ -	①に赤い赤褐色②砂粒 ③普通	弧状隆線と凹線による区画。	中期後半
16	深鉢 体部	柱穴北西 +3	① - ② - ③ -	①褐色②細砂粒③良好	赤色塗彩。沈線無文。	中期後半
17	深鉢 口縁部	伊脇 +0	① - ② - ③ -	①明褐色②細砂粒③普 通	口縁部舌状突起。凹線による渦巻文。縄文 RL。	中期後半
18	深鉢口縁部	伊脇 +6	① - ② - ③ -	①黒褐色②砂粒③良好	口縁部舌状突起。凹線による渦巻文。	中期後半
19	深鉢 口縁部	集積 +5	① - ② - ③ -	①明赤褐色②粗砂粒③ 良好	口縁部舌状突起。凹線による渦巻文。	中期後半
20	深鉢口縁部	伊脇 8	① - ② - ③ -	①浅褐色②砂粒③普通	隆線による楕円形区画。φ 1cmの円形文押入。縄文 LR。	中期後半
21	深鉢 口縁部	集積 +7	① - ② - ③ -	①明赤褐色②細砂粒③ 良好	口縁部凹線による区画。	中期後半
22	深鉢口縁部	伊脇 7	① - ② - ③ -	①褐色②粗砂粒③普通	無文。	中期後半
23	深鉢 体部	覆上	① - ② - ③ -	①に赤い赤褐色②粗砂 粒③普通	隆沈線による区画。断手文。区画内沈線充填。	中期後半
24	浅鉢 口縁部	南 +8	① - ② - ③ -	①に赤い褐色②細砂 粒③普通	口縁部無文。肩部隆線による楕円形区画及び渦巻文。内外面磨き。	中期後半
25	深鉢 体部	伊脇 7	① - ② - ③ -	①明赤褐色②砂粒③良 好	頸部横位隆線。肩部等部縦位沈線。	中期後半
26	深鉢 口縁～体部	伊脇 4	① - ② - ③ -	①灰黄褐色②粗砂粒③ 普通	口縁部無文。肩部2条の横位沈線。体部断歯状工具による縦位条線。	中期後半
27	深鉢 体部	中央 +16	① - ② - ③ -	①に赤い赤褐色②砂粒 ③良好	隆線による円形区画。区画内深溝状刺突。	中期後半

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
28	深鉢 底部	突出部 4	①-②-③-	①にふい赤褐色②砂粒③良好	隆線・沈線による長方形区画。区画内に円形刺突。	中期後半
29	深鉢 底部	器体上部	①-②-③-	①にふい黄褐色②砂粒多③良好	櫛歯状工具による縦沈線。沈線による文様縮文。	中期後半
30	深鉢 底部	器周辺 6	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③良好	体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
31	深鉢 底部	器脇 +3	①-②-③-	①赤褐色②砂粒多③普通	横位の隆帯寄り、体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
32	深鉢 底部	器周辺-6	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
33	深鉢 底部	中央+8	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	体部3条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
34	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にふい赤褐色②砂粒③良好	体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
35	深鉢 底部	集礫+13	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	体部縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
36	深鉢 底部	集礫 +7	①-②-③-	①にふい褐色②砂粒③普通	体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
37	深鉢 底部	器周辺 -9	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
38	深鉢 底部	器周辺-4	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
39	深鉢 底部	南 +3	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③普通	体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
40	深鉢 底部	器周辺 -2	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③普通	体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
41	深鉢 底部	中央+0	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
42	深鉢 底部	PG 脇 -15	①-②-③-	①暗赤褐色②砂粒多③良好	体部2条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位沈線。縄文LR。	中期後半
43	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にふい褐色②粗砂粒③普通	沈線による渦巻文。	中期後半
44	深鉢 口縁部	器周辺 +3	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	沈線による渦巻文及び区画。区画内縄文RL。	中期後半
45	深鉢 底部	器周辺 +6	①-②-③-	①にふい褐色②粗砂粒③普通	2条の弧状隆線に車輪状に沈線配置。	中期後半
46	深鉢 底部	中央南 +13	①-②-③-	①にふい黄褐色②砂粒③普通	無文。	中期後半
47	深鉢 底部	南 +4	①-②-③ 11.0	①暗灰黄色②砂粒多③普通	無文。	中期後半

8区8号住居出土土器観察表 (通称:第1分層 第48回, 遺物:第2分層 第19回・P.L.8)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁-体部	器体上部	① 23.6 ② ③-	①明赤褐色②細砂粒③良好	口縁部被熱により変色艶消。口縁部縦沈線縮る。体部沈線により「 $\cap$ 」字状に区画。縄文LR。	中期後半
2	深鉢 底部	例木取上 2	①-②-③-	①にふい赤褐色②砂粒③普通	縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
3	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にふい赤褐色②粗砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
4	深鉢 口縁部	例木取上 +11	①-②-③-	①赤褐色②砂粒③良好	3条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①暗灰色②粗砂粒③普通	口縁部無文。横位弧状隆線で区画。縄文RL。	中期後半
6	深鉢 底部	例木取上 3	①-②-③-	①赤褐色②粗砂粒③良好	隆帯による渦巻文。	中期後半
7	深鉢 底部	伊南 23	①-②-③-	①にふい赤褐色②粗砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縦位燃赤文。7と同一個体。	中期後半
8	深鉢 底部	伊南 23	①-②-③-	①にふい赤褐色②粗砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縦位燃赤文。6と同一個体。	中期後半

8区1号出土土器観察表 (通称:第1分層 第49-51回, 遺物:第2分層 第20-21回・P.L.8-9)

遺物名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
4号土坑 +47	1	深鉢 口縁-体部	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③普通	口縁部舌状突起。隆線による楕円形及び渦巻文。楕円内に3mmの円形刺突突起。体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
4号土坑 -98	2	深鉢 底部	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③普通	横位隆線による楕円形区画。楕円形区画内と体部櫛歯状工具による縦位沈線。	中期後半
12号土坑 -50	1	深鉢 体-底部	①-②-③ 6.9	①褐色②砂粒③良好	肩部無文帯。横位の沈線及び隆線区画。隆線土を交互刺突。体部は3条一對の縦位沈線で区画。	中期後半
13号土坑 -55	1	深鉢 口縁部	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	口縁部縦線縮る。体部櫛歯状工具による縦位沈線。	中期後半
13号土坑 -5	2	深鉢 体-底部	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	縦位隆線及び胎の沈線で区画。縄文RL。	中期後半
15号土坑 ±0	1	深鉢 口縁部	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③良好	無文。断面三角形の肥厚する口縁。	中期後半

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
17号土坑 甕上	1	深鉢 底部	①・②・③・ 7.8	①にぶい褐色②粗粒 ③普通	上底。羽状縄文。	前期前半
18号土坑 +41	1	深鉢 体部	①・②・③・ 7.8	①褐色②粗粒③良好	爪状隆線1条。幅3mmの縦位沈線密集。	中期後半
18号土坑 +26	2	深鉢 体部	①・②・③・ 28.8	①明赤褐色②砂粒多 ③普通	3条一対の縦位沈線で区画。区画内縦位旋文。縄文LR。	中期後半
23号土坑 +31	1	深鉢 口縁+体部	①・②・③・ 28.8	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	口縁部舌状突起。隆線による楕円形区画及び渦巻文。体部2条一対の縦位 沈線で区画。縄文RL。	中期後半
23号土坑 +27	2	深鉢 口縁+体部	①・②・③・ 28.8	①明赤褐色②粗粒 ③普通	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文RL。	中期後半
23号土坑 +38	3	深鉢 口縁部	①・②・③・ 28.8	①褐色②細砂粒③普通	小波状口縁2段の2mmほどの円形刺突列。横位沈線通り脚面状工具による 縦位沈線。	中期後半
23号土坑 +29	4	深鉢 口縁部	①・②・③・ 28.8	①暗赤褐色②砂粒③ 普通	口縁部無文。巾4mmの浅い凹線通り脚面状工具による縦位沈線。赤色塗彩 痕あり。	中期後半
23号土坑 +34	5	深鉢 口縁部	①・②・③・ 28.8	①灰褐色②細砂粒③ 良好	口縁部横位の平行沈線が通り中の隆線状部分にφ3mmの円形刺突を連続さ せる。体部縄文LR。	中期後半
23号土坑 +34	6	深鉢 体部	①・②・③・ 28.8	①明黄褐色②細砂粒③ 普通	横位の平行沈線が通り、中の隆線状部分にφ3mmの円形刺突を連続させる。 沈線による三角形区画。区画内縄文RL。	中期後半
23号土坑 +36	7	深鉢 口縁部	①・②・③・ 28.8	①にぶい赤褐色②粗 砂粒多③普通	口縁部舌状突起。隆線による渦巻文。	中期後半
23号土坑 +38	8	深鉢 体部	①・②・③・ 28.8	①褐色②砂粒③良好	口縁部無文。隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内沈線充填。	中期後半
23号土坑 甕上	9	深鉢 体部	①・②・③・ 28.8	①黒褐色②砂粒③普 通	2条一対の縦位沈線で区画。沈線による蛇行及び弧状施文。	中期後半
23号土坑 +26	10	深鉢 体部	①・②・③・ 28.8	①明赤褐色②砂粒③ 普通	3条一対の縦位沈線で区画。区画内縦位旋文。縄文RL。	中期後半
23号土坑 +32	11	深鉢 体部	①・②・③・ 28.8	①灰褐色②砂粒③普 通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
23号土坑 甕上	12	深鉢 底部	①・②・③・ 5.0	①明赤褐色②砂粒③ 普通	2条一対の縦位沈線区画。縄文RL。	中期後半
23号土坑 +10	13	深鉢 口縁+体部	①・②・③・ 5.0	①赤褐色②砂粒③良 好	2条一対の縦位沈線区画。	中期後半
25号土坑 +14	1	深鉢 体部+底部	①・②・③・ 8.2	①浅黄褐色②砂粒③ 良好	2条一対の縦位隆線で区画する。隆線の上に押圧を連続させる。区画内の縦位 沈線充填。	中期後半
25号土坑 +5	2	深鉢 底部	①・②・③・ 8.2	①にぶい黄褐色②砂 粒③普通	楕円形区画及び隆線による渦巻文。初瀬。縄文施文。	中期後半
26号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・ 8.2	①にぶい黄褐色②砂 粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
27号土坑 +27	1	深鉢 口縁+体部	①・②・③・ 8.2	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。2条一対の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
27号土坑 +27	2	深鉢 体部	①・②・③・ 8.2	①灰褐色②砂粒③普 通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
29号土坑 +6	1	深鉢 口縁部	①・②・③・ 8.2	①にぶい褐色②砂粒 ③普通	舌状突起。突起内φ3cmほどの円孔。隆線による渦巻文。頂部肥厚。中広 沈線。	中期後半

8区ビット出土土器観察表 (論稿: 第1分冊 第52頁、論稿: 第2分冊 第22頁・P.L.9)

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
11P 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・ 6.0	①淡黄褐色②砂粒③良 好	横位沈線通り脚面状工具による細かな縦位沈線。	中期後半
11P 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・ 6.0	①褐色②砂粒③良好	縦位沈線区画。縄文LR。	中期後半
14P 甕上	1	深鉢 底部	①・②・③・ 6.0	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	縦位磨き。	中期後半
15P +19	1	深鉢 体部	①・②・③・ 6.0	①褐色②粗粒③普通	縦位沈線区画。縄文RL。	中期後半

8区道橋外出土土器観察表 (論稿: 第2分冊 第23～26頁・P.L.9～11)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	浅鉢 口縁部	Br-54	①・②・③・ 2.5	①灰褐色②細砂粒③普 通	口縁部「く」の字に屈曲。頂部3条連続刺突。口縁部横位連続刺突。 2条一対で3段。	前期後半
2	深鉢 体部	Br-54	①・②・③・ 2.5	①明赤褐色②細砂粒③ 普通	斜位の爪形を連続刺突。2cm 間隔で多段に巡らせる。	前期後半
3	深鉢体部	Br-54	①・②・③・ 2.5	①褐色②砂粒③良好	2条の横位の平行沈線で区画。LR 縄文。	後期前葉
4	深鉢体部	Br-56	①・②・③・ 2.5	①褐色②細粒③普通	縦位・横位・渦巻に刻み隆線厚付。	前期前葉
5	深鉢 体部	Br-54	①・②・③・ 2.5	①明赤褐色②細粒③普 通	縄の閉鎖の痕。	前期前葉
6	深鉢口縁部	Br-55	①・②・③・ 2.5	①明灰褐色②細粒③普 通	横位羽状縄文。	前期前葉
7	深鉢体部	Br-55	①・②・③・ 2.5	①灰褐色②細粒③普通	横位羽状縄文。	前期前葉
8	深鉢体部	Br-55	①・②・③・ 2.5	①灰褐色②細粒③普通	横位羽状縄文。	前期前葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
9	深鉢体部	Br-54	①-②-③-	①褐色土織物③普通	横位羽状縄文。	前期前葉
10	深鉢体部	Br-54	①-②-③-	①にぶい褐色土織物③普通	縄文 LR。	前期前葉
11	深鉢体部	Br-54	①-②-③-	①にぶい褐色土織物③普通	縄文 RL。羽状縄文。	前期前葉
12	深鉢体部	Br-55	①-②-③-	①褐色土織物③普通	縄文 RL。	前期前葉
13	深鉢体部	Br-54	①-②-③-	①灰褐色土織物③普通	縄文 LR。	前期前葉
14	深鉢体部	Br-54	①-②-③-	①にぶい赤褐色土織物③普通	横位コンパス文。縄文 LR。	前期前葉
15	深鉢口縁部	Br-54	①-②-③-	①浅黄褐色②細砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画。	中期後半
16	深鉢口縁～体部	Br-55	①-②-③-	①にぶい褐色土織物③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。φ18mmの円形文2個。区画内縄文 LR。	中期後半
17	深鉢体部	Br-55	①-②-③-	①にぶい黄褐色土織物③良好	口縁部隆線による楕円形区画。φ18mmの円形文2個。区画内縄文 LR。	中期後半
18	深鉢口縁部	Bg-54	①-②-③-	①褐色土織物③普通	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文。	中期後半
19	深鉢口縁部	Bg-54	①-②-③-	①灰黄褐色土織物③普通	口縁部隆線による楕円形区画。縄文 LR。	中期後半
20	深鉢口縁部	Bs-58	①-②-③-	①灰黄褐色土織物③普通	波状口縁。隆線及び凹線による区画。	中期後半
21	深鉢口縁部	Br-58	①-②-③-	①褐色土織物③普通	口縁部舌状突起。口縁部隆線による楕円形区画。沈線による鉄手文。突起内面渦巻文。	中期後半
22	深鉢口縁部	BT-57	①-②-③-	①褐色土織物③普通	口縁部舌状突起。沈線による楕円形区画。縄文 RL。	中期後半
23	深鉢口縁部	Bg-53	①-②-③-	①褐色土織物③普通	口縁部舌状突起。突起後φ16mmの円孔。沈線による渦巻文。	中期後半
24	深鉢口縁部	Bg-53	①-②-③-	①灰黄褐色土織物③普通	口縁部舌状突起。楕円形区画及び渦巻文。	中期後半
25	深鉢口縁部	Br-56	①-②-③-	①褐色土織物③普通	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
26	深鉢口縁部	Bs-58	①-②-③-	①褐色土織物③普通	口縁部舌状突起。沈線による楕円形区画。縄文 RL。	中期後半
27	深鉢口縁部	Bg-53	①-②-③-	①にぶい赤褐色土織物③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。	中期後半
28	深鉢口縁部	Bs-58	①-②-③-	①にぶい黄褐色土織物③普通	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
29	深鉢体部	Bs-58	①-②-③-	①灰黄褐色土織物③普通	2条沈線並り沈線内刺突。楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
30	深鉢体部	Br-55	①-②-③-	①にぶい黄褐色土織物③普通	横位沈線並り。沈線下指頭圧痕。体部弧状沈線で区画。内面被熱により褐色化。	中期後半
31	深鉢口縁～体部	Bg-53	①-②-③-	①褐色土織物③普通	口縁部舌状突起。横位隆線による。体部2条一對の縦位沈線で区画。縦位蛇行沈線。	中期後半
32	深鉢口縁～体部	Bs-57	①-②-③-	①灰褐色土織物③普通	口縁部横位凹線による。2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
33	深鉢口縁部	Br-54	①-②-③-	①にぶい赤褐色土織物③普通	巾1cmほどの凹線で鉄手文。隆線による楕円形区画。縄文 RL。	中期後半
34	深鉢口縁部	Br-55	①-②-③-	①にぶい褐色土織物③普通	口縁部隆線による区画。縄文 RL。	中期後半
35	深鉢体部	Bg-53	①-②-③-	①にぶい黄褐色土織物③普通	横位隆線と沈線による楕円形区画。縦位の鉄手文。区画内縄文 RL。	中期後半
36	深鉢体部	Bs-57	①-②-③-	①にぶい赤褐色土織物③普通	横位隆線と沈線による楕円形区画。区画内縄文 LR。	中期後半
37	深鉢体部	Bg-54	①-②-③-	①赤褐色土織物③普通	口縁部隆線による楕円形区画。2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
38	深鉢口縁部	Bg-53	①-②-③-	①褐色土織物③普通	口縁部横位と「T」字に交わる沈線で区画。横位沈線下縄文 LRを横位渦巻文。	中期後半
39	深鉢口縁部	Bs-57	①-②-③-	①にぶい黄褐色土織物③普通	横位沈線による。縄文 LR。	中期後半
40	深鉢口縁部	Br-56	①-②-③-	①褐色土織物③普通	横位沈線による。縄文 LR。	中期後半
41	深鉢口縁部	Bs-58	①-②-③-	①にぶい褐色土織物③普通	横位隆線で区画。縄文 RL。	中期後半
42	深鉢口縁部	Bg-54	①-②-③-	①褐色土織物③普通	口唇部横位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
43	深鉢口縁部	Bg-53	①-②-③-	①黄褐色土織物③普通	横位隆線による区画。縄文 LR。	中期後半
44	深鉢口縁～体部	Bg-54	①-②-③-	①黄褐色土織物③普通	口縁部横位の沈線と「T」字に2条一對の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
45	深鉢口縁部	Bg-53	①-②-③-	①褐色土織物③普通	口縁部肥厚。下部凹線による区画。縄文 RL 充填。	中期後半
46	深鉢口縁部	Br-55	①-②-③-	①にぶい黄褐色土織物③普通	横位の凹線による区画。縄文 RL。	中期後半
47	深鉢口縁部	BT-57	①-②-③-	①赤褐色土織物③普通	口縁部横位隆線による。縄文 RL。	中期後半
48	深鉢体部	Br-58	①-②-③-	①褐色土織物③普通	横位の隆線と沈線による楕円形区画。縄文 LR。	中期後半
49	深鉢体部	Bg-54	①-②-③-	①黒褐色土織物③普通	縦位沈線で区画。巾が広無帯。縄文 LR。	中期後半
50	深鉢体部	Bg-54	①-②-③-	①褐色土織物③普通	縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
51	深鉢 深鉢体部	Bs-57	①-②-③	①にぶい赤褐色②砂粒③普通	3条一対の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
52	深鉢体部	Bs-58	①-②-③	①灰褐色②砂粒③普通	縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
53	深鉢体部	Br-58	①-②-③	①明赤褐色②砂粒③普通	縦位沈線による区画。縄文RL。	中期後半
54	深鉢体部	Bg-53	①-②-③	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
55	深鉢体部	Bs-58	①-②-③	①褐色②砂粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
56	深鉢体部	Bp-53	①-②-③	①灰褐色②砂粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文RL。	中期後半
57	深鉢体部	Bs-58	①-②-③	①明赤褐色②砂粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
58	深鉢体部	Bg-54	①-②-③	①褐色②粗砂粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
59	深鉢体部	Bs-57	①-②-③	①灰褐色②砂粒③普通	横位隆線と縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
60	深鉢体部	Bg-54	①-②-③	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	縦位隆線で区画。区画内縄文LR。	中期後半
61	深鉢口縁部	Bg-53	①-②-③	①褐色②粗砂粒③普通	口唇部1条沈線部。2条一対の弧状沈線で区画。	中期後半
62	深鉢体部	Bs-57	①-②-③	①暗褐色②細砂粒③普通	2条一対の沈線を波状に施文。縄文LR。	中期後半
63	深鉢体部	Br-58	①-②-③	①にぶい褐色②砂粒③普通	2条一対の弧状沈線で区画。縄文LR。	中期後半
64	深鉢体部	Bg-53	①-②-③	①明褐色②細砂粒③普通	巾3mmほどの隆線で楕円形に区画する。縄文LR。	中期後半
65	深鉢体部	Br-54	①-②-③	①褐色②粗砂粒③普通	2条一対の沈線で「H」字状に区画。区画内縄文LR。	中期後半
66	深鉢体部	Br-55	①-②-③	①灰褐色②砂粒③普通	十字状隆線で区画。区画内平行沈線を充填。	中期後半
67	深鉢体部	Br-55	①-②-③	①淡黄褐色②砂粒③普通	2条の弧状隆線と両脇に巾10mmの沈線で区画する。縄文RL。	中期後半
68	深鉢体部	Bs-58	①-②-③	①褐色②細砂粒③普通	巾10mmのやや幅広い2条一対の沈線で縦位に区画する。	中期後半
69	深鉢体部	Br-55	①-②-③	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	3条一対の縦位隆線で区画。縄文RL。	中期後半
70	深鉢体部	Br-54	①-②-③	①黄褐色②砂粒多③普通	2条一対の縦位隆線で区画。縄文LR。	中期後半
71	深鉢体部	Bs-57	①-②-③	①褐色②細砂粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。区画内縦位の細かな条線。	中期後半
72	深鉢体部	Br-56	①-②-③	①にぶい褐色②細砂粒③普通	頸部無文帯。埴に横位沈線1条部。	中期後半
73	深鉢体部	Br-55	①-②-③	①明赤褐色②細砂粒③良好	縦位隆線及び弧状隆線による区画。	中期後半
74	深鉢口縁部	Br-54	①-②-③	①にぶい黄褐色②砂粒多③普通	口唇部横位沈線部。体部縦位に細かな蛇行条線。75と同一個体。	中期後半
75	深鉢体部	Br-55	①-②-③	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	縦位の細かな蛇行条線。74と同一個体	中期後半
76	深鉢体部	Bg-54	①-②-③	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	口唇部横位沈線部。櫛歯状工具による縦位条線。	中期後半
77	深鉢体部	Br-54	①-②-③	①にぶい褐色②砂粒③普通	櫛歯状工具による縦位条線。	中期後半
78	深鉢体部	Bs-57	①-②-③	①暗赤褐色②砂粒③普通	横位の隆線で区画。区画内縦位沈線。	中期後半
79	深鉢体部	Bs-58	①-②-③	①にぶい赤褐色②砂粒③普通	沈線による楕円形区画。区画内縦位沈線。	中期後半
80	深鉢体部	Bg-53	①-②-③	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	縦位沈線。	中期後半
81	深鉢体部	Bs-58	①-②-③	①褐色②粗砂粒③普通	縦位の平行沈線。	中期後半
82	深鉢口縁部	Bg-54	①-②-③	①にぶい赤褐色②細砂粒③良好	口縁部に隆線。櫛歯状工具による縦位条線。	中期後半
83	深鉢体部	Br-55	①-②-③	①褐色②細砂粒③普通	横位凹線部。細かな縦位条線。	中期後半
84	深鉢体部	Bs-58	①-②-③	①褐色②砂粒③普通	横位の2条の沈線で区画。上下とも細かな条線。	中期後半
85	深鉢体部	Bg-54	①-②-③	①にぶい褐色②砂粒③普通	横位の隆線と「丁」字に交わる隆線を添付。隆線上には押圧痕が連続する。	中期後半
86	深鉢体部	Br-55	①-②-③	①灰褐色②粗砂粒③普通	隆線による区画。隆線上には押圧痕が連続する。	中期後半
87	深鉢体部	Br-58	①-②-③	①褐色②砂粒③普通	縦位の隆線で区画。区画内縦位沈線。	中期後半
88	深鉢口縁部	Bs-57	①-②-③	①明黄褐色②細砂粒③普通	口唇部巾3mmの沈線部。無文。89と同一個体。	中期後半
89	深鉢口縁部	Bs-57	①-②-③	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	口唇部巾3mmの沈線部。無文。88と同一個体。	中期後半
90	深鉢把手	Br-54	①-②-③	①褐色②砂粒③普通	楕状把手。巾16mmの沈線で横文。	中期後半
91	深鉢口縁部	Br-54	①-②-③	①明赤褐色②砂粒③普通	口縁部肥厚。断面三角形。頂部沈線による楕円形区画。区画内斜位沈線。	中期後半
92	深鉢口縁部	Bs-58	①-②-③	①淡黄褐色②砂粒③普通	口唇部2条の沈線部。	中期後半

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
93	深鉢 口縁	Br-56	①-②-③-	①浅黄褐色②砂粒③普通	舌状突起。φ10mmの円孔。全面に4mm前後の円形刺突あり。	中期後半
94	浅鉢 体部	Bs-58	①-②-③-	①赤褐色②細砂粒③普通	楕状把手、横位の隆線。	中期後半
95	深鉢 底部	Bs-57	①-②-③9	①にぶい黄褐色②細砂多③普通	縄文 RL。	中期後半
96	深鉢 底部	Bs-58	①-②-③ 11.4	①にぶい褐色②砂粒③普通	縦位削り。	中期後半
97	付鉢 脚部	Br-55	①-②-③8	①にぶい褐色②砂粒③普通	外面無調整。台部内面撫で。	中期後半
98	深鉢 底部	Bg-53	①-②-③ 7.0	①褐色②砂粒③普通	無文。	中期後半
99	深鉢 底部	Bg-54	①-②-③ 6.0	①にぶい褐色②粗砂粒③普通	底部壁厚。	中期後半
100	壶体～底部	Bg-54	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	縦位削り後、磨き。	中期後半

9区1号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第55-56頁, 遺物:第2分冊 第27頁・P.L.12)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	炉体上蓋	① 26.6 ②-	①にぶい黄褐色②繊維③良好	流状口縁。口唇部と頸部境に横位爪形文。口縁部爪形文による砥手及び変形構成。周辺部と中央に円形文。体部縦位羽状縄文。	前期前葉
2	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②繊維③普通	口縁部磨赤汗道。平砥竹管による円形文。横位3段の刻み隆線を部付	前期前葉
3	深鉢 体部	P6西+1	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	多段の縄の閉端の痕。	前期前葉

9区2号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第57頁, 遺物:第2分冊 第28頁・P.L.12)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	覆土	① 31.0 ②-	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。体部2条一對の縦位沈線で区画。区画内砥手蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
2	深鉢 口縁～体部	埋裏	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	口縁部楕円形区画及び渦巻文。体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
3	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	縦位の2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。楕状把手。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	口縁部舌状突起。凹線による渦巻文。縄文 RL。	中期後半
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明褐色②粗砂粒多③普通	口縁部無文。横位隆線による楕円形区画。縄文 LR。	中期後半
7	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明褐色②砂粒③良好	隆線による楕円形区画。臨に沈線落ちる。	中期後半
8	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗砂粒多③普通	隆線による楕円形区画。縄文 RL。	中期後半
9	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	20mmの凹線落ちる。φ14mmの円形文。	中期後半
10	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①灰黄褐色②細砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
11	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③普通	横位の隆線で区画。体部縦位沈線で区画。区画内砥手沈線。	中期後半
12	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①浅黄褐色②細砂粒③普通	3条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
13	深鉢 体部	伊南脇1	①-②-③-	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
14	深鉢 体～底部	伊西脇1	①-②-③ 8.4	①浅黄褐色②粗砂粒③良好	縦位隆線で区画。	中期後半
15	深鉢 底部	伊北西脇+3	①-②-③ 8.0	①黄褐色②細砂粒③良好	削り及び棒状工具による磨き。	中期後半
16	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 8.2	①黄褐色②粗砂粒③普通	2条一對の縦位沈線。	中期後半
17	深鉢 底部	北増溝中±0	①-②-③ 4.0	①黄褐色②細砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半

9区上坑出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第59-63頁, 遺物:第2分冊 第29-32頁・P.L.13-14)

遺物名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
3号土坑 +27	1	深鉢 体部	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
5号土坑 +12	1	深鉢 体～底部	①-②-③ 7.5	①にぶい黄褐色②細砂粒僅かに雲母③良好	交差する斜位の条線。	中期後半
9号土坑 覆土	1	浅 口縁～体部	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	折り返し口縁。縄文 LR。	弥生中期
14号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。体部縦位沈線。	中期後半

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
14号土坑 覆土	2	深鉢 主体部	①・②・③	①褐色②砂粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
17号土坑 7	1	深鉢 主体部	①・②・③	①明褐色②砂粒③普通	2条一対の縦位沈線で9区画。縄文 LR。残存上半軟熟により内面変色・剥離。	中期後半
19号土坑 覆土	1	深鉢 主体部	①・②・③	①灰褐色②粗砂粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
20号土坑 覆土	1	深鉢 主体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	横位隆線による区画。上位は縄文 LR。下位は櫛歯状工具による縦位の条線。	中期後半
20号土坑 覆土	2	深鉢 主体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	縦位蛇行沈線。縄文 LR。	中期後半
20号土坑 覆土	3	深鉢 主体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	縦位条線。	中期後半
20号土坑 覆土	4	深鉢 主体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	縦位条線。縄文 LR。	中期後半
21号土坑 +15	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい赤褐色②細砂粒③良好	横位の隆線と沈線による区画。縄文 LR。	中期後半
22号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①黒褐色②粗砂粒③普通	口唇部2条一対の横位沈線で区画。櫛歯状工具による縦位条線。	中期後半
26・27号 土坑覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①明褐色②砂粒多③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内斜位の沈線。	中期後半
26・27号 土坑覆土	2	深鉢 主体部	①・②・③	①明褐色②砂粒③普通	縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
28号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい褐色②砂粒③普通	口唇部沈線1条並行。頸部から体部縦位条線後、2条の横位沈線巡らせる。	中期後半
28号土坑 覆土	2	深鉢 主体部	①・②・③	①褐色②粗砂粒③普通	斜位の条線施文。	中期後半
29号土坑 覆土	1	深鉢 主体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	横位隆線で区画。区画内斜位の短沈線充填。	中期後半
29号土坑 覆土	2	深鉢 主体部	①・②・③	①明褐色②粗砂粒③良好	2条一対の縦位隆線で区画。縄文 LR。	中期後半
32号土坑 覆土	1	浅鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい赤褐色②細砂粒③良好	口唇部3条の沈線巡り体部3条の沈線で楕円形区画。区画内縄文 LR。内外面赤色塗彩土器。	中期後半
32号土坑 覆土	2	浅鉢 口縁・体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②粗砂粒③良好	内外面赤色塗彩土器。3条の沈線で区画。NO.1と同一個体。	中期後半
32号土坑 +12	3	深鉢 主体部	①・②・③	①褐色②砂粒多③普通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
35号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい褐色②砂粒③普通	口縁部2条の沈線巡る。沈線による区画及び施文。	中期後半
35号土坑 覆土	2	深鉢 主体部	①・②・③	①褐色②砂粒③普通	2条の横位隆線と隆線間に斜位の短沈線。区画内斜位の沈線充填。	中期後半
36号土坑 +31	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	口唇部小さな三角突起あり。口縁部隆線による「∞」字区画。区画内縄文 LR。	中期後半
36号土坑 +31	2	深鉢 主体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	横位の隆線に「T」字に交わる2条一対の巾10mmほどの縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
36号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②砂粒③普通	沈線による縦位楕円形区画。区画内縄文 LR。	中期後半
36号土坑 覆土	4	深鉢 口縁部	①・②・③	①灰黄褐色②砂粒③普通	口縁部舌状突起。沈線による楕円形区画。区画内縄文 LR。	中期後半
36号土坑 +29	5	深鉢 口縁・体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒多③普通	口縁部沈線による方形区画。区画内及び体部縄文 LR。	中期後半
38号土坑 覆土	1	深鉢 口縁・体部	①・②・③	①にぶい赤褐色②粗砂粒③良好	口縁部断面三角形の隆線巡る。沈線による方形区画。体部縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
38号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②砂粒多③良好	口縁部隆線により楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 LR。	中期後半
38号土坑 覆土	3	深鉢 主体部	①・②・③	①褐色②粗砂粒③普通	隆線により区画及び渦巻文。縄文 LR。	中期後半
38号土坑 覆土	4	深鉢 主体部	①・②・③	①明褐色②砂粒多③普通	縄文 LR 充填。	中期後半
38号土坑 覆土	5	深鉢 主体部	①・②・③	①にぶい赤褐色②粗砂粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
38号土坑 覆土	6	深鉢 主体部	①・②・③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
38号土坑 覆土	7	深鉢 底部	①・②・③ 6.8	①にぶい褐色②砂粒③普通	浅い斜位の沈線見られる。	中期後半
39号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①明褐色②砂粒③普通	無文。	中期後半
39号土坑 覆土	2	深鉢 主体部	①・②・③	①明褐色②砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
40号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①灰黄褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による渦巻文。縄文 LR。	中期後半

## 出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
40号土坑 +37	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	隆沈線により文様部出。縄文 RL。	中期後半
40号土坑 +38	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②粗砂粒③良好	横位隆線に「丁」字に交わる2条一対の沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
40号土坑 覆土	4	深鉢 底部	①・②・③・ 4.0	①にぶい黄褐色②粗砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。	中期後半
41号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②粗砂粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
41号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②粗砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
41号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
42号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②粗砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。	中期後半
42号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明褐色②粗砂粒③普通	口縁部沈線による楕円形区画。縄文 RL。	中期後半
42号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明褐色②粗砂粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
44号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②粗砂粒③良好	口唇部三角突起。口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内矢羽根状沈線文。	中期後半
44号土坑 +26	2	深鉢 口縁・体部	①・②・③・	①にぶい褐色②粗砂粒③良好	口縁部平行沈線を巡らせ、沈線内に交互刺突。口縁部から体部は3条一対の沈線による多段の渦巻文。縄文 RL。	中期後半
44号土坑 +24	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②粗砂粒③普通	口縁部楕円形区画。区画内は斜沈線。	中期後半
44号土坑 覆土	4	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②粗砂粒③良好	口唇部隆線間連続刺突。頸部2条一対の横位沈線巡らせる。	中期後半
44号土坑 覆土	5	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②粗砂粒③良好	3条一対の横位及び縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
44号土坑 +26	6	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②粗砂粒③良好	縦位の隆線で区画。区画内は縦位沈線。	中期後半
44号土坑 +6	7	深鉢 底部	①・②・③・ 10.8	①にぶい褐色②粗砂粒③普通	無文。	中期後半
45号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	縦位の3条一対の沈線。縄文 RL。	中期後半
47号土坑 +1	1	深鉢 口縁・底部	① 64.0 ② 82.2 ③ 14.0	①にぶい橙・灰黄褐色②粗砂粒③良好	特大土器。口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内3段〜4段の刺突文。頸部無文帯。体部隆線による楕円形渦巻文。楕円形区画内、渦巻形刺突文充填。体下部縦位刺突文で「冂」形に区画し区画内は縦位沈線充填。体下部部の断面は、粘土貼り付け胎が地成により器表面と内面で色調が異なり、その色調の違い器表面はサンディッチ状に顕著する。	中期後半
48号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	隆線で区画。隆線による刺突文。区画内は短沈線充填。	中期後半
51号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①・②・③・	①明褐色②粗砂粒多③普通	2条一対の縦位沈線。縄文 RL。	中期後半

## 9区1号配石出土土器観察表 (編年:第1分層 第64回、遺物:第2分層 第31回・P.134)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③・	①にぶい褐色②粗砂粒③普通	口縁部幅12mmの粘土縞をリング状に貼付。口縁下部幅5mmの横位沈線2段に巡らせる。	後期初葉
2	深鉢 体部	覆土	①・②・③・	①褐色②粗砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半

## 9区遺構外出土土器観察表 (遺物:第2分層 第33〜35回・P.15-16)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁・体部	V層中	①・②・③・	①にぶい褐色②繊維③普通	縄文 RL。	前期前葉
2	深鉢 口縁部	V層中	①・②・③・	①褐色②繊維③普通	波状口縁。頸部2条の刻み隆線。隆線土瘤状貼付文。燃灰土を渦巻状に押圧。	前期前葉
3	深鉢体部	V層中	①・②・③・	①褐色②繊維③普通	刻み入り隆線に瘤状貼付文。	前期前葉
4	深鉢口縁部	V層中	①・②・③・	①褐色②粗砂粒③普通	口唇部2段の刻み隆線。口縁部3条の刻み隆線。渦巻施文。	前期後葉
5	深鉢体部	V層中	①・②・③・	①明褐色②粗砂粒③良好	横位矢羽根状刻み隆線。	前期後葉
6	深鉢 体部	V層中	①・②・③・	①にぶい褐色②繊維③普通	3段の横位刻み隆線で区画。体部縄の閉鎖の環を横位に交互施文。	前期前葉
7	土偶 頭・手一部 欠損	V層中	①・②・③・	①にぶい黄褐色②粗砂粒③良好	手足欠損及び頭部一部欠損。片孔刺突。背中高麗痕あり。何かを背負っていたと考えられる。下半身表裏パンツ状に線刻あり。目口は刺突。鼻は貼付。	加賀利 E 3
8	深鉢 口縁部	V層中	①・②・③・	①にぶい黄褐色②粗砂粒③良好	口縁部舌状突起。凹線による渦巻文。頂部楕円形。縄文 RL。	中期後半
9	深鉢口縁部	V層中	①・②・③・	①褐色②粗砂粒③良好	波状口縁。隆沈線による渦巻文。区画内縄文 RL。内面沈線による刺突文。	中期後半



番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
10	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 ③良好	波状口縁。沈線による楕円形区画。縄文 RL。内面沈線による蕨手文。	中期後半
11	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 ③良好	小波状口縁隆沈線による楕円形区画。縄文 RL。	中期後半
12	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 粒僅かに雲母・石英③ 良好	波状口縁。隆線による楕円形区画。体部縦位沈線区画。縄文 LR。	中期後半
13	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 ③普通	波状口縁。弧状沈線により区画。縄文 RL。	中期後半
14	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 ③普通	沈線による楕円形区画。縄文 Lr。	中期後半
15	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 ③良好	波状口縁。隆線による渦巻文。	中期後半
16	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい褐色②細砂③ 良好	楕円形把手。φ 15mm の円孔上下に 2ヶ所。沈線及び刺突により文様 掘出。	中期後半
17	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 多③普通	口縁部隆線による楕円形区画。縄文 RL。	中期後半
18	深鉢 口縁部	Bs-58	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 ③普通	口縁部隆線による楕円形区画。体部縦位沈線による区画。縄文 RL。	中期後半
19	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①くすんだ赤褐色②粗 砂③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。縄文 LR。	中期後半
20	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 粒に雲母片僅かに③良 好	隆線による楕円形区画及び渦巻文。縄文 RL。	中期後半
21	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画。体部 2条一対の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
22	深鉢 口縁部	VI層	①-②-③-	①明褐色②細砂③良 好	口縁部断面三角形の隆線による区画。区画内縦位沈線(板状工具を押し つけ)。頸部深い凹線部。	中期後半
23	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂③普 通	口縁部 2条の平行沈線。沈線間円形刺突列。	中期後半
24	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 粒③普通	横位の平行沈線。平行沈線間は円形押圧。隆線による楕円形区画。交 点にφ 12mm の円形文。	中期後半
25	浅鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①明褐色②粗砂③普 通	体部半截竹管状工具により斜位の沈線で格子目状にうっすらと掘出。	中期後半
26	深鉢 口縁部	VI層覆土	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 粒③普通	10mm の横位沈線及び楕円形区画。円形文あり。縄文 RL。	中期後半
27	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①灰褐色②細砂粒③普 通	巾 7mm 弧状沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
28	深鉢 口縁部	VI層覆土	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 粒③普通	巾 7mm の沈線による「U」字区画。縄文 RL。	中期後半
29	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①黄灰色②粗砂③良 好	渦巻状と平行する沈線で区画する。縄文 RL。	中期後半
30	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①明黄褐色②細砂③ 普通	口縁部横位沈線 1条部。体部弧状沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
31	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①浅黄色②粗砂③普 通	口唇部沈線 1条部。沈線による「U」字区画。区画内磨消縄文。縄 文 RL。	中期後半
32	深鉢 口縁部	VI層覆土	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 粒③普通	沈線による「U」字文。	後期前半
33	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 粒③普通	横位の凹線で区画し、縄文施文と平行沈線を含む条線施文部に分かれ る。	中期後半
34	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 粒③普通	弧状沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
35	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①褐色②粗砂③良 好	3重の弧状沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
36	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 ③良好	2条の弧状隆線で区画。	中期後半
37	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい褐色②粗砂 ③良好	弧状隆線と巾広の弧状凹線で区画。縄文 RL。	中期後半
38	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 ③普通	横位隆線で区画し、竹管状工具による斜位の平行沈線。	中期後半
39	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①褐色②細砂③普 通	沈線による縦位区画。沈線間の磨消縄文区画内に蕨手文を垂下させる。 縄文 RL。	中期後半
40	深鉢 口縁部	VI層覆土	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 ③良好	縦位沈線区画と縦位の楕円形区画。縄文 RL。	中期後半
41	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい褐色②細砂 ③良好	縦位の 3条の隆線で区画する。縄文 LR。	中期後半
42	深鉢 口縁部	VI層覆土	①-②-③-	①にふい黄褐色②粗砂 粒③良好	2条の横位隆線で区画する。縄文 RL。	中期後半
43	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 ③普通	縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 LR。	中期後半
44	深鉢 口縁部	VI層	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 粒③良好	沈線による縦位蕨手文。縄文 LR。	中期後半
45	深鉢 口縁部	VI層覆土	①-②-③-	①にふい赤褐色②細砂 粒③良好	縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
46	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒 ③良好	縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文LR。	中期後半
47	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒 ③良好	縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
48	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒 ③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
49	深鉢 底部	VI層覆上	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒 ③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
50	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。区画内脚歯状工具による縦位条線。	中期後半
51	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①浅黄色②砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
52	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①淡黄色②細砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
53	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒 ③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
54	深鉢 底部	VI層覆上	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
55	深鉢 底部	VI層覆上	①-②-③-	①にぶい褐色②粗砂粒 ③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
56	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒 ③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
57	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①淡青色②砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
58	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒 ③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
59	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①浅黄色②砂粒多③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
60	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒 ③普通	2条一對の縦位沈線。縄文RL。	中期後半
61	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①明黄褐色②細砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
62	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
63	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒 ③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
64	深鉢 底部	VI層覆上	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒 ③普通	弧状沈線による区画。縄文RL。	中期後半
65	深鉢 底部	V層中	①-②-③- 7.6	①にぶい黄褐色②砂粒 やや多③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。底部にφ6mm程の穿孔1ヶ所あり。併成前穿孔。	中期後半
66	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒 ③普通	縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
67	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	縦位の隆線。斜縦位及び弧状沈線密集。	中期後半
68	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒 ③普通	縦位の8mm沈線と脚歯状工具による細かな条線。	中期後半
69	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①明赤褐色②細砂粒③良好	竹管状工具による縦位沈線と斜位の縦杉状沈線。	中期後半
70	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①淡黄色②砂粒③普通	8単位の脚歯状工具による条線を2組縦位施文。	中期後半
71	深鉢 底部	VI層覆上	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒 ③普通	竹管状工具による平行沈線。	中期後半
72	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒 ③普通	5mm前後の沈線を縦杉状施文。	中期後半
73	深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒多③普通	縄文LR。	中期後半
74	深鉢 底部	VI層覆上	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
75	台付深鉢 底部	V層中	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒多③普通	台部に2条一對の縦位隆線を4単位。	中期後半
76	小型台付鉢 底部	V層中	①-②-③- 6.4	①褐色②砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
77	深鉢 底部	V層中	①-②-③- 7.8	①明赤褐色②砂粒③普通	無文。	中期後半
78	深鉢 底部	V層中	① 35.4 ② 18.0 ③ 7.6	①明赤褐色②粗砂粒③普通	縦位の細かな条線。	中期後半
79	深鉢 底部	V層中	①-②-③- 6.0	①褐色②砂粒③普通	無文。	中期後半
80	深鉢 底部	V層中	①-②-③- 8.6	①にぶい黄褐色②砂粒多③普通	無文。	中期後半

H1区1号住居出土土器観察表 (調査:第1分冊 第69~71頁, 器物:第2分冊 第36~40頁・P.L17~19)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁-体部	が北 +14	① 43.5 ② - ③ -	①にぶい赤褐色②細砂粒 ③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内は沈線を矢羽根状に配する。頸部無文帯。体部上3条の平行沈線を2段に配し、沈線による波状文施文。縄文RL。	中期後半
2	深鉢 口縁-体部	が南 +13	①内 24 ② - ③ -	①暗褐色②細砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内2条横位隆線で上下2段に区画。区画内沈線列状点文。頸部無文帯。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
3	深鉢 口縁部	P9 脇 +28	① ②-③-④	①赤褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内沈線による矢羽根状 施文。	中期後半
4	深鉢 口縁部	伊内 +10	① ②-③-④	①明赤褐色②砂粒多③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内沈線による矢 羽根状施文。体部縄文LR。	中期後半
5	深鉢 口縁部	伊脇 +7	① 18.0 ②- ③	①褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縦位沈線。体部縄文 LR。	中期後半
6	深鉢 口縁部	伊脇 +10	① 18.0 ②- ③	①褐色②細砂粒③普通	口縁部隆線による区画及び渦巻文。区画内縦位沈線。体部3条一對の 縦位沈線。縄文LR。	中期後半
7	深鉢 口縁部	P4 西 +19	① 17.2 ②- ③	①黄褐色②砂粒やや多 ③普通	口縁部楕円形区画。楕円形区画内縦位沈線。頸部僅かに無文。体部縄 文LR。	中期後半
8	深鉢 口縁部	P4 北 +23	① ②-③-④	①灰黄褐色②砂粒多③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内斜位沈線。	中期後半
9	深鉢 口縁部	床下土坑1 内+14	① ②-③-④	①黒褐色②粗砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内沈線による矢 羽根状施文。	中期後半
10	深鉢 口縁部	P3 脇 +24	① ②-③-④	①にぶい赤褐色②砂粒 ③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内沈線による矢 羽根状施文。	中期後半
11	深鉢 口縁部	伊脇 +7	① ②-③-④	①褐色②砂粒やや多③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縦位沈線。	中期後半
12	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①灰褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による長方形区画。区画内縦位沈線。	中期後半
13	深鉢 口縁～体部	伊北 -8	① 35.0 ②- ③	①暗赤褐色②砂粒③良好	口縁部長方形区画及び渦巻文。長方形区画縄文LR。頸部無文。体上部 3条の横位沈線。体部3条一對の沈線による文様施文。縄文LR。	中期後半
14	深鉢 口縁～体部	伊南 +21	① 19.0 ②- ③	①赤褐色②粗砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画縄文LR。頸部無文。体 上部3条の横位平行沈線。体部3条一對の沈線による区画。縄文LR。	中期後半
15	深鉢 口縁部	伊脇 +6	① 24.4 ②- ③	①明赤褐色②粗砂粒③良好	口縁部隆線による弓状区画及び渦巻文。楕円形区画内縄文LR。頸部無 文。体上位2条の横位沈線。	中期後半
16	深鉢 口縁部	伊東 +8	① ②-③-④	①黒褐色②砂粒多③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縄文LR。体部 2条一對の縦位沈線と縦位蛇行沈線。縄文LR。	中期後半
17	深鉢 口縁部	床下土坑 1内+17	① 16.0 ②- ③	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による渦巻文。区画内無文。頸部無文。体部横位沈線2条 並行、その上に沈線による三角施文。	中期後半
18	深鉢 口縁部	伊脇 +7	① 36.0 ②- ③	①褐色②砂粒やや多③良好	口縁部楕円把手。把手上横位沈線。舌状突起を有し円孔あり。口縁部 隆線による長方形区画及び渦巻文。長方形区画内縄文LR。	中期後半
19	深鉢 口縁部	伊内 +15	① ②-③-④	①褐色②粗砂粒③良好	小波状口縁で波状部渦巻文。口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。 体部3条一對の縦位沈線。縄文LR。	中期後半
20	深鉢 口縁部	伊脇 +6	① ②-③-④	①にぶい黄褐色②粗砂粒 ③普通	口縁部隆線による区画及び渦巻文。区画内縄文LR。	中期後半
21	深鉢 口縁部	P4 西 +23	① ②-③-④	①にぶい赤褐色②砂粒 ③良好	口縁部舌状突起。突起内渦巻文。口縁部隆線による区画。区画内縄文 LR。頸部無文。	中期後半
22	深鉢 口縁部	P4 西 +23	① ②-③-④	①にぶい赤褐色②粗砂粒 ③普通	口縁部舌状突起。突起内渦巻文。口縁部隆線による区画。区画内無文。 頸部無文。	中期後半
23	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による渦巻文。体部3条の縦位沈線。	中期後半
24	深鉢 口縁部	伊内 -5	① ②-③-④	①褐色②細砂粒③良好	口縁部舌状突起。頸部渦巻文。縦位沈線後横位沈線施文。并拵状沈線。	中期後半
25	深鉢 口縁～体部	伊脇 +10	① 16.5 ②- ③	①暗赤褐色②粗砂粒や 多③普通	口縁部受口状。頸部より横位隆線と縦位隆線により区画する。区画内 縄文LR。	中期後半
26	深鉢 口縁部	床下土坑2 +7	① 27.6 ②- ③	①にぶい赤褐色②砂粒 ③良好	口縁部無文。体上部隆線による区画及び渦巻文。区画内縄文LR。	中期後半
27	浅鉢 口縁部	伊内 -7	① ②-③-④	①明褐色②砂粒③良好	口縁部受口状。無文。体部縄文LR。	中期後半
28	深鉢 口縁～体部	伊東 +7	① 15.6 ②- ③	①暗褐色②砂粒やや多 ③普通	口縁部沈線による楕円形区画。区画内無文。頸部隆線。体部2条一 對の縦位沈線。	中期後半
29	深鉢 口縁～底部	床下土坑1 内+12	① 10.6 ② 15.5 ③6.0	①赤褐色②粗砂粒③普通	口縁部無文。胴下平縄文LR。	中期後半
30	深鉢 体部	伊内 -8	① ②-③-④	①明赤褐色②粗砂粒③良好	3条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文LR。伊体上部 上半は黒熱により変色。火指道見られる。	中期後半
31	深鉢 体部	伊脇 +7	① ②-③-④	①明褐色②細砂粒③普通	3条または2条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文LR。 埋没状態の違いにより傾々の土器片色異なる。	中期後半
32	深鉢 体部	伊脇 +4	① ②-③-④	①明赤褐色②砂粒③普通	沈線による文様施文。鋸歯状縦位沈線。縄文LR。	中期後半
33	深鉢 体部	床下土坑1 内 +10	① ②-③-④	①赤褐色②細砂粒③普通	縦位隆線で区画。隆線上部区画は斜位の沈線。体部2条一對の縦位沈 線と鋸歯状の縦位沈線蛇行沈線。縄文LR。	中期後半
34	深鉢 体部	伊脇 +7	① ②-③-④	①明赤褐色②砂粒③普通	2条一對の縦位沈線と縦位蛇行沈線。縄文LR。	中期後半
35	深鉢 体部	P3 脇 +6	① ②-③-④	①褐色②砂粒③普通	縦位鋸歯状沈線。縄文LR。	中期後半
36	深鉢 体～底部	床下土坑1 内+17	① ②-③-④	①褐色②粗砂粒③普通	2条一對の縦位沈線と縦位蛇行沈線。縄文LR。	中期後半
37	深鉢 体～底部	分散 ±0	① ②-③- 8.8	①褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半

## 出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
38	深鉢 体～底部	床下土坑1 脇+5	① 25.7 ② 7.0	①明赤褐色②砂粒③良好	3条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
39	深鉢 底部	伊西分散 +1	① 20.3 ② 13.6	①褐色②粗砂粒③普通	2～5条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
40	深鉢 体～底部	伊脇 +5	① 20.3 ② 10.0	①明赤褐色②粗砂粒③普通	頸部2条一對の横位隆線と2条一對の縦位隆線で区画。区画内に縦位蛇行隆線。縄文 RL。	中期後半
41	深鉢 体部	P9 北 +42	① 20.3 ② 9.3	①にふい褐色②砂粒③良好	頸部無文。2条の横位隆線で区画し、蛇行隆線垂下する。縄文 LR。	中期後半
42	深鉢 体部	伊内 -11	① 20.3 ② 9.3	①明赤褐色②粗砂粒③普通	2条一對の縦位隆線で区画。縄文 RL。	中期後半
43	深鉢 体部	床下土坑1 内+9	① 20.3 ② 9.3	①明赤褐色②砂粒③普通	2条一對の縦位隆線と平行する沈線で区画。区画内薄い縦位沈線。縄文 RL。	中期後半
44	深鉢 体部	床下土坑内 +8	① 20.3 ② 9.3	①明褐色②砂粒多③普通	2条一對の縦位隆線で区画。区画内隆線により文様描出。縄文 RL。	中期後半
45	深鉢 体部～底部	伊東 +9	① 20.3 ② 10.0	①明赤褐色②砂粒③普通	2条一對の縦位隆線で4単位に区画。区画内縦位蛇行隆線。	中期後半
46	深鉢 体部～底部	北東 +35	① 20.3 ② 8.8	①淡黄褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位隆線で区画。縄文 RL。	中期後半
47	深鉢 体部～底部	伊脇 +11	① 20.3 ② 10.0	①明赤褐色②砂粒多③普通	2条一對の浅い縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
48	深鉢 体部～底部	伊西分散 +13	① 20.3 ② 7.0	①明赤褐色②粗砂粒③普通	表面摩耗。縄文 RL。	中期後半
49	深鉢 体～底部	伊内 +7	① 20.3 ② 9.3	①褐色②砂粒③普通	縦位の隆線で区画。	中期後半
50	深鉢 体～底部	床下土坑2 脇+21	① 20.3 ② 7.8	①明赤褐色②粗砂粒③普通	縄文 RL。	中期後半
51	深鉢 口縁部	伊脇 +16	① 20.3 ② 9.3	①にふい褐色②砂粒③普通	口縁部横位隆線で区画。縦位沈線施文。頸部斜位の沈線上に交差する斜位の隆線貼付。頸部に波状隆線貼付。	中期後半
52	有孔罎付土 器口～体部	北西 +10	① 21.5 ② 9.3	①にふい赤褐色②砂粒③普通	口縁下に断面三角形の罎状隆線帯。罎状隆線に7cm前後の間隔でφ5mmの円孔。	中期後半
53	浅鉢 口縁～体部	伊脇 +26	① 20.3 ② 9.3	①にふい黄褐色②砂粒③良好	僅かに外反する口縁に算盤玉形の体部。斜部隆線による長方形区画及び渦巻文。区画内縄文 LR。	中期後半
54	浅鉢 口縁部	伊内 +7	① 40.0 ② 9.3	①浅黄褐色②細砂粒③良好	無文。口縁部断面三角形。55と同一個体。	中期後半
55	浅鉢 口縁部	伊脇 +10	① 40.0 ② 9.3	①にふい黄褐色②砂粒③良好	無文。口縁部断面三角形。1条の横位沈線帯。54と同一個体。	中期後半
56	浅鉢 口縁部	伊脇 +3	① 20.3 ② 9.3	①褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
57	浅鉢 口縁部	伊脇 +11	① 20.3 ② 9.3	①褐色②細砂粒③良好	無文。	中期後半
58	浅鉢 口縁～体部	伊脇 +12	① 42.0 ② 9.3	①にふい赤褐色②粗砂粒③普通	無文。	中期後半
59	浅鉢 口縁部	P3 北 +9	① 40.6 ② 9.3	①赤褐色②粗砂粒③普通	無文。	中期後半
60	深鉢 口縁部	床下土坑1 東+18	① 40.0 ② 9.3	①褐色②粗砂粒③普通	口縁無文。頸部切込みの入る隆線帯。	中期後半
61	浅鉢 口縁～体部	伊四辺 +8	① 25.6 ② 9.3	①明赤褐色②粗砂粒③普通	無文。	中期後半
62	浅鉢 口縁部	横土脇 +34	① 20.3 ② 9.3	①明赤褐色②粗砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。φ8mmの三角形の貫通の孔あり。内面に穿孔途中の円形痕跡。2個あり。	中期後半
63	深鉢 口縁～体部	伊四辺 +2	① 20.3 ② 9.3	①にふい黄褐色②細砂粒③普通	表面摩耗。2条一對の弧状隆線貼付。縄文 LR。	中期後半
64	台付鉢 腹部	岡清北 +38	① 20.3 ② 9.3	①褐色②細砂粒③良好	無文。	中期後半
65	浅鉢 口縁部	381P 馬辺 +10	① 20.3 ② 9.3	①にふい褐色②細砂粒③良好	無文。	中期後半

## 11区2号住居出土土器観察表 (遺構:第1分層 第72-73区, 遺物:第2分層 第41～45区・P.L.19～21)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	中央 +4	① 25.7 ② 9.3	①褐色②砂粒③良好	波状口縁。2条一對の隆線による大きな波状文。縄文 LR。	中期後半
2	深鉢 口縁部	P12 周辺 +1	① 20.3 ② 9.3	①にふい黄褐色②砂粒③普通	表面摩耗。波状口縁。口唇部凹線1条帯。体部沈線による波状区画。縄文 RL。	中期後半
3	深鉢 口縁～体部	北基出 +6	① 49.4 ② 9.3	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円区画内縄文 RL。体部縦位沈線で区画し中位でめがね状円文。	中期後半
4	深鉢 口縁部	分散 +9	① 43.2 ② 9.3	①にふい赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円区画内縄文 LR。体部2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半
5	深鉢 口縁部	P11 内 +2	① 20.3 ② 9.3	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円区画内斜位。体部斜位の沈線。	中期後半
6	深鉢 口縁部	基出 +1	① 20.3 ② 9.3	①暗褐色②砂粒③普通	口縁部突起。頂部渦巻文。口縁部隆線区画。沈線施文。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①黄灰色②砂粒多③普通	口縁部突起。頂部水滴状を呈し、内部渦巻文。口縁部沈線による楕円区画。φ 11mm の円形押圧痕。区画内縄文 LR。	中期後半
8	深鉢 口縁部	張出 +1	①-②-③-	①にぶい褐色②粗砂粒 ③良好	口縁部隆線による楕円形区画。区画内矢羽根状沈線。体部縦位の 3 条の沈線で区画し区画内放射状沈線。	中期後半
9	深鉢 体部	P7 脇 +2	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒多③普通	頸部無文帯。体部縦 3 条の横位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
10	深鉢 体部	張出 +11	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒多③普通	体部沈線による綾杉文。	中期後半
11	深鉢 体部	掘方 -13	①-②-③- 8.2	①褐色②粗砂粒③普通	2 条一對の縦位隆線で区画。区画内沈線による綾杉文。	中期後半
12	深鉢 体部～底部	張出 -5	①-②-③- 11.6	①赤褐色②砂粒③良好	体部 3 条一對の縦位沈線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半
13	深鉢 口縁部	P7 脇 +0	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 LR。頸部無文帯。	中期後半
14	深鉢 口縁部	張出 +0	①-②-③- 20.8	①褐色②細砂多③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 LR。頸部無文帯。	中期後半
15	深鉢 口縁部	張出 +0	①-②-③- ③-	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による区画不明瞭。区画内沈線により綾杉文に施文。	中期後半
16	深鉢 口縁部	張出 +3	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③普通	口縁部隆線による区画及び渦巻文。区画内縄文 LR。	中期後半
17	深鉢 体部	P13 内 +14	①-②-③-	①赤褐色②細砂粒③良好	3 条一對の横位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
18	深鉢 体部	P7 内 -17	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒やや多③普通	3 条一對の沈線を連続弧状に施文。縄文 LR。	中期後半
19	深鉢 体部	中央分散 +1	①-②-③-	①にぶい黄褐色②粗砂粒③良好	縦位の隆線で区画。縄文 LR。	中期後半
20	深鉢 体部	P9 東 +3	①-②-③-	①褐色②砂粒やや多③普通	縦位沈線で区画。	中期後半
21	深鉢 体部～底部	P6 内 -13	①-②-③- 6.0	①褐色②砂粒③普通	2 条一對の縦位の沈線で区画。	中期後半
22	深鉢 体部	中央 +6	①-②-③-	①黒褐色②細砂粒③良好	3 条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線と L 型沈線施文。	中期後半
23	深鉢 体部	P8 内 +5	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③普通	隆線による楕円形区画。区画内短沈線。	中期後半
24	深鉢 体部	掘出 8	①-②-③-	①にぶい赤褐色②粗砂粒③普通	体部上位横位沈線巡らせ、弧状、縦位、斜位の沈線施文。	中期後半
25	深鉢 口縁部	P8 内 +2	①-②-③-	①暗褐色②粗砂粒③良好	口縁部無文。頸部 2 条の横位隆線で区画。縄文 LR。	中期後半
26	深鉢 体部	中央南 2	①-②-③-	①黒褐色②砂粒多③普通	櫛歯状工具による縦位の細かな条線施文。	中期後半
27	深鉢 体部	P2 脇 +11	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③普通	縦位無文。6 条の横位沈線で区画。	中期後半
28	深鉢 体部	P13 脇 +12	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	1 条の隆線下に 6 条の横位平行沈線巡らせ。	中期後半
29	浅鉢 体部	西 +15	①-②-③-	①浅黄色②細砂粒③良好	背盤形。体部中央に隆線巡らせ、隆線上に刻み。肩部は隆線により区画し弧状及び縦位沈線を充填。	中期後半
30	深鉢 体部	P10 内 +6	①-②-③-	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	肩部に隆線巡らせ、小突帯。体部に櫛歯状工具による波状沈線僅かに見られる。	中期後半
31	浅鉢 口縁部	P7 脇 +2	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	口縁部 2 条の平行沈線巡らせ、沈線内に交互刻突。	中期後半
32	浅鉢 口縁部	P8 東 +1	①-②-③- 39.8	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	無文。	中期後半
33	浅鉢 口縁部	南周溝 -5	①-②-③- 30.0	①赤褐色②細砂粒③普通	無文。口縁部断面三角形。	中期後半
34	深鉢 口縁部	P1 西 +23	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	口縁部に 1 条沈線巡らせ区画。縄文 LR。	中期後半
35	浅鉢 口縁～体部	張出 -3	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	無文。	中期後半
36	深鉢 口縁部	P19 南 +0	①-②-③-	①にぶい褐色②粗砂粒③普通	口唇部沈線 1 条巡る。体部弧状沈線で区画。区画内は無文と縄文 LR。	中期後半
37	深鉢 体部	中央 +1	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	表面厚珐。波状口縁。縦位隆線に「T」字状に縦位隆線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半
38	深鉢 口縁部	P11 内 +1	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	口縁部に中広の沈線 1 条巡らせ区画。体部縄文 LR。	中期後半
39	深鉢 体部	P9 東 +2	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒やや多③普通	横位隆線と縦位隆線で区画。縄文 LR。	中期後半
40	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①灰黄褐色②細砂粒③普通	口縁部に 1 条の沈線を巡らせ、沈線内円形刻突。体部弧状沈線区画。縄文 LR。	中期後半
41	深鉢 口縁部	P12 東 2	①-②-③-	①明褐色②粗砂粒③普通	横位の沈線で区画。区画内は綾杉状沈線。	中期後半
42	深鉢 口縁部	掘出 +3	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③普通	口縁部横位沈線巡る。体部斜位の 2 条一對の沈線施文。縄文 LR。	中期後半

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
43	小型台付鉢 体～底部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	2条一対の縦位の沈線で区画。縄文 LR。腰部上げ底状に短く開く。	中期後半
44	深鉢 口縁～体部	P3 内 3	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	横位隆線寄り、縦位の細い平行沈線 3条一対で区画。区画内縄文 RL。	中期後半
45	深鉢 体部	P11 内 +2	①-②-③-	①浅黄褐色②粗砂粒③良好	隆線による楕円区画。区画内沈線による矢羽根文。	中期後半
46	深鉢 体部	突出 +5	①-②-③-	①にぶい赤褐色②粗砂粒③普通	体部沈線により方形及び楕円形に区画。体部下 2条一対の縦位沈線で区画。	中期後半
47	深鉢 体部～底部	覆土	①-②-③- 6.0	①にぶい黄褐色②粗砂粒多③普通	横位及び弧状隆線で区画。	中期後半
48	台付鉢 腰部	中央 +1	①-②-③- 8.8	①褐色②粗砂粒多③普通	「八」の字に開く脚部。	中期後半
49	台付鉢 腰部	覆土	①-②-③- 5.0	①褐色②粗砂粒③普通	僅かに開く脚部。	中期後半
50	土製品	中央 +7	①-②-③-	①褐色②砂粒多③普通	三角柱形を呈すると考える。端部沈線で区画。縁辺部連続刺突。縄文 RL。中央の長軸方向に 6mm 円孔貫通。	中期後半
51	土製円盤	中央 +0	①-②-③-	①にぶい赤褐色②粗砂粒③普通	土器片加工。沈線による区画。区画内縄文。	中期後半
52	深鉢 口縁部	既出 3	①-②-③-	①黒褐色②砂粒③普通	縄文 LR 充填。	前期前半
53	深鉢 体部	P4 脇 +11	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	縄文 RL 充填。	前期前半
54	深鉢 口縁～体部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②織目③良好	口縁部斜め隆線を平行及び菱形に貼付。交差部に瘤状貼付文。体部縄の階層の環を多段に横位施文。	前期前半

11区3号住居出土土器観察表 (遺構:第1分層 第74-75号, 遺物:第2分層 第46回・P.L.21)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	浅鉢 口縁部	中内 ±0	①-②-③-	①にぶい褐色②粗砂粒③良好	無文。口縁部断面三角形を呈する。	中期後半
2	浅鉢 体部	p5 内 ±0	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	隆線による区画。	中期後半
3	浅鉢 口縁～体部	中内 ±0	①-②-③-	①暗褐色②粗砂粒③良好	口縁部無文。斜部隆線により区画。区画内縄文 RL。屈曲部内伏小突起。	中期後半
4	深鉢 口縁部	中脇 ±0	①-②-③-	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	波状口縁。口唇部 3条の平行沈線と体部の連続沈線で区画。	中期後半
5	深鉢 口縁部	P19 -35	①-②-③-	①褐色②粗砂粒多③普通	口唇部 2条の沈線。体部は沈線による楕円形区画。NO. 4 と同一。	中期後半
6	深鉢 体部	中脇 +0	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	沈線による楕円形区画。2条一対の横位沈線。区画は沈線による楕円形区画と 2条一対の波状沈線	中期後半
7	深鉢 口縁部	中脇 25	①-②-③-	①赤褐色②粗砂粒③普通	口縁部 2条の平行沈線。沈線間は連続刺突。体部は沈線による楕円形区画と 2条一対の波状沈線	中期後半
8	深鉢 体部	中脇 +0	①-②-③-	①明褐色②砂粒③普通	3条一対の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
9	深鉢 体部	中脇 ±0	①-②-③-	①にぶい褐色②粗砂粒③普通	縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
10	深鉢 底部	中上器 -35	①-②-③- 9.7	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	2条一対の縦位沈線。縄文 RL。底面灰色に変色。	中期後半
11	深鉢 体部～底部	中上器 25	①-②-③- 11.0	①褐色②砂粒多③普通	半截竹管による 3条一対の縦位沈線で区画。区画内縄文を縦位線形に施文。	中期後半

11区4号住居出土土器観察表 (遺構:第1分層 第76-77号, 遺物:第2分層 第47回・P.L.22)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	中上器	① 25.9 ②- ③-	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び曲線文。楕円形区画内矢羽根状沈線。体部縄文 LR。口唇部被熱により脆くなる。	中期後半
2	浅鉢 体部～底部	P4 脇 +14	①-②-③- 9.2	①褐色②粗砂粒③普通	体部縦位の隠糸文。	中期後半
3	深鉢 口縁部	中央南 +15	①-②-③-	①にぶい赤褐色②粗砂粒多③普通	口縁部瘤状把手。口縁部隆線による楕円形区画。区画内矢羽根状沈線。	中期後半
4	深鉢 口縁部	+13	①-②-③-	①にぶい黄褐色②粗砂粒多③普通	隠糸施文後隆帯により区画。	中期後半
5	深鉢 口縁部	中央南 +15	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	口縁部平行沈線。沈線間交互刺突。縄文 LR。	中期後半
6	深鉢 口縁部	南西 +15	①-②-③-	①にぶい黄褐色②粗砂粒多③普通	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縦位の連続爪形文を充填。	中期後半
7	深鉢 口縁部	南壁 +19	①-②-③-	①にぶい赤褐色②軽石混の粗砂粒③普通	口縁部 4条の半截竹管による横位沈線。同一具による逆「J」字及び頭部に横位沈線。隠糸文。	中期後半
8	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③普通	隠糸施文後、沈線による楕円形区画。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
9	深鉢 深鉢 深鉢	2上坑覆土	①-②-③	①赤褐色②砂粒③良好	矢羽根状刻みを有する横位隆線を巡らす。器底施文後体部縦位隆帯と「十」字隆帯。	中期後半
10	深鉢 深鉢	中内 +13	①-②-③	①にふい黄褐色②砂粒③良好	器底施文後、平截竹管による横位及び弧状沈線施文。	中期後半
11	深鉢 深鉢	覆土	①-②-③	①明赤褐色②粗砂粒③普通	平截竹管による弧状及び直線状の沈線施文。	中期後半
12	浅鉢 口縁部	P3内 +6	①-②-③	①にふい褐色②細砂粒③普通	無文。	中期後半
13	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①にふい黄褐色②細砂粒③普通	無文。	中期後半
14	浅鉢 上製品 耳跡	2号土坑 覆土	① 18.0 ②-③	①赤褐色②砂粒③普通	1条の横位沈線で区画。体部器底文。	中期後半
15	深鉢 底部	中央 +20	径: 6.6 円 孔径: 2.0	①赤褐色②粗砂粒③普通	無文。	中期後半
16	深鉢 把手	南周溝 +24	①-②-③	①にふい赤褐色②角四石③普通	三角柱状の突帯。隆線により区画。頂部は大きく凹凸。隆帯による横手文。	中期後半
17	深鉢 底部	中央 +14	①-②-③ 8.0	①褐色②角四石③良好	2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半
18	深鉢 口縁部	P3上 +18	①-②-③	①にふい黄褐色②横線③良好	口縁端部2条の刻み隆帯。器底煎痕による渦巻文。	前期前葉
19	深鉢 口縁部	P5脇 +24	①-②-③	①にふい赤褐色②横線③良好	口縁端部2条の刻み隆帯。直線的な器底煎痕。その上に円形文。	前期前葉
20	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 8.0	①にふい黄褐色②横線③普通	底部上げ底。底面縄文施文。	前期前葉

11区5号住居出土土器観察表 (縮略: 第1分冊 第78-79頁, 遺物: 第2分冊 第48~50頁・P.L.22~24)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 深鉢	中脇 +2	① 23.0 ② 29.0 ③ 9.5	①赤褐色②砂粒③良好	口縁部文様帯2単位。刻みの入った渦巻文の向側に縦位の隆帯と蛇行隆帯貼付。頸部横位沈線による区画。体部器底文。	中期後半
2	深鉢 口縁部	中体土器	① 17.5 ②-③	①明赤褐色②角四石・白色粉混③良好	口唇部2対1組の小突起3ヶ所。突起した隆帯による渦巻文。口縁部隆帯による6単位の渦巻文。頸部横位2条の隆帯による。体部器底文。	中期後半
3	深鉢 口縁部	中央 +17	① 18.0 ②-③	①暗褐色②粗砂粒③良好	口縁部文様帯2単位。隆帯による長方形区画。区画内縦位沈線及び渦巻文。頸部横位隆線を巡らせる。体部器底文。	中期後半
4	深鉢 体部	P9脇 +12	①-②-③ 6.5	①赤褐色②砂粒③普通	口縁部弧状隆線。頸部横位隆線を巡らせる。体部器底文。	中期後半
5	深鉢 口縁部	中央 +7	①-②-③	①褐色②細砂粒③良好	口縁端部隆線を巡らす。口縁部2条の隆線を渦巻状貼付。	中期後半
6	深鉢 口縁部	中央 +26	①-②-③	①にふい赤褐色②細砂粒③良好	粘土を渦巻状に貼付。隆線により区画。区画内交互刺突。	中期後半
7	深鉢 口縁部	中央 +8	①-②-③	①にふい赤褐色②砂粒③普通	隆線による施文抽出。	中期後半
8	深鉢 口縁部	中央 +19	① 17.6 ②-③	①褐色②細砂粒③良好	口縁部桶状把手。複数の平截竹管による横位沈線を2段。沈線間に交互刺突。頸部同一具による多状の横位沈線を巡らす。	中期後半
9	深鉢 口縁部	P5脇 +28	① 23.0 ②-③	①にふい褐色②細砂粒多③普通	口縁部無文。頸部付近から器底文。	中期後半
10	深鉢 口縁部	中央 +2	①-②-③	①にふい赤褐色②細砂粒③良好	口縁部隆線による区画。区画内器底文。頸部横位隆帯1条を巡らす。地文器底文。	中期後半
11	深鉢 口縁部	P3脇 +19	① 18.0 ②-③	①褐色②細砂粒③良好	口唇部は2条の横位沈線を巡らす。沈線間に一列交互刺突。口縁部に波状沈線。地文器底文。	中期後半
12	深鉢 口縁部	中央 +29	① 22.0 ②-③	①暗褐色②細砂粒③良好	隆帯による区画。区画内平行沈線と沈線間隆線に交互刺突。また隆帯による渦巻文。地文器底文。	中期後半
13	深鉢 口縁部	中脇 +32	①-②-③	①にふい赤褐色②砂粒③良好	隆線による区画。口縁部隆帯による横手文。地文器底文。	中期後半
14	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①にふい褐色②砂粒③普通	口縁端部横位隆線。口縁部横位沈線。沈線間に交互刺突。体部弧状沈線。地文器底文。	中期後半
15	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①明赤褐色②雲母③普通	口縁部1条の弧状隆線に平行沈線施文。	中期後半
16	深鉢 体部	P1脇上 +33	①-②-③	①明赤褐色②細砂粒③良好	隆帯による渦巻文及び楕円形区画。地文器底文。	中期後半
17	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①褐色②細砂粒③普通	口唇部隆帯1条を巡らす。口縁部区画内横位沈線。	中期後半
18	深鉢 口縁部	中脇 +31	①-②-③	①にふい褐色②砂粒多③良好	多状の平截竹管による沈線巡らせ上下2ヶ所に交互刺突。	中期後半
19	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①にふい褐色②細砂粒③普通	平行沈線巡らせ沈線内に交互刺突。体部縄文RL。	中期後半
20	深鉢 口縁部	P2脇 +36	①-②-③	①褐色②砂粒③良好	隆線による長方形区画。区画内に矢羽根状沈線。	中期後半
21	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①にふい赤褐色②砂粒③普通	横位の隆帯を巡らす。縄文は器底文。	中期後半

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
22	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にふい褐色②細砂粒 ③良好	横位の沈線と縦位の平行沈線。	中期後半
23	深鉢 口縁部	P 5 脇 +33	①-②-③-	①にふい褐色②粗砂粒 ③普通	平行沈線で長方形に区画。区画内無文。	中期後半
24	深鉢 体部	P脇 +3	①-②-③-	①赤褐色②雲母③普通	隆線による区画。区画内多段の鋸歯文。隆線間に連続爪形文。	中期後半
25	深鉢 口縁部	P2 脇 +36	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	渦巻文と短沈線施文。	中期後半
26	深鉢 口縁部	P9 +33	①-②-③-	①褐色②細砂粒③普通	隆帯による区画及び渦巻文。区画内刺突文。	中期後半
27	深鉢 口縁部	P 1 脇 +34	①-②-③-	①褐色②細砂粒③普通	口縁部橋状把手。区画内刺突文あり。縄文 LR。	中期後半
28	深鉢 口縁部	西 +43	①-②-③-	①褐色②細砂粒③普通	口縁部小波状。弧状隆帯貼付。	中期後半
29	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②雲母多③普通	波状口縁。隆帯貼付。	中期後半
30	深鉢 把手	中央 +30	中：9.0 厚： 5.1	①褐色②角閃石③普通	把手。φ 2.2cm 円孔 2ヶ。沈線による渦巻文。	中期後半
31	深鉢 口縁部	東 +9	①-②-③-	①明褐色②粗砂粒③普通	口唇部突起。口唇部縦位の無文。	中期後半
32	深鉢 口縁部	中央 +32	①-②-③-	①にふい赤褐色②砂粒 ③良好	縦位の無文に 2 条一対の縦位沈線で区画。	中期後半
33	深鉢 体部	P脇 +18	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③普通	方形及び縦位の沈線による区画。地文無文。	中期後半
34	深鉢 体部	P9 脇 +11	①-②-③-	①にふい赤褐色②砂粒 ③良好	横位隆線部。弧状沈線施文。地文無文。	中期後半
35	深鉢 体部	P5 上 +31	①-②-③-	①にふい赤褐色②砂粒 ③普通	4 条の平行沈線で区画。地文無文。	中期後半
36	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にふい赤褐色②砂粒 ③良好	縦位の隆線の脇に半葎竹管による沈線で区画。沈線による渦巻文。地文無文。	中期後半
37	深鉢 体部	P3 +38	①-②-③-	①明褐色②砂粒③良好	多状の縦位の脇に弧状沈線施文。また縦位の蛇行沈線。地文無文。	中期後半
38	深鉢 体部	東 +28	①-②-③-	①褐色②砂粒やや多③ 普通	斜みの入った横位及び縦位の隆線で区画。区画内「J」字状沈線と平行沈線施文。平行沈線間に交互刺突。	中期後半
39	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にふい赤褐色②砂粒 ③良好	縦位の多条平行沈線と鋸歯文。縦位の櫛歯状工具による条線。	中期後半
40	深鉢 体部	中央北 +32	①-②-③-	①にふい赤褐色②粗砂 粒③良好	地文無文。	中期後半
41	深鉢 体部	P脇上 +25	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③ 普通	横位の 2 条隆線で区画。地文無文。	中期後半
42	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にふい赤褐色②粗砂 粒③良好	口縁部比隆線部。頸部に隆線部。斜みの入った縦位隆線で区画。地文無文。	中期後半
43	深鉢 体部	中央 +22	①-②-③-	①にふい赤褐色②粗砂 粒③普通	隆線による渦巻文。縄文 LR。	中期後半
44	深鉢 体部～底部	中央 +26	①-②-③ 10.0	①褐色②粗砂粒③普通	表面厚粒。条線状痕跡見られる。	中期後半
45	深鉢 体部～底部	中央 +10	①-②-③ 14.0	①褐色②細砂粒③良好	無文。	中期後半
46	深鉢 底部	中央 +39	①-②-③ 9.0	①明赤褐色②細砂粒③ 良好	無文。	中期後半
47	深鉢 底部	P9 脇 +11	①-②-③ 8.0	①浅黄褐色②角閃石③ 普通	無文。	中期後半
48	深鉢 底部	北 +43	①-②-③ 6.4	①明赤褐色②細砂粒③ 良好	無文。	中期後半
49	深鉢 体部～底部	中央 +38	①-②-③ 6.6	①赤褐色②粗砂粒③良 好	無文。	中期後半
50	深鉢 体部～底部	中央 +23	①-②-③ 9.4	①明褐色②粗砂粒③良 好	無文。	中期後半
51	器台	P脇 +18	台：22.0 ② 11.7 ③ 25	①明赤褐色②角閃石③ 軽石粒③普通	径 4cm ほどの円孔 2 個一対。無文。	中期後半
52	浅鉢 口縁部	中央 +18	① 36.2 ② ③-	①赤褐色②片岩質、粗 砂粒③良好	隆線による横手文。	中期後半
53	浅鉢 口縁部	P脇上 +25	① 38.0 ② ③-	①にふい褐色②細砂粒 ③良好	斜み隆線による区画。区画内縦横沈線施文。	中期後半
54	浅鉢 口縁部	P3 脇 +22	①-②-③-	①赤褐色②片岩質、粗 砂粒③普通	隆線による区画及び渦巻文。無文。	中期後半
55	浅鉢 口縁部	P脇 +79	① 26.0 ② ③-	①暗褐色②粗砂粒③良 好	弧状の斜み入る隆帯と隆線による渦巻文。	中期後半
56	浅鉢 口縁部	P脇 +18	①-②-③-	①暗赤褐色②砂粒③良 好	口縁部縦位隆線により区画。区画内隆帯により文様描出。地文無文。57 と同一個体。	中期後半
57	浅鉢 口縁部	中央 +9	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良 好	口縁部縦位隆線により区画。区画内隆帯により文様描出。地文無文。56 と同一個体。	中期後半



番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
58	浅鉢 底部	中央 +44	①-②-③- 18.7	①褐色②細砂粒③良好	割みの入った隆線で区画。肩部縦位連続刺突。	中期後半
59	浅鉢 底部	中央 +16	①-②-③- 7.0	①褐色②雲母・軽石③良好	割みの入った隆線で区画。沈線による渦巻文	中期後半
60	浅鉢 口縁部	中央 +19	①-②-③- 7.0	①赤褐色②砂粒③良好	口唇部縦位隆線帯。口縁部隆線による渦巻文。地文彫糸文。	中期後半
61	浅鉢 口縁部	中央 +44	①-②-③- 7.0	①明褐色②粗砂粒③良好	隆線による渦巻文。	中期後半
62	浅鉢 底部	P1 脇 +7	①-②-③- 7.0	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	弧状隆線貼付。無文。	中期後半

11 区 6 号住居出土土器観察表 (遺構: 第 1 分冊 第 80 頁、遺物: 第 2 分冊 第 51 頁・P.1-24)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部～底部	中央東 +34	①-②-③- 7.0	①赤褐色②砂粒多③良好	口唇部に 2 条の沈線あり、径 4mm の円形刺突 3 条並らせる。体部繩 面状工具による縦位条線施文 2 条一対の沈線による連弧文 2 段施文。	中期後半
2	深鉢 口縁部	南壁 +6	①-②-③- 7.0	①灰褐色②繊維③良好	流状口縁。口縁端部 3 条の割み隆線並らせ知沈線による横位矢羽根状 施文を多段に配置。割み隆線による楕円形区画及び渦巻文。瘤状貼付文。 円形刺突文。体部境 2 段の割み隆線並らせる。瘤状貼付文。	前期前葉
3	深鉢 口縁部	中央 +15	①-②-③- 7.0	①黄褐色②繊維③良好	流状口縁。口唇部 2 条の割み隆線。瘤状貼付文。文様帯境別み隆線。 縄の閉端の環横位施文。	前期前葉
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③- 7.0	①にぶい黄褐色②角四 石灰、砂粒③普通	斜位の沈線。	中期後半
5	深鉢 口縁部	中央 +21	①-②-③- 7.0	①にぶい黄褐色②繊維③普通	口唇部と口縁中に 3 条の割み隆線並らせ、隆線上に瘤状貼付文。蕨 手状の彫糸無面庄痕。φ 10mm の円形文。	前期前葉
6	深鉢 口縁部	中央 +12	①-②-③- 7.0	①灰褐色②繊維③普通	平口縁。口唇部と頸部に割み隆線。口縁部彫糸無面庄痕。φ 10mm の 円形文。	前期前葉
7	深鉢 底部	中央 +16	①-②-③- 7.0	①にぶい黄褐色②繊維③良好	口縁部に彫糸無面庄痕。割み隆線に瘤状貼付文と φ 8mm の円形文。	前期前葉
8	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 7.0	①黒褐色②繊維③普通	附加条。格子目状施文。	前期前葉
9	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 7.0	①にぶい赤褐色②繊維③良好	連続爪形文、蕨手状に施文。中央に φ 12mm の円形文。	前期前葉
10	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 7.0	①灰褐色②繊維③良好	割み隆線による菱形文。体部境別み隆線を横位並らせる。隆線上瘤状 貼付文。	前期前葉
11	深鉢 底部	中央 +18	①-②-③- 7.0	①にぶい黄褐色②繊維③普通	直前段合盛り	前期前葉
12	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 7.0	①灰褐色②繊維③良好	平截竹管による菱形文。平行沈線間に棒端部による斜刺突。	前期中葉
13	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③- 7.0	①にぶい褐色②繊維③良好	頂部丸形の波状口縁。3 条の沈線による山形文。	前期前半
14	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③- 7.0	①明褐色②繊維③良好	双直波状口縁。縄の閉端の環施文。	前期前葉
15	深鉢 口縁部	中央 +10	①-②-③- 7.0	①褐色②繊維③普通	波状口縁。縄の閉端の環施文。	前期前葉
16	深鉢 底部	中央 37	①-②-③- 7.0	①黄褐色②繊維③良好	平截竹管による山形文。	前期前葉
17	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③- 7.0	①にぶい褐色②繊維③良好	平口縁。縄の閉端の環を横位施文。	前期前葉
18	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③- 7.0	①黒褐色②繊維③良好	平口縁。縄文 RL。	前期前葉
19	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 7.0	①明赤褐色②繊維③普通	体部縄の閉端の環横位施文。	前期前葉
20	深鉢 底部	中央 +17	①-②-③- 7.0	①褐色②繊維③普通	縄の閉端の環で多段に横位施文。羽状構成。	前期前葉
21	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 7.0	①灰褐色②繊維③普通	縄の閉端の環で多段に横位施文。	前期前葉
22	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 7.0	①にぶい褐色②繊維③普通	羽状施文。	前期前葉
23	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 7.0	①にぶい黄褐色②繊維③普通	縄の閉端の環を多段に横位施文。	前期前葉
24	深鉢 底部	中央 +13	①-②-③- 7.0	①にぶい黄褐色②繊維③普通	縄の閉端の環を多段に横位施文。	前期前葉
25	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 7.0	①黒褐色②繊維③普通	縄の閉端の環多段に横位施文。	前期前葉
26	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 9.0	①にぶい黄褐色②繊維③普通	底部やや上底気味。底面及び体部縄の閉端の環を横位施文。	前期前葉
27	深鉢 底部～底部	覆土	①-②-③- 7.6	①赤褐色②繊維③普通	体部縄の閉端の環横位施文。底部上げ底。縄文施文。	前期前葉

## 出土土器観察表

11区7号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第81-82頁, 遺物:第2分冊 第52-53頁・P.1-25)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁一部	伊北 +1	① 44.0 ② ③	①にぶい赤褐色②粗砂 ③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。2条一對の 縦位沈線で区画。区画内に縦位の蛇行沈線。	中期後半
2	深鉢 口縁部	P3 脇 +7	① 46.0 ② ③	①にぶい黄褐色②粗砂 ③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内沈線による矢羽根文。 頸部無文。	中期後半
3	深鉢 口縁一部	伊北 +1	① 33.0 ② ③	①暗灰色雲母・角閃石 ③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。体部2条一 對の縦位沈線で区画。	中期後半
4	深鉢 口縁部	伊東 +16	①-②-③	①にぶい褐色②角閃石 ③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。	中期後半
5	深鉢 口縁部	伊北 +8	①-②-③	①にぶい褐色②粗砂 ③良好	隆線による楕円形区画。区画内2段の縦位短沈線。	中期後半
6	深鉢 口縁部	中央 +2	①-②-③	①にぶい褐色②粗砂 ③良好	口縁部隆線による楕円形区画。区画内2段の縦位短沈線。	中期後半
7	深鉢 口縁部	西 +8	①-②-③	①にぶい褐色②粗砂 ③良好	隆線による楕円形区画。区画内沈線による矢羽根文。	中期後半
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①にぶい黄褐色②粗砂 ③普通	隆線による楕円形区画。区画内沈線による矢羽根文。縄文 LR。	中期後半
9	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①にぶい赤褐色②粗砂 ③良好	流状口縁。口唇部隆線による渦巻文。体部縦位の2条一對の隆線。 縄文 LR。	中期後半
10	深鉢 口縁部	伊脇 +2	①-②-③	①にぶい黄褐色②粗砂 ③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。	中期後半
11	深鉢 口縁一部	伊北 +1	① 36.0 ② ③	①浅褐色②粗砂③普通	流状口縁。波頂部に沈線による横「S」字文。口縁部隆線による楕円形 区画。又隆線上にφ1cmの円形文。体部2条一對の縦位沈線で区画。 区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
12	深鉢 体部	東 +4	①-②-③	①にぶい褐色②粗砂や や多③良好	縦位の沈線による6単位の区画。無文部に横手文。区画内縄文 RL。	中期後半
13	深鉢 体部	P3 脇 +10	①-②-③	①褐色②粗砂③普通	縦位の2条の隆線で区画。区画内に縦位蛇行隆線。縄文 RL。	中期後半
14	深鉢 体部	中央 +2	①-②-③	①明赤褐色②粗砂③ 良好	2条一對の縦位沈線で区画。区画内に浪濤状突起。	中期後半
15	深鉢 体部	中央 +2	①-②-③	①にぶい赤褐色②粗砂 ③良好	縦位隆線と彎曲する沈線による肋骨文。	中期後半
16	深鉢 底部	中央 +5	①-②-③ 8.0	①褐色②角閃石③良好	2条一對の縦位隆線及び沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
17	深鉢 底部	西 +18	①-②-③ 7.0	①にぶい黄褐色②粗砂 ③良好	2条一對の縦位隆線で区画。縄文 RL。	中期後半
18	深鉢 体部一部	伊土器	①-②-③ 10.0	①褐色②粗砂③普通	無文。内面割離。	中期後半

11区8号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第83-84頁, 遺物:第2分冊 第54頁・P.1-26)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①にぶい黄褐色②片岩 質。粗砂③良好	隆線による区画及び渦巻文。区画内縄文 LR。	中期後半
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①明赤褐色②粗砂③ 良好	隆線による楕円形区画。区画内沈線による矢羽根文。頸部無文。	中期後半
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①暗褐色②粗砂③良 好	流状口縁。隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。頸部無文。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①暗褐色②粗砂③良 好	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文 LR。頸部無文。	中期後半
5	深鉢 体部	伊内 +4	①-②-③	①明赤褐色②粗砂③ 普通	3条一對の縦位沈線で区画。区画内沈線による扇面及び弧状文。縄文 RL。内面スス付着。	中期後半
6	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①灰黄褐色②粗砂③ 普通	3条一對の縦位沈線で区画。区画内沈線による波状文。縄文 LR。	中期後半
7	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 10.6	①明赤褐色②角閃石③ 良好	縦位の隆線で区画。区画内縦位蛇行隆線。縄文 RL。	中期後半

11区9号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第85頁, 遺物:第2分冊 第55頁・P.1-26)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①にぶい黄褐色②角閃 石③普通	流状口縁。隆線による区画。区画内爪形文。竹管による円形文。	中期後半
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①褐色②角閃石③良 好	隆線による区画。区画内爪形文。竹管による円形文。	中期後半
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①明赤褐色②雲母③良 好	口唇部受け皿状隆線。沈線無文。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①明赤褐色②粗砂③ 普通	流状口縁。口唇部隆線による区画。区画内竹管による縦位平行沈線。 上下端沈線内交互刺突。	中期後半
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①にぶい黄褐色②粗砂 ③普通	口唇部切目。口唇部竹管による刺突を持つ隆線部。口縁部縦位沈線 で区画。区画内に円形刺突。	中期後半
6	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①暗褐色②粗砂多③ 普通	横糸施文後。隆線により区画。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②角閃石・軽石混③普通	3条一對の横位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
8	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②細砂粒③良好	3条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
9	深鉢 口縁部～底部	伊内 1	①-②-③ 11.6	①明赤褐色②粗砂粒③普通	縦位沈線で区画。内面腐付着。	中期後半

11 区 10 号住居出土土器観察表 (通観: 第 1 分冊 第 86 頁, 通物: 第 2 分冊 第 56 ~ 58 頁・P. 1, 29-27)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	伊内 +6	① 45.0 ②	①黒褐色②角閃石・明灰黄色混③粗砂粒③普通	口縁部隆線による横「S」字文。区画内沈線充填。頸部無文帯。体部 3 条一對の横位沈線で区画。	中期後半
2	深鉢 口縁～体部	伊東 +3	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	口縁部隆線により区画及び渦巻文。区画内縦位沈線。頸部無文帯。体部縦位沈線で区画。	中期後半
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②粗砂粒③良好	口縁部隆線により区画。突帯あり。区画内縄文。頸部 4 条の縦位沈線。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②粗砂粒③良好	口縁部隆線により区画。区画内縦位沈線。頸部わずかに無文帯。	中期後半
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②粗砂粒③良好	口縁部縄文施文後隆線及び沈線により区画。区画内縦位沈線。	中期後半
6	深鉢 口縁部	伊内 +6	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	口縁部縄文施文後、沈線による渦巻文。体部 3 条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
7	壺 体部～底部	伊脇 +31	①-②-③ 8.0	①赤褐色②角閃石・軽石混③普通	頸部横位隆線で区画。体部 2 条一對の縦位隆線で区画。区画内縦位の蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
8	深鉢 口縁～体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③良好	波状口縁。口縁部高瘤多。隆線により区画。区画内縦位沈線。頸部無文帯。体部 3 条一對の横位沈線を巡らせ、縦位の 3 条一對の沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
9	深鉢 口縁～ 底部	中央 +6	① 12.0 ② 19.6 ③ 6.0	①赤褐色②細砂粒③良好	波状口縁。口縁部から縦位及び横位の隆線で「十」字区画。口縁部 2 段に横位の矢羽状沈線。体部斜沈線による菱形文。	中期後半
10	深鉢 体部～底部	覆土	①-②-③ 7.2	①明褐色②粗砂粒③普通	縦位の多状沈線で区画。区画内縦位の蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
11	深鉢 体部	中央 +6	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③普通	2 条一對の縦位隆線で区画。区画内絨状沈線。	中期後半
12	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗砂粒やや多③普通	頸部横位隆線からせ、垂下する 2 条一對の隆線で区画。区画内縦位蛇行隆線で区画。地文混染。13・14 と同一個体。	中期後半
13	深鉢 体部	南塚 +17	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	頸部横位隆線からせ、垂下する 2 条一對の隆線で区画で区画。区画内縦位蛇行隆線。地文混染。12・14 と同一個体。	中期後半
14	深鉢 体部	西塚 +17	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	然糸文施文後、2 条一對の縦位隆線で区画。区画内縦位の蛇行隆線。12・13 と同一個体。	中期後半
15	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②粗砂粒③良好	然糸文施文後、隆線により区画。沈線施文。	中期後半
16	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	2 条一對の縦位隆線で区画。縄文 RL。	中期後半
17	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②粗砂粒③良好	2 条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
18	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②粗砂粒多③普通	頸部横位沈線による区画。体部沈線による文様抽出。縄文 LR。	中期後半
19	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③良好	3 条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
20	深鉢 体部	P2 周辺 +25	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③普通	2 条一對の縦位沈線で 12 区画。沈線間に扇状沈線垂下。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
21	深鉢 体部～底部	伊内 2	①-②-③ 8.0	①褐色②粗砂粒③普通	2 条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
22	深鉢 体部～底部	P3 脇 +3	①-②-③ 8.0	①褐色②粗砂粒③普通	縦位沈線で 3 単位に区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
23	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗砂粒多③普通	縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。	中期後半
24	深鉢 体部	伊脇 +6	①-②-③-	①暗褐色②粗砂粒③良好	2 条の縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
25	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③普通	縦位の多状沈線で区画。区画内縦位の蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
26	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③良好	縄文 RL。	中期後半
27	深鉢 体部～底部	覆土	①-②-③ 10.0	①明褐色②粗砂粒③普通	縦位然糸文。	中期後半
28	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②粗砂粒やや多③良好	無文。	中期後半
29	浅鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	隆線による区画。区画内縦位沈線充填。	中期後半
30	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②粗砂粒③良好	渦巻状隆線。	中期後半

## 出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
31	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	隆線による区画。区画内縦位沈線充填。	中期後半
32	浅鉢 口縁部～底部	167土坑 +9	①-②-③- 9.0	①にぶい褐色②砂粒③ 良好	無文。	中期後半

11区 11号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第87-88頁, 器物:第2分冊 第59~61頁・P.1, 28-29)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～底部	中周辺 +16	① 16.0 ② 19.0 ③ 8.0	①にぶい褐色②砂粒③ 普通	2条一対の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
2	浅鉢 口縁～体部	中内 +5	① 39.4 ②- ③-	①にぶい褐色②砂粒③ 普通	無文。	中期後半
3	浅鉢 口縁～底部	東壁 2	① 34.0 ② 18.1 ③ 9.6	①褐色②細砂粒③普通	無文。	中期後半
4	器台 器面～脚	東壁 3	① 16.5 ② 8.2 ③ 2.2	①にぶい赤褐色②細砂 粒③良好	φ 23mmの円孔 2個一対。	中期後半
5	深鉢 口縁～体部	中北 +17	① 56.0 ②- ③-	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円区画内矢羽根状沈線。体部3条一対の縦位沈線で区画。区画内2条一対の縦位蛇行沈線。地文器系。	中期後半
6	深鉢 体部	中北 +18	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③ 良好	体部3条一対の縦位沈線で区画。区画内2条一対の縦位蛇行沈線。地文器系。	中期後半
7	深鉢 口縁～体部	中体土器	① 28.6 ②- ③-	①にぶい褐色②粗砂粒 多③良好	口縁部から体部器系文施文後3条の沈線。頸部2条の沈線。沈線間の隆線に交互斜交。内面上部被熱により割傷及び脆弱化。	中期後半
8	有孔肩付土器 口縁～体部	分散 +19	① 21.5 ②- ③-	①にぶい褐色②粗砂粒 ③-	直立する口縁。蹄状突起部。φ 3mmの円孔を2ヶ一対で6cm間隔で開けられる。体部隆線による渦巻文で区画。区画内φ 2～3mmの円形刺突充填。	中期後半
9	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②砂粒③良好	口縁部隆線により区画。区画内2段に分割し沈線施文。	中期後半
10	深鉢 口縁部	中脇 +5	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	小波状口縁。隆線により楕円形区画及び断手文。区画内縦位短沈線。	中期後半
11	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂 粒③普通	口縁部隆線による区画。区画内矢羽根状沈線文。	中期後半
12	深鉢 口縁～体部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②粗砂 粒③良好	口縁部隆線による区画。区画内縦位沈線充填。頸部無文。4条の縦位沈線で区画。体部3条一対の縦位沈線で区画。区画内櫛歯状1具による縦位沈線。	中期後半
13	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②粗砂 粒③良好	頸部横位。横位沈線と体部3条一対の縦位沈線で区画。区画内沈線による文様施出。櫛歯状1具により縦位沈線。	中期後半
14	深鉢 口縁～体部	中脇 +6	① 16.0 ②- ③-	①赤褐色②細砂粒③ 良好	小波状口縁。隆線により楕円形区画。区画内器系文充填。頸部僅かに無文帯。体部器系文施文後3条一対の縦位沈線で区画。2条一対の縦位蛇行沈線。	中期後半
15	深鉢 体部	中脇 +6	①-②-③-	①赤褐色②細砂粒③ 良好	器系文施文後体部3条一対の縦位沈線で区画。区画内2条一対の縦位蛇行沈線。	中期後半
16	深鉢 口縁部	中央 +9	① 15.0 ②- ③-	①褐色②砂粒③良好	ラッパ状に開く口縁。頸部4条の縦位沈線。縄文RL。	中期後半
17	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 7.4	①明褐色②砂粒③良好	縦位沈線。	中期後半

11区 12号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第89-90頁, 器物:第2分冊 第62-63頁・P.1, 29-30)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	口縁部隆線により区画。区画内器系。頸部無文帯。	中期後半
2	深鉢 体部	北東 +12	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③ 良好	器系文施文後。沈線による渦巻文。	中期後半
3	深鉢 口縁～体部	北東 +12	① 25.2 ②- ③-	①にぶい赤褐色②砂粒 ③普通	口縁部隆線による「Y」字区画2ヶ所のみ。口縁下部から体部にかける器系文。頸部2条の隆線。他無文。	中期後半
4	深鉢 体部	北東 +12	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	横位隆線。体部器系文。	中期後半
5	深鉢 体部～底部	北東 +12	①-②-③ 9.0	①にぶい褐色②砂粒③ 普通	体部器系文。	中期後半
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂 粒③良好	口縁部無文。頸部縄文RL。	中期後半
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②角四 石③普通	口縁部から体部器系文施文後。口縁部隆線による区画。	中期後半
8	深鉢 体部～底部	中体土器 5	①-②-③ 7.0	①明赤褐色②細砂粒③ 良好	器系文施文。	中期後半
9	深鉢 口縁～体部	覆土	① 22.2 ②- ③-	①黒褐色②細砂粒③ 普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文LR。体部3条一対の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。	中期後半
10	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒や中多③ 良好	頸部横位沈線。体部縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
11	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③ 良好	体部縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文RL。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
12	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③普通	黒糸文飾文後沈線による飾文。	中期後半
13	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	黒糸文飾文後平截竹管による横位山形文。	中期後半
14	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	隆線による区画。沈線飾文。	中期後半
15	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	頸部刻みのある隆線を1条巡らせる。縄文LR。	中期後半
16	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②砂粒多③普通	沈線による飾文。縄文LR。	中期後半
17	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②砂粒③良好	口唇部隆線1条巡らせる。口縁部中7条の横位沈線に巡らせ、上段に交互刺突1条。	中期後半
18	浅鉢 口縁～底部	覆土	①-②-③-	①40.0②③良好	弧状隆線貼付。	中期後半
19	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	蕨手状隆線貼付。	中期後半
20	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②粗砂粒③良好	無文	中期後半
21	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②雲母・角石③良好	蕨手状隆線貼付。	中期後半
22	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①浅黄色②白色粒③良好	沈線による山形文及び蕨手文。	中期後半
23	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③良好	無文。口唇部断面三角形。	中期後半
24	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 8.0	①にぶい褐色②砂粒③良好	縄文LR。	中期後半

11区13号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第91-92頁, 遺物:第2分冊 第64～66頁・P.130-31)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～底部	伊周辺 +13	① 45.0 ②- ③-	①にぶい赤褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による箱形区画及び渦巻文。区画内は斜沈線や矢羽根状沈線飾文。頸部に横位沈線3条巡らせ区画する。体部も沈線による飾文。縄文LR。	中期後半
2	深鉢 口縁～底部	覆土	① 27.5 ②- ③-	①褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による箱形区画及び渦巻文。区画内矢羽根状沈線文。頸部無文帯。3条の横位沈線で区画。また3条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒③普通	口縁部隆線により区画。区画内斜沈線充填。頸部無文帯。体部横位沈線で区画。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による箱形区画及び渦巻文。区画内矢羽根状沈線。頸部無文帯。	中期後半
5	深鉢 口縁～底部	伊周辺 +13	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による区画。渦巻文あり。区画内2段の短沈線充填。頸部はわずかに縄文飾文。	中期後半
6	深鉢 口縁～底部	伊周辺 +13	①-②-③-	①赤褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による箱形区画及び渦巻文。区画内矢羽根状沈線。頸部無文帯。体部横位隆線巡る。	中期後半
7	深鉢 口縁～底部	伊周辺 +13	① 34.0 ②- ③-	①褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による箱形区画及び渦巻文。区画内縄文LR。頸部無文帯。体部横位沈線巡る。	中期後半
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②粗砂粒③普通	口縁部隆線により区画。区画内縄文LR。頸部無文帯。	中期後半
9	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②片岩③良好	口唇部横位連続刺突を巡らせる。口縁部連続刺突による山形文。	中期後半
10	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②雲母③普通	弧状口縁。連続刺突による弧状、弧状、直線、描出。横位隆線巡る。	中期後半
11	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②軽石③良好	口縁部5条の横位沈線巡らせ、上段の沈線間に交互刺突。縄文黒糸。	中期後半
12	深鉢 口縁～底部	覆土	① 21.8 ②- ③-	①にぶい黄褐色②砂粒多③普通	口唇部沈線飾文。頸部に跨状隆線巡る。体部沈線により渦巻文飾文。縄文LR。	中期後半
13	深鉢 底部	伊土0	①-②-③-	①にぶい褐色②角石③普通	口縁部隆線による渦巻文。頸部沈線による横位波状文とφ5mmの内形刺突文。体部沈線による蕨手文。縄文LR。	中期後半
14	深鉢 口縁～底部	覆土	① 16.0 ②- ③-	①にぶい褐色②砂粒③普通	4単位の弧状口縁。頂部渦巻文。口縁部無文。頸部3条の横位沈線巡らせ区画。区画内沈線による連弧文や蕨手文等飾文。縄文LR。	中期後半
15	深鉢 底部	中央 +13	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。区画内沈線による文様。縄文LR。	中期後半
16	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒やや多③良好	3条一對の縦位隆線で区画。区画内縦位の蛇行隆線。縄文を縦位羽状に配置。	中期後半
17	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②細砂粒③良好	横位沈線から縦位に延びる蛇行沈線。縄文LR。	中期後半
18	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位の蛇行隆線。体部縞杉文。	中期後半
19	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③普通	3条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文LR。	中期後半
20	深鉢 底部～底部	覆土	①-②-③ 9.0	①にぶい褐色②砂粒③普通	3条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位の蛇行沈線。縄文LR。	中期後半

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
21	深鉢 底部～底部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
22	深鉢 底部～底部	P5 脇 +28	①-②-③- 16.0	①褐色②砂粒③良好	2条または3条の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
23	深鉢 底部～底部	覆土	①-②-③- 13.0	①にぶい褐色②角閃石 ③普通	縦位の隆線で区画。縄文 RL。底面斜位の短沈線を綾杉状施文。	中期後半
24	深鉢 底部～底部	覆土	①-②-③- 9.0	①褐色②角閃石③普通	2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半
25	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒 ③普通	口唇部沈線より交互刺突。沈線による文様。縄文 RL。	中期後半
26	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒 ③普通	隆線による文様。	中期後半
27	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒 ③良好	頸～体部一部赤彩痕あり。	中期後半
28	深鉢 口縁～体部	覆土	① 36.0 ② ③-	①にぶい褐色②砂粒③ 良好	無文。	中期後半
29	深鉢 底部～底部	中央 +36	①-②-③- 7.4	①にぶい黄褐色②白色 粘土③普通	無文。	中期後半
30	深鉢 底部～底部	北 +35	①-②-③- 10.8	①黄灰色②細砂粒③良好	無文。	中期後半
31	器台 口縁～底部	中北 +21	① 19.2 ② 9.1, ③ 22	①明赤褐色②砂粒多③ 普通	φ 2cmの円孔。2ヶ一對。無文。	中期後半
32	器台 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	φ 2cmの円孔。無文。	中期後半
33	器台 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒 ③普通	無文。φ 2.7cmの円孔。	中期後半

11区14号住居出土土器観察表 (遺構: 第1分層 第93-94段, 遺物: 第2分層 第67～69段・P.L.32-33)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	覆土	① 31.4 ② ③-	①黒褐色②細砂粒③良好	口縁部無文。頸部横位沈線で区画。体部沈線により文様抽出。縄文 RL。	中期後半
2	深鉢 体部	器台土器	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	頸部無文帯。体上部横位隆線を巡らせ体部2条一對の縦位隆線垂下させ5単位に区画。区画内縦位沈線及び綾杉文。頸部比熱により変色し艶消。	中期後半
3	深鉢 口縁～体部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②砂粒③良好	口縁部楕円形区画。区画内沈線による矢羽根状施文。頸部無文帯。3条の横位隆線とT字に交わる縦位沈線で区画。区画内矢羽根状に沈線施文。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②白色 粘土③普通	口縁部隆線による区画と渦巻文。区画内矢羽根状沈線。	中期後半
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒 ③良好	口縁部突起頂部渦巻文。隆線による楕円形区画。区画内矢羽根状沈線。	中期後半
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	口縁部突起。隆線により区画し区画内沈線施文。	中期後半
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①黒褐色②細砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。	中期後半
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による区画と渦巻文。区画内矢羽根状沈線。	中期後半
9	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②粗砂粒 ③良好	口縁部隆線による区画と渦巻文。矢羽根状沈線。	中期後半
10	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②細砂粒 ③良好	隆線による区画。区画内沈線。体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
11	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②粗砂粒 ③普通	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。頸部無文帯。	中期後半
12	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒 ③良好	口唇部沈線より沈線内交互刺突。体部2条一對の沈線による連続文。地文系施文。	中期後半
13	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②砂粒③良好	頸部無文帯。頸部2条の隆線より「T」字状に2条一對の隆線を垂下させる。区画内に縦位沈線。縄文 RL。	中期後半
14	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②細砂粒③良好	縦位の隆線に2条一對の縦位隆線垂下させ区画。縄文 RL。	中期後半
15	深鉢 体部	中内 +2	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	縦位の隆線に2条一對の縦位隆線垂下させ区画。縄文 RL。	中期後半
16	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	縦位の隆線に2条一對の縦位隆線垂下させ区画。縄文 RL。	中期後半
17	深鉢 体部	中内 +4	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位隆線で区画し、縦位の蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
18	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①灰褐色②砂粒③普通	横位隆線巡らせ縦位の2条一對の隆線を垂下させ区画。縄文 RL。	中期後半
19	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒 ③良好	頸部無文。3条一對の横位隆線巡らせ3条一對の縦位沈線を垂下させ区画。縄文 RL。	中期後半
20	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒 ③良好	縦位の沈線で区画。区画内は2条一對の縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
21	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にふい赤褐色②砂粒 ③普通	縦位の沈線で区画。区画内沈線により文様描出。縄文 RL。20 と同一個体。	中期後半
22	小型土器 底部	覆土	①-②-③-	①にふい褐色②砂粒③良好	2条一對の細沈線縦位施文。	中期後半
23	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②角閃石③良好	沈線により文様描出。縄文 RL。	中期後半
24	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にふい褐色②細砂粒③良好	縦位の沈線で区画。区画内沈線により文様描出。縄文 RL。	中期後半
25	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にふい黄褐色②砂粒多③良好	縦位の沈線で区画。区画内沈線により文様描出。縄文 RL。	中期後半
26	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にふい赤褐色②砂粒やや多③良好	縦位の沈線で区画。区画内沈線により文様描出。縄文 RL。	中期後半
27	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にふい褐色②砂粒③良好	弧状隆線により区画。縄文 RL。	中期後半
28	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位の沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
29	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 13.5	①赤褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
30	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 6.6	①褐色②粗砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
31	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 9.4	①褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
32	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒やや多③良好	口縁部渦巻状突起。楕状把手。隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 LR。	中期後半
33	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②細砂粒③良好	口縁部渦巻状突起。隆帯及び沈線の組み合わせによる文様描出。	中期後半
34	土製品	覆土	縦：3.7 横：3.2 厚：2.8	①にふい黄褐色②砂粒③普通	粘土塊に3ヶ所入面状に爪形押圧。	中期後半
35	浅鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	「く」の字に屈曲。沈線により区画及び渦巻文。	中期後半
36	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
37	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	無文。	中期後半
38	浅鉢 底部	覆土	①-②-③- 9.0	①にふい褐色②細砂粒③良好	無文。	中期後半

11区 15号住居出土土器観察表 (通帳：第1分冊 第95頁、遺物：第2分冊 第70頁・P.L.33)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁突起部	中央+27	①-②-③-	①暗褐色②砂粒多③良好	口縁部渦巻状突起。沈線による重弧文。	中期後半
2	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①黒褐色②細砂粒③良好	沈線施文された断面三角形の弧状隆帯で区画。棒状工具端部連続刺突を弧状に施文。	中期後半

11区 16号住居出土土器観察表 (通帳：第1分冊 第96頁、遺物：第2分冊 第71-72頁・P.L.33-34)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	炉内 2	① 18.7 ② ③-	①褐色②白色粒やや多③良好	口唇部焼熱で脆弱。交互刺突部。2条一對の縦位沈線で4単位区画。区画内は縦位の沈線による縁刺文及び渦巻文。	中期後半
2	小型深鉢 口縁部	覆土	① 9.5 ② ③-	①にふい赤褐色②粗砂粒③普通	4単位の口縁突起。口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内は縦位沈線。	中期後半
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び縁手文。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画。区画内沈線施文。	中期後半
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②細砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内斜位沈線。底部沈線施文。	中期後半
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②細砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び縁手文。	中期後半
7	深鉢 底部	炉 ±0	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	頸部3条の横位沈線を帯りさせ区画。縦位沈線下・頸部沈線下連弧文及び縦位沈線施文。縄文 RL。	中期後半
8	深鉢 口縁部	炉内 +2	① 18.6 ② 26.8 ③ 8.0	①褐色②砂粒③良好	4単位の口縁突起。沈線による渦巻文。3方向からのφ2cmの円孔。体部は沈線による大小の渦巻文及び縦位施文。縄文 RL。	中期後半
9	深鉢 底部	炉内 +2	①-②-③-	①にふい黄褐色②粗砂粒③普通	2条及び3条の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
10	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	沈線による渦巻文。帯系文施文後渦巻状隆帯及び沈線施文。隆帯上にも帯系文。	中期後半
11	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にふい褐色②砂粒③良好	3条の横位沈線と3条の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
12	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③普通	弧状隆帯で区画。縄文 RL。	中期後半

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
13	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒③普通	縦位の蛇行沈線。縄文 RL。2条の横位及び波状隆帯巡らせる。	中期後半
14	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③普通	横位沈線巡る。体部山形沈線。磨面状工具に見られる細かな条線見られる。	中期後半
15	深鉢 体部	伊 2	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③普通	2条一對の斜位の沈線。細かな条線。	中期後半
16	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	3条の曲沈線。縄文 RL。	中期後半
17	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③普通	縦位隆線で区画。区画内斜位の沈線。	中期後半
18	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③普通	沈線による綾杉文。	中期後半
19	深鉢 体部～底部	覆土	①-②-③ 11.4	①褐色②砂粒③普通	無文。	中期後半
20	深鉢 底部	伊 2	①-②-③ 19.0	①灰黄褐色②白色粒多 ③普通	無文。	中期後半
21	浅鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②粗砂粒③普通	斜み入る縦位隆線で区画。区画内多重沈線。	中期後半
22	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③普通	隆線による方形区画。区画内縦位の沈線。	中期後半

11区18号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第97頁, 遺物:第2分冊 第73頁・P.1.34)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	P1 西 8	① 39.0 ② 8	①にぶい褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内矢羽根状沈線。頸部わずかに縄文。体部境3条の横位沈線巡り,3条の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
2	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②細砂粒③良好	口唇部断面三角形隆線。口縁部半葎竹筥による横位の多重沈線。一条交互列突。	中期後半

11区19号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第98-99頁, 遺物:第2分冊 第74-75頁・P.1.35)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	瘤状突起。頂部開く。φ18mmの円孔。斜み隆線で区画。区画内矢羽根状沈線。頸部無文帯。	中期後半
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③普通	瘤状突起。φ23mmの円孔。隆線による区画。区画内に2段の沈線飾文。頂部無文帯。	中期後半
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	隆帯による区画及び渦巻文。区画内斜位の沈線。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内矢羽根状沈線。頸部無文帯。	中期後半
5	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒多③普通	渦巻状隆線に多重沈線。	中期後半
6	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	頸部横位。体部縦位沈線で区画。区画内文様は沈線で描出。縄文 RL。	中期後半
7	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明褐色②砂粒やや多 ③普通	縦位沈線2条一對で区画。縦位沈線間に縦位蛇行沈線。体部文様沈線により描出。縄文 RL。	中期後半
8	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	3条一對の沈線で縦位及び曲線飾文。縄文 RL。	中期後半
9	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③良好	沈線による文様描出。墨糸文。	中期後半
10	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③良好	3条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
11	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	3条一對の縦位沈線で区画。区画内に縦位磨面状蛇行沈線。縄文 LR。	中期後半
12	深鉢 体部～底部	覆土	①-②-③ 11.0	①赤褐色②細砂粒③良好	3条一對の縦位沈線で区画。縦位の蛇行沈線。墨糸文。	中期後半
13	深鉢 底部	伊内 17	①-②-③ 8.0	①赤褐色②細砂粒③良好	縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
14	深鉢 体部～底部	覆土	①-②-③ 8.0	①褐色②細砂粒③良好	3条一對の沈線を縦位及び弧状に飾文する。縄文 RL。	中期後半
15	土製品	覆土	長さ:4.2厚: 1.0	①黄褐色②砂粒③良好	棒状の粘土紐。	中期後半
16	浅鉢 口縁～体部	覆土	① 48.0 ② ③-	①褐色②粗砂粒③良好	無文。	中期後半
17	器台 口縁～底部	覆土	① 16.7 ② 8.3, ③-	①にぶい褐色②軽石③普通	φ4cmほどの円孔。	中期後半
18	浅鉢 口縁～体部	伊内 土0	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	口唇部断面三角形。無文。	中期後半



番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
19	浅鉢 口縁部	中内 17	①-②-③	①明黄褐色②砂粒③良好	口唇部断面三角形。無文。1ヶ所φ8mmの円孔。	中期後半
20	浅鉢 口縁部	覆土	①30②-③	①褐色②粗砂粒③普通	無文。	中期後半
21	浅鉢 口縁～体部	覆土	①-②-③	①赤褐色②砂粒③普通	無文。	中期後半
22	浅鉢 口縁～体部	覆土	①-②-③	①にぶい褐色②砂粒③普通	無文。頸部屈曲。	中期後半
23	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①明赤褐色②片岩③普通	無文。	中期後半
24	浅鉢 口縁～体部	覆土	①-②-③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半

11 区 21 号住居出土土器観察表 (通観: 第 1 分冊 第 100 頁、通物: 第 2 分冊 第 76-77 頁・P. 35-36)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	ピット	①12.7②-③	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	受け口状口縁。頸部平行沈線巡る。フック状の隆線あり。	中期後半
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①褐色②砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①淡黄褐色②砂粒③普通	中広の横位の沈線で区画。縄文RL。	中期後半
4	浅鉢 底部	覆土	①-②-③	①にぶい褐色②砂粒③良好	断面三角形の突出する隆線と沈線で区画。区画内縄文LR。	中期後半
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①褐色②砂粒③普通	口縁部隆線により区画。区画内縄文LR。	中期後半
6	深鉢 口縁～体部	覆土	①-②-③	①明赤褐色②細砂粒③普通	口唇部3条の横位沈線巡る。体部縦位沈線。	中期後半
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①褐色②角閃石③普通	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文RL。	中期後半
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による長方形区画。区画内斜沈線。	中期後半
9	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①明褐色②砂粒③普通	口縁部横位隆線で区画。体部境横位沈線巡らせる。	中期後半
10	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	隆線による区画。区画内縄文LR。	中期後半
11	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①明褐色②細砂粒③普通	縦位沈線で区画。縦位蛇行沈線。縄文RL。	中期後半
12	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①褐色②砂粒③良好	沈線で文様描出。縄文RL。	中期後半
13	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①褐色②粗砂粒③普通	口縁部隆線による区画。頸部薄い縄文LR。区画境に横位沈線巡らせる。	中期後半
14	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①明赤褐色②細砂粒③普通	2条または3条の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。	中期後半
15	深鉢 体部～底部	覆土	①-②-③ 6.0	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	縦位隆線で区画。中位まで縄文RL。下位は無文。	中期後半
16	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 6.4	①にぶい褐色②粗砂粒③良好	無文。	中期後半
17	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 8.3	①褐色②細砂粒③良好	無文。	中期後半
18	浅鉢 口縁～底部	P2 脇 1	①52.0② 18.1③9.4	①褐色②細砂粒③良好	無文。	中期後半
19	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①暗赤褐色②細砂粒③良好	折り返し口縁。無文。	中期後半
20	浅鉢 口縁部	中内 20	①-②-③	①明赤褐色②白色粒③良好	無文。	中期後半
21	浅鉢 口縁部	南 +4	①-②-③	①褐色②砂粒③良好	「 $\infty$ 」の字に屈曲。屈曲部斜位の連続切み。	中期後半
22	有孔頸付上 蓋口縁～体	覆土	①-②-③	①にぶい黄褐色②白色粒③良好	断面三角形の罫を巡らせ、円孔を有する。	中期後半
23	有孔頸付上 蓋口縁～体	覆土	①-②-③	①褐色②粗砂粒③普通	断面三角形の罫を巡らせ、円孔を有する。無文。	中期後半

11 区 22 号住居出土土器観察表 (通観: 第 1 分冊 第 101 頁、通物: 第 2 分冊 第 78 頁・P. 36)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①にぶい褐色②砂粒③普通	波状口縁。口縁部隆線による区画。区画内沈線。	中期後半
2	深鉢 体部～底部	覆土	①-②-③ 7.0	①明赤褐色②粗砂粒③普通	3条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位の蛇行沈線。縄文RL。	中期後半

## 出土土器観察表

11区23号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第102頁, 遺物:第2分冊 第79頁・P.136)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①褐色②白色粒③普通	口唇部縦位隆線凸る。口縁部縦位の帯系文。頸部沈線及び隆線より隆線上交互刺突。	中期後半
2	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部凹線による楕円形区画。区画内縄文充填。	中期後半
3	深鉢 体部	覆土	① ②-③-④	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	3条の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
4	深鉢 体部	覆土	① ②-③-④	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	縦位沈線により区画。区画内縄文 RL。	中期後半
5	深鉢 体部	覆土	① ②-③-④	①褐色②細砂粒③良好	隆線上に横手文。	中期後半
6	深鉢 体部	覆土	① ②-③-④	①にぶい黄褐色②雲母③普通	隆線により区画。隆線及び渦巻文あり。	中期後半
7	深鉢 体部	覆土	① ②-③-④	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	隆線により区画。	中期後半
8	深鉢 口縁～体部	覆土	① 20.0 ②-③-④	①にぶい褐色②繊維③普通	円筒形を呈し、縄文 LR。	前期前葉
9	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①灰褐色②繊維③普通	口唇部刻み。口縁部に爪形文による三角形及び弧状施文。円形文有り。10と同一個体。	前期前葉
10	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①にぶい褐色②繊維③普通	口唇部刻み。口縁部に爪形文による三角形及び弧状施文。円形文有り。9と同一個体。	前期前葉
11	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①にぶい黄褐色②繊維③普通	口唇部に爪形文による直線及び渦巻文。円形文。	前期前葉
12	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①にぶい褐色②繊維③普通	口唇部に爪形文2条及び円形文。	前期前葉
13	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①褐色②繊維③普通	弦状口縁。口唇部に刻み隆線3条貼付。その上に瘤状粘土貼付文。口縁部帯系側面圧痕による横手文及び円形文。	前期前葉
14	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①明赤褐色②繊維③普通	弦状口縁。口唇部に刻み隆線貼付。口縁部刻み隆線変形に配し、中心に円形文。隆線上に瘤状粘土貼付文。	前期前葉
15	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①にぶい赤褐色②繊維③普通	平口縁。口唇部3条の刻み隆線巡らせ、繩の閉端の環を横位施文。	前期前葉
16	深鉢 体部	覆土	① ②-③-④	①赤褐色②砂粒③良好	沈線及び縄文施文。	前期後葉
17	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部帯系側面圧痕による横手文。中心及び周辺部に円形文。頸部縦位刻み隆線を2条巡らせ区画。帯状貼付文あり。	前期前葉
18	深鉢 体部	覆土	① ②-③-④	①明褐色②繊維③普通	繩の閉端の環を横位施文。	前期前葉
19	深鉢 体部	覆土	① ②-③-④	①褐色②繊維③普通	直前段合燃り。	前期前葉
20	深鉢 底部	覆土	① ②-③-④ 7.6	①にぶい褐色②砂粒③良好	0段多状。底面縄文施文。	前期前葉
21	深鉢 底部	覆土	① ②-③-④ 8.0	①にぶい黄褐色②繊維③普通	縄文施文。	前期前葉

11区24号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第103-104頁, 遺物:第2分冊 第80-84頁・P.137-139)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	西壁際 +27	① 16.2 ②-③-④	①褐色②角閃石③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内円形刺突。頸部無文。くびれ強い。体部沈線により区画及び文様施文。縄文 RL。	中期後半
2	深鉢 口縁～体部	覆土	① 15.6 ②-③-④	①にぶい赤褐色②砂粒③普通	口縁部沈線による三角形文。頸部から体部にかけて「T」字状に沈線区画。区画内縄文 RL。	中期後半
3	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①灰褐色②砂粒③良好	巾12mm、9本の櫛歯状工具により流水文を描出する。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①にぶい褐色②細かな角閃石③普通	口縁部受け口状を呈する。頸部隆線凸る。	中期後半
5	土製品	覆土	①長:3.4中:8.0	①赤褐色②僅かに炭粒③普通	棒状を呈し端部僅かに屈曲。	中期後半
6	深鉢 口縁～体部	伊内 13	① 37.6 ②-③-④	①明褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縦位沈線。頸部無文帯。体上部3条一對の横位沈線を2段に施文し区画する。区画内は沈線による文様描出。	中期後半
7	深鉢 口縁部	覆土	① ②-③-④	①褐色②砂粒③良好	口縁部縄文 RL を横位施文。頸部無文。体上部横位と渦巻文を沈線で描出する。	中期後半
8	深鉢 口縁部	中央 +34	① ②-③-④	①褐色②細砂粒③良好	口縁部隆線による区画及び横手文。区画内帯系系文充填。頸部無文帯。	中期後半
9	深鉢 口縁～体部	中央 +34	① 50.0 ②-③-④	①灰褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による区画。区画内帯系系文充填。頸部無文帯。体部帯系系文後2条の横位隆線で区画。体部半截竹管状工具を用い、縦位区画内弧状又は渦巻文施文。	中期後半
10	深鉢 口縁～体部	西壁際 +19	① 42.5 ②-③-④	①明赤褐色②砂粒③良好	口縁突起。頸部渦巻文。口縁部隆線により楕円形区画及び渦巻文。頸部無文帯。2条一對の横位隆線と「T」字交わる縦位隆線で区画。	中期後半
11	深鉢 体部	西壁際 +19	① ②-③-④	①明赤褐色②砂粒多③普通	2条一對の縦位隆線により区画。区画内縦位の縦位沈線。縄文 RL。10と同一個体。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
12	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①灰褐色②粗砂粒多③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円区画内は矢羽根状沈線施文。頸部無文帯。	中期後半
13	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①赤褐色②角四石③良好	突起頂部渦巻文。突起外面φ2mm刺突。内面沈線。口縁部隆線による区画及び渦巻文。区画内2列の刺突。	中期後半
14	深鉢 口縁部	P3上 +38	①-②-③	①にぶい褐色②白色粒③良好	口縁部横状把手。頂部渦巻文。隆線による区画。区画内縦位沈線。	中期後半
15	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①赤褐色②角四石③良好	口縁部小突起。口縁部隆線による楕円区画。頸部無文帯。体上部横位及び縦位隆線で区画。	中期後半
16	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①にぶい褐色②粗砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円区画内は矢羽根状に沈線施文。頸部無文帯。	中期後半
17	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①灰褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画。楕円区画内は矢羽根状沈線施文。体部縦位蛇行沈線。縄文LR。	中期後半
18	深鉢 口縁部	覆土	①20.0②③	①暗褐色②細砂粒やや多③普通	口縁部隆線による渦巻文。区画2段に分かれ列点状に刺突する。頸部無文帯。一部沈線による三角形文あり。	中期後半
19	深鉢 口縁部	P12上 +29	①-②-③	①暗褐色②軽石③良好	口縁部突起頂部に渦巻文。口縁部隆線により区画及び渦巻文。区画内矢羽根状沈線。頸部無文帯わず。体部縄文LR。	中期後半
20	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①明赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による区画。区画内は矢羽根状沈線施文。頸部無文帯。横状把手削落。	中期後半
21	深鉢 口縁部	P2 脇上 +28	①-②-③	①暗褐色②細砂粒③良好	口縁部突起頂部。口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縦位沈線。頸部無文。1条の蛇行隆線あり。	中期後半
22	深鉢 口縁部	覆土	①30.0②③	①暗褐色②砂粒多③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文LR。体部3条の縦位隆線で区画。区画内縦位の筋歯状の沈線。縄文LR。	中期後半
23	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①褐色②角四石・白色粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文LR。頸部無文。	中期後半
24	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①にぶい赤褐色②角四石③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文LR。頸部無文帯。	中期後半
25	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①褐色②砂粒③普通	口縁部横位隆線で区画。縄文LR。	中期後半
26	深鉢 体部	中北 +35	①-②-③	①暗褐色②砂粒③良好	頸部無文帯。横位隆線で区画し「T」字に交わる2条一對の縦位隆線で区画。縄文LR。	中期後半
27	深鉢 体部	中北 +0	①-②-③	①暗褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位隆線で区画。隆線間渦巻文。区画内弧状及び渦巻文等を沈線で施文する。	中期後半
28	深鉢 体部	中北 +35	①-②-③	①明赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文LR。	中期後半
29	深鉢 体部	中北 +35	①-②-③	①明赤褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位隆線で区画。隆線間順手文。区画内縦位蛇行隆線あり。縄文LR。	中期後半
30	深鉢 体部～底部	中北 +35	①②③ 13.6	①明赤褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位隆線で区画。区画内縦位蛇行隆線。縄文LR。	中期後半
31	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①にぶい赤褐色②白色粒③普通	頸部無文。体部横位隆線2条隆線寄せ「T」字に2条一對の縦位隆線。縄文LR。	中期後半
32	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①にぶい褐色②砂粒③普通	縦位隆線で区画。縄文施文後隆線貼付。縦位蛇行沈線施文。	中期後半
33	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①褐色②角四石・砂粒やや多③普通	頸部無文帯。横位隆線と縦位隆線施文。縦位隆線で区画。区画内縦位沈線施文。	中期後半
34	深鉢 体部	伊豆辺 +37	①-②-③	①にぶい褐色②砂粒③良好	縦位沈線による区画。縄文LR。	中期後半
35	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①にぶい赤褐色②細砂粒③普通	口縁部隆線で区画。頸部わずかに無文帯。体部境3条一對の横位沈線で区画。	中期後半
36	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①明赤褐色②砂粒やや多③普通	3条の弧状沈線。縄文LR。	中期後半
37	深鉢 体部	中北 +35	①-②-③	①明黄褐色②砂粒③普通	弧状隆線で区画。横状沈線と縄文LRに分かれる。	中期後半
38	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	隆線による区画。区画内沈線施文。	中期後半
39	浅鉢 体部	覆土	①-②-③	①にぶい赤褐色②霰砂粒③普通	3条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文LR。	中期後半
40	深鉢 体部	伊豆辺 +37	①-②-③	①褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
41	深鉢 底部	P2上 +29	①②③ 7.0	①赤褐色②角四石③良好	縦位沈線で区画。区画内沈線による縦紋文。	中期後半
42	深鉢 体部～底部	覆土	①②③ 8.0	①にぶい褐色②細砂粒③良好	2条一對の縦位隆線で区画。縄文LR。	中期後半
43	深鉢 体部～底部	覆土	①②③ 7.8	①にぶい褐色②砂粒③良好	沈線施文。	中期後半
44	深鉢 底部	P2・P10 脇+33	①②③ 12.2	①明褐色②角四石③普通	縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
45	深鉢 体部～底部	覆土	①②③ 6.2	①赤褐色②砂粒③普通	うっすらと縦位隆線見られる。	中期後半
46	深鉢 底部	覆土	①②③ 13.0	①にぶい赤褐色②粗砂粒③良好	縦位隆線で区画。	中期後半
47	深鉢 体部～底部	覆土	①②③ 8.4	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
48	深鉢 浅鉢 口縁～底部	覆土 中内 10	①-②-③-④ ① 33.0 ② 17.3 ③ 10.6	①にぶい褐色②微砂粒③良好	縦位隆線で4単位に区画。沈線による楕円形区画。区画内縦杉状沈線。	中期後半
49	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①にぶい褐色②細砂粒③良好	無文。	中期後半
50	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①明赤褐色②粗砂粒③良好	口唇舌状突起。内面沈線による渦卷文。	中期後半
51	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①明赤褐色②粗砂粒③良好	無文。口唇部舌状突起。内面沈線区画。区画内φ5mmの円形刺突。	中期後半
52	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①にぶい褐色②角閃石③良好	頸部刻み隆線巡らせ、肩部縦位沈線による渦卷文。	中期後半
53	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①明赤褐色②粗砂粒③良好	頸部刻み隆線巡らせ、肩部縦位沈線。	中期後半
54	浅鉢 口縁部～底部	覆土	①-②-③-④ 8.4	①赤褐色②粗砂粒③良好	無文。	中期後半
55	浅鉢 口縁部～底部	覆土	①-②-③-④ 8.0	①黒褐色②微砂粒③良好	無文。	中期後半
56	高台 口縁部～底部	覆土	① 15.6 ② ③-	①にぶい褐色②軽石③普通	φ3cmの円孔。無文。	中期後半

11区25号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第105頁, 遺物:第2分冊 第85頁・P.L.39-40)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部～底部	北壁 +5	①-②-③-④	①暗褐色②粗砂粒③良好	口縁環状突起。縁辺部刻み。口縁部隆線による区画。区画内刻み状沈線。体部境3条横位沈線巡る。2と同一個体。	中期後半
2	深鉢 口縁部～底部	北壁 +5	①-②-③-④	①にぶい赤褐色②粗砂粒③良好	口縁部隆線による区画。区画内刻み状沈線。頸部無文帯。体部境3条横位沈線巡る。1と同一個体。	中期後半
3	深鉢 口縁部～底部	中内 +0	① 25.8 ② ③-	①にぶい褐色②角閃石③良好	口縁部隆線による区画及び渦卷文。波状の横位隆線。区画内縦位沈線。体部縦位の条線。	中期後半
4	深鉢 口縁部～底部	中内 +0	①-②-③-④ 7.6	①明褐色②粗砂粒③良好	縦位の条線。縦位蛇行沈線。5と同一個体。	中期後半
5	深鉢 口縁部～底部	覆土	①-②-③-④	①暗褐色②砂粒③普通	波状口縁。口縁部隆線による区画及び渦卷文。頸部無文。	中期後半
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①暗褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による区画と渦卷文。区画内斜位沈線。頸部無文。	中期後半
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①赤褐色②砂粒③良好	燃赤文施文後。体部4条の横位沈線及び裾歯状の横位沈線巡る。	中期後半
8	深鉢 口縁部	中上層 +20	①-②-③-④	①褐色②砂粒③良好	区画内燃赤文施文後、2段に区画。横位ならびに波状沈線巡る。	中期後半
9	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
10	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①赤褐色②砂粒③良好	燃赤文施文後。縦位沈線。	中期後半
11	深鉢 口縁部～底部	±0	①-②-③-④ 7.6	①明赤褐色②粗砂粒③良好	縦位沈線により区画。	中期後半
12	深鉢 口縁部	中・覆土	①-②-③-④	①にぶい赤褐色②粗砂多③良好	縦位の沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
13	浅鉢 口縁部～底部	中上層 +20	① 48.0 ② ③-	①明赤褐色②砂粒多③良好	無文。	中期後半
14	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①明赤褐色②砂粒③良好	肩部刻み隆線で区画及び渦卷文。区画内沈線による渦卷文。	中期後半

11区26号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第106頁, 遺物:第2分冊 第86頁・P.L.40)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①赤褐色②細砂粒③普通	無文。	中期後半
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①明褐色②砂粒③良好	口唇部隆線巡る。口縁部沈線より、沈線間交互刺突。	中期後半
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①にぶい褐色②粗砂粒③普通	隆線による楕円形区画。区画内縄文 LR。	中期後半

11区27号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第107頁, 遺物:第2分冊 第87頁・P.L.40)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①にぶい褐色②角閃石③普通	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文 LR。頸部無文。体部縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①明赤褐色②雲母・角閃石・軽石③良好	口縁部内植。2段の連続刺突巡る。2条の縦位隆線で区画。縄文 RL。	中期後半
3	深鉢 口縁部	南西 +1	①-②-③-④	①暗灰色②細砂粒やや多③普通	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縦位短沈線。頸部無文帯。3条の横位沈線で区画し、区画内沈線で無文。縄文 LR。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②角四石・ 軽石③普通	口縁部隆線による区画。区内無文。頸部無文。境線隆線巡る。	中期後半
5	深鉢 口縁-体部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②角四石・ 軽石③普通	口縁部隆帯による区画。区内内開文LR。頸部無文帯。体部縄文LR。	中期後半
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②角四石 ③良好	波状口縁。隆線による楕円形区画及び渦巻文。区内内開文L線。	中期後半
7	浅鉢 体部	覆土	①-②-③-	①灰褐色②砂粒③良好	隆帯による区画。区内内開文LR。	中期後半
8	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 10.6	①にぶい赤褐色②砂粒 ③普通	縦文沈線で区画。区内内開文LR。	中期後半
9	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②角四石・ 軽石③良好	肩部隆線による楕円形区画。区内内開文LR。	中期後半
10	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①灰褐色②細砂粒や砂 多③普通	無文。口縁部断面三角形。	中期後半
11	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半

11区28号住居出土土器観察表(通稱:第1分冊 第108図、通称:第2分冊 第88図・P.L41)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②繊維③普通	波状口縁。渦巻状の器系側面圧痕。手載竹管状工具による円形文。	前期前葉
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②繊維③普通	波状口縁。渦巻状の器系側面圧痕。手載竹管状工具による円形文。体部縄文。	前期前葉
3	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維 ③良好	器面摩耗。波状口縁。口縁部器系圧痕を渦巻状施文。瘤状貼付文あり。	前期前葉
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維③普通	波状口縁。口縁部刻み隆線に円形文及び瘤状貼付文。器系側面圧痕による渦巻文。	前期前葉
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	波状口縁。口縁部刻み隆線により区画。区内内円形文。	前期前葉
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②繊維③普通	波状口縁。口唇部刻み隆線。口縁部器系側面圧痕及び円形文施文。	前期前葉
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維 ③普通	波状口縁。口縁部刻み隆線。瘤状貼付文。	前期前葉
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	波状口縁。口唇部刻み隆線。口縁部刻み隆線で区画。	前期前葉
9	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維 ③普通	刻み隆線による区画。区内内手載竹管状工具による円形文。	前期前葉
10	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	波状口縁。口唇部3条の刻み隆線。口縁部刻み隆線による方形区画。区内内8個の円形文。	前期前葉
11	深鉢 口縁部	が内 +2	①-②-③-	①暗褐色②繊維③普通	頸部横位の刻み隆線3条巡らせ、瘤状貼付文。	前期前葉
12	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①黒褐色②繊維③普通	刻み隆線で区画し、器系側面圧痕施文後、円形文及び瘤状貼付文。	前期前葉
13	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維③普通	口縁部器系側面圧痕。頸部に2条の刻み隆線巡らせ、下に縄の閉端の環。	前期前葉
14	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②微砂粒③良好	口縁部器系側面圧痕と刻み隆線で区画。瘤状貼付文。	前期前葉
15	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維 ③普通	波状口縁。口唇部に横位2条の爪形文。	前期前葉
16	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	手載竹管状工具による円形文・コンパス文・渦巻文。	前期前葉
17	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	口縁部手載竹管による爪形文。	前期前葉
18	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	手載竹管の爪形文による獣手文。	前期前葉
19	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明黄褐色②繊維③良 好	手載竹管を連続刺突し多状で区画する。区内内に円形文あり。	前期前葉
20	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維 ③普通	波状口縁。組紐。	前期前葉
21	深鉢 口縁-体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	波状口縁。口縁部は縄の閉端の環を多段施文。	前期前葉
22	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①灰黄褐色②繊維③良 好	平口縁。縄文充填。	前期前葉
23	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①黒色②繊維③普通	平口縁。組紐。	前期前葉
24	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維 ③普通	口縁部、横位多段の爪形文。	前期前葉
25	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②繊維③良好	附加状縄文。	前期前葉
26	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	羽状縄文施文後、手載竹管による副筒文。	前期前葉

## 出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
27	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①明黄褐色②繊維③良好	平裁竹管状工具による規整形文様。襷の閉端の環施文。	前期前葉
28	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③普通	平裁竹管による規整形及び弧状施文。	前期前葉
29	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②繊維③普通	直前段合襷施文。	前期前葉
30	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②繊維③普通	横位Rを羽状施文。φ6mm円孔あり。	前期前葉
31	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②繊維③良好	襷文組紐。	前期前葉
32	深鉢 底部	北東隅+5	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	襷の閉端の環多段に施文し、0段多条を羽状施文。	前期前葉
33	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	襷の閉端の環多段に施文。	前期前葉
34	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維③良好	襷の閉端の環を横位施文。	前期前葉
35	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維③良好	襷の閉端の環を横位施文。	前期前葉
36	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	0段多条を羽状施文。	前期前葉
37	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	平行沈線による横位及び縦面状施文。襷文組紐。	前期前葉
38	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 10.0	①にぶい黄褐色②繊維③普通	底面襷文圧痕。	前期前葉
39	深鉢 底部	河溝+5	①-②-③- 8.0	①明褐色②繊維③普通	瘤状貼付文を付けた3条の刻み隆線を横位に巡らせる。	前期前葉
40	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 6.6	①赤褐色②繊維③良好	襷文施文。	前期前葉
41	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 8.0	①褐色②繊維③普通	底面上げ底。襷文施文。	前期前葉
42	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維③普通	器面摩耗。襷文施文。	前期前葉
43	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	器面摩耗。	前期前葉

11区29号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第109頁、遺物:第2分冊 第89頁・P.141)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③普通	虎頭部双頭の波状口縁。口唇部刻み隆線。隆線上に瘤状貼付文。口縁部刻み隆線で鏡手文等描出。器内側面圧痕及び凹形文あり。	前期前葉
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	虎頭部双頭の波状口縁。口唇部刻み隆線。隆線上に瘤状貼付文。器内側面圧痕及び凹形文あり。	前期前葉
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③普通	波状口縁。口唇部刻み隆線。隆線上に瘤状貼付文。口縁部刻み隆線で文様等描出。凹形文あり。	前期前葉
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③普通	口唇部刻み隆線。器内側面圧痕を用いて鏡手状に施文する。器部の区画として横位刻み隆線2条巡らせる。	前期前葉
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維③普通	器内側面圧痕による鏡手状と凹形文。	前期前葉
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③普通	波状口縁。3条の凹形文を巡らせる。器内側面圧痕。	前期前葉
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	2条の凹形文を鏡手状に施文する。中央に凹形文。	前期前葉
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	2条の凹形文を鏡手状に施文する。中央に凹形文。	前期前葉
9	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③普通	羽状施文。	前期前葉
10	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③普通	横位の刻み隆線2条巡らせる。隆線上に瘤状貼付文。器内側面圧痕。	前期前葉
11	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維③普通	横位の刻み隆線3条巡らせる。	前期前葉
12	深鉢 体~底部	覆土	①-②-③- 12.0	①褐色②繊維③普通	側面環付か。底面襷文圧痕。	前期前葉

11区30号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第110頁、遺物:第2分冊 第90頁・P.142)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁~底部	砂土器	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	口唇部焼熱により脆い。口縁部隆線による区画及び渦巻文。器部3条の縦位沈線により4単位に大きく区画し、1単位狭い区画あり4~5単位相当となる。区画内縦位蛇行沈線。襷文R。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にふい赤褐色②角閃石・軽石粒③良好	口縁部隆線による橋形区画及び渦巻文。区内内縄文RL。頸部無文。	中期後半
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にふい褐色②細砂粒③良好	口縁部隆線による区画。区内内縄文RL。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にふい赤褐色②細砂粒③普通	口縁部2条の斜状線施文あり。頸部3条の横位沈線あり。体部沈線により文様描出。	中期後半
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	口縁環状突起。φ12mmの円孔。隆帯による文様描出。	中期後半
6	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にふい赤褐色②角閃石・軽石粒③普通	頸部無文帯。体部2条の横位隆線で区画。縦位縦位の隆線及び縦位の隆線あり。縄文RL。	中期後半
7	深鉢 体部	炉内+11	①-②-③-	①明赤褐色②角閃石・軽石粒③普通	頸部無文帯。2条の横位隆線で区画。体部縦位の縦位の隆線及び縦位の隆線あり。縄文RL。	中期後半
8	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②角閃石・軽石粒③普通	体部縦位の隆線で区画。区内縦位の縦位の隆線及び縦位の隆線あり。縄文RL。	中期後半
9	深鉢 体部	炉内+13	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	2条の隆線回り、「T」字状に隆線2条垂下し体部を区画する。さらに区内内沈線により区画。	中期後半
10	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にふい褐色②白色粒③良好	3条一対の沈線で区画。縄文RL。	中期後半

11区31号住居出土土器観察表 (通観:第1分冊 第111頁, 通物:第2分冊 第91頁・P.L42)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	口唇部切み隆線。口縁部器系側面圧痕と円形文。体部縄の閉端の環を横位施文。	前期前葉

11区32号住居出土土器観察表 (通観:第1分冊 第112-113頁, 通物:第2分冊 第92-93頁・P.L42-44)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にふい黄褐色②繊維③普通	平口縁。口唇部及び体部境に2条の切み隆線有り。瘤状貼付文配置。口縁部器系側面圧痕を縦手に施文。中央と交差部に円形文。	前期前葉
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	口唇部2条の切み隆線有り。口縁部器系側面圧痕を施文。円形文あり。	前期前葉
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にふい褐色②繊維③普通	口縁部器系側面圧痕を縦手に施文。円形文短沈線による羽状施文。円形文あり。	前期前葉
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	波状口縁。口縁部器系側面圧痕により施文。円形文あり。	前期前葉
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②繊維③普通	器系側面圧痕施文。短沈線による羽状施文及び円形文あり。体部境は横位連続切み。	前期前葉
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	口縁部器系側面圧痕により器系施文。中央及び交点に円形文あり。	前期前葉
7	深鉢 口縁部～体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	器系側面圧痕に瘤状貼付文。体部境、切み隆線。体部縄の閉端の環。	前期前葉
8	深鉢 口縁部～体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	口縁部器系側面圧痕に円形文施文。体部境、3段の切み隆線。体部縄の閉端の環。	前期前葉
9	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	口縁部粘状貼付文を持つ。切み隆線を縦手に施文。中心に円形文。体部との境に横位切み隆線。	前期前葉
10	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にふい赤褐色②繊維③良好	波状口縁。口縁部切み隆線で施文。体部と区内に横位隆線3条の切み。円形文あり。	前期前葉
11	深鉢 口縁部	P2 脇1	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	波状口縁器系側面圧痕による縦手文。口唇部切み隆線。口縁部切み隆線と円形文で施文。	前期前葉
12	深鉢 口縁部～体部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維③良好	波状口縁。口唇部切み隆線。口縁部内切み隆線で施文。瘤状貼付文・円形文あり。体部縄の閉端の環。	前期前葉
13	深鉢 口縁部～体部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維・白色粒③普通	波状口縁。口唇部切み隆線。口縁部内切み隆線で施文。瘤状貼付文・円形文あり。体部縄の閉端の環。	前期前葉
14	深鉢 口縁部～体部	覆土	①-②-③-	①にふい褐色②繊維③普通	体部との境、横位2条の切み隆線で区画。体部縄の閉端の環で施文。	前期前葉
15	深鉢 体部	南塚際2	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	体部境、横位切み隆線で区画。体部縄文施文。	前期前葉
16	深鉢 口縁部～体部	炉内2	① 20.0 ②-③-	①にふい褐色②繊維③良好	平口縁。口縁部文様帯巾3cmと狭い。横位6段に切み隆線回り、体部縄の閉端の環を横位施文。瘤状貼付文及び円形文配置。	前期前葉
17	深鉢 口縁部～体部	南塚際2	① 18.6 ②-③-	①褐色②繊維③良好	平口縁。口縁部文様帯巾3cmと狭い。横位6段に切み隆線回り、瘤状貼付文及び円形文配置。体部縄の閉端の環を横位施文。	前期前葉
18	深鉢 口縁部～体部	南2	① 23.2 ②-③-	①にふい黄褐色②繊維③普通	4単位の波状口縁。全面縄の閉端の環により横位施文。	前期前葉
19	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維③良好	横位のコンパス文。横位多段に縄の閉端の環施文。	前期前葉
20	深鉢 体部	伊北+6	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	横位多段に縄の閉端の環を施文。	前期前葉
21	深鉢 体部	伊北+6	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	横位多段に縄の閉端の環を施文。	前期前葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
22	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維 ③良好	横位多段に縄の閉端の環を施文。	前期前葉
23	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	横位多段に縄の閉端の環を施文。	前期前葉
24	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維③普通	2条の爪形文を口唇部及び底部に施文。口縁部は同一工具による変形文で交点に凹形文施文。	前期前葉
25	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	幅広い爪形文で文様描出。交点に凹形文。	前期前葉
26	深鉢 口縁～底部	覆土	① 24.0 ②- ③-	①明褐色②繊維③良好	4単位の波状口縁。口縁部爪形文による変形配置。交点部分に瘤状貼付文。底部は縄の閉端の環を多段に施文。	前期前葉
27	深鉢 底部	中内 +13	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	縄の閉端の環を横位に多段に全面施文。	前期前葉
28	深鉢 底部	南垣際 2	①-②-③-	①明褐色②繊維③普通	無文帯を夾み上下に横位縄の閉端の環を多段に施文。下位にコンパス文あり。	前期前葉
29	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②繊維③普通	横位に縄の閉端の環を多段に施文。無文帯寄りコンパス文あり。	前期前葉
30	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③ 良好	横位多段に縄の閉端の環を施文。	前期前葉
31	深鉢 底部	北西隅 +13	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	横位多段に縄の閉端の環を施文。	前期前葉
32	深鉢 口縁～底部	中内 2	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	4単位の波状口縁。縄文羽状施文。変形配置。	前期前葉
33	深鉢 口縁部	P1 幅 +10	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③ 良好	口縁部縄の閉端の環を横位施文。	前期前葉
34	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②繊維③普通	口縁部無文。底部縄の閉端の環、交互横位施文。	前期前葉
35	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②繊維 ③良好	0段多段の羽状縄文。	前期前葉
36	深鉢 口縁部	中北 +6	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	口縁部縄の閉端の環を横位施文。	前期前葉
37	深鉢 口縁部	北西隅 +13	① 10.0 ②- ③-	①褐色②繊維③普通	波状口縁。横位羽状施文。	前期前葉
38	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	横位多段に縄の閉端の環を施文。	前期前葉
39	深鉢 底部	南垣際 2	①-②-③-	①明褐色②繊維③良好	0段多段の羽状縄文。	前期前葉
40	深鉢 底部	北西隅 +13	①-②-③-	①褐色②繊維・白色粒 ③普通	横位多段に縄の閉端の環を施文。	前期前葉
41	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	波状口縁。横位羽状施文。	前期前葉
42	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	縄の閉端の環横位施文。	前期前葉
43	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③ 普通	縄文 RL。	前期前葉
44	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③ 普通	横位多段に縄の閉端の環を施文。	前期前葉
45	深鉢 底部	南垣際 2	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③ 普通	縄文施文帯と無文帯に分かれる。	前期前葉
46	深鉢 底部～底部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	縄の閉端の環横位施文。	前期前葉
47	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	結節縄文。底面縄文施文。	前期前葉

11 K 33 号住居出土土器観察表 (通巻: 第1分冊 第114頁, 通巻: 第2分冊 第94頁・P.1.44)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～底部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒・白 色粒多③良好	波状口縁。口唇部約 4mm 爪形文 2 条を巡らせる。口縁部 4 条一對の 沈線により横位波状文を交互に描き木葉文を描出する。この木葉文を 多段に施文し、交互に φ 8mm の凹形押圧痕を縦位に施文する。	前期後半
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②角四石・軽 石粒③普通	口縁部に 2 条の爪形文を巡らせ、4 条の沈線施文。	前期後半
3	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②角四石・軽 石粒③普通	4 条一對の沈線による木葉文と木葉文先端に凹形刺突文を施文。	前期後半
4	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②砂・白色粒 多③良好	4 条一對の沈線による木葉文と木葉文先端に凹形押圧文を施文。	前期後半
5	深鉢 口縁～底部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒 多③普通	φ 12mm の凹形刺突文を縦位の直線で施文。地文の縄文摩耗。	前期後半
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②角四 石・白色粒③普通	波状口縁。口唇部屈面に巾 3mm の爪形文を 3 段巡らせる。底部縄文 RL。	前期後半
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②粗砂 粒③普通	波状口縁。口唇部に巾 3mm の爪形文を 3 条施文する。縄文 RL。	前期後半



番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②白色 粒③普通	口唇部とやや巾を持ち横位の爪形文巡る。爪形文の間に沈線による縦 面文施文。	前期後半
9	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②白色粒 ③普通	巾 4mm の横位 2 条の爪形文施文。	前期後半
10	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②細砂 粒③普通	口唇部直下に爪形文。口縁部爪形文で区画。区画内無文と縄文。	前期後半
11	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①黒褐色②砂粒③良好	横位 2 条の爪形文巡る。縄文薄く磨り消し。	前期後半
12	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②細砂粒③良 好	波状口縁。2 条の爪形文巡る。	前期後半
13	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③普 通	4 条の横位爪形文巡る。5 条一對の櫛歯状工具による連続刻突を巡ら せる。	前期後半
14	深鉢 口縁～体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	巾 5mm の横位爪形文で区画。口縁部爪形文。体部羽状縄文。	前期前半
15	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③ 普通	横位の細かな条線巡る。	前期後半
16	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③ 普通	横位の細かな条線巡る。	前期後半
17	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②角閃石・ 軽石粒③普通	浅い縄文 LR	前期後半
18	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②角閃石・ 軽石粒③普通	縄文 LR 充填。	前期後半
19	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②角閃石③良 好	縄文 LR 充填。	前期後半
20	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②角閃石③良 好	器表面摩耗。縄文施文。	前期後半
21	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②角閃石・ 軽石粒③普通	器面施文。	前期後半
22	深鉢 体部～底部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③ 普通	器面摩耗。縄文施文。	前期後半
23	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②角閃石③良 好	縄文 LR。	前期後半
24	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	初め隆線を 3 段で頸部を区画する。体部縄の閉端の環を横位に施文す る。口縁部器面側面圧痕等の文様充填。	前期前半

11 区 35 号住居出土土器観察表 (通観：第 1 分冊 第 116 頁、通観：第 2 分冊 第 95 頁・P. 45)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	口唇部刻み隆線 2 条巡る。口縁部器面側面圧痕。円形文施文。	前期前半
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	平口縁。縄文 LR。	前期前半
3	深鉢 体部	P1 脇 +15	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	縄の閉端の環を横位に交互方向に施文する。	前期前半
4	深鉢 体部	南壁 +2	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維 ③良好	縄の閉端の環を横位に交互方向に施文する。	前期前半
5	深鉢 体部～底部	南壁 +2	①-②-③ 5.7	①褐色②繊維③普通	不規則な破手状に器面側面圧痕施文する。	前期前半
6	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 9.0	①にぶい褐色②繊維③ 良好	縄文 LR。底面上げ底。	前期前半
7	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 9.5	①褐色②繊維③良好	縄文 LR。底面にも縄文施文。	前期前半

11 区 36 号住居出土土器観察表 (通観：第 1 分冊 第 117-118 頁、通観：第 2 分冊 第 96 頁・P. 45)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	浅鉢 口縁部	東 +23	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	口唇部無文。横位隆線により区画。隆線内縄文 LR 充填。	中期後半
2	深鉢 体部	P1 南 +11	①-②-③-	①褐色②粗砂粒③良好	楕状把手。縄文 LR。	中期後半
3	深鉢 体部	P5 脇 +23	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒 ③普通	沈線による楕円又は木葉状区画。区画内縄文充填。	中期後半
4	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒 ③良好	隆線による区画。区画内縄文 LR。	中期後半
5	深鉢 底部	東壁 +19	①-②-③ 7.8	①淡黄色②細砂粒③普 通	無文。	中期後半

## 出土土器観察表

I 区 37 号住居出土土器観察表 (通帳: 第 1 分冊 第 119 ~ 121 頁, 遺物: 第 2 分冊 第 97 ~ 100 頁・P.L 45 ~ 47)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	1 埋土 ± 0	① 16.4 ② ⑤-	①褐色②砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文 5 単位に配置。区画内矢羽根状沈線。体部縦位 2 条の沈線で 5 単位に区画する。区画内縦位刷毛状沈線充填。	中期後半
2	深鉢 口縁～体部	南 +1	①-②-③-	①浅黄褐色②白色粒③普通	器面摩耗。口縁部隆線による区画。区画内縄文充填。体部隆線による楕円形区画。区画内縄文充填。	中期後半
3	深鉢 口縁～体部	伊北 +3	①-②-③-	①淡黄色②砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。体部縦位に中広の沈線で無文帯と縄文施文帯とに区画する。縄文 RL。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①浅黄褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縦位蛇行沈線。	中期後半
5	深鉢 口縁～体部	伊東 +9	①-②-③-	①浅黄褐色②砂粒③普通	口縁部隆線により楕円形区画。区画内縄文 RL。体部縦位中広の沈線で無文帯と縄文施文帯に区画。縄文 RL。	中期後半
6	深鉢 口縁部	中央 +6	①-②-③-	①淡黄色②砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
7	深鉢 口縁部	南西 +16	①-②-③-	①褐色②細砂粒やや多 ③普通	1号埋土層より出土。口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縦位沈線。頸部無文帯。体部に横位に横位沈線で区画。	中期後半
8	深鉢 口縁部	東 +14	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	口縁部隆線により楕円形区画。隆線にφ12mmの円形押圧痕。楕円形区画内は縄文 RL。	中期後半
9	深鉢 口縁部	北 +11	①-②-③-	①灰白色②雲母・角閃石③普通	器面摩耗。口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
10	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	隆線により区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。	中期後半
11	深鉢 体部	掘方北 +8	①-②-③-	①明赤褐色②角閃石・輝石粒③良好	頸部横位の条線一条で区画。体部縄文 RL。	中期後半
12	深鉢 口縁～体部	南 +15	①-②-③-	①にぶい黄褐色②粗砂粒③普通	口縁部無文。横位隆線で区画。体部縦位沈線で無文帯と縄文施文帯に区画。縄文 RL。	中期後半
13	深鉢 体部	北 +23	①-②-③-	①灰黄色②砂粒③良好	縦位沈線により区画。縄文 RL。	中期後半
14	深鉢 体部	北 +8	①-②-③-	①浅黄褐色②砂粒③普通	体部縦位 2 条一対の沈線で区画。区画内縄文 RL。	中期後半
15	深鉢 体部	西 +11	①-②-③-	①にぶい褐色②白色粒多 ③普通	縦位 2 条一対の隆線で区画。区画内縄文 RL。	中期後半
16	深鉢 体部	南西 +15	①-②-③-	①明赤褐色②白色粒③良好	頸部無文帯。体部頤に横位 2 条の隆帯を巡らせ区画。体部縦位隆帯で区画。区画内縦位の羽状隆線。	中期後半
17	深鉢 体部	2 埋土 +12	①-②-③-	①にぶい赤褐色②白色粒やや多 ③良好	縦位の 2 条一対の沈線で 9 単位に区画。区画内縄文 LR。上部被熱により変色。胎土部か?	中期後半
18	山打直 体部	南 5	①-②-③-	①淡黄色②砂粒③普通	口縁部無文。体部隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。楕状把手。体部下半部輪状工具による細かな条線。	中期後半
19	深鉢 口縁～体部	東 +6	①-②-③-	①浅黄褐色②砂粒③良好	口縁部無文。隆線により区画。肩部楕状把手欠落。	中期後半
20	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①灰黄褐色②細砂粒③良好	口縁部無文。体部縄文 RL。	中期後半
21	深鉢 口縁部	西 +10	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	波状口縁。沈線による「U」字状区画。区画内磨消縄文。縄文 RL。	中期後半
22	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	小波状口縁。沈線による「U」字状区画。区画内磨消縄文。縄文 RL。	中期後半
23	深鉢 口縁部	東 +7	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒③良好	口縁部無文。横位の中広沈線で区画。体部沈線による楕円形区画と刷毛文。区画内縄文 LR。	中期後半
24	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①灰褐色②砂粒③普通	体部沈線により区画。縄文 RL。	中期後半
25	深鉢 口縁部	伊東 +10	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒③普通	沈線による縦位の「U」字状区画。縄文 LR。	中期後半
26	深鉢 口縁部	東南 +11	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒③良好	口唇部横位の 2 条沈線部。沈線間文互衝突。体部弧状沈線。地文は樹皮状工具による細かな縦位条線。	中期後半
27	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	隆帯剥離。隆線による楕円形区画。区画内縄文 LR。	中期後半
28	深鉢 口縁部	P10 南 +4	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	口縁部横位隆線巡らせ区画。体部沈線による U 形の無文帯。縄文 RL。	中期後半
29	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①灰黄褐色②細砂粒③普通	隆線により区画。区画内縄文 RL。楕状把手欠落。	中期後半
30	深鉢 口縁部	北 +11	①-②-③-	①浅黄褐色②細砂粒③普通	口縁部凹線部。隆線による区画。区画内縄文 RL。	中期後半
31	深鉢 口縁部	伊 +5	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	縦位に器面全体に細かな条線。	中期後半
32	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	波状口縁。隆線による区画。区画内縄文 LR。	中期後半
33	浅鉢 体部	西 +2	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒③良好	隆線により区画。体部沈線による楕円形区画。楕状把手。	中期後半
34	深鉢 体部	伊西脇 +3	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒③良好	体部沈線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
35	深鉢 体部	伊南 -2	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	2 条一対の沈線により区画。区画内縄文 RL。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
36	深鉢 底部	北 +9	①-②-③-	①褐色②角四石③良好	縦位沈線で区画。	中期後半
37	深鉢 底部	北西 +1	①-②-③-	①にふい褐色②砂粒多 ③良好	横位及び弧状隆線で区画。区画内放射状沈線。	中期後半
38	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にふい褐色②砂粒③ 良好	隆線による渦巻文。	中期後半
39	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①浅黄色②角四石・軽 石③良好	口縁部沈線による区画。区画内櫛歯状工具による斜位の短沈線。40 と同一個体と思われる。	後期前半
40	深鉢 底部	1埋裏 +13	①-②-③-	①浅黄色②角四石・軽 石③良好	口縁部沈線による区画。区画内櫛歯状工具による斜位の短沈線施文。39 と同一個体と思われる。	後期前半
41	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にふい黄褐色②砂粒 ③良好	口縁部横位沈線で区画。	後期前半
42	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①淡黄色②細砂粒③良 好	沈線による区画。区画内縦位列点。	後期前半
43	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①灰黄色②砂粒③良好	横位沈線で区画。弧状及び扇手状に沈線で描出。	後期前半
44	深鉢 底部	西 +11	①-②-③-	①にふい褐色②砂粒③ 良好	沈線による三角形区画。	後期前半
45	深鉢 底部	西 +22	①-②-③-	①浅黄褐色②砂粒③良 好	縦位沈線による区画。区画内縦位蛇行沈線と縦渦状刺突。	後期前半
46	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にふい黄褐色②砂粒 やや多③良好	縦位2条沈線あり。	中期後半
47	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 8.4	①にふい黄褐色②砂粒 ③良好	無文。	後期前半
48	深鉢 底部	西 +12	①-②-③ 5.2	①にふい黄褐色②砂粒 ③-破片	無文。外面高温焼熱により亀裂と発泡。	後期前半
49	深鉢 底部	伊南 7	①-②-③ 10.2	①にふい黄褐色②白色 粒③普通	縦位条線あり。	後期前半
50	ミニチュア 土器	西 4	①-②-③ 1.7	①にふい黄褐色②細砂 粒③普通	丸底を呈し縦位沈線で区画。縄文 RL。	後期前半
51	深鉢 底部	北 +5	①-②-③-	①明赤褐色②角四石③ 良好	底面長方形形状を呈し、両側に粘土貼付。両側面沈線による菱形区画。	後期前半
52	土製品	覆土	長:3.9 巾:2.4	①にふい黄褐色②細砂 粒③普通	魚又は蛇の頭、頭球状に2個の刺突。	後期前半

11区 38号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第122頁, 通計:第2分冊 第101頁・P.L.47)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	伊中 25	①-②-③-	①浅黄褐色②砂粒③普 通	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。体部2条の縦位沈線で 区画。縄文 RL。	中期後半
2	深鉢 底部	伊中 25	①-②-③-	①浅黄褐色②砂粒③普 通	器面摩耗。体部2条の縦位沈線で区画。縄文 RL。下半櫛歯状工具による 縦位条線。	中期後半
3	深鉢 口縁部	伊中 25	①-②-③-	①浅黄色②砂粒③普 通	口縁部隆線による渦巻文。体部2条の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇 行沈線。1・2と同一個体と考えられる。	中期後半
4	深鉢 口縁部～体部	P8 西 +8	①-②-③-	①灰黄色②細砂粒③良 好	口縁部隆線による区画。体部2条一対の縦位沈線で区画。区画内縄文 RL。	中期後半
5	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②黄色粒③普 通	器面摩耗。体部縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
6	深鉢 底部	P1 内 +1	①-②-③-	①褐色②茶色粒③普 通	器面摩耗。体部縦位沈線で区画。	中期後半

11区 39号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第123頁, 通計:第2分冊 第102頁・P.L.47)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	2号埋裏	①-②-③-	①にふい褐色②砂粒③ 良好	2条の内弧状隆線で区画。区画内縄文 RL。2・3と同一個体。	中期後半
2	深鉢 口縁部	2号埋裏	①-②-③-	①にふい黄褐色②砂粒 ③良好	流状口縁。隆線により区画。隆線上縄文。1・3と同一個体。	中期後半
3	深鉢 口縁部	2号埋裏	①-②-③-	①浅黄褐色②砂粒③普 通	流状口縁。隆線により区画。一部隆線上に縄文。区画内縄文 RL。1・ 2と同一個体。	中期後半
4	深鉢 口縁部～体部	1号埋裏 ③ 32.2 ②- ③-	①淡黄色②砂粒③良 好	口縁部隆線により楕円形及び流状区画。区画内縄文 RL。体部縦位沈 線で区画。縄文帯と無文帯交互に均等割付。	中期後半	
5	深鉢 底部	2号埋裏	①-②-③-	①にふい黄褐色②細砂 粒③良好	隆線により円形及び矩形に区画。区画内縄文 RL。	中期後半
6	深鉢 底部	2号埋裏	①-②-③-	①淡黄色②砂粒③良 好	隆線により縦位及び渦巻文描出。区画内縄文 RL。	中期後半
7	深鉢 底部～底部	3号埋裏	①-②-③ 7.7	①浅黄色②砂粒③良 好	体部縦位沈線により区画。区画内縄文 RL。下半無文。	中期後半
8	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にふい褐色②砂粒③ 良好	櫛歯状工具による沈線施文。	中期後半
9	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①灰黄色②微砂粒③普 通	2状の連続刺突。体部多状の横位沈線施文。	中期後半

## 出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
10	深鉢 底部	覆土	① 39.8 ② 9.0	① 灰褐色② 微砂粒③ 普通	体部多条の横位沈線施文。	中期後半
11	深鉢 底部	覆土	① 41.0 ② 10.6	① にふい赤褐色② 細砂粒③ 良好	体部多条の横位沈線施文。	中期後半

11区 40号住居出土土器観察表 (通観: 第1分冊 第126・125図, 遺物: 第2分冊 第103図・P.L.48)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	西6	① 39.8 ② ③	① 灰褐色② 粗砂粒③ 普通	口縁部縦位沈線, 頸部横位隆線に「T」字に縦位隆線交わり区画。区画内横位の列点上に沈線を多段に施文。	中期後半
2	深鉢 口縁部	西京際 +5	① ② ③	① 褐色② 粗砂粒③ 良好	隆線により長方形区画。区画内縦位短沈線施文。	中期後半
3	深鉢 体部	埋裏 ±0	① ② ③	① にふい褐色② 茶色粒③ 良好	口縁部隆線による楕円形区画。体部2条一對の縦位沈線で11単位に区画。縄文LR。上部焼熱により変質し, 外面褐色, 内面灰褐色。	中期後半
4	深鉢 体部	西京際 +6	① ② ③	① 褐色② 粗砂粒③ 良好	体部縦位沈線で区画。区画内沈線による綾杉文。	中期後半
5	深鉢 口縁～体部	炉体土器 ① 24.4 ② ③	① 明黄褐色・褐色② 茶色粒③ 良好	口縁部焼熱により脆弱。口縁部隆線による区画と渦巻文。頸部無文帯, 体部横位沈線に「T」字形に縦位隆線交わり区画。区画内縦位短沈線。	中期後半	
6	深鉢 体部	埋裏 ±0	① ② ③	① にふい褐色② 粗砂粒③ 良好	頸部2条の横位隆線, 隆線上連続指頭圧痕。体部均等の縦位隆線で区画, 隆線上連続指頭圧痕。区画内縦位沈線。	中期後半
7	深鉢 体部	覆土	① ② ③	① にふい赤褐色② 砂粒③ 普通	頸部横位隆線で区画。体部沈線により円形区画と先端部破手文。区画内沈線充填。	中期後半
8	深鉢 体部	北壇上 +40	① ② ③	① にふい黄褐色② 粗砂粒③ 良好	縦位沈線により区画。区画内縄文LR。	中期後半
9	深鉢 体部	西京際 -1	① ② ③	① 褐色② 砂粒③ 良好	横位波状沈線で区画。区画内縄文LR。一部焼熱により外面発色。φ6mmの円形押圧痕を横位筋文。	中期後半
10	深鉢 底部	覆土	① ② ③	① 明褐色② 砂粒③ 良好	表裏2単位に隆帯を2重に山形貼付。	中期後半
11	深鉢 底部	南 -7	① ② ③	① にふい褐色② 粗砂粒③ 良好	表裏2単位に隆帯を2重に山形貼付。	中期後半

11区 41号住居出土土器観察表 (通観: 第1分冊 第126・127図, 遺物: 第2分冊 第104図・P.L.48)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	炉体土器	① 19.6 ② ③	① にふい黄褐色② 白色粒③ 良好	口唇部焼熱により脆弱。口縁部隆線により5単位に区画。区画内短沈線, 頸部無文帯。体部縦3条一對の横位沈線と「T」字に交わる3条一對の縦位沈線で6単位に区画。1区画のみ縦位短沈線あり。縄文LR。	中期後半
2	深鉢 体部	炉内 ±0	① ② ③	① 明赤褐色② 砂粒③ 良好	縦位短沈線, 縄文LR。	中期後半
3	深鉢 底部	炉脇 ±0	① ② ③ ① 10.0	① にふい褐色② 砂粒③ 良好	2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半
4	浅鉢 体部	炉内 ±0	① 40.0 ② ③	① 褐色② 粗砂粒③ 良好	首盤玉形を呈する。口縁短く外反。肩部上下に横位沈線刻み, 沈線による破手文と楕円形区画。6×1単位のφ3～5mmの刺突痕。これらを楕円形区画内に破手文と円形刺突を配し4単位。	中期後半

11区 42号住居出土土器観察表 (通観: 第1分冊 第128図, 遺物: 第2分冊 第105図・P.L.48)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部～底部	炉体土器	① ② ③ ① 9.0	① にふい褐色② 砂粒③ 良好	隆線による「8」の字状の円形区画。	後期前半
2	深鉢 口縁突帯	炉内 ±0	① ② ③	① 褐灰色② 角四石③ 良好	背面三角形形状を呈する突帯。側面は沈線のみと隆帯貼付に内面縄文施文の沈線区画と異なる。口縁部は沈線により文様描出。φ12mmの円孔2個。	後期前半
3	深鉢 口縁部	北壇 -4	① ② ③	① 明赤褐色② 砂粒③ 良好	口縁部跨状の隆線部。体部沈線施文。	後期前半
4	深鉢 口縁部	北東 +2	① ② ③	① 浅黄褐色② 砂粒③ 良好	口縁部無文。焼成前にφ10mmの円孔。	後期前半
5	深鉢 体部	南 -14	① ② ③	① にふい褐色② 砂粒③ 良好	体部無文。弧状沈線あり。	後期前半
6	深鉢 口縁部	南東 -13	① ② ③	① 褐灰色② 茶色粒③ 良好	口縁部無文。横位沈線で区画。体部条線。口縁部焼成後の穿孔途中の痕跡あり。	後期前半
7	深鉢 体部	南東 -6	① ② ③	① にふい褐色② 細砂粒③ 良好	頸部横位沈線で区画。「8」の字状貼付文。体部沈線で区画。縄文LR。	後期前半
8	深鉢 口縁部	覆土	① ② ③	① にふい黄褐色② 角四石③ 普通	小波状口縁。口唇部φ8mmの横位列点。沈線による区画。区画内縄文。	後期前半

11区 43号住居出土土器観察表 (通観: 第1分冊 第129図, 遺物: 第2分冊 第106図・P.L.49)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	P4北 +23	① ② ③	① 浅黄褐色② 砂粒③ 良好	口縁部横位の連続押圧痕のある隆線部。体部無文。	後期前半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
2	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄色②細砂粒③良好	口縁部突部。φ12mmの円孔「8」の字状に5個一対。	後期前半
3	深鉢 把手?	伊東+45	①-②-③- ①-4.4②-③-	①橙色②繊維③普通	平截竹管状工具による沈線造る。	中期後半
4	土製品 耳栓	覆土	①-②-③-	①浅黄色②微砂粒③良好	断面スタンプ状を呈する。沈線による渦巻文と刺突充填。	中期後半
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明褐色②細砂粒③良好	口縁部横位沈線により区画。体部沈線による区画。区画内無文。縄文RL。	中期後半
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③良好	波状口縁。凹線による渦巻文。	中期後半
7	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒③良好	頸部横位沈線造り。体部沈線により区画及び文様描出。区画内磨消縄文。縄文LR。器壁薄い。	後期前半
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③良好	三角形の捻転突起。内面φ16mm円孔と沈線による三角形文。	中期後半
9	深鉢 体部	P1上+25	①-②-③-	①浅黄色②細砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。区画内縦位刺突文。縄文RL。	中期後半
10	深鉢 底部	P1上+25	①-②-③- 13.0	①浅黄褐色②細砂粒③普通	無文。	中期後半
11	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②繊維③良好	波状口縁。波頂部双頭。文様は刻み除線で描出。瘤状貼付文と中心に円形文。	前期前葉
12	深鉢 体部	伊東+10	①-②-③-	①明褐色②繊維・白色粒③良好	口縁部φ10mmの円形文と器側面圧痕施文。体部に2条の横位刻み除線で区画。	前期前葉
13	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③普通	口唇部2条の刻み除線と瘤状貼付文。口縁部多段の矢羽根状施文及び器側面圧痕。	前期前葉
14	深鉢 体部	伊北+23	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③普通	口縁部「ハ」字沈線充填。体部に横位3段の刻み除線。	前期前葉
15	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③良好	口縁部爪形による菱形構成。	前期前葉
16	深鉢 体部	P2編+24	①-②-③-	①橙色②繊維③良好	羽状縄文。	前期前葉
17	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①灰褐色②繊維・白色粒③良好	縄の閉端の環を横位に交互施文。	前期前葉
18	深鉢 体部	P9南西+20	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③良好	縄の閉端の環を横位に交互施文。	前期前葉
19	深鉢 体部→底部	P2編+24	①-②-③- 8.5	①橙色②繊維③良好	羽状縄文。	前期前葉

11区45号住居出土土器観察表(遺構:第1分冊 第130図, 遺物:第2分冊 第107-108図・P.L.49)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部	南壁 29	①-②-③-	①褐色②茶色粒③普通	口縁部除線による弧状区画。区画内縦位沈線。体部2条一対の縦位沈線で6単位に区画。区画内斜位の沈線による幾何文。	中期後半
2	深鉢 体部→底部	埋費 5	①-②-③- 6.0	①明赤褐色②砂粒やや多③普通	無文。	中期後半
3	深鉢 口縁→体部	伊脇+6	①-②-③-	①明褐色②粗砂粒③普通	口縁部除線造る。体部沈線で縦位区画。やや中広の無文帯。区画内縄文LR。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②砂粒③良好	口縁部縦位に約20mm間隔で沈線施文。	中期後半
5	深鉢 口縁部	西+1	①-②-③-	①浅黄色②砂粒③普通	口縁部から体部にかけて沈線による「口」形区画。無文帯に沈線による刺突文。区画内縄文RL。	中期後半
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③普通	波状口縁。凹線による刺突文。	中期後半
7	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	除線による楕円形区画及び凹線による刺突文。区画内φ4mmの円形刺突。体部縦位2条一対の沈線区画。	中期後半
8	深鉢 口縁部	西+9	①-②-③-	①暗褐色②砂粒③良好	口唇部やや肥圧。口縁部楕円状工具による不規則な沈線充填。	中期後半
9	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	楕円状工具による縦位沈線を密に施文。	中期後半
10	深鉢 口縁→体部	西+5	①-②-③-	①にぶい黄褐色②粗砂粒③良好	口縁部無文。境に内縁造る。体部凹線による刺突状施文。刺突内にφ8mm円形押圧痕10ヶ。	中期後半
11	深鉢 体部	西+9	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	除線及び凹線による楕円形区画。区画内縄文RL。	中期後半
12	深鉢 体部	伊脇+12	①-②-③-	①浅黄色②粗砂粒③普通	横位除線により区画。体部沈線により縦位区画。無文部に沈線による刺突文。縄文RL。	中期後半
13	深鉢 体部	伊北+4	①-②-③-	①明褐色②粗砂粒③良好	縦位沈線で区画。中広の無文帯。縄文RL。	中期後半
14	深鉢 体部	西+1	①-②-③-	①浅黄色②砂粒③普通	除線による楕円形区画。体部縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
15	深鉢 体部	伊脇+3	①-②-③-	①褐色②微砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
16	深鉢 底部	伊脇+2	①-②-③- 4.6	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画	中期後半

## 出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
17	深鉢 底部～底部	370土坑脇 +2	① ② - ③ 5.3	①浅黄褐色②砂粒やや多③普通	体部縦位沈線で区画。縄文 R.L。	中期後半

11区46号住居出土土器観察表 (遺構:第1分層 第131区, 遺物:第2分層 第109区・P.L.50)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	北 3	① 46.0 ② ③	①黒褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。体部2条一対の縦位沈線で区画。縄文 R.L。2と同一個体。	中期後半
2	深鉢 体部	北 3	① ② - ③	①黒褐色②砂粒③良好	体部2条一対の縦位沈線で区画。縄文 R.L。1と同一個体。	中期後半
3	深鉢 体部	北 +15	① ② - ③	①赤褐色②砂粒③良好	体部2条一対の縦位沈線で区画。区画内縄文 R.L。	中期後半
4	深鉢 体部	北 +14	① ② - ③	①褐色②細砂粒③良好	縦位沈線で区画。縄文 R.L。	中期後半
5	深鉢 体部	北 +19	① ② - ③ 11.0	①褐色②砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。縄文 R.L。	中期後半

11区47号住居出土土器観察表 (遺構:第1分層 第132区, 遺物:第2分層 第110区・P.L.50)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	北 +3	① ② - ③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口唇部楕状把手。沈線による区画。縄文 R.L。	中期後半
2	深鉢 口縁部	北 +2	① ② - ③	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	波状口縁。外面無文。内面φ10mmの円形刺突3ヶ所。	後期前半
3	深鉢 体部	P2 +9	① ② - ③	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	縦位の隆線で区画。縄文 R.L。	中期後半
4	深鉢 体部	覆土	① ② - ③	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	2条一対の沈線による区画。縄文 R.L。	中期後半

11区49号住居出土土器観察表 (遺構:第1分層 第134・135区, 遺物:第2分層 第111・112区・P.L.50)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	P8内 25	① ② - ③	①黒褐色②角閃石③普通	波状口縁。体部境ボタン状胎付を細隆帯で繋ぐ。隆帯脇に連続刺突。体部縄文 R.L。	中期後半
2	深鉢 口縁部	中脇 +9	① ② - ③	①暗褐色②粗砂粒③良好	口唇部突帯口縁部隆帯による楕円形区画。区画内縄文。体部2条一対の縦位沈線で区画。体部縄文 R.L。	中期後半
3	深鉢 口縁部	中央 +12	① ② - ③	①赤褐色②粗砂粒③良好	口縁部隆線による区画。区画内縄文 R.L。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	① ② - ③	①灰黄褐色②細砂粒③良好	口縁部沈線による横手文及び楕円形区画。体部縦位沈線で区画。	中期後半
5	深鉢 口縁部	覆土	① ② - ③	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	口唇部2条の沈線部より、縦位沈線で「丁」字状に区画。区画内2条の弧状沈線。	中期後半
6	深鉢 体部	中 +8	① ② - ③	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	体部に捻転突起を等間隔に配する。突起に凹線による横手文。	中期後半
7	深鉢 口縁～体部	P7脇 -1	① 26.4 ② ③	①明赤褐色②粗砂粒。茶色粒③良好	口縁部隆線により楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縄文 R.L。体部2条一対の縦位沈線で5単位に区画。2区画に渦巻状の沈線施文。	中期後半
8	深鉢 口縁～体部	2埋裏 -5	① 22.0 ② ③	①浅黄色②細砂粒③良好	4単位の波状口縁。口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文を3単位施文。区画内は縄文 R.L。体部は2条一対の縦位沈線により8単位に区画。区画は7単位。区画内縄文 R.L。	中期後半
9	深鉢 口縁～底部	中西 +6	① 14.5 ② 26 ③ 6	①褐色②砂粒③良好	3単位の波状口縁。波頂部に横手文あり。長方形に沈線により区画。区画は7単位。区画内縄文 R.L。	中期後半
10	深鉢 口縁部	中東 +13	① ② - ③	①黒褐色②粗砂粒③良好	口縁部楕円形区画。区画内縄文 R.L。	中期後半
11	深鉢 口縁部	中西 +5	① ② - ③	①明褐色②粗砂粒③良好	口唇部肥厚。楕円形区画。区画内は矢羽根状沈線。	中期後半
12	深鉢 体部	覆土	① ② - ③	①褐色②砂粒やや多③良好	隆線による楕円形区画。体部2条一対の縦位沈線区画。区画内縄文 R.L。	中期後半
13	深鉢 体部	P5脇 +10	① ② - ③	①明褐色②粗砂粒③良好	横位隆線で区画し2条一対の縦位沈線区画。区画内縄文 R.L。	中期後半
14	深鉢 体部	東 +2	① ② - ③	①にぶい黄褐色②細砂粒やや多③良好	2条一対の縦位沈線で区画。区画内縄文 R.L。	中期後半
15	深鉢 体部～底部	P3脇 +11	① ② - ③ 6.5	①赤褐色②粗砂粒③普通	体部2条一対の縦位隆線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 R.L。	中期後半
16	深鉢 体部～底部	P3脇 +7	① ② 12.1 ③ 8.6	①にぶい赤褐色②金雲母多③良好	体部縦位隆線で区画。区画内無文。	中期後半
17	深鉢 底部	P3脇 +8	① ② - ③ 6.4	①赤褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
18	深鉢 底部	東 +8	① ② - ③ 7.8	①褐色②細砂粒やや多③良好	無文。	中期後半
19	深鉢 底部	東 +10	① ② - ③ 8.0	①明褐色②細砂粒やや多③良好	無文。	中期後半

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
20	深鉢 底部	中・脇 +10	① ②-③ 7.0	①明褐色②粗砂粒③良好	無文。内面、赤色塗彩痕あり。	中期後半
21	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明褐色②繊維③普通	波状口縁。口唇部切み隆線。口縁部刻み隆線による菱形文等描出。交点に瘤状付文。中心に円形文。	中期後半
22	深鉢 体部	P3 脇 2	①-②-③-	①黒褐色②繊維③良好	爪形文及び瘤状工具による等間隔刻突。	前期前葉
23	深鉢 体部	P2 南 +8	①-②-③-	①灰黄褐色②繊維③良好	縄の閉端の環を横位施文。	前期前葉
24	深鉢 体部	P7 脇 1	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③良好	直前段合燃り。羽状施文。	前期前葉
25	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③良好	半截竹管による横位沈線と波状沈線施文。	前期前葉

11 区 50 号住居出土土器観察表 (通観：第 1 分冊 第 136 頁、通物：第 2 分冊 第 113 頁・P. 1. 51)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	中央 +16	①-②-③-	①赤褐色②細砂粒③良好	口縁部隆線により区画。区画内縦位沈線 2 段施文。体部縦位 2 条一対の沈線で区画。区画内縦位沈線を多めに施文。	中期後半
2	深鉢 口縁～体部	覆土	①-②-③-	①橙色②細砂粒③普通	口縁部無文。横位隆線を巡らせ区画。	中期後半
3	深鉢 口縁部	中央 +9	①-②-③-	①黒色②細砂粒③良好	口縁部横位隆線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	口縁部横位隆線で区画。体部縄文 LR。	中期後半
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	口縁部縦位沈線部。縄文 LR。	中期後半
6	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明褐色②砂粒③良好	縦位の弧状沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
7	深鉢 体部	中央 +8	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	縦位の弧状沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
8	深鉢 体部	東南 +11	①-②-③-	①暗褐色②細砂粒③良好	横位隆線で区画。縄文 LR。	中期後半
9	深鉢 体部	中央 +19	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	縦位隆線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半
10	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②細砂粒③普通	隆帯により楕円形区画。隆帯上縦列にφ6mm 程の円形刺突。区画内縄文 LR。	中期後半
11	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①黒褐色②繊維③普通	隆線により楕円形及び直線区画。縄文 RLR。	中期後半
12	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 6.4	①褐色②角閃石③良好	無文。	中期後半
13	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 15.0	①赤褐色②角閃石③良好	縦位器赤文。	中期後半

11 区 51 号住居出土土器観察表 (通観：第 1 分冊 第 137・138 頁、通物：第 2 分冊 第 114～118 頁・P. 1. 51～53)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	中・西辺 +5	① 48.4 ②-③-	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縄文 LR。体部 2 条一対の縦位巾止沈線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半
2	深鉢 口縁～底部	P1 内 38	① 13.4 ②-③ 19.1 ③ 5.0	①明赤褐色②粗砂粒③普通	4 单位の波状口縁。表面部に円形文。口縁部 2 条の隆線部。体部縦位 2 条一対の沈線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半
3	深鉢 口縁～体部	中・体上器	① 25.0 ②-③-	①橙色②粗砂粒③普通	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。体部隆線による無数の不定形区画。区画内縄文 LR。	中期後半
4	深鉢 口縁～体部	中・内 +5	① 31.0 ②-③-	①暗褐色②砂粒③良好	口縁部無文。口縁部隆帯による楕円形区画及び渦巻文。体部縦位 2 条一対の縦位沈線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半
5	深鉢 口縁部	中・内 +5	①-②-③-	①灰褐色②砂粒③良好	口縁部無文。口縁部隆帯による区画及び渦巻文。体部縦位 2 条一対の縦位沈線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半
6	深鉢 口縁部	P1 内 +13	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円区画内上下の連続楕円刺突により矢羽根状施文。頸部無文。	中期後半
7	深鉢 口縁部	東 +5	① 26.0 ②-③-	①明褐色②細砂粒③良好	波状口縁。口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縦位沈線。体部 2 条一対の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
8	深鉢 口縁部	P1 内 +11	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による楕円形区画。区画内縄文 LR。体部 2 条一対の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
9	深鉢 口縁部	P1 内 +25	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文。体部 2 条一対の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
10	深鉢 口縁～体部	中・脇 +8	①-②-③-	①浅黄褐色②細砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。頸部より 2 条一対。縦位沈線で区画。区画内縦行沈線。縄文 LR。	中期後半
11	深鉢 体部	P5 脇 +22	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒・白色粒③良好	頸部横位沈線部。体部「T」字に縦位沈線区画。縄文 LR。	中期後半
12	深鉢 体部	中・南 +5	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	2 条一対の縦位沈線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半
13	深鉢 体部	P1 内 +27	①-②-③-	①浅黄褐色②細砂粒③良好	体部 2 条一対の縦位沈線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
14	深鉢 底部	北 +13	①-②-③-	①褐色②砂粒多③良好	体部2条一對の縦位沈線で区画。区画内縄文 LRL。	中期後半
15	深鉢 底部	北東 +22	①-②-③-	①赤褐色②砂粒多③良好	体部2条一對の縦位沈線で区画。区画内縄文 LRL。	中期後半
16	深鉢 底部～底部	P4 内 3	①-②-③- 8.6	①にぶい褐色②砂粒③良好	体下半は2条の縦位沈線で区画。区画内縄文 LRL。体中位、斜位の指摺で上げ。	中期後半
17	深鉢 底部	P4 上 +8	①-②-③-	①明黄色②砂粒③良好	4条一對の縦位隆線で区画。区画内縄文 RL。	中期後半
18	深鉢 底部	P1 内 -15	①-②-③-	①にぶい褐色②粗砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
19	深鉢 底部	北東 -1	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③普通	体部2条一對の縦位沈線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半
20	深鉢 底部	P1 内 +5	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	縦位沈線施文。	中期後半
21	深鉢 底部	P4 脇 +7	①-②-③- 6.0	①褐色②細砂粒③良好	縦位沈線で区画。	中期後半
22	深鉢 底部	伊脇 +12	①-②-③- 4.6	①暗褐色②粗砂粒・茶色粒③良好	無文。	中期後半
23	深鉢 底部	P2 覆土	①-②-③- 6.4	①褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。区画内縄文 LRL。	中期後半
24	深鉢 底部	伊周辺 +23	①-②-③- 7.6	①赤褐色②軽石・角四石③良好	2条一對の縦位沈線で区画。区画内縄文 LRL。	中期後半
25	深鉢 底部～底部	P4 内 20	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位隆線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半
26	深鉢 底部	P4 脇 +9	①-②-③- 11.4	①褐色②軽石・茶色粒③普通	縦位沈線で区画。	中期後半
27	深鉢 底部	伊南 -7	①-②-③- 10.0	①明褐色②細砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半
28	深鉢 底部	P5 脇 +26	①-②-③-	①褐色②細砂粒③普通	2条の弧状沈線で区画。	中期後半
29	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①灰黄色②砂粒③良好	弧状隆線による区画。区画内縄文 LR 充填。	中期後半
30	深鉢 底部	中央 +6	①-②-③-	①明赤褐色②粗砂粒③普通	縦位隆線で区画。区画内縦位沈線。	中期後半
31	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒③普通	沈線による綾杉文。	中期後半
32	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②安山岩ガラス・軽石③普通	縦位の楕円区画。区画内沈線充填。	中期後半
33	深鉢 底部	P1 脇 +3	①-②-③-	①にぶい黄褐色②雲母・軽石・角四石③良好	連続押圧のある縦位隆線で区画。区画内縦位沈線。	中期後半
34	深鉢 底部	伊南 +14	①-②-③-	①赤褐色②砂粒③良好	縦位隆線で区画。沈線による筋骨文。	中期後半
35	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③良好	2条の横位爪形筋文。	中期後半
36	深鉢 口縁部	伊南 +15	①-②-③-	①明褐色②角四石③普通	横位2段連続刺突。	中期後半
37	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③良好	横位沈線と沈線による「J」字文上部描出。	後期前半
38	深鉢 底部	北東 +5	①-②-③-	①褐色②細砂粒③普通	沈線による縦位区画。区画内縦位の蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
39	深鉢 口縁部	南東 +16	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒やや多③良好	口唇部頂部棒状工具による刻み状の連続押圧筋。口縁部縦位沈線を約10mm 間隔で施文。	中期後半
40	深鉢 口縁部	伊脇 +23	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	約20mm 間隔で縦位沈線施文。	中期後半
41	深鉢 口縁部	東 +12	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒③普通	口唇部横位沈線1条筋る。体部沈線により文様描出。	中期後半
42	深鉢 口縁部	中央北 +18	①-②-③-	①淡黄色②細砂粒③普通	全面に縦位の細かな条線を引く。	中期後半
43	浅鉢 口縁部～体部	中央北 +15	① 36.0 ② ③-	①淡黄色②軽石・細砂粒③普通	口縁部横位沈線部らせ区画。体部細かな条線。	中期後半
44	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②石英・軽石③良好	櫛歯状工具による条線を密に縦位に引く。	中期後半
45	深鉢 底部	伊周辺 +23	①-②-③-	①黒褐色②砂粒③普通	櫛歯状工具による条線を密に縦位に引く。	中期後半
46	深鉢 底部	P4 上 +11	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	櫛歯状工具による条線を密に縦位に引く。	中期後半
47	深鉢 底部	P1 内 +18	①-②-③-	①黒褐色②細砂粒③普通	2条一對の縦位沈線で区画。区画内5～6本の櫛歯状工具による縦位筋文。	中期後半
48	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	沈線による楕円形区画。縦位の横手文。縄文 RL。	中期後半



番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
49	深鉢 口縁一部	P4 北 +12	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	口縁部無文。頸部横位沈線で区画。体部縄文 RL。	中期後半
50	深鉢 口縁部	P2 覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒③良好	口唇部肥圧。沈線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
51	浅鉢 口縁部	中央 +14	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③普通	横位沈線による区画。区画内縄文 RL。	中期後半
52	深鉢 口縁部	東 +16	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	口縁部 2 条の横位沈線並らせる。体部縄文 RL。	中期後半
53	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①灰黄色②細砂粒③普通	沈線により区画。区画内縄文 RL。	中期後半
54	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	口縁部横位沈線並る。	中期後半
55	深鉢 体部	P2 覆土	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	2 条一対の縦位隆線で区画。地文断片。	中期後半
56	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②角閃石③良好	隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。	中期後半
57	深鉢 口縁部	伊南 +7	①-②-③-	①にぶい褐色②細砂粒③普通	隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
58	有孔罎付土 器体部	P4 内 -17	①-②-③-	①にぶい褐色②微砂粒③良好	頸は断面三角形。φ 6mm の円孔約 4cm 間隔に配する。体部沈線による渦巻文。	中期後半
59	深鉢 体部	伊脇 +20	①-②-③-	①褐色②砂粒③普通	頸部横位把手 2 ヶ所。体部隆線及び沈線により区画。	中期後半
60	深鉢 口縁部	南 +16	①-②-③-	①浅黄褐色②砂粒③普通	波状口縁。口縁部楕円形区画。区画内縄文 RL。2 段の円形押圧痕。	中期後半
61	深鉢 口縁部	南 +7	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	口縁部凹線による渦巻文。縄文 LR。	中期後半
62	浅鉢 体部	P5 脇 +18	①-②-③-	①赤褐色②砂粒やや多③良好	断面三角形跨状隆線並る。隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内 2 段の φ 7mm の円形押圧文。	中期後半
63	深鉢 把手	東 +9	①-②-③-	①褐色②細砂粒③普通	横位把手。把手上面「S」字状。隆線による区画。区画内沈線による矢羽根文扶輪文。	中期後半
64	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②茶色粒③普通	波状口縁。隆線による楕円形区画及び渦巻文。	中期後半
65	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	口縁部横位凹線及び隆線で区画。区画内 φ 4 ~ 5mm の円形刺突。	中期後半
66	深鉢 口縁部	北東 +17	①-②-③-	①にぶい褐色②軽石多③普通	口縁部隆線による区画及び渦巻文。区画内縦位沈線。	中期後半
67	深鉢 口縁部	南 +5	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	口唇部頂部隆線並る。口縁部隆線による渦巻文。体部 2 条一対の縦位沈線で区画。区画内縄文 RL。	中期後半
68	深鉢 口縁部	P4 脇 +9	①-②-③-	①暗褐色②砂粒③良好	波状口縁。口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。	中期後半
69	深鉢 口縁部	P4 脇 +4	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	波状口縁。隆線による渦巻文。	中期後半
70	深鉢 口縁部	北東 +27	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒多③良好	波状口縁。隆線による渦巻文。	中期後半
71	深鉢 口縁部	東 +14	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒③普通	波状口縁。隆線による渦巻文。	中期後半
72	深鉢 口縁部	伊内 +14	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③良好	波状口縁。隆線による渦巻文。区画内縄文 RL。	中期後半
73	深鉢 体部	P5 脇 +22	①-②-③-	①にぶい黄褐色②軽石・角閃石③良好	隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。	中期後半
74	深鉢 体部	南西 +19	①-②-③-	①灰褐色②細砂粒多③良好	隆線による渦巻文。	中期後半
75	深鉢 体部	南西 +10	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒多③良好	隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
76	深鉢 体部	P4 北 +14	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良好	隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 LR。	中期後半
77	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	波状口縁。器底無面圧痕施文。	中期後半
78	土製品 土師	覆土	①-②-③-	①黄褐色②細砂粒・白色粒③普通	無文。	中期後半
79	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 4.0	①褐色②細砂粒③良好	小型品。無文。内面煤付着。	中期後半

11 区 52 号住居出土土器調査表 (前編: 第 1 分冊 第 139 頁, 後編: 第 2 分冊 第 119 頁・P. 53-54)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	南壁 +25	①-②-③-	①明赤褐色②繊維③良好	波状口縁。巾 1cm 程の爪形文を 5 条一対で口縁や頸部に沿い施文。口縁部には多段の爪形文を山形施文。	前期中葉
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②繊維③良好	波状口縁。巾 1cm 程の爪形文を 2 条一対で口縁や頸部に沿い施文。口縁部には同工具により菱形文を施出。縄文 RL。	前期中葉
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②繊維③普通	波状口縁。半截竹管を多段に山形に施文。	前期中葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維 ③良好	平行沈線を多段に施文。	前期中葉
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①黒褐色②繊維③普通	小波条口縁。口縁部縄文 RL を羽状に配置。	前期中葉
6	深鉢 体部	南壁 +25	①-②-③-	①明赤褐色②繊維③良 好	断糸文。	前期中葉
7	深鉢 口縁～体部	南壁 +24	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	口縁部半截竹管による施文。頸部は同じ工具による横位 4 段施文。体部は羽状縄文。	前期中葉
8	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①黒褐色②角四石③良 好	φ 6mm ほどの工具により 4 条一組の角押文を横位 2 段に配しその間を縦位の角押文を施文する。	前期中葉
9	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②繊維③良好	羽状縄文変形構成。	前期中葉
10	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 11.0	①明赤褐色②砂粒③普 通	無文。	前期中葉

11 区 53 号住居出土土器観察表 (通帳: 第 1 分冊 第 140 頁, 遺物: 第 2 分冊 第 120 頁・P.1-54)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良 好	2 条一対の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半

11 区 54 号住居出土土器観察表 (通帳: 第 1 分冊 第 141 頁, 遺物: 第 2 分冊 第 121 頁・P.1-54)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	中壁 +16	① 20.3 ②-	①褐色②砂粒③良好	4 単位の波状口縁。口唇部と頸部に 3 条一対の横位沈線。その間に 3 条の沈線による連弧文。体部 3 条一対の連弧文。縦位に 3 条一対の沈線垂下させる。縄文 RL。口唇部は被熱により変色し堅硬化。	中期後半
2	深鉢 体部	中体土器	①-②-③-	①明赤褐色②金雲母 角四石少量③良好	口唇部 2 条の隆帯による連弧文を 5 単位の区画に配する。体部縦位に 3 条一対の沈線で 4 単位の区画する。区画内縦位の蛇行沈線。	中期後半
3	深鉢 体部	P4 南 +10	①-②-③-	①灰黄色②砂粒③普通	3 条一対の縦位沈線で区画。上半斜位の施で。下半縄文 RL 施文。	中期後半
4	深鉢 口縁部	南 +4	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂 粒③普通	口縁部横位隆線巡らせ。沈線で区画。区画内 φ 8mm の刺突。	中期後半
5	深鉢 体部	P9 脇 +14	①-②-③-	①赤褐色②砂粒多③良 好	横位 2 条の隆線巡らせ区画。縄文 RL。	中期後半
6	深鉢 体部	P5 西 +15	①-②-③-	①褐色②茶色粒③良好	沈線により交互楕円形区画。区画内縄文 RL 充填。	中期後半
7	深鉢 体部	南 +3	①-②-③-	①暗褐色②砂粒③普通	横位 2 条一対の沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
8	深鉢 体部	P5 東 +9	①-②-③-	①褐色②軽石・粗砂粒 ③良好	2 条一対の隆線による区画。区画内縄文 LR 充填。	中期後半
9	深鉢 体部	P1 北 +10	①-②-③-	①にぶい黄褐色②粗砂 粒③良好	2 条一対の隆線による区画。区画内縄文 LR 充填。	中期後半
10	深鉢 体部	東 +21	①-②-③-	①明褐色②粗砂粒多③ 普通	横位隆帯で区画。区画内縄文。	中期後半
11	深鉢 体部	中西 +10	①-②-③-	①褐色②砂粒多③普通	無文。内面被熱により発泡。	中期後半
12	深鉢 底部	P5 西 +10	①-②-③ 8.0	①にぶい黄褐色②砂粒 ③良好	縦位沈線で区画。	中期後半

11 区 55 号住居出土土器観察表 (通帳: 第 1 分冊 第 142-143 頁, 遺物: 第 2 分冊 第 122 頁・P.1-54)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部	中内 +15	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良 好	頸部に縄文を配す横位隆帯巡らせる。体部には頸部隆帯から「T」字状に縦位隆帯を屈付し 4 単位の区画。区画内縄文 RL。	中期後半
2	深鉢 口縁部	西 +12	①-②-③-	①褐色②砂粒やや多③ 良好	口唇部内傾。口縁部隆帯による楕円区画。区画内波状刻突による矢羽根状施文。	中期後半
3	深鉢 体部	中内 -19	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	縄文 LR 充填。	中期後半

11 区 56 号住居出土土器観察表 (通帳: 第 1 分冊 第 144 頁, 遺物: 第 2 分冊 第 123 頁・P.1-54)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③ 良好	口縁部隆帯により渦巻文。区画内沈線を矢羽根状に施文。	中期後半
2	深鉢 体部	中内 -35	①-②-③-	①にぶい黄褐色②細砂 粒③良好	沈線により渦巻文等描出。	中期後半
3	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③ 良好	縦位隆帯と沈線により肋付文。	中期後半
4	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③ 良好	縦位隆帯で区画。区画内沈線による結核状施文。	中期後半

11区号上坑出土土器観察表 (編年:第1分冊 第148～196頁,遺物:第2分冊 第124～158頁・P.55～76)

遺器名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1号上坑 甕上	1	深鉢 口縁 ～体部	① 26.0 ② ③-	①にぶい黄褐色②金 雲母、砂粒③良好	口縁部隆線により4単位の楕円区画。区画隆線部位上に棒状工具による押 圧痕。区画内斜位の連続刺突。頸部2条のコンパス文。体部縦帯に隆帯区画。	後期前半
1号上坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①-②-③-	①にぶい黄褐色②金 雲母、砂粒③良好	口唇部連続押圧。内面棒状工具連続押圧。	後期前半
1号上坑 甕上	3	深鉢 体部	①-②-③-	①橙色②砂粒③良好	隆線施文。	後期前半
2号上坑 甕上	1	深鉢 体部	①-②-③-	①橙色②砂粒③良好	4条の弧状沈線。縦位襷施文。	中期後半
2号上坑 甕上	2	深鉢 体部	①-②-③-	①橙色②砂粒③良好	縦位襷施文。	中期後半
5号上坑 +3	1	深鉢 底部	①-②-③ 9.7	①橙色②細砂粒③良 好	無文。	中期後半
9号上坑 +6	1	深鉢 体部	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	縦位襷施文。	中期後半
10号上坑 +17	1	深鉢 体部	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	縦位襷施文。	中期後半
10号上坑 +22	2	深鉢 体部	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③ 良好	縄文施文後、多状の斜位爪形文。	前期後葉
11号上坑 ±0	1	深鉢 口縁部	①-②-③-	①橙色②砂粒③良好	口唇部横位隆帯区画。頸部無文。	中期後半
11号上坑 +4	2	深鉢 底部	①-②-③ 8.4	①橙色②砂粒③良好	無文。	中期後半
16号上坑 +30	1	深鉢 体部	①-②-③-	①にぶい褐色②織縞 ③普通	羽状縄文。	前期中葉
16号上坑 +29	2	深鉢 体部	①-②-③-	①にぶい褐色②織縞 ③普通	羽状縄文。	前期中葉
16号上坑 +23	3	深鉢 体部	①-②-③-	①にぶい褐色②織縞 ③普通	羽状縄文。	前期中葉
16号上坑 +13	4	深鉢 底部	①-②-③ 8.8	①にぶい褐色②織縞 ③普通	底面縄文施文。	前期中葉
17号上坑 甕上	1	土製円盤	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	外縁部打ち欠き整形。	中期
17号上坑 甕上	2	深鉢 飾り ボタン	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	無文。	中期
18号上坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③ 良好	横位の爪形文。爪形文間に矢羽根状沈線。	前期後葉
18号上坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	口唇部隆線部より、隆線内縁に連続刺突。植状把手割離直有り。φ2mmの円 形刺突充填。	中期
18号上坑 甕上	3	深鉢 体部	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	弧状沈線で区画。φ2mmの円形刺突。	中期
20・21号 上坑甕上	1	深鉢 口縁部	①-②-③-	①灰褐色②砂粒③良 好	口唇部突起。口縁部隆線による弧状区画。区画内矢羽根状沈線。	中期
20・21号 上坑甕上	2	深鉢 口縁部	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	口縁部横位2条の沈線部。沈線間φ4mmの列点刺突。	中期
20・21号 上坑甕上	3	深鉢 体部	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	縦位2条の隆帯で区画。区画内沈線。	中期
20・21号 上坑甕上	4	深鉢 体部	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	隆帯による楕円形区画。	中期
23号上坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③ 良好	口縁部隆線により横位区画。区画内無文。頸部無文。	中期後半
23号上坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③ 良好	口縁部隆線により横位区画。区画内縄文 RL。	中期後半
23号上坑 甕上	3	深鉢 体部	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	縦位隆帯で区画。区画内沈線による波状文。	中期後半
23号上坑 甕上	4	深鉢 体部	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	3条一対の縦位沈線で区画。区画内弧状沈線。縄文 RL。	中期後半
24号上坑 甕上	1	深鉢 口縁 ～体部	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良 好	口縁部隆線による楕円形区画及び酒巻文。楕円形区画内沈線による矢羽根文。 体部3条一対の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
24号上坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①-②-③-	①褐色②細砂粒③良 好	口縁部隆線による楕円形区画。楕円形区画内沈線による矢羽根文。	中期後半
24号上坑 甕上	3	深鉢 体部	①-②-③-	①灰褐色②細砂粒③ 普通	口唇部突起。口唇部沈線部をらせ区画。区画内コの字刺突。	中期後半
24号上坑 甕上	4	深鉢 口縁部	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	横位沈線を多段に施文。数段置きに隆線上を交互刺突。	中期後半
24号上坑 甕上	5	ミニチュア ア土器	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③ 良好	小型碗形。縄文 RL。	中期後半
24号上坑 甕上	6	深鉢 口縁部	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	横位隆線による区画。隆線を挟みφ4mmの円形刺突。体部沈線による山形 文。縄文 RL。	中期後半

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
26号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②砂粒③良好	口縁部横位隆線並らせる。口縁部横位6条の平行沈線並らせ、最上段の沈線間に交互刺突。	中期後半
31号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②繊維③普通	多条の横位爪形文を施文し、無文部にコンパス文。	前期前葉
32・33号 土坑甕上	1	浅鉢 口縁 ～体部	① 19.0 ②・	①にぶい赤褐色②砂粒③普通	無文。赤色塗彩痕有り。	中期後半
32・33号 土坑甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	横位隆線により区画。区画内平行沈線間に交互刺突。	中期後半
32・33号 土坑甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	横位隆線で区画。体部縦位無施文。	中期後半
32・33号 土坑甕上	4	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
32・33号 土坑甕上	5	浅鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊維③良好	隅の閉端の環を多段に横位に施文。菱形構成。	前期前葉
34号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	無施文施文後、口縁部隆線による楕円形区画。	中期後半
34号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	無施文施文後、体部多重沈線による楕円形区画。	中期後半
34号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	無施文施文後、縦・横位に平行沈線。	中期後半
35号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	① 24.0 ②・	①褐色②砂粒③良好	爪形文のある縦位隆帯で区画。区画上部に刻み入り横位隆帯が横断。区画内は縦位沈線。	中期中葉
39号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	隆帯による楕円区画。区画内斜位刺突。	中期中葉
40号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	凹線による区画。区画内沈線による矢羽根状施文。	中期後半
40号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	小波状口縁。横位平行沈線並り。沈線間に交互刺突。区画内沈線による矢羽根状施文。	中期後半
42号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縦文LR。体部3条一対の縦位沈線で区画。	中期後半
47号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊維③普通	隅の閉端の環を横位施文。	前期前葉
47号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	体部縦文施文。	前期前葉
49号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	爪形文を刻む隆帯を「く」の字に附付。	前期後半
54号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好③	口縁部隆線による楕円形区画。楕円形区画内縦位沈線。頸部より3条の縦位沈線。	中期後半
54号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好③	隆線による楕円形区画。隆線中に凹位刺突。楕円形区画内沈線による矢羽根文。	中期後半
54号土坑 甕上	3	深鉢 底部	①・②・③・ 8.6	①にぶい赤褐色②砂粒③良好③	2条～3条一対の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
55号土坑 +5	1	深鉢 口縁部	① 28.8 ②・	①赤褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
56号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①浅黄褐色②細砂粒③普通	羽状縄文。	前期後葉
58号土坑 +11	1	浅鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①にぶい褐色②繊維③普通	0段多条の縄文を多段に横位施文。	前期中葉
58号土坑 +11	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②繊維③普通	0段多条の縄文を多段に横位施文。	前期中葉
63号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰黄褐色②繊維③良好	口唇部小波状。口縁部3本一組の櫛歯状工具による横位連続刺突2段並らせ、沈線による区画後「T」字に縦位連続刺突。	前期中葉
63号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①明褐色②繊維③良好	体部端、横位爪形文2条で区画。体部羽状縄文。	前期中葉
63号土坑 甕上	3	深鉢 底部	①・②・③・ 8.0	①明褐色②繊維③良好	縄文RL。	前期中葉
64号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①明褐色②細砂粒③良好	角押しした連続刺突により沈線化した条線3条。沈線間縄文RL。	中期中葉
65号土坑 甕上	1	浅鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	尊盤形体部。体部屈曲部と頸部に刻み隆線。肩部弧状沈線により同心円文。	中期後半
65号土坑 甕上	2	浅鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	尊盤形体部。体部屈曲部と頸部に刻み隆線。肩部弧状沈線により同心円文。	中期後半
65号土坑 甕上	3	浅鉢 体部	①・②・③・	①暗赤褐色②砂粒③普通	多条の横位沈線により区画。5条の沈線「L」形施文。	中期後半
65号土坑 甕上	4	浅鉢 底部	①・②・③・	①赤褐色②砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
69号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口唇部刻み隆線。口縁部2条の刻み隆線で区画。刻み隆線間、無糸側面圧痕。櫛状貼付文と凹形文あり。	前期前葉
70号土坑 甕上	1	浅鉢 口縁 ～体部	① 22.0 ②・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口唇部2段の横位平行沈線。沈線間交互刺突。頸部の横位の多段平行沈線並らせる。口縁部縦位無施文。	中期後半

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
70号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	体部縦線無文。	中前後半
71号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①橙色②織維③良好	口縁部横刻み隆線を多段に画らせる。	前期中葉
71号土坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②織 維③良好	口縁部横刻み隆線及び横波状隆線。	前期中葉
71号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①橙色②織維③良好	4本束ねた工具による横位連続刻突を多段に施す。	前期中葉
71号土坑 甕上	4	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②織 維③良好	横位隆線と横波状隆線を交互施す。	前期中葉
71号土坑 甕上	5	深鉢 体部	①・②・③・	①橙色②織維③良好	単軸筋条体施文。	前期中葉
71号土坑 甕上	6	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②織 維③良好	附加条。羽状構成。	前期中葉
71号土坑 甕上	7	深鉢 体部	①・②・③・	①橙色②織維③良好	縄の閉端の帯を横位に交互施す。	前期前葉
71号土坑 甕上	8	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい 褐色③良好	器名側面圧痕及び円形刺突施文。	前期中葉
71号土坑 甕上	9	深鉢 体部	①・②・③・ 11.0	①にぶい黄褐色②織 維③良好	僅かに上げ底状を呈する。	前期中葉
72号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②細砂 ③良好	無文。	中前後半
72号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②細砂 ③良好	縄文 L。	前前後半
73号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②細砂③ 良好	口唇部3条の平行爪形文を画らせる。縄文 L。	前前後半
73号土坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①橙色②砂粒③良好	無文。一部赤色塗彩の痕跡見られる。	中前後半
73号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②細砂③良好	縦位隆線で区画。縄文 L。	中前後半
75号土坑 甕上	1	浅鉢 口縁 ～体部	① 15.8 ② ③・	①にぶい褐色②細砂、 角四石③良好	口縁部隆線による楕円形区画。楕円形区画内沈線。体部縦位蛇行沈線。縄文 L。	中前後半
75号土坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②細砂、 角四石③良好	口縁部隆線による楕円形区画。楕円形区画内沈線。	中前後半
79号土坑 +28	1	浅鉢 口縁 ～体部	① 14 ②・③	①にぶい赤褐色②細 砂③良好	波状口縁。波頂部渦巻文。橋状把手区画内楕円形押圧。頸部無文。体部3 条の横位隆線で区画。体部3条1対の縦位隆線で区画。区画内蛇行隆線と弧 状隆線。縄文 L。	中前後半
79号土坑 +28	2	深鉢 体部	①・②・③・	①橙色②砂粒多③良 好	体部縦位隆線で区画。区画内弧状隆線。縄文 L。	中前後半
79号土坑 +28	3	深鉢 体部	①・②・③・	①橙色②砂粒③良好	多状の縦位隆線で区画。	中前後半
80号土坑 +16	1	深鉢 底面	① 32.4 ② ③ 37 8.3	①明赤褐色②織維③ 良好	傾斜した器形。口唇部と頸部に2条の平行爪形文を画らせ口縁部に爪形文 による菱形文。体部羽状縄文。底部上げ底。	前期中葉
80号土坑 +16	2	深鉢 底部	①・②・③・ 9.0	①橙色②織維③良好	縄文 L。	前期中葉
83号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	波状口縁。口唇部内縦。頂部横位隆線画る。	前前後半
92号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①橙色②砂粒③良好	器名文充填後、4条の平行沈線と3条の波状沈線横位に画る。	中前後半
96号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	口縁部無文。体部器名文。	中前後半
96号土坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	口縁部無文。体部器名文。	中前後半
103号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	前々段反張り。	前期中葉
106号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②織 維③良好	縄文 L。	前期中葉
106号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①明黄褐色②織維③ 良好	縄文 L。	前期中葉
107号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②織 維③良好	結節縄文。	前期前葉
107号土坑 甕上	2	深鉢 底部	①・②・③・ ③ 9.0	①橙色②織維③良好	縄文。	前期前葉
108号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②細 砂③良好	縄文組紐。	前期前葉
108号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②細 砂③良好	縄文組紐。	前期前葉
108号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②細砂③ 良好	縄文組紐。	前期前葉
110号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③ 良好	体部3条の縦位隆線で区画。縄文 L。	中前後半

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
113号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②織維 ③普通	縄の閉端の環を横位に交互施文。	前期中葉
113号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②織 維③良好	縄の閉端の環を横位に交互施文。	前期中葉
114号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②織 維③良好	附加条。	前期中葉
122号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明褐色②粗砂③良 好	口唇直下に横位沈線走る。口縁部隆線による区画。区画内沈線による矢羽根文。	中期後半
122号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①明褐色②粗砂③良 好	口縁部隆線による区画。区画内縦位短沈線。	中期後半
122号土坑 甕上	3	深鉢 底部	①・②・③・	①褐色②粗砂③良好	縦位器糸文。	中期後半
124号土坑 +2	1	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②織維③ 良好	縦位器糸文施文後、体上部沈線による横位と連弧文で区画。	中期後半
124号土坑 +2	2	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒多③良 好	内面被熱により発泡。色調も灰色気味。体部縦位隆線で5単位に区画。区画内縦位蛇行隆線貼付。地文細密条。	中期後半
126号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②織 維③良好	頸部横位の爪形文を巡らせ区画。瘤状貼付文。体部縄の閉端の環を横位に交互施文。	前期中葉
126号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②織 維③良好	体部縄の閉端の環を横位に交互施文。横位コンパス文。	前期中葉
126号土坑 甕上	3	深鉢 底部	①・②・③・ 8.0	①褐色②織維③良好	附加条施文。底面縦位圧痕。	前期中葉
127号土坑 +4	1	深鉢 口縁 ～体部	①22②③	①にぶい黄褐色②織 維③良好	縄の閉端の環を横位施文。羽状構成。	前期中葉
127号土坑 +4	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②織 維③良好	口縁部横位縄文羽状施文。	前期中葉
127号土坑 +4	3	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②白色 粒多。軽石混③良好	体部横位羽状施文。	前期中葉
127号土坑 +4	4	深鉢 体部	①・②・③・	①灰褐色②織維③良 好	RLとLRを横位交互施文し、羽状及び菱形構成。	前期中葉
128号土坑 甕上	1	深鉢 口縁 ～底部	① 16.2 ② 21.0 ③ 8.1	①褐色②織維③良好	口唇部と頸部に横位爪形文。口縁部爪形文を断手に施し瘤状貼付文を不規則に配置。体部上半は縄の閉端の環を横位、下半は羽状施文する。底面に縄文施文。	前期中葉
129号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②織維 ③良好	口縁部縄文LR。	前期中葉
129号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②織維③ 良好	縄の閉端の環を横位に交互施文。	前期中葉
129号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②織維③良好	縄の閉端の環を横位に交互施文。	前期中葉
142号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②織 維③良好	横位沈線を多段に配し横位沈線間に沈線による山形文に施文。	前期中葉
142号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②織 維③良好	体部横位縄文羽状配置。	前期中葉
142号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②織維 ③良好	縄の閉端の環を横位交互施文。	前期中葉
143号土坑 甕上	1	深鉢 体部 ～底部	①・②・③・ 12	①にぶい褐色②粗砂 粒③普通	縦位器糸文。	中期後半
144号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①黒色②織維③良好	横位沈線を巡らせ、体部横位縄文羽状配置。	前期中葉
144号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①暗褐色②織維③良 好	体部縄文横位羽状施文。菱形構成。	前期中葉
144号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②織維③良好	2条一対の横位爪形文の中央に平行沈線施文。体部横位縄文羽状施文。	前期中葉
146号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①暗褐色②織維③良 好	波状口縁。多条の爪形文。	前期中葉
146号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②織維 ③良好	0段多段縄文施文。	前期中葉
147号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①赤褐色②粗砂③普 通	口唇部3条の細い爪形文巡らせる。	前期中葉
148号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②織 維③良好	縄の閉端の環を横位施文。	前期中葉
152号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①暗褐色②砂粒③良 好	波状口縁。口唇部多条の平行沈線。口縁部平行沈線による菱形区画。	前期中葉
152号土坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①暗褐色②織維③良 好	波状口縁。口唇部に沈線走る。口縁部ランダムな平行沈線施文。	前期中葉
152号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①明褐色②織維③良 好	体部縦に横位刻み隆線2条並行隆線上に瘤状貼付文。体部縄の閉端の環を横位施文。	前期中葉
152号土坑 甕上	4	深鉢 底部	①・②・③・ 6.0	①明赤褐色②砂粒③ 良好	横位縄文羽状施文。	前期中葉
153号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②織維③良好	口縁部平行沈線による菱形文。頸部横位平行沈線。	前期中葉

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
153号土坑 甕土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①黄褐色②繊維③良好	無節絡状帯。	前期中葉
153号土坑 甕土	3	土製品 丸玉	巾3.8長3.6 厚3.5	①褐色②細砂③良好	φ4mmの円孔貫通。無文。	前期中葉
156号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①橙色②繊維③普通	口唇部横位沈線廻らせる。	前期中葉
156号土坑 甕土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	羽状縄文。	前期中葉
156号土坑 甕土	3	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	横位縄文羽状施文。	前期中葉
160号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①黒褐色②繊維③良好	口唇部波状及び平行沈線施文。	前期中葉
160号土坑 甕土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①黒②繊維③良好	横位の平行沈線。2～3条の平行沈線間に横位コンパス文。	前期中葉
160号土坑 甕土	3	深鉢 口頸部	①・②・③・	①灰黄褐色②繊維③良好	横位の平行沈線。2～3条の平行沈線間に横位コンパス文。	前期中葉
160号土坑 甕土	4	深鉢 口縁部	①・②・③・	①黒②繊維③良好	横位の平行沈線。2～3条の平行沈線間に横位コンパス文。	前期中葉
160号土坑 甕土	5	深鉢 体部	①・②・③・	①黒褐色②繊維③良好	直前段合摺りを羽状施文。	前期中葉
160号土坑 甕土	6	深鉢 体部	①・②・③・	①黒褐色②繊維③良好	直前段合摺りを羽状施文。	前期中葉
164号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	口唇突起。φ12mm円孔。内外面隆線区画。	中期後半
164号土坑 甕土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による楕円形区画。区画内縄文 RL。	中期後半
164号土坑 甕土	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	巾6mmの凹線多条に廻らせる。	中期後半
164号土坑 甕土	4	深鉢 底部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位凹糸施文。	中期後半
166号土坑 +36	1	深鉢 口縁 ～底部	① 21.8 ② 25.9 ③ 8.6	①にぶい橙色②砂粒③良好	4単位の口唇突起。2条一對の横位沈線廻らせる。3条一對の沈線による連弧文。体部下位に3条一對の横位沈線廻らせる区画。条組文施文。	中期後半
166号土坑 甕土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	3条一對の弧状沈線施文。縄文 RL。	中期後半
166号土坑 甕土	3	深鉢 体部	①・②・③・	①赤褐色②砂粒。角 四行③良好	縦位隆線で区画。区画内縄文 RL。	中期後半
166号土坑 甕土	4	深鉢 体部	①・②・③・	①暗褐色②砂粒③良好	口縁部隆線で区画。区画内縦位沈線施文。頸部無文。	中期後半
166号土坑 甕土	5	深鉢 底部	①・②・③・ 7.0	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。	中期後半
168号土坑 +4	1	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	4単位の波状口縁。口唇部小突起。連続切み。直下に2条の平行沈線。多状の平行沈線により菱形文描出。頸部多状の平行沈線廻らせる。体部羽状縄文菱形構成。	前期中葉
169号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	縄文 LR。	前期中葉
169号土坑 甕土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②繊維③良好	縄文 LR。	前期中葉
171号土坑 +40	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
171号土坑 甕土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①赤褐色②砂粒③良好	横位隆線で区画。凹糸文。	中期後半
171号土坑 +40	3	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	横位沈線から縦位蛇行沈線施文。凹糸文。	中期後半
171号土坑 甕土	4	深鉢 底部	①・②・③・ 8.0	①明赤褐色②粗砂粒③良好	縦位隆線で区画。内面炭化物付着。	中期後半
171号土坑 +40	5	深鉢 体～底部	①・②・③・ 6.6	①赤褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
172号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②繊維③良好	口縁部多段の横位爪形文。	前期中葉
172号土坑 甕土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②繊維③良好	縄文施文。	前期中葉
172号土坑 甕土	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②繊維③良好	羽状施文菱形構成。	前期中葉
172号土坑 甕土	4	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明褐色②砂粒。角 四行③良好	縄文 RL。	前期後半
172号土坑 甕土	5	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②砂粒③良好	口唇部深い横位平行沈線廻らせる。口縁部爪形文を横位に多条施文する。	前期中葉
172号土坑 甕土	6	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②繊維③良好	縄の閉端の凹を横位施文し、羽状配置。	前期中葉
172号土坑 甕土	7	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②繊維③良好	頸部横位爪形文で区画。体部縄の閉端の凹を横位に交互施文。	前期中葉

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
172号土坑 覆土	8	深鉢 底部	①・②・③・	①灰褐色②繊維③良好	僅かに上げ状を呈する。端部縄文施文。	前期中葉
173号土坑 +6	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②繊維③良好	口唇部と体部境に刻み隆線を横位に巡らさず区画。区画内器表面無文並に凹形文。体部踵の閉端の環横位施文。	前期前葉
173号土坑 覆土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②繊維③良好	踵の閉端の環横位施文。	前期前葉
174号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊維③良好	写真のみ掲載。羽状縄文。	前期前葉
174号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①暗褐色②繊維③良好	写真のみ掲載。縄文 RL。	前期前葉
174号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②砂粒③良好	写真のみ掲載。口唇部爪形文並り、口縁部縄文。	前期前葉
174号土坑 覆土	4	深鉢 体部	①・②・③・	①灰褐色②砂粒③良好	写真のみ掲載。0段多状を羽状配置。	前期前葉
174号土坑 覆土	5	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②繊維③良好	写真のみ掲載。直前段合わせ器り。	前期前葉
174号土坑 覆土	6	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊維③良好	写真のみ掲載。0段多状を羽状配置。	前期前葉
174号土坑 覆土	7	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊維③良好	写真のみ掲載。波状口縁。口縁部0段多状縄文を爪形文で区画。区画内爪形文による菱形描出。	前期前葉
174号土坑 覆土	8	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	写真のみ掲載。横位の爪形文で区画。体部踵の閉端の環施文。	前期前葉
174号土坑 覆土	9	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊維③良好	写真のみ掲載。爪形文による菱形区画。	前期前葉
174号土坑 覆土	10	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②繊維、 片岩③良好	写真のみ掲載。直線及び弧状の爪形文より文様描出。	前期前葉
174号土坑 覆土	11	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②繊維③良好	写真のみ掲載。器表面摩耗。縄文施文。	前期前葉
174号土坑 覆土	12	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊維③良好	写真のみ掲載。0段多状を羽状配置。	前期前葉
174号土坑 覆土	13	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	写真のみ掲載。踵の閉端の環を横位に施文。	前期前葉
174号土坑 覆土	14	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊維③良好	写真のみ掲載。縄文施文。	前期前葉
175号土坑 +31	1	深鉢 底部	①・②・③・	①褐色②細砂多③良好	無文。	中期後半
176号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口唇内面段を有する。外面無文。頸部刻み隆線並る。	中期後半
176号土坑 覆土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	縄文 RL。	中期後半
176号土坑 覆土	3	深鉢 底部	①・②・1.3 ③ 8.6	①にぶい褐色②砂粒③良好	縄文 LR。	中期後半
177号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画。楕円形区画内斜位波線。頸部無文。体部との境に波線一条並る。	中期後半
189号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②繊維③普通	器表面摩耗。口縁部斜位の波線施文。	前期中葉
189号土坑 覆土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②繊維③良好	附加条施文。	前期中葉
189号土坑 覆土	3	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②繊維③良好	附加条施文。	前期中葉
191号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	0段多条を羽状施文。	前期中葉
201号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①・②・③・	①明褐色②砂粒③良好	横位刻み隆線により区画。区画内も刻み隆線により文様描出。凹形文。	前期前葉
201号土坑 覆土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	踵の閉端の環を横位に交互施文。	前期前葉
201号土坑 覆土	3	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	踵の閉端の環を横位に交互施文。	前期前葉
203号土坑 +1	1	深鉢 体部	①・②・③・	①黒褐色②繊維③良好	器表面摩耗。横位羽状施文変形構成。	前期中葉
203号土坑 +1	2	深鉢 体部	①・②・③・	①暗褐色②繊維③良好	口縁部横位羽状施文。	前期中葉
203号土坑 +1	3	深鉢 体部	①・②・③・	①暗褐色②繊維③良好	波状口縁。爪形文により区画。菱形文をつくる。体部縄文横位羽状施文、変形構成。	前期中葉
203号土坑 +1	4	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	器表面摩耗。体部縄文横位羽状施文、変形構成。	前期中葉
209号土坑 +13	1	深鉢 口縁 ～体部	① 22.0 ② ③	①暗褐色②繊維③良好	0段多条の単節と複節を用いて羽状配置。	前期中葉
209号土坑 +13	2	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①暗褐色②繊維③良好	0段多条の単節と複節を用いて羽状配置。	前期中葉



遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
214号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①赤褐色②砂粒③良好	頭部無文帯。体部端2条の隆線巡らせる。体部縦位沈線で区画。地文縦位筋糸。	中期後半
214号土坑 甕土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①赤褐色②砂粒③良好	縄文LR充填。	中期後半
214号土坑 甕土	3	深鉢 底部	①・②・③・ 13.0	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位筋糸文。	中期後半
219号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明黄褐色②砂粒③良好	波状口縁。口縁部隆線による渦巻文。	中期後半
219号土坑 甕土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①暗褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による区画。区画内縦位沈線。	中期後半
223号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	波状口縁。平行沈線による菱形文。	前期中葉
223号土坑 甕土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①黒褐色②繊維③良好	0段多条施文。	前期中葉
223号土坑 甕土	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①黒褐色②繊維③良好	附加条施文。	前期中葉
225号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②繊維③良好	波状口縁。口唇部と頸部に刻み隆線巡る。口縁部縦位断面状沈線文。	前期中葉
228号土坑 甕土	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②繊維③良好	0段多条の羽状配置。	前期中葉
228号土坑 甕土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊維③良好	0段多条の羽状配置。	前期中葉
232号土坑 甕土	1	深鉢 底部	①・②・③・ 12.4	①②砂粒③良好	器面摩耗。	中期後半
235号土坑 甕土	1	深鉢 体部	①・②・③・	①灰褐色②繊維③良好	横位の縄の閉端の環を交互施文。	前期前葉
235号土坑 甕土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊維③良好	小波状口縁。横位の縄の閉端の環を交互施文。	前期前葉
235号土坑 甕土	3	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②繊維③良好	横位の縄の閉端の環を交互施文し羽状配置。	前期前葉
235号土坑 甕土	4	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	横位の縄の閉端の環を交互施文し羽状配置。	前期前葉
235号土坑 甕土	5	深鉢 底部	①・②・③・ 9.6	①赤褐色②繊維③良好	横位の縄の閉端の環。	前期前葉
237号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 軽石③良好	口縁部隆線により楕円形区画。楕円形区画内縄文RL。頸部無文帯。	中期後半
241号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口唇部刻み状に列点押入。口縁部縦位沈線をほぼ等間隔施文。	中期後半
241号土坑 甕土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部縦位沈線をほぼ等間隔施文。	中期後半
241号土坑 甕土	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	隆線による楕円形区画。区画内φ8mmの円形刺突文。	中期後半
241号土坑 甕土	4	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
242号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部肥厚。沈線による渦巻文。	中期後半
242号土坑 甕土	2	深鉢 底部	①・②・③・ 7.4	①褐色②砂粒③良好	無文。底面縄文圧痕。	中期後半
242号土坑 甕土	3	深鉢 体部	①・②・③・	①淡黄②砂粒③良好	無文帯に蕨手文。沈線による楕円形区画。区画内縄文RL。	中期後半
242号土坑 甕土	4	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。区画内縄文RLRを充填する。	中期後半
242号土坑 甕土	5	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	沈線により縦位楕円形区画をつくり、区画内に縄文RLを充填。	中期後半
244号土坑 甕土	1	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	縄文LR施文。	前期中葉
244号土坑 甕土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	縄の閉端の環を横位に施文。	前期中葉
244号土坑 甕土	3	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	頸部隆線を巡らせ、体部に縄の閉端の環を横位に施文。	前期中葉
245号土坑 甕土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口唇部に横位沈線巡らせ、体部縦位の条痕。	中期後半
245号土坑 甕土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	附加条。	前期後半
246号土坑 甕土	1	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	1条の弧状沈線。縄文RL。	中期後半
246号土坑 甕土	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	渦巻き文状隆線。弧状沈線区画内縄文RL。	中期後半
246号土坑 甕土	3	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	頸部3条の横位沈線で区画。頸部無文。	中期後半

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
246号土坑 甕上	4	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	櫛歯状工具による綾杉文。	中期後半
246号土坑 甕上	5	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。	中期後半
246号土坑 甕上	6	深鉢 体～底部	①・②・③・ 9.8	①褐色②砂粒③良好	縄文 RL をわずかに確認。	中期後半
251号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	波状口縁。口唇部複数の縦手文。縄文 LR。	中期後半
251号土坑 +12	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口唇部横位沈線通り。沈線間列突。体部沈線による縦手文施文。縄文 LR。	中期後半
251号土坑 甕上	3	深鉢頸部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	「ハ」の形状刻みをもつ横位隆帯1条通る。頸部無文。体部縄文 RL。	中期後半
252号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①黒褐色②砂粒③普通	口唇部横位1条の沈線で区画する。縄文 RL。	中期後半
252号土坑 +8	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口縁部横位隆線を巡らせ、沈線による楕円形区画。	中期後半
252号土坑 +6	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②細砂粒③良好	口縁部横位隆線及び沈線通り。縄文 RL 施文。	中期後半
252号土坑 +1	4	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①②砂や灰や多③良好	口唇部横位1条の沈線で区画する。横位沈線から「丁」字に縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
252号土坑 ±0	5	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	幅広い縦位無文帯で沈線で区画する。縄文 LR。	中期後半
252号土坑 +13	6	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部横位隆線で区画。体部縄文 LR。	中期後半
252号土坑 +11	7	深鉢 口縁部	①・②・③・	①赤褐色②細砂粒③良好	無文。	中期後半
252号土坑 +13	8	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	波状口縁。口縁部横位沈線で区画。体部沈線で区画し、楕円形区画内側消縄文。	中期後半
252号土坑 甕上	9	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②砂粒③良好	口唇部三角形状に突出。突出部より2重沈線により木葉状に区画。沈線間無文。区画内縄文 RL。	中期後半
252号土坑 +6	10	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰黄色②砂粒③良好	口縁部横位沈線で区画。体部縄文 LR 充填。	中期後半
252号土坑 ±0	11	深鉢 口縁部	①・②・③・	①赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆線により楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内側短沈線2段に施文。体部2条一対の縦位沈線区画。区画内縦位短沈線施文。	中期後半
252号土坑 +2	12	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。区画内縦位短沈線。	中期後半
252号土坑 +4	13	深鉢 体部	①・②・③・	①黄灰色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内側沈線充填。	中期後半
252号土坑 +17	14	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒、赤色粒③良好	縄文 LR 充填。	中期後半
252号土坑 +10	15	深鉢 体部	①・②・③・	①黄褐色②砂粒、赤色粒③良好	沈線により区画。区画内縄文 LR 充填。	中期後半
252号土坑 +6	16	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	器糸文充填。	中期後半
252号土坑 +7	17	深鉢 体部	①・②・③・	①赤褐色②砂粒③良好	刻み入る縦位隆帯により区画。区画内縦位沈線。	中期後半
252号土坑 +6	18	深鉢 体部	①・②・③・	①暗赤褐色②砂粒③良好	縦位の細密条線。	中期後半
252号土坑 +4	19	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	沈線により木葉状区画。区画内縄文 LR 充填。	中期後半
252号土坑 甕上	20	深鉢台部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
259号土坑 +5	1	深鉢 体～底部	①・②・③・ 8.5	①②砂粒③良好	体部上位隆帯による楕円形区画及び渦巻文。体部櫛歯状工具による縦位波状施文。	中期木葉
259号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	弧状沈線による区画。区画内φ4mmの円形刺突を列点状に配置。	後期前半
259号土坑 +34	3	深鉢 体部	①・②・③・	①浅黄褐色②砂粒③良好	弧状沈線による区画。縄文 LR。端部打ち欠き甕。	中期後半
262号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①浅黄褐色②砂粒③良好	波状口縁。口縁部隆線による区画。縄文 RL。	中期後半
262号土坑 甕上	2	深鉢 頸部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	横位3条の沈線通る。沈線上下に三角区画あり。	中期後半
262号土坑 +14	3	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
265号土坑 +19	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部隆沈線による区画。区画内2条の弧状沈線で区画。縄文 RL 充填。	中期後半
265号土坑 +18	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部隆沈線による区画。区画内2条の弧状沈線で区画。縄文 RL 充填。	中期後半
265号土坑 +20	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①浅黄褐色②砂粒③良好	器表面摩滅。口縁部隆線による楕円区画。区画内縄文。	中期後半

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
265号土坑 +20	4	深鉢 主体部	①・②・③・	①浅黄褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線による区画。区画内縄文 RL。	中期後半
265号土坑 +13	5	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐灰②砂粒③良好	口縁部横位隆線による区画。体部器文。	中期後半
265号土坑 +19	6	深鉢 主体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	体部2条一對の縦位隆線により区画。区画内器文。	中期後半
270号土坑 +35	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口唇部に横位沈線。体部羽状模文。	中期後半
270号土坑 +26	2	深鉢 主体部	①・②・③・	①灰褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。区画内縄文 RL 充填。	中期後半
270号土坑 +39	3	深鉢 主体部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。区画内縄文 RL 充填。	中期後半
271号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による渦巻文。	中期後半
271号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆線及び凹線で区画。	中期後半
271号土坑 覆土	3	深鉢 主体部	①・②・③・	①浅黄②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。区画内縄文 RL。	中期後半
271号土坑 覆土	4	深鉢 底部	①・②・③・ 8.4	①浅黄褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。	中期後半
271号土坑 覆土	5	深鉢 主体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	弧状隆帯による区画。区画内弧状刺突。	中期後半
281号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐灰色②砂粒③良好	口縁部内外面隆線。無文。	中期後半
282号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①浅黄褐色②砂粒③良好	沈線により文様抽出。	中期後半
289号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①黄褐色②砂粒③良好	波状口縁。隆線による渦巻文。縄文 RL。	中期後半
289号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部横位2条沈線。T字に垂下する3条の沈線で区画。区画内縄文。	中期後半
289号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	波状口縁。隆線による渦巻文。	中期後半
289号土坑 覆土	4	深鉢 主体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画。体部縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
289号土坑 土0	5	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縄文 RL。体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
289号土坑 覆土	6	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口縁部横位隆線による区画。区画内縄文 RL。	中期後半
291号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	沈線による区画。縄文 RL。	中期後半
291号土坑 +69	2	深鉢 主体部	①・②・③・	①明黄褐色②砂粒③良好	橋状把手。縮部欠損。縄文 RL。	中期後半
291号土坑 +25	1	深鉢 突帯	①・②・③・	①黒褐色②砂粒③良好	口縁突帯。φ20mmの円孔。沈線による三角形区画。区画内縄文 RL。	後期前半
292号土坑 +20	2	深鉢 体~底部	①・②・③・ 8.6	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	縄文 RL。	中期後半
297号土坑 +1	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による区画。区画内縦位沈線。	中期後半
299号土坑 +27	1	深鉢 口縁 ~体部	① 45.0 ②・ ③	①浅黄色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縄文 LRL。体部2条一對の縦位沈線で区画。区画内櫛歯状工具による縦位波状沈線。下半は縄文器文。	中期後半
299号土坑 +29	2	深鉢 底部	①・②・③・ 13.6	①にぶい褐色②砂粒③良好	3条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
309号土坑 +17	1	深鉢 口縁 ~体部	① 18.0 ②・ ③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縄文 LRL 充填。体部2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半
309号土坑 +11	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による区画。区画内沈線による矢羽模文。	中期後半
309号土坑 +36	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
309号土坑 覆土	4	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による区画。区画内縦位沈線。	中期後半
309号土坑 +43	5	深鉢 底部	①・②・③・	①②砂粒③良好	隆帯1条。無文。	中期後半
309号土坑 +17	6	深鉢 底部	①・②・③・ 8.6	①にぶい褐色②砂粒③良好	縦位沈線による区画。	中期後半
310号土坑 +36	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
310号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口唇部2条の横位沈線。櫛歯状工具による縦位隆線後、3条一對の連弧状沈線。	中期後半
317号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
321号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	口唇部三角形隆帯。頂部縄文 LR 施文。頸部無文。	中期後半
322号土坑 +27	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい褐色②細砂粒③良好	口縁部小突起。φ12mmの円孔。内面円孔脇にφ6mmの刺突。	後期前半
322号土坑 +5	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①淡黄②砂粒③良好	口縁部小突起。外面φ8mm円形刺突。内面同径の円形押圧。	後期前半
330号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①淡黄②砂粒③良好	波状口縁。沈線による楕円区画。区画内縄文 LR。	後期前半
331号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい褐色②細砂粒③良好	口縁部2条の沈線による方形区画。	後期前半
335号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	① 19.0 ② ③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL 充填。体部2条一対の縦位沈線で区画。	中期後半
335号土坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL 充填。体部2条一対の縦位沈線で区画。	中期後半
335号土坑 甕上	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部沈線による区画。	中期後半
335号土坑 甕上	4	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縄文 RL 充填。	中期後半
336号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	頸部横位隆帯に刻み押圧列。体部縦位沈線密。	中期後半
348号土坑 +19	1	深鉢 口縁 ～体部	① 22.4 ② ③	①灰白色②砂粒③良好	口唇部板状の舌状突起。口縁部隆線による「∞」字区画。区画内縄文 RL。体部縦位沈線により区画。縄文 RL。	中期後半
348号土坑 +26	2	深鉢 口縁 ～体部	① 30.0 ② ③	①淡黄色②砂粒③良好	口縁部無文。肩部隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL。体部縦位沈線。	中期後半
348号土坑 +13	3	深鉢 口縁 ～体部	① 31.0 ② ③	①灰黄褐色②砂粒③良好良好	口縁部隆線による楕円形区画に「∞」字文。区画内縄文 RL。	中期後半
348号土坑 +26	4	深鉢 体部 ～底部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好良好	2条一対の縦位沈線で区画。区画内滑潤縄文と縄文 RL 充填均等配分。	中期後半
348号土坑 +7	5	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部無文。体部縦位沈線。	中期後半
348号土坑 甕上	6	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。区画内滑潤縄文と縄文 RL 充填均等配分。区画内縄文 RL。	中期後半
348号土坑 +40	7	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	2条一対の縦位沈線で区画。区画内縄文 LR。	中期後半
349号土坑 +21	1	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③	①褐色②砂粒多③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縄文 RL。体部2条一対の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
349号土坑 甕上	2	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③	①赤褐色②砂粒③良好	口縁部幅広い縦位沈線。体部隆帯による楕円形区画。隆線脇に6mm列点文。区画内弧状刻み沈線施文。	中期後半
349号土坑 甕上	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①赤褐色②砂粒③良好	口唇部肥厚。口唇下に凹線走る。横位波状沈線施文。	中期後半
349号土坑 甕上	4	深鉢 体部	①・②・③	①灰黄褐色②砂粒③良好	弧状沈線区画。沈線間縄文 RL。	中期後半
349号土坑 甕上	5	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	縦位沈線による区画。涙滴状刺突。	中期後半
349号土坑 甕上	6	深鉢 底部	①・②・③ 5.4	①褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
349号土坑 +15	7	深鉢 体～底部	①・②・③ 12.4	①褐色②砂粒③良好	2条一対の縦位隆線により区画。	中期後半
349号土坑 甕上	8	器台	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	円孔2対。	中期後半
350号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	口唇頂部凹線走る。口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。	中期後半
350号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	2条一対の縦位沈線区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 LR。	中期後半
351号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①赤灰色②砂粒③良好	口縁部短外反。無文。横位把手欠落。	中期後半
351号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
352号土坑 +30	1	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	短口縁。頸部跨状隆線横位に巡らせる。体部沈線による楕円形及び渦巻文。	中期後半
352号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	跨状横位隆帯巡らせ。隆帯下φ8mmの円形刺突を横位列点状に多段に配置。	中期後半
352号土坑 +37	3	有坑 跨状 土器底部	①・②・③	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部φ6mmの円孔をほぼ等間隔に横位に配置。肩部隆帯巡り。横位把手を有する沈線施文。	中期後半
352号土坑 +31	4	浅鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
352号土坑 +22	5	浅鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
352号土坑 甕上	6	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
352号土坑 +35	7	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円区画。区画内縄文 RL 充填。	中期後半
352号土坑 甕上	8	深鉢 口縁部	①・②・③	①明褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円区画。区画内縄文 RL 充填。	中期後半
352号土坑 +23	9	深鉢 口縁部	①・②・③	①暗褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円区画及び渦巻文。楕円区画内縄文 LRL 充填。内面縦線による火傷痕。	中期後半
352号土坑 甕上	10	深鉢 口縁部	①・②・③	①黒褐色②砂粒③良好	沈線により楕円区画。楕円区画内斜位の短沈線。	中期後半
352号土坑 +15	11	浅鉢 口縁 ～体部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	口縁部無文。肩部隆帯による楕円区画及び渦巻文。楕円区画内縄文 RL。	中期後半
352号土坑 +32	12	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円区画。楕円区画内縄文 RL 充填。体部2条一對の縦位沈線による区画。区画内縄文 RL。	中期後半
352号土坑 +12	13	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③	①黒色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円区画及び渦巻文。楕円区画内縄文 LRL 充填。体部沈線による楕円区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
352号土坑 +23	14	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③普通	器面摩滅。2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
352号土坑 +19	15	深鉢 体部	①・②・③	①明褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
352号土坑 +25	16	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
352号土坑 +19	17	深鉢 体部	①・②・③	①黒褐色②砂粒③良好	縄文 LRL。	中期後半
352号土坑 +30	18	深鉢 体部	①・②・③	①赤褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 LRL。	中期後半
355号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②細砂粒③良好	口縁部2条の横位沈線並る。	中期後半
355号土坑 甕上	2	深鉢 把手	①・②・③	①にぶい褐色②砂粒③良好	橋状把手。隆線により区画。	中期後半
355号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	横位隆帯寄り、縦位沈線2条一對。縄文 LRL。	中期後半
355号土坑 甕上	4	深鉢 体部	①・②・③	①明黄褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
356号土坑 +20	1	深鉢 口縁 ～体部	① 46.2 ② ③	①明黄褐色②砂粒小石・砂粒含む③良好	口縁部隆帯による楕円区画及び渦巻文。楕円区画内は縄文 LRL 充填。頸部無文帯。頸部隆線並らさず、縦位隆帯により方形区画。区画内縄文 LRL 充填。	中期後半
356号土坑 +17	2	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	波状口縁。口縁部隆帯による楕円区画及び渦巻文。楕円区画内斜位沈線。頸部無文帯。体部境に2条の沈線並る。	中期後半
356号土坑 +24	3	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による区画。体部2条一對の縦位沈線で区画。沈線間磨り消し縄文。区画内縄文 LRL。	中期後半
356号土坑 +21	4	深鉢 体部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。沈線間は幅広無文の磨消縄文帯となる。縄文 LRL。	中期後半
356号土坑 甕上	5	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい褐色②砂粒③良好	波状口縁。隆帯による楕円区画。楕円区画内縄文 RL 充填。	中期後半
356号土坑 甕上	6	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	隆帯及び凹線による区画。	中期後半
356号土坑 甕上	7	深鉢 口頭部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	口縁部横位波状沈線及び平行沈線並る。頸部2条一對の横位沈線並る。	中期後半
356号土坑 甕上	8	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③良好	口縁部2条の隆線寄り、隆線間刻み状沈線並る。頸部境に3条の沈線並る。縄文 RL。	中期後半
356号土坑 +17	9	深鉢 体部	①・②・③	①明黄褐色②砂粒③良好	2条の対の縦位沈線で区画。縄文 LRL。	中期後半
356号土坑 +34	10	深鉢 体～底部	①・②・③ 5.0	①褐色②砂粒③良好	3条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
356号土坑 +41	11	深鉢 底部	①・②・③ 5.0	①褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半
357号土坑 +55	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②細砂粒③良好	波状口縁。隆線による楕円区画及び渦巻文。体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文 RL。	中期後半
357号土坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒。白色粒③良好	口唇部凹線並る。	中期後半
357号土坑 甕上	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
357号土坑 +57	4	深鉢 体部	①・②・③	①褐色灰②砂粒③良好	頸部横位隆線並る。体部2条一對縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 LRL。	中期後半
358号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①黒褐色②繊維③良好	横位平行沈線で多段に配置。	前期中葉
358号土坑 +15	2	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい褐色②繊維③良好	体部縄文横位羽状施文。	前期中葉
358号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③	①褐色②繊維③良好	体部縄文横位羽状施文。	前期中葉
358号土坑 +5	4	深鉢 体部	①・②・③	①黒褐色②繊維③良好	体部縄文横位羽状施文。	前期中葉

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
360号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②砂粒、白色 ③良好	口縁部隆線による楕円形区画。区画内縄文 RL を充填。	中期末葉
361号土坑 +16	1	深鉢 口縁 ～体部	① 37.0 ② ③	①にぶい褐色②粗砂、 茶色、白色粒③良好	口縁部横位隆線通り「T」字に縦位隆線垂下する。区画内は滑巻縄文の無文帯と縄文 RL を充填区画が均等に分かれる。	中期末葉
361号土坑 +8	2	深鉢 体部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	隆線により縦位区画。区画内滑巻縄文の無文帯と縄文 RL を充填区画が均等に分かれる。	中期末葉
361号土坑 +16	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂 粒③普通	口縁部横位隆線通る。縄文 LR。	中期末葉
361号土坑 +3	4	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②砂粒、茶色 ③良好	口縁部横位隆線通る。縄文 LR。	中期末葉
361号土坑 +9	5	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③ 良好	口縁部横位隆線通る。「T」字に2条一対の縦位隆線垂下する。無文帯中広。	中期末葉
361号土坑 +10	6	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	口縁部隆線通り、「T」字に隆線垂下する。半円状凹線区画あり。	中期末葉
361号土坑 +12	7	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	縦位隆線で区画。縄文 LR。	中期末葉
361号土坑 +5	8	深鉢 口縁部	① 31.0 ② ③	①明黄褐色②砂粒③ 良好	口縁部横位隆線通る。	中期末葉
361号土坑 ±0	9	深鉢 体部	①・②・③	①浅黄②砂粒③良好	縄文 RL 充填。	中期末葉
361号土坑 +37	10	深鉢 体部	①・②・③	①浅黄②砂粒③普通	弧状隆線により区画。縄文 RL。	中期末葉
361号土坑 +5	11	深鉢 体部	①・②・③	①浅黄褐色②砂粒多 ③良好	器表面摩耗。縦位隆線により区画縄文 RL。	中期末葉
361号土坑 +18	12	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③ 良好	隆線により区画及び滑巻文描出。区画内縦位短沈線。	中期末葉
361号土坑 +16	13	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③	①赤褐色②砂粒③良 好	口縁部隆線により楕円形区画。楕円形区画内2段の短沈線充填。体部も縦 位短沈線施文。	中期末葉
361号土坑 甕上	14	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	口縁部橋状把手割落痕あり。体部弧状沈線で区画。縄文 RL。	中期末葉
361号土坑 +35	15	深鉢 口縁部	①・②・③	①浅黄②砂粒③良好	口縁部横位隆線通る。体部沈線による区画。縄文 LR。	中期末葉
361号土坑 +5	16	深鉢 口縁部	① 14.0 ② ③	①褐色②砂粒③普通	器表面摩耗。4単位波状口縁。沈線により文様描出。	中期末葉
361号土坑 甕上	17	深鉢 口縁部	①・②・③	①黒褐色②砂粒③良 好	口縁部横位隆線通る。体部沈線を波状施文し区画する。縄文 RL。	中期末葉
361号土坑 甕上	18	浅鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂 粒③普通	器表面摩耗。口縁部隆線通る。縄文 RL。	中期末葉
361号土坑 甕上	19	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂 粒③普通	器表面摩耗。口唇部突起欠損。口縁部隆線通る。縄文 RL。	中期末葉
361号土坑 甕上	20	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③ 良好	口唇部2列の爪形文通る。体部弧状沈線で区画。縄文 LR。	中期末葉
361号土坑 甕上	21	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③ 良好	口縁部沈線通る。縄文 RL。	中期末葉
361号土坑 甕上	22	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③ 良好	体部沈線による楕円形区画。縄文 LR。	中期末葉
361号土坑 +14	23	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	沈線による縦位の木葉文。区画内縄文 LR。	中期末葉
361号土坑 +32	24	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②粗 砂粒③良好	体部沈線による楕円形区画。縄文 RL。	中期末葉
361号土坑 +8	25	深鉢 把手	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	橋状把手。頂部に隆帯貼付。断面三角形形状を呈する。縄文 LR 充填。	中期末葉
361号土坑 +4	26	深鉢 把手	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	橋状把手。頂部に隆帯貼付。断面三角形形状を呈する。縄文 LR 充填。	中期末葉
361号土坑 +10	27	深鉢 把手	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	橋状把手。頂部に隆帯貼付。断面三角形形状を呈する。無文。	中期末葉
361号土坑 甕上	28	深鉢 把手	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	橋状把手。頂部に隆帯貼付。断面三角形形状を呈する。無文。	中期末葉
361号土坑 +14	29	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒、 茶色粒③良好	沈線による滑巻文。縄文 RL。	中期末葉
361号土坑 甕上	30	深鉢 体部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	2条一対の縦位隆線で区画。	中期末葉
361号土坑 +19	31	深鉢 体部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	火撥ね痕有り。縄文 LR 充填。	中期末葉
361号土坑 +34	32	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	沈線による滑巻文。縄文 LR。	中期末葉
361号土坑 +4	33	深鉢 底部	①・②・③ 7.5	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	無文。	中期末葉
361号土坑 甕上	34	深鉢 底部	①・②・③ 8.0	①褐色②砂粒③良好	無文。	中期末葉

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
361号土坑 +4	35	深鉢 体~底部	①・②・③・	①にぶい黄色②砂粒 多③普通	器表面摩耗。縄文 RL。	中期末葉
361号土坑 +6	36	深鉢 体~底部	①・②・③ 6.0	①にぶい黄褐色②砂 粒、白色粒③普通	まばらに縄文 LR 施文残る。	中期末葉
362号土坑 壇上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③ 良好	口唇部沈線帯。口縁部沈線による横手文及び弧状施文。縄文 RL。	中期後半
362号土坑 壇上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	体部「T」字に隆線で区画。区画内蛇行沈線。縄文 RL。内面煤付着。	中期後半
362号土坑 壇上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③ 良好	縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期後半
362号土坑 壇上	4	深鉢 底部	①・②・③ 7.6	①明褐色②砂粒③良 好	2条一対の縦位沈線で区画。底部肥厚。	中期後半
362号土坑 壇上	5	深鉢 底部	①・②・③ 8.6	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	無文。	中期後半
362号土坑 壇上	6	深鉢 脚部	①・②・③ 5.2	①褐色②砂粒③良好	「ハ」の字に開く脚部。	中期後半
365号土坑 壇上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	器底施文後、沈線により弧状施文。	中期後半
366号土坑 +24	1	深鉢 口縁 ~体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画。楕円形区画内縄文 RL。体部縦位沈線により 区画。縄文 RL。	中期後半
367号土坑 壇上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	縦位沈線による区画。区画内蛇行沈線。縄文 RL。	中期後半
367号土坑 壇上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	隆線による楕円形区画。体部縦位沈線による区画。縄文 RL。	中期後半
368号土坑 +53	1	深鉢 口縁 ~体部	①・②・③ 27.1	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	沈線による縦位小判状区画。区画内縄文 LR 充墳。	中期後半
368号土坑 壇上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	隆帯による楕円形区画。区画内縦位矢羽根状沈線。	中期後半
368号土坑 壇上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	縦位沈線で区画。区画内縦位矢羽根状沈線。	中期後半
368号土坑 壇上	4	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒、茶色粒③良好	縦位沈線で区画。区画内縦位矢羽根状沈線。	中期後半
368号土坑 壇上	5	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄色②砂粒 ③普通	器表面摩耗。縦位沈線で区画。区画内縄文 LR 施文。	中期後半
369号土坑 壇上	1	深鉢 底部	①・②・③ 7.0	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	縦位沈線による区画。	中期後半
370号土坑 壇上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画。区画内斜位沈線充墳。	中期後半
370号土坑 壇上	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良 好	波状口縁。弧状隆線。	中期後半
370号土坑 壇上	3	深鉢 把手	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	橋状把手。2条の縦位隆線で区画。縄文 RL。	中期後半
370号土坑 壇上	4	深鉢 体部	①・②・③・	①浅黄褐色②砂粒や 多③良好	筋部無文。体部縦位の条線。	中期後半
370号土坑 壇上	5	深鉢 体部	①・②・③・	①明黄褐色②砂粒③ 普通	器表面摩耗。縦位沈線による区画。縄文 RL。	中期後半
370号土坑 壇上	6	深鉢 底部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒③普通	2条一対の縦位沈線で区画。	中期後半
372号土坑 壇上	1	浅鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	無文。内外面赤色塗彩痕見られる。	中期後半
372号土坑 壇上	2	浅鉢 口縁部	①・②・③・	①黄褐色②砂粒③良 好	口縁部、磨き痕明瞭。	中期後半
372号土坑 壇上	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	口唇部沈線帯。口縁部沈線により区画。縄文 LR。	中期後半
372号土坑 壇上	4	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	沈線により区画。区画内横位矢羽根状沈線。	中期後半
372号土坑 壇上	5	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	隆線による楕円形区画。区画内横位矢羽根状沈線。	中期後半
372号土坑 壇上	6	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	隆帯による楕円形区画。楕円形区画内縄文 LR 充墳。	中期後半
372号土坑 壇上	7	深鉢 底部	①・②・③ 8.6	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	無文。	中期後半
374号土坑 壇上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③ 良好	無文。	中期後半
374号土坑 壇上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②粗砂粒 ③良好	涙滴状刺突文縦位配置。	中期後半
379号土坑 +22	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②横線 ③良好	踵の閉端の環を横位交互施文。	前期前葉
379号土坑 +19	2	深鉢 体部	①・②・③・	①灰褐色②横線③良 好	体部横位羽状施文。	前期前葉

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
379号土坑 +26	3	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②繊 維③良好	体部横位羽状施文	前朝前葉
379号土坑 +19	4	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②繊維 ③良好	体部横位羽状施文	前朝前葉
380号土坑 甕上	1	浅鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	無文。	中朝後半
380号土坑 +50	2	浅鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	沈線による縦位綾杉文。	中朝後半
380号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①黒褐色②砂粒③良 好	縄文 LR 充填。	中朝後半
380号土坑 甕上	4	浅鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	無文。	中朝後半
380号土坑 +33	5	深鉢 体部	①・②・③・	①明褐色②砂粒③良 好	2条の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中朝後半
381号土坑 +7	1	深鉢 口縁 ~体部	① 43.0 ② ③・	①褐色②砂粒③良好	口唇部僅かな段差を設け体部と区画。「丁」字に縦位隆線垂下させ区画。無 文帯と縄文 LR を充填区画をほぼ等間隔に配置する。	中朝後葉
381号土坑 甕上	2	深鉢 口縁 ~体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良 好	口唇部僅かに無文。縄文 LR。	中朝後半
381号土坑 +59	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	口縁部横位隆線と体部縦位隆線で区画。縄文 LR。	中朝後半
381号土坑 甕上	4	深鉢 口縁 ~体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	口唇部沈線 1条通る。体部沈線下の横位施文。縄文 LR。	中朝後半
381号土坑 甕上	5	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良 好	口縁部隆帯による横位区画及び縦手文。区画内縦位沈線。体部 2条一対 の縦位隆帯で区画。縄文 LR。	中朝後半
381号土坑 甕上	6	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	波状口縁。隆線による渦巻き文。	中朝後半
381号土坑 甕上	7	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明褐色②砂粒③良 好	橋状把手。把手上部隆線帯貼付。把手内沈線で区画。縄文 LR。	中朝後半
381号土坑 +50	8	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	口縁部無文。段差を有し体部へ移行。縄文 LR。	中朝後半
381号土坑 甕上	9	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	弧状沈線による区画。区画内縄文 LR 充填。	中朝後半
381号土坑 +7	10	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③ 良好	2条一対の縦位沈線区画。縄文 LR。	中朝後半
381号土坑 甕上	11	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	縦位隆線による区画。縄文 LR。	中朝後半
381号土坑 甕上	12	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	縦位沈線による区画。	中朝後半
381号土坑 +49	13	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②粗 砂粒③普通	器表面摩耗。縄文 LR。	中朝後半
381号土坑 +55	14	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 やや多③良好	縄文 LR 充填。	中朝後半
381号土坑 +50	15	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	縦位隆線で区画。	中朝後半
381号土坑 甕上	16	深鉢 体部	①・②・③・	①黒褐色②砂粒③良 好	縦位の細かな条線施文。	中朝後半
381号土坑 +48	17	深鉢 底部	①・②③ 8.6	①褐色②砂粒③良好	無文。	中朝後半
381号土坑 甕上	18	深鉢 体~ 底部	①・②③ 7.4	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	縄文 LR 充填。	中朝後半
381号土坑 甕上	19	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②繊維 ③良好	波状口縁。口唇部平行沈線。口縁部斜位の平行爪形文。	前朝中葉
381号土坑 甕上	20	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊 維③良好	刻み隆線で文様描出。瘤状貼付文及び円形文。	前朝前葉
381号土坑 甕上	21	深鉢 体~ 底部	①・②・③・	①明褐色②繊維③良 好	横位羽状施文。	前朝前葉
383号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①浅黄褐色②砂粒③ 普通	器表面摩耗。2条一対の縦位隆線で区画。縄文 LR。	中朝後半
385号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒③普通	波状口縁。弧状沈線による区画。縄文 LR。	中朝後半
385号土坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰黄褐色②砂粒 金雲母僅少③良好	無文。	中朝後半
385号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①赤褐色②砂粒③良 好	縦位沈線で区画。縄文 LR。	中朝後半
385号土坑 甕上	4	深鉢 体部	①・②・③・	①赤褐色②砂粒③良 好	沈線により文様描出。縄文 LR。	中朝後半
385号土坑 甕上	5	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	巾 16mm 瘤状工具により「×」状施文。	中朝後半
387号土坑 +16	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	口唇部沈線 1条通り区画。体部多状の弧状沈線で区画。φ 4mm 円形刺突充填。	中朝後半



遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
387号土坑 -59	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい灰褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による楕円形区画。楕円形区画内縄文RL充填。	中期後半
387号土坑 -65	3	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
387号土坑 -61	4	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
387号土坑 -55	5	深鉢 底部	①・②・③・ 9.2	①暗赤褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
387号土坑 -61	6	深鉢 底部	①・②・③・ 6.0	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
388号土坑 覆土	1	深鉢 底部	①・②・③・ 6.3	①明黄褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
390号土坑 -71	1	深鉢 口縁部	① 30.0 ② ③・	①浅黄色②砂粒③良好良好	口縁部無文。肩部橋状把手跡。隆帯による楕円形区画。区画内縄文RL充填。	中期末葉
390号土坑 -69	2	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①浅黄色②砂粒③良好良好	口縁部無文。頸部隆帯。体部沈線による区画。縄文RL。	中期末葉
390号土坑 -62	3	深鉢 体部	①・②・③・	①灰黄色②砂粒③良好良好	体上部隆帯による楕円形及び短矩形区画。橋状把手跡。体下半縦位条線。	中期末葉
390号土坑 -58	4	浅鉢 口縁 ～底部	① 21.3 ② 37.0 ③ 9.6	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部無文。頸部と体中部隆帯。隆帯による楕円形区画。区画内縄文RL充填。	中期末葉
390号土坑 -40	5	両耳歯口 縁～体部	① 32.8 ② ③・	①明赤褐色②砂粒③普通	口縁部無文。体上部2条の隆帯で区画。区画内楕円形区画あり。縄文RL充填。中空把手1ヶ所と橋状把手貼付。	中期末葉
390号土坑 -59	6	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①灰黄色②砂粒③良好良好	口縁部隆帯。体部やや幅状沈線による渦巻文。区画内縄文RL充填。	中期末葉
390号土坑 -75	7	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	頸部に隆帯。無文。	中期末葉
390号土坑 -71	8	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部無文。頸部隆帯。体部弧状沈線。縄文LR。	中期末葉
390号土坑 -48	9	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒やや多③良好	口唇部1ヶ所橋状把手跡。口縁部から体部上半と括れ部から下半にかけての2段に、沈線による8単位の波状又は「U」字状区画。区画内縄文RL。	中期末葉
390号土坑 -42	10	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①灰黄色②砂粒③良好	口唇部1ヶ所橋状把手跡。口縁部4単位の波状口縁。口縁部から体部上半にかけ4単位の沈線による渦巻区画。区画内縄文RL。	中期末葉
390号土坑 覆土	11	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯。隆帯による区画。区画内縄文RL。	中期末葉
390号土坑 -50	12	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口唇部わずかな沈線。口縁部沈線で区画。区画内縄文RL。	中期末葉
390号土坑 -23	13	深鉢 底部	①・②・③・ 8.5	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	無文。	中期末葉
390号土坑 覆土	14	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②砂粒③良好	口唇部沈線により区画。口唇部2段の刺突文。口縁部沈線区画。区画内縄文RL。	中期末葉
390号土坑 -54	15	深鉢 口縁部	① 34.0 ② ③・	①にぶい黄褐色②砂粒。茶色粒③良好	無文。	中期末葉
390号土坑 -48	16	両耳歯口 縁～体部	① 26.8 ② ③・	①浅黄色②砂粒③良好	口縁部無文。肩部隆帯。左右対称区画。両耳の橋状把手部縁部縄文転がす。区画内無文及び縄文L。体部橋状把手による縦位の細かな条線充填。	中期末葉
390号土坑 -53	17	深鉢 体部	①・②・③・	①浅黄色②砂粒③良好	体部上位隆帯による区画。区画内縄文LR。体部全面橋状工具による縦位条線。	中期末葉
390号土坑 -62	18	深鉢 口縁部	① 25.6 ② ③・	①相灰色②砂粒③良好良好	口縁部から体部上半及び括れ部を挟み体部下半にかけ、2段に沈線による波状及び「U」字区画。縄文LR。	中期末葉
390号土坑 -73	19	深鉢 口縁部	①・②・③・	①②砂粒③良好	波状口縁。体部沈線による文様。縄文RL。	中期末葉
390号土坑 -49	20	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②砂粒③良好	縦やかな波状口縁。口唇部隆帯。口縁から体部上半、指状の層状沈線区画。縄文LR。	中期末葉
390号土坑 -48	21	深鉢 口縁 ～体部	① 21.0 ② ③・	①灰黄色②砂粒③良好	4単位の波状口縁。口唇部沈線。口唇部から体部上半、2重沈線による6単位の馬蹄形区画。区画内外縄文RL。1箇所橋状工具による縦位条線あり。	中期末葉
390号土坑 -54	22	深鉢 口縁部	① 50.0 ② ③・	①にぶい黄褐色②砂粒。金雲母③良好	縦やかな4単位の波状口縁。口唇部沈線。口縁部から体部上半2重沈線による「U」字区画及び渦巻文。縄文LR。	中期末葉
390号土坑 -61	23	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	体部括れ部を挟み、沈線による縦位木葉文又は楕円形区画。縄文LR充填。	中期末葉
390号土坑 覆土	24	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	隆沈線による縦位区画。縄文RL。	中期末葉
390号土坑 -66	25	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好良好	隆帯による楕円形区画。縄文RL。	中期末葉
390号土坑 -71	26	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	棒状工具による弧状沈線区画。縄文LR。	中期末葉
390号土坑 -62	27	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	縦位沈線による区画。縄文LR。	中期末葉
390号土坑 -68	28	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	縄文RL充填。	中期末葉

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
390号土坑 +77	29	深鉢 底部	①・②・③ 7.6	①淡赤褐色②砂粒③ 良好	無文。	中期末葉
390号土坑 +66	30	深鉢 底部	①・②・③ 7.6	①灰黄褐色②砂粒③ 良好	2条一對の縦位沈線による区画。	中期末葉
391号土坑 +63	1	深鉢 口縁部	① 31.5 ② ③	①灰褐色②砂粒③良 好良好	口縁部無文。頸部に隆帯巡り、体上部隆帯による楕円形区画。区画内縄文 LR。体部屢かな縦位条線。	中期末葉
391号土坑 +59	2	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	口縁部隆帯により楕円形区画。区画内縄文 LR 充填。	中期末葉
391号土坑 +60	3	深鉢 口縁部	① 26.0 ②・ ③	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好普通	口縁部隆帯による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縄文 LR。4 と同一個 体	中期末葉
391号土坑 +60	4	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好普通	口縁部隆帯による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縄文 LR。3 と同一個 体	中期末葉
391号土坑 +60	5	深鉢 底部	①・②・③・ ④	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	無文。	中期末葉
394号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	口縁部隆帯巡り、頂部隆帯及び沈線による円形文様。	中期末葉
394号土坑 覆土	2	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。区画内礫歯状工具による縦位条線。	中期末葉
394号土坑 覆土	3	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①褐色②砂粒③良好	沈線による区画。縄文 LR 充填。	中期末葉
398号土坑 +28	1	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①浅黄色②砂粒③や 多③良好	口縁部沈線により楕円形区画及び渦巻文。体部2条一對の縦位沈線で区画。 縄文 LR。	中期末葉
398号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	口唇部中広沈線巡る。隆帯により区画。縄文 LR。	中期末葉
398号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	口縁部隆帯により楕円形区画。隆帯上に「8」字状の押圧施文。	中期末葉
398号土坑 覆土	4	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①浅黄色②砂粒③良 好	楕円把手。把手頂部に2条の凹線。	中期末葉
401号土坑 +10	1	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①褐色②繊維③良好	口縁部平行沈線による菱形文。頸部2条の平行沈線巡る。体部羽状施文。	前期中葉
402号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	無文。	中期末葉
402号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	口縁部無文。頸部隆帯巡る。縄文 LR。	中期末葉
403号土坑 +24	1	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①淡赤褐色②砂粒③良 好	横位隆帯巡り、2条一對の縦位隆帯及び沈線で区画。縄文 LR。	中期末葉
405号土坑 +17	1	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①にぶい赤褐色②纖 維③良好	結節縄文施文。	前期中葉
405号土坑 +15	2	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①褐色②繊維③良好	縄の凹帯を横位交互施文。	前期中葉
405号土坑 +20	3	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①にぶい褐色②纖 維③良好	縄の凹帯を横位施文。	前期中葉
406号土坑 +9	1	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①褐色②砂粒③良好	口唇部舌状突起。口縁部隆帯による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 LR 充填。体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文 LR。2 と同一個体	中期末葉
406号土坑 +93	2	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①褐色②砂粒③良好	口唇部舌状突起。口縁部隆帯による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文 LR 充填。体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文 LR。1 と同一個体	中期末葉
406号土坑 +34	3	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①灰褐色②砂粒③良 好	口縁部横位隆帯で2段の文様帯を区画。区画内縦位短沈線。体部2条一對 の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期末葉
406号土坑 +40	4	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。棒状工具による短沈線を横位に多段施文。	中期末葉
406号土坑 +15	5	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	隆帯による区画。縄文 LR。	中期末葉
406号土坑 +16	6	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	横位隆帯と2条一對の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期末葉
406号土坑 +34	7	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文 LR。	中期末葉
406号土坑 覆土	8	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	沈線により矩形区画。区画内縄文 LR。	中期末葉
406号土坑 +27	9	深鉢 底部	①・②・③・ ④ 8.0	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	縄文 LR。	中期末葉
406号土坑 +33	10	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①赤褐色②砂粒③良 好	縦位隆帯による区画。縄文 LR。	中期末葉
406号土坑 +34	11	浅鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①褐色②砂粒③良好	口縁部沈線1条巡る。無文。	中期末葉
406号土坑 +36	12	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	口唇部凹線1条巡る。口縁部弧状隆帯で区画。縄文 LR。	中期末葉
406号土坑 覆土	13	深鉢 体部	①・②・③・ ④	①褐色②砂粒③良好	連続押圧痕を有する縦位隆帯で区画。	中期末葉
406号土坑 +36	14	深鉢 口縁部	①・②・③・ ④	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	口縁部凹線1条巡る。体部礫歯状工具による縦沈線。	中期末葉

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
406号土坑 +38	15	深鉢 主体部	①・②・③・	①灰褐色②砂粒③良好	沈線による渦巻文。	中期後半
406号土坑 +27	16	深鉢 主体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	隆帯による楕円形区画及び渦巻文。	中期後半
406号土坑 覆土	17	深鉢 主体部	①・②・③・	①暗褐色②砂粒③良好	隆帯による楕円形区画。区画内縄文LR。	中期後半
406号土坑 覆土	18	深鉢 主体部	①・②・③・	①にぶい黒褐色②砂粒③普通	櫛歯状工具により縦位の直線及び波状条線施文。	中期後半
407号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	縄文LR充填。	中期後半
407号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	口唇部隆線巡る。区画内縦位沈線。	中期後半
407号土坑 覆土	3	深鉢 主体部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	沈線による楕円形区画。区画内沈線による矢羽根文。	中期後半
407号土坑 覆土	4	深鉢 口縁部	①・②・③・	①淡黄色②砂粒③良好	口唇部沈線巡る。口縁部断面三角形突起。突起頂部渦巻文。	中期後半
407号土坑 覆土	5	深鉢 主体部	①・②・③・	①橙色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。区画内被杉文。	中期後半
410号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①黒褐色②砂粒③良好	外面側突隆線1条巡り区画。また横位沈線で区画。縄文LR。内面口唇部に3条の沈線巡る。	後期前半
410号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部沈線巡る。沈線により区画。区画内縄文。	中期末葉
411号土坑 覆土	1	深鉢 主体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	縦位沈線による区画。2と同一個体	中期後半
411号土坑 覆土	2	深鉢 主体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	縦位沈線による区画。1と同一個体。	中期後半
411号土坑 覆土	3	深鉢 主体部	①・②・③・	①橙色②砂粒③普通	沈線による被杉文。	中期後半
411号土坑 覆土	4	深鉢 底部	①・②・③・ 4.8	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
412号土坑 +20	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊維③良好	縄の閉端の環を横位に交互施文。	前期前葉
412号土坑 +1	2	深鉢 主体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②繊維③良好	縄文LR充填。	前期中葉
412号土坑 +39	3	深鉢 主体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②繊維③良好	口唇部平行沈線。	前期中葉
414号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	波状口縁。口唇部隆帯及び2条の沈線による区画。区画内連続刺突。	中期後半
414号土坑 覆土	2	深鉢 主体部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	沈線により文様描出。縄文LR。	中期後半
414号土坑 覆土	3	深鉢 主体部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	口唇部無文。頸部3条一對の沈線巡る。体部沈線による文様描出。	中期後半
414号土坑 覆土	4	深鉢 主体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
414号土坑 覆土	5	深鉢 底部	①・②・③・ 7.5	①明赤褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半
414号土坑 覆土	6	深鉢 底部	①・②・③・ 7.0	①明赤褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。	中期後半
415号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口唇部隆線による区画と渦巻文。区画内縄文LR充填。	中期後半
416号土坑 +20	1	深鉢 底部	①・②・③・ 7.2	①明赤褐色②繊維③良好	縄文LR充填。	前期中葉
417号土坑 覆土	1	深鉢 底部	①・②・③・ 4.8	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。	中期後半
420号土坑 +14	1	深鉢 主体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	隆帯による楕円形区画。縄文LR。	中期後半
420号土坑 覆土	2	深鉢 主体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	体部上半縄文LRと体部下半縦位の細かな条線施文。	中期後半
420号土坑 覆土	3	深鉢 主体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	沈線による楕円形区画。縄文LR。	中期後半
420号土坑 +9	4	深鉢 底部	①・②・③・ 7.0	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
421号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①暗赤褐色②砂粒③良好	波状口縁。隆線による渦巻文。口唇部交互刺突による矢羽根状施文。体部2条一對の縦位沈線で区画。縄文LR。	中期後半
421号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口唇部渦巻状突起。	中期後半
421号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	隆線及び沈線による区画。区画内縄文LR。	中期後半
421号土坑 覆土	4	深鉢 主体部 ~底部	①・②・③・ 7.4	①褐色②砂粒③良好	2条一對の縦位沈線で区画。区画内沈線による拱手文あり。縄文LR。	中期後半

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
421号土坑 甕上	5	深鉢 底部	①・②・③ 3.4	①明赤褐色②砂粒③ 良好	無文。底部肥厚。	中期後半
423号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①灰黄褐色②繊維③ 良好	附加条施文。	前期前葉
424号土坑 26	1	深鉢 体部	①・②・③・	①明褐色②繊維③良 好	甕の閉端の唇を横位に交互施文。	前期前葉
424号土坑 26	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②繊 維。白色粒③良好	体部横位羽状施文。	前期前葉
425号土坑 36	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	口唇部沈線 1 条巡る。口縁から体部斜位の沈線により区画。縄文 LR。	中期末葉
425号土坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明褐色②繊維③良 好	縄文 LR 施文。	前期中葉
425号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	口縁部半軸絡条帯施文。頸部爪形文。	前期中葉
425号土坑 甕上	4	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	縄文 LR。	前期中葉
425号土坑 甕上	5	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②繊維③良好	口縁部半軸絡条帯施文。	前期中葉
425号土坑 甕上	6	深鉢 体部	①・②・③・	①明褐色②繊維③良 好	甕の閉端の唇を横位交互施文。	前期中葉
426号土坑 甕上	1	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①明褐色②砂粒③ 良好	縦位の沈線を等間隔に施文する。	中期後半
426号土坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①黒褐色②砂粒③良 好	波状口縁。沈線による円形区画。区画内縄文 LR。	中期後半
426号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③・	①明褐色②砂粒③良 好	縦位隆帯で区画。区画内短沈線充填。	中期後半
426号土坑 甕上	4	深鉢 体部	①・②・③・	①砂粒③良好	縦位沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文 LR。	中期後半
429号土坑 8	1	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①31.6 ② ③	口縁部 6 単位? の沈線による「V」字施文。三角形区画。区画内縄文 LR。	後期前半
429号土坑 4	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	口唇部突帯。内孔有り。口唇部内屈。頸部柄状把手跡。体部沈線による区 画。区画内縄文 LR。	後期前半
429号土坑 8	3	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口唇部沈線 1 条巡る。体部連続刺突された縦位隆帯と縦位沈線で区画。	後期前半
429号土坑 15	4	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒や 多③良好	無文。	後期前半
429号土坑 9	5	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①18.0 ② ③	波状口縁。突起 1ヶ所。沈線による文様帯出。	後期前半
429号土坑 15	6	深鉢 体部	①・②・③・	①暗赤褐色②砂粒③ 良好	沈線による区画。	後期前半
429号土坑 17	7	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	縦位沈線で区画。縄文 LR。	後期前半
429号土坑 28	8	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	無文。	後期前半
429号土坑 18	9	深鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	口縁部刻み入り隆帯巡る。	後期前半
429号土坑 9	10	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口縁部刻み隆帯巡る。縦位沈線で区画。区画内縄文 LR。	後期前半
429号土坑 8	11	深鉢 口縁 部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒や多③良好	口縁部舌状突起。突起に φ 18mm 円孔。隆線による区画。	後期前半
429号土坑 6	12	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒 ③良好	横位沈線多条巡る。	後期前半
429号土坑 9	13	深鉢 口縁 部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	口縁部小舌状突起。内面刺突有り。突起頂部より連続刺突された縦位隆帯で 区画。	後期前半
429号土坑 3	14	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	沈線による区画。	後期前半
429号土坑 5	15	浅鉢 口縁 ～体部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口縁部耳状突起。無文。	後期前半
429号土坑 21	16	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	波状口縁。口唇部内屈。沈線による区画。	後期前半
429号土坑 6	17	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい褐色②粗砂 粒③良好	口縁部沈線 1 条巡る。縄文 LR。	後期前半
429号土坑 甕上	18	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂 粒③良好	口縁部沈線 2 条巡り沈線間縄文 LR 充填。	後期前半
429号土坑 8	19	深鉢 底部	①・②・③ 7.2	①褐色②砂粒③良好	無文。	後期前半
429号土坑 21	20	深鉢 底部	①・②・③ 10.4	①明赤褐色②砂粒③ 良好	無文。	後期前半
429号土坑 18	21	深鉢 底部	①・②・③ 7.0	①にぶい赤褐色②粗 砂粒③良好	無文。	後期前半

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
429号土坑 甕上	22	深鉢 口縁部突起	①・②・③	①暗赤褐色②砂粒③良好	耳状突起。	後期前半
429号土坑 +20	23	注口土甕 注口	①・②・③	①橙色②砂粒③良好	注口径15mm。隆線により文様描出。	後期前半
429号土坑 +17	24	注口土甕 体部	①・②・③	①橙色②砂粒③良好	隆線により文様描出。	後期前半
429号土坑 +17	25	注口土甕 体～底部	①・②・③ 5.0	①橙色②砂粒③良好	無文。	後期前半
430号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい赤褐色②繊維③良好	羽状縄文、菱形構成。	前期中葉
430号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい赤褐色②繊維③良好	羽状縄文、菱形構成。	前期中葉
430号土坑 +42	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	縄文施文。	前期中葉
430号土坑 甕上	4	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	縄文LR施文後、平行沈線を横位又は斜位に不規則に施文。	前期中葉
430号土坑 +33	5	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	縄文LR充墳。	前期中葉
430号土坑 甕上	6	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②繊維③良好	縄の閉端の罫を横位に交互施文。	前期前葉
430号土坑 甕上	7	深鉢 底部	①・②・③ 8.1	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	やや上げ底。縄文RL充墳。	前期前葉
437号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口唇部隆線巡る。波状口縁。無文。	後期前半
437号土坑 +5	2	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位沈線条状施文。	中期後半
438号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好普通	口縁部隆線による渦巻文。	中期後半
438号土坑 +61	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好良好	口縁部隆線による渦巻文。	中期後半
438号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位沈線による区画。	中期後半
449号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部平行沈線による変形文。体部縄文LR。	前期中葉
450号土坑 甕上	1	浅鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部1条沈線巡る。無文。	中期後半
450号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
450号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。沈線による断手文。縄文RL。	中期後半
450号土坑 甕上	4	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。縄文RL。	中期後半
463号土坑 土0	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②繊維③良好	波状口縁。平行沈線爪形文を菱形施文。瘤状貼付文。	前期中葉
463号土坑 +7	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①黒褐色②繊維③良好	小波状口縁。コンパス文を横位多段施文。	前期中葉
463号土坑 甕上	3	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②繊維③良好	平行沈線施文。	前期中葉
463号土坑 甕上	4	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②繊維③良好	口唇部3条の刻み隆線巡る。	前期前葉
463号土坑 甕上	5	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②繊維③良好	口唇部1条の刻み隆線を巡る。円形文、瘤状貼付文あり。	前期前葉
463号土坑 甕上	6	深鉢 体部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	横位爪形文を多状施文。	前期中葉
463号土坑 土0	7	深鉢 口縁部	① 37.8 ② ～体部	①黄褐色②繊維③良好	全面横位羽状施文、多段の菱形構成。	前期中葉
463号土坑 +15	8	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい褐色②繊維③良好	横位羽状施文、菱形構成。	前期中葉
463号土坑 +21	9	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②繊維③良好	0段多条の2本による結節。無面凹痕あり。	前期前葉
463号土坑 +22	10	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②繊維③良好	0段多条羽状施文。	前期中葉
463号土坑 甕上	11	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい褐色②繊維③良好	単結節条帯。	前期中葉
463号土坑 +18	12	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②繊維③良好	横位羽状施文、菱形構成。	前期中葉
463号土坑 甕上	13	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい褐色②繊維③良好	直前段合盛り。	前期中葉
463号土坑 +13	14	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい褐色②繊維③良好	縄の閉端の罫を横位に多段施文。	前期前葉

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
463号土坑 甕上	15	深鉢 底部	①・②・③・	①明赤褐色②繊維③ 良好	羽状縄文。	前期中葉
463号土坑 甕上	16	深鉢 底部	①・②・③ 11.0	①明赤褐色②繊維③ 良好	縄文LR充填。	前期中葉
463号土坑 甕上	17	深鉢 底部	①・②・③ 10.0	①明赤褐色②繊維③ 良好	縄文LR充填。	前期中葉
471号土坑 +26	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②粗砂粒③ 良好	波状口縁。口唇部凹線より隆線による楕円形区画と渦巻文。楕円形区画内縄文RL。	中期後半
471号土坑 +26	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②粗砂粒③ 良好	波状口縁。口唇部凹線より隆線による楕円形区画と渦巻文。楕円形区画内縄文RL。	中期後半
471号土坑 甕上	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③ 良好	口唇部沈線巡り、口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内沈線による矢羽根文。	中期後半
471号土坑 土0	4	深鉢 口縁部 ～体部	① 34.0 ② ③・	①明黄褐色②砂粒③ 良好	口縁部凹線巡る。体部礫歯状工具による縦帯条線。	中期後半
475号土坑 +40	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	縄文LR充填。	中期後半
475号土坑 +27	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	縄文LR充填。	中期後半
475号土坑 甕上	3	深鉢 底部	①・②・③・	①橙色②砂粒③良好	細かな縦帯条線。	中期後半
475号土坑 +43	4	深鉢 底部	①・②・③・	①にぶい橙色②砂粒 ③良好	縦帯条線。	中期後半
480号土坑 +11	1	深鉢 体～ 底部	①・②・③ 7.0	①にぶい橙色②砂粒 ③良好	3条一対の縦帯沈線で区画。区画内縦帯の蛇行沈線。縄文RL。	中期後半
488号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい橙色②砂粒 ③良好	沈線による区画。区画内蛇行沈線。φ4mm円形刺突文。	中期後半
488号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい橙色②砂粒 ③良好	縦帯沈線で区画。区画内縦帯蛇行沈線。縄文RL。	中期後半
491号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①橙色②砂粒③良好	口縁部隆線により長方形区画及び渦巻文。長方形区画内斜位沈線。体部縦帯 沈線で区画。縄文RL。	中期後半
499号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい橙色②砂粒 ③良好	沈線による楕円形区画。区画内縄文LR充填。	中期後半
503号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①橙色②砂粒③良好	3条一対の縦帯沈線で区画。縄文LR。	中期後半
506号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	波状口縁。隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文RL。	中期後半
507号土坑 甕上	1	深鉢 体部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	横位隆線1条巡る。縄文RL。	中期後半
507号土坑 甕上	2	深鉢 体部	①・②・③・	①灰白色②砂粒③良 好	縦帯沈線による区画。縄文RL。	中期後半
508号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②砂粒③良 好	口唇部φ8mmの円形刺突列点状に巡る。沈線により区画し、区画内縄文 RL。	中期後半
508号土坑 甕上	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰黄褐色②砂粒③ 良好	口縁部沈線巡り。縄文RL。	中期後半
508号土坑 甕上	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰褐色②砂粒③良 好	隆線による楕円形区画。区画内縄文RL。	中期後半
508号土坑 甕上	4	深鉢 体部	①・②・③・	①橙色・灰黄褐色② 砂粒③良好	2条一対の縦帯沈線で区画。区画内縦帯蛇行沈線。縄文RL。	中期後半
510号土坑 +10	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒やや多③良好	平行する沈線により文様抽出。	後期初葉
512号土坑 +33	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①赤褐色②粗砂粒③ 良好	口唇部舌状突起。突起頂部渦巻文。口縁部凹線より区画。区画内縄文RL。	中期後半
512号土坑 +37	2	深鉢 口縁部 ～体部	① 18.5 ② ③・	①浅黄褐色②砂粒③ 良好	緩やかな波状口縁。波頂部欠損。口唇部沈線1条巡る。体部沈線による円 弧文。縄文LR。	中期後半
512号土坑 +23	3	深鉢 口縁部 ～体部	① 43.2 ② ③・	①黄褐色②砂粒③良 好	口唇部に沈線1条巡る。体部2条一対の沈線による横位波状及び渦巻文施文。 縄文LR。	中期後半
512号土坑 +33	4	深鉢 体部	①・②・③・	①浅黄褐色②砂粒③ 良好	隆線による楕円形区画。楕円形区画内縄文LR充填。	中期後半
517号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①赤褐色②砂粒③良 好	口唇部3条のコンパス文。口縁部隆線により区画。	中期後半
518号土坑 甕上	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①灰黄褐色②砂粒③ 良好	緩やかな波状口縁。口唇部隆線巡らせ、波頂部に横「8」の字状のφ2cm ほどの円形刺突。	後期前半
518号土坑 土0	2	深鉢 口縁部	① 22.0 ② 8.9 ③・	①にぶい橙色②砂粒 ③良好	口縁部に凹線1条巡る。体部縄文LR。	中期後半
520号土坑 +20	1	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②粗砂粒③良 好	隆線による楕円形区画。区画内縄文RL。	中期後半
521号土坑 +5	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂 粒③良好	無文。	中期後半
526号土坑 +24	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①橙色②砂粒③良好	弧状隆線により区画。	中期後半

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
527号土坑 +25	1	深鉢 口縁～ 底部	① 8.2 ② 3.6 ③	①灰黄色②砂粒③良好	リング状把手にφ5mmの円形刺突。無文。	中～後半
528号土坑 覆土上	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①橙色②砂粒③良好	口縁部横位沈線1条張り、沈線内にφ5mmの連続刺突。体部縦位沈線で区画。縄文LR。	中～後半
529号土坑 +14	1	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位及び斜位の沈線により文様描出。	中～後半
535号土坑 +13	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①浅黄褐色②砂粒③良好	波状口縁。波頂部双貝。全面に縄の閉端の環を横位施文。	前期前葉
535号土坑 +13	2	深鉢 口縁～ 体部	①・②・③	①にぶい褐色②砂粒③良好	全面に縄の閉端の環を横位施文。	前期前葉
535号土坑 覆土上	3	深鉢 体部	①・②・③	①淡黄色②繊維③良好	横位羽状縄文を多段配置。	前期前葉
535号土坑 覆土上	4	深鉢 底部	①・②・③ 9.0	①にぶい褐色②繊維③良好	縄文施文。僅かに上げ底状。底面縄文押圧。	前期前葉
540号土坑 ±0	1	深鉢 体～底部	①・②・③ 8.0	①明赤褐色②粗砂粒③良好	無文。内面黒色。	中～後半
541号土坑 覆土上	1	浅鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③良好	口縁部3条の横位沈線平行に並らせる。	中～後半
541号土坑 覆土上	2	深鉢 体部	①・②・③	①褐色②砂粒やや多 ③普通	頸部横位隆線で区画。2条の横位沈線施文。	中～後半
541号土坑 覆土上	3	深鉢 体部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	縦位帯系充墳。	中～後半
546号土坑 +53	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①橙色②砂粒③良好	口縁突起。頂部沈線による渦巻文。口縁部弧状及び渦巻文を沈線により描出。	中～後半
546号土坑 覆土上	2	深鉢 底部	①・②・③ 11.0	①明黄褐色②粗砂粒③普通	無文。	中～後半
547号土坑 +44	1	深鉢 口縁～ 底部	① 20.0 ② 30.0 ③ 7.0	①褐色②砂粒③良好	波状口縁。頸部2条の沈線並りその間を交互刺突。体上部沈線による連弧文。体部縦位沈線で区画し。区画内縦位蛇行沈線と綾杉文。	中～後半
547号土坑 +59	2	深鉢 口縁～ 体部	①・②・③	①明赤褐色②粗砂粒③良好	口唇部2条の沈線並る。口縁から体部にかけ縦位の櫛歯状工具による条線施文後、縦位蛇行沈線施文。	中～後半
547号土坑 +55	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②砂粒③良好	口縁部楕円形区画及び渦巻文。区画内φ3mmの円形刺突。体部縦位隆線により区画。縄文LR。	中～後半
548号土坑 覆土上	1	深鉢 口縁～ 体部	①・②・③	①②砂粒③良好	口縁部隆線による方形区画。区画内矢羽根状施文。頸部無文帯。体部縦位沈線が並り縦位及び弧状沈線で区画。縄文LR。	中～後半
548号土坑 覆土上	2	深鉢 体部	①・②・③	①②砂粒③良好	頸部2条の沈線並る。体部沈線により文様描出。縄文LR。	中～後半
548号土坑 覆土上	3	深鉢 体部	①・②・③	①にぶい褐色②粗砂粒③良好	縦位隆帯及び沈線で区画。区画内沈線による綾杉文。	中～後半
548号土坑 覆土上	4	深鉢 口縁部	①・②・③	①赤褐色②砂粒③良好	内外面赤彩痕。口縁部無文。頸部隆帯並らせる。朝み状の連続押圧。	中～後半
548号土坑 +20	5	深鉢 口縁～ 底部	① 25.4 ② 28.7 ③ 9.0	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線により区画及び渦巻文をつくる。渦巻文部分は突起状となる。区画内は縦位沈線。頸部無文帯。体部2条一対の縦位沈線で区画。「J」条沈線施文。縄文LR。	中～後半
548号土坑 覆土上	6	深鉢 口縁～ 体部	① 18.6 ② ③	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縦位沈線。頸部無文帯。	中～後半
551号土坑 覆土上	1	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②砂粒③良好	2条一対の隆帯で区画。区画内縦位蛇行隆帯。縄文LR。	中～後半
551号土坑 覆土上	2	深鉢 体部	①・②・③	①暗褐色②砂粒③良好	2条一対隆帯で区画。縄文LR。	中～後半
551号土坑 覆土上	3	深鉢 底部	①・②・③ 12.4	①褐色②砂粒③良好	縦位沈線で区画。縄文LR。	中～後半
551号土坑 覆土上	4	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部φ8mmの円孔。無文。	後期前葉
551号土坑 覆土上	5	深鉢 口縁部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部3条の縦位沈線。縄文LR。	中～後半
551号土坑 覆土上	6	深鉢 底部	①・②・③ 8.2	①明褐色②砂粒③良好	隆帯による楕円方形区画。区画内縦位沈線。	中～後半
601号土坑 +20	1	浅鉢 口縁～ 体部	① 48.5 ② ③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部無文。頸部矢羽根文が割れる隆線並る。同部隆線による牡羊状の文様と渦巻文。地文帯系文。凹面部に帯系施文の隆線並る。	中～後半
602号土坑 +61	1	深鉢 体部～ 底部	①・②・③ 13.2	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	帯系施文後、縦位隆帯で区画。区画内平行沈線施文。	中～後半

11 区配石出土土器観察表 (遺構: 第1分層 第198～205・212 遺物: 第2分層 第159・160 冊・P.176)

遺構名	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1号配石	1	深鉢 口縁～ 体部	①・②・③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部沈線1条並る。体部沈線による楕円形区画。縄文LR。	中～後半
1号配石	2	深鉢 頸部	①・②・③	①浅黄褐色②砂粒③良好	φ8mmの円孔。無文。	中～後半
1号配石	3	深鉢 体部	①・②・③	①淡黄色②砂粒③良好	横位隆線並る。体部櫛歯状工具による縦位条線。	中～後半

## 出土土器観察表

遺構名	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
2号配石	1	深鉢 口縁～ 底部	① 46.7 ② ③	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部段を有し凹線帯。	中期後半
2号配石	2	深鉢 口縁 ～体部	① 46.7 ② ③	①明赤褐色②砂粒③良好良好	口縁部隆帯により楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文LR充填。頸部無文帯。体部2条一對の隆帯で区画され区画間に「H」形に沈線区画あり。縄文LR。	中期後半
3号配石	1	深鉢 口縁 ～体部	① ② ③	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯により楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文RL充填。体部2条一對の隆帯沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線あり。縄文RL。	中期後半
3号配石	2	深鉢 口縁 ～体部	① ② ③	①灰褐色②砂粒③良好	口縁部波状沈線1条と楕円形区画をつくる。区画内縄文RL充填。	中期後半
3号配石	3	深鉢 口縁	① ② ③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部隆線帯。体部縄文LR。	中期後半
3号配石	4	深鉢 口縁 ～底部	① 26.7 ② 30.0 ③ 8.0	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による楕円形区画及び渦巻文。区画内沈線による矢羽根文。頸部無文帯。体部縄文RL充填。	中期後半
3号配石	5	深鉢 口縁 ～体部	① ② ③	①②砂粒③良好	口縁部隆帯により楕円形区画。楕円形区画内縄文RL充填。体部2条一對の隆帯沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文RL。	中期後半
3号配石	6	深鉢 体部	① ② ③	①にぶい褐色②砂粒③良好	隆帯沈線で区画。区画内絨絨文。	中期後半

11区 1号屋外出土土器観察表 (遺構:第1分冊 第206頁, 遺物:第2分冊 第161頁・P.177)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部	+8	① 46.7 ② ③	①明赤褐色②砂粒③良好	口唇部焼熱により脆弱。2条の沈線間を交互斜突。2条一對の隆帯沈線で区画。隆帯蛇行沈線及び絨絨文。	中期後半
2	深鉢 体部～底部	伊体土器	① ② ③ 8.6	①赤褐色②砂粒③良好	3条一對の隆帯沈線で区画。縄文RL。	中期後半

11区埋裏 出土土器観察表 (遺構:第1分冊 第208～212頁, 遺物:第2分冊 第162～168頁・P.177～79)

遺構名	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1号埋裏	1	深鉢 口縁 ～底部	① 57.0 ② 72.0 ③ 14.0	①明黄褐色・褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内沈線による矢羽根文。体部全面部無文帯後3条一對の隆帯で区画。区画内2条一對の隆帯蛇行沈線施文。底面副打止帯。	中期後半
2号埋裏	1	深鉢 口縁 ～体部	① 20.9 ② 13.0 ③	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部無文。頸部2条の沈線帯。沈線間交互斜突。体部4条一對の横位沈線を帯らせ、中間に渦巻文。縄文RL。	中期後半
3号埋裏	1	深鉢 口縁 ～体部	① ② ③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯により区画及び渦巻文。区画内縄文RL充填。体部端に沈線帯らせ「T」字に隆帯沈線区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文RL。	中期後半
3号埋裏	2	深鉢 体部 ～底部	① ② ③ 8.0	①褐色②砂粒③良好	2条一對の隆帯沈線間に細い沈線1条附加。区画内縦位蛇行沈線。縄文RL。	中期後半
3号埋裏	3	深鉢 体部	① ② ③	①浅黄褐色②砂粒③良好良好	隆帯による楕円形区画及び矢字文描出。区画内縄文RL。	中期後半
3号埋裏	4	深鉢 体部	① ② ③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好普通	2条一對の隆帯沈線で等間隔に区画。縄文RL。	中期後半
4号埋裏	1	深鉢 口縁 ～体部	① ② ③	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁突起等間隔に配置。口唇部隆線帯。口縁部及び体部は沈線による連続山形文。頂部「J」字文飾文。頸部は横位隆線帯、等間隔に「8」字状貼付。	後期前半
4号埋裏	2	深鉢 口縁 部	① ② ③	①浅黄褐色②砂粒③良好	口縁部2条沈線帯。	後期前半
5号埋裏	1	深鉢 口縁 ～体部	① 27.4 ② ③	①浅黄褐色②砂粒③良好	口縁から胴上半に2条一對の沈線による横位波状文。胴下半に1条の沈線による横位波状文。縄文RL充填。	中期後半
5号埋裏	2	深鉢 体部	① 56.2 ② ③	①黄褐色②砂粒③良好良好	6単位の波状口縁。口縁部隆帯による区画。体部波頂下に隆帯による渦巻文連続施文。縄文RL充填。	中期後半
5号埋裏	3	深鉢 体部	① 39.0 ② ③	①にぶい褐色②粗砂粒③良好良好	平口縁。口縁部隆帯による楕円形区画。区画内縄文RL。体部隆帯による渦巻文。縄文RL。	中期後半
6号埋裏	1	深鉢 口縁 ～体部	① ② ③	①②砂粒③良好	口縁部隆帯により変質、脆弱化。口縁部隆帯による楕円形区画及び渦巻文。区画内縄文RL充填。体部2条一對の隆帯沈線で10単位の区画。区画内縄文RL。	中期後半
6号埋裏	2	深鉢 体部	① ② ③	①褐色②粗砂粒③良好	2条一對の隆帯沈線で区画。区画内縄文LR。	中期後半
6号埋裏	3	小型土器 口～底部	① ② (42) ③ 4.2	①にぶい褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半
8号埋裏	1	両耳壺 口縁 ～体部	① ② ③	①浅黄褐色②砂粒③良好	口縁部無文。頸部に沈線帯。肩部に横位把手一對。体部沈線により「出」字状の文様を4単位施文。縄文RL。	中期後半
9号埋裏	1	深鉢 体部	① ② ③	①浅黄褐色②砂粒③良好	2条一對の沈線により渦巻文及び弧状施文。	後期前半
9号埋裏	2	深鉢 口縁部	① ② ③	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部沈線帯。	後期前半
9号埋裏	3	深鉢 口縁部	① ② ③	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部沈線帯。斜位弧状施文。	後期前半
10号埋裏	1	深鉢 口縁 ～体部	① ② ③	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による楕円形区画。楕円形区画内縄文LR充填。体部2条一對の隆帯沈線で区画。区画内縦位蛇行沈線。縄文RL。	中期後半
10号埋裏	2	深鉢 口縁 ～体部	① ② ③	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部隆帯による区画。体部2条一對の隆帯沈線により区画。縄文RL。	中期後半



遺構名	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
11号埋蔵	1	深鉢 口縁～ 体部	①・②・③・	①黒褐色②砂粒③良好	口縁部隆線により楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縄文LR充填。体部2条一対の縦位沈線により区画。	中期後半
11号埋蔵	2	深鉢 体部	①・②・③・	①赤褐色②砂粒③良好	体部2条一対の縦位沈線により区画。縄文LR。	中期後半
12号埋蔵	1	深鉢 体部	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	隆線により渦巻文及び楕円形区画二箇所。	後期前半
13号埋蔵	1	深鉢 体部～ 底部	①・②・③・ 8.4	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	無文。	中期後半

11区遺構外出土土器観察表 (遺物:第2層 第169～172周・P.L.79～81)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	赤土土器 直口縁部	cJ 81～84	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口唇頂部刻み。頸部6本単位の等間隔止め縷状文。胴上平3段の縷波状文。	弥生後期
2	赤土土器 直口縁部	C 84	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁部無文。頸部6本単位の等間隔止め縷状文。胴上部縷波状文。	弥生後期
3	赤土土器 直口縁部	Cl 85	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	頸部6本単位の等間隔止め縷状文。体部縷波状文。	弥生後期
4	赤土土器 直口縁部	Cg 86	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	縷波状文。	弥生後期
5	赤土土器 細頸直口	CF 77 V層	①・②・③・	①明黄褐色②砂粒③良好	3条の横位沈線並行。縄文LR施文。	弥生中期
6	浅鉢 口縁部	Ck 87	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	無文。	中期末葉
7	深鉢 口縁部	Cr 5 V層	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	口唇部沈線による楕円形区画。「8」字状の円形文。	後期前半
8	浅鉢 口縁部	Cm 87	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	無文。	中期末葉
9	浅鉢 口縁部～ 体部	Cl 88	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	無文。	中期末葉
10	鉢 口縁部～ 体部	Ck 81 V層	①・②・③・	①明黄褐色②砂粒③良好	口縁部隆線並行。体部縄文LR。	中期末葉
11	深鉢 口縁部	Cj 80 V層	①・②・③・	①明赤褐色②砂粒③良好	口唇部沈線1条並行。体部縄文LR充填。	中期末葉
12	深鉢 口縁部	CF 77 V層	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線並行。弧状沈線により区画。縄文LR。	中期末葉
13	深鉢 口縁部	Cl 82 V層	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口唇部2条の沈線並行沈線間にφ4mmの円形刺突を列点状に施文。体部沈線により区画。区画内縄文LR充填。	中期後半
14	深鉢 口縁部～ 体部	Co 91	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部隆線により区画。楕状把手。体部沈線区画。縄文LR。	中期後半
15	浅鉢 体部	Cm 86	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	頸部隆線並行刺突あり。胴部隆線により長方形区画。区画内縦位沈線。	中期後半
16	深鉢 口縁部	Cl 82 V層	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部無文。φ3mmの円孔1ヶ所。頸部隆線並行。縄文LR。	中期後半
17	鉢 口縁部	Cj 79 V層	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部隆線並行。楕状把手刺突。体部弧状隆線。	中期後半
18	深鉢 口縁部	Cs 78 V層	①・②・③・	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	市4mmの縦位沈線。等間隔施文。	中期後半
19	深鉢 口縁部	Cl 80 V層	①・②・③・	①褐色②砂粒③良好	市4～6mmの縦位沈線を密に施文。	中期後半
20	深鉢 口縁部	Cj 77 V層	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口唇部隆線並行。頂部から口縁部にかけて斜位の沈線を密に施文。	中期後半
21	深鉢 口縁部	Co 91	①・②・③・	①灰褐色②砂粒③良好	口唇部断面三角形。口縁から体部。3条一対の市4～5mmの沈線で区画。区画内縦位の縷波並行沈線。縄文LR。	中期後半
22	深鉢 把手	Cg 79	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	口縁突起。楕状把手刺突。突起先端部三角形を呈し、内側に沈線と刺突。口唇部沈線により区画。縄文LR施文。	中期後半
23	深鉢 口縁部	3面 Cl 89 4面 Cl 89	①・②・③・	①灰黄褐色②砂粒③良好	口唇部連続刻み。口唇部斜位の沈線による羽状施文。	後期前半
24	深鉢 口縁部	Ck 84	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部無文。頸部に隆線並行。脇と頂部に列点状刺突。25と同一個体	中期後半
25	深鉢 口縁部	Cl 83	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部無文。頸部に隆線並行脇と頂部に列点状刺突。24と同一個体	中期後半
26	深鉢 口縁部	CF 77 V層	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁から体部縄文施文後、口唇部横位に並る2段の連続刺突。	中期後半
27	深鉢 体部	Cl 87	①・②・③・	①にぶい褐色②砂粒③良好	横位平行沈線を多段施文。数条おきに沈線間を交互刺突。	中期後半
28	深鉢 口縁部	Cp 94	①・②・③・	①赤褐色②砂粒③良好	口唇部隆線並行。口唇部横位縷波並行施文後、隆線による渦巻文。隆線間に交互及び連続刺突。	中期後半
29	深鉢 口縁部	Ch 79 V層	①・②・③・	①褐色②にぶい黄褐色③砂粒③良好	口縁部隆線による渦巻文。頸部横位隆線並行。	中期後半
30	深鉢 口縁部	Cj 88 V層	①・②・③・	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	波状口縁。口縁部極厚。隆線による渦巻文。	中期後半

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
31	深鉢 口縁部	Cg 79 V層	①-②-③-	①黒褐色②砂粒③良好	波状口縁。口唇部凹線巡り、口縁部隆線による区画及び渦巻文。区画内縄文 LR 充填。	中期後半
32	深鉢 口縁部	Cj 79 V層	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	波状口縁。口縁部隆線により区画及び渦巻文。区画内縄文 RL。体部縦位隆線で区画。縄文 RL。	中期後半
33	深鉢 口縁部	Co 91	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	口縁部隆線で区画。体部 2 条一對の縦位隆線で区画。縄文 RL。	中期後半
34	深鉢 口縁部	Cj 79 V層	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好 ①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部隆線により区画及び渦巻文。区画内縄文 RL 充填。体部縦位隆線で区画。	中期後半
35	深鉢 口縁部	Co 95	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	口縁部突起。突起頂部方形。楕状把手割痕。口縁部隆線により区画。区画内縦位隆線。	中期後半
36	深鉢 口縁部	Cm 89	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。楕円形区画内縦位隆線。体部 2 条一對の縦位隆線で区画。縄文 LR。	中期後半
37	深鉢 口縁部	Co 95	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	口縁部隆線による楕円形区画及び渦巻文。区画内放射状隆線。体部 3 条一對の縦位隆線で区画。	中期後半
38	深鉢 体部	Cl 88	①-②-③-	①灰褐色②砂粒③良好	隆線による区画及び渦巻文。区画内隆線による矢羽根文。	中期後半
39	深鉢 体部	Cl 88	①-②-③-	①暗赤褐色②砂粒多③良好	頸部無文帯。体部境に 3 条一對の横位隆線巡る。体部斜位の沈線区画内縦文帯。縄文 RL。	中期後半
40	深鉢 体部	Ch 79 V層	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	隆線による区画。縄文 LR	中期後半
41	深鉢 体部	Cg 79 V層	①-②-③-	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	2 条の波状沈線で区画。区画内隆線による縦文。縄文 RL。	中期後半
42	深鉢 体部	Cj 79 N層	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	沈線による綾杉文。	中期後半
43	深鉢 体部	Cj 78 V層	①-②-③-	①黄褐色②砂粒③良好	縦位隆線で区画。区画内綾杉文。	中期後半
44	深鉢 体部～底部	Cj 78 V層	①-②-③-	①明黄褐色②砂粒③良好	縦位隆線で区画。区画内綾杉文。	中期後半
45	深鉢 底部	Cn 88	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	2 条一對の縦位隆線で区画。区画内綾杉文。内面煤付着。	中期後半
46	深鉢 体部	Cl 80 V層	①-②-③-	①赤褐色②砂粒③良好	2 条一對の縦位隆線で区画。区画内縦位短沈線または涙滴状刺突。	中期後半
47	深鉢 体部	Ch 78 V層	①-②-③- 3.5	①赤褐色②砂粒③良好	縦位隆線で区画。縄文 RL。	中期後半
48	深鉢 体部～底部	Cl 84	①-②-③- 7.9	①赤褐色②砂粒③良好	2 条一對の縦位平行沈線で区画。区画内縦位平行沈線による窟歯文。縄文 RL。	中期後半
49	深鉢 底部	Cl 88	①-②-③- 12.0	①明赤褐色②砂粒③良好 普通	2 条一對の縦位隆線で区画。縄文 RL。	中期後半
50	深鉢 体部～底部	Cp 95	①-②-③- 8.2	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位無文充填。	中期後半
51	深鉢 体部～底部	Cl 89	①-②-③- 6	①にぶい黄褐色②砂粒③良好	縦位の細かな条線施文。	中期後半
52	深鉢 口縁部	Cl 87	①-②-③-	①赤褐色②砂粒③良好	口縁部 4 条の帯状工具により横位に直線と波状を交互施文する。	前期後半
53	深鉢 体部	Cl 87	①-②-③-	①にぶい赤褐色②砂粒③良好	口縁部 4 条の帯状工具により横位に直線と波状を交互施文する。	前期後半
54	深鉢 口縁部	Cl 89	①-②-③-	①にぶい褐色②砂粒③良好	口唇部刻み、3 条一對の横位爪形文。口縁部 4 条の帯状工具による数段の連続縦線文。変換部に φ 6mm の縦位円形刺突。	前期後半
55	深鉢 口縁部	Cm 85	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	口唇部刻み、2 条の爪形文。口縁部斜位の沈線を密に施文。	前期後半
56	深鉢 口縁部	Cl 87	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	波状口縁。波頂部ボタン状貼付。口縁部爪形文を山形施文。	前期後半
57	深鉢 体部	Cl 83	①-②-③-	①にぶい赤褐色②繊維③良好	口縁部爪形文を斜位または渦巻状施文。	前期中葉
58	深鉢 口縁部	Cl 87	①-②-③-	①にぶい赤褐色②繊維③良好	波状口縁。平行沈線による渦巻文と菱形文を描出。	前期中葉
59	深鉢 体部	Cj 85	①-②-③-	①にぶい赤褐色②繊維③良好	波状口縁。口縁部縦位平行沈線を 3 条巡らせ、渦巻文と菱形文を描出。	前期中葉
60	深鉢 体部	Cj 87	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	口縁部爪形文により菱形文描出。体部境横位爪形文 2 条巡らせる体部縄文 LR。	前期中葉
61	深鉢 口縁部	Cl 87	①-②-③-	①にぶい褐色②繊維③良好	縄文 LR を全面施文。	前期中葉
62	片口土器 口縁部	Cl 87	①-②-③-	①暗赤褐色②繊維③良好	「V」字状の片口。やや上方に向く。横位及び弧状平行沈線で文様描出。縄文組組。	前期前葉
63	深鉢 口縁部	Cl 89	①-②-③-	①黒褐色②繊維③良好	口唇部刻み隆線巡る。瘤状貼付文。	前期前葉
64	深鉢 口縁部	Co 90	①-②-③-	①明赤褐色②砂粒③良好	波状口縁。波頂部から縦位に刺突文。口縁に平行に 2 条の爪形文と爪形文による渦巻文。	前期後半
65	深鉢 口縁部	Cj 85	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③良好	刻み隆線により区画。交点に円形文。	前期前葉
66	深鉢 口縁部	Cl 82	①-②-③-	①にぶい黄褐色②繊維③良好	口唇部 2 条の刻み隆線巡る。口縁部刻み隆線による菱形文。瘤状貼付文及び円形文あり。	前期前葉

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
67	深鉢 口縁部	Cj-80 V層	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	流状口縁、口唇部刻み隆線巡る。口縁部刻み隆線による楕円形文、円形文及び瘤状貼付文。	前期前葉
68	深鉢 体部	Ck-80 V層	①-②-③-	①黄褐色②繊維微③良好	口縁部帯条面圧痕による渦卷文。中心に円形文。また横位刻み隆線多状配置、隆線間に帯条面圧痕。	前期前葉
69	深鉢 体部	Cm-85	①-②-③-	①褐色②繊維、粗砂粒③良好	3条の刻み隆線横位に並り、円形文及び瘤状貼付文あり。体部コンパス文及び帯の閉端の環状位施文。	前期前葉
70	深鉢 体部	Cl-83	①-②-③-	①褐色②繊維③良好	口縁部刻み隆線3条一対で渦卷文。また、縦横に刻み隆線で区画、隆線上に円形文。	前期前葉
71	深鉢 体部	Cl-83	①-②-③-	①にふい赤褐色②繊維微③良好	刻み隆線を山形に貼付。中に円形文施文。	前期前葉
72	深鉢 口縁部	Cl-89	①-②-③-	①にふい赤褐色②繊維微③良好	全面細組。	前期前葉
73	深鉢 体部	Ck-83	①-②-③-	①にふい黄褐色②繊維微③良好	帯の閉端の環を横位多段に施文	前期前葉
74	深鉢 体部～底部	Co-93	①-②-③ 13.0	①褐色②繊維③良好	横位羽状縄文を多段に配し、菱形構成。	前期中葉
75	深鉢 体部	Cj-85	①-②-③-	①明赤褐色②繊維微③良好	附加条。	前期前葉
76	深鉢 体部～底部	Cl-86	①-②-③ 10.0	①にふい赤褐色②繊維微③普通	縄文RL。やや上付底。	前期前葉
77	器台	Ck-80 V層	① 13.8 ② 9.7 ③ 17.8	①褐色②砂粒③良好	φ 20mmの円孔。無文。	中期後半
78	深鉢 口縁部	Cl-91	①-②-③	①明赤褐色②砂粒③良好	縦位沈線により区画。縄文RL。脚部無文。	中期後半
79	深鉢 口縁～体部	Cf-76 V層	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	口縁部無文。リング状の横位把手。縄文RL。	中期後半
80	土製品 耳飾	Cm-88	厚 0.75、幅 1.6	①にふい赤褐色②砂粒③良好	板状を呈する。	中期後半
81	土製品 耳飾	Cn-95	幅 2.4 長 2.3 厚 2.5	①黄褐色②砂粒③良好	沈線を馬蹄形に2重施文しφ 2～3mmの円形刺突を渦卷状に配置する。	中期後半
82	土製品 耳飾	Cm-95	幅 3.0 幅 2.9	①褐色②細砂粒③普通	沈線を馬蹄形に2重施文。	中期後半
83	土製品 耳飾	Cl-88	幅 2.7 厚 2.4 幅 3.0	①にふい褐色②細砂粒③良好	不規則な短沈線見られる。	中期後半
84	土製円盤	Ck-86	幅 2.7 幅 2.7	①褐色②細砂粒③普通	円形に成形。竹管状工具を回し円形にした円形文1ヶ所あり。	中期後半
85	土製円盤	Co-91	幅 4.1 厚 1.0 幅 4.2	①褐色②砂粒③良好	隆線と隆線間に連続刺突。	中期後半
86	深鉢 把手	Cl-75 V層	①-②-③-	①灰黄色②砂粒③普通	楕状把手。方形を呈する。区画内隆線施文。	中期後半
87	小型 ほぼ球形	Cj-78	① 3.3 ② 3.7 ③ 2.0	①褐色②砂粒③良好	縄文LR。	中期後半
88	土製品 耳飾	Cg-77	径 2.8 厚 2.3	①黄褐色②砂粒③良好	弧状沈線施文。	中期後半
89	土製品 土垂	Cg-77	①-②-③-	①褐色②砂粒③良好	斜位にφ 7mmの穿孔。無文。	中期後半

12区1号住居出土土器観察表 (通観：第1分冊 第225-226頁、遺物：第2分冊 第173頁・P.L.82)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部中位	中土器 +21	①-②-③-	①赤褐色②粗：白色粒③良好	やや内湾気味の長胴状体部。横位結節RLが器面を覆う	前期後葉
2	深鉢 体部	西 +10	①-②-③-	①黄褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	薄手の器厚。横位RLを施す。補修孔あり	前期後葉
3	深鉢 体部	西 +13	①-②-③-	①褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	薄手の器厚。縦位RLを施す。	前期後葉

12区2号住居出土土器観察表 (通観：第1分冊 第227-228頁、遺物：第2分冊 第174-175頁・P.L.82-83)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①暗赤褐色②粗：白色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文と頸部渦卷状小突起。区画内は沈線を帯線とし斜位短沈線を充填する。頸部は無文	中期後葉
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①暗褐色②粗：白色粒・石英・雲母③良好	頸部2条隆線に渦卷状小突起を付す。口縁部は縦位短沈線を充填する	中期後葉
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①純い赤褐色②粗：小礫・白色粒・石英③良好	口縁部渦卷文小突起と隆線による区画文構成か。突起下端より2条隆線が垂下する	中期後葉
4	深鉢 口縁部	中 -3	①-②-③-	①暗褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部渦卷文と区画文構成。区画内の帯線は沈線、斜位短沈線を充填する。頸部は無文か	中期後葉
5	深鉢 口縁部	南 ± 0	①-②-③-	①赤褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部区画文と渦卷文構成。沈線を帯線とし矢羽状沈線を充填する	中期後葉
6	深鉢 口縁部	中央 +17	①-②-③-	①明赤褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部渦卷文と区画文が連続する。区画内は沈線を帯線とし斜位短沈線を充填する。頸部は斜位RLを施す	中期後葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
7	深鉢 口縁部	中 5	①-②-③	①赤褐色変相：白色粒・石莖・輝石③良好	隆線による横位S字状意匠か。無文部を経て頸部に横位交互刺突文を施す	中期後葉
8	深鉢 口縁部	中央 +20	①-②-③	①褐色変相：白色粒・石莖・輝石③良好	口縁部に横位沈線を3条設け交互刺突文を加える。以下縦位密接条線を施す	中期後葉
9	深鉢 口縁部	中央 +19	①-②-③	①明褐色変相：白色粒・輝石③良好	口縁部に横位内皮沈線を重ねる。地文は縦位密接条線を施す	中期後葉
10	深鉢 頸部	中央 +21	①-②-③	①鈍い赤褐色変相：白色粒・石莖・輝石③良好	口縁部下端に横位内皮沈線を重ね、交互刺突文を加える。頸部隆線に浅い押圧を加え、以下縦位揺布Lを施す	中期後葉
11	深鉢 頸部	覆土	①-②-③	①鈍い黄褐色変相：白色粒・石莖・輝石③良好	小型の円形刺突文を施す隆線による渦巻状意匠か。隆線以下は無文	中期後葉
12	深鉢 口縁部下	中央 +18	①-②-③	①明赤褐色変相：白色粒・石莖・輝石多③良好	隆線による口縁部渦巻文意匠。側線は沈線。地文は横位 RL	中期後葉
13	深鉢 頸部	中央 +17	①-②-③	①褐色変相：白色粒・石莖・輝石③良好	斜位刻みを施す頸部隆線。口縁部は横位沈線を重ねる	中期後葉
14	深鉢 胴一腰部	北西 +20	①-②-③	①灰褐色変相：白色粒・石莖・輝石③良好	頸部隆線突出する口縁部区画。区内内の側線は沈線、斜位短沈線を充填する。頸部は斜位 RL を施す	中期後葉
15	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③	①明赤褐色変相：白色粒・石莖・片岩③良好	頸部隆線に矢羽状刻みを加える。体部は横位沈線と弧状沈線を施す	中期後葉
16	深鉢 口縁一頸部	西 +38	①-②-③	①明赤褐色変相：白色粒・輝石③良好	口縁部強く外反し、頸部に2条隆線を設ける	中期後葉
17	深鉢 体部上半	南西 +25	①-②-③	①淡黄色変相：白色粒・石莖③良好	2条の横位沈線間を連続刺突文が埋める。内外面平滑な印象	中期後葉
18	深鉢 頸部	覆土	①-②-③	①赤褐色変相：白色粒・輝石③良好	細隆線による弧状意匠。あるいは渦巻状意匠か	中期後葉
19a	深鉢 口縁	中央 +17	①-②-③	①明赤褐色変相：白色粒・石莖・輝石③良好	口縁部細隆線の肩付による渦巻文構成。	中期後葉
19b	深鉢 体部中位	中央 +6	①-②-③	①明赤褐色変相：白色粒・石莖・輝石③良好	体部は沈線による連弧状意匠か。地文は縦位・斜位密接条線。隆線・沈線とも粗な施文	中期後葉
19c	深鉢 体部中位	中央 +14	①-②-③	①明赤褐色変相：白色粒・石莖・輝石③良好	体部は沈線による連弧状意匠か。地文は縦位・斜位密接条線。隆線・沈線とも粗な施文	中期後葉
20	深鉢 頸部	中 +19	①-②-③	①黒褐色変相：白色粒・輝石③良好	頸部隆線上位は横位矢羽状短沈線の充填。下位は2条の斜位沈線と地文縦位 RL	中期後葉
21	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①鈍い褐色変相：白色粒・輝石少③良好	隆線による縦位楕円状懸垂文。横位平行沈線と弧状沈線を施す。地文は疎らな横位 LR か。色調・胎土とも異種・異系統の感	中期後葉
22	深鉢 口縁部下	覆土	①-②-③	①鈍い褐色変相：白色粒・石莖・片岩・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文構成。側線沈線。横位 RL を施す	中期後葉
23	深鉢 体部上半	中央 +18	①-②-③	①明赤褐色変相：白色粒・石莖・輝石③良好	横位隆線より弧状隆線が重なる。側線は沈線。縄文は横位・斜位 RL	中期後葉
24	深鉢 体部上半	中央 +17	①-②-③	①褐色変相：白色粒・石莖③良好	横位隆線以下重下隆線による懸垂文構成。側線は沈線。縦位 RL を充填施文する	中期後葉
25	深鉢 体部中位	中央 +33	①-②-③	①鈍い褐色変相：白色粒・石莖③良好	2条隆線による懸垂文構成。側線沈線及び撫で。地文は縦位 RL	中期後葉
26	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①明赤褐色変相：白色粒・石莖多③良好	2条隆線による懸垂文構成。空白部は縦位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
27	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①鈍い褐色変相：白色粒・石莖多③良好	重下隆線による懸垂文構成。空白部は縦位矢羽状短沈線を充填する。	中期後葉
28	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①褐色変相：白色粒・輝石③良好	口縁部内湾し横位沈線2条を設ける。以下縦位・横位 RL が覆う	中期後葉
29	深鉢 口縁部	中央 +4	①-②-③	①褐色変相：白色粒・輝石③良好	緩やかな波状線。2条の沈線が深い。以下沈線による連弧状意匠と小渦巻文を配す。地文は縦位 RL	中期後葉
30	深鉢 口縁部	中 +16	①-②-③	①褐色変相：白色粒・輝石③良好	口縁部外反。太い沈線による横位連弧状意匠を配す。地文は斜位・縦位 RL	中期後葉
31	深鉢 体部中位	中 +2	①-②-③	①鈍い褐色変相：白色粒・輝石③良好	縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位 RL	中期後葉
32	深鉢 体部	中央 +16	①-②-③	①鈍い褐色変相：白色粒・石莖・輝石③良好	内皮沈線による区画文。区内内は斜位沈線を充填する。縦位波状密接条線を施す	中期後葉
33	浅鉢 口頸一腰部 上半	南 +5	①-②-③	①鈍い黄褐色変相：白色粒・輝石③良好	口頸部隆線による小渦巻状意匠と不整形区画文構成。区内内は側線を沈線とし、円形刺突文を充填する。	中期後葉
34	浅鉢 体部上半	覆土	①-②-③	①鈍い褐色変相：白色粒・片岩③良好	屈曲部に刻みを施す。口縁部文様帯は弧状沈線と斜位沈線を見る	中期後葉
35	深鉢 口縁一頸部	中央 -27	①-②-③	①明赤褐色変相：白色粒・石莖・輝石・片岩粒③やや軟質	口縁部外反し頸部に横位隆線を付す。口縁部下位に円孔を連続する	中期後葉
36	深鉢 底部	中央 +5	①-②-③ 10.5	①明黄褐色変相：白色粒多・石莖・輝石③やや軟質	大型の深鉢か。体部下半は強く開く。内外面面磨減	中期後葉
37	深鉢 底部	北 +38	①-②-③ 9.0	①明褐色変相：白色粒・輝石③良好	垂下沈線・縦位波状沈線による懸垂文構成下部部。地文は縦位 RL	中期後葉

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
38	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 9.0	①鈍い褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	垂下沈線下部端を見る。懸垂文構成。地文は斜位 LR を施す	中期後葉
39	深鉢 底部	中央 +24	①-②-③ 7.0	①鈍い褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	垂下沈線下部端。懸垂文構成。地文は縦位 RL を施す	中期後葉
40	深鉢 口縁部突起	中央 +39	①-②-③-④	①鈍い黄褐色②粗; 白色粒・石英・輝石③良好	渦巻状突起を突出する。口縁部に沈線が沿い、体部は沈線による逆U字状意匠が配される。LR 縦位充填施文	中期末葉
41	深鉢 口縁部	中央 +3	①-②-③-④	①褐色②粗; 白色粒・石英・輝石③良好	口縁部横位縦線以下斜位沈線が垂下する。分岐懸垂文か。縄文は斜位 LR 充填施文	中期末葉
42	深鉢 口縁部	伊 +7	①-②-③-④	①褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	口縁部僅かに外反し無文。区画線を設定す。斜位沈線。逆U字状意匠を配す。縦位 LR は地文か	中期後葉
43	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-④	①鈍い黄褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	口縁部内湾し、横位沈線を設ける。以下縦位 LR を施す	中期後葉

12区 3号住居出土土器観察表 (遺構: 第1分層 第229-230区, 遺物: 第2分層 第176区・P.L. 83)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部 中位	伊土器	45.8 ②-③	①鈍い褐色②粗; 白色粒・石英・輝石③良好	大型の深鉢。口縁部横位縦線以下垂下沈線による懸垂文構成。施文部は無節L縦位充填施文。垂下沈線で画された体部は9分割されるが、施文部と磨消部交互配列のため施文部が隣接する区画がある	中期末葉
2	深鉢 口縁部	伊土器	① 34.8 ②-③	①鈍い褐色②粗; 白色粒・輝石・褐色粒③良好	口縁部横位縦線より、垂下沈線が隣接する。施文部と無文部の交互構成か。縄文は縦位 LR 充填施文	中期末葉
3	深鉢 口縁部～体部	+4	①-②-③-④	①褐色②粗; 白色粒・石英③やや軟質	口縁部幅広く無文。横位縦線を付し、以下は無節Rを縦位施文する。隆線には突起を付す	中期末葉
4	深鉢 口縁部	中央 +13	①-②-③-④	①鈍い褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	口縁部に瘤状突起を付す。口縁横位沈線を設ける。器面磨滅	中期末葉
5	深鉢 口縁部	中央 +3	①-②-③-④	①褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	流状縁か。口縁部横位沈線以下体部は横位・斜位 LR が覆う。破片左側に斜位沈線の起跡を見る。分岐懸垂文か	中期末葉
6	深鉢 口縁部	其 +18	①-②-③-④	①鈍い黄褐色②細; 白色粒・輝石③良好	弧状突起を付すか。口縁部に沈線が沿い、以下2条沈線による弧状意匠。渦巻状意匠か。丸節 Rも充填施文だが、交互施文の原則ではない	中期末葉
7	深鉢 口縁部	東 +5	①-②-③-④	①褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	小波状突起。口縁部は無文で、横位縦線以下垂下沈線を施す。縄文はLR縦位・斜位無文	中期末葉
8	深鉢 口縁部	中央 -3	①-②-③-④	①明赤褐色②粗; 白色粒・石英・雲母・輝石③良好	口縁部隆線による区画文構成。沈線を御線とする	中期後葉
9	深鉢 体部	覆土	①-②-③-④	①明黄褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	横位沈線以下。縦位隆線による懸垂文構成か。2条の弧状隆線が派生する。無節沈線	中期後葉
10	深鉢 体部	南 +8	①-②-③-④	①鈍い黄褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	細隆線による渦巻文構成か。器面磨滅・剥落著しい	中期末葉
11	深鉢 体部上半	東 +12	①-②-③-④	①明黄褐色②粗; 白色粒・石英③やや軟質	3条の横位沈線以下小溝文を付した沈線と3条の沈線が垂下派生する。地文は縦位 RL か。器面磨滅	中期後葉
12	深鉢 底部	北 +15	①-②-③-④ 9.0	①褐色②粗; 白色粒・石英③やや軟質	大型の深鉢。体部下半は無文。内外面とも撫で調整。器面磨滅	中期後葉
13	深鉢 底部	西 +41	①-②-③-④	①鈍い黄褐色②粗; 白色粒・褐色粒③良好	底部突出し、厚手の器厚を呈す。体部下半は無文	中期後葉
14	深鉢 底部	覆土	①-②-③-④ 7.0	①明赤褐色②粗; 白色粒・石英③良好	体部下半の立ち上がり一部で歪む。体部器厚薄手	中期後葉

12区 4号住居出土土器観察表 (遺構: 第1分層 第231-233区, 遺物: 第2分層 第177-178区・P.L. 84)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～底部	2埋費 +17	①-②-③ 8.7	①明赤褐色②粗; 白色粒・輝石③やや軟質	大型の両耳直。頸部隆線に大型楕圓把手と小型楕圓把手を2単位配す。体部は把手を中核に沈線による弧状意匠が配される。器面磨滅のため、意匠の全容は把握できないが、おそらく渦巻状意匠と思われる。縄文はLR充填施文。縄文施文部・無文部の交互構成	中期末葉
2a	深鉢 体～底部	2埋費 +9	①-②-③ 6.6	①鈍い褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	やや薄手の器厚で、縦位 LR が覆う。底部は丸底気味で安定性を欠く	中期末葉
2b	深鉢 口縁～体部	中央 +15	①-②-③-④	①褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	薄手の器厚を呈す。平縁で口縁部に横位沈線を設け以下縦位 LR が覆う	中期末葉
3	深鉢 口縁部～体部	覆土	①-②-③-④	①鈍い黄褐色②粗; 白色粒・石英・輝石③良好	直立気味の口縁部に横位沈線を設け、以下沈線による逆U字状懸垂文が配される。LR 縦位充填施文	中期末葉
4	深鉢 口縁部～体部	中央・張出 +15	①-②-③-④	①明黄褐色②粗; 白色粒・石英・雲母③良好	口縁部に横位縦線隆線を設け以下体部は垂下沈線による懸垂文構成か。施文部は横位・縦位 LR による縦位弧状縄文を充填する	中期末葉
5	深鉢 頸部～体部	覆土	①-②-③-④	①明黄褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	両耳直。体部上半は内湾し、頸部隆線を付す。隆線と体部に剥落痕跡を見ることがある。楕圓把手を設ける。体部は縦位密接条線を施す	中期末葉
6a	深鉢 体部	中央 +13	①-②-③-④	①鈍い褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	垂下沈線による懸垂文構成。磨消部には縦位磨き加わ。縄文はRL充填施文	中期後葉
6b	深鉢 体部	中央 +18	①-②-③-④	①鈍い褐色②粗; 白色粒・輝石③良好	垂下沈線による懸垂文構成。磨消部には縦位磨き加わ。縄文はRL充填施文	中期後葉
7	深鉢 体部下半	張出 +29	①-②-③-④	①明黄褐色②粗; 白色粒・石英・輝石③良好	沈線による分岐懸垂文下部端か。縦位 LR を充填する	中期末葉

## 出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
8	深鉢 体部上半	2埋裏 +9	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	垂下沈線による磨消部懸垂文構成。縦位LRを充填する	中期末葉
9	深鉢 体部	中央 +27	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母・輝石③良好	厚手の器厚。縦位LRが覆う	中期末葉
10	深鉢 口縁-頸部	1埋裏 +8	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・雲母・褐色粒③やや軟質	口縁部は外反し、頸部隆線に小突起を付す	中期末葉
11	深鉢 口縁部	中央 +27	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒③軟質	厚手の器厚。口縁部に横位沈線を施す。器面磨滅	中期末葉
12	鉢か 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部強く内湾し、横位細隆線を付す	中期末葉
13	深鉢 頸部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英③良好	口縁部は外反し、頸部隆線を付す。内面研磨	中期末葉
14	深鉢 底部	覆土	①-②-② 5.2	①褐色②粗:白色粒・石英多③良好	体部下半は緩やかに外反する。外面縦位線で調整を施す。体部器厚薄手	中期後葉
15	深鉢 体-底部	覆土	①-②-② 5.1	①褐色②粗:白色粒・褐色粒③やや軟質	小型の深鉢か。内湾気味に開く体部下半。外面器面磨滅する。無文か、内面炭化物付着	中期後葉
16	ミニチュア 体-底部	覆土	①-②-② 4.7	①明赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	深鉢ミニチュア。体部器厚薄手。縦位密接条線が端部にまで施文される	中期後葉
17	深鉢 底部	+24 +6.4	①-②-②	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	体部下半は緩やかに開く。器面磨滅	中期後葉
18	深鉢 体部上半	突出 +6	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条沈線による楕円状区画文。隙間には小渦巻文が配される。地文は縦位器糸L	中期後葉
19	深鉢 頸部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	2条沈線による連弧状区画が配される。地文は斜位RL	中期後葉

12区5号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第234-235頁, 遺物:第2分冊 第179頁・P.L.84)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部中位	+2	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒多・輝石③良好	体部上半は外反し、下半は緩やかに内湾する。縦位密接条線が器面を覆う。施文は浅い。上半部は加熱により器壁割落・変色する	中期後葉
2	深鉢 口頸部	+6	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口頸部は外反し、口縁部-頸部は内湾する。2条隆線による区画文と渦巻文構成。区画内は沈線を側線とし、縦位短沈線を充填する	中期後葉
3	深鉢 体部	+7	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。地文は縦位RL	中期後葉
4	深鉢 口縁部	5住P8	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	口縁部横位沈線以下、斜位沈線を充填する。横位矢羽状構成か	中期後葉

12区6号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第236頁, 遺物:第2分冊 第180・181頁・P.L.85)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁-底部	中央・北東 -11	① 26.5 36.4 ② 6.2	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	口縁部の残存悪い、おそらく平縁。体部上半は2条細沈線による縦位楕円状・同心円状曲線が配される。下半は沈線による分岐懸垂文。上半区画内は無筋L縦位充填施文。器面磨滅する	中期末葉
2	深鉢 体部上半	北東 ±0	①-②-③-	①黒褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部は無文か、頸部隆線以下縦位波状密接条線が乱雑に施される。器厚厚手	中期末葉
3	深鉢 体部下半	北東 -4	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	5-6条単位の条線による波状懸垂文構成。渦巻文も施される	中期末葉
4	深鉢 口縁部	北東 +5	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③やや軟質	口縁部隆線による楕円状区画文構成。区画間上下に凹文を配す。側線は凹線。体部は低位隆線と横手状沈線による懸垂文と区画文。縄文はRL充填施文	中期後葉
5	深鉢 口縁部	北東 ±0	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	厚手で口縁部肥厚。隆線による区画文構成。区画下側の凹線は強い。区画内は横位RLを充填する	中期後葉
6	深鉢 体部	北東 ±0	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	強く内湾する器形。縦位条線を密に施すが、器面磨滅する	中期後葉
7	深鉢 口縁部	北東 +2	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	平縁で無文。外面も横位線で調整痕跡が顕著	中期後葉
8	深鉢 体部	中央 +15	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文構成。側線沈線の施文は深い。地文は器糸L	中期後葉
9	深鉢 体部把手	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	小型の楕円把手。上端を横位隆線に付す。縄文RLを施す	中期末葉
10	深鉢 口縁部	中央 +17	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部横位細隆線以下縦位LRを施す。厚手で凹凸顕著	中期末葉
11	深鉢 口縁部	中央 +8	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部横位細隆線以下縦位LRを充填する	中期末葉
12	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	沈線で画された施文部による弧状区画。あるいは渦巻状区画か。LR充填施文	中期末葉

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
13	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③- 9.8	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	波状口縁波頂部、細隆線が沿う。体部は浅い沈線による施文部渦巻状 意匠か。LR充填施文	中期末葉
14	深鉢 底部	北西 +15	①-②-③- 9.8	①褐色②粗:白色粒・ 輝石・褐色粒③やや軟質	無文で、器面凹凸顯著	中期後葉
15	深鉢 底部	中央 +17	①-②-③- 7.0	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	厚手で、内面丸底を呈す。体部下半は反気味に開く。無文	中期後葉
16	深鉢 底部	覆土	①-②-③- (5.4)	①明赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③やや軟質	小型の深鉢か。2条の垂下沈線と縦位矢羽状短沈線下端を見る。器面 磨減	中期後葉
17	深鉢 底部	覆土	①-②-③- (5.4)	①明褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	小型の深鉢か。無文。器面磨減	中期後葉
18	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 7.0	①暗褐色②粗:白色粒・ 褐色粒③やや軟質	付き深鉢脚部接合部。器形は対称性に乏しく、金目が著しい。斜位 隆線による懸垂文下部部か。浅い垂下沈線も看取される	中期後葉
19	深鉢 口縁部	北 +7	①-②-③- 7.0	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 多・石英③軟質	器面磨減のため判然としないが、横位扇状の貫粒粘土痕跡を見る。横 文も施される	前期後葉
20	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③- 7.0	①鈍い褐色②粗:石英・ 雲母③良好	波状縁波底部か。単列の結節沈線を施す	中期中葉
21	深鉢 底部	北 +20	①-②-③- 7.0	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 石英少・輝石③良好	頸部中空状突起。大型の縦位突起両端に上下貫孔する縦位突起を配す。 突起外縁は沈線が沿い隆帯上に押圧状刻みを施す。体部は4条の垂下 沈線上端を見る。地文は縦位懸垂上	中期中葉末
22	深鉢 口縁部	西 +11	①-②-③- 7.0	①鈍い褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	2条隆線による口縁部渦巻状意匠。割線は沈線、地文は横位・斜位 RL	中期後葉
23	深鉢 口縁部	北 +11	①-②-③- 7.0	①灰黄褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	口唇部肥厚。口縁部横位凹線以下、隆線による口縁部渦巻文と区画文 構成	中期後葉
24	深鉢 体部中位	北 +4	①-②-③- 7.0	①灰黄褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石・雲母 少③良好	2条沈線による懸垂文構成。波状沈線も加わる。縦位矢羽状短沈線を 施す	中期後葉

12区7号住居出土土器観察表 (連続:第1分冊 第237図、器種:第2分冊 第182図・P.L.86)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体・底部	中 +31	①-②-③- 11.2	①明赤褐色②粗:白色粒・ 石英・雲母③良好	大型の深鉢。厚手で量感に富む。体部は無文で縦位・斜位隆文を施す。 体部内面凹凸物着存。底面継代痕残る	中期末葉
2	深鉢 底部	中 +25	①-②-③- 8.8	①鈍い褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	体部下半無文。外面の縦位調整痕が顕著	中期末葉
3	深鉢 体部	中 +25	①-②-③- 8.8	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	下半か。無文で内外面とも推して加える	中期末葉
4	深鉢 口縁部	中 +24	①-②-③- 8.8	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	口縁部横位細隆線以下横位・斜位 LR を充填する	中期末葉
5	深鉢 体部	中 +33	①-②-③- 8.8	①褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石・雲母③良好	縦沈線2条による懸垂文構成。施文部横文は LR 縦位充填施文	中期末葉
6	深鉢 体部	中 +8	①-②-③- 8.8	①明黄褐色②細:白色粒・ 輝石③良好	2条の沈線で両された施文部渦巻文構成か。LR 充填施文	中期末葉
7	深鉢 口縁部	中 +14	①-②-③- 8.8	①鈍い褐色②粗:白色粒・ 石英・雲母③良好	口縁部内溝。2条沈線による逆U字状意匠。中位に鏡手状沈線か。口 縁部は横位。体部は縦位 RL を充填する	中期後葉
8	深鉢 口縁部	中央 +8	①-②-③- 8.8	①明黄褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石・雲母③良好	口縁部隆帯による楕円状区画文構成。側縁は凹線及び推で。横位 RL を充填する。口縁部に補修孔	中期後葉
9	深鉢 口縁部	東 +18	①-②-③- 8.8	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 石英・雲母少③ やや軟質	沈線のみ区画線。円形区画文を配す。RL 充填施文	中期後葉
10	深鉢 体部	東 +19	①-②-③- 8.8	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石・雲母③良好	体部中位か。無文だが、赤色痕跡を見る。浅斜等に見る垂彩とは異質 な感	中期後葉
11	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③- 8.8	①赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	隆線による口縁部楕円状区画文構成。区画内の飾線は沈線。無彫 R 縦 位充填施文	中期後葉
12	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③- 8.8	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	口縁部下に横位沈線を設け以下縦位密接線を施す	中期後葉
13	深鉢 体部	南 +20	①-②-③- 8.8	①浅黄色②粗:白色粒・ 石英・輝石・雲母③良好	弧状隆線による体部渦巻文構成か。側縁は凹線。縦位 RL 充填施文	中期後葉
14	有孔跨付土 器 頸部	覆土	①-②-③- 8.8	①鈍い褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	口縁部外反し、跨は強く突出する。跨上下に小孔を穿つ。未貫孔の小 穴を見る	中期後葉
15	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③- 8.8	①灰黄褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	隆線による渦巻文と区画文構成。区画内は縦位短沈線を充填する。体 部は2条沈線による逆弧状意匠か	中期後葉

## 出土土器観察表

12区8号住居出土土器観察表 (編織:第1分冊 第238図、遺物:第2分冊 第183～185図・P.L.86-87)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1a	深鉢 口縁部	西+1	①-②-③-	①灰黄褐色・鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	口縁部横位隆線を設け、体部は垂下隆線による懸垂文構成。縄文は斜位 RL 充填施文	中期末葉
1b	深鉢 体部	中央・西+14	①-②-③-	①灰黄褐色・鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	垂下隆線による懸垂文構成。側縁は撫で。縦位 RL 充填施文	中期末葉
2	深鉢 口縁部	中央+13	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:小礫・白色粒・石英・褐色粒③良好	口縁部に歪み、横位隆線以下垂下隆線による逆U字状の懸垂文構成。側縁は沈線。RL 充填施文	中期末葉
3	深鉢 体部中位	北+22	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・褐色粒・輝石・雲母③良好	垂下隆線で画された磨治部・施文部の懸垂文構成。側縁は撫で。縦位 LR 充填施文	中期末葉
4	深鉢 口縁～体部 中位	中央+13	① 26.7 ②-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石・褐色粒③良好	口縁部縦位細隆線を設ける。以下、体部は沈線による逆U字状・縦位腕手状懸垂文が配される。無彫L縦位・斜位充填施文	中期末葉
5	深鉢 口縁～体部 中位	中央+7	① 18.6 ②-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・雲母・輝石③良好	4単位波状縁。波頂部に横状把手。口縁部横位隆線に刻みを付し、体部は屈曲部横位刻み目列で上下二帯に画す。上位は沈線による波状文、下位は逆U字状懸垂文。縄文は斜位 RL 縦位充填施文	中期末葉
6	深鉢 口縁～体部 中位	中央+12	① 24.0 ②-	①明黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	両耳帯。2単位か。口縁部は内傾し幅広で無文。頸部隆線に刻溝するが大型の横状把手を設ける。体部は沈線による逆U字状懸垂文が配される。LR 縦位充填施文	中期末葉
7	深鉢 口縁～体部 中位	中央+1	① 29.0 ②-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部縦位細隆線以下体部文様帯は2帯構成。上位は隆線による楕円状区画が配され、下位は沈線による分岐懸垂文構成か。縦位 RL 充填施文	中期末葉
8	深鉢 口縁部	中央+13	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	波状縁。波状突起を付す。縦隆線が殆い以下は隆線による弧状・渦巻状構成か。側縁は沈線。RL 充填施文	中期後葉
9	深鉢 口縁部	中央+17	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部下に凹線を設け、以下隆線による弧状・渦巻状意匠を配す。縄文は縦位 RL 充填施文	中期後葉
10	深鉢 口縁部	西+16	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	平縁。口縁部に横位沈線。以下沈線による逆U字状懸垂文が配される。他は無文	中期後葉
11	深鉢 口縁部	中央+2	①-②-③-	①淡黄色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	口唇部肥厚する。凹線が治う区画文構成か。横位・斜位 RL を充填する	中期後葉
12	深鉢 口縁部	南東+13	①-②-③-	①明赤褐色②細:白色粒・石英・輝石③良好	2条の沈線による弧状意匠。あるいは逆U字状懸垂文構成か。縄文は横位・縦位 RL	中期後葉
13	深鉢 体部	中央+14	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	弧状細隆線を付し、RL を充填する。大柄の渦巻文構成か	中期後葉
14	深鉢 頸部	中央+14	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	隆線による口縁部区画文構成。頸部隆線以下は垂下隆線による懸垂文か。側縁は沈線。縄文は RL 充填施文	中期後葉
15	深鉢 体部中位	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	下平で内湾し、中位で括れる体部器形。垂下沈線2条による懸垂文構成。他は無文	中期後葉
16	深鉢 体部上半	東+24	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石③良好	2条の沈線による弧状意匠。中位に縦位波状沈線を配す。LR 縦位充填施文	中期後葉
17	深鉢 体部	中央+5	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	垂下沈線と弧状沈線による懸垂文構成か。磨治部は幅広で研磨を加える。縄文は縦位 RL 充填施文	中期後葉
18	深鉢 体部	中央	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	垂下沈線で画された磨治部懸垂文構成。縦位 RL 充填施文	中期後葉
19	深鉢 体部中位	中央+8	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部より垂下する2条沈線による懸垂文構成か。斜位短沈線が施される	中期後葉
20	深鉢 口縁部	東+3	①-②-③-	①白色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	口唇部肥厚。幅広の凹線を巡らし、隆帯による口縁部区画を配す。接点に凹文を施す。斜位 RL を充填する	中期後葉
21	深鉢 体部上半	東+3	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・石英・雲母③良好	隆線による弧状・不整形区画文構成。側縁は沈線。RL 充填施文	中期後葉
22	深鉢 口縁部	北+13	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・輝石③良好	緩やかに外反する。無彫L横位斜位施文	中期後葉
23	浅鉢 口縁部下	北+3	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒多・石英多③やや軟質	低位隆線で画された口縁部文様。おそく楕円状区画か。側縁は凹縁。縄文は縦位 RL。内面研磨	中期後葉
24	ミニチュア 口縁～底部	北+4	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・石英・輝石③良好	直立気味の体部器形。底部は裡かに上げ気味か。無文	中期後葉
25	深鉢 体部中位	東+5	①-②-③-	①褐色②粗:片岩・白色粒・雲母③良好	2条の沈線による懸垂文構成。あるいは逆U字状意匠か。中位に1条の緩やかな縦位波状沈線	中期後葉
26	貝輪状上製 品	北+9	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	上端の角度が弱く、いびつな印象を得る。細横文 LR を施す。内面は削り調整	中期後葉?
27	貝輪状上製 品	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	角度はやや弱く、端部も厚手。LR を施す。凹凸顯著	中期後葉?



番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
28	深鉢 体部上半	東 3	①-②-③-	①鈍い褐色②細：白色 粒・石英③良好	体部上半で強く内湾する。付加条2種 RL+L 2条か	前期前葉
29	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①黒褐色②細：白色粒・ 繊維③やや軟質	環付き RL を多段に施す	前期前葉
30	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①鈍い赤褐色②細：白色 粒・繊維③やや軟質	環付き RL を多段に施す	前期前葉
31	浅鉢 口縁部下	中央 +16	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗：白色 粒・石英・片岩③良好	幅広い隆帯に3条の沈線を重ねた弧状意匠を配す。内外面研磨により平滑	中期後葉

12区9号住居出土土器観察表 (編種：第1分冊 第239-9頁、遺物：第2分冊 第186頁・P.L 87-88)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部中位	中 5	①-②-③-	①明赤褐色②細：白色 粒・石英・雲母③良好	垂下沈線・縦位波状沈線・縦位蹴手状沈線による懸垂文構成。上位に円形の区画文を配す。縄文は縦位 LR 充填施文	中期後葉
2	深鉢 口縁部	中央 +13	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・雲母③良好	6・7条単位の縦位波状密接条線による懸垂文構成。口唇部に歪みあり	中期後葉
3	深鉢 口縁部	南 +8	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細：白色 粒・石英③良好	口縁部隆帯による区画文構成。側縁は凹線。LR 充填施文。体部は沈線で画された磨治部懸垂文構成か。縦位 LR を施す	中期後葉
4	深鉢 口縁部	中央 +16	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・雲母・輝石③やや軟質	波状突起。隆帯による渦巻文を配す。器面磨滅	中期後葉
5	深鉢 口縁部	南 +9	①-②-③-	①褐色②粗：白色粒・ 石英・雲母③良好	平縁。隆帯による平円凹状区画と渦巻文構成。区画内は縦位擦糸 L を施す	中期後葉
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英③良好	小径の小型品か。口縁部は沈線による渦巻文と区画文構成。体部は垂下沈線が懸垂する。縄文は縦位 LR 充填施文	中期後葉
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・雲母③良好	波状突起。刻みを施す横位隆帯を付し下位に沈線が沿う。以下縦位・斜位 LR を施す	中期後葉
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・雲母③良好	7と同一個体か	中期後葉
9	深鉢 口縁部突起	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細：白色 粒・雲母・輝石③良好	小型深鉢小突起。方形を呈す。頂部より蛇行隆帯が垂下し、刺突文が交互に加わる。口唇部に沿って沈線を施す	中期後葉
10	深鉢 胴～体部	中央 +18	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細：白色 粒・輝石③良好	頸部隆帯以下体部は蹴手状沈線と弧状沈線による懸垂文構成。斜位 LR を充填する	中期後葉
11	深鉢 体部中位	中央 +13	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細：白色 粒・石英・輝石③良好	薄手の器形。垂下沈線3条による懸垂文構成。縄文は縦位 LR 充填施文	中期後葉
12	深鉢 体部中位	覆土	①-②-③-	①褐色②細：白色粒・ 輝石③良好	垂下沈線で画された磨治部懸垂文構成。縦位波状沈線も配される。LR 縦位充填施文	中期後葉
13	深鉢 底部	中央 +13	①-②-③-	①淡黄色②粗：白色粒 多・石英・雲母③良好	隆帯による口縁部区画。側縁は凹線。頸部横位沈線以下は沈線による弧状区画か。縄文は RL 充填施文	中期後葉
14	深鉢 体部	中央 +18	①-②-③-	①淡黄色②細：白色 粒・石英③良好	体部下半で内湾する。縦位波状密接条線を施す	中期後葉
15	深鉢 体部	中 +11	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・輝石③良好	垂下隆帯による懸垂文構成か。縦位波状密接条線を施す	中期後葉
16	深鉢 体部	中央 +16	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・雲母・輝石③やや軟質	幅広い縦位条線を施す	中期後葉
17	深鉢 体部下	中央 +16	①-②-③-	①淡黄色②粗：白色 粒・輝石③良好	垂下細沈線による懸垂文下端部。あるいは密接条線か	中期後葉
18	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・輝石③良好	沈線による渦巻意匠が配される。	中期後葉
19	深鉢 体部下	中央 +14	①-②-③-	①褐色②粗：白色粒・ 石英・輝石③やや軟質	垂下沈線による懸垂文構成。器面磨滅	中期後葉
20	深鉢 体～底部	中央 +11	①-②-③- 6.5	①明褐色②粗：白色粒・ 輝石③良好	2条の垂下沈線で画された磨治部懸垂文構成。施文部縄文は斜位 LR 充填施文	中期後葉
21	深鉢 底部	中央 +10	①-②-③-	①明赤褐色②粗：白色 粒・石英・輝石③良好	僅かに内湾気味に立ち上がる。無文ながら平滑な面で調整が及ぶ	中期後葉
22	深鉢 底部	北 +4	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細：白色 粒・石英・輝石③良好	強く凹る体部下。横位 LR が覆う	中期後葉
23	ミニチマア 口縁～体部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細：白色 粒③良好	不整形な鉢形の器形か。器面凹凸顯著。焼成時黒痕を見る	中期後葉
24	浅鉢 体部下	中央 +17	①-②-③-	①明褐色②粗：白色粒・ 石英③良好	底面を欠損する。強く凹る体部下。外面研磨。内面面で調整を加える。無文	中期後葉
25	深鉢 体部中位	中央 +10	①-②-③-	①淡黄色②粗：白色 粒・石英③良好	垂下沈線2条による懸垂文構成。空白部は弧状沈線を配す。あるいは縦位波状沈線か。縄文は縦位 LR	中期後葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
26	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細・白色粒・輝石③良好	波状口縁。薄手の器厚で口縁部は強く外反する。付加条2横RL+L2条か	中期後葉 前期前葉か?

12区 10号住居出土土器観察表 (編年:第1分層 第249-241層, 遺物:第2分層 第187~190層・F.L.88~91)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部中位	伊・28	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗・白色粒・石英③良好	2条沈線で画された磨消部・施文部の懸垂文構成。縦位LR充填施文	中期後葉
2	深鉢 口頸部	中央+4	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・片岩粒③良好	口頸部に平渦巻状突起を設け上端を突出させる。隆線による区画文が配され、沈線を側線とする。縦位RLを充填する	中期後葉
3	深鉢 口縁~体部 下半	埋裏	① 21.3 ②-	①鈍い褐色②粗:白色粒③-	4単位波状口縁。2単位欠損。波頂部に隆線による渦巻文を配し、椀内状区画文が連続する。渦巻文はやや扁平な印象を得る。体部はやや細身の垂下沈線による懸垂文構成。縄文は斜位・縦位RL充填施文	中期後葉
4	深鉢 頸~体部	中央+15	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部は隆線による区画文構成か。頸部隆線直下より2条垂下沈線と縦位波状沈線が懸垂する。縄文は縦位LR充填施文	中期後葉
5	深鉢 口縁~体部	中央+18	① 11.2 ②-	①明黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	小型で筒型の器形。口唇部内外面は不方向性の強い撫で調整を加える。縦位LRが匏う	中期後葉
6	深鉢 口縁~体部 中位	中央+4	① 40.0 ②-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	大型の深鉢。緩やかな波状縁か。口縁部は直立し無文。隆線による渦巻文と区画文構成。6単位構成か。体部は2条の垂下沈線による懸垂文構成。縄文はLR充填施文	中期後葉
7	深鉢 口縁部	中央+13	① 42.8 ②-	①灰褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	大型の深鉢。口縁部は隆線による渦巻文と区画文。側線は沈線と凹線。縦位RLを充填する	中期後葉
8	深鉢 口縁~体部 上半	北・中央+15	① 37.2 ②-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	口縁部は強く開き無文。頸部屈曲し、隆線による椀内状区画文と渦巻文が配される	中期後葉
9	深鉢 口縁~口頸部	東+3	① 35.0 ②-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	口縁部は無文で強く開く。口頸部に隆線による区画文と渦巻文を配す。側線は沈線で、横位RLを充填する	中期後葉
10a	深鉢 口縁部	中央+18	①-②-③-	①黄褐色②細:白色粒③良好	薄手の器厚を呈し、無文。頸部で強く屈曲する	中期後葉
10b	深鉢 口縁部	中央・東+23	①-②-③-	①灰黄褐色②細:白色粒・雲母少・輝石③良好	口縁部無文。頸部屈曲し、以下隆線による渦巻文構成。側線は凹線、LRL斜位充填施文	中期後葉
10c	深鉢 口縁部	中央+17	① 26.0 ②-	①灰黄褐色②細:白色粒・雲母少・輝石③良好	口縁部無文で強く開く。頸部屈曲する	中期後葉
11	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・石英③良好	反波状突起・波底部より隆線が垂下し、屈曲部隆線と接す。無文だが、丁寧に撫で調整を加える。内面丁寧な磨消を施す	中期後葉
12	深鉢 口縁部	中央+14	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。区画内は凹文を配す。側線は沈線。斜位RLを充填する	中期後葉
13	深鉢 口縁部	中央+15	①-②-③-	①明赤褐色②粗:小礫・白色粒・輝石③良好	波状突起を付すか。口縁部は隆線による渦巻文と区画文構成。側線は沈線。斜位LRを充填する。体部は垂下沈線による懸垂文。縦位LRを充填する	中期後葉
14	深鉢 口縁~体部 上半	中央+23	① 24.0 ②-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部波状突起を付すか。口縁部文様部は隆線による椀内状区画文構成。前々段平黒RL充填施文。頸部は無文で、体部は2条の横位隆線で画され、垂下隆線1条の懸垂文構成	中期後葉
15	深鉢 口縁部	中央+17	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	波頂部欠損。隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。側線は撫で及び凹線。縄文はLR充填施文	中期後葉
16	深鉢 口縁部	北+31	①-②-③-	①明黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	波状突起を付す。波頂部に隆線による渦巻文を配す。側線は撫で、	中期後葉
17	深鉢 口縁部	中央+17	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部隆線による椀内状区画文構成。区画内は凹線を側線とし無黒RLを横位施文する	中期後葉
18	深鉢 口縁部	北+21	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒多・石英・輝石③良好	波状突起を付すか。凹線による椀内状区画文構成か。無黒L縦位充填施文	中期後葉
19	深鉢 口頸部	北+18	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文構成。体部は垂下沈線で画された磨消部懸垂文構成。縄文は縦位・斜位RL充填施文	中期後葉
20	深鉢 体部中位	西+19	①-②-③-	①明赤褐色②細:小礫・白色粒・輝石③やや軟質	垂下沈線による懸垂文構成。施文部と磨消部の交互構成を取らない。縄文は縦位LR充填施文	中期後葉
21	深鉢 体部中位	中央+19	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。縄文は縦位・斜位RLだが、二種類の原体を使用する	中期後葉
22	深鉢 体部下平	中央+20	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条沈線で画された磨消部懸垂文構成。縄文はRL充填施文	中期後葉
23	深鉢 体部中位	中央+11	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・石英・輝石・雲母少③良好	2条隆線による懸垂文構成。側線は凹線。縄文は縦位RL充填施文	中期後葉
24	深鉢 体部中位	中央+30	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	垂下沈線による磨消部懸垂文構成。縦位波状沈線を施文部に充てる。縄文は縦位RL充填施文	中期後葉

番号	器種・存在	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
25	深鉢 体部中位	北 +22	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	垂下沈線2条に画された磨消部懸垂文構成。施文部に縦位波状沈線を施す。縄文は縦位RL充填施文	中期後葉
26	深鉢 体部中位	北 +26	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・石英・雲母③良好	垂下沈線で画された磨消部懸垂文構成。施文部に縦位波状沈線を配す。縄文は縦位RL充填施文	中期後葉
27	深鉢 体部中位	腹上	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	垂下沈線による磨消部懸垂文構成。施文部と交互構成を取り、縦位RLを充填する	中期後葉
28	深鉢 口縁部	北 +11	① 38.0 ② ③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	口縁部波状突起を付し、僅かに肥厚する。以下、体部は縦位密接条線が覆う。突起内面は渦巻状意匠が配される	中期後葉
29	深鉢 口縁部	西 +17	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	縁線による口縁部楕円状区画と半渦巻文意匠。側線は沈線及び凸線で、区画内は密接条線による小波状文を充填する	中期後葉
30	深鉢 口頸部	北 +26	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	頸部屈曲し、隆帯による渦巻文と楕円状区画構成。側線は凹線。5・6条単位の条線を横位充填する。体部は縦位密接条線が覆う。隆帯は研磨が加わる	中期後葉
31a	深鉢 口頸部	中央 +9	①-②-③-	①明褐色②粗:白色粒・輝石③良好	頸部屈曲し、隆帯による楕円状区画を配す。側線は沈線。4・5条単位の弧状条線を充填する。体部は縦位密接条線が覆う	中期後葉
31b	深鉢 口頸部	北 +20	①-②-③-	①明褐色②粗:白色粒・輝石③良好	頸部屈曲し、隆帯による楕円状区画を配す。側線は沈線。4・5条単位の弧状条線を充填する。体部は縦位密接条線が覆う	中期後葉
32	深鉢 口縁部	北 +22	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部に横位沈線を2条設け、沈線間に内形刺突文を施す。体部は沈線による縦位楕円状意匠を配し、内形刺突文を充填する。地文は斜位RL	中期後葉
33	深鉢 口縁部	北 +16	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部に横位沈線を2条設け、沈線間に小型の内形刺突文を施す。直下より沈線を懸垂する。縦位LR充填施文	中期後葉
34	深鉢 口縁部	中央 +14	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部に1条の横位沈線を設け垂下沈線を派生する。施文部は無筋LR縦位施文か。	中期後葉
35	深鉢 頸部	中央 +23	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	押圧を加えた鎖状隆帯を横位に付し、同隆帯が懸垂する。側線は凹線。縦位密接条線を施す	中期後葉
36	深鉢 体部中位	中央 +25	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	押圧を加えた鎖状隆帯による懸垂文構成。内皮沈線による縦位密接条線を施す	中期後葉
37	深鉢 体部上半	東 +19	①-②-③-	①浅黄褐色②細:白色粒・石英・輝石③やや軟質	低位の垂下隆線による懸垂文構成。側線は沈線。縄文は縦位LRL	中期後葉
38	深鉢 底部	中央 +19	①-②-③ 6.5	①褐色②粗:白色粒・石英③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位RLを施す	中期後葉
39	深鉢 体~底部	中央 +11	①-②-③ 6.4	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	薄手の器厚。2条の垂下沈線による磨消部懸垂文構成。縦位LRを充填する。	中期後葉
40	深鉢 底部	中央 +13	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:片岩粒・石英・白色粒③良好	垂下沈線で画された磨消部懸垂文構成。縦位RL充填施文	中期後葉
41	深鉢 底部	中央 +26	①-②-③ 6.5	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	垂下沈線群による懸垂文構成。縦位LRを施す。器面磨滅	中期後葉
42	深鉢 体部中位	北 +23	①-②-③-	①灰黄褐色②粗:白色粒・石英大粒・褐色粒③良好	大型の深鉢体部。緩やかな内湾を示す。無文	中期後葉
43	深鉢 口縁部	北 +19	①-②-③-	①明黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	薄手の器厚を呈す。無文で内外面とも丁寧な撫でにより平滑	中期後葉
44	深鉢 底部	中央 +12	①-②-③ 6.4	①褐色②粗:白色粒・石英大粒・片岩粒③良好	厚手で強く固く体部下平。無文	中期後葉
45	浅鉢 口縁部	中央 +12	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:石英・片岩③良好	大型の浅鉢か。内外面丁寧な研磨を施し、赤彩を見る	中期後葉
46	浅鉢 体~底部	中央 +5	①-②-③ 6.8	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	薄手の器厚で内湾気味に強く固く。体部下平に幅広の沈線による横位弧状意匠を連続する。体部内面に輪状の里戻りと炭化物を見る	中期後葉
47	器台 台部~腹部	伊 1 上:12.8 高:6.6下: 18.0	① 鈍い黄褐色②粗: ③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英③良好	器台上面は僅かに凹み光沢面を持つ。脚部には内孔を設けるが、不規則な配置。2孔一對のものとは単孔を1単位とすると3単位構成か。脚部内面に僅かに炭化物が付着する	中期後葉
48	鉢 口縁部~底部	中央 +19	① 13.7 ② 7.2 ③ 4.6	①褐色②粗:白色粒・石英小・輝石③良好	口縁部楕円状把手と小突起を配す。おそらく正2単位であろう。極めて精緻な作りで、内外面とも丁寧な研磨を施し、赤彩を加える。底部は僅かに上げ底	中期後葉
49	ミニチュア 体~底部	中央 +16	①-②-③ 2.2	①鈍い黄褐色②粗:白色粒③良好	内外面とも歪みが顕著。底面も正円ではない。斜位LRを施す	中期後葉
50	深鉢 口縁部突起	中央 +15	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	動物状意匠か。内形刺突により耳・目、小刺突で鼻。横位沈線で口の表現であろうか。突起内面の内湾著しく。傾きなど不揃いが多い	中期後葉
51	深鉢 口縁部突起	中央 +16	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:雲母多③良好	突出する渦巻状突起の外縁部。刻みを施す	中期中葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
52	深鉢 底部中位	東+26	①-②-③	①鈍い褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	沈線で画された施文部・磨消部の渦巻状意匠。縄文は RL 充填施文	後期初頭
53	深鉢 底部中位	中央+18	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	2条沈線で画された磨消部懸垂文構成。施文部は列点状刺突文を充填する	後期初頭

12区11号住居出土土器観察表 (通称：第1分冊 第242図、通称：第2分冊 第191・192図・P.L.91-92)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1a	深鉢 口縁～体部	中央・南東	① 53.0 ②-③	①浅黄色②粗：白色粒・輝石③良好	大型の深鉢。口縁部に幅広い横凸凹線を設け、以下体部は細線隆と凹線による不整形区画文が配される。区画内は LR 充填施文	中期後葉
1b	深鉢 体部	中央・南東	+5 ①-②-③	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・輝石③良好	2条の隆線による逆U字状懸垂文。無線は凹線。縄文は縦位 RL	中期後葉
2	深鉢 体部中位	中央+12	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・石英③良好	2条の隆線による大柄の渦巻文意匠が。無線は凹で、RL 充填施文	中期後葉
3	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①灰黄褐色②粗：白色粒・雲母・輝石多③良好	口縁部突起頂部欠削。隆線による小渦巻文と区画文を配す。区画内の無線は凹で、斜位 RL を充填する	中期後葉
4	深鉢 口内面	中央+13	①-②-③	①褐色②粗：白色粒・石英・雲母③良好	隆線による口縁部区画文と、おそらく渦巻文構成。体部は2条沈線で画された磨消部による懸垂文構成。縄文は真直段 RL + r 縦位施文	中期後葉
5	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③	①明褐色②粗：白色粒・輝石③良好	上半の横位隆線以下、2条沈線による磨消部懸垂文構成。RL 縦位充填施文	中期後葉
6	深鉢 口縁～体部	北東+11	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・輝石③良好	口縁～体部一体化し内湾する。無文の口縁部直下より縦位密接条線を施す	中期後葉
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①鈍い褐色②粗：白色粒・輝石③やや軟質	口縁部に横位沈線2条を設け、円形刺突文を加える。以下沈線による弧状意匠を配す。漣弧文が。地文は懸垂しか、器面磨滅	中期後葉
8	深鉢 底部	南東+8	①-②-③ 5.2	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	1・2条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位波状沈線も加わる。地文は縦位 RL	中期後葉
9	鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①鈍い褐色②粗：白色粒・石英・輝石・片岩③良好	口縁部に上下に小突起を付す無文の鉢か。内外面とも丁寧な磨消を施す。赤彩痕僅かに残る	中期後葉
10	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①灰黄褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	小型の無文深鉢か。横位撫で調整を施す	中期後葉
11	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①浅黄褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	口縁部強く外反し、無文。内外面とも横位磨消により平滑	中期後葉
12	深鉢 底～底部	中央+5	①-②-③ 11.6	①褐色②粗：白色粒・雲母・輝石③やや軟質	大型の深鉢。器厚は厚手で、量感ある器形。体部は無文か。極一部に垂下沈線様の下端部を見るが、器面磨滅し判然としない	中期後葉
13	浅鉢 口内面	中央+10	①-②-③	①鈍い赤褐色②細：白色粒・石英③やや軟質	幅広い口縁部深く開き無文。口内面は2条隆線による渦巻文と区画文構成。区画内の無線は沈線。RL 縦位充填施文。器面磨滅する	中期後葉
14	深鉢 底部	中央+7	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	台付き深鉢脚部接合部。小型の深鉢か。外面無文、撫で調整	中期後葉
15	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 8.0	①鈍い褐色②粗：白色粒多③良好	体部下半は外反風味に強く開く。外面丁寧な撫で調整	中期後葉
16	深鉢 底部	中央+20	①-②-③ 10.0	①鈍い褐色②粗：小礫・白色粒・石英③良好	外反風味に開く体部下半。底部は厚手で内面撫でによる凹凸が顕著	中期後葉
17	深鉢 口縁～体部	南東+3	① 30.0 ②-③	①褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	口縁部隆線による渦巻文構成・無線は沈線。区画内は横位矢羽状短沈線を充填する。体部は頸部隆線より3条の垂下沈線が懸垂する。地文は縦位 LR	中期後葉
18	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部区画文構成。区画接点より沈線が垂下する。区画内は横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
19	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部区画文構成。区画接点より沈線が垂下する。区画内は横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
20	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・輝石③良好	体部は縦位 RL を施す。	中期後葉
21	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・輝石③良好	体部は縦位 RL を施す。	中期後葉
22	深鉢 口縁部	中央+23	①-②-③	①明褐色②粗：白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部区画文構成。沈線を側線とし、横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
23	深鉢 体部	東+18	①-②-③	①明赤褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	縦位密接条線を施す。薄手の器厚を呈す	中期後葉
24	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・石英・雲母③良好	3条の沈線による懸垂文構成か。施文は深い。空白部は斜位沈線を充てる	中期後葉
25	貝輪状土製 土版	覆土	①-②-③	①浅黄色②粗：白色粒・輝石③良好	断面形厚く、角度も強い。外面は撫で調整を加える	中期後葉
26	土版円盤	径：重量： 厚さ：	①-②-③	①鈍い褐色②粗：白色粒・輝石③良好	深鉢体部破片の再利用。幅広い内皮沈線を施す	中期後葉
27	深鉢 体部	東+7	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・石英・輝石・雲母③良好	交互短沈線を施す小突起を付し、隆線と内皮沈線が施される	中期中葉末

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
28	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	波状縦線。2条の沈線で囲まれた施文部。横位LRを充填する	後期初頭

12区13号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第243回, 通称:第2分冊 第193-194回・P.L.92)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	中 +10	① 20.6 ② ③-	①赤褐色②粗:白色粒多・石英③良好	口縁部は内湾する。器面は横位LRが覆う。口縁部は加熱による蒸落・変色が見られる	中期後葉
2	深鉢 口縁部	東 +22	①-②-③-	①鈍い赤褐色②:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部は褐色文と区画文構成。やや扁平な印象。区画内は沈線を施す	中期後葉
3	深鉢 口縁部	東 +1	①-②-③-	①黒褐色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	隆線による口縁部区画文か。側縁は沈線。体部垂下沈線による懸垂文構成。地文は横位LR	中期後葉
4	深鉢 体部中位	東 +14	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条沈線で囲まれた磨消部懸垂文構成。施文部には横位波状沈線を配す。LR 縦位充填施文	中期後葉
5	深鉢 体～底部	東 +13	①-②-③ 9.3	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	大型の深鉢。2条沈線による磨消部懸垂文構成。横文は横位LR 充填施文。輪積み痕跡跡跡明瞭	中期後葉
6	深鉢 体～底部	東 +1	①-②-③ 4.4	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	小型の深鉢か。3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。LR 縦位充填施文。器厚薄手で、内外面に平滑な印象を得る	中期後葉
7	浅鉢 底部	東 +9	①-②-③ 6.4	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	体部下手は強く開く。内面丁寧な縦位磨消を加える	中期後葉

12区14号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第244回, 通称:第2分冊 第195回・P.L.92)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	中央 +11	① (38.0) ② ③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒多・石英多③良好	口縁部横位細隆線以下、2条の沈線で囲まれた縦位弧状意匠を配す。LR 充填施文	中期末葉
2	深鉢 口縁部	中央 +15	① (27.2) ② ③-	①褐色②粗:白色粒・雲母③良好	口縁部横位細隆線は極めて低位。体部は沈線による分岐状懸垂文か。無施しを充填施文する	中期末葉
3	深鉢 口縁部	中央 +6	① (23.0) ② ③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	波状縦。口縁部横位細隆線以下、沈線で囲まれた磨消部縦位楕円状意匠か。LR 充填施文	中期末葉
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部欠損。細沈線で囲まれた磨消部横位S字状意匠。LR 充填施文	中期末葉
5	深鉢 体部中位	中央 +8	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・雲母③良好	上半は沈線で囲まれた磨消部・施文部の大柄の渦巻状意匠。下半は分岐状懸垂文構成か。LR 縦位充填施文	中期末葉
6	深鉢 体部中位	中央 +13	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・雲母③やや軟質	体部湾曲面。縦位・斜位LRが覆う。器面磨滅	中期末葉
7	深鉢 体部上半	中央 +13	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	頸部隆線以下2条隆線による体部不整形区画文構成。側縁は凹線。LR 充填施文	中期末葉
8	深鉢 体～底部	中央 +2	①-②-③ 6.4	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の垂下沈線で囲まれた磨消部・施文部の懸垂文構成。LR 縦位充填施文。器面磨滅箇所が大平を占める	中期末葉

12区15号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第245回, 通称:第2分冊 第196～199回・P.L.93-94)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 頭～底部	北 -17	①-②-③ 7.4	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	体部内湾する小型の深鉢か。頸部に横位沈線を4条設け、地文に斜位LRを施す	中期後葉
2	深鉢 体～底部	中脇 -6	①-②-③ 9.6	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	内湾気味の体部中位。器厚は薄手。無文	中期後葉
3	深鉢 口縁～体部 上半	北西 +1	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・雲母少③良好	頸部隆線は突出し、縦位短沈線を施す。口縁部は沈線のみ施文で横位楕円状意匠が配される。体部は縦位波状沈線や垂下沈線による懸垂文構成か。横文は無施し縦位施文	中期後葉
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明褐色②粗:白色粒・石英多・輝石③やや軟質	幅広い隆帯による口縁部区画文構成。区画内も配される。側縁は沈線。横位短沈線や小渦巻文が施される	中期後葉
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英多・輝石③やや軟質	2条隆線による口縁部区画文構成。区画内の側縁は沈線。縦位短沈線を充填する	中期後葉
6a	深鉢 口縁～頸部	中脇 +7	① 60.0 ② ③-	①赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部内湾気味に強く開く。2条隆線による渦巻状意匠か。斜位・弧状短沈線を充填する	中期後葉
6b	深鉢 体部上半	中脇 +0	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の横位隆線で頸部を両す。口縁部は隆線による渦巻状意匠か。口縁部以下にLRを施す	中期後葉
6c	深鉢 体部上半	南 +7	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の横位隆線で頸部を両す。口縁部は隆線による渦巻状意匠か。上位は弧状沈線群。体部は3条の横位沈線以下にLRを施す	中期後葉
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部横位隆線以下隆線による渦巻文を配す。側縁は沈線。渦巻文上部に小型の円形刺突文を施す	中期後葉
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部内湾し無文。頸部に2条の横位沈線を施す	中期後葉

## 出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
9	深鉢 口縁部	中央 7	① 44.0 ② ③-	暗褐色②粗; 白色粒多・ 輝石③良好	4点からなる。口縁部内湾。2条隆線による渦巻文と区画構成。側 縁は沈線、区画内は縦位短沈線を充填。体部上半は3条の沈線が両 された幅状の文様帯に横位波状沈線を充てる。以下は沈線による区 画や縦位靴手状沈線文が配される。地文は斜位 RL	中期後葉
	深鉢 口内面	中央 10	①-②-③-	暗褐色②粗; 白色粒多・ 輝石③良好		
	深鉢 口内面	中央 1	①-②-③-	暗褐色②粗; 白色粒多・ 輝石③良好		
10	深鉢 口内面	中央 7	①-②-③-	暗褐色②粗; 白色粒・ 石英・輝石③良好	2条隆線による渦巻文構成。文様帯下端に付す。区画縁部は沈線、横 位矢羽状短沈線を充填する。頸部無文	中期後葉
11	浅鉢 口縁～体部	南・中央 7	① (41.2) ② ③-	明赤褐色②粗; 白色粒・ 輝石③良好	口縁部肥厚し、体部上半に内湾を持たせ屈曲する。内外面とも器面磨 減する	中期後葉
12	深鉢 口縁～体部	南・東 17, 中央 7	①-②-③-	褐色②粗; 白色粒・輝 石③良好	3点からなる。頸部は横位沈線群で両され、2条の横位波状沈線文を 配する。体部は垂下沈線3条による懸垂文構成。大柄の渦巻文や弧状意 匠を沈線で描く。地文は縦位 RL	中期後葉
13a	深鉢 口縁～体部	中央 7	①-②-③-	褐色②粗; 白色粒・輝 石③や軟質	頸部屈曲面より体部内湾部にかけて、沈線による多段の連文が配さ れる。地文は縦位 RL か。器面著しく磨減する	中期後葉
13b	深鉢 体部上半	中央 +3	①-②-③-	鈍い褐色②粗; 白色粒・ 輝石③良好	体部外反部に横位沈線を設け、上下に弧状意匠を配す。地文は縦位・ 斜位 RL	中期後葉
14	深鉢 体部	中央 6	①-②-③-	褐色②粗; 白色粒・石 英・輝石③良好	3条の横位沈線を体部上半に設ける。体部は弧状沈線を配す。地文は 縦位 RL	中期後葉
15a	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	明赤褐色②粗; 白色粒・ 石英・輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位波状沈線も配される。地文は 無彫 R 斜位施文	中期後葉
15b	深鉢 体部	中央 6	①-②-③-	明赤褐色②粗; 白色粒・ 石英・輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位波状沈線も配される。地文は 無彫 R 斜位施文	中期後葉
16	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	褐色②粗; 白色粒多・ 輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。2条沈線による渦巻文が配され、 扇状の小意匠も付帯する。地文は縦位 RL	中期後葉
17	深鉢 体部中位	伊羅 13	①-②-③-	鈍い褐色②粗; 白色粒 多・輝石・片岩③や軟質	3条の垂下沈線による懸垂文構成。空白部は2条沈線による渦巻文や 弧状文を配す	中期後葉
18b	深鉢 体部上半	南 4	①-②-③-	明褐色②粗; 白色粒・ 石英・輝石③良好	体部上半に横位沈線3条を設ける。地文は縦位・斜位懸垂 L	中期後葉
18b	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	鈍い黄褐色②粗; 白色 粒・石英・輝石③良好	3条の横位沈線と下、垂下沈線による懸垂文構成か。渦巻文も配される。 斜位・縦位 RL を地文とする	中期後葉
19	深鉢 体部	中央 10	①-②-③-	明赤褐色②粗; 白色粒・ 石英多・輝石③良好	縦位・斜位 RL が乱雑に施される	中期後葉
20	深鉢 体部	中央 5	①-②-③-	明黄褐色②粗; 白色粒・ 輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位波状沈線も配される。地文は 縦位 RL	中期後葉
21	深鉢 口縁部	中央 3	①-②-③-	鈍い赤褐色②粗; 白色 粒・輝石③良好	口縁部横位沈線群に交互刺突文を加える。頸部隆線は2条で渦巻文小 突起を設ける。体部は突起下端より4条の沈線が垂下する懸垂文構成 か。地文は斜位 RL。沈線は内皮施文	中期後葉
22	深鉢 頸部	覆土	①-②-③-	明赤褐色②粗; 白色粒・ 輝石③良好	頸部隆線に付せられた環状中空突起。突起外縁は沈線が縁取り、隆線 上に押圧状の刻みを備す。体部は垂下沈線先端を見る。地文は縦位懸 垂 L	中期後葉
23	深鉢 口縁部	南西 1	①-②-③-	明赤褐色②粗; 白色粒・ 輝石③良好	波状突起頂部に横位把手を設け横位短沈線を施す。口縁部は2条隆線 群が付した区画構成。地文は横位懸垂 L	中期後葉
24	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 11.0	明赤褐色②粗; 白色粒・ 石英③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成下端を見る	中期後葉
25	深鉢 口縁部	西 +1	①-②-③-	灰黄褐色②粗; 白色粒・ 石英・輝石・雲母③ 良好	波状縁か。器厚薄手。口縁部隆線群を付し、弧状隆線が派生する。ある いは渦巻状意匠か。無彫は推定、LR 充填施文	中期末葉

12区 16号住居出土土器観察表 (遺構: 第1分層 第246号, 遺物: 第2分層 第200～203号, P. 91～96)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部 中位	伊体土器	① 19.4 ② ③-	①鈍い黄褐色②粗; 白 色粒多・片岩③良好	4単位波状突起を付す。波頂部は隆線による平渦巻文を配す。口縁部 文様帯は渦巻文と箱内状区画構成。区画内は沈線と内形刺突文を無 彫とし縦位短沈線を充填する。体部は頸部隆線以下斜位矢羽状短沈 線を地文とし、内形刺突文列を斜位に施す。体部は斜位懸垂文構成とい えよう。色調・文様構成から、貫系類と見られる	中期後葉
2	深鉢 口縁～底部	中央 16	① 15.6 ② 25.7 ③ 8.4	①鈍い褐色②粗; 白色 粒・輝石③良好	楕円の器形。口縁部は横位隆線で両され、沈線によるU字状意匠が通 れる。体部は浅い沈線による縦位波状沈線が密接に配される。施文 は内皮状工具を浅い角度で施す。器形、施文方法、文様構成ともに貫 系類を感じる	中期後葉
3	深鉢 口縁部	南 +9	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗; 白 色粒・褐色粒・輝石③ 良好	波状突起を付す。波頂部より弧状隆線が派生し口縁部区画文を両す。 突起内端に撫でによる円文を配す。区画内は側面沈線で縦位短沈線を 充填する。頸部に横位沈線を見るが判然としな	中期後葉
4	深鉢 口縁部	中央 +20	① 16.4 ② ③-	①鈍い赤褐色②粗; 白 色粒・輝石③良好	口縁部渦巻状小突起より弧状隆線が派生し口縁部区画文を両す。区 画内は沈線を無彫とするが無文	中期後葉
5	深鉢 口縁～体部 上半	西 +27	① 18.0 ② ③-	①暗赤褐色②粗; 白色 粒・片岩③・輝石③良 好	波状突起欠損。隆線と小突起により両された口縁部区画文。沈線による 渦巻文と横位短沈線を充填する。頸部は2条の横位沈線で両 され、体部は縦位波状沈線などの懸垂文構成か。斜位 LR を地文とする	中期後葉

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
6	深鉢 口縁～腹部	北 +31	①-②-③-	①灰褐色②細:白色粒・石英③良好	平縁。隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。区画内の飾線は沈線、円形刺突文を充填する。腹部は3条沈線を垂下させる懸垂文構成。縦位RLを施す	中期後葉
7	深鉢 口縁部	中央 +28	①-②-③-	①淡黄色②粗:白色粒・石英③軟質	2条隆線による口縁部区画文構成。沈線を側とし円形刺突文を充填する。頸部は無文か	中期後葉
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①灰白色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。区画内は沈線を側とし、円形刺突文を充填する	中期後葉
9	深鉢 口縁～頸部	覆土	①-②-③-	①純・黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③やや軟質	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。区画内は沈線を側とし、頸部は3条一組の垂下沈線による懸垂文構成か。縄文はRL	中期後葉
10	深鉢 口縁～頸部	南 +12	①-②-③-	①明褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	隆線による口縁部区画か。沈線を側とし横位矢羽状短沈線を充填する。頸部下端に横位沈線を見る	中期後葉
11	深鉢 口縁部	中央 +15	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	隆線による口縁部区画文構成。区画内の飾線は沈線、横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
12	深鉢 口縁部	南 +16	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部外面肥厚。2条沈線で下縁を両す口縁部区画文構成。斜位短沈線を充填する	中期後葉
13	深鉢 口縁部	中央 +16	①-②-③-	①純・黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部区画文構成か。2条沈線で画し、斜位短沈線を充填する	中期後葉
14	深鉢 口縁～頸部	中央 +16	①-②-③-	①灰褐色②粗:白色粒多・石英・輝石③良好	隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。沈線を側とし、区画内は縦位密接条線を施す。腹部は垂下沈線による懸垂文構成か。縦位密接条線を施す	中期後葉
15	深鉢 口縁部	中央 +25	①-②-③-	①灰褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。区画内は沈線を側とし、縦位密接条線を施す	中期後葉
16	深鉢 口縁～頸部	中央 +12	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	低位隆線による口縁部楕円状区画文構成。区画内の飾線は沈線、縦位短沈線を充填する。腹部は2条沈線による懸垂文構成。1R縦位施文	中期後葉
17	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部交互区画文構成。両下縁に縦位短沈線を加えた小突起を付す。区画内の飾線は沈線、縦位短沈線を充填する	中期後葉
18	深鉢 口頸部	中央 +16	①-②-③-	①純・黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。区画内の飾線は沈線、縦位短沈線を充填する。頸部無文部は幅広	中期後葉
19	深鉢 胴～体部上半	中央 +16	①-②-③-	①明褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	頸部隆線以下無文部を経て、横位沈線で体部を両す。体部は沈線による弧状意匠を連続する。横位・縦位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
20	深鉢 体部中位	中央 +24	①-②-③-	①純・黄褐色②細:白色粒・石英・雲母③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。空白部は縦位矢羽状短沈線を施す	中期後葉
21	深鉢 体部	中央 +16	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	2条沈線による弧状意匠以下縦位矢羽状短沈線を埋める	中期後葉
22	深鉢 体部	中央 +11	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	縦位矢羽状短沈線を施す	中期後葉
23	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成か。縦位矢羽状短沈線を施す	中期後葉
24	深鉢 体部	北 +16	①-②-③-	①灰黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	2条の太い垂下沈線による懸垂文構成。縦位矢羽状短沈線を埋める	中期後葉
25	深鉢 体部上半	中央 +9	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	内湾する体部上半。沈線による弧状区画、渦巻文を配す。区画内は短沈線を充填する	中期後葉
26	深鉢 口縁部突起	中央 +34	①-②-③-	①明褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	底頂部突起。強く突出する。両側面を棒状工具による刺突文が連続する	中期後葉
27	深鉢 把手	中央 +15	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部に付す横位把手か。上面は縦位S字状の渦巻文を沈線で描く。側面も沈線による渦巻文を施す	中期後葉
28	深鉢 体部上半	中央 +16	①-②-③-	①純・赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	2条の横位沈線以下、3条の沈線による連続する弧状意匠が配される。地文は懸糸R縦位施文	中期後葉
29	深鉢 体部上半	中央 +18	①-②-③-	①純・赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	2と同一個体か。2条の横位沈線以下、3条の沈線による連続する弧状意匠が配される。地文は懸糸R縦位施文	中期後葉
30	深鉢 体部	中央 +16	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石・雲母③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。地文は無彫R縦位施文	中期後葉
31	深鉢 体部中位	中央 +10	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条の垂下沈線で画された磨消部懸垂文構成。施文部には横位沈線と横位楕円状意匠が配される。縦位RLを施す	中期後葉
32	深鉢 体部上半	中央 +15	①-②-③-	①純・黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石・褐色粒③やや軟質	2条の横位沈線間を小波状文を埋める。以下浅い沈線による横位波状文が施される。あるいは進気状意匠か。地文は無彫Rか	中期後葉
33	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石・片岩③良好	2・3条の横位沈線以下縦位RLを施す	中期後葉
34	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石多③良好	3条の横位沈線以下縦位波状沈線を配す。縄文は縦位RL	中期後葉

## 出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
35	深鉢 体部上半	北 +15	①・②・③	①明赤褐色②細:白色粒・石英・輝石多③良好	3条の横位沈線以下垂下沈線3条による懸垂文構成。地文は縦位LR	中期後葉
36	深鉢 体部	覆土	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の横位沈線間を縦面伏線文が埋める。以下弧状沈線が配される。地文は懸垂Rか	中期後葉
37	深鉢 体部	中央 +15	①・②・③	①鈍い赤褐色②細:白色粒・石英③良好	2条の垂下沈線で囲まれた磨消部懸垂文構成。隅文は縦位LR充填文	中期後葉
38	深鉢 体部中位	中央 +17	①・②・③	①鈍い黄褐色②細:白色粒・石英・輝石③良好	2条の横位弧状意匠以下垂下沈線による懸垂文構成。小渦意文も配される。地文は縦位LR	中期後葉
39	深鉢 体部上半	中央 +12	①・②・③	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石多③良好	横位隆線以下2条の垂下隆線による懸垂文構成。側線は沈線。縦位・斜位LRを充填する	中期後葉
40	深鉢 底部	中央 +18	①・②・③ 5.6	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2・3条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位LR充填文	中期後葉
41	深鉢 底部	南 +6	①・②・③ 6.6	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。斜位・縦位LRを施す	中期後葉
42	深鉢 底部	中央 +14	①・②・③ 7.2	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	強く開く体部下半。底面に放射状の圧痕を見るが器面磨滅のため判別としない	中期後葉
43	浅鉢 底部	北 +35	①・②・③	①明赤褐色②粗:小渦・白色粒・輝石③良好	底面欠損。強く開く体部下半。内面丁寧な磨消	中期後葉
44	浅鉢 体部	中央 +16	①・②・③	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	体部上半に内湾を持たせる。無文で比較的矮な整形	中期後葉
45a	浅鉢 頸～体部	中央・北 +16	①・②・③	①明赤褐色②粗:白色粒多・石英③良好		
45b	浅鉢 頸～体部	北～南 +9	①・②・③	①明赤褐色②粗:白色粒多・石英③良好	頸部屈曲。体部上半に横位隆線で囲まれた幅狭の文様帯を設け、隆線による渦巻文と区画文構成を充てる。区画内の側線は沈線。横位LRを充填する	中期後葉
45c	浅鉢 底部	中央 +16	①・②・③	①明赤褐色②粗:白色粒多・石英③良好		
45d	浅鉢 底部	覆土	①・②・③ 8.0	①褐色②粗:白色粒多・石英③良好	強く開く体部下半。内外面に磨消が及ぶ	
46	浅鉢 口縁～体部	南 +1	①・②・③	①褐色②細:白色粒・輝石・片岩③良好	口唇部外面肥厚。外面に赤彩による弧状意匠を見る	中期後葉
47	浅鉢 口縁～体部	中央 +8	①・②・③	①灰褐色②粗:白色粒・石英・輝石③少や軟質	口唇部肥厚する。体部上半に湾曲を持たせる。無文で内外面丁寧な磨消を施す	中期後葉
48	浅鉢 口縁～体部	中央 +27	①・②・③	①灰褐色②細:白色粒・石英・輝石③良好	口唇部内外面肥厚。内面丁寧な横位磨消を加える	中期後葉
49	浅鉢 口縁～体部	覆土	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③少や軟質	口唇部内面僅かに肥厚する。無文。器面磨滅	中期後葉
50	浅鉢 口縁～体部	北 +21	①・②・③	①灰褐色②粗:白色粒・石英・輝石③少や軟質	器面剥落著しい。無文で内外面丁寧な推で調整を施す	中期後葉
51	浅鉢 口縁部	中央 +15	①・②・③	①灰褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	比較的粗雑な作りの無文深鉢	中期後葉
52	浅鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母少③良好	口唇部内外面肥厚。無文	中期後葉
53	浅鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①鈍い赤褐色②細:白色粒・石英・輝石③良好	内外面とも丁寧な磨消を施す	中期後葉
54	浅鉢 口縁部	中央 +19	①・②・③	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	素口縁で無文。内外面丁寧な磨消を施す	中期後葉
55	浅鉢 体～底部	中央 +23	①・②・③	①褐色②粗:白色粒・石英・片岩③良好	薄手の器厚を呈す。無文。内面丁寧な磨消	中期後葉

12区18号住居出土土器観察表 (遺構:第1分冊 第247-248図, 遺物:第2分冊 第204-205図・P.L.96)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	南・東 -1	① 28.0 ② ③	①褐色②粗:小渦・白色粒多・石英③良好	口縁部横位細隆線以下縦位密接条線を施す	中期末葉
2	深鉢 口縁部	南 +1	①・②・③	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・褐色③良好	口縁部横位細隆線以下縦位LRを施す	中期末葉
3	深鉢 体部上半	南 28	①・②・③	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石・褐色③良好	横位隆線以下垂下隆線による体部懸垂文構成。LR縦位充填文	中期末葉
4	深鉢 体部上半	中央 ±0	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英③良好	垂下隆線による懸垂文構成。側線は沈線。隅文はLR横位・斜位充填文	中期末葉
5	深鉢 体部上半	覆土	①・②・③	①鈍い褐色②細:白色粒・輝石少③良好	細隆線による渦巻状意匠。側線は懸で	中期末葉
6	深鉢 体部上半	覆土	①・②・③	①鈍い褐色②細:白色粒・輝石③良好	4と同一個体か。細隆線2条による弧状意匠を配す	中期末葉



番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
7	深鉢 底部	東 +11	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・褐色粒③良好	縦沈線2条に割された施文部と無文部による弧状意匠。あるいは渦巻状意匠か。LR 充填施文	中期末葉
8	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石③良好	沈線で画された磨消部と施文部。LR 縦位充填施文	後期初頭
9	深鉢 底部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	沈線で画された磨消部と施文部。あるいは渦巻状意匠か	後期初頭
10	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①浅褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	内湾する体部。沈線による逆U字状懸垂文が配される。縦位 RL 充填施文	中期後葉
11	深鉢 体部下半	中央 22	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英多③良好	器面凹凸顯著。無文。内面煤付着	中期後葉
12	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・石英・輝石③やや軟質	薄手の器厚。口縁部内湾し、隆線による渦巻文を配す。下端より浅い2条沈線が垂下する懸垂文構成。縦文は縦位 RL	中期後葉
13	深鉢 口縁部	中央 +46	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	流状突起を付す。波頂部下に隆線による渦巻状意匠を配す。	中期後葉
14	深鉢 頸へ体部上 半	南 +25	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石③やや軟質	薄手の器厚。口縁部は隆線による区画文か。体部上半に横位隆線を設け2条隆線が垂下する。戴手状沈線を隆線中位に充てる。縦位 RL を充填文とする	中期後葉
15	深鉢 体部上半	東 +9	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒③やや軟質	頸部は外反する。体部は縦位沈線を乱雑に施文する。地文は無彫しL位施文か。器面磨滅	中期後葉
16	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 10.4	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	器面磨滅。器系L? 縦位施文下部を見る	中期後葉
17	深鉢 底部	東 +12	①-②-③ 8.0	①明黄褐色②細:白色粒③やや軟質	2条の垂下沈線による懸垂文構成下部部。LR 充填施文	中期後葉

12区 20号住居出土土器観察表 (遺構:第1分層 第250号, 遺物:第2分層 第206号・P.L.97)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部に横位沈線を設け、隆線による口縁部渦巻文と区画文を構成する。区画内の懸垂は沈線。横位矢羽状短沈線を充填する。頸部隆線は強く突出する。以下縦位 RL が施される	中期後葉
2	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部に横位沈線を設け、隆線による口縁部区画文と渦巻文を配す。区画内は沈線を懸垂としLRを充填する。頸部隆線は突出し、以下は無文	中期後葉
3	深鉢 口縁部突起	覆土	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	大型の渦巻状突起が突出し、頸部隆線と楕状把手で繋ぐ。把手下端・側面、口縁部区画内には細隆線による渦巻文が貼付される。頸部隆線は強く突出し、横位沈線が重なる。横位 LR を地文とする。頸部は無文	中期後葉
4	深鉢 口縁部突起	覆土	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・輝石③良好	渦巻状突起が突出し、頸部隆線に楕状把手が跨ぐ。末端渦巻状沈線を施す。口縁部区画内には細隆線による楕円状区画文が配され、舞踏沈線と横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
5	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と楕円状区画文構成。舞踏は沈線。横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①黒褐色②粗:白色粒・輝石③良好	舞踏は無で及び浅い沈線。地文は横位 LR	中期後葉
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・雲母③良好	2条隆線による口縁部区画文構成。頸部隆線は強く突出する。区画内の舞踏は沈線。横位 LR を充填する	中期後葉
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石・褐色粒③良好	流状口縁波頂部欠損。楕状把手が付される。他は無文	中期後葉
9	深鉢 口頸部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻状突起。幅狭の口縁部文様帯で、突起・頸部隆線は強く突出する	中期後葉
10	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	流状突起波頂部欠損。芯材を残す。口縁部は深い沈線。波頂部より隆線が垂下し、沈線に沿う。区画内は無文	中期後葉
11	浅鉢 頸へ体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・片岩③良好	体部強く屈曲し、口縁部に2条隆線による渦巻文を配す。上位の区画は沈線を懸垂とし器系Lを縦位施文する	中期後葉
12	深鉢 頸部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の頸部隆線。下端隆線は突出する。口縁部は横位 LR か。頸部は幅広く無文	中期後葉
13	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	体部上半に横位沈線を設け垂下沈線が派生する。小渦巻文も施す。地文は縦位 RL	中期後葉
14	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・褐色粒③良好	体部上半と中位に沈線による弧状意匠を配す。連弧文か。2重円文も施される。地文は器系L	中期後葉
15	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・石英・片岩③良好	沈線による渦巻状意匠か	中期後葉
16	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	沈線による渦巻状意匠か。	中期後葉
17	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の沈線による渦巻状意匠。地文は縦位 RL	中期後葉
18	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①鈍い赤褐色②細:白色粒・緑礫③良好	横付き LR と RL を横位多段施文する	前期前葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
19	深鉢 底部	覆土	①・②・③ 11.5	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	厚手の底部。体部は無文。器面磨減	中期後葉
20	深鉢 底部	覆土	①・②・③ 9.1	①赤褐色②粗：白色粒・輝石③良好	直立気味の体部下平。無文	中期後葉

12区 21号住居出土土器観察表 (通帳：第1分冊 第231頁、器物：第2分冊 第207頁・P.L.97)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	④ 6	①・②・③・④	①褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	大型の深鉢。口縁部横位細隆線以下脚隆線による平渦巻状意匠が配される	中期末葉
2	深鉢 体部	④ +4	①・②・③・④	①褐色②粗：白色粒・褐色粒・輝石③良好	大型の深鉢。細隆線による大柄の渦巻状意匠が配される	中期末葉
3	深鉢 体部	覆土	①・②・③・④	①黄褐色②粗：白色粒・輝石③良好	細隆線による大柄の渦巻状意匠が配される	中期末葉
4	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③・④	①灰黄褐色②細：白色粒・石英・輝石③良好	口縁部内傾。屈曲部に横位細隆線を設け、以下沈線による小弧線を配す。鍔手状沈線と端か。縦位LRL充填施文	中期末葉
5	深鉢 口縁～体部 中央	中央 2	① 18.4 ② ③・④	①褐色②粗：白色粒・輝石③良好	口唇部に沈線。口縁部文帯は隆線による渦巻文と区画文構成。沈線を無縁とし縦位短沈線を充てる。6単位構成か。頸部隆線直下より3条の沈線が垂下する懸垂文構成か。横位沈線、縦位波状沈線が加わる	中期後葉
6	深鉢 口縁部	中央 1	① 23.6 ② ③・④	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。沈線を無縁とし、横位矢羽状短沈線を充てる。2条隆線で頸部を画し、下端より2条隆線が懸垂する。体部渦文は斜位LRL	中期後葉
7	深鉢 体部下平	覆土	①・②・③・④	①褐色②粗：白色粒多・輝石③良好	外反する体部下平。垂下沈線下部を見る	中期後葉?
8	深鉢 頸部	覆土	①・②・③・④	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・輝石③良好	口縁部外反。頸部屈曲部に押圧を加えた鎖状隆線を横位に配す	中期後葉?
9	深鉢 口頸部突起	覆土	①・②・③・④	①黄褐色②粗：白色粒・輝石③良好	横位楕円状の中突起。上位に内皮沈線を横位に重ね、小渦巻文を配す	中期中葉末
10	深鉢 把手	覆土	①・②・③・④	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・輝石③良好	小型の楕円把手。中央が凹む	中期後葉

12区 22号住居出土土器観察表 (通帳：第1分冊 第232頁、器物：第2分冊 第208-209頁・P.L.98)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	覆土	① 13.8 ② ③・④	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・輝石③良好	小型の深鉢。施文は全て小型の平行沈線による。口縁部は方形の小区画文か。体部が垂下沈線による懸垂文構成。縦位矢羽状沈線を充てる。全体的に乱雑な施文	中期後葉
2	深鉢 体～底部	覆土	①・②・③ 7.5	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・輝石③良好	小型の深鉢。施文は全て小型の平行沈線による。体部懸垂文構成を見る。平行沈線を斜位短沈線が埋める。空白部は乱雑な沈線施文	中期後葉
3	深鉢 口縁部	覆土	① 35.0 ② ③・④	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・輝石③良好	波状縁か。口唇部に横位交互刺突文。以下3条の沈線による連弧文と縦位楕円状意匠。頸部に横位沈線が設けられる。地文は縦位密接条線	中期後葉
4	深鉢 口縁～体部	覆土	① 36.0 ② ③・④	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・輝石③良好	緩やかな波状口縁。口唇部と頸部に3条の横位沈線が寄り、交互刺突文が加わる。口縁部・体部とも2条の沈線による横位連弧状意匠を配す	中期後葉
5	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③・④	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。区画内の側縁は沈線、地文は横位LRL	中期後葉
6	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③・④	①明赤褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	口唇部に連続刺突文を施す。隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。区画内は横位矢羽状短沈線を充てる。無縁は沈線	中期後葉
7	浅鉢 頸部	覆土	①・②・③・④	①褐色②粗：白色粒・輝石③やや軟質	縦位連続円形刺突文と沈線による楕円状区画意匠か	中期後葉
8	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③・④	①褐色②粗：白色粒・輝石③やや軟質	口唇部に横位交互刺突文。以下2条の沈線による連弧文。頸部に横位沈線を施す。地文は斜位LRL	中期後葉
9	深鉢 体部上半	覆土	①・②・③・④	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	頸部に横位沈線を設け、以下沈線による弧状意匠と渦巻文を配す。地文は斜位LRL	中期後葉
10	深鉢 口縁～体部	覆土	①・②・③・④	①灰褐色②粗：白色粒・輝石③良好	無文部以下に3条の横位沈線を設け、以下沈線による方形の区画か。器を鍔手状沈線文が垂下し、波状沈線文も充てられる。地文は縦位LRL	中期後葉
11	深鉢 体部	覆土	①・②・③・④	①明褐色②粗：白色粒・輝石③良好	11と同一個体か。2・3条の垂下沈線による懸垂文構成。地文は横位・斜位LRL	中期後葉
12	深鉢 体部	覆土	①・②・③・④	①褐色②粗：白色粒・輝石③良好	3条の沈線による懸垂文構成。地文は懸垂L	中期後葉
13	深鉢 体部下平	覆土	①・②・③ 5.3	①明赤褐色②粗：白色粒・輝石③良好	大型の深鉢か。体部下平は強く開く。2・3条の垂下沈線による懸垂文構成。地文は横位・斜位LRL	中期後葉

12区23号住居出土土器観察表(通稱:第1分冊 第253頁、通稱:第2分冊 第210~212頁・P.L.98~100)

番号	器種・残存	出土位置	計測値(cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部 上半	体土器	① 24.5 ② ③	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	隆縁による口縁部渦巻文と区画文構成。5単位を数える。区画内は隆縁を側線とし矢羽状短沈線を充填する。頸部は無文で3条の横位沈線と2条の体部は2条の沈線による懸垂文構成か、渦巻状意匠も配される。地文は無文単体構成。	中期後葉
2	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 輝石多③良好	2条隆縁による波状口縁か。波頂部下端の頸部隆縁に大型突起を配し渦巻文を付す。口縁部は細線による渦巻文が配され沈線と側線とする。地文に横位LR。頸部無文	中期後葉
3	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口唇部に横位隆縁を設け以下横位平行沈線を多段に重ねる。交互斜突文を加える	中期中葉末
4	深鉢 口唇部	覆土	①・②・③	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	隆縁による口縁部区画文。区画接点は強く突出する。区画内は隆縁と沈線による渦巻文を配し、円形斜突文も施す。地文は無文単体構成	中期後葉
5a	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①明赤褐色②粗:白色粒・ 石英③良好	波状口縁。立体的な把手を付部。口縁部隆縁剥落。体部は懸垂系L	中期後葉
5b	深鉢 体部下半	覆土	①・②・③	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	1本描き沈線による渦巻状意匠と側先状意匠。地文は懸垂系L縦位文	中期後葉
5c	深鉢 体部下半	砂 +10	①・②・③	①明赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	懸垂系Lを地文とし、浅い沈線を弧状に配する	中期後葉
6	深鉢 体部上半	覆土	①・②・③	①明赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	横位隆縁以下、3条の横位沈線を設け、垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位LR	中期後葉
7	深鉢 体部中位	覆土	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は横位・斜位LR	中期後葉
8	深鉢 体部中位	覆土	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	2条の沈線による逆U字状意匠か。破片上端には相向U字状意匠下端を見る。地文は縦位LR	中期後葉
9	深鉢 体部上半	覆土	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	3条の横位沈線を設け、体部は縦位波状沈線と垂下沈線による懸垂文構成を呈す。横位沈線は内皮使用。地文は無文	中期後葉
10	深鉢 口縁～底部 5/4	砂南 土0	① 45.6 ② 59.2 ③ 11.2	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	大型の深鉢。隆縁による口縁部渦巻文と区画文構成。おそらく4単位。頸部に無文部を設け、体部上半を横位沈線3条で両す。体部は上半が2・3条の沈線による渦巻文や弧状意匠、6単位を数える。下半は小渦巻文を付した懸垂文構成を呈す。地文は横位・斜位LR	中期後葉
11	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	平縁。口縁部に横位沈線3条を設ける。地文は縦位・斜位LR	中期後葉
12	深鉢 体部	覆土	①・②・③	①明赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	沈線による横位弧状意匠。連弧文か。地文はLR R	中期後葉
13	深鉢 体部	覆土	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	沈線による横位小波状文を多段に配す。地文は縦位LR	中期後葉
14	深鉢 底部	覆土	①・②・③ 6.0	①明赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③やや軟質	底部輪積り部欠損。小型の深鉢か。縦位密接条線の下端を見る	中期後葉
15	深鉢 底部	覆土	①・②・③ 8.9	①鈍い褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	体部は無文。内面は平滑な態で調整	中期後葉
16	浅鉢 底部	覆土	①・②・③ 8.6	①褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	強く開く体部下半。外面は撫で、内面は横位研磨が加わる。底面に懸垂系L原体圧痕を見る	中期後葉
17	浅鉢 底部	覆土	①・②・③ 4.1	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	強く開く体部下半。内面は丁寧な研磨を施し、黒褐色を呈す。外面は削り調整が顕著	中期後葉
18	深鉢 底部	覆土	①・②・③ 9.0	①明褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	2条の垂下沈線下端部を見る。地文確文を施すが原体は不明	中期後葉
19	深鉢 底部	覆土	①・②・③ 6.8	①褐色②粗:白色粒③ 良好	3条の垂下沈線による懸垂文下端。縦位LRを地文とする	中期後葉
20	深鉢 口縁～体部 上半	覆土	① 17.0 ② ③	①鈍い褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	緩やかな口縁部波状突起。口縁部は2条沈線による横位弧状意匠を多段に配す。体部は沈線による方形状区画意匠を配す。あるいは下端が開放する懸垂文か。地文は縦位LR	中期後葉
21	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①鈍い褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	内皮沈線による2条の連弧状意匠。地文は縦位密接条線。体部の内皮沈線と工具輪の跡が見られる	中期後葉
22	深鉢 体部	覆土	①・②・③	①鈍い褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	頸身の内皮沈線2条による弧状意匠。連弧文か。地文は縦位密接条線	中期後葉
23	深鉢 体部	覆土	①・②・③	①明褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	垂下沈線による懸垂文構成。空白部は縦位矢羽状短沈線を埋める	中期後葉
24	深鉢 体部上半	覆土	①・②・③	①明赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	横位隆縁以下体部は2条沈線による懸垂文構成。空白部は縦位矢羽状短沈線を施す	中期後葉
25	浅鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口唇部外面肥厚。体部上半に湾曲を持たせる。無文で内外面とも平滑	中期後葉
26	浅鉢 口縁部	覆土	① 32.4 ② ③	①暗赤褐色②粗:白色粒・ 石英多③良好	口唇部外面肥厚する。体部上半に湾曲を持たせる。内外面とも丁寧な調整が及ぶ。	中期後葉
27	浅鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石・片岩少③ 良好	口唇部外面肥厚。体部上半に湾曲を持たせる。無文で内外面とも平滑	中期後葉
28	深鉢 口縁部	覆土	①・②・③	①浅黄褐色②粗:白色粒・ 輝石・雲母③良好	口縁部は強く開き、頸部は屈曲する。無文で横位調整痕が顕著。内面は平滑	中期後葉
29	器台 底部	覆土	①・②・③	①明赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	厚手の器厚。破片上端に凹孔を見る。無文	中期後葉

## 出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
30	深鉢 口縁～体部	覆土	① 19.0 ② ③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部文様帯は沈線による楕円状区画文構成。体部は2条の垂下沈線による磨消部懸垂文構成。縄文は口縁部は横位。体部は縦位 RL 充填施文	中期後葉
31	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①浅褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	隆線による口縁部楕円状区画文構成。側線は凹線。横位 RL 充填施文	中期後葉
32	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①浅褐色②粗:白色粒・輝石③良好	厚手の器厚。隆線による口縁部渦巻状凹線と楕円状区画文。渦巻文直下より3条の沈線が懸垂する。区画内の側線は凹線。RL 充填施文	中期後葉
33	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①灰黄色②粗:白色粒・石英③良好	2条の隆線による体部不整区画文構成。側線は強い凹線。LRL を充填する	中期後葉
34	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・石英・輝石③良好	2条の垂下沈線で画された磨消部懸垂文構成。RL 縦位充填施文	中期後葉
35	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・石英・雲母③良好	2条沈線で画された磨消部懸垂文構成。施文部縄文は RL 縦位充填施文	中期後葉
36	深鉢 体部中位	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石・片岩多③良好	薄手の器厚を呈し、内湾する。低位隆線による大型の渦巻文構成。側線は凹線及び溝で	中期後葉
37	深鉢 頸部	覆土	①-②-③-	①浅褐色②粗:白色粒・石英③良好	口縁部外反。頸部隆線に凹線が沿う。以下は縦位 LR を充填する	中期後葉
38	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②細:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部が強く外反する。頸部に横位凹線跡を設け、以下横位 LR・縦位 LR を充填する	中期末葉
39	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石③良好	口縁部外反し無文。頸部隆線以下、沈線による分岐懸垂文が派生する。縄文は無飾し縦位充填施文	中期末葉
40	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①灰黄色②細:白色粒・輝石③良好	縦沈線で画された磨消部・施文部の弧状痕跡。交互并列で縦位 LR を充填する。磨消部・内面磨消	中期末葉

12区 24号住居出土土器観察表 (通巻:第1分冊 第234頁、通巻:第2分冊 第213-214頁・P.1.100)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	覆土	① (21.6) ② ③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。区画内は沈線を側線とする。地文は縦位 RL。頸部無文	中期後葉
2	深鉢 口縁部	覆土	① (18.0) ② ③-	①暗赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部渦巻状突起を突出させ、直下に隆線による渦巻文を配す。突起は1単位あるいは2単位か。口縁部文様帯は2条隆線による渦巻文と区画文構成で、側線は沈線。斜位短沈線を充填する。頸部は無文	中期後葉
3	深鉢 口縁部	覆土	① 28.6 ② ③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	2条隆線で画された口縁部文様帯に渦巻状突起を上下に配す。隆線側線は沈線で、区画内は縦位短沈線を充填する。頸部に横位沈線を看取る。地文は縦位 RL	中期後葉
4	深鉢 口縁部	覆土	① 18.8 ② ③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部交互区画文と渦巻文構成。区画内の側線は沈線。頸部は横位沈線3条で画す。地文は口縁部は横位。体部は縦位 RL	中期後葉
5	深鉢 頸～体部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石③良好	2条隆線による方形状小区画文。沈線を側線とする。地文は斜位・縦位 RL	中期後葉
6	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①暗褐色②粗:白色粒・輝石③良好	頸部の3条の横位沈線以下縄文を施す。器面磨滅のため器体不明	中期後葉
7	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①明褐色②粗:白色粒・輝石③良好	頸部に3条の横位沈線を設ける	中期後葉
8	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	頸部の3条の横位沈線以下横位 LR を施す	中期後葉
9	深鉢 頸～体部	覆土	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・片岩粒少・輝石③良好	頸部は強く外反する。体部は2条の横位沈線で画された以下沈線による方形小区画文が配される。地文は横位 RL	中期後葉
10	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石多③良好	2条隆線による2段の口縁部区画文構成。側線は沈線。渦巻文直下より2条隆線が垂下する。地文は横位 RL か、器面磨滅	中期後葉
11	深鉢 口縁部	覆土	① 24.0 ② ③-	①暗褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条隆線による渦巻文構成。下端より3条の沈線が懸垂する。縄文は粗 充填施文	中期後葉
12	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部渦巻文構成。頸部隆線直下より2条沈線が垂下する。地文は縦位 RL	中期後葉
13	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部渦巻文構成。地文は縦位懸垂系 L	中期後葉
14	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の横位隆線以下、懸垂しが縦位施文される。2条沈線の渦巻状痕跡上端を見る	中期後葉
15	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	頸部横位沈線帯下に横位波状沈線を施す。体部横位沈線帯で画され、内皮沈線による大柄な渦巻文が配される。縦位波状沈線も加わる。地文は縦位懸垂系 L	中期後葉
16	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	内皮沈線による弧線文が配される。下端より同沈線が垂下する。地文は懸垂系 L	中期後葉
17	深鉢 体～底部	覆土	①-②-③ 10.8	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条の垂下隆線による懸垂文構成。平行沈線を側線とする。空白部は縦位波状沈線。地文は縦位 RL。沈線施文は深い	中期後葉

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
18	深鉢 体～底部	覆土	① 23.0 ② 5.7	①褐色②粗：白色粒・ 石英・雲母③良好	強く開く無文の浅鉢体部。外面は削り調整後研磨を加える。内面は丁寧な研磨	中期後葉
19	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗：白色 粒・石英・雲母③良好	口縁部外傾し、体部上半は強く湾曲する。内外面とも研磨を施し、赤彩痕が残る	中期後葉

12区 25号住居出土土器観察表 (通帳：第1分冊 第255頁、通冊：第2分冊 第215頁・P.101)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～底部	埋裏	① 23.0 ② 35.0 ③ 7.2	①褐色②粗：白色粒・ 雲母③良好	平縁で、細身の体部器形。やや歪みも見られる。無文で比較的穏な態で調整を加える	中期後葉
2	深鉢 底部	中央 +6	①-②-③- 6.4	①褐色②粗：白色粒・ 石英多・輝石③良好	体部下半は無文。器面磨滅	中期後葉
3	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 7.4	①褐色②粗：白色粒・ 石英	2条の垂下沈線下部。縦位波状沈線・縦位密接条線の下部も看取される	中期後葉
	深鉢 体部	中央 +13	①-②-③-	①浅黄褐色②粗：白色 粒・石英・輝石③良好		中期後葉
4	深鉢 体部	中央 +13	①-②-③-	①浅黄褐色②粗：白色 粒・石英・輝石③良好	体部緩やかな湾曲を示す。2条の沈線に画された磨消懸垂文構成。施文部縄文は縦位 RL 充填施文	中期後葉
	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①浅黄褐色②粗：白色 粒・石英・輝石③良好		中期後葉
5	深鉢 口縁～体部	+14	① 24.0 ② ③-	①褐色②粗：白色粒・ 輝石③良好	口縁部強く内湾。2条の沈線による逆U字状意匠が配される。縄文は口唇部縦位。体部縦位充填施文	中期後葉
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・輝石・雲 母③良好	口縁部波状小突起を付す。隆線による楕円状区画文構成。側縁は凹縁。縄文は横位 RL 充填施文	中期後葉
7	深鉢 口縁部	南 +2	①-②-③-	①淡黄色②粗：白色粒・ 石英③良好	口唇部歪む。口縁部横位細隆線以下、隆線による懸垂文構成か。縄文は斜位 RL	中期後葉

12区 26号住居出土土器観察表 (通帳：第1分冊 第256頁、通冊：第2分冊 第216～220頁・P.101～104)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～底部	中央 +1	① 21.8 ② 32.2 ③ 5.5	①褐色②粗：白色粒・ 輝石③良好	口縁部に隆帯による波状突起を付す。1単位。体部上半は2条沈線で画された磨消懸垂状意匠を配す。下半は逆U字状の分岐懸垂文。縄文はLR 縦位充填施文。底面に径2cm程度の波状後門孔を穿つ	中期後葉
2	深鉢 体部	中央 +4	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・輝石③良好	2条の隆線による逆U字状懸垂文。区画内の側縁は隆帯。隆線の屈付は途切れ気味で態で状に変化する箇所もある。縄文は縦位・斜位 RL 充填施文	中期後葉
3	深鉢 口縁部	埋裏	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：小 礫・白色粒・輝石③良好	大型の深鉢で器厚も顕著。緩やかな波状突起を付す。2条隆線による区画文及び大柄の渦巻文を配す。側縁は隆帯、縄文は RL 充填施文	中期後葉
4	深鉢 口縁部	埋裏	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：小 礫・白色粒・輝石③良好	大型の深鉢で器厚も顕著。緩やかな波状突起を付す。2条隆線による区画文及び大柄の渦巻文を配す。側縁は隆帯、縄文は RL 充填施文	中期後葉
5a	深鉢 体部中位	埋裏	①-②-③-	①淡黄色②粗：白色粒・ 輝石③良好	2条隆線による大柄の渦巻文構成。縄文は RL 充填施文	中期後葉
5b	深鉢 体部中位	埋裏・中央	①-②-③-	①淡黄色②粗：白色粒・ 輝石③良好	2条隆線による大柄の渦巻文構成。縄文は RL 充填施文	中期後葉
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・輝石③良好	波状突起頂部。細隆線と沈線による渦巻状意匠が配される。縄文は RL 充填施文。	中期後葉
7	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・輝石③良好	波状突起波頂部。隆線による渦巻状意匠を配す。側縁は凹縁	中期後葉
8	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗：白色粒・ 石英・輝石③良好	口縁部肥厚する。隆線による口縁部区画文構成。側縁は凹縁。縄文は RL 縦位充填施文	中期後葉
9	深鉢 口縁部	中央 +22	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・雲母③良好	口唇部内面肥厚し、口縁部は強く内湾する。隆帯による楕円状区画文構成。側縁は太い凹縁。横位 RL を充填。円文も施す	中期後葉
10	深鉢 口縁部	中央 +8	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・雲母③良好	小波状突起を付す。口縁部隆線による楕円状区画文構成。側縁は凹縁。横位 RL 充填施文	中期後葉
11	深鉢 口縁部	中央 +32	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英少・輝石③良好	隆線による口縁部楕円状区画文構成。側縁は凹縁。横位 RL を充填する	中期後葉
12	深鉢 口縁部	南西 +15	①-②-③-	①鈍い褐色②粗：白色 粒・石英・雲母③良好	波状突起下に隆線による渦巻文を配す。側縁は凹縁。横位 RL 充填施文	中期後葉
13	深鉢 口縁部	中央 +27	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗：白色 粒・石英・雲母③良好	口唇部内面肥厚。隆線による口縁部区画文構成。側縁は凹縁。RL 充填施文	中期後葉
14	深鉢 口唇部	中央 +26	①-②-③-	①灰黄褐色②粗：白色 粒・石英・雲母③良好	隆線による口縁部楕円状区画文構成。側縁は凹縁。横位 RL を充填する	中期後葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
15	深鉢 深鉢中位	中 5	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色粒・石英③良好	縦位隆線に平渦巻状意匠が連続する。無線は沈線。縄文は縦位 RL 充填施文	中期後葉
16	深鉢 深鉢上半	北 +14	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・石英③良好	隆線による体部楕円状区画文。隆線下に翼手状沈線が重なる。無線は沈線。縄文は横位 RL 充填施文	中期後葉
17	深鉢 深鉢上半	覆上	①-②-③-	①明黄褐色②粗:白色粒③良好	体部上半に横位沈線を巡らし刺突文を重ねる。体部は2条の垂下沈線による懸垂文構成。無線 L を縦位充填施文する	中期後葉
18a	深鉢 深鉢中位	中央 +30	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・石英・輝石③やや軟質	垂下沈線で画された磨消部懸垂文構成。縄文は RL 縦位充填施文	中期後葉
18b	深鉢 深鉢中位	覆上	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・石英・輝石③やや軟質		
18c	深鉢 深鉢中位	中央 +31	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・石英・輝石③やや軟質		
19	深鉢 深鉢中位	覆上	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・石英・雲母③やや軟質	2条の垂下沈線で画された磨消部・施文部懸垂文構成。縄文は縦位 RL	中期後葉
20	深鉢 深鉢中位	中央 +17	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・輝石③良好	2条の垂下沈線による磨消部懸垂文構成。縄文は RL 縦位充填施文。磨消部は縦位研磨が及ぶ	中期後葉
21	深鉢 深鉢下半	中央 +20	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・片岩粒③良好	2条の沈線で画された磨消部懸垂文構成。縦位波状沈線も加わる。縦位 LR 充填施文	中期後葉
22	深鉢 深鉢中位	中央 +22	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	横位・斜位無線 L が器面を覆う	中期未葉
23	深鉢 深鉢中位	西+6	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石・雲母③良好	縦位 L RL を縦位施文する	中期後葉
24	深鉢 深鉢上半	覆上	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英③良好	頸部隆線に付けられた大型楕円把手。体部は沈線による分岐懸垂文構成か。縦位 LR を充填する	中期未葉
25	深鉢 深鉢中位	中央 +6	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	剥落する楕円把手。上端は横位隆線に接する。縄文は縦位 LR 充填施文	中期未葉
26	深鉢 深鉢上半	中央 +3	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	頸部隆線に付けられた大型楕円把手。体部は縦位波状密接条線が施される	中期後葉
27	深鉢 口縁-体部	西 +0	① 16.2 ②-③-	①鈍い赤褐色②細:白色粒・輝石③良好	口縁部波状小突起より横位弧状隆線が派生する。6単位か。体部は密接条線による弧線文が施される	中期後葉
28a	深鉢 口縁部	西 +3	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	口縁部に弧状隆線を配す。	中期後葉
28b	深鉢 口縁部	覆上	①-②-③-	①明赤褐色②細:白色粒・石英③良好	口縁部に弧状隆線を配す。	中期後葉
29	深鉢 口縁-体部	中央 +4	① 36.8 ②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・雲母・輝石③良好	口縁部内消し。口唇部に1条の沈線が巡る。以下縦位密接条線が器面を覆う	中期後葉
30	深鉢 口縁部	覆上	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	1本描き沈線と密接条線による縦位弧状意匠が配される	中期後葉
31	深鉢 深鉢下半	西 +6	①-②-③-	①明赤褐色②細:白色粒・石英③良好	6・7条単位の条線による縦位対弧状意匠を懸垂する	中期後葉
32	深鉢 体-底部	中央 +2	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英③良好	器面凹凸顕著。縦位密接条線が覆う	中期後葉
33	深鉢 口縁部	西 +5	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	口縁部内消し。口縁部横位沈線以下沈線による楕円状区画文構成。体部は弧状沈線を配す。沈線施文後に円形刺突文を重ねる	中期後葉
34	深鉢 口縁部	覆上	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色粒・石英・小礫③良好	口縁部縦位沈線以下沈線による弧状意匠を配す。沈線施文後に横位円形刺突文を重ねる	中期後葉
35	深鉢 口縁部	覆上	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	隆線と沈線による口縁部渦巻文と区画文構成。渦巻文上位に円形刺突文を加える	中期後葉
36	深鉢 深鉢上半	中央 +6	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	横位沈線で体部を画し、以下2条沈線によるU字状意匠が懸垂する。縦位矢羽状沈線を施す。やや雑な施文	中期後葉
37a	深鉢 深鉢上半	北 +19	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条隆線による懸垂文構成。垂下沈線も加わる。隆線間は縦位矢羽状沈線を埋める	中期後葉
37b	深鉢 深鉢上半	南西 +22	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好		
38	深鉢 口縁部	南東 +12	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部横位細隆線より垂下隆線が派生する懸垂文構成。施文部縄文は横位・縦位 LR 充填施文	中期未葉
39	深鉢 口縁部	覆上	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部横位細隆線より垂下隆線が派生する。RL を充填し隆線にまで及ぶ	中期未葉
40	深鉢 深鉢中位	覆上	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・輝石③良好	垂下隆線で画された施文部・磨消部の懸垂文構成。LR 縦位充填施文	中期未葉
41	深鉢 口縁部	北西 +21	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部横位細隆線を設ける。以下2条沈線で画された磨消部弧状意匠が配される。渦巻意匠区画。縄文は LR 充填施文	中期未葉

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
42	深鉢 腹部把手	覆土	①-②-③-	①浅黄褐色②細:白色粒・石英・雲母③良好	橋状把手。把手上に沈線によるU字状意匠が施される。縄文はLR縦位充填施文	中期末葉
43	深鉢 体部	西-2	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	垂下沈線による懸垂文構成。縄文は縦位LR充填施文	中期末葉
44a	深鉢 口縁～体部	覆土	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・石英③良好	欠損するが口縁部に小型の橋状把手を設ける。1ないし2単位。把手両下端より横位細線縁が派生し、以下縦位・斜位LRを施す。施文は隙線上にまで及ぶ	中期末葉
44b	深鉢 口縁～体部	覆土	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・石英③良好		中期末葉
45	深鉢 口縁～体部	北西+19	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	緩やかな波状縁か。波頂部下に凹文を施す小型の橋状把手を付し。下端より横位細線縁が派生する。体部は縦位・横位LRが覆う	中期末葉
46	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石・黒曜石③良好	口縁部無文下部下に横位沈線を4条設ける。地文は横位RL	中期後葉
47	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	体部は横位沈線で画される。以下2・3条沈線による弧状意匠や剣状意匠が連続する。地文は縦位・斜位LR	中期後葉
48	深鉢 体～底部	中央・東+4	①-②-③ 7.0	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英③良好	外反気味に立ち上がる体部下平。無文で縦位態で調整を見る	中期後葉
49	深鉢 体～底部	覆土	①-②-③ 5.9	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石③良好	垂下沈線群による懸垂文下端。地文は縦位RL	中期後葉
50	深鉢 底部	覆土	①-②-③ 7.0	①鈍い褐色②細:白色粒③良好	3条の垂下沈線下部より斜位沈線。平砥状工具による平行沈線施文。底面は丁寧な態でより平滑	中期後葉
51	深鉢 台部	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	台付深鉢台接合体。無文で縦位態で調整を施す	中期後葉
52	高台 腹部	西+8	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	脚部中に径1.7cm程の円孔を設ける。無文	中期後葉
53	深鉢 口縁～体部	中央+40	①19.2 ②-	①暗褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口唇部著しく歪む。あるいは波状縁か。口縁部に垂状小突起を付す。口縁～体部は縦位LRが覆う。器面磨減	中期後葉
54	深鉢 口縁部	北+19	①-②-③-	①灰褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部は強く外反する。無文	中期後葉
55	浅鉢 腹部	東+17	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	頸部屈曲強い。口縁部は無文で屈曲部に沈線を施す。内外面とも横位研磨を加える	中期後葉
56	浅鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・雲母③良好	口縁部外面は肥厚し、内縁鋭い。無文で内外面横位研磨を施す	中期後葉
57	深鉢 体部中位	中央+11	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒多・石英多・雲母③良好	体部中に揺るやかな湾曲を持たせる。無文で上半は縦位削り調整、下半は横位研磨が加わる	中期後葉
58	深鉢 口縁部	西+13	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部内湾し、口唇部外面突出する。内外面研磨調整。赤彩僅かに残る	中期後葉
59	土製円盤	中央+21	径:5.2重: ③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石・褐色粒③良好	深鉢体部破片再利用。外縁を丁寧に磨き調整し、円形に仕上げる	中期後葉
60	三角柱形土 製品	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②細:白色粒・輝石③良好	外面遺存度不良で、全体形状不明である。態で調整を主体とすることから、無文であろうか。孔の形状も判然としえない	中期後葉

12区27号住居出土土器観察表(遺構:第1分冊 第258-259図、遺物:第2分冊 第221-222図・P.104-105)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部上半	伊体土器	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	沈線による縦位楕円状意匠を縦に連ねる。4単位構成。地文は縦位・斜位RL。上半部内外面とも加熱により器面磨減。変色が顕著	中期後葉
2	深鉢 口縁～体部 中位	埋裏	①23.2 ②-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隙線による口縁部区画文と渦巻文構成。6単位を数える。区画内の隙線は沈線。体部は2条の垂下沈線で画された磨消部懸垂文構成。縄文は口縁部横位・体部縦位LR充填施文	中期後葉
3	深鉢 体～底部	埋裏脇+15	①-②-③ 7.9	①明褐色②細:白色粒・雲母・輝石③良好	大型の深鉢か。体部下平は強く開く。縦位・斜位RLが器面を覆う	中期後葉
4	深鉢 口縁～体部	中央+20	①32.6 ②-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石多・褐色粒③良好	口縁部隙線による渦巻文と区画文構成。渦巻文上端は小波状に突出し区画文下端の一部は沈線で画する。側縁は沈線。体部2条の沈線で画された磨消部懸垂文構成。RL縦位充填施文	中期後葉
5	深鉢 口縁～体部	中央+22	①42.0 ②-	①明赤褐色②粗:白色粒多・輝石③やや軟質	口縁部2条沈線による渦巻文と区画文構成。やや低位の隙線で側縁は沈線。体部は2条の垂下沈線で画された磨消部懸垂文構成。LR縦位充填施文	中期後葉
6	深鉢 口縁部	中央+26	①44.0 ②-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	口唇部内外面肥厚する。隆部による口縁部楕円状区画文構成。側縁は凹線。横位RL充填施文	中期後葉
7	深鉢 口縁部	中央+26	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・石英・輝石③良好	隙線による口縁部渦巻文と楕円状区画文構成。渦巻文下端部より2条の沈線が懸垂する。RL縦位充填施文	中期後葉
8	深鉢 体部上半	伊脇+8	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	体部上半の横位細線縁に付せられた大型の橋状把手。あるいは両耳歯か。弧状沈線が施される	中期後葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
9	深鉢 体部	北 +30	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。縄文は縦位・斜位 RL 充填施文	中期後葉
10	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①浅黄褐色②粗:白色粒・輝石・褐色粒③良好	2条隆線による体部渦巻文構成か。縄文は縦位 RL 充填施文	中期後葉
11	深鉢 体部中位	中央 +26	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。沈線間は無文。縄文は縦位・斜位 RL	中期後葉
12	深鉢 口縁部	北西 +31	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・石莖・輝石・雲母③良好	口縁部横位細隆線より垂下隆線が派生する懸垂文構成。施文部縄文は LR 縦位充填施文	中期末葉
13	深鉢 口縁部	中央 +34	①-②-③	①灰黄褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	口縁部内傾し、横位細隆線を付す。以下縦位密接条線を施す	中期末葉
14	深鉢 口縁部	南 9	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	口縁部内傾し、横位細隆線を付す。以下縦位密接条線を施す	中期末葉
15	深鉢 口縁部突起	南 +23	①-②-③	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石③やや軟質	突出する半渦巻状突起。縄文は縦位 LR	中期末葉
16	深鉢 口縁部把手	中央 +15	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗:白色粒多③良好	突出する横状把手。波状縁か。把手下端より細隆線と沈線が派生する	中期末葉?
17	深鉢 体部下平	覆土	①-②-③	①明黄褐色②細:白色粒・石莖・輝石③良好	細隆線による逆U字状懸垂文。区内両は縦位 LR 充填施文	中期末葉
18	深鉢 体部	中央 +21	①-②-③	①浅黄褐色②粗:白色粒・輝石・褐色粒③やや軟質	沈線による弧状区画意匠が配される。無彫しを縦位斜位施文する	中期末葉
19	深鉢 体部	中央 +27	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石・雲母少③良好	緩やかに内湾する体部。縦位無彫しを器面を覆う	中期末葉
20	深鉢 底部	中央 +16	①-②-③ 5.8	①鈍い褐色②粗:白色粒・石莖・雲母③良好	小径ながら強く開く体部下平。あるいは浅鉢か。内面は丁寧な態で調整	中期後葉
21	深鉢 体~底部	中央 +18	①-②-③ 6.6	①赤褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	垂下沈線3条による懸垂文構成。地文は縦位 RL	中期後葉
22	深鉢 体部	西 +2	①-②-③	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石・燧石③良好	器系しとRを一組にした付加2種横位施文	前期前葉
23	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①鈍い褐色②細:白色粒・燧石③良好	2条の切みを付す細隆線と小瘤状貼付による三角区画文。中に横手状意匠を配す	前期前葉
24	深鉢 体部下平	覆土	①-②-③	①明褐色②粗:白色粒・石莖少③良好	縦位平行沈線群に横位平行沈線と半内距が加わる	前期末葉
25	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・輝石・片岩③良好	器身の内皮沈線による区画内を同沈線による縦位波状文が充填する	前期末葉
26	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③	①赤褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	隆線による口縁部②区画か。横位矢羽状沈線を充填する。頸部無文	中期後葉
27	深鉢 口縁~体部 上半	床下土坑 -19	① 49.2 ② ③-	①褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	2条隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。おそらく6単位か。頸部は3条の横位沈線で両され、体部上半は沈線による横位弧状意匠と弧状区画が連続する。下半も沈線による区画文が配される。懸垂文構成か。地文は縦位 RL	中期後葉

12区28号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第260回、器物:第2分冊 第223回・P.L.105)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁~底部	炉体土器	①-②-③ 6.7	①明赤褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	口頸部の残存不良。器面割落著しい。おそらく、隆帯による楕円状区画文構成か。側隆線で縦位 RL を充填する。体部は2条沈線による懸垂文構成。体部中に肥厚部を見る	中期後葉

12区29号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第261回、器物:第2分冊 第224回・P.L.105)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部突起	B <sup>+</sup> +2	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒多・石莖③良好	波状縁波頂部。隆線による渦巻状意匠を配す。内皮沈線による区画内隆線を見る	中期後葉
2	深鉢 体部中位	B <sup>+</sup> +8	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線による縦位楕円状懸垂文構成。側隆線の施文は深い。無彫しLの縦位充填施文	中期後葉
3	深鉢 体部	B <sup>+</sup> +10	①-②-③	①褐色②粗:白色粒多・石莖③やや軟質	厚手で、おそらく体部下平か。無文で器面密着する	中期後葉

12区30号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第262回、器物:第2分冊 第225回・P.L.105)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体~底部	炉体土器	①-②-③ 7.4	①明赤褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。RL 縦位充填施文	中期後葉
2	深鉢 体~底部	炉体土器	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	加熱による器壁割落著しい。隆線による逆U字状懸垂文構成。側隆線は沈線。LR 縦位充填施文	中期後葉



番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
3	深鉢 体～底部	伊体土器	① 28.8 ② 7.0	①明褐色②粗:白色粒多③良好	底面刻線のため、底径は判然としない。3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。縦位 RL を充填する	中期後葉

12区31号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第263-264頁、遊冊:第2分冊 第226-227頁・P.106)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部 中位	伊体土器	① 28.8 ② ③	①黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	2条隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。渦巻文は2個一對で6単位を敷える。区画内は沈線と無線とし知沈線を充填する。体部は頸部隆線直下より垂下沈線2条による懸垂文構成。空白部は縦位矢羽状短沈線を施す。口縁部内外面加熱のため刻線多い	中期後葉
2	深鉢 口縁～体部	中央+3	① 22.3 ② ③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・片岩③良好	口縁部と頸部に横位沈線2条を設け、横位連弧状意匠を配す。体部も斜位沈線上端を見る。あるいは波状意匠か。地文は縦位・斜位 RL	中期後葉
3	深鉢 口縁～体部 下半	中央・伊福	① 27.4 ② ③	①黒褐色②粗:白色粒・石英③良好	口縁部隆線による渦巻文と区画文構成。波状部対応部には欠損するが、欠状の突起が突出する。区画内は無線隆線で縦位 LR を充填する。体部は垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成	中期後葉
4	深鉢 口縁～体部	北西+4	① 32.0 ② ③	①褐色②粗:白色粒・石英③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。体部は2条の垂下沈線による唇消部懸垂文構成。口縁部は無線。縦位は縦位 RL 充填無文	中期後葉
5	深鉢 体～底部	中央+3	① 11.2 ② ③	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	大型の深鉢。2～4条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位 RL 充填無文	中期後葉
6	浅鉢 口縁～体部 下半	南31	① 38.4 ② ③	①明黄褐色②粗:小礫・白色粒・石英③良好	口縁部は強く外傾し体部上半で屈面を持つ。上半に瘤状の隆帯と弧状隆帯による抽象文を配す。単位は1・2単位であろうか。内外面とも丁寧な研磨を施す。外面に僅かに赤彩が残る	中期後葉
7	浅鉢 体～底部	伊+3	① ② ③	①褐色②粗:白色粒・石英③やや軟弱	底部丸みを帯び、体部は強く丸く、外器面磨減する	中期後葉
8	浅鉢 体～底部	南東+5	① ② ③	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	底部僅かに突出し、体部は大きく開く。比較的薄手の器厚を呈す。内外面研磨を施す	中期後葉
9	深鉢 口縁部	中央+13	① ② ③	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石・雲母③良好	隆線による口縁部楕円状区画文構成。区画内の無線は沈線。横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
10	深鉢 口縁部	西1	① ② ③	①淡褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	隆線による渦巻文と区画文構成。区画内の無線は沈線。円形刺突文を充填する	中期後葉
11	深鉢 口縁部	南13	① ② ③	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石多③良好	隆線による渦巻文構成。区画文は楕円状か。無線は横で、斜位 LR を充填する	中期後葉
12	深鉢 口縁部	南13	① ② ③	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	細隆線による口縁部楕円状区画文構成。無線は沈線縄文は縦位 RL	中期後葉
13	深鉢 口縁部	中央+8	① ② ③	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	小径の小型深鉢。隆線と沈線による口縁部半楕円状区画文構成。無線沈線。体部は沈線による逆U字状意匠を遺す。地文は無線・斜位 RL	中期後葉
14	深鉢 体部中位	中央+13	① ② ③	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条の垂下沈線で画された輪状の唇消部懸垂文構成。無文部は縦位 RL 充填無文	中期後葉
15	深鉢 体部上半	中央+11	① ② ③	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	頸部横位隆線以下体部は2条沈線が幅する輪状の唇消部懸垂文構成。縄文は無線・斜位 RL 充填無文	中期後葉
16	深鉢 底部	伊+5	① ② ③	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の垂下沈線下端部を見る。底面に網状刻線	中期後葉
17	深鉢 体～底部	北+11	① ② ③	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	器厚薄手で強く開く体部下半。2条沈線による懸垂文構成。縄文は縦位 RL。底面は横でにより平滑	中期後葉

12区32号住居出土土器観察表 (通帳:第1分冊 第263-266頁、遊冊:第2分冊 第228～232頁・P.107～109)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～底部 1/3	南5	① 23.7 ② 31.3 ③ 6.9	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	縦やかな4単位波状沈線。口縁部と頸部に2条の横位沈線を設け交互刺突文を加える。口縁部・体部とも沈線による横位弧状意匠とY字状懸垂文を連続させる。地文は無線・斜位 RL	中期後葉
2	深鉢 口縁～体部 上半	中央+10	① 15.0 ② ③	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	波状線4単位。口縁部に2条の横位沈線と交互刺突文を重ねる。口縁部に3条の沈線による横位連弧状意匠を遺す。渦巻文を配す。体部上半は横位沈線で画す。地文は無線・斜位 LR	中期後葉
3	深鉢 口縁～体部 上半	中央+19	① 26.4 ② ③	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部方形区画文構成。区画内は無線隆線。横位矢羽状短沈線を充填する。頸部隆線に上端渦巻文沈線を重ねる。体部は横位沈線2条で画され、沈線が懸垂する。地文は無線・斜位 RL	中期後葉
4	深鉢 口縁～底部	伊体土器	① 52.0 ② 62.3 ③ 10.2	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	大型の深鉢。口縁部は隆線による渦巻文と区画文構成。4単位か。区画内は斜位短沈線を充填する。頸部は無文で体部上半の横位沈線3条で画される。体部は2・3条の沈線による弧状意匠と刺突意匠が配され、下半は垂下沈線による懸垂文構成を呈す。地文は無線・斜位 RL	中期後葉
5	深鉢 口縁部	中央+19	① ② ③	①黒褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文構成。区画内の無線は沈線。横位矢羽状短沈線を充填する。頸部隆線には沈線が重なる。直下より沈線が垂下する	中期後葉
6	深鉢 口縁部	覆土	① ② ③	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部方形区画文構成。区画内の無線は沈線。横位矢羽状短沈線を充填する。頸部は無文か	中期後葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
7	深鉢 口縁部	覆土	① 22.0 ② ③-	①黒褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	2条の隆線による幅狭の口縁部区画文と渦巻文構成。側縁は沈線。頸部は無文	中期後葉
8	深鉢 口縁部	中央 +15	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。沈線を側縁とする。区画内は縦位短沈線施文か。頸部は無文	中期後葉
9	深鉢 口縁～ 上部	+13	① 14.0 ② ③-	①褐色②粗:白色粒・ 輝石・褐色粒③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。区画内は沈線を側縁とし斜位短沈線を充填する。体部は沈線による弧状文と懸垂文が繋がる。地文は横位LR。体部器面磨滅	中期後葉
10	深鉢 口縁～ 上部	中央 +10	① 30.4 ② ③-	①暗赤褐色②粗:白色粒・ 雲母③良好	波状突起を付し、政直部に隆線による渦巻文及び口縁部区画文に区画2帯を配す。区画内は縦位短沈線を充填する。体部は2条の垂下隆線による懸垂文構成。地文は斜位LR。器面磨滅	中期後葉
11	深鉢 口縁～ 底部	南 5	①-②-③ 11.7	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 石英③やや軟質	大型の深鉢。頸部は無文で、体部上半に3条の横位沈線を設ける。体部上半は2・3条の沈線による弧状意匠と剣先状意匠を配し、小渦巻文も施す。下半は上半の意匠文より垂下沈線が派生する懸垂文構成を呈する。地文は斜位LR。器面磨滅	中期後葉
12	深鉢 口縁～ 体部	中央 +15	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	2条隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。沈線を側縁とする。頸部隆線直下より3条の沈線が懸垂する。地文は縦位LR	中期後葉
13	深鉢 口縁～ 体部 上半	北 +13	①-②-③-	①黒褐色②粗:白色粒・ 石英③良好	隆線による口縁部区画文構成。区画内の側縁は施さず、縦位短沈線を充填する。体部は頸部隆線直下より3条の沈線と波状沈線が垂下する懸垂文構成。地文は加飾し斜位施文	中期後葉
14	深鉢 口縁部	中央 +20	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口縁部隆線による区画文構成。横巻状突起は上位に突出する。区画内は沈線を側縁とし斜位短沈線を充填する。体部は上端を閉じた3条の沈線による懸垂文構成。縦位波状沈線も配される	中期後葉
15	深鉢 口縁部	中央 +23	① 30.0 ② ③-	①赤褐色②粗:白色粒・ 石英③良好	口縁部隆線による渦巻文と楕円状区画文構成。側縁は撫で、区画内は斜位短沈線を充填。体部は3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位LR	中期後葉
16	深鉢 口縁～ 体部	中央 +19	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 褐色粒③良好	波状沈線。口唇部に剣目、口縁部と頸部に横位交互斜突文。沈線による連弧文が多段に配される。地文は縦位懸垂上LR	中期後葉
17	深鉢 口縁～ 頸部	北 +1	① 27.8 ② ③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 雲母・輝石③良好	口唇部と頸部に2条の横位沈線を設け、交互斜突文を加える。地文は縦位LR	中期後葉
18	深鉢 口縁部	中央 +20	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	19と同一個体か。口縁部下に横位沈線を2条設け、沈線間に剣突文を理める。縦位無節Rを地文とする	中期後葉
19	深鉢 口縁部	中央 +21	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口縁部下に横位沈線を2条設け、沈線間に剣突文を理める。縦位無節Rを地文とする	中期後葉
20	深鉢 口縁部	伊 -1	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口唇部に横位沈線を設け、以下3条・2条沈線による連弧状意匠が配される。地文は縦位密接条線	中期後葉
21	深鉢 口縁部	伊 -19	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口唇部に横位沈線を設け、以下3条・2条沈線による連弧状意匠が配される。地文は縦位密接条線。20と同一個体	中期後葉
22	深鉢 口縁～ 体部 上半	中央 +13	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 輝石・褐色粒③良好	波状隆線頂部に隆線と沈線による渦巻状意匠を配す。体部は3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位密接条線	中期後葉
23	深鉢 口縁部	中央 +13	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・ 石英・雲母③良好	口唇部に横位隆線を設け、下に隆線による小渦巻文を配す。体部は垂下沈線・歯手状沈線による懸垂文構成か。地文に幅狭平行沈線による縦位矢羽状沈線が施される	中期後葉
24	深鉢 口縁部	中央 +9	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	波状隆線頂部。縦位無節Rが器面を覆う。補修孔有り	中期後葉
25	深鉢 口縁部	中央 +9	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	口唇部に横位凹線を設け、隆線による口縁部重区画文構成。区画内の側縁は沈線。横位Rを充填施文する	中期後葉
26	深鉢 体部 上半	中央 +22	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石・雲母③少	キヤリバー状深鉢体部。2・3条の太い沈線による大柄の渦巻文と小渦巻文が連繋する。下端の渦巻文より3条の沈線が垂下する。地文は縦位懸垂上LR	中期後葉
27	深鉢 体部 上半	中央 +3	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	2条隆線による渦巻状意匠と弧状意匠。下端より隆線が垂下する懸垂文構成。側縁は沈線。地文は縦位密接条線	中期後葉
28	深鉢 体部	中央 +15	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	3条の垂下沈線と1条の縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位LR。垂下沈線下端は小環状意匠か	中期後葉
29	深鉢 体部 上半	中央 +16	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 石英少・輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。沈線による弧状意匠と縦位楕円状意匠が配される。地文は縦位密接条線	中期後葉
30	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 褐色③良好	3条の沈線による懸垂文構成。小渦巻文を付帯する。割落するが2条隆線の痕跡を見る。地文は縦位LR	中期後葉
31	深鉢 体部	中央 +18	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位矢羽状沈線を理める	中期後葉
32	深鉢 体部	北 +19	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	縦位波状隆線による懸垂文構成。側縁はなく、地文は無節しとLRの縦位施文による縦位羽状施文を施す	中期後葉
33	深鉢 体部	北 +20	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	2条の隆線による縦位楕円状懸垂文。波状沈線文も垂下する。地文は無節R縦位施文	中期後葉
34	深鉢 体～ 底部	中央 +14	①-②-③ 10.8	①赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	大型の深鉢。器厚もある。2・3条の垂下沈線による懸垂文構成。LR縦位充填施文	中期後葉
35	深鉢 底部	中央 +18	①-②-③ 13.0	①明褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	2条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成	中期後葉

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
36	深鉢 底部	中央+15	① 20-② 7.0	①褐色②組:白色粒・石莖③良好	小型の深鉢。2条の垂下沈線下部を見る。縦位波状沈線も加わる。地文は縦位RL	中期後葉
37	深鉢 体~底部	中央+13	① 20-② 6.8	①褐色②組:白色粒・輝石③良好	3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は無筋L縦位施文	中期後葉
38	深鉢 体~底部	中央+10	① 20-② 8.2	①褐色②組:白色粒・褐色粒③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。地文は黒系L縦位施文	中期後葉
39	深鉢 体~底部	中央+17	① 20-② 6.4	①褐色②組:白色粒・石莖・輝石③やや軟質	体部下半は緩やかに内湾する。器面磨滅するが、縦位条線の痕跡を見る	中期後葉
40	深鉢 底部	中央+9	① 20-② 7.0	①褐色②組:白色粒・輝石③良好	僅かに外反気味に開く体部下半。無文	中期後葉
41	深鉢 体部~底部	中央+24	① 20-② 7.4	①鈍い赤褐色②組:白色粒・輝石③良好	垂下沈線2条と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位密接条線が施される。施文はやや浅い	中期後葉
42	有孔罇付土 器蓋~体部	中央+13	① 20-② 3-	①鈍い赤褐色②組:白色粒・石莖・雲母・輝石③良好	口縁部無文。頸部に跨状の横位隆線を突出し、上下に小孔を穿つ。小孔は、2個一対の配置を見せる。体部は2条の沈線による横位連弧状意匠を配す	中期後葉
43	浅鉢 口縁部	中央+9	① 20-② 3-	①鈍い赤褐色②組:白色粒・石莖・輝石③良好	口唇部内面肥厚する。体部は強く開く。口唇部内外面に僅かに赤彩痕跡を見る	中期後葉
44	有孔罇付土 器蓋部体部	中央・南19	① 20-② 3-	①明赤褐色②組:白色粒・片岩・褐色粒③良好	口縁部無文。頸部に跨状の横位隆線を突出し、上下に小孔を穿つ。体部は沈線による横位連弧状意匠が配される	中期後葉
45	浅鉢 口縁部	中央+12	① 34.4 ②-	①褐色②組:白色粒・石莖・輝石③良好	口縁部短く外傾し、直下に横位沈線を施す。体部は無文。器面磨滅	中期後葉
46	浅鉢 口縁~体部	中央+12	① 40.0 ②-	①明黄褐色②組:白色粒・輝石③良好	口縁部外面肥厚する。体部上半に湾曲を持たせる。内外面丁寧な研磨を施す。外面体部に赤彩痕跡が残る。内面も残るが判然としない	中期後葉
47	浅鉢 口縁部	中央+20	① 20-② 3-	①褐色②組:白色粒・片岩粒・石莖大粒③良好	口縁部内面肥厚する。体部湾曲は緩やか。内面に黒色付着物を少量見られる	中期後葉

12区33号住居出土土器観察表(遺構:第1分層 第267図、遺物:第2分層 第233-234図・P.L109-110)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	東+21	① 20-② 3-	①鈍い褐色②組:白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。やや扁平な印象。隆線は沈線で縦位RLを施す	中期後葉
2	深鉢 口縁部	東+16	① 20-② 3-	①褐色②組:白色粒・石莖・輝石③良好	頸部隆線で口縁部文様帯を画す。沈線による渦巻文を配し、横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
3	深鉢 口縁部	中央+1	① 20-② 3-	①鈍い褐色②組:白色粒・石莖・輝石③良好	隆線と沈線による渦巻状意匠及び区画文構成。やや扁平な印象を得る。区画内は浅い沈線を側線とし縦文を施す。体部は縦位沈線上部部を見る	中期後葉
4	浅鉢 口縁~体部	中脇+14	① 20-② 3-	①鈍い黄褐色②組:白色粒・石莖・雲母③やや軟質	口縁部内湾し、体部の湾曲と一体化する。隆線による渦巻文が配されるが、器面磨滅のため判然としない	中期後葉
5	深鉢 体部	中央+18	① 20-② 3-	①浅黄褐色②組:白色粒・石莖・雲母③やや軟質	垂下沈線で画された磨消部懸垂文構成。施文は縦位RL充填施文。器面磨滅	中期後葉
6	深鉢 体部	中央+9	① 20-② 3-	①明赤褐色②組:白色粒・輝石③良好	縦位波状沈線による懸垂文構成。波状の振幅が大きいため近接した配置となる。地文は縦位LR	中期後葉
7	浅鉢 口縁~体部	中脇5	① 20-② 3-	①鈍い褐色②組:白色粒・雲母・輝石・褐色粒③やや軟質	口縁部は外反気味に開き、体部上半に湾曲を持たせる。内面幅広く肥厚する。内外面とも器面磨滅	中期後葉
8	深鉢 体~底部	中央+1	① 20-② 3-	①褐色②組:白色粒多・石莖・輝石多③やや軟質	体部中央は内湾する。5・6条単位の縦位密接条線が覆う。器面磨滅する	中期後葉
9	深鉢 底部	中央+15	① 20-② 5.7	①褐色②組:白色粒・石莖・輝石③やや軟質	小型の深鉢か。器面磨滅するが、あるいは垂下沈線下部か	中期後葉
10	深鉢 底部	北+9	① 20-② 9.7	①褐色②組:白色粒・輝石③良好	体部器厚薄し。外面無文で、縦位研磨を加える	中期後葉

12区34号住居出土土器観察表(遺構:第1分層 第268-269図、遺物:第2分層 第235~237図・P.L110~112)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁~体部 中位	中央+5	① 20.7 ②-③-	①鈍い赤褐色②組:白色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。頸部隆線には横位沈線と縦位短沈線を施す。区画内は沈線を側線とし斜位RLを施す。頸部は無文。体部は3条の横位沈線で画され、3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成を呈す。地文は縦位RL	中期後葉
2a	深鉢 口縁部	東+7	① 22.6 ②-③-	①明赤褐色②組:白色粒・石莖・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。おそらく4単位。隆線には沈線が重なり、区画内の側線は沈線が施される。地文は縦位・斜位RL。頸部無文	中期後葉
2b	深鉢 口縁~頸部	東+13	① 23.0 ②-③-	①鈍い赤褐色②組:白色粒・石莖・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。区画内の側線は浅い沈線。縦位・斜位RLを施す。頸部は無文	中期後葉
3	深鉢 口縁~頸部1/4	中央+11	① 43.2 ②-③-	①明黄褐色②組:白色粒多・輝石③良好	2条隆線による口縁部渦巻文構成。6単位構成か。側線沈線で、地文は斜位・縦位RL。頸部は無文	中期後葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
4	深鉢 口縁部	中央 +5	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。側縁沈線で縦位 RL を地文とする。頸部は無文	中期後葉
5	深鉢 口縁部	中央 +12	① 23.0 ②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石・褐色粒③良好	2条隆線による口縁部区画文と下端渦巻文構成。区画内の側縁は沈線、縦位短沈線を充填する。体部上半に横位沈線帯を設ける。	中期後葉
6	深鉢 口縁～体部	中央 -5	① 15.2 ②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	口縁部内湾する小型深鉢。頸部に3条の横位沈線を設ける。地文は口縁部は横位・体部は斜位 RL	中期後葉
7	深鉢 口縁部	中央 +16	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文構成。側縁は沈線、斜位短沈線を充填する。頸部は縦位 RL	中期後葉
8	深鉢 口縁部突起	中央 +5	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒多・輝石③良好	強く突出する横状把手。正面形状は波状を呈す。把手より隆帯が垂下し、把手・隆帯上は2条沈線。側面は1条沈線を施す。円形刺突文も加わる	中期後葉
9	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部桶状把手。頂部に渦巻文を配す。把手正面及び内側面に末端渦巻状沈線を配し、口縁部区画文は2条隆線で画され、縦位短沈線を充填する。頸部は無文か	中期後葉
10	深鉢 口縁部	中央・南西 +7	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。沈線を側縁とし、縦位 RL を施す。頸部は無文。器面磨減	中期後葉
11	深鉢 頸部	中央 +10	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文。頸部は無文	中期後葉
12	深鉢 体部上半	中央・北 +8	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	頸部隆線より弧状隆線が派生する。地文は斜位 RL	中期後葉
13	深鉢 体部上半	中央 +10	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	3条の横位沈線で体部を画す。以下縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位 RL	中期後葉
14a	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	3条の横位沈線以下小渦巻文より3条の沈線が懸垂する。地文は縦位 RL	中期後葉
14b	深鉢 体部上半	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	3条の横位沈線以下2・3条の沈線によるU字状意匠が配される。地文は縦位 RL	中期後葉
15	深鉢 口縁～体部	中央 +19	① 12.0 ②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	小型の深鉢。2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。区画内の側縁は沈線。体部は頸部隆線より垂下沈線・縦位波状沈線が垂下する。剣先状意匠や渦巻状意匠が配される。地文は縦位 RL	中期後葉
16	深鉢 口縁部	中央 +38	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部横位沈線と円形刺突文を設け、以下2条の沈線が垂下する。地文は縦位 RL	中期後葉
17a	深鉢 口縁～体部	中央 +12	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	波状隆線に設けられた桶状把手。口縁部文様帯は隆線により楕円状区画が配され、横位矢羽状短沈線を充填する。体部は垂下沈線3条の懸垂文構成。空白部は縦位矢羽状沈線を充てる	中期後葉
17b	深鉢 口縁～体部	中央 +5	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部底辺部対称隆線楕円状区画文。横位矢羽状短沈線を充填。体部は垂下沈線3条の懸垂文構成。縦位矢羽状短沈線を施す	中期後葉
18	深鉢 口縁部	中央 +12	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部弧状意匠。あるいは大柄の渦巻文か。側縁は沈線で、区画内は縦位・斜位短沈線を充填する	中期後葉
19	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒③良好	器厚薄手。口縁部内面肥厚する。口唇部に横位円形刺突文と沈線を設け、以下2条沈線で画した逆U字状意匠を配す。RL 充填無文	中期後葉
20	浅鉢 口頸部	中央 +15	①-②-③-	①明黄褐色②粗:白色粒③良好	屈曲部に横位文交互突文。以下2条隆線による弧状区画文構成。側縁は沈線。地文は縦位 RL	中期後葉
21	深鉢 体部	中央 +1	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒多・石英・輝石③良好	2条の垂下隆線による懸垂文構成。地文は縦位 RL	中期後葉
22	深鉢 体部	中央 +40	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石多③良好	縦位波状隆線による懸垂文構成。地文は縦位 RL	中期後葉
23	深鉢 体部中位	中央 +10	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	縦位波状隆線による懸垂文構成。側縁は沈線。空白部は縦位波状短沈線を充填する	中期後葉
24	深鉢 体部中位	中央 +12	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒多・石英・輝石③やや軟質	2条の垂下隆線による懸垂文構成。沈線を側縁とし空白部は縦位矢羽状短沈線を施す	中期後葉
25	深鉢 体部下半	中央 +28	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位波状沈線が配される。地文は縦位 RL	中期後葉
26	深鉢 体部	中央 +8	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	縦位沈線による懸垂文構成。小弧線や円文も付帯する。3条の沈線による弧状意匠を配す。地文は縦位・斜位 RL	中期後葉
27	深鉢 体部	中央 +4	①-②-③-	①暗褐色②細:白色粒③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位波状沈線も加わる。地文は縦位 RL	中期後葉
28	深鉢 体部下半	中央 +11	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:小礫・白色粒・輝石③良好	渦状隆線による懸垂文構成。波状隆線。3条の平行沈線が垂下する。地文は縦位 RL	中期後葉
29	深鉢 体～底部	中央 +12	①-②-③- 10.0	①明黄褐色②粗:白色粒・石英③やや軟質	内湾気味の体部下半。縦位 RL を施す	中期後葉
30	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 10.0	①明褐色②粗:白色粒③良好	体部器厚薄手。2条沈線の下端部を見る。縄文は縦位 RL か	中期後葉
31	深鉢 底部	中央 +5	①-②-③- 9.8	①黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	垂下沈線下端部を見る。地文は縦位 RL か	中期後葉
32	深鉢 底部	覆土	①-②-③- 10.0	①明褐色②粗:白色粒・輝石③良好	縦位蛇行隆線による懸垂文構成。地文は縦位 RL	中期後葉

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
33	深鉢 体~底部	中央 +23	① ② ③ 9.6	①明赤褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	2条の垂下隆線と縦位波状隆線による懸垂文構成。側線は沈線。地文は縦位 LR。	中期後葉
34	深鉢 体~底部	中央 +15	① ② ③ 10.0	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位 LR。	中期後葉
35	浅鉢 口縁~体部	中央 +6	① 40.0 ② ③	①赤褐色②細:白色粒・輝石③良好	口縁部外面肥厚し強く突出する。内外面に赤彩痕跡	中期後葉
36	浅鉢 口縁部	中央 +6	① ② ③	①褐色②細:白色粒・輝石③良好	口縁部外面肥厚。体部上半に湾面を持たせる。無文。内外面器面磨滅	中期後葉
37	深鉢 口縁部	中央 -5	① ② ③	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	外反する無文の口縁部。内面横位研磨を施す	中期後葉
38	深鉢 口縁部	中央 -5	① 21.0 ② ③	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	緩やかに外反する口縁部。無文	中期後葉
39	深鉢 口縁部	中央 +14	① ② ③	①明赤褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	口唇部内面突出する。口唇部平坦面に施文の痕跡を見るが判然としなない。他は無文	中期後葉
40	深鉢 頸部	中央 +14	① ② ③	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部屈曲部に強い横位沈線を施す。頸部は強く外反する	中期後葉
41	浅鉢 体部	中央 +14	① ② ③	①褐色②細:白色粒③良好	口頸部文様帯は隆線による区画文構成。側線は沈線で横位 LR を施す。頸部は隆線は小突起を付し、斜位細沈線を連続する	中期後葉
42	浅鉢 底部	中央 +0	① ② ③ 10.0	①褐色②細:白色粒③良好	強く開く体部下平。外面縦位研磨。内面丁寧な研磨に加え赤彩痕跡を見る	中期後葉
43	浅鉢 体~底部	北 +3	① ② ③ 9.4	①赤褐色②粗:白色粒・片岩③良好	強く開く体部下平。内外面とも丁寧な研磨を施す	中期後葉
44	深鉢 底部	中央 +26	① ② ③ 11.0	①褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	強く開く体部下平。あるいは浅鉢か。外面研磨、内面微で調整	中期後葉
45	深鉢 底部	中央 +28	① ② ③ 9.6	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	緩やかに開く体部下平。無文。底面に網代取残	中期後葉
46	深鉢 口縁~底部	中央 +9	① 9.8 ② 12.3 ③ 5.1	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	小型の深鉢。器面磨滅のため、施文は判然としなないが、一部に縦位波状沈線を看取する	中期後葉
47	ミニチュア 口縁~底部	中央 +16	① 3.7 ② 6.7 ③ 3.0	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	筒状深鉢のミニチュアか。あるいは2面単位の波状線。体部は調整痕類似の細沈線が不定方向に施文される。内面輪積み痕顕著	中期後葉
48	深鉢 口縁部	中央 +4	① ② ③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	口縁部に横位交互刺突文を重ね、下側に突起を付す。突起割落所に地文断糸 L を看取する	中期中葉末
49	深鉢 体部上半	覆土	① ② ③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	横位沈線に交互刺突文が重なる。体部は3条の沈線による渦巻文意匠か。地文は縦位断糸 R	中期後葉
50	深鉢 口縁部	中央 +13	① ② ③	①褐色②細:白色粒・石莖・輝石③良好	強く内湾する口縁部。中変状突起の割落痕跡を見る。隆線による横位波状文を配し、横位細隆線と沈線、凹文を埋める。頸部は無文か	中期後葉
51	深鉢 頸~体部	中央 -5	① ② ③	①明赤褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	両耳莖。大型の橋状把手を頸部隆線に付す。体部は横位 LR が覆う	中期末葉

12区 35号住居出土土器観察表 (編年:第1分層 第270-271回。遺物:第2分層 第288回・P.L.112)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁~体部	北 +3	① 70.0 ② ③	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	大型の深鉢。口縁部横位細隆線以下隆線による渦巻文が配される。側線は無文で、縦位 LR を充填文。内面に赤色付着物。ペンガラか	中期末葉
2	深鉢 口縁~体部 上半	北 -3	① ② ③	①明黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	波状線波頂部に橋状把手を設ける。把手欠損。口縁部横位細隆線を付し、凹形刺突文を充填する。体部は2条沈線で画された唇部渦巻文を配す。施文部縦文は LR 充填施文	中期末葉
3	深鉢 体~底部	南 +12	① ② ③ 4.3	①褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	台付き状の底部。体部下平は内湾気味に開く。縦位 LR を施す	中期後葉
4	深鉢 底部	西 +27	① ② ③ 5.6	①褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	小型の深鉢か。小径で直立気味に立ち上がる。無文	中期後葉
5	深鉢 把手	覆土	① ② ③	①浅黄褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	板状の大型把手破片か。内側縁に縦位 LR を施す。外面は凹形刺突文を列状に充填する	中期末葉
6a	深鉢 口縁~体部	南 +11	① ② ③	①鈍い褐色②粗:白色粒・石莖③良好	波状線を呈し、波頂部に橋状把手を設ける。把手直下の体部に隆線による渦巻文を配す。4単位か。縦文は RL 充填施文	中期末葉
6b	深鉢 口縁部突起	覆土	① ② ③	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石③良好	波状口縁波頂部突起。小型の橋状把手を設けるか。頂部は LR を充填する	中期末葉
7	深鉢 口縁~体部 上半	覆土	① ② ③	①褐色②細:白色粒③良好	小波状突起を付す。口縁部横位細隆線上下に連続網目を施す。体部は2条沈線で画された唇部縦位対置文意匠が配される。縦文は LR 充填施文	中期末葉
8	深鉢 口縁~頸部	西 +30	① ② ③	①褐色②粗:白色粒・石莖・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文。区画内は沈線を彫線とし、横位 RL を施す。頸部隆線には縦位短沈線を加える。頸部は無文で、3条の横位沈線で体部を画す。体部縦文は縦位 LR。	中期後葉
9	深鉢 体部上半	北 +17	① ② ③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	縦位沈線2条で体部を画す。体部は垂下沈線3条による懸垂文構成。小渦巻文を付した弧状意匠を配す。縦文は縦位 LR。	中期後葉

出土土器観察表

12区36号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第272頁, 遺物:第2分冊 第239頁・P.112)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 深鉢中央	炉体土器	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・褐色粒③良好	大型の深鉢。隆線による大型の扇状区画内をさらに小区画文を区画意匠を配す。5単位を敷入。空白部を縦位・横位楕円区画文が埋める。縄文はLR充填施文	中期後葉
2	深鉢 口縁部	炉15	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	低位隆線による口縁部楕円区画文。扁平な印象。区画内の側線は沈線。縦位密接条線を充填する	中期後葉
3	深鉢 深鉢上半	西5	①-②-③-	①灰黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線で腰部を両す。以下横位波状沈線を設け、地文に縦位LRを施文する	中期後葉
4	深鉢 底部	西±0	①-②-③- R	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	数条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位矢羽状沈線が配される。施文幅は狭い	中期後葉

12区37号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第273頁, 遺物:第2分冊 第240頁・P.113)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	中央+10	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文構成。渦巻文も設ける。区画内は沈線を側線とし、細かな矢羽状沈線を充填する。頸部無文	中期後葉
2	深鉢 深鉢中央	中央+6	①-②-③- 8.6	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の隆線による懸垂文構成。あるいは3単位か。空白部は2条の垂下沈線で分割され、斜位短沈線を充填する	中期後葉
3	深鉢 深鉢~底部	中央+20	①-②-③- 9.5	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。同沈線による弧状意匠、クラック状意匠も配される。地文は斜位LR	中期後葉
4	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	無文の口縁部断片。あるいは5と同一個体か	中期後葉
5	深鉢 口縁部~底部	中央+2	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	内湾する口縁部。無文	中期後葉
6	浅鉢 口縁部~腰部	中央+6	①43.2②-③-	①褐色②粗:白色粒・雲母・輝石③良好	口縁部内面肥厚する。腰部上半に強い湾曲を持たせる。内外面とも丁寧な研磨を加える	中期後葉
7	浅鉢 深鉢~底部	中央+3	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英多③良好	底面を欠損する。腰部下半は強く開き、内外面とも丁寧な研磨を施す	中期後葉

12区38号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第274-275頁, 遺物:第2分冊 第241頁・P.113)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	南23	①-②-③-	①灰褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	波状縁か。口縁部細隆線以下腰部は扇沈線による弧状意匠が配される。細縄文LRを充填する	中期末葉
2	深鉢 口縁部下	東26	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	波状縁。波頂部に扇状突起を付し、口縁部細隆線を派生する。突起下部に細沈線2条による弧状区画が配される。縦位LR充填施文	中期末葉
3	深鉢 深鉢腰部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の細沈線による磨消部渦巻意匠か。施文部はLR充填施文	中期末葉
4	深鉢 深鉢腰部	中央23	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母・輝石③良好	垂下隆線による懸垂文構成。磨消部には強い研磨が加わる。縄文は縦位LR充填施文	中期末葉
5	深鉢 深鉢下半	掘出部埋費39	①-②-③-	①明黄褐色②粗:白色粒・輝石・褐色粒③良好	大型の深鉢。垂下隆線による懸垂文構成。器面磨減	中期末葉
6	深鉢 深鉢底部	南50	①-②-③- 9.0	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	直立気味に立ち上がり、腰部下半は強く開く。腰部は無文で縦位研磨が加わる	中期後葉
7	深鉢 深鉢台部	南22	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	小型の付き深鉢底部接合部。無文	中期後葉

12区39号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第276-277頁, 遺物:第2分冊 第242-243頁・P.113-114)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部~腰部 上半	2号炉 炉体土器	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒多・輝石③良好	口唇部欠損。口縁部は2条隆線による渦巻文と区画文構成。4単位か。区画内は沈線を側線とし横位矢羽状沈線を充填する。頸部は幅広く無文部を設け、3条の横位沈線で両す。腰部は沈線による弧状意匠と垂下沈線による懸垂文構成か。地文は無文懸垂系LR	中期後葉
2	深鉢 口縁部~腰部	1号炉+19	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	筒状の器形。2条隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。隆線帯落による地文縦位LRを見る	中期後葉
3	深鉢 口縁部	東+17	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	波状縁。波頂部に沈線による渦巻文を配し、小型の楕状把手を繋ぐ。口唇部・把手に円形刺突文を施す。腰部は横位沈線と円形刺突文により画される。地文は無文LR縦位施文	中期後葉
4	深鉢 口縁部	中央+23	①-②-③-	①黒褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部横位沈線3条を設け、円形刺突文を2条重ねる。地文は縦位LR	中期後葉
5	深鉢 口縁部	中央+25	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・小礫③良好	口縁部内湾し、2条の横位沈線を設ける。沈線間を交互刺突文が加わる。腰部は2条隆線の懸垂文構成か。地文は無文懸垂系LR	中期後葉
6	深鉢 口縁部	北+45	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	波状突起を付す。沈線による縦位楕円状意匠か。地文は縦位LR。斜位施文	中期後葉
7	深鉢 口縁部	北+49	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部に横位沈線を設け以下縦位LRを充填する	中期後葉

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
8	深鉢 口縁部	北 +45	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	緩やかな波状縁か。隆線と沈線による口縁部区画文構成。LR 充填施文	中期後葉
9	深鉢 口縁部	内	①-②-③	①鈍い褐色②細:白色粒・変母③良好	小型深鉢か。口縁部に横位隆線を巡らし深い刺突文を加える。体部は横位沈線2条を設ける。地文は縦位LR	中期後葉
10	深鉢 口縁部下	中央 61	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文構成。渦巻文下部より横位隆線が派生し区画文を画する。側縁は沈線。口縁部下より斜位沈線が施される。縄文は縦位LR	中期後葉
11	深鉢 体部	中央 +12	①-②-③	①暗褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。RL 縦位充填施文	中期後葉
12a	深鉢 体部中位	中央 +13	①-②-③	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	沈線による環状意匠下部より2条の沈線が懸垂する。地文は縦位LRL	中期後葉
12b	深鉢 体部中位	中央・1号 8 <sup>a</sup> +45	①-②-③	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	沈線による弧状区画文。地文は縦位LRL	中期後葉
13	深鉢 体~底部	中央・南 58	①-②-③ 11.2	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	外反気味に立ち上がる。2条の垂下沈線による懸垂文構成。空白部は縦位沈線の縦位・斜位施文。工具幅は一定ではなく、深く施文する	中期後葉
14	深鉢 体~底部	覆土 8.4	①-②-③	①赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の垂下隆線と縦位波状隆線による懸垂文構成。2、3条の垂下沈線も加わる。地文は縦位LR	中期後葉
15	浅鉢 口縁部	北 +14	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・石英多・片岩粒③良好	口縁部外面厚し体部上半に緩やかな湾面を持たせる。無文で内外面丁寧な研磨を施す	中期後葉
16	浅鉢 口縁部	中央 58	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・石英多・片岩粒③良好	口唇部僅かに肥厚する。体部は強く開く。無文	中期後葉
17	深鉢 底部	南 +8	①-②-③ 7.2	①明褐色②粗:白色粒・石英③良好	2条の垂下沈線と縦位波状沈線の下部を見る。縄文は縦位LR	中期後葉
18	深鉢 底部	北 +33	①-②-③ 8.2	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	底部器厚厚手。内面丸底状。外面は無文。底面は磨でにより平滑	中期後葉
19	浅鉢 体~底部	中央 +32	①-②-③ 9.0	①灰黄褐色②粗:小礫・白色粒・石英③良好	体部器厚薄手で、強く開く。内外面とも丁寧な研磨を施す	中期後葉
20	高台 体~底部	中央 62	①-②-③	①赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	頸部中位に楕円状の孔を穿つ。2孔一対で4単位か。外面は丁寧な磨でを加える	中期後葉
21	高台 体~底部	北 23	①-②-③ 18.0	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・片岩③良好	頸部中位に、高さ僅かに変え、径2cmほどの円孔を穿つ。無文	中期後葉
22	浅鉢 体部	北 +18	①-②-③	①鈍い褐色②粗:白色粒・片岩多③良好	無文。内面丁寧な研磨を施す	中期後葉
23	深鉢 体部中位	北 +9	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隆線による弧状区画と横位沈線による逆U字状懸垂文が配される。LR 縦位充填施文	中期未葉

12区40号住居出土土器観察表(通称:第1分冊 第278-279図、通称:第2分冊 第244図・P.114)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁~体部 上半	内	① 39.0 ②-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。6単位か。区画内は沈線を無線とし横位矢羽状短沈線を充填する。頸部に幅広の無文帯を設け体部は横位沈線3条で画す。体部は3条の沈線による横位弧状意匠、垂下沈線が配される。沈線末端が小渦巻文となる。地文は斜位・縦位LR	中期後葉
2	深鉢 口縁部	南西 +6	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	大型の深鉢。隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。側縁は沈線。地文は横位LR。頸部は無文	中期後葉
3	深鉢 口縁部	西 +19	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部隆線による渦巻文と区画文構成。区画内は沈線を無線とし縦位短沈線を充填する。頸部は無文で、体部上半を横位沈線で画す	中期後葉
4	深鉢 口縁部	中央 +17	①-②-③	①鈍い褐色②粗:白色粒多・石英・輝石③良好	口縁部に3条の横位沈線を設け、交互刺突文を加える。以下は2条沈線による横位連続弧状意匠を配す。地文は縦位密接条線	中期後葉
5	深鉢 体部上半	北 +25	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	体部は横位沈線で画され、垂下沈線と波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位密接条線	中期後葉
6	深鉢 体部中位	中央 +13	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	3条の垂下沈線と波状委沈線による懸垂文構成。地文は無部L縦位施文	中期後葉
7	深鉢 体部	中央 +15	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2・3条の沈線による弧状意匠。接点に小渦巻文を配す。地文は縦位密接条線	中期後葉
8	深鉢 体部	覆土	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・変母多③良好	2条隆線による渦巻意匠が懸架する。2条沈線による逆U字状意匠が配され、円形刺突文が縦位状に沿う	中期後葉
9	深鉢 体部上半	伊福 +8	①-②-③	①明褐色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	沈線による逆U字状懸垂文か。区画内は縦位LR 充填施文	中期後葉
10	深鉢 底部	中央 +13	①-②-③ 9.2	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	縦位・斜位条線の密接施文	中期後葉
11	深鉢 体~底部	中央 +21	①-②-③ 10.2	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	垂下沈線群による懸垂文構成。地文は縦位LR	中期後葉
12	深鉢 体~底部	覆土	①-②-③ 6.2	①褐色②粗:白色粒③良好	体部下半に沈線による横位連弧文を配す。地文は縦位密接条線	中期後葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
13	浅鉢 口縁部	伊脇+6	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口唇部内面突出し、端部に面を持つ。無文で、内外面丁寧な研磨を施す	中期後葉
14	浅鉢 口縁部	北西+17	①-②-③	①鈍い赤褐色②細:白色粒・石英・雲母③良好	口縁部外反し、内面肥厚する。体部上半に湾曲を持たせる。無文で内外面丁寧な研磨を施す	中期後葉
15	土灰品 耳杯	中央+8	径:2.5	①明赤褐色②細:白色粒・石英③良好	鼓状の形態で、両端面に沈線による弧線文を施す。括れ部に付着物	中期後葉
16	深鉢 台部	中央	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒多・石英③良好	小型の台付き深鉢底部接合部。台部は強く開く。無文	中期後葉
17	深鉢 体部中位	南+9	①-②-③	①明褐色②粗:白色粒・輝石③良好	コイル状突起を付した弧状隆線と内皮沈線による曲線隆文構成。三叉文を施す	中期中葉末
18	深鉢 口縁部	東+21	①-②-③	①明黄褐色②細:白色粒・輝石③良好	口縁部横位細隆線以下、2条の沈線による逆U字状意匠を配す。縦位・斜位 RL 充填施文	中期末葉

12区 41号住居出土土器観察表 (通称:第1分層 第280図、遺物:第2分層 第245～247図、P.L.115)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	伊土器	① 17.8 ②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁～頸部は加熱のため新器割多し。隆線による渦巻文と区画文構成。頸部に無文部を設け、横位沈線3条で両す。体部は垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成を呈し、弧状・渦巻状意匠を配す	中期後葉
2	深鉢 口縁部	中央+2	①-②-③	①明褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	頸部隆線強く突出する。2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。無線は沈線。横位 LR を施す。頸部は無文	中期後葉
3	深鉢 中央	中央-1	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英多・輝石多③やや軟質	2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。渦巻文上端に小突起を付す。側線は沈線。地文は口縁部は横位 RL、頸部は縦位施文。器面磨減	中期後葉
4	深鉢 口縁部	伊脇+8	①-②-③	①明褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。区画内は斜位短沈線を充填する。頸部は無文	中期後葉
5	深鉢 口縁部	5	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部区画文構成。区画内に隆線によるクラク文を配す。地文は口縁部縦位、体部縦位帯赤しを施す	中期後葉
6	深鉢 口縁部	北+7	①-②-③	①明黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口唇部に横位隆線を設ける。以下横位沈線を重ね、交互斜位文を加える。下部には沈線による小渦巻文を配す	中期中葉末
7	深鉢 口縁～体部 中位	中央-11	① 41.0 ②-③	①灰黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。波状部にも渦巻文が配され、4単位を推定する。頸部は無文で2条横位隆線により体部を両す。体部は縦位波状隆線による懸垂文構成。空白部には沈線による弧状意匠と逆U字状意匠、小渦巻文が配される。地文は縦位 RL	中期後葉
8	深鉢 頸部	中央+5	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	頸部屈面部に横位短隆線を付す。体部は2条隆線による区画文構成か。側線は沈線。縦文は縦位 RL 充填施文	中期後葉
9	深鉢 体部上半	北-2	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条の横位沈線上下に縦位波状沈線を配す。地文は帯赤し	中期後葉
10	深鉢 体部中位	西-9	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。弧状沈線に小渦巻文を配けた剣先状意匠も配す。地文は斜位 RL	中期後葉
11	深鉢 体部下半	北-1	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石・褐色粒③良好	2条沈線による弧状意匠と垂下沈線及び縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位 RL	中期後葉
12	深鉢 口縁～体部 上半	中央+3	① 29.6 ②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石・褐色粒③良好	口縁部は無文で開く。頸部に横位短隆線を付し、以下円形刺突文を横位多段に施す。地文は RL だが、体部に横位隆線を設ける	中期後葉
13	深鉢 口縁部突起	西-9	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	突出する口縁部渦巻状突起。突起縁に沿って、2条の沈線が沿う	中期後葉
14	深鉢 口縁部突起	伊脇+3	①-②-③	①明褐色②粗:白色粒・輝石③良好	突出する口縁部渦巻状突起。下位は横位把手となる。下端及び口縁部文様帯にも細隆線による渦巻状意匠を配す。側面には円形刺突文を加える	中期後葉
15	深鉢 口縁部突起	中央+5	①-②-③	①赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	突出する口縁部渦巻状突起。下位は横位把手となる。下端にも細隆線による渦巻状意匠を配す。側面には円形刺突文を加える	中期後葉
16	深鉢 口縁部突起	中央±0	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	深底部に付せられた渦巻状突起。渦落するが下位に横位把手を設ける。口縁部文様帯は隆線と側線状隆線による柵目状区画文。区画内は縦位弧状意匠沈線を充填する	中期後葉
17	深鉢 底部	-5	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	小型の深鉢か。数条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位 RL	中期後葉
18	深鉢 体～底部	伊脇+中央+6	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の垂下隆線と波状隆線による懸垂文構成。無線は沈線。地文は縦位 RL。底面に RL の丘状か	中期後葉
19	浅鉢 口縁～底部	中央+5	① 36.6 ② 14.4 ③ 8.2	①明赤褐色②粗:白色粒・石英(大)・片石③良好	口縁部～体部上半に緩やかな内湾を持たせ、強く開く器形を呈す。内外面とも丁寧な研磨を施し、外面赤彩を加える。器面磨減	中期後葉
20	浅鉢 口縁部	中央+8	①-②-③	①鈍い赤褐色②細:白色粒・輝石③良好	口縁部は短く外傾し、体部上半に湾曲を持たせる。外面は丁寧な無調整。内面は器面磨減	中期後葉
21	有孔 甕付上 器頸部	北+6	①-②-③	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英③良好	蹄状の突出隆線下より小孔を穿つ。内外面無調整	中期後葉
22	深鉢 口縁部	中央+8	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	薄手の器厚を呈し、口縁部内湾する。小型深鉢か。口唇部は横位、体部は縦位 RL を施す	中期後葉



番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
23	深鉢 口縁部	西 +14	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	幅狭の横位平行沈線群を多段に配す	前期後葉

12区 42号住居出土土器観察表 (面積:第1分層 第281~283R,遺物:第2分層 第248~253R・P.L.116~119)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁~体部	鉢体土器	① 19.6 ②-	①赤褐色②粗:白色粒 多・輝石③良好	波状縁、波頂部に隆線と沈線による渦巻文を配す。頸部に横位沈線3条を設け、直下より垂下沈線3条・縦位波状沈線を懸垂する。地文は縦位・斜位 RL	中期後葉
2	深鉢 口頭~体部 上半	伊 -34	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画と渦巻文構成。区画内は沈線を無線とし地文横位 RL を施す。頸部は無文で3条の横位沈線で曲す。体部は2・3条の沈線による弧状・渦巻状意匠を配される。地文は斜位 RL	中期後葉
3	深鉢 体~底部	埋裏 +8	①-②-③ 9.6	①明赤褐色②細:白色 粒多・輝石少③良好	垂下沈線及び縦位波状沈線の下端部を見る。懸垂文構成。縦位 RL を施す。断面磨滅	中期後葉
4	深鉢 口縁部	東 +21	① 25.4 ②- ③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。区画内は沈線を無線とし、横位 RL を地文とする。頸部は無文。に2条の横位沈線を設け体部は垂下沈線の土端を見る。	中期後葉
5	深鉢 口縁~体部 上半	伊 -13	① 24.0 ②- ③-	①褐色②細:白色粒・ 輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。区画内の無線は沈線、横位 RL を充填する。頸部隆線直下より、体部垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成を呈す。縦位 RL を施す	中期後葉
6	深鉢 口縁~体部 上半	中央 +9	① 15.8 ②- ③-	①鈍い赤褐色②粗:白 色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。区画下端に縦位短沈線を施した底突起を付す。区画内の無線は沈線、縦位 RL を充填する。頸部隆線下端より縦位沈線が懸垂する	中期後葉
7	深鉢 口縁~体部 中位	中央 24	① 38.6 ②- ③-	①鈍い赤褐色②粗:白 色粒・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。渦巻文は波状部にも配され、4単位構成を見る。区画内は沈線を無線とし、縦位短沈線を充填する。体部は2条隆線で曲され、2条隆線による懸垂文構成を示す。一部刷先状意匠を配す。地文は斜位・縦位 RL	中期後葉
8	深鉢 口縁部	伊 +12	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	隆線による渦巻文と区画文構成。頸部隆線は2条。渦巻文下端及び区画内は縦位短沈線を施す。頸部は無文	中期後葉
9	深鉢 口縁部	中央 +8	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白 色粒・石英・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。区画内は沈線を無線とし横位 RL を施す。頸部に1条の垂下沈線土端を見る	中期後葉
10	深鉢 口縁部	中央 +28	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	波状縁波状部に渦巻状小突起を付す。突起下端より2条隆線が垂下し口縁部区画文を構成する。区画内は沈線を無線とし、地文系系しを施す	中期後葉
11	深鉢 口縁部	中央 +20	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色 粒・雲母・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。区画内の無線は沈線、横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
12	深鉢 口縁部	中央 +23	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色 粒③良好	口縁部肥厚。隆帯による渦巻文を配す。無線沈線で隆帯上にも施す。三叉文も刻まれる	中期後葉
13	深鉢 口縁部	中央 +23	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。区画内の無線は沈線、斜位短沈線を充填する。頸部無文	中期後葉
14	深鉢 口縁部	中央 +24	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	隆線による口縁部箱内状区画文構成。無線は沈線、横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
15	深鉢 頸~体部	中央 +12	①-②-③-	①黒褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	大型の深鉢。頸部隆線以下、2条の垂下隆線と縦位波状隆線による懸垂文構成。LR 縦位・斜位充填施文	中期後葉
16	深鉢 体~底部	南 ±0	①-②-③ 10.8	①鈍い赤褐色②粗:白 色粒・輝石③良好	2条の垂下隆線と縦位波状隆線による懸垂文構成。無線は強い撫で。地文は横位 RL 充填施文	中期後葉
17	深鉢 口縁部	伊 +8	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	口縁部横位隆線を付し以下横位沈線群を設け交互刺突文を重ねる	中期中葉末
18a	深鉢 口頭部	中央 +13	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・雲母多③良 好	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・雲母多③良 好	
18b	深鉢 口頭部	伊・中央 +8	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・雲母多③良 好	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・雲母多③良 好	
18c	深鉢 口頭部	伊 +13	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・雲母多③良 好	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・雲母多③良 好	口縁部は強く外傾する。以下2条隆帯による区画文構成。無線は沈線、斜位短沈線を充填する。体部は斜位 RL を施す
18d	深鉢 口頭部	中央 +13	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・雲母多③良 好	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・雲母多③良 好	
19	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	左右及び内面孔による橋状把手。頸部は渦巻文を配し、口縁部および把手部に沈線を施す	中期後葉
20	深鉢 口縁部下	中央 +17	①-②-③-	①明褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口縁部橋状把手。上位に中突起を付すか。把手には横位短沈線を施し、断面の沈線が口縁部区画へ繋がる	中期後葉
21	深鉢 口頭部	伊 2	①-②-③-	①灰黄褐色②粗:白色 粒・石英③良好	あるいは浅鉢か。頸部隆線突出する。口縁部は隆線による渦巻文を配し下部に縦位短沈線を施す。区画内は沈線を無線とし斜位 RL を施す	中期後葉
22	深鉢 口縁部	中央 +18	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白 色粒・輝石③良好	口縁部は幅広で無文。横位沈線3条で体部を両す。以下縦位波状沈線が懸垂する。地文は縦位 RL	中期後葉
23	深鉢 体部上半	中央 +17	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	2条の横位沈線以下、垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。斜位 RL を地文とする	中期後葉
24	深鉢 体部下半	土器集中	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	2条の垂下隆線による懸垂文構成。無線は沈線。LR 縦位充填施文	中期後葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
25	深鉢 体部下	中央 +8	①-②-③- ① 11.0 ② ③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・輝石③やや軟質	数条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位懸垂線を充填する	中期後葉
26a	深鉢 口縁~体部	伊 5	①-②-③- ① 5 ② ③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	小型深鉢。波状口縁を呈し、波頂部に隆線による渦巻状意匠を配す。おそろ2単位。口唇部に幅広の沈線が沿う。体部は縦位 RL が覆う	中期後葉
26b	深鉢 口縁部	伊 +6	①-②-③- ①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	波状縁。口縁部に横位沈線を2条設け、以下沈線による弧状意匠が配される。進気文か。地文は縦位・斜位 RL	中期後葉
27	深鉢 口縁部	中央 +12	①-②-③- ①-②-③-	①鈍い赤褐色②細:白色 粒・輝石③良好	2条の沈線による弧状意匠内に横位波状沈線2条を施す。地文は縦位 RL	中期後葉
28	深鉢 体部	中央 +22	①-②-③- ①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	横位沈線以下4条の沈線による進気文が配される。地文は縦位 RL。沈線は内皮飾文	中期後葉
29	深鉢 体部上半	中央 +18	①-②-③- ①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	口縁部緩やかに内湾する。縦位・斜位 RL が覆う	中期後葉か
30	深鉢 口縁部	南 +22	①-②-③- ①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	直線的に立ち上がる体部下。3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位 RL	中期後葉
31	深鉢 体~底部	伊 +0	①-②-③- ① 8.4 ② ③ 10.0	①明赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	直立気味の体部器形。3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位 RL	中期後葉
32	深鉢 体~底部	中央・北 +10	①-②-③- ① 10.0 ② ③ 10.0	①明赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	垂下沈線による懸垂文構成。地文は縦位 RL。底面に削代痕残る	中期後葉
33	深鉢 体~底部	中央 +24	①-②-③- ① 10.5 ② ③ 10.5	①明赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	垂下沈線による懸垂文構成。地文は縦位 RL。底面に削代痕残る	中期後葉
34	深鉢 体~底部	北・南 2	①-②-③- ① 6.2 ② ③ 6.2	①暗赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	垂下沈線端部を見る。器面凹凸あり	中期後葉
35	深鉢 体部上半	中央 +8	①-②-③- ①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色 粒・石英・片岩③良好	内湾する口縁部か。頸部に小突起を付し、隆線が垂下する。幅広の横位波状口縁部を施す。縄文は横位 RL	中期中葉
36	有孔 器口縁~体部	中央 +8	① 36.2 ② ③-	①明赤褐色②細:白色 粒③良好	大型品。口縁部は無文で、横位隆帯は強く突出し跨状。体部に沈線によるU字状意匠と波状文が配され、跨に2個一対の小孔を穿つ。7単位か。外面口縁~体部上半赤彩痕跡を見る	中期後葉
37	浅鉢 口縁~体部	中央 +9	① 34.0 ② ③-	①褐色②細:白色 粒・輝石③良好	口縁部は外反し無文。頸部は3条の横位沈線に交互刺突文が密に重なる。口頸部は沈線による区画文構成。縦位 RL を保ちず体部屈曲部には横位隆線が突出する	中期後葉
38	浅鉢 口頸部	1号集中	①-②-③- ①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色 粒・石英・片岩③良好	強く屈曲する体部。頸部は2条の低位隆線による区画文構成。区画内は側線を沈線とし縦位懸垂線を施す。屈曲部には縦位短沈線を施す	中期後葉
39	浅鉢 口頸部	中央 +24	①-②-③- ①-②-③-	①明赤褐色②粗:片岩 多・石英③良好	頸部径40cmを超える大型品。口縁部は外反し、頸部は鋭く屈曲する。沈線による楕円状意匠と凹形刺突文を施す	中期後葉
40	浅鉢 口縁~体部	南 -19	① 50.0 ② ③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・褐色粒③良好	口縁部外面肥厚し強く突出する。体部上半に湾曲を持たせる。内外面に広く赤彩痕跡が残る	中期後葉
41	浅鉢 口縁~体部	中央 +12	① 45.2 ② ③-	①赤褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③良好	口唇部強く突出し、体部は深く内湾する。口縁部内外面に赤彩痕跡が残る	中期後葉
42	浅鉢 口縁部	中央 +18	①-②-③- ①-②-③-	①赤褐色②粗:白色 粒・片岩③良好	口縁部内外面肥厚する。内面に僅かに赤彩痕跡残る	中期後葉
43a	浅鉢 口縁~体部	中央 +3	① 44.0 ② ③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③良好	口唇部尖り気味に突出し、体部は強く開く。内外面に赤彩痕跡が残る	中期後葉
43b	浅鉢 口縁部	伊 5	①-②-③- ①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③良好		
44a	浅鉢 口縁~体部	中央・伊 +1	① 45.3 ② ③-	①褐色②粗:白色 粒・片岩③良好		
44b	浅鉢 口縁部	伊 5	①-②-③- ①-②-③-	①成褐色②粗:白色 粒・片岩③良好	口唇部内折し強く開く。体部は湾曲する兆しを見せる。内外面丁寧な研磨。口唇部内外面に赤彩痕跡残る	中期後葉
44c	浅鉢 口縁部	中央 +13	①-②-③- ①-②-③-	①褐色②粗:白色 粒・片岩③良好		
45	浅鉢 体~底部	中央 +4	①-②-③- ① 9.8 ② ③ 9.8	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英③良好	体部は薄手で強く開く。内外面とも丁寧な研磨を施すが、器面磨減する	中期後葉
46	浅鉢 体~底部	中央 +3	①-②-③- ① 9.0 ② ③ 9.0	①鈍い赤褐色②細:白色 粒・石英・輝石③良好	比較的厚手の底部器厚。体部は薄手で強く開く。内外面とも丁寧な研磨を施す。内外面磨減	中期後葉
47	浅鉢 体~底部	南 +23	①-②-③- ① 9.4 ② ③ 9.4	①鈍い赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	強く開く体部下。外面磨で、内面研磨調整を施す	中期後葉
48	ミニチュア 口縁部	中央 +18	①-②-③- ①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	あるいは底部か。浅い沈線による弧状意匠が配される。雑な作り	中期後葉
49	ミニチュア 口縁部	覆上	①-②-③- ①-②-③-	①鈍い赤褐色②細:白色 粒・石英③良好	外反する口縁部。縦位 RL を施す	中期後葉
50	ミニチュア 口縁~体部	南 +18	①-②-③- ①-②-③-	①鈍い赤褐色②細:白色 粒③良好	細身の深鉢か。凸み有り。縦位連続条線を施す	中期後葉
51	深鉢 口縁~体部	中央 +26	① 21.6 ② ③ 8.4	①黄褐色②細:白色 粒・輝石③良好	口縁部は幅広で無文。横位細隆線を設け小突起を付す。以下縦位・斜位 RL を充填飾文する	中期末葉

12区43号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第284回、遺物:第2分冊 第254回・P.110)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	④色調⑤胎土⑥焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部突起	南 -1	①-②-③-	①明褐色②粗:白色粒・ 輝石多③良好	上下及び内面孔による中空状突起。隆線による半渦巻文を呈し、隆線 端部に渦巻文を付した沈線を施す。円文を配し、幅狭の口縁部文様帯 は沈線による区画文と縦位短沈線の充填か	中期後葉
2	深鉢 体部	覆土	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	内皮沈線による弧状意匠。あるいは大柄の渦巻文か。地文は斜位 RL	中期後葉
3	深鉢 底部	覆土	③-②-③ 7.1	①明赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	縦位 RL を施す	中期後葉
4	浅鉢 口縁部	中央 +4	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 片岩③良好	口縁部は強く内湾する。無文で内外面の研削は丁寧。赤糸筋跡も見る	中期後葉
5	深鉢 口縁部	東 -8	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・ 石英・燧石③良好	緩やかな波状線。付加条2種。無節 R + 摺糸 L 2条か	前期初頭
6	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・ 石英③良好	波状線。屈折する口縁部。無節 L 横位施文が覆う	中期後葉
7	深鉢 口縁部突起	覆土	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口縁部頂部の環状突起細隆線が弧状に派生する。内面は縦位沈線を充 填する	中期中葉末

12区44号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第285回、遺物:第2分冊 第255回・P.110)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	④色調⑤胎土⑥焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部 上半	中央 +21	① 25.8 ②- ③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	口縁部に渦巻状突起を突出する。4単位。口縁部文様帯は隆線による 区画文構成。区画隆線には横位短沈線を加える。区画内は沈線 を側線とし、縦位短沈線を充填する。頸部無文。体部は横位沈線3条 によって画され、大柄の沈線渦巻文と縦位波状沈線が配される。斜位・ 縦位 RL を地文とする	中期後葉
2	深鉢 口縁～体部 上半	中央・南 +28	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口縁部は沈線による区画文構成か。横位隆線2条で体部を画し渦巻文 を付す。以下2条隆線による懸垂文構成を呈す。側線は沈線で縦位矢 羽状短沈線を充填する	中期後葉
3	深鉢 口縁部	中央 +30	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口唇部に横位隆線を設ける。口縁部は隆線による剛先状意匠を配し、 地文に斜位平行沈線を施す	中期後葉
4	深鉢 底部	中央 +28	①-②-③- 9.2	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	2・3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。	中期後葉
5	深鉢 体部	中央 +27	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	2・3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は無節 L 縦位施文	中期後葉
6	深鉢 体部～底部	中央 +22	①-②-③- 8.3	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	2条の垂下隆線と沈線による懸垂文構成。側線は沈線。地文は縦位 RL	中期後葉

12区45号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第285回、遺物:第2分冊 第256回・P.120)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	④色調⑤胎土⑥焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	東 +25	① 40.8 ②- ③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	隆線による口縁部多段区画文と渦巻文構成。上位区画内は横位 RL を 施す。体部は3条の沈線による懸垂文構成。5・6条単位の縦位密接 条線を施す	中期後葉
2	深鉢 体～底部	南 +23	①-②-③- 11.0	①明赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	厚手の器厚を呈す。大型の深鉢か。2条の底位隆線による懸垂文構成 器面の凹凸多い	中期後葉

12区46号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第286回、遺物:第2分冊 第257回・P.120)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	④色調⑤胎土⑥焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部中位	北 +2	①-②-③-	①浅黄褐色②細:白色粒・ 石英・輝石③良好	1本描き沈線を描線とした「」字状意匠・渦巻状意匠。縄文は縦位 RL 充填施文。器面磨滅	後期初頭
2	深鉢 口縁部	南 +7	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	口縁部に2条の横位沈線を設ける。体部は幅広の平行沈線による縦位 波状懸垂文か。地文は縦位 LR	中期後葉

12区47号住居出土土器観察表 (通稱:第1分冊 第287回、遺物:第2分冊 第258・259回・P.120)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	④色調⑤胎土⑥焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部 上半	伊体土器	① 42.1 ②- ③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・ 石英③やや軟質	大型の深鉢。口縁部周辺は加熱のため、剥落多い。平縁で、無文口縁 部以下3条の横位沈線で体部を画す。体部は砥手状沈線による懸垂文 構成が体部上半で止まる。地文は斜位 RL	中期後葉
2	深鉢 口縁部	伊 +11	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	緩やかな波状線を呈す。3条の沈線による口縁部区画文構成。地文は 縦位 RL	中期後葉
3	深鉢 体部	中央 +11	①-②-③-	①灰黄褐色②粗:白色粒・ 石英③良好	2条隆線による環状意匠と弧状区画文。地文は摺糸 L	中期後葉
4a	深鉢 体部下平	中央・伊 +5	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	縦位矢羽状沈線に加え、2条の垂下沈線による懸垂文構成か。縦位波 状沈線も配される。	中期後葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
4b	深鉢 体部中位	中央 +10	①-②-③-	①暗赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	3条の弧状沈線による連弧状意匠。上位に矢羽状短沈線。下平にも斜位沈線が施される。	中期後葉
5	深鉢 体部上半	中央 +6	①-②-③-	①赤褐色②細:白色粒・褐色③やや軟質	体部上半の横位隆線に瘤状小突起を付し、下端より垂下隆線が懸垂する。体部空白部には縦位矢羽状短沈線を充填する。頸部には横位刺突文列、隆線L・突起にも刺突文が重なる。	中期後葉
6	深鉢 体部中位	中央 -3	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・雲母③良好	3条の垂下沈線で囲まれた磨消部懸垂文構成。縄文は縦位LR充填施文。	中期後葉
7	浅鉢 口縁部	中央 +11	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	口縁部外面肥厚し、強く内傾する。外面横位撫で、内面は研磨を加える。外面に赤彩痕跡を見る。	中期後葉
8	深鉢 口縁部	伊+0	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英③良好	無文で直立気味の口縁部。縦位撫でが顕著。	中期後葉
9	浅鉢 口縁部	3	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部肥厚し、外傾する。体部上半に湾曲を持たせる。無文。	中期後葉
10	深鉢 口縁部	伊+15	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口唇部内傾。僅かに内湾気味に開く口縁部。無文。	中期後葉
11	深鉢 口縁～体部	北+20	① 36.0 ②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・雲母・輝石③良好	口縁部横位細隆線より垂下隆線が派生する懸垂文構成。縄文は縦位LR充填施文。	中期末葉

12区49号住居出土土器観察表 (遺構:第1分冊 第288回、遺物:第2分冊 第260-261回・P.L.121)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～底部	埋裏	① 52.0 ② 61.0 ③ 10.0	①褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	大型の深鉢。平縁ながら、赤みが多い。口縁部横位細隆線以下体部は垂下沈線による懸垂文構成。縄文は縦位LR充填施文。器面磨滅。	後期初頭
2	深鉢 口縁～底部	北 +28	① 22.8 ② 17.4 ③ 6.5	①黒褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部～体部上半が強く内湾する鉢状の器形。口縁部に凹線が走り、以下櫛歯状工具による密接条線が縦位波状・弧状に施される。体部外面に煤付着。加熱により器型剥落する。	中期後葉
3	深鉢 口縁部	埋裏	①-②-③-	①暗赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	大型の深鉢か。口径30cmを超える。口唇部に横位細隆線を付し、以下縦位・斜位LRが重なる。	後期初頭

12区50・55号住居出土土器観察表 (遺構:第1分冊 第289-290回、遺物:第2分冊 第262～264回・P.L.121-122)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁～体部	南西 -4	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	波状口縁或頂部に横位把手を付す。下端より口縁部隆線が派生する。体部は細沈線で囲まれた磨消部分岐懸垂文か。縄文は縦位LR充填施文。	中期末葉
2	深鉢 口縁～体部	南 +6	① 35.0 ② ③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	波状縁。口縁部横位隆線に小突起を付し、突起下より2条の沈線に囲まれた施文部が懸垂する。弧状区画も配される。LR縦位充填施文。	中期末葉
3	深鉢 口縁～体部	中央～西 -1	① 31.0 ② ③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	波状口縁。波頂部形態は不明。口縁部横位細隆線を設け、体部は細沈線による弧状意匠を配す。渦巻状意匠か。縄文はLR充填施文。	中期末葉
4	深鉢 口縁部	南西 +33	①-②-③-	①暗赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	波状縁。波頂部及び橋状把手欠損。口縁部横位細隆線を設け、波頂部橋状把手を付す。体部は細沈線で囲まれた磨消部渦巻状意匠が配される。縄文はLR充填施文。	中期末葉
5	深鉢 口縁～体部	南 -2	① 24.0 ② ③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	口縁部強く外反し無文。横位隆線に小突起が付され、以下隆線による渦巻状意匠を配す。側縁は撫で。LR充填施文。	中期末葉
6	深鉢 体部下半	南西 +32	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英③良好	2条の細沈線で囲まれた施文部懸垂文構成。分岐懸垂文も配される。LR縦位充填施文。	中期末葉
7	深鉢 口縁部	南西 +29	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・雲母③やや軟質	口縁部横位隆線を設け、縦位LR充填施文。	中期末葉
8	深鉢 口縁部	南西 -52	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部幅広い無文。横位隆線を設け、細隆線が垂下する。縄文は斜位LRを充填する。	中期末葉
9	深鉢 体部	中央 +17	①-②-③-	①黒褐色②粗:白色粒・石英③良好	隆線による分岐懸垂文か。磨消部は縦位撫で。LR縦位充填施文。	中期末葉
10	深鉢 体部	南西 +18	①-②-③-	①黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	垂下隆線による懸垂文構成。磨消部に縦位研磨が加わる。LR縦位充填施文。	中期末葉
11	深鉢 体部上半	南西 -6	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・雲母③良好	強く内湾する。無跡Lが横に施される。	中期末葉
12	深鉢 体部	南西 +2	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・雲母③良好	強く内湾する。無跡Lが横に施される。	中期末葉
13	深鉢 体～底部	+32	①-②-③- 5.5	①赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。地文は縦位LR。	中期後葉
14	深鉢 体～底部	伊体土器	①-②-③- 9.6	①褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	細沈線による懸垂文構成。分岐懸垂文か。器面磨滅。	中期末葉
15	深鉢 注口部	南西 +3	① 11.0 ② ③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	籠形注口付深鉢か。内湾部に短い注口を設け、内側面より横位細隆線2条が派生する。下位隆線は弧状意匠を描くか。	中期末葉
16	深鉢 口縁～体部	南 -9	① 23.2 ② ③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部直立し、頸部～体部は強く内湾する。無文で、外面横位・斜位研磨が強く加わる。	中期後葉か

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
17	深鉢 口縁～体部 上半	南 +3	① 27.6 ② ③-	①鈍い褐色②粗: 白色 粒・輝石③やや軟質	隆線により画された幅狭の口縁部文様部。内文と区画文を配す。区画内は横位刺突文を充填する。頸部には横位連弧状意匠を配し、体部は横位2条沈線で画される。体部は沈線による大柄の弧状意匠を配し、小渦巻文を加える。地文は無彫1層位施文	中期後葉
18	深鉢 口縁～体部 上半	南西 +6	① 23.2 ② ③-	①鈍い褐色②粗: 白色 粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部区画文。頸部隆線には沈線を重ねる。区画内は沈線を側線とし横位矢羽状沈線を充填する。頸部は幅狭で無文。体部は横位沈線3条で画され、垂下沈線や弧状沈線が配される。縦位・斜位RLを地文とする	中期後葉
19	深鉢 体～底部	東 +25	①-②-③ 10.5	①明赤褐色②粗: 白色 粒・石英・輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。地文縦位RL	中期後葉
20	深鉢 体部	南西 +57	①-②-③-	①褐色②粗: 白色粒・ 石英・輝石③良好	3条の横位沈線上位に横位波状沈線。体部は3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。横位弧状沈線に剣先状意匠が加わる。地文は縦位RL	中期後葉
21	深鉢 口縁部	南 +32	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗: 白色 粒・石英・輝石③良好	沈線による口縁部区画文構成が。横位矢羽状沈線を施す	中期後葉
22	深鉢 口縁部	南西 +40	① 38.0 ②-③-	①褐色②粗: 白色粒・ 輝石③良好	口縁部横位細隆線以下縦位LRが覆う	中期後葉

12区 51号住居出土土器観察表 (通観: 第1分冊 第291回, 遺物: 第2分冊 第265回・P.L.122)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	南 +10	①-②-③-	①褐色②粗: 白色粒・ 輝石③良好	隆線による口縁部区画文構成。区画内の無彫は沈線、斜位短沈線を充填する	中期後葉
2	浅鉢 口縁部	東 +10	①-②-③-	①明赤褐色②粗: 白色 粒・輝石③良好	口唇部外面突出する。無文で内外面丁寧な研磨を施す	中期後葉
3	深鉢 底部	東 +3	①-②-③ 7.0	①明赤褐色②粗: 白色 粒・輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。地文は縦位RL	中期後葉
4	深鉢 底部	中央 -1	①-②-③ 10.0	①褐色②粗: 白色粒・ 石英多③良好	縦位沈線群による懸垂文構成。器面磨滅する。底面に刺状痕が残る	中期後葉

12区 52号住居出土土器観察表 (通観: 第1分冊 第292回, 遺物: 第2分冊 第266回・P.L.122-123)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1a	深鉢 口縁～頸部	伊体土器	① 48.0 ② ③-	①明黄褐色②粗: 白色 粒・石英・雲母③良好	大型の深鉢。口縁部に小波状突起を付す。隆線による口縁部楕円状区画文構成。区画内は内凹線を側線としRLを充填する。頸部以下は弧状隆線を配す	中期後葉
1b	深鉢 口縁～頸部	伊体土器	① 46.0 ② ③-	①鈍い黄褐色②粗: 白色 粒・石英・雲母③良好		中期後葉
2a	深鉢 口縁部	東壁 +15	① 34.0 ② ③-	①鈍い黄褐色②粗: 白色 粒・輝石③良好	両耳寄か。強く外反する無文口縁部。頸部隆線には小突起より弧状隆線が派生し、区画文を配す。区画内は横位・斜位RLを充填する	中期後葉
2b	深鉢 口縁～体部 上半	中央 +19	① 33.8 ② ③	①明黄褐色②粗: 白色 粒・石英・雲母③良好	両耳寄か。口縁部は無文で強く開く。体部上半に隆線による楕円状区画文を配す。側線は浅い沈線で、横位RLを充填する。体部は縦位密接条線が覆う	中期後葉
3	深鉢 体部上半～ 底部	中央 +8	①-②-③ 6.2	①明赤褐色②粗: 白色 粒・石英少・輝石③良好	2条の沈線による磨消部懸垂文構成。縄文は縦位LR充填施文	中期後葉
4	深鉢 口縁部	北 +25	①-②-③-	①黄褐色②粗: 白色粒・ 石英・雲母・輝石③良好	口縁部横位隆線を設け、以下縦位LRを充填する	中期後葉
5	深鉢 口縁部	中央 +24	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗: 白色 粒・輝石③良好	口縁部内湾し横位沈線1条を設ける。以下斜位LRを施す	中期後葉
6	深鉢 体部上半	中央 +19	①-②-③-	①黄褐色②粗: 白色粒・ 輝石③良好	体部中に横位隆線を設け深い加えを加える。隆線上位は斜位平行沈線。下位は垂下隆線と縦位沈線が施される	中期後葉
7	深鉢 口縁部	南 +16	①-②-③-	①鈍い褐色②粗: 白色 粒・輝石③良好	黄頸部に消車状突起。流底部には渦巻状小突起を付す。口縁部は2条隆線による渦巻文を配す。側線は沈線。地文は横位器系上	中期後葉

12区 53号住居出土土器観察表 (通観: 第1分冊 第293-294回, 遺物: 第2分冊 第267回・P.L.123)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部上半	伊 +13	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗: 白色 粒・石英・雲母③良好	2条の横位隆線を跨ぐ大型楕円把手。口頸部区画文構成が。沈線を側線とし、横位RLを充填する。体部は隆線が派生し縦位密接条線を施す	中期後葉
2	深鉢 口縁部	中央 +18	①-②-③-	①明黄褐色②粗: 白色 粒多・石英多・輝石③良好	隆線による口縁部楕円状区画文。区画内及び体部は横位LRLが施される	中期後葉
3	深鉢 口縁部	北 +20	①-②-③-	①褐色②粗: 白色粒・ 輝石多③良好	口縁部隆線による渦巻文と区画文構成。側線は沈線。縄文は横位・斜位LR	中期後葉
4	深鉢 口縁部	中央 +17	①-②-③-	①浅黄褐色②粗: 白色 粒・石英・雲母③やや軟質	口縁部に横位沈線を1条設ける。以下両手状縦位波状沈線が配される。無彫し横位・縦位充填施文	中期後葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
5	深鉢 口縁部	中央 +9	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	細降線による口縁部区画文様構成。側縁は凹線及び凸線で、区画内は斜位LRを充填する。	中期後葉
6	深鉢 口縁部	北 +21	①-②-③-	①黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	内湾する口縁部。縦手状波状文と逆U字状意匠による懸垂文構成か、口縁部縦位RL、体部斜位RLを充填する。器面磨減	中期後葉
7	深鉢 口縁部	中央 +24	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	波状降線頂部。低位降線による渦巻文を配す。側縁は沈線で、口縁部下位に区画文を設ける。体部に弧状沈線。縄文は横位RL充填施文	中期後葉
8	深鉢 体部中位	中央 +18	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・片岩③良好	垂下沈線2案に画された磨消部・施文部の懸垂文構成。LR横位充填施文	中期後葉
9	深鉢 体部下半	中央 +20	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	無文の体部下半。縦位調整痕が見られる。内外面とも器面の凹凸顕著。	中期後葉
10	貝輪状土製 口縁部	北 +13	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	小破片。無文で撫で調整及びふ。端部は内倒足状に整形する	中期後葉
11	ミニチュア 口縁部-体部	北 +23	① 9.8 ②-	①鈍い黄褐色②細:白色粒③やや軟質	深鉢ミニチュア。キャリパー状を呈する。器面磨減するが、無文で、縦位撫でを加える	中期後葉
12	深鉢 口縁部	覆土	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英③良好	降線による口縁部区画文様構成。横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉

12区54号住居出土土器観察表 (通巻:第1分冊 第295頁, 遺物:第2分冊 第268頁・P.123)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	中央 +9	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	垂下降線と頸部降線で区画文を画す。側縁は沈線。垂下降線には円文と波状沈線を施す。区画内は横位矢羽状短沈線を埋める	中期後葉
2	浅鉢 口縁部	中央 +2	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・片岩③石英④軟質	降線による交互区画文構成。沈線を側縁とし、横位縦手状沈線・縦位沈線・連続刺突文を充填する	中期後葉
3	深鉢 体部-底部	南 -19	①-②-③- 8.2	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	体部上半は3案の沈線による横位連続刺突意匠が連なる。体部下半は垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。空白部は斜位・矢羽状短沈線を充填する	中期後葉

12区56号住居出土土器観察表 (通巻:第1分冊 第296頁, 遺物:第2分冊 第269頁・P.124)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	埋費 -11	①-②-③-	①褐色②粗:縞縞・白色粒③良好	口唇部角頭状を呈す。横位LR・RLによる羽状縄文構成。器面磨減	前期中葉
2	深鉢 体部中位	埋費 -11	①-②-③-	①黄褐色②粗:縞縞・白色粒③良好	体部に緩やかな湾曲を持たせる。横位LR・RLによる羽状縄文構成	前期中葉

12区57号住居出土土器観察表 (通巻:第1分冊 第296頁, 遺物:第2分冊 第270頁・P.124)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 体部中位	中央 +18	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	小型の深鉢。直立気味の器形を呈する。無文で器面磨減する。	中期後葉
2	深鉢 体部中位	北 +25	①-②-③-	①淡黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	厚手の器形を呈す。大型の深鉢か。LR縦位施文	中期末葉
3	深鉢 体部中位	中央 -5	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	1と同一個体か。無文	中期後葉

12区土坑出土土器観察表 (通巻:第1分冊 第301～335頁, 遺物:第2分冊 第271～295頁・P.124～142)

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
3号土坑 +23	1	深鉢 口縁部	①-②-③-	①淡黄褐色②粗:白色粒・石英③良好	降線による口縁部区画文様構成。側縁は沈線。縄文はRL横位充填施文	中期後葉
3号土坑 +4	2	深鉢 口縁部	①-②-③-	①淡黄褐色②粗:白色粒・石英③良好	降線による口縁部区画文様構成。側縁は沈線。縄文はRL横位充填施文	中期後葉
3号土坑 +12	3	深鉢 体部上半	①-②-③-	①淡黄褐色②粗:白色粒・石英③良好	弧状沈線で画される口縁部区画文様構成。体部は2案の垂下沈線による磨消部懸垂文構成。縄文はRL充填施文	中期後葉
4号土坑 覆土	1	深鉢 体部中位	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	波状降線による懸垂文構成。地文縦位RL	中期後葉
21号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①-②-③-	①鈍い褐色②細:縞縞・白色粒③良好	口唇部に刻みを付す2案の横位降線。以下横位矢羽状短沈線を多段に配す	前期前葉
26号土坑 +42	1	深鉢 口縁部	①-②-③-	①明黄褐色②細:縞縞・白色粒③良好	口縁部にルーブ文を多段に施し、以下覆付しLR・RLの羽状縄文構成	前期前葉
26号土坑 覆土	2	深鉢 体部	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英③良好	縦位LRを施す	中期後葉
26号土坑 +54	3	深鉢 体部	①-②-③-	①明黄褐色②粗:白色粒・石英③良好	縦位LRを施す	中期後葉
39号土坑 +6	1	深鉢 体部	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・石英・輝石③良好	結節RLを横位に施す	前期末葉

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
39号土坑 +6	2	深鉢 体部	①・②・③	①褐色文様：白色粒・石英・輝石③良好	結節 RL を横位に施す	前期末葉
39号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色文様：白色粒・石英③良好	隆線による口縁部区画文。区画内の側縁は沈線。縦位 RL を充填する	中期末葉
39号土坑 覆土	4	深鉢 底部	①・②・③ 11.2	①明褐色文様：白色粒・輝石③良好	厚手で強く開く体部下平はやや外反気味下平。縦位 RL を見る。底面に刷文	中期末葉
42号土坑 +18	1	深鉢 体部	①・②・③	①鈍い褐色文様：織縷・白色粒③良好	縦位横付き RL と LR を多段に施す	前期末葉
43号土坑 +50	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①赤褐色文様：白色粒・石英③良好	波状縁。口縁部沈線と弧状沈線接点に刺文。縄文は縦位 RL	中期末葉
43号土坑 +59	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い褐色文様：白色粒・輝石③良好	口縁部外面肥厚部の突出深い。内外面とも研磨	中期末葉
43号土坑 +50	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色文様：白色粒・石英・片岩③良好	隆線による幅狭の口縁部区画構成。区画接点は弧状突起を付し、下端より3条の垂下隆線が懸垂する	中期末葉
43号土坑 +61	4	深鉢 底部	①・②・③ 5.6	①明赤褐色文様：白色粒・石英・輝石③良好	小径の底部。外反気味に立ち上がる体部下平。縦位研磨を施す	中期末葉
43号土坑 +82	5	深鉢 底部	①・②・③ 4.5	①鈍い褐色文様：白色粒・輝石③良好	小径の底部。外反気味に立ち上がる体部下平。器厚は薄手で縦位研磨を施す	中期末葉
43号土坑 +96	6	深鉢 底部	①・②・③ 9.7	①鈍い黄褐色文様：白色粒・石英・褐色粒③良好	外反気味に開く体部下平。無文	中期末葉
44号土坑 +35	1	深鉢 口縁～体部 中位	① 45.7 ②・③	①鈍い赤褐色文様：白色粒・石英・輝石③良好	大型の深鉢。2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。波底部にも渦巻文を配す4単位構成か。区画内は側縁を沈線とし、横位矢羽状沈線を充填する。頸部は無文で、体部は3条の縦位沈線で画され、沈線による弧状意匠、剣先状懸垂文が配される	中期末葉
44号土坑 +25	2	浅鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い褐色文様：白色粒・輝石③良好	側面隆線と画された口縁部区画文。2条隆線による弧状意匠が配される。沈線を側縁とし横位 LR を施す。器面磨減	中期末葉
45号土坑 +46	1a	深鉢 口縁～体部 中位	① 30.0 ②・③	①褐色文様：白色粒・輝石③良好	口縁部渦巻状突起を波頂部として、隆線による区画構成を呈す。区画内は横位矢羽状沈線を充填。頸部は横位蛇行隆線を付す。体部は2条隆線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位 RL。口縁部器面割落しい	中期末葉
45号土坑 +21	1b	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色文様：白色粒・輝石③良好	器面割落。隆線による口縁部区画か。横位矢羽状沈線を施す	中期末葉
45号土坑 +35	1c	深鉢 口縁～体部	①・②・③	①明赤褐色文様：白色粒・輝石③良好	頸部横位隆線割落か。2条の垂下隆線による懸垂文構成。側縁は沈線。中位に縦位波状沈線を配す。地文は縦位 RL	中期末葉
45号土坑 +21	1d	深鉢 口縁～体部	①・②・③	①鈍い赤褐色文様：白色粒・輝石③良好		中期末葉
45号土坑 +39	2	深鉢 体部上半	①・②・③	①鈍い褐色文様：小礫・白色粒③良好	2条の横位沈線による連弧文。地文縦位 RRL	中期末葉
45号土坑 +29	3a	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色文様：白色粒・石英・輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。弧状沈線文も見る。地文は横位 RL	中期末葉
45号土坑 +32	3b	深鉢 体部下半	①・②・③	①褐色文様：白色粒・石英・輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成	中期末葉
45号土坑 +31	4a	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色文様：白色粒多・石英・輝石③良好	垂下沈線と縦位楕円状意匠による懸垂文構成。弧状意匠より剣先状懸垂文が派生する。地文は縦位 RL。体部中に黒色変色帯	中期末葉
45号土坑 +35	4b	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色文様：白色粒多・石英・輝石③良好		中期末葉
45号土坑 +21	5	浅鉢 体～底部	①・②・③ 9.0	①明黄褐色文様：白色粒・片岩③良好	薄手の器厚。底部僅かに上げ底を呈す。器面磨減	中期末葉
46号土坑 +52	1	深鉢 口縁～体部	① 41.4 ②・③	①褐色文様：白色粒・輝石③良好	大型深鉢。口縁部横位細隆線以下体部は垂下隆線による懸垂文構成。縦位 LR を充填施文する	中期末葉
46号土坑 +79	2	深鉢 底部	①・②・③ 9.1	①鈍い黄褐色文様：白色粒・雲母③良好	若干張り出し気味に立つ。体部下平に隆線による懸垂文端部を見る	中期末葉
46号土坑 +76	3	深鉢 体部下半	①・②・③	①黒褐色文様：白色粒・輝石③良好	内湾する体部器形。縦位・斜位 LR が覆う。縦位研磨も加わる	中期末葉
46号土坑 +72	4	深鉢 体～底部	①・②・③	①黒褐色文様：白色粒・輝石③良好	内湾する体部器形。底部は丸みを帯びる。縦位・斜位 LR が覆う。内外器面磨減	中期末葉
49号土坑 +17	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①明褐色文様：白色粒・石英③良好	隆線による口縁部多段区画。縦位短沈線を充填	中期末葉
55号土坑 +27	1	深鉢 口縁～体部	① 23.2 ②・③	①褐色文様：白色粒・輝石③良好	波状突起頂部欠損。隆線による口縁部渦巻文と平渦巻文構成。体部は2条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位・斜位密接条線を充填する	中期末葉
55号土坑 +55	2	深鉢 口縁部	① 24.0 ②・③	①黒褐色文様：白色粒・石英・雲母③良好	口縁部は広く無文。頸部隆線と縦位・斜位 LR を施す	中期末葉
55号土坑 +50	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い黄褐色文様：白色粒多・石英・雲母・輝石③良好	口縁部に横位沈線を設け、以下体部縦位条線の密接施文	中期末葉

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調と胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
55号土坑 +19	4	深鉢 胴部	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・雲母③良好	口縁部内湾し隆帯による楕円状凹文構成を呈す。区内には横位LR充填。 体部は縦位密接条線を施す	中期後葉
55号土坑 +47	5	深鉢 体部中位	①-②-③-	①黒褐色②粗:白色 粒・輝石・雲母③良好	低位隆線と凹線による懸垂文構成。RL縦位充填施文	中期後葉
55号土坑 +50	6	深鉢 体部中位	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	2条の低位隆線と凹線による懸垂文構成か。RL縦位充填施文	中期後葉
55号土坑 +36	7	深鉢 体部中位	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	2条の低位隆線と凹線による懸垂文構成。RL縦位充填施文	中期後葉
55号土坑 +36	8a	深鉢 体部下平	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色 粒・雲母・輝石③良好	2条の低位隆線による懸垂文構成。側縁は沈線。縦位密接条線を充填する	中期後葉
55号土坑 +37	8b	深鉢 体部	①-②-③-	①明黄褐色②粗:白色 粒・石英・雲母③良好	2条隆線による懸垂文構成。縦位密接条線を施す	中期後葉
55号土坑 覆土	9	深鉢 底部	①-②-③ 8.2	①鈍い褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	底面・体部器厚は比較的薄手。無文	中期後葉
55号土坑 覆土	10	深鉢 底部	①-②-③-	①褐色②粗:輝石③ 良好	底面に環状擦痕を見る	中期後葉
57号土坑 +10	1	深鉢 口縁~底部	① 16.0 ② 24.0 ③ 6.4	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	弧状隆。前縁部に正副2対の突起を付す。正突起は中空状で上面捻転状意匠 を配す。各突起より刻みを付す隆線が懸垂し、体部は沈線で割された意匠部 週発意匠を上下に配し下端で連続する。LR充填施文	後期初頭
57号土坑 +19	2	深鉢 口縁~底部	① 18.6 ② 29.0 ③ 7.2	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③やや軟質	口縁部に楕状把手を付す。1・2単位か。横位細隆線以下、縦沈線による縦 位対弧状意匠を配す。踵文はLR。器面磨減	後期初頭
57号土坑 +19	3	深鉢 口縁部	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口縁部横位細隆線を2条設け。小型の楕状把手が跨ぐ。把手上端部は縦位 LRを施す	後期初頭
57号土坑 +19	4	深鉢 口縁部	①-②-③-	①褐色②粗:石英多 ③良好	波頂部突起より口縁部横位隆線が派生する。LR充填施文	後期初頭
57号土坑 +19	5	深鉢 口縁部突起	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色 粒・石英・褐色粒 ③やや軟質	小型の深鉢か。突起下端に径2cm程の孔を穿つ。横位隆線を付し、以下弧 状沈線を凹線とする施文部・器沿部を交互に配す。LR充填施文。突起内面 両端に凹状付託文を付す	後期初頭
57号土坑 +45	6	深鉢 体~底部	①-②-③ 4.7	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③やや軟質	小型の深鉢。体部下端に横位沈線を施す。体部は沈線を凹線とする平渦巻 文を繋げる。LR充填施文	後期初頭
57号土坑 +55	7	深鉢 口縁部	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	口縁部横位細隆線を設ける。体部は沈線弧状意匠か。踵文はLR充填施文。 器面磨減	後期初頭
57号土坑 +15	8	深鉢 口縁部	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	口縁部横位細隆線を設ける。体部踵文は縦位LR	後期初頭
57号土坑 +44	9	深鉢 口縁部	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	口縁部横位細隆線を設ける。体部踵文は横位LRか	後期初頭
57号土坑 +15	10	深鉢 口縁部	①-②-③-	①明赤褐色②粗:片 岩粒・白色粒③良好	口縁部横位隆線に小突起を付す。体部踵文は縦位LR。	後期初頭
57号土坑 +22	11	深鉢 口縁部	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口縁部横位隆線に弧状小突起を付す。体部踵文は縦位LR。器面磨減	後期初頭
57号土坑 +19	12	深鉢 口縁部	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 石英・雲母③良好	口縁部下に弧状細隆線を付す。LR充填施文	後期初頭
57号土坑 +19	13	深鉢 体部	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	沈線弧状意匠か。LR充填施文	後期初頭
57号土坑 +19	14	深鉢 底部	①-②-③ (6.4)	①鈍い褐色②粗:白色 粒・石英③やや軟質	小径の底部。体部下平はやや外反気味。無文	後期初頭
58号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:石英 多③やや軟質	口縁部横位隆線を設ける。体部は弧状沈線とLR縦位充填施文	中期末葉
62号土坑 +36	1	深鉢 口縁部	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	口縁部は2条隆線で多段に画され渦巻文を付す。前部隆線には刻みを付す。 隆線無線は沈線。体部上半に横位沈線。踵文は懸垂LRを施す	中期中葉 末
62号土坑 +16	2	深鉢 口縁部	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③ 良好	小波状突起を付す。口縁部2条隆線による渦巻文を配す。横位懸垂LRを地文と する。頂部は無文	中期中葉 末
62号土坑 +39	3	深鉢 口縁部	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③良 好	口縁部2条隆線によるクラック状意匠を配す。隆線の側縁は沈線。踵文は懸 垂LR	中期中葉 末
62号土坑 +39	4	深鉢 口縁部	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白 色粒③良好	口縁部隆線以下隆線による剣先状意匠か。側縁は沈線。踵文は横位懸垂LR	中期中葉 末
62号土坑 +35	5	深鉢 体部上半	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗: 白色粒・石英・輝石 ③良好	前部隆線以下体部は縦位懸垂LRを施す。隆線無線は沈線	中期中葉 末
62号土坑 +30	6	深鉢 底部	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	懸垂LRを縦位に施す。内面に縦付者	中期中葉 末
62号土坑 +33	7	深鉢 体部	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白 色粒・石英・輝石③ 良好	地文に縦位懸垂LRを施し、体部中にクラック状沈線を加える	中期中葉 末



遺構名 出土位置	番号	部群・現存	計測値 (cm)	①色調を軸とし③焼成	文様の特徴	時期・特徴
64号土坑 +91	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色之類：白色粒・石英・雲母③良好	口縁部隆線による渦巻文構成。体部は垂下沈線による懸垂文構成。縄文はLRL充填施文	中晩後葉
64号土坑 +91	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①黒褐色之類：白色粒・石英・雲母③良好	同一個体か。口縁部隆線による区画文構成。体部は沈線懸垂文構成。縄文はLRL充填施文	中晩後葉
64号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・輝石③良好	口縁部2条隆線による平栞円状区画。刺突文を充填。側縁は沈線。頸部は縦位沈線を施す	中晩後葉
64号土坑 +83	4	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②粗：白色粒・輝石③良好	沈線による口縁部平栞円状区画。地文は縦位LRL	中晩後葉
64号土坑 +94	5	深鉢 口縁部下	①・②・③	①黒褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	波状縁か。隆線による口縁部区画。地文は無筋L	中晩後葉
64号土坑 +77	6	深鉢 体部	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・石英・雲母③良好	沈線による大柄の渦巻文あるいは同心円文。以下斜位沈線が縦位に連続する。地文は縦位LRL	中晩後葉
64号土坑 +72	7	深鉢 頭+体部	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・石英・雲母③良好	口縁部は沈線による区画文。横位矢羽状沈線を充填する。頸部隆線と横位沈線群以下沈線による大柄な渦巻文が配される。地文は縦位LRL	中晩後葉
64号土坑 +79	8	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②粗：白色粒・輝石・石英③良好	2条隆線による懸垂文構成。縦位矢羽状沈線を理める	中晩後葉
64号土坑 +96	9	深鉢 体部	①・②・③	①褐色②細：白色粒・石英・輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位LRLを充填	中晩後葉
64号土坑 +89	10	深鉢 体部	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	斜位沈線による疎らな縦位矢羽状構成	中晩後葉
64号土坑 +93	11	深鉢 体部	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。短沈線による縦位矢羽状文を理める	中晩後葉
64号土坑 +93	12	深鉢 体+底部	①・②・③ 10.5	①明赤褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位矢羽状短沈線を理める。底面に僅かに副交代を見る	中晩後葉
66号土坑 +54	1	深鉢 口縁部	①・22.4②・③	①鈍い褐色②粗：白色粒・石英・雲母③良好	口縁部横位細隆線以下縦位LRLが覆う	中晩末葉
66号土坑 +64	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・石英③良好	口縁部横位細隆線に波状小突起を付し、隆線による体部懸垂文構成。縦位LRL充填施文	中晩末葉
66号土坑 +34	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②粗：石英多・白色粒・輝石③良好	口縁部横位細隆線に波状小突起を付す。以下縦位LRL	中晩末葉
66号土坑 +62	4	深鉢 体部上半	①・②・③	①褐色②粗：白色粒・輝石多③良好	大型の橋状突起。体部器厚と併せて厚手であり、量感がある。上端側より横位隆線が派生する	中晩後葉
66号土坑 +52	5	深鉢 体部中位	①・②・③	①褐色②粗：輝石多・石英③良好	体部内湾し、沈線による渦巻文が配される	中晩末葉
67号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い褐色②粗：白色粒・石英③良好	緩やかな波状縁か。口縁部横位細隆線を設ける。体部縄文は縦位LRL	中晩末葉
68号土坑 +18	1	深鉢 口縁+体部	①・32.4②・③	①褐色②粗：白色粒・石英・雲母③少③良好	口縁部横位細隆線に小突起を付し、下端より垂下隆線が派生する懸垂文構成。2条一対で施文部を両する。縦位LRL充填施文	後期初葉
68号土坑 覆土	2	深鉢 口縁突起	①・②・③	①褐色②粗：白色粒・雲母・輝石③良好	上端が凹状を呈し沈線を施す。外面も環状突起が突出するが磨滅のため意匠は判然としにくい。渦巻状か。内面は凹文を配す	後期初葉?
68号土坑 +8	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗：小礫・白色粒・石英③良好	腹口縁か。隆部による栞円状区画。区画内の側縁は沈線。無筋Lを縦位施文する	中晩後葉
68号土坑 +11	4	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い褐色②粗：白色粒・石英・褐色粒③良好	口縁部横位細隆線より垂下隆線が派生する懸垂文構成。縦位LRL充填施文	後期初葉
68号土坑 +30	5	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	口縁部歪み有り。横位隆線以下は縦位LRL	後期初葉
68号土坑 +59	6	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い褐色②粗：白色粒・石英・輝石③良好	口縁部横位細隆線以下は無文	後期初葉
68号土坑 +40	7	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い褐色②粗：白色粒・石英多・褐色粒③良好	口縁部横位細隆線以下縦位LRLが覆う。隆線下に補修孔。上位にも未貫孔の補修孔がある	後期初葉
68号土坑 +24	8	深鉢 体部	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗：白色粒・輝石③良好	2条の垂下隆線による懸垂文構成。無筋L縦位充填施文。磨消部は縦位研磨	後期初葉
68号土坑 +22	9	深鉢 体部	①・②・③	①鈍い褐色②粗：白色粒・石英・雲母③良好	2条の垂下隆線による懸垂文構成。LRL縦位充填施文	後期初葉
68号土坑 +35	10	深鉢 底部	①・②・③ 9.5	①明赤褐色②細：白色粒・輝石③良好	大型の深鉢か。体部下手は無文	後期初葉

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
68号土坑 +33	11	深鉢 体部	①・②・③・	①鈍い褐色②細:白 色粒・石英・輝石③ 良好	破片両端部に垂下沈線。懸垂文構成か。LR 覆位充填施文	後期初頭
68号土坑 覆土	12	貝輪状土 製品	長:10.7厚: 2.1短:9.0	①褐色②粗:白色粒 ・石英・輝石③良好	断面内傾し、内面上端部に削り調整を施す。外面は無文ながら、白色付着物の痕跡がある	中期後葉 ～後期初頭
68号土坑 覆土	13	貝輪状土 製品	①・厚:2.0 ③	①鈍い褐色②粗:白 色粒・石英・雲母③ 良好	断面内傾し、内面上下端部に削り調整を施す。外面は無部Lを施し、白色付着物を散布する	中期後葉 ～後期初頭
68号土坑 +47	14	貝輪状土 製品	①・厚:③・	①褐色②粗:白色粒 ・石英多③良好	断面内傾し、内面上端部に削り調整を施す。外面は無部Lを施す	中期後葉 ～後期初頭
69号土坑 覆土	1	土製品	長:厚:短:	①明赤褐色②粗:白 色粒・石英③良好	スプーン状土製品か。基部周辺を残存する。先端部が極めて薄手で、小型品と思われる。撫で調整を施す	中期後葉 ～後期初頭
70号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①・②・③・	①鈍い褐色②粗:白 色粒・石英③良好	覆位波状沈線による懸垂文構成。地文は覆位LR	中期後葉
71号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部下	①・②・③・	①鈍い褐色②粗:白 色粒・石英・輝石③ やや軟質	隆線による口縁部楕円状区画文。区画内は横位矢羽状沈線を充填	中期後葉
73号土坑 +14	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①鈍い褐色②粗:白 色粒・石英・雲母・ 輝石③良好	波状突起下の隆線渦巻状意匠区と楕円状区画。側線は凹線。縄文はLR充填施文。	中期後葉
73号土坑 覆土	2	深鉢 体部中位	①・②・③・	①黒褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③良 好	体部屈曲部上位に覆位接線条。下位はLR覆位施文。縄文施文後に条線施文	中期後葉
75号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②粗:白色粒 ・石英・雲母③良好	垂下隆線による懸垂文構成。施文部は覆位LR充填施文	中期後葉
76号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①・②・③・	①鈍い赤褐色②粗: 白色粒・石英・雲母 ③良好	垂下隆線による懸垂文構成。施文部は覆位LR充填施文。体部に歪み有り	中期後葉
77号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	① 33.0 ②・ ③	①褐色②粗:白色粒 ・石英・輝石③良好	口縁部下横位隆線に小突起を付す。体部縄文は覆位LR	後期初頭
78号土坑 +25	1	深鉢 口縁部	① 43.0 ②・ ③	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・雲母③良好	無文の口縁部。内外面とも丁寧な撫で調整後削り・横位研磨を加える。	中期末葉
78号土坑 +83	2	深鉢 口縁部	① 52.0 ②・ ③	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・石英・雲母 ③良好	口縁部内面肥厚する。無文で厚手の器厚。横位撫で調整	中期末葉
78号土坑 +69	3	浅鉢 口縁部	① 27.0 ②・ ③	①灰褐色②粗:小礫 ・白色粒・輝石③良 好	口唇部内面僅かに肥厚する。やや雑な作り。無文で、撫で調整	中期末葉
78号土坑 +59	4	深鉢 口縁+体部	① 42.2 ②・ ③	①明赤褐色②粗:白 色粒・輝石③良好	大型の深鉢。口縁部横位細隆線より弧状隆線が派生し、磨消部と施文部を両す。あるいは大柄の渦巻状意匠か。縄文はLR充填施文	中期末葉
78号土坑 +74	5	深鉢 口縁部	① 40.4 ②・ ③	①明赤褐色②粗:白 色粒・石英・雲母③ 良好	大型の深鉢。口縁部横位細隆線より弧状隆線が派生し、磨消部と施文部を両す。あるいは渦巻状意匠か。縄文は斜位LR充填施文	中期末葉
78号土坑 +80	6	深鉢 口縁部	① 38.0 ②・ ③	①鈍い赤褐色②粗: 白色粒・石英・雲母 ③良好	口縁部横位細隆線より弧状隆線が派生し、磨消部と施文部を両す。縄文は斜位LR充填施文	中期末葉
78号土坑 +81	7	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②粗:白色粒 多・石英・雲母③良 好	2条の細隆線による体部渦巻文構成か。側線に凹線。LR充填施文	中期末葉
78号土坑 +65	8	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②粗:白色粒 ・石英・雲母③良好	大型の深鉢。細隆線による弧状意匠・環状区画。縄文は斜位LR充填施文	中期末葉
78号土坑 +65	9	深鉢 体部	①・②・③・	①赤褐色②粗:白色 粒・石英・雲母③良 好	大型の深鉢。細隆線による弧状意匠。あるいは渦巻状意匠か。縄文は斜位LR充填施文	中期末葉
78号土坑 +75	10	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②粗:白色粒 ・雲母・石英③良好	2条の細隆線による体部渦巻文構成か。LR充填施文	中期末葉
78号土坑 +40	11	深鉢 体部	①・②・③・	①鈍い褐色②粗:白 色粒多・石英・雲母 ③良好	2条の細隆線による体部渦巻文構成。LR充填施文	中期末葉
78号土坑 +72	12	深鉢 口縁部	①・②・③・	①鈍い黄褐色②細: 白色粒③良好	口縁部内湾。逆U字状懸垂文と横手状文。覆位LRL充填施文	中期末葉
78号土坑 +19	13	深鉢 体部上半	①・②・③・	①鈍い黄褐色②細: 白色粒・雲母③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。LR覆位充填施文	中期後葉
78号土坑 覆土	14	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②粗:白 色粒・石英・輝石③ 良好	隆線による楕円状区画文か。下層より2条隆線が懸垂する。側線は凹線。縄文はLRL覆位充填施文	中期後葉
78号土坑 覆土	15	深鉢 底部	①・②・③・ 7.0	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・石英③良好	底部突出し体部下平は強く開く。無文で削り研磨が及ぶ	中期末葉

遺構名 出土位置	番号	部群・残存	計測値 (cm)	①色調と胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
82号土坑 +12	1	深鉢 口縁~底部	① 18.4 ② 22.1 ③ 8.2	①赤褐色②粗；白色 粒・石英多・輝石③ 良好	隆線による口縁部区画構成。4単位を数える。区画接点に円形刺突文を縦位に施す。頸部隆線直下より2条の沈線懸垂文構成。地文は縦位懸垂L	中期後葉
82号土坑 +14	2	深鉢 口縁~体部	① 24.0 ② ③-	①鈍い赤褐色②粗； 白色粒・石英・雲母 ③良好	円形刺突文を連続する隆線で囲まれた口縁部区画構成。区画内の縦線は沈線。体部頸部隆線より縦位波状隆線が懸垂する。縄文は縦位 RL	中期後葉
82号土坑 +8	3	深鉢 体~底部	①-②-③ 6.8	①鈍い赤褐色②粗； 白色粒・石英・輝石 ③良好	2条の垂下沈線による体部懸垂文構成。地文は斜位 RL	中期後葉
82号土坑 +14	4	深鉢 口縁~体部 上半	① 34.6 ② ③-	①鈍い赤褐色②粗； 白色粒・石英・輝石 ③良好	欠損する口縁部突起下端より頸部隆線が顕生する。強く突出する。口縁部は内湾し無文。体部は頸部隆線直下より3条の垂下沈線による懸垂文構成。縄文は縦位 LR 充填施文	中期後葉
82号土坑 +6	5	深鉢 口縁~体部 下半	① 15.4 ② ③-	①明赤褐色②粗；白 色粒・石英少・輝石 ③良好	口縁部波状突起を付す。5単位。2条の沈線が口唇部に沿い、波頂部下に沈線による渦巻文・同心円文を配す。頸部は2条の沈線が寄り、体部は2条の垂下短沈線間を斜位沈線が理める意匠には無文である。全体にやや粗な施文	中期後葉
82号土坑 +11	6	鉢 口頸~体 部上半	①-②-③-	①明赤褐色②粗；白 色粒・石英・輝石③ 良好	口縁部は隆線による渦巻文と区画構成。区画内は沈線を縦線とするのみで他は無文。体部も無文で、顕著な内湾を呈することから、鉢と判断した	中期後葉
82号土坑 覆土	7	深鉢 体部	①-②-③-	①鈍い褐色②粗；白 色粒・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位矢羽状短沈線を理める	中期後葉
82号土坑 +65	8	深鉢 底部	①-②-③ 7.3	①鈍い赤褐色②粗； 白色粒・石英多・輝 石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。縄文は RL 縦位施文か	中期後葉
82号土坑 +73	9	深鉢 口縁部	① 33.0 ② ③-	①鈍い黄褐色②細； 白色粒・輝石③良好	口縁部横位沈線以下、2条沈線による逆U字状意匠。中位を波状沈線が垂下する。LR 充填施文	中期後葉
82号土坑 +67	10	深鉢 口縁部	①-②-③-	①鈍い褐色②細；白 色粒③良好	隆線による口縁部区画。口唇部に円文を施す。沈線を縦線とし、RL を充填施文する	中期後葉
82号土坑 +78	11	深鉢 口縁部	①-②-③-	①淡黄色②細；白色 粒③良好	口唇部肥厚。隆帯による口縁部区画。円文を施す。縦線は凹線、斜位 LR を充填する	中期後葉
82号土坑 +67	12	深鉢 口縁部	①-②-③-	①淡黄褐色②粗；白 色粒・石英③良好	2条隆線で囲まれる口縁部区画構成。沈線を縦線とし RL を充填する。体部に2条の垂下沈線上端を見る	中期後葉
82号土坑 +67	13	深鉢 体部上半	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細； 白色粒・雲母・輝石 ③良好	低位隆帯による体部区画構成。蕨手状沈線を配す。LR 充填施文	中期後葉
82号土坑 +21	14	深鉢 口縁部	①-②-③-	①鈍い褐色②粗；白 色粒多・輝石③良好	腹口縁か、隆線による口縁部渦巻文構成。縦線は凹線。縄文は横位 LR	中期後葉
82号土坑 +80	15	深鉢 体部上半	①-②-③-	①淡黄色②粗；白色 粒多・雲母・輝石③ 良好	口縁部渦巻文か。低位隆帯による体部区画構成。蕨手状沈線を配す。LR 充填施文	中期後葉
82号土坑 +77	16	深鉢 口縁部	①-②-③-	①明赤褐色②粗；白 色粒・雲母③良好	口縁部無文。口縁部横位細隆線を付し以下無節 L を横位施文する	中期末葉
82号土坑 +76	17	深鉢 体部上半	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗； 白色粒・石英・輝石 ③良好	頸部横位隆線以下細隆線による大柄の渦巻文が配される。LR 充填施文。器面磨減	中期後葉
82号土坑 +67	18	深鉢 体部中位	①-②-③-	①褐色②粗；白色粒 ・石英③良好	2条の垂下細隆線による無文部弧状構成。縄文は縦位 LR 充填施文	中期末葉
82号土坑 +70	19	深鉢 口縁部	①-②-③-	①明赤褐色②粗；白 色粒・石英・輝石③ 良好	口縁部は外反し、細隆線と細沈線による区画か。横位 LR を施す	中期末葉
82号土坑 +14	20	深鉢 口縁部	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細； 白色粒③良好	緩やかな波状縁か。口縁部横位隆線以下沈線による意匠文を配す。横位 LR 充填施文	中期末葉
82号土坑 +76	21	深鉢 口縁部	①-②-③-	①黒褐色②粗；白色 粒・石英・雲母③良 好	口縁部無文。横位隆線以下細沈線による磨消部渦巻文状意匠を配す。LR 充填施文	後期初頭
82号土坑 +73	22	深鉢 口縁部	①-②-③-	①黒褐色②粗；白色 粒・輝石③良好	口縁部は無文。1条の横位沈線以下 LR・RL による横位羽状構成	中期末葉
82号土坑 +53	23	深鉢 体部 上半 ~底部	①-②-③ 9.4	①褐色②粗；白色粒 ・輝石③良好	両耳處。2 餅一對の幅広の横状把手を設ける。把手外縁には弧状沈線を対弧状に設け、体部中位にも2条沈線による磨消部弧状意匠を配す。RL 縦位・斜位施文	中期末葉
82号土坑 +14	24	深鉢 体部	①-②-③-	①黒褐色②細；白色 粒・石英・雲母③良 好	沈線を縦線とした磨消部渦巻文構成か。LR 充填施文	後期初頭
82号土坑 +53	25	深鉢 体部	①-②-③-	①黒褐色②粗；白色 粒・輝石③良好	細沈線を縦線とした磨消部渦巻文構成か。LR 充填施文	後期初頭
82号土坑 +32	26	深鉢 底部	①-②-③ 10.3	①明赤褐色②粗；白 色粒・石英・輝石③ 良好	底径広く厚手の器厚。体部下半に垂下沈線及び縦位柔線下端を見る	中期後葉
82号土坑 +66	27	深鉢 底部	①-②-③ 7.6	①鈍い黄褐色②粗； 白色粒・石英・輝石 ③良好	体部下半は強く開く。器面磨減	中期後葉

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調と胎土②焼成	文様の特徴	時期・特徴
83号土坑 +27	1	深鉢 口縁部	① 18.5 ②-	①褐色②細：白色粒 ③良好	内湾する口縁部に横位沈線を施す。体部は縦位密接条線を施す	中期後葉
83号土坑 +26	2	深鉢 底部	①-②-③-	①明褐色②粗：白色 粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部区画文。側部は沈線。区画内は RL 充填施文。体部は斜位 RL	中期後葉
83号土坑 +16	3	貝輪状土 製品	①-②-③-	①鈍い褐色②細：白色 粒・石英③やや軟質	楕円状の平面形ながら、やや歪みを見る。内面上端は削り。外面は無彫 R を 施し、白色付着物を塗布する	中期末葉 ～後期初 葉
83号土坑 +3	4	深鉢 底部	①-②-③ 9.8	①鈍い褐色②粗：白色 粒・石英・雲母・ 輝石③良好	内湾気味に開く体部下平。無文	中期後葉
85号土坑 覆土	1	ミニチュ ア口縁へ 体部	①-②-③-	①黄褐色②粗：白色 粒・石英③やや軟質	器面磨滅。僅かに口縁部横位沈線を看取	中期後葉?
87号土坑 +8	1	深鉢 口縁へ体部	① 21.0 ②- ③-	①鈍い黄褐色②粗： 白色粒・輝石③良好	3 単位波状口縁。隆線による口縁部平渦巻文と楕円状区画文構成。体部は 2 条沈線による懸垂文構成。RL 充填施文	中期後葉
87号土坑 +8	2	深鉢 口縁部	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗： 白色粒・雲母③良好	波状突起下に隆線渦巻意匠を配し、LR を充填施文する。側部凹線	中期後葉
87号土坑 +21	3	鉢 頭へ体部	①-②-③-	①明赤褐色②粗：白色 粒・石英・輝石③ 良好	体部内湾。隆線による楕円状区画。側部は凹線。縦位条線を充填する	中期後葉
87号土坑 +19	4	深鉢 口縁部	①-②-③-	①褐色②粗：白色粒・ 輝石③良好	波状突起下の隆線渦巻意匠が。凹線を側線とし LR 充填施文	中期後葉
98号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①-②-③-	①鈍い褐色②粗：白色 粒・石英③良好	体部内湾。隆線矢羽状沈線を施す	中期後葉
98号土坑 覆土	2	深鉢 体部	①-②-③-	①鈍い褐色②粗：白色 粒・石英③良好	垂下沈線による施文部・磨消部の懸垂文構成。LR 縦位充填施文。内面器壁 剥落	中期後葉
99号土坑 +45	1	深鉢 口縁へ体部 中位	① 19.8 ②- ③-	①黒褐色②粗：白色 粒・石英・輝石③ 良好	2 条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。区画内の側部は沈線。斜位短沈 線を充填する。頸部隆線下端より 3 条の垂下沈線と波状沈線が懸垂する。地 文は斜位・縦位 RL	中期後葉
99号土坑 +49	2	深鉢 口縁部	①-②-③-	①赤黒色②粗：小礫・ 白色粒・石英・輝石 ③良好	2 条隆線による口縁部区画文。斜位短沈線を充填。体部は縦位 RL	中期後葉
105号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①-②-③-	①黒褐色②粗：白色 粒・石英③良好	口唇部肥厚。口縁部楕円状区画。凹線を側線。横位 RL を充填する	中期後葉
105号土坑 覆土	2	深鉢 体部	①-②-③-	①明黄褐色②粗：白色 粒・石英・雲母③ 良好	2 条隆線と縦位波状隆線による懸垂文構成。地文は縦位 RL	中期後葉
106号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①-②-③-	①褐色②粗：白色粒 多③良好	3 条の沈線による弧状意匠と垂下沈線による懸垂文構成。地文は横位 LR	中期後葉
107号土坑 +37	1	深鉢 底部	①-②-③-	①灰褐色②粗：白色 粒③良好	隆線による口縁部楕円状区画文。区画内は横位 RL を充填する。区画接点下 に凹線による小環状意匠を配す	中期後葉
107号土坑 覆土	2	深鉢 底部	①-②-③-	①明赤褐色②粗：白色 粒・石英③良好	口縁部多段楕円状区画文構成。側部は沈線。縄文は縦位 LR	中期後葉
107号土坑 +51	3	深鉢 口縁へ体部 上平	① 50.4 ②- ③-	①明赤褐色②粗：小 礫・白色粒・輝石③ 良好	大型の深鉢。隆線による口縁部楕円状区画文構成。頸部隆帯は明確ではない。 体部は垂下沈線で画された施文部と磨消部の交互懸垂文構成・施文部は縦位 密接条線を充填施文する	中期後葉
107号土坑 +53	4	深鉢 底部	①-②-③-	①鈍い褐色②粗：白色 粒・石英・褐色粒 ③良好	縦位隆線と凹線で画される。隆線による弧状意匠あるいは渦巻文を配す。横 位 RL を充填する	中期後葉
107号土坑 +44	5	深鉢 体部上半	①-②-③-	①灰褐色②粗：白色 粒・石英・雲母③ 良好	低位隆帯による体部弧状・逆U字状意匠。沈線を側線とする。縦位 RL 充填 施文	中期後葉
107号土坑 +34	6	深鉢 体部	①-②-③-	①褐色②粗：白色粒・ 雲母③良好	7 と同一個体。低位隆帯による体部区画文構成。蕨手状沈線文を配す。RL 充填施文	中期後葉
107号土坑 +47	7a	深鉢 体部	①-②-③-	①褐色②粗：白色粒・ 雲母③良好	低位隆帯による体部区画文構成。蕨手状沈線文を配す。RL 充填施文	中期後葉
107号土坑 +47	7b	深鉢 体部	①-②-③-	①褐色②粗：白色粒・ 雲母③良好	低位隆帯による体部区画文構成。蕨手状沈線文を配す。RL 充填施文	中期後葉
107号土坑 覆土	8	深鉢 口縁部	①-②-③-	①鈍い褐色②細：白色 粒③良好	口縁部横位沈線間に刻み目列を施す。縄文は横位 RL	中期後葉
107号土坑 覆土	9	深鉢 体部	①-②-③-	①浅黄褐色②細：白色 粒③良好	2 条の垂下沈線と波状沈線による懸垂文構成か。地文は縦位 RL	中期後葉
107号土坑 +48	10a	深鉢 体部下半 ～底部	①-②-③-	①褐色②粗：白色粒 多・輝石③良好	2 条の垂下沈線による磨消部懸垂文構成。RL 縦位充填施文。底部丸みを帯 びる	中期後葉
107号土坑 +52	10b	深鉢 体部下半 ～底部	①-②-③-	①褐色②粗：白色粒・ 雲母・輝石③良好	厚手の器厚。体部は無文で縦位研磨を施す	中期後葉
107号土坑 +45	11	深鉢 底部	①-②-③ 10.2	①褐色②粗：白色粒・ 雲母・輝石③良好	厚手の器厚。体部は無文で縦位研磨を施す	中期後葉

遺構名 出土位置	番号	部種・残存	計測値 (cm)	①色調・③釉・④焼成	文様の特徴	時期・特徴
108号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部下	①・②・③	①明赤褐色②粗: 白色粒・石英・輝石③良好	隆帯による口縁部楕円状区画。沈線を側線とし縦位LRを施す	中階後葉
115号土坑 +14	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①橙色②粗: 白色粒・石英・輝石③良好	口縁部楕円状区画。接点上下に円文。区画内は縦位LR充填。体部は沈線による懸垂文構成か。	中階後葉
115号土坑 +7	2	鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②粗: 白色粒・片岩粒③良好	口縁部内傾し、体部は強く内湾する。内湾部に2条の細隆線が走り、小型の楕状把手を設ける。体部は低位隆帯による弧状意匠が配される。	中階後葉
115号土坑 +6	3	深鉢 底部	①・②・③ 7.8	①淡黄色②粗: 白色粒・石英・雲母少・輝石③良好	2・3条の垂下沈線による懸垂文構成。8単位か。LR縦位充填施文	中階後葉
116号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①黒褐色②粗: 白色粒・石英・輝石③良好	低位波状突起。波頂部に隆線による渦巻文を配し下部より2条隆線が縦位楕円状に派生する。口縁部は凹隆線による区画構成。側線を沈線とし、横位LRを地文とする	中階後葉
116号土坑 覆土	2	深鉢 口頸部	①・②・③	①黄褐色②粗: 白色粒多・輝石③やや軟質	2条の頸部隆線に渦巻状小突起を付す。口縁部は横位沈線群に交互斜文が加わる	中階中葉 末
118号土坑 覆土	1	深鉢 体部中位	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗: 白色粒・石英③良好	2条隆線による剣先状意匠及び垂下隆線。側線は沈線。地文は縦位LR	中階後葉
118号土坑 +51	2a	浅鉢 口頸～体部 上半	①・②・③	①明褐色②粗: 白色粒・石英・片岩③良好	胴部部に2条隆線を設け刻みを施す。口頸部文様部は多角構成か? 隆線による渦巻文と剣先状意匠、逆U字状意匠を配す。区画内は側線沈線で、横位LRを施す。区画中心に短沈線による器底意匠を充てる	中階後葉
118号土坑 +52	2b	浅鉢 口頸～体部 上半	①・②・③	①鈍い褐色②粗: 白色粒・石英・片岩③良好	胴部部に2条隆線を設け刻みを施す。隆線による渦巻文を配し、2条隆線で繋ぐ。区画内は側線沈線で、横位LRを施す。区画中心に短沈線による小意匠文を充てる	中階後葉
119号土坑 覆土	1	深鉢 頸部	①・②・③	①褐色②粗: 白色粒多・石英少・輝石③良好	頸部外反部に横位沈線を重ねる。地文は斜位LR	中階後葉
119号土坑 覆土	2	深鉢 頸～体部	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗: 白色粒・石英少・輝石・褐色粒③やや軟質	頸部外反部の横位沈線以下3条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位波状沈線も中心に配す。地文は縦位LRか。器面磨滅	中階後葉
119号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②粗: 白色粒多・輝石③良好	2条隆線による口縁部渦巻状突起と下位区画構成。区画内は沈線を側線とし、縦位短沈線を充填する。	中階後葉
119号土坑 +30	4	横鉢 体部上半	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	横位沈線以下3条一組の沈線による渦巻意匠や弧状意匠が配される。地文はRL縦位施文	中階後葉
119号土坑 覆土	5	深鉢 体～底部	①・②・③ 6.8	①橙褐色②粗: 白色粒・石英・輝石③良好	器面凹凸あり。縦位LRを施す	中階後葉
121号土坑 +10	1	深鉢 口縁～頸部	①・②・③ 21.0②	①鈍い赤褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	小型の深鉢。2条隆線による口縁部区画と渦巻文。沈線を側線とする。地文は縦位LR。頸部は無文で2条隆線で画される。体部は隆線による懸垂文構成か。	中階後葉
121号土坑 +12	2	深鉢 頸部	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗: 白色粒・石英・輝石③良好	2条の横位隆線で体部を画す。下端より垂下隆線が派生する。地文横位LR	中階後葉
121号土坑 +12	3	深鉢 口縁～頸部	①・②・③ 27.0②	①鈍い赤褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画と渦巻文。頸部隆線は突出する。区画内文は横位矢羽状短沈線と横位LRが共存。側線は沈線。体部も2条隆線で画され、弧状隆線が派生する。地文は横位・斜位LR	中階後葉
121号土坑 +6	4	深鉢 体～底部	①・②・③ 6.2	①鈍い赤褐色②粗: 白色粒・輝石多③良好	小型の深鉢。体部中心に湾曲を持たせる。2条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位・斜位LR	中階後葉
121号土坑 +5	5	深鉢 体部中位 ～底部	①・②・③ 7.4	①鈍い褐色②粗: 白色粒・石英・輝石・雲母少③良好	3条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位LR。器面磨滅する	中階後葉
121号土坑 +15	6	深鉢 体部下半	①・②・③	①明赤褐色②粗: 白色粒・石英・輝石・褐色粒③良好	2条の垂下隆線による懸垂文構成。側線は沈線。地文は縦位LR	中階後葉
121号土坑 +13	7	深鉢 底部	①・②・③ 7.0	①黄褐色②細: 白色粒・雲母・輝石③良好	体部下半は外反気味に立ち上がり、縦位密接条線を施す	中階後葉
121号土坑 +12	8	深鉢 底部	①・②・③ 11.8	①明赤褐色②粗: 白色粒多・石英・輝石③良好	大型の深鉢。垂下沈線の下端部を見る。RL縦位施文。底面に副代痕	中階後葉
121号土坑 +1	9	浅鉢 頸部	①・②・③	①橙褐色②粗: 白色粒・石英・輝石③良好	胴部部上部に縦位短沈線が連続する。沈線による楕円状意匠が配されるが規則性は取られない	中階後葉
123号土坑 +13	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①灰褐色②粗: 白色粒・石英・輝石③良好	突出する渦巻状突起。両側面より口頸部に沿って沈線を施す。縦位LRを充填する	中階末葉
123号土坑 +10	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①赤褐色②粗: 白色粒多・輝石③良好	波状縁。口縁部内折。沈線で画された施文部による渦巻状意匠が配される。LR充填施文	後階初葉
123号土坑 +13	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	2と同一個体か。沈線で画された施文部による渦巻状意匠が配される。LR充填施文	後階初葉
123号土坑 +27	4	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	沈線で画された施文部による弧状意匠。LR充填施文	後階初葉

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調・胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
123号土坑 +20	5	深鉢 体部	①・②・③・	①黄褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	沈線で画された施文部による弧状意匠。LR 充填施文	後期初葉
123号土坑 覆土	6	深鉢 体部上半	①・②・③・	①鈍い褐色②粗: 白色粒・石英③良好	2条の隆線による区画文構成か。斜位 LR 充填施文	中期後葉
123号土坑 +27	7	深鉢 胴部	①・②・③・	①鈍い褐色②粗: 石英・雲母③良好	低位隆線で画された口縁部区画文。区画内は RL 充填施文	中期後葉
124号土坑 +7	1	深鉢 口縁～体部	① 62.0 ②・ ③・	①褐色②粗:白色粒・ 雲母③良好	キリバー状を呈し、口縁部細線隆線以下縦位 LR を施す	中期末葉
124号土坑 +19	2	深鉢 体部上半	①・②・③・	①明黄褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③ やや軟質	両耳歯か。横位隆線に大型横状把手を付す。体部は細沈線による弧状意匠が 配される。あるいは渦巻状意匠か。細横文縦位 LR を充填する。器面磨滅	中期末葉
124号土坑 +12	3	深鉢 口縁～体部 上半	①・②・③・	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・石英・雲母 ③やや軟質	両耳歯か。口縁部は無文で、頸部隆線に大型横状把手を設ける。体部は沈線 による逆U字状懸垂文が配される。横文は縦位 LR 充填施文。器面磨滅	中期末葉
124号土坑 +11	4	深鉢 体～底部	①・②・③ 7.0	①褐色②粗:白色粒・ 雲母③や軟質	小型の深鉢。無文で器面磨滅する。上端部あるいは腹口縁か	中期末葉
124号土坑 +7	5	深鉢 底部	①・②・③ 8.0	①明褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③良 好	僅かであるが隆線の取付痕を見る。	中期後葉
124号土坑 +15	6	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③良 好	波状線。波頂部小突起を付す。横位隆線上位に沈線が沿い、体部は沈線で割 した縦位対弧状意匠を配す。LR 充填施文	中期末葉
126号土坑 ±0	1	深鉢 口縁～底部	① 14.5 ② 23.5 ③ 7.0	①鈍い褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③良 好	僅かな波状線を呈す台付深鉢。口縁部一部欠損。口縁部横位細隆線を設け、 体部は沈線による横位波状文と分岐懸垂文の2帯構成。LR 充填施文	中期末葉
126号土坑 +1	2	深鉢 口縁部	①・②・③・	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	口縁部突出する半渦巻状突起。横状把手と接続する。横位細隆線以下体部は 細沈線による対弧状意匠か。LR 充填施文	中期末葉
126号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口縁部強く内傾。横位隆線による屈曲以下縦位密接条線を施す	中期末葉
126号土坑 +54	4	深鉢 口縁部	①・②・③・	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	口縁部横位細隆線以下縦位 LR・縦位 LR による羽状縄文構成	中期末葉
126号土坑 +17	5	深鉢 底部	①・②・③ 6.7	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・褐色粒・輝 石③良好	底部突出し、体部下半は内湾気味に立ち上がる。縦位密接条線を施す	中期末葉
127号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①暗褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③良 好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。区画は二帯構成か。渦巻文は文様帯 下位に設けられ、区画内は縦位短沈線を充填する	中期後葉
128号土坑 +12	1	浅鉢 口縁部	①・②・③・	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	体部上位に膨らみを持つ。外面に僅かな赤彩痕跡	中期後葉
128号土坑 +22	2	深鉢 体部	①・②・③・	①褐色②粗:白色粒・ 石英③やや軟質	縦位沈線による懸垂文構成。地文斜位 LR	中期後葉
134号土坑 +26	1	深鉢 体部	①・②・③・	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・石英・輝石 ③良好	口唇部に横位沈線。以下内湾部に2条沈線による横位 S 字状意匠。下半は連 弧状の沈線文を繋ぐ。地文は横位・縦位 RL。器形・施文とも複雑な印象を 得る	中期後葉
134号土坑 +48	2	深鉢 口縁～体部	① 21.8 ②・ ③・	①明赤褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	緩やかな波状線。口唇部の2条沈線間を切込みが理める。体部上半は沈線による 大柄な波状文。下半は分岐懸垂文か。横文は RL 横位・縦位充填施文	中期後葉
134号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③・	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英③良好	2条細隆線による弧状意匠。あるいは渦巻状意匠か。側縁は撫で。縦位 RL を充填する	中期末葉
134号土坑 +14	4	深鉢 体部上半 ～底部	①・②・③ 7.4	①明赤褐色②粗:白色 粒・石英・輝石・ 雲母③良好	小型深鉢。筒状の体部器形。器厚は薄手で丁寧作り。隆線による逆U字状 懸垂文が連続する。8単位を数える。縦位 RL の充填施文。	中期後葉
134号土坑 +60	5	深鉢 口縁～体部 中位	① 26.2 ②・ ③・	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・石英多・輝 石③良好	口縁～体部強く内湾する。あるいは鉢状の器形か。口縁部は無文で、横位隆 線を強く突出させ突起状とし、2条隆線による大柄の渦巻文を派生させる。 側縁は撫で。LR 充填施文する。	中期後葉
134号土坑 +29	6	深鉢 体部～底部	①・②・③ 6.4	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	沈線による逆U字状懸垂文構成。施文部と磨消部の交互配列を呈し、RL を 充填する	中期後葉
134号土坑 +35	7	深鉢 胴部	①・②・③・	①明赤褐色②粗:白色 粒多・石英・輝石 ③良好	口唇部を画す横位隆線を繋ぐ大型の横状把手。区画文が配され、側縁沈線で 縦位 RL を充填する。体部は磨滅のため判然としないが、縦位密接条線を施 す	中期後葉
134号土坑 +34	8	深鉢 体～底部	①・②・③ 9.4	①鈍い褐色②粗:白色 粒・雲母③良好	垂下隆線下端を見る。垂下沈線も画され、懸垂文構成を呈する。一部縦位 RL が充填される	中期末葉
134号土坑 +6	9	深鉢 底部	①・②・③ 9.8	①褐色②粗:白色粒・ 石英・雲母③良好	垂下沈線による磨消部懸垂文構成。LR 縦位充填施文	中期末葉
134号土坑 覆土	10	ミニチュア 口縁～底部	① 4.8 ② 2.5 ③ 2.6	①灰白色②粗:白色 粒③やや軟質	体部は内湾し、口唇部尖る。内外器面に凹凸あり	中期後葉
135号土坑 +41	1	深鉢 口縁部	①・②・③・	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・石英・輝石 ③良好	強く内傾する口縁部。横位隆線以下沈線で割された磨消部による弧状意匠か。 LR 充填施文	中期末葉・ 後期初葉

遺構名 出土位置	番号	部類・残存	計測値 (cm)	①色調・胎土・施装	文様の特徴	時期・特徴
135号土坑 覆土	2	深鉢 底部	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗； 白色粒・雲母③良好	1本指し沈線による体部逆U字状意匠。縦位LR充填施文	中期末葉・ 後期初頭
138号土坑 +49	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②粗； 白色粒・石英・輝石・ 雲母③良好	口縁部横位細降線以下縦位LRを施す	中期後葉
138号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①橙褐色②粗； 白色粒・石英③良好	内唇する口唇部に深い刻み沈線で割かれた施文部による意匠文が配される。 LR充填施文	後期初頭
138号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い赤褐色②細； 白色粒・輝石③良好	口縁部横位沈線に交互斜突文を加え、沈線による連弧文を配す。地文縦位 RL	中期後葉
138号土坑 覆土	4	深鉢 口縁部	①・②・③	①橙褐色②粗； 白色粒・石英③良好	口縁部降線による区画文か。弧状短沈線を充填する	中期後葉
138号土坑 +59	5	深鉢 底部	①・②・③ 5.8	①明赤褐色②細； 白色粒・輝石③良好	破片上部磨滅。腹口縁か。体部は無文	中期後葉
138号土坑 +28	6	深鉢 口縁・体部	① 26.8 ② ③	①鈍い黄色②粗； 白色粒・石英・雲母③ 良好	口縁部横位細降線以下降線による大柄の渦巻状意匠を配す。側面に沈線を施し、 縦位・斜位LRを充填する	中期後葉
139号土坑 +57	1	深鉢 口縁・体部	① 21.2 ② ③	①鈍い赤褐色②細； 白色粒・石英・輝石③ 良好	緩やかな波状線。口縁部と体部屈曲部に横位沈線と交互斜突文を加える。体 部二帯に沈線による連弧文を配す。地文は斜位・縦位RL	中期後葉
139号土坑 +43	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①暗赤褐色②粗； 白色粒・石英・輝石③ 良好	波頂部に渦巻状小突起を付す。直下に2条細降線による渦巻文を配し、空白 部は短沈線を充填する	中期後葉
139号土坑 覆土	3	深鉢 体部	①・②・③	①橙褐色②粗； 白色粒・輝石③良好	沈線による弧状意匠を配す。末端を渦巻状・剣先状とする。地文は縦位RL	中期後葉
141号土坑 +21	1	鉢 口縁部	① 28.0 ② ③	①明赤褐色②細； 白色粒・石英・輝石③ 良好	口縁部は短く外傾し、体部は強く内湾する。屈曲部に2条の突出した横位降 線を設け、斜位橋状把手と小型把手を付す。把手形状から双状と判断した。 体部は凹線による大型環状意匠が配される	中期末葉?
142号土坑 覆土	1	深鉢 底部	①・②・③	①鈍い黄褐色②細； 白色粒・石英・輝石③ 良好	2条降線による分帯。下部降線が下位へV字状に懸架する。上位は橋口区画 文を画し斜位沈線を充填する	中期初葉?
144号土坑 +43	1	浅鉢 口縁部	①・②・③	①暗赤褐色②粗； 白色粒多・石英多・片 岩③良好	頸部は強く屈曲し、2条降線で囲まれる。口頸部文様帯は降線による渦巻文 と区画文が配される。区画内は沈線を側線とし、縦位RLを施す。器面全体 に研磨が及ぶ	中期後葉
144号土坑 +41	2	深鉢 底部	①・②・③ 6.2	①明赤褐色②粗； 白色粒・石英・輝石③ 良好	垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成に加え、横位沈線を下半に設ける	中期後葉
146号土坑 +98	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②粗； 白色粒・輝石③良好	口縁部横位波状降線による三角形区画文。横位LRを充填する	中期後葉
146号土坑 +92	2	浅鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②粗； 白色粒・石英・褐色粒 ③良好	口縁部内湾し、内外面とも丁寧な磨で調整を加える	中期後葉
146号土坑 +93	3	深鉢 体部	①・②・③	①黄灰色②粗； 白色粒・石英・雲母③ 良好	弧状降線による橋口状意匠連続。側線は沈線。縦位波状沈線も看取する。縦 位LRを施す	中期後葉
150号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①・②・③	①明赤褐色②粗； 白色粒・輝石③良好	降線と内皮沈線による弧状意匠。三叉文と刺突文が加わる	中期中葉 末
151号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②粗； 白色粒・石英・輝石③ 良好	降線による口縁部橋口状区画文と渦巻状意匠。側線は沈線。横位LRを充填 する。体部は2条の垂下沈線による懸垂文と縦位条線密接施文	中期後葉
154号土坑 覆土	1	深鉢 底部	①・②・③ 5.6	①明赤褐色②粗； 白色粒・石英・輝石③ 良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。空白部は斜位短沈線を埋める	中期後葉
157号土坑 覆土	1	深鉢 体部	①・②・③	①鈍い褐色②粗； 繊維・白色粒・石英③ 良好	追加整形施文か。横位環付LR・RLを多段に施文する	前期前葉
157号土坑 覆土	2	深鉢 底部	①・②・③	①橙褐色②粗； 繊維・片岩・大粒石英③ 良好	台付き深鉢脚部か。強く開く。体部下半は無文	前期前葉
158号土坑 +29	1	深鉢 口縁部下	①・②・③	①淡黄色②粗； 白色粒・石英・輝石③ や 軟質	降線による橋口状区画文。側線は沈線。縦位・斜位LRを充填する	中期後葉
160号土坑 覆土	1	深鉢 口縁・体部	① 17.6 ② ③	①黒色②粗； 白色粒 多・石英③良好	赤みある平縁。口縁下に円形刺突文を横位に連ね、体部は3条の垂下沈線と 縦位波状沈線による懸垂文構成	中期後葉
160号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部下	①・②・③	①鈍い黄色②粗； 白色粒多・石英③良好	波状突起下、沈線による平渦巻状意匠を縦位に接続する。円形刺突文を加 える	中期後葉
162号土坑 +20	1	深鉢 口縁・体部	① 22.6 ② ③	①鈍い褐色②粗； 白色粒・輝石③良好	口縁部横位細降線以下縦位LRを施す。下半に縦位研磨が加わる	後期初頭
162号土坑 +36	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①黒褐色②粗； 白色粒・石英・輝石③ 良好	口縁部横位細降線以下LR縦位施文が覆う	後期初頭

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	部類・現存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
162号土坑 覆土	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色之組：白色粒・ 輝石③やや軟質	口縁部横位細降線以下LR縦位施文が覆う	後期初葉
162号土坑 +60	4	深鉢 口縁部	①・②・③	①褐色之組：白色粒・ 輝石③良好	口縁部横位細降線に小突起を付す。以下LR縦位施文が覆う	後期初葉
162号土坑 +40	5	深鉢 口縁部	① 39.2 ②	①明褐色②組：白色粒・ 輝石③良好	口縁部横位細降線に小突起を付す。体部は降線による弧状・渦巻状意匠を配す。LR充填施文	中期末葉
162号土坑 +8	6	深鉢 口縁～体部	①・②・③	①灰黄色②組：石英・ 輝石多量良好	波状口縁。波頂部に平滑巻状小突起を付す。口縁部横位細降線以下沈線で割された無文部と施文部渦巻文構成。LR充填施文	後期初葉
162号土坑 覆土	7	深鉢 口縁部	①・②・③	①灰黄色②組：石英・ 輝石③良好	波状口縁。口縁部横位細降線以下沈線で割された無文部と施文部渦巻文構成。LR充填施文	後期初葉
162号土坑 +66	8	深鉢 体部	①・②・③	①鈍い黄褐色②組： 白色粒・褐色粒・輝石③良好	細降線で画された弧状意匠が。LR充填施文	中期末葉 ～後期初
162号土坑 +84	9	深鉢 体部下平	①・②・③	①褐色②組：白色粒・ 石英・雲母・輝石③良好	押圧・刻みを加える垂下降線による懸垂文構成	中期末葉 ～後期初
162号土坑 覆土	10	深鉢 口縁～頸部	①・②・③	①鈍い褐色②組：白色粒・ 石英・輝石③良好	2条の横位沈線で口縁部を画し、沈線による連弧文を配す。地文は縦位LR	中期末葉
162号土坑 +4	11	深鉢 体～底部	①・②・③ 12.3	①浅黄褐色②組：白色粒・ 輝石③良好	厚手の底部。縦位LRを施す	中期末葉 ～後期初
162号土坑 +37	12	深鉢 体～底部	①・②・③ 11.0	①褐色②組：白色粒・ 輝石③良好	厚手の底部。垂下降線による懸垂文構成下部部	中期末葉 ～後期初
163号土坑 覆土	1	深鉢 把手	①・②・③	①鈍い褐色②組：白色粒・ 石英・輝石③良好	体部上半に付せられる横状把手か。縁辺が隆起し、無筋しが施される	中期末葉
164号土坑 ±0	1	深鉢 体～底部	①・②・③ 8.4	①褐色②組：白色粒・ 石英・輝石③やや軟質	縦位密接条線下端を見る。やや太い沈線は懸垂文下端か。器面磨滅する	中期末葉
164号土坑 +23	2	深鉢 体～底部	①・②・③ 7.8	①褐色②組：白色粒・ 輝石③良好	器底Lの縦位施文	中期末葉
164号土坑 +16	3	深鉢 体部	①・②・③	①鈍い赤褐色②組： 白色粒多量・輝石③良好	体部コイル状小突起と環状突起。下端より弧状降線が派生する。側縁・充填線は平截竹管内皮施文による平行沈線。小区内に刺突文を充填する	中期中葉末
164号土坑 +22	4	深鉢 底部	①・②・③ 11.0	①褐色②組：白色粒・ 石英・輝石③良好	体部下平強く開き、器底Lを縦位に施す。	中期末葉
166号土坑 覆土	1	深鉢 口縁～体部	①・②・③	①浅黄褐色②組：白色粒・ 石英・輝石③良好	2条の横位降線で口縁部を画し、横位連続刺突文と横位沈線を埋める。頸部は無文で、体部は降線による弧状意匠が配される。縄文はLR充填施文	中期末葉
166号土坑 覆土	2	深鉢 体～底部	①・②・③ 8.6	①鈍い黄褐色②組： 白色粒・石英多量③良好	体部内湾部に横位橋状把手を設ける。単位は不明。あるいは2単位か。体部はLを縦位施文する	中期末葉
169号土坑 +58	1	深鉢 頸部～体部	①・②・③	①鈍い赤褐色②組： 白色粒・石英③良好	頸部加筋部に横位沈線。体部は横手沈線による懸垂文構成。地文は縦位RL	中期末葉
169号土坑 +3	2	深鉢 体～底部	①・②・③ 8.6	①明褐色②組：白色粒・ 輝石③良好	垂下沈線による懸垂文構成。地文は横位LR	中期末葉
170号土坑 +15	1	深鉢 口縁～体部	① 16.5 ②	①黒褐色②組：白色粒・ 輝石③良好	小型の深鉢。口縁部は内湾し無文。頸部に横位沈線3条を設け、体部は沈線による弧状意匠・懸垂状意匠が配される。地文は縦位RL	中期末葉
170号土坑 +3	2	深鉢 口縁～底部	① 27.0 ② 39.0 ③ 8.1	①褐色②組：白色粒・ 輝石③良好	口縁部波状突起を四単位付す。2条降線による口縁部区画文と渦巻文構成。区内には沈線と無筋とし、横位矢羽状沈線を充填する。体部は横位沈線3条で画され、刺突意匠や小渦巻文を連続した懸垂状意匠3単位が配される。地文は縦位RL	中期末葉
170号土坑 +12	3	深鉢 口縁～体部 上半	① 18.0 ②	①鈍い赤褐色②組： 白色粒・石英・輝石多量③良好	降線による口縁部区画文構成。区画下端に環状突起を付す。区内側の降線は沈線で縦位短沈線を充填する。体部は横位降線で画され、3条の垂下沈線と縦位波状沈線の懸垂文構成。縦位密接条線と縦位RLを地文とする	中期末葉
170号土坑 +75	4	深鉢 口縁～頸部	① 46.2 ②	①暗褐色②組：小礫・ 白色粒・輝石③良好	大型の深鉢。口縁部橋状把手を設ける。口縁部文帯帯は2条降線による柵目状区画文と渦巻状突起を配す。区内には沈線と無筋とし縦位短沈線を充填する。頸部は無文	中期末葉
170号土坑 +62	5	深鉢 口縁部	① 28.8 ②	①鈍い褐色②組：白色粒・ 石英③良好	2条降線による口縁部区画文と渦巻文構成。渦巻文は文帯帯下端に付される。区内には側縁沈線。斜位短沈線を充填する。頸部無文	中期末葉
170号土坑 +48	6	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い褐色②組：白色粒・ 石英・輝石多量③良好	降線による口縁部渦巻文と区画文構成。渦巻文は下端に付せられ、区内には側縁と沈線とし縦位短沈線を充填する	中期末葉
170号土坑 +98	7	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い褐色②組：白色粒・ 石英・雲母③やや軟質	口縁部の横位降線以下2条降線による口縁部渦巻文。下端より細降線が数条垂下する。区内には沈線と無筋と縄文を施文する	中期末葉
170号土坑 +59	8	深鉢 頸部～底部	①・②・③ 6.8	①明赤褐色②組：白色粒・ 石英・輝石多量③良好	小型深鉢。頸部の横位龍形降線に刺突文を加える。下端に凹形筋付文を付し、体部は2条垂下降線と縦位波状降線による懸垂文構成。縦位RLを地文とする	中期末葉



遺構名 出土位置	番号	部類・現存	計測値 (cm)	①色調・胎土・施装	文様の特徴	時期・特徴
170号土坑 +102	9	深鉢 底・底部	① ② - ③ 7.8	①赤褐色土質；白色 粒・輝石多③良好	垂下沈線2条と縦位波状沈線による懸垂文構成。弧状沈線部が垂下沈線間を繋ぐ。地文は縦位 RL	中階後葉
170号土坑 +8	10	深鉢 胴～底部	① ② - ③	①赤褐色土質；白色 粒・輝石多③良好	胴部屈曲部に横位沈線、体部沈線による逆弧状意匠や剣先状意匠を配す懸垂文構成。地文は縦位 RL	中階後葉
170号土坑 +21	11	深鉢 体部上半	① ② - ③	①明褐色土質；白色 粒・石英・輝石③ 良好	胴部に3条の横位沈線。以下弧状沈線が配される。地文は縦位 RL	中階後葉
170号土坑 +61	12	深鉢 口縁部	① ② - ③ 7.0	①褐色土質；白色粒・ 輝石③やや軟質	2条の垂下沈線による懸垂文構成。5単位を数える。縦位波状沈線も配される。地文は縦位 RL	中階後葉
170号土坑 +54	13	浅鉢 口縁～底部	① 32.0 ② ③-	①明褐色土質；白色 粒・石英③良好	口縁部肥厚し突出する。上半に膨らみを持たせる。内外面に赤彩痕跡	中階後葉
170号土坑 +16	14	浅鉢 口縁部	① ② - ③	①褐色土質；白色粒・ 輝石③やや軟質	口縁部は外反し体部は強く屈曲する。外面磨減	中階後葉
170号土坑 +13	15	浅鉢 口縁～体部	① 40.0 ② ③-	①赤褐色土質；白色 粒・石英③良好	大型の浅鉢。口縁部は肥厚し直立気味。底部径は小さい。口縁部内外面赤彩痕有り	中階後葉
172号土坑 +91	1a	深鉢 体部上半	① ② - ③	①明褐色土質；白色 粒・石英③良好	胴部屈曲部下に横位結節 RL が器面を覆う。	前階末葉
172号土坑 +91	1b	深鉢 体部	① ② - ③	①明褐色土質；白色 粒・石英③良好	結節繩文 RL の横位施文	前階末葉
172号土坑 +83	2	深鉢 底部	① ② - ③ 13.3	①褐色土質；石英大 粒多③やや軟質	底径広く、直立気味に立ち上がる。横位 LR・RL 結節羽状繩文が覆う。器面磨減	前階末葉
172号土坑 +94	3	深鉢 体部	① ② - ③	①褐色土質；片岩粒・ 石英多③良好	LR と RL の横位羽状繩文構成	前階末葉
173号土坑 +5	1	深鉢 体～底部	① ② - ③	①明赤褐色土質；白色 粒・輝石③良好	小型の深鉢底部。直立気味に立ち上がり、斜位 LR を施す	中階後葉
174号土坑 +25	1	深鉢 口縁部	① ② - ③	①褐色土質；白色粒 ③良好	隆線による口縁部区画文と渦巻意匠が。区画内は浅い縦位沈線を充填。	中階後葉
177号土坑 +11	1	深鉢 口縁部	① ② - ③	①明褐色土質；白色 粒・石英③良好	隆線による楕円状区画文。区画内は横位矢羽状沈線を充填	中階後葉
178号土坑 +40	1	深鉢 体部上半	① ② - ③	①鈍い褐色土質；白色 粒・石英・輝石 ③良好	胴部の横位沈線3条以下、体部は沈線による小渦巻文を基点とした弧線状意匠と懸垂文が配される。意匠単位は2A+B (a+b) が。地文は懸垂1縦位施文	中階後葉
178号土坑 +15	2	深鉢 口縁～体部 上半	① 37.0 ② ③-	①暗褐色土質；白色 粒・石英③良好	口縁部文様部は、隆線による渦巻文と区画文構成。区画内は横位矢羽状沈線を充填する。体部は垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。地文は縦位 LR	中階後葉
178号土坑 +12	3	深鉢 口縁部	① 50.0 ② ③-	①明赤褐色土質；白色 粒・石英・雲母・ 輝石③良好	大型の深鉢。2条隆線による口縁部長区画文。体部は2・3条の垂下沈線による懸垂文と逆U字状意匠が。縄文は縦位 RL 充填施文	中階後葉
179号土坑 +18	4	深鉢 体部上半	① ② - ③	①明褐色土質；白色 粒・石英・輝石③ 良好	腹口縁が。横位沈線と交互斜突文以下、体部は弧線状沈線を施す	中階後葉
178号土坑 +16	5	深鉢 胴部	① ② - ③	①灰褐色土質；白色 粒・石英③良好	隆線による渦巻意匠。体部は垂下沈線による懸垂文構成。横位・縦位 RL を施す	中階後葉
180号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	① 21.0 ② ③-	①褐色土質；白色粒・ 雲母③良好	口縁部に横位沈線。体部は幅広の平行沈線による懸垂文構成が。5・6条単位の縦位密接条線を施す	中階後葉
180号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部	① ② - ③	①鈍い赤褐色土質； 白色粒・石英③ 良好	口縁部区画文が。凹線を側線とし横位 LR を充填する	中階後葉
187号土坑 覆土	1	深鉢 体部	① ② - ③	①暗褐色土質；白色 粒・石英③良好	内皮沈線による大柄の渦巻文を配す。地文は縦位 LR	中階後葉
189号土坑 +22	1	深鉢 口縁部	① 20.0 ② ③-	①暗褐色土質；白色 粒・雲母③良好	キリバー状で、双波状突起を付す。口縁部は無文で横位細隆線以下逆U字状意匠が配される。LR 充填施文	中階末葉
189号土坑 覆土	2	深鉢 口縁部突起	① ② - ③	①鈍い褐色土質；白色 粒・輝石③良好	突起先端が内面に強く内湾する。両面に瘤状突起を配し、中央の小孔と貫孔を。横位 LR を施し、破片下部に突起・把手の痕跡を見る	中階末葉
189号土坑 +16	3	深鉢 体部	① ② - ③	①鈍い黄褐色土質； 白色粒・輝石③ 良好	1本筋沈線による弧状意匠。LR 充填施文	後階初葉
189号土坑 覆土	4	深鉢 把手	① ② - ③	①明褐色土質；白色 粒・石英③良好	体部に付けられる小型の横状把手か	中階後葉
192号土坑 覆土	1	深鉢 口縁部	① ② - ③	①褐色土質；白色粒・ 石英・雲母③ 良好	幅狭の口縁部文様部。隆線による小渦巻文と区画文を配す。下端・区画内は斜突文を施す	中階後葉
193号土坑 +36	1	深鉢 口縁～体部	① 54.6 ② ③-	①褐色土質；白色粒・ 石英・輝石③ 良好	大型の深鉢。口縁部横位細隆線以下斜位・縦位 LR を充填する	中階末葉
193号土坑 覆土	2	深鉢 体部	① ② - ③	①鈍い黄褐色土質； 白色粒・雲母③ 良好	垂下沈線で画された磨消部・施文部の懸垂文構成。LR 縦位充填施文	中階後葉
194号土坑 +14	1	深鉢 口縁～体部	① 15.4 ② ③-	①暗褐色土質；白色 粒・輝石③良好	波状線。体部は2帯構成か。上位は2条の沈線で割された磨消部渦巻文構成。施文部は RL 充填施文	後階初葉
194号土坑 +65	2	深鉢 底部	① ② - ③ 7.4	①浅黄褐色土質；白色 粒・褐色粒・輝石 ③やや軟質	垂下沈線による懸垂文構成。LR 縦位施文。器面磨減	中階末葉 ～後階初葉
197号土坑 覆土	1	深鉢 突起	① ② - ③	①褐色土質；白色粒・ 石英③やや軟質	口縁部突起。内外面とも細隆線による渦巻文が配される	中階中葉 末

出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	部類・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
205号土坑 +3	1	深鉢 体部上半	①・②・③	①暗褐色②粗；白色 粒・石莖多③良好	横位沈線以下斜位沈線と弧状沈線を充填する。内皮施文	中期後葉
206号土坑 +23	1	深鉢 体部上半	①・②・③	①褐色②粗；白色粒・ 石莖・輝石③良好	横位沈線と交互斜突文以下沈線による連弧状意匠と下半は縦手状沈線による 懸垂文構成。地文はRL縦位施文	中期後葉
209号土坑 +6	1	深鉢 体部上半 →中位	①・②・③	①明赤褐色②粗；白色 粒・石莖・雲母多 ③良好	体部上半の横位沈線と沈線で画される。3条の隆線による縦位腕付状意匠と 斜先状意匠が配される。下端より2条隆線が垂下する。空白部は横位沈線 を充填する。	中期後葉
209号土坑 +8	2	深鉢 頸部	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗； 白色粒・石莖・濁色粒・ 輝石③良好	隆線による渦巻文と楕円状区画文。円形斜突文も加える。区画内は無線を沈 線とし縦位LRを施す	中期後葉
211号土坑 +19	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①明黄褐色②粗；白色 粒・輝石③やや軟質	波状縁か。口縁部横位細隆線以下斜位・縦位RLを施す	中期末葉
218号土坑 +27	1	深鉢 口縁→体部 中位	① 39.5 ② ③	①鈍い赤褐色②粗； 白色粒・多・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と楕円状区画文構成。側縁は沈線で横位矢羽状沈 線を充填する。体部は1・2条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。 地文は縦位LR	中期後葉
219号土坑 +34	1	深鉢 体部中位	①・②・③	①明赤褐色②粗；白色 粒・石莖・輝石③ やや軟質	キヤリパー状深鉢。細沈線で画された磨消部による紡錘状区画か。縦位LR 充填施文	中期末葉
219号土坑 +57	2	深鉢 口縁→体 部	① 30.0 ② ③	①鈍い褐色②粗；白色 粒・石莖・輝石③ 良好	口縁部横位細隆線を設ける。おそらく緩やかな波状か。体部は細沈線が弧状 垂下する。勾配懸垂文か	中期末葉
219号土坑 +36	3	深鉢 口縁部突 起→体部	①・②・③	①鈍い褐色②粗；白色 粒・石莖・濁色粒 ③良好	縦位2連の孔を穿った中空状突起。上端裏面は双環状突起を見せる。突起下 端に輪状把手を設け下端より隆線による弧状意匠が配される。斜位LR充填 施文	中期末葉・ 後期初葉
222号土坑 +13	1	深鉢 口縁→体部 中位	① 38.4 ② ③	①鈍い黄褐色②粗； 繊維・白色粒・石莖 ③良好	あるいは双波状縁か。口唇部および頸部に刻みを付す2条の細隆線。口縁部 文様帯には2条細隆線で縦位対弧状意匠を配し、懸垂圧痕L・Rによる渦巻 文を描く。空白部は斜位短沈線を埋める。体部は横付LR・RLによる横位羽 状縄文構成。渦巻文中位と頸部隆線に貼付文。口縁部に2箇所の補修孔を穿 つ	前期前葉
222号土坑 +13	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗； 繊維・白色粒・石莖 ③良好	波状縁。口唇部および頸部に刻みを付す2条の細隆線。口縁部は懸垂圧痕L・ Rによる渦巻文を配し、空白部を短沈線で埋める。体部は横付LR・RLによる 横位羽状縄文構成。渦巻文中位と頸部隆線に貼付文	前期前葉
222号土坑 +13	3	深鉢 口縁部	①・②・③	①明黄褐色②粗； 繊維・小礫③良好	口唇部に刻みを付す2条の細隆線。貼付文を中核とした懸垂圧痕による渦巻 文。空白部は斜位短沈線を施す	前期前葉
222号土坑 +13	4	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗； 繊維・白色粒③良好	口唇部の2条隆線に貼付文。口縁部は2条の細隆線や懸垂圧痕L・Rによる 半円状意匠。空白部に円形竹管状工具の刺突文を施す。空白部は短沈線	前期前葉
222号土坑 +13	5	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗； 繊維・白色粒③良好	口唇部に刻みを付す2条の細隆線。以下L・Rの懸垂側面圧痕による半円状 意匠を配す。短沈線も施される	前期前葉
222号土坑 +13	6	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗； 繊維・白色粒③良好	口唇部に2条の刻み目列。以下LとRの懸垂側面圧痕による弧状意匠。円形刺突 文と短沈線も加える	前期前葉
222号土坑 +13	7	深鉢 口縁部下	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗； 繊維・白色粒③良好	口縁部下の刻みを付す2条の隆線に貼付文を設け。以下細隆線による半円状 意匠の中心に円形竹管状工具の刺突文を施す。空白部は斜位短沈線を施す	前期前葉
222号土坑 +13	8	深鉢 口縁部下	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗； 繊維・白色粒③良好	刻みを付す2条の隆線に小貼付文。地文は横位矢羽状短沈線を施し円形刺 突文を加える	前期前葉
222号土坑 +13	9	深鉢 体部	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗； 繊維・白色粒③良好	膨らみを持たせる体部器形。横付LR・RLによる横位多段の羽状縄文構成。	前期前葉
222号土坑 +13	10	深鉢 口縁部下	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗； 繊維・白色粒③良好	刻みを付す2条の隆線による半円状意匠と懸垂側面圧痕による渦巻文。円形刺突 文や斜位短沈線を埋める	前期前葉
222号土坑 +13	11	深鉢 体部	①・②・③	①明黄褐色②粗； 繊維・小礫③良好	横付LRを多段に施す。結束縄文	前期前葉
223号土坑 +22	1	深鉢 体部	①・②・③	①赤褐色②粗；白色 粒・輝石③良好	垂下沈線・縦位波状沈線による懸垂文構成。一部は斜先状意匠を配す。地文 は上半が縦位、下半が斜位RL	中期後葉
223号土坑 +22	2	深鉢 口縁部	①・②・③	①明赤褐色②粗；白色 粒・輝石③良好	波頂部に設けられた幅広楕圓把手。上端は渦巻文を配す。把手上・区画内は 円形斜突文を充填する	中期後葉
223号土坑 +17	3	深鉢 口縁→頸部	①・②・③	①灰褐色②粗；白色 粒・石莖・輝石多③ 良好	波状縁。波頂部の2条隆線による渦巻文。口縁部区画内は無線沈線で円形 斜突文を充填する。頸部無文	中期後葉
223号土坑 +35	4	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗； 白色粒・石莖・輝石 ③良好	口縁部の渦巻状小突起下に隆線による渦巻文と区画文が配される。無線は沈 線で円形斜突文を充填する	中期後葉
223号土坑 +19	5	付け足深鉢 台部	①・②・③	①鈍い赤褐色②粗； 白色粒・輝石③良好	強く開く脚部。垂下沈線と縦位波状沈線の懸垂文構成。地文は縦位RL	中期後葉
223号土坑 +19	6	浅鉢 口縁部	①・②・③	①褐色②粗；白色粒・ 褐色粒・輝石③良好	口縁部肥厚外傾し、浅い内縁を持つ。体部上半に膨らみを持つ。内外面赤彩 痕跡僅かに残る	中期後葉
232号土坑 +3	1	深鉢 口縁部	①・②・③	①鈍い黄褐色②粗； 白色粒・輝石③良好	口唇部僅かに肥厚。口縁部横位沈線以下沈線による弧状意匠。LR縦位充填 施文	中期後葉
243号土坑 +26	1	深鉢 体→底部	①・②・③	①褐色②粗；白色粒・ 石莖③良好	垂下沈線による懸垂文構成。弧状意匠も配される。地文はRL斜位施文	中期後葉

遺構名 出土位置	番号	部種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
245号土坑 +17	1	深鉢 底部	①-②-③	①明赤褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。欠損するが上半に隆帯区画文か。RL 縦位施文	中前後葉
245号土坑 +20	2	深鉢 底部	①-②-③ 8.0	①明赤褐色②粗: 白色粒・石英・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。端部は収束する。地文は縦位 RL	中前後葉
245号土坑 +30	3	深鉢 台部	①-②-③ 5.4	①黒褐色②粗: 白色粒・石英③良好	小型の付けを深鉢脚部か。凹溝より隆線が再生し、表裏2単位の文様構成を示す。沈線と斜突文による弧状意匠が配される。二次加熱により、器面割落著しい	中前後葉
245号土坑 +25	4	器台部	①-②-③	①褐色②粗: 白色粒・石英・輝石③良好	脚部中に径1.5cm程の孔を設ける。無文で内外面凹凸が著しい	中前後葉
251号土坑 ±0	1a	深鉢 口縁部	① 53.2 ②-③	①灰黄褐色②粗: 白色粒多・石英・褐色粒③良好	大型の深鉢。口縁部隆帯による平渦巻文と区画構成。凹線を側線とし、縦位・斜位LRを充填する。頸部は無文で、体部は横位沈線で両され、低位隆帯による弧状意匠が配されるか	中前後葉
251号土坑 +3	1b	深鉢 口縁部	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒多・石英・褐色粒③良好	隆線による口縁部平渦巻状意匠。側線は撫で。縄文はRL 充填施文	中前後葉
251号土坑 +12	2	深鉢 把手	①-②-③	①鈍い褐色②粗: 白色粒・輝石多③良好	両耳垂把手。大型で横位隆線に付す。上面は縦位LRを充填する	中前後葉
251号土坑 +5	3	深鉢 体~底部	①-②-③ 6.8	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	垂下沈線2条に両された磨消部懸垂文構成。縄文は縦位LR 充填施文	中前後葉
251号土坑 ±0	4	深鉢 体~底部	①-②-③ 8.2	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・石英・雲母③良好	2条の垂下沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。縦位RL 充填施文	中前後葉
251号土坑 +8	5	深鉢 体部中位	①-②-③	①明黄褐色②粗: 小礫・白色粒・石英・輝石③良好	2条の垂下沈線で両された磨消部懸垂文構成。体部上半はRL 縦位充填。下半は縦位密接条線を施す	中前後葉
251号土坑 +8	6	深鉢 口縁~体部 上半	① 29.6 ②-③	①鈍い赤褐色②粗: 白色粒・石英・雲母③良好	口縁部横位細隆線に小突起を付す。おそらく4単位。体部は無彫LRを縦位充填施文する	後期初葉
251号土坑 +21	7	深鉢 口縁部	①-②-③	①褐色②粗: 白色粒③良好	口縁部横位細隆線以下垂下沈線による弧状意匠を配す。あるいは渦巻文か。加彫LR斜位施文	後期初葉
251号土坑 +21	8	深鉢 口縁部	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	口縁部横位細隆線以下垂下沈線による懸垂文構成。LR 縦位充填施文	後期初葉
251号土坑 +8	9	深鉢 体部中位	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗: 白色粒・輝石・雲母③良好	縦沈線と側隆線で割された磨消部渦巻文構成。渦巻文末端が肥厚する。縄文はLR 充填施文	後期初葉
251号土坑 +7	10	鉢 口縁部	①-②-③	①淡黄色②粗: 白色粒多・石英・雲母③良好	あるいは歯状深鉢口縁部か。無文で、縦位撫で痕跡が顕著	後期初葉
251号土坑 覆土	11	器台 台部	上:14.0 下:19.0 高:6.2	①鈍い褐色②粗: 白色粒・片岩・褐色粒③良好	脚部は内湾し、台部はやや凹凸。脚部中に大小の円孔を穿つ。4単位か	中前後葉?
251号土坑 +1	12	深鉢 体~底部	①-②-③ 9.0	①褐色②粗: 白色粒・石英③良好	底部張り出す。体部下半に僅かな渦巻を持たせる。縄文のみの備文で縦位LRを施す。一部割断施文状の縦位撫でを見る	後期初葉

12区埋土出土土器観察表 (遺構: 第1分層 第336~337図、遺物: 第2分層 第296図・P.L.143)

遺構名 出土位置	番号	部種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
2号埋裏	1	深鉢 口縁~体 部中位	①-②-③	①暗褐色②粗: 白色粒・輝石③良好	波状線・波底部に隆線による渦巻文を配し区画文で繋ぐ。体部は縦位隆線による懸垂文構成。区画内に縦位波状沈線を充てる。口縁部は横位。体部は縦位RLを充填する	中前後葉
2号埋裏	2	深鉢 口縁部	①-②-③	①鈍い褐色②粗: 石英・輝石③良好	隆線と沈線による口縁部渦巻文と多段区画文。区画内は縦位LR。体部は2条の垂下沈線による懸垂文構成。施文部縦位条線を密に施す	中前後葉
2号埋裏	3	鉢 頸部	① 35.0 ②-③	①鈍い黄褐色②粗: 褐色粒・石英・輝石③良好	口頸部隆帯による渦巻文構成。側線は凹線及び撫で。区画内は縦位LR 充填施文	中前後葉
2号埋裏	4	鉢 体部	①-②-③	①褐色②粗: 褐色粒・石英・輝石③良好	頸部を両す2条隆帯。体部は無文	中前後葉
3号埋裏	1	深鉢 口縁~頸 部	①-②-③	①明赤褐色②粗: 白色粒・輝石多③良好	口頸部意匠的な欠損。2条隆線による口縁部区画文と渦巻状突起。渦巻状突起は上端に、区画下端にX字状突起を付す。区画内は沈線を側線とし、横位矢羽状沈線を充填する。体部上半に横位沈線を3条設け、標示し得なかったが、垂下沈線の上端を見る。地文は縦位RL。口縁部器面磨滅が著しく、炉体土器の可能性を見る	中前後葉
4号埋裏	1	深鉢 頭~体部 中位	①-②-③	①明赤褐色②粗: 白色粒・石英・輝石③良好	頭部屈曲し、体部上半に強い渦巻を持たせる。頭部での意匠的な欠損か。屈曲部に横位沈線に交互斜突文を加える。体部は3条の垂下沈線による懸垂文構成。地文は縦位LR。頭部周辺の器面が磨滅することから、炉体土器の可能性もある	中前後葉
5号埋裏	1	深鉢 底部	①-②-③ 5.0	①褐色②粗: 白色粒③良好	突出気味の底部でやや不安定。体部は無文。底部部は磨滅する	中前後葉

## 出土土器観察表

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
6号埋裏	1	深鉢 口縁～体 部上半	① 22.8 ② ③-	①褐色変相；白色粒・ 石英・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と楕円状文構成。体部は逆U字状隆線による 懸垂文構成。縄文は口縁部は横位、体部は縦位・斜位 RL 充填施文。器面磨 減	中期後葉
6号埋裏	2	深鉢 口縁部	①・②・③-	①明褐色変相；白色 粒・石英・輝石③良 好	2条隆線による渦巻状意匠。側縁は沈線。地文は懸糸 L。	中期中葉 末
6号埋裏	3	深鉢 底部	①・②・③ 8.6	①褐色変相；白色粒・ 石英③良好	直立気味に立ち上る体部下平。縦位懸糸 L を施す	中期中葉 末
7号埋裏	1	深鉢 底部	①・②・③ 5.0	①鈍い褐色変相；白 色粒③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。6単位を数える。斜位・縦位 LR を施す	中期後葉

12区配石出土土器観察表 (前編：第1分冊 第338頁、後編：第2分冊 第297頁・P.144)

遺構名 出土位置	番号	器種・残存	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
3号配石 (3区内)	1	深鉢 口縁～体 部中位	① 21.4 ② ③-	①明黄褐色変相；白 色粒・輝石③良好	体部中位に真形の把手を付す。隆帯を横位に繋ぎ四方より貫孔する中空状把 手である。口縁部横位隆線には剥落痕跡から小型の橋状把手を想定した。縄 文は LR 充填施文。器形と共に真系統の要素が強い。	後期初葉
3号配石 (3区内)	2	深鉢 口縁部	①・②・③-	①淡黄色変相；白色 粒・輝石③良好	口縁部横位細隆線に小型の橋状把手を付す。LR 充填施文	後期初葉
3号配石 (3区内)	3	深鉢 口縁部	①・②・③-	①淡黄色変相；白色 粒・褐色粒③やや軟 質	口縁部横位隆線を付す。体部は縄文施文か。器面磨減	後期初葉
3号配石 (3区内)	4	深鉢 口縁部	①・②・③-	①淡黄色変相；白色 粒・褐色粒③良好	口縁部横位隆線を付し、体部は縦位 LR を施す	後期初葉
3号配石 (3区内)	5	鉢 底部	①・②・③ 6.8	①鈍い黄褐色変相； 白色粒・石英③良好	無文で体部下平が強く開く。あるいは注口器か。内底面に棒状工具による 調整痕が集中する	後期初葉?

12区遺構外出土土器観察表 (後編：第2分冊 第298～305頁・P.145～150)

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
1	深鉢 口縁部	Cs-106 (162号土坑)	①・②・③-	①暗褐色変相；大粒の 石英多量や軟質	口唇部は肥厚し丸頭状を呈す。無文で補修孔を穿つ。外器面剥落多い。	早期
2	深鉢 底部	Cr-106 (44号住居内)	①・②・③-	①赤褐色変相；白色粒・ 石英・輝石多量③良好	縦位沈線群の下端部を見る	早期
3	深鉢 底部	Cr-109	①・②・③-	①明赤褐色変相；白色 粒③良好	尖底深鉢。底部突出し、端部にまで懸糸 L を施す	早期
4	深鉢 口縁部	Db-114	①・②・③-	①鈍い黄褐色変相；繊 維・白色粒③良好	口唇部と直下の横位細隆線に刻みを付す。懸糸 L と R による矢羽状沈 線が弧状に配される。空白部には縦位短沈線を施す。内面研磨	前期初葉
5	深鉢 体部	Cr-103	①・②・③-	①鈍い褐色変相；繊維 ・白色粒③良好	横位間付 RL の多段施文	前前中葉
6	深鉢 底部	Cr-103	①・②・③-	①鈍い黄褐色変相；繊 維・白色粒③良好	底面に間付 RL を同心円状に施す	前前中葉
7	深鉢 口縁部	Da-110	①・②・③-	①鈍い褐色変相；繊維 少・白色粒③良好	口唇部欠損。直下に横位棒子状沈線が配され、以下は同沈線による三 角形状の意匠文が配される。円形刻文、小橋付文も付される	前期中葉
8	深鉢 口縁部下平	Db-127	①・②・③-	①黒褐色変相；繊維 ・白色粒・輝石③良好	平載状工具外皮連続押圧列状による口縁部変形構成か	前期中葉
9	深鉢 体部下平	Db-127	①・②・③-	①鈍い褐色変相；繊維 ・白色粒・輝石③良好	正反の合照りによる菱形文構成。L < RL・LR と R < RL・LR	前期中葉
10	深鉢 体部	Db-127	①・②・③-	①褐色変相；繊維・白 色粒③良好	正反の合照りによる菱形文構成。L < RL・LR と R < RL・LR	前期中葉
11	深鉢 体部上半	Cr-116	①・②・③-	①褐色変相；白色粒・ 片岩少③良好	刻みを付す横位隆線を多段に配し、側縁には内皮連続刻文を施す。	前期中葉
12	深鉢 口縁～体部	Cr-117	①・②・③-	①明褐色変相；白色粒・ 輝石③良好	口唇部向頭状をなす。口唇部は横位 LR を見るが、口縁～体部は縦位 LR が覆う。内面研磨により平滑	前期中葉
13	深鉢 口縁部	Dc-127	①・②・③-	①明赤褐色変相；白色 粒・輝石③良好	薄手の器厚で、口縁部強く外反する。横位 RL が器面を覆う	前期中葉
14	深鉢 口縁部	Dd-130	①・②・③-	①暗褐色変相；石英・ 雲母多量③良好	頸部屈曲。小型の内皮平行沈線で画された幅狭の口縁部文様帯を斜角 字文が充填し、斜位沈線を加える。	前期中葉
15	深鉢 口縁部	Dd-130	①・②・③-	①暗褐色変相；石英・ 雲母多量③良好	口縁部非対称後期初葉な波状突起より、斜位短沈線を施す隆線が垂下す る	前期中葉
16	深鉢 底部	Dd-130	①・②・③-	①鈍い赤褐色変相；石 英・雲母多量③良好	内皮平行沈線による横位沈線で画された頸部を縦位沈線が埋める。地 文は横位 LR	前期中葉
17	深鉢 口縁部	Cr-119	①・②・③-	①鈍い赤褐色変相；白 色粒・石英③良好	筒状の器形か。口唇部と口縁部下に三角連続刻文を横位に施す。以 下内皮平行沈線と縦位平行沈線が連続する。小橋付文は横位 RL	前期中葉
18	深鉢 体部中位	Cs-110	①・②・③-	①褐色変相；白色粒・ 石英多量③良好	懸垂文構成。隆線による縦位波状文を小円状付文を配した横位隆線 が繋ぐ。空白部は横位刻み目列を施す	前期中葉
19	深鉢 体部上半	Cr-121	①・②・③-	①明赤褐色変相；白色 粒・石英多量③良 好	横位隆線に付けられた突起より1条の隆線が懸垂する。横位隆線上位 数線は単列の結節沈線。体部はヒダ状沈線が横位に連続する	前期中葉
20	深鉢 体部	Cr-110	①・②・③-	①鈍い黄褐色変相；白 色粒・石英・雲母・輝 石③良好	垂下隆線による懸垂文構成。あるいは波状隆線か。横位刻み目列を多 段に配す	前期中葉

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
21	深鉢 口縁部	Db-118	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	太い隆帯による口縁部分帯。渦巻文を付す。区画内の側縁は沈線。地文は斜位懸糸L	中期後葉
22	深鉢 口縁部	Cs-107	①-②-③-	①灰赤色②粗:白色粒・片岩③良好	口縁部渦巻状突起を中核に2条隆線による区画文が配される。沈線を側縁とし、地文は横位懸糸Lを施す	中期後葉
23	深鉢 口縁部	Cr-117	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部に2条の沈線が沿い、上位2条に斜位交互刺突文が重なる。以下沈線による渦巻文が配される。地文は懸糸L	中期後葉
24	深鉢 口縁部	Cr-117	①-②-③-	①暗赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文構成。区画内の側縁は沈線。斜位短沈線を充填する	中期後葉
25	深鉢 口縁部	Cr-117	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部2帯構成。おそらく区画文構成。沈線を側縁とし横位短沈線を充填する	中期後葉
26	深鉢 口縁部	Cr-104	①-②-③-	①暗褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線による渦巻文構成。文様帯下部に配される。区画側縁は沈線。横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
27	深鉢 口縁部	Cs-100	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石多③良好	口縁部端部面を持ち、突出する。隆線による渦巻文と区画文構成。区画内の側縁は沈線。横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
28	深鉢 口縁部	Cr-101	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部区画文。区画側縁は沈線。斜位短沈線を充填する。区画接点下位に沈線による小渦巻文を配す	中期後葉
29	深鉢 口縁部	Dd-118	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒多・輝石多③やや軟質	2条隆線による口縁部渦巻文と横位区画文構成。隆線接点と渦巻文下端が瘤状に突出する。区画内は沈線を側縁とし、横位矢羽状短沈線を充填する	中期後葉
30	深鉢 口縁部	Cr-100	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:小輝石・白色粒・輝石③良好	口縁部内湾、横位沈線が口縁部に沿い、横位矢羽状短沈線を充填する区画文構成	中期後葉
31	深鉢 口縁部	Cq-102	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部区画文と渦巻文構成。渦巻文内縁には円形刺突文、区画内は沈線を側縁とし、横位Lを充填する。頸部無文	中期後葉
32	深鉢 口縁部	Cs-100	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。側縁は沈線。地文は懸糸L	中期後葉
33	深鉢 口縁部	Cp-98	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条隆線による口縁部渦巻文。空白部は斜位短沈線を充填する。側縁は沈線	中期後葉
34	深鉢 口縁部	Cr-117	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線による口縁部弧状隆線。あるいは渦巻状隆線。空白部には隆線による対向する朝先状の小意匠が配される。地文は斜位条巻か	中期後葉
35	深鉢 口縁部	Dc-119	①-②-③-	①暗灰色②粗:白色粒・輝石多③良好	2条の縦位隆線で囲まれた口縁部区画構成。おそらく区画文構成。斜位沈線と斜位刺突文による横位矢羽状短沈線を充填する。頸部無文	中期後葉
36	深鉢 口縁部-体部	Cq-105	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	口縁部区画文構成。沈線と横位Lを充填する。体部は垂下沈線2条に画された酒器部懸垂文構成。横位Lを充填する	中期後葉
37	深鉢 口縁部	Cs-113	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部渦巻文と区画文構成。頸部は2条隆線。渦巻文下に横位短沈線。区画内は沈線を側縁とし横位短沈線を埋める。体部は横位波状沈線と地文横位Lを施す	中期後葉
38	深鉢 口縁部	Cs-101	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	2条隆線による口縁部楕円状区画文構成。側縁は沈線。横位Lを充填する。体部は2条の垂下沈線と横位短沈線による懸垂文構成。口縁部に補修孔を見る	中期後葉
39	深鉢 口縁部	Cq-103	①-②-③-	①灰褐色②粗:白色粒・雲母・輝石③良好	2条隆線による口縁部弧状区画。区画内は無文で側縁は沈線。体部は2条の垂下沈線による懸垂文構成。LR横位充填無文	中期後葉
40	深鉢 口縁部	Cq-102	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部区画文と渦巻状隆線。区画内の側縁は沈線。横位Lは横位L。体部は垂下沈線による懸垂文構成か。横位波状沈線も加わる。横位Lを施す	中期後葉
41	深鉢 口縁部	Cs-101	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	口縁部に1条の横位沈線を設ける。以下隆線による渦巻文と区画文構成。区画側縁は沈線。横位短沈線を充填する	中期後葉
42	深鉢 口縁部	Cp-102	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒③良好	口縁部直立し体部強く張る。2条の縦位隆線が付せられる。突起割落痕を見るが形状は不明	中期後葉
43	深鉢 口縁部	Cr-117	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部下に2条の横位沈線を配し、垂下沈線が懸垂する。地文は斜位懸糸L	中期後葉
44	深鉢 口縁部	Cr-107	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	小型の波状突起が突出する。突起頂部は凹む。口縁部に横位沈線2条が沿い、横位LRを地文とする	中期後葉
45	深鉢 口縁部	Cr-100	① 20.0 ②-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部外縁し、浅い沈線による横位波状文を配す。頸部2条の沈線間を円形刺突文が隔てる。体部は沈線上部を見るが判断しとしい	中期後葉
46	深鉢 口縁部	Cr-107	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	波状隆線。口縁部に沿って、交互刺突文を配す。腹底部には横位弧状短沈線を施す。頸部隆線側縁は沈線。地文は横位L	中期後葉
47	深鉢 口縁部	Cs-108	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部内湾し無文。体部は横位LRを施す	中期後葉
48	深鉢 口縁突起	Cs-104	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒多・輝石③良好	波状突起。口縁部端部に面を持ち、沈線を重ねる。突起部は肥厚し、沈線による渦巻文を配す。直下に大形の円孔を設ける	中期後葉
49	深鉢 体部	Cs-104	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	3条の横位沈線による分帯。上位は横位波状沈線下位は横位波状沈線が配される。地文は横位LR	中期後葉
50	深鉢 体部上半	Cs-113	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	3条の横位沈線を頸部に配し、体部は沈線による渦巻文を中核とした3条の沈線層が懸垂する。横位波状沈線1条も加わる。地文は横位LR	中期後葉
51	深鉢 胴-体部	Dc-120	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	頸部隆線側縁。体部は3条の沈線による弧状あるいは渦巻状意匠。内縁に斜位沈線を施す。地文は横位LR	中期後葉
52	深鉢 体部	Cr-109	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	内皮平行沈線による弧状意匠。あるいは渦巻状意匠か。地文は横位LR	中期後葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
53	深鉢 頭~底部	Cs-113	①-②-③ 9.4	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	胎文は内皮平行沈線。頸部は3条の縦位沈線。体部は4・5条の垂下沈線による懸垂文構成。上端に小渦巻文を配す。地文は縦位RL。	中期後葉
54	深鉢 体部	Cs-101	①-②-③	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成か。空白部は3条の沈線による弧状意匠が配され、末期に小渦巻文・刺先状意匠を接続する。地文は縦位懸垂L。	中期後葉
55	深鉢 体部	Cr-118	①-②-③	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	体部内湾部。隆線による弧状意匠か。側線沈線。地文は縦位LR。あるいは上製円盤か。	中期後葉
56	深鉢 体部	Cs-107	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・片岩粒多③良好	2条隆線による弧状意匠。下端より垂下隆線が派生する懸垂文構成か。側線は沈線。地文は縦位懸垂L。	中期後葉
57	深鉢 体部中位	Cr-117	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条沈線による懸垂文構成。空白部に沈線3条でクラウク状意匠を配す。地文は縦位RL。	中期後葉新
58	深鉢 体部	Ds-109	①-②-③	①明褐色②粗:白色粒・石英③良好	縦位波状隆線及び垂下沈線3条による懸垂文構成。隆線側線は沈線。地文は縦位RL。	中期後葉
59	深鉢 体部中位	Cq-105 p 105	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・褐色粒③良好	小型の深鉢か。縦位波状隆線による懸垂文構成。LRを斜位施文する。	中期後葉
60	深鉢 体部中位	Cs-102	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	2条隆線による縦位楕円状連接による懸垂文構成。縦位波状隆線も加わる。側線は沈線。地文は斜位層状沈線及び横位・縦位RLが施される。	中期後葉
61	深鉢 体部	Cs-107	①-②-③	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	ソーン状隆線を縦位に貼付する。地文は無印L横位施文。	中期後葉
62	深鉢 体部	Cs-101	①-②-③	①明褐色②粗:白色粒・輝石③良好	体部中位と下半に2条の沈線による弧線が配され、同沈線による懸垂文が派生する。地文は縦位懸垂L。	中期後葉
63	深鉢 体部下平	Cr-100	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	垂下沈線による懸垂文構成か。破片上端には横位弧状沈線を見る。空白部は乱雑な波状意匠を施す。	中期後葉
64	深鉢 体部	Cr-116	①-②-③	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	幅広い沈線2条による横位弧状意匠。あるいは連弧文か。地文は平行沈線密接施文による縦位矢羽状文。	中期後葉
65	深鉢 体部	Cs-102	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	垂下沈線による懸垂文構成か。沈線上端に半小渦巻状意匠を配す。大柄の弧状沈線も配される。地文は縦位波状密接施文。	中期後葉
66	深鉢 体部中位	Dc-128	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	横位沈線で画された幅狭の文様帯内を3条の沈線による連弧文が配される。円形刺突文も加える。地文は縦位密接施文。	中期後葉
67	深鉢 体部中位	Cq-106	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	体部中位に横位沈線と弧状沈線による楕円状意匠を配す。以下横位波状文を施す。地文は縦位懸垂L。	中期後葉
68	深鉢 体部上半	Cs-107	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	体部上半を2条の横位沈線で画し、体部は2条沈線による連弧文が配される。空白部は横位矢羽状沈線を埋める。	中期後葉
69	深鉢 体部	Cq-102	①-②-③	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	縦位矢羽状沈線が覆う。	中期後葉
70	深鉢 体部	Cs-105	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	垂下する2条の沈線による懸垂文構成。空白部は浅い斜位沈線を施す。	中期後葉
71	深鉢 体部	Cr-100	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	垂下沈線による懸垂文構成と2条沈線による磨消部弧状意匠。空白部は縦位矢羽状沈線を埋める。	中期後葉
72	深鉢 体部	Cq-99	①-②-③	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	3条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位矢羽状沈線を充填する。	中期後葉
73	深鉢 体部上半	Cr-100	①-②-③	①赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	隆線による口縁部区画文構成か。側線は沈線。区画内は斜位沈線下端を見る。体部は横位矢羽状沈線を充てる。	中期後葉
74	深鉢 体部下平	Cr-117	①-②-③	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	垂下隆線1条による懸垂文構成。側線は沈線。空白部は斜位沈線を埋める。内面灰化物附着。	中期後葉
75	深鉢 体部上半	Cs-106	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	2条隆線による弧状意匠。あるいは口縁部区画文か。下端より垂下隆線2条が派生する懸垂文構成か。側線は沈線。空白部は縦位矢羽状沈線を施す。	中期後葉
76	深鉢 体部	Cs-106	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条の垂下隆線による懸垂文構成か。空白部は内皮平行沈線による弧線文や、沈線三文文による半内形手法で龍行文や円文を描出す。	中期後葉
77	深鉢 体部	Cs-105	①-②-③	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条隆線による弧状意匠が接続する。あるいは渦巻状意匠か。側線は沈線。刺突文を充填する。	中期後葉
78	深鉢 体部上半	Cr-108	①-②-③	①赤褐色②粗:白色粒多・石英・雲母③やや軟質	狭く内湾する体部。2条隆線による弧状意匠と小渦巻文を主幹とし、隆線隆2条の半渦巻文や縦位波状隆線が貼付される。弧状意匠内縁は沈線と刺突文が沿う。空白部は縦位沈線を充填する。	中期後葉
79	深鉢 体部中位	Cs-102	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	隆線による渦巻状意匠。側線は沈線。空白部は斜位短沈線を埋める。	中期後葉
80	深鉢 体部上半	Cq-105 Cp-105 Cq-106	①-②-③	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	頸部外反部を横位隆線と沈線で画す。体部は2条隆線による渦巻文と懸垂文。空白部は横位沈線による多段区画文構成。弧状沈線も配される。地文は縦位懸垂L。	中期後葉
81	深鉢 体部下平	Cq-101	①-②-③	①褐色②粗:白色粒・雲母③やや軟質	2条沈線と縦位波状沈線による懸垂文構成。縦位RLを施す。器面磨滅。	中期後葉
82	深鉢 底部	Cs-113	①-②-③ 12.8	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・輝石多③良好	2・3条の垂下沈線による懸垂文構成で下端部。縦位波状沈線も配される。地文は縦位RL。底面に棒状圧痕を見る。	中期後葉
83	深鉢 体~底部	Cs-113	①-②-③ R1	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	4条の垂下沈線による懸垂文構成。縦位波状沈線も配される。垂下隆線下端部の可能性もある。地文は縦位懸垂L。	中期後葉

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
84	深鉢 体~底部	Ct-117	①-②-③ 7.5	①赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	2条の垂下沈線による懸垂文構成。斜位沈線は縦位波状沈線の下端部か。僅かに縦位 RL を見る	中期後葉
85	深鉢 底部	Cs-105	①-②-③ 10.0	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	縦位 RL を施す。内面に油煙状の炭化物が付着	中期後葉
86	深鉢 口縁~体部 上半	Cq-103	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	隆線による渦巻文と楕円状区画文構成。沈線を側線とし、横位 RL を充填する。体部は垂下沈線と横手状沈線による懸垂文構成。縦位 RL を見る	中期後葉
87	深鉢 口縁~体部 上半	Cq-101	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	隆線による口縁部渦巻文と楕円状区画文構成。渦巻状突起は5単位を数える。幅広の沈線を側線とし、横位 RL を充填する。体部は沈線による大柄の弧状突起と逆U字状懸垂文と横手状突起文が配される。突起上端は意図的な欠損であり、口縁部周辺の加熱痕跡から、埋土が等の施設に供された例と考えられる	中期後葉
88	深鉢 口縁~体部 上半	Ct-120・ Da-120	① 42.0 ②- ③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・石英・輝石③良好	低位隆線による口縁部楕円状区画文と渦巻状突起。側線は沈線。体部は2条隆線による区画文構成か。LR 充填施文。隆帯・無文部に研磨を加える。油煙状の黒色付着物が顕著	中期後葉
89	深鉢 口縁~体部 上半	Cp-100	① 40.0 ②- ③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	隆線による口縁部半渦巻文と区画文構成。区画内の側線は凹線。横位 RL を充填する。体部は2条の垂下沈線で画された磨消部懸垂文構成。縦位波状沈線も配される。縦位 RL 充填施文	中期後葉
90	深鉢 口縁部	Cr-103	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	波状突起を付し、隆線による口縁部楕円状区画文を配す。側線は凹線、RL 充填施文	中期後葉
91	深鉢 口縁部	Cs-102	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	隆線による口縁部楕円状区画文構成。側線は沈線、RL 充填施文	中期後葉
92	深鉢 口縁部	Cq-102	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒多・石英・雲母少量③良好	隆線による口縁部楕円状区画文構成。側線は撫で、横位 RL を充填する	中期後葉
93	深鉢 口縁部	Cs-108	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	波状突起を付す。口縁部隆線による渦巻文と区画文構成。体部は垂下沈線による懸垂文構成か。縄文は口縁部斜位・体部縦位 RL	中期後葉
94	深鉢 口胴部	Cp-101	①-②-③-	①淡褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口胴部欠損。隆帯による口縁部区画文構成。側線は凹線。区画内は無文か。体部は縦位密接条線を施す	中期後葉
95	深鉢 口縁部	V層中	①-②-③-	①明灰褐色②粗:白色粒・石英・角礫③良好	波頂部に設けられる大型の楕円把手。口胴部に沈線が沿い下端に連続的突文が重なる。縄文は RL 充填施文	中期後葉
96	深鉢 口縁部	Cr-100	①-②-③-	①淡黄色②粗:白色粒・石英・雲母・輝石③良好	波頂部に付けられた楕円把手。体部は RL を充填する	中期後葉
97	深鉢 口頸部	Cr-103・ Cs-103	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒③やや軟質	頸部隆線に付けられる大型の楕円把手。断面薄減。内面凹凸多い	中期末葉
98	深鉢 口縁部	Cp-103	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	波状突起下に隆線による渦巻文を配す。区画側線は凹線。横位 RL を充填する	中期後葉
99	深鉢 口縁部	Cq-100	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	波状突起を付す。波頂下に隆線による渦巻文を配す。側線は凹線、RL 充填施文。突起部に内文を施す	中期後葉
100	深鉢 口縁部	Cq-102	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	波状突起下に隆線による渦巻文を配す。強い凹線が沿い、隆線上に横位 RL が及ぶ。突起内面は沈線による渦巻文が施される	中期後葉
101	深鉢 口縁部	Cq-101	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色粒・石英③良好	外反気味に突出する波状突起下に隆線による渦巻文を配す。側線は撫で、RL を充填施文する	中期後葉
102	深鉢 口縁部	Cq-99	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒多・石英③良好	口縁部外反し無文。口頸部は隆線による円形区画と楕円状区画が配される。区画内は縦位・斜位 RL を充填する。体部は縦位密接条線が覆う	中期後葉
103	深鉢 口頸部	Cp-101	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒多・石英③良好	隆線による口縁部多段区画文構成。区画内の側線は撫で、縄文は横位 RL 充填施文	中期後葉
104	深鉢 口縁部	Cp-99	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色粒③良好	口縁部内溝する。沈線による逆U字状突起と横手状懸垂文か。縄文は LR 縦位充填施文	中期後葉
105	深鉢 口縁部	Cp-99・ Cp-98	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色粒③良好	口縁部内溝する。沈線による逆U字状突起と横手状懸垂文か。縄文は LR 縦位充填施文	中期後葉
106	深鉢 体部中位	Cr-107	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英③良好	2条の沈線による縦位楕円状区画。中位に横手状沈線あるいは縦位 S 字状沈線を充てる。縦位 RL を施す	中期後葉
107	深鉢 体部上半	Cp-99	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色粒多・石英③良好	押圧状の横位刺突文列以下、細隆線による逆U字状突起。側線は凹線、RL 縦位充填施文	中期後葉
108	深鉢 体部上半	Co-100	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色粒③良好	頸部隆線以下、隆線による不整形区画文構成か。側線は撫で、RL 縦位充填施文	中期後葉
109	深鉢 体部上半	Cq-101	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・石英・雲母③良好	細隆線による逆U字状懸垂文か。縦位 LR 充填施文	中期後葉
110	深鉢 頸部~体部	Cr-102	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	外反する体部上半。横位細隆線に凹線が沿う。以下体部は2条沈線に画された磨消部懸垂文構成。RL 縦位充填施文	中期後葉
111	深鉢 体部中位	Cp-99	①-②-③-	①明黄褐色②粗:白色粒・石英③良好	2条の垂下沈線に画された磨消部懸垂文構成。RL 縦位充填施文	中期後葉
112	深鉢 体部中位	Cp-99	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・雲母③良好	3条の垂下沈線による磨消部懸垂文構成。LR 縦位充填施文	中期後葉
113	深鉢 体~底部	Cs-99	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	3条の垂下沈線で画された磨消部懸垂文構成。縄文は縦位 RL 充填施文	中期後葉

出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
114	深鉢 体部	Cr-103	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色 粒多・輝石③良好	垂下沈線3条による懸垂文構成。下平は縦位波状密接条線が埋める。縦位LR充填施文	中期後葉
115	深鉢 体部	Cr-103	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色 粒多・石英多・雲母 ③やや軟質	垂下沈線2条による懸垂文構成。付加条LR+Lを縦位充填施文する	中期後葉
116	深鉢 底部	Cs-105	①-②-③- 6.2	①褐色②粗:白色粒・ 石英少・輝石③良好	2条の垂下沈線に両された滑消部懸垂文構成。縦位LRを充填する	中期後葉
117	深鉢 底部	Cs-105	①-②-③- 6.2	①褐色②粗:白色粒多・ 輝石・雲母少③良好	器面磨滅。2・3条の垂下沈線下端部を見る。	中期後葉
118	深鉢 台部	Cr-105	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色 粒③良好	小型の台付き深鉢か。脚部は細身で縦位施文を入念に施す。無文	中期後葉?
119	深鉢 底部	Cp-102	① 6.4 ②-	①鈍い褐色②細:白色 粒・輝石③良好	台付き深鉢脚部。比較的強く開く。体部は縦位沈線下端部を見る。内面、底化物付着	中期後葉
120	深鉢 底部	Ca-110	①-②-③- 5.0	①褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	台付き深鉢脚部。短く開く。底部器厚厚手。外面は無文	中期後葉
121	深鉢 体+底部	Ca-106	①-②-③- 6.6	①明褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	強く開く体部下平。縦位密接条線が縦	中期後葉
122	鉢 口縁部-体 部上半	Cp-99	① 32.0 ②- ③-	①黒褐色②細:白色粒・ 石英・輝石③良好	口縁部は無文。頸部に2条の突出した横位隆線と設け、小型の楕状把手を付す。体部は幅広い沈線による弧状・円形意匠か。内外面とも磨削により平滑に仕上げ	中期後葉
123	鉢 口縁部	Cq-100	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③良好	強く内傾する口縁-体部。口縁下部に横位細隆線を付し、小型の楕状把手を設ける。把手下端より細隆線が分岐発生	中期未葉?
124	深鉢 口縁部	Cr-110	①-②-③-	①鈍い褐色②細:白色 粒・輝石③良好	弧状縁。波頂部に半渦巻状突起を配し両下端より口縁部横位細隆線が派生する。突起上にはLRを施す。突起内面は横位隆線を弧状に付す	後期初期
125	深鉢 口縁部	Cr-111	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色 粒・石英・雲母少③	波頂部に設けられた楕状把手。両下端より口縁部横位細隆線が派生する。体部は細化粒で割された施文面・滑消部の渦巻状意匠が配される。LRを充填する	中期未葉
126	深鉢 口縁部突起	Cr-101	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	内面意味に突出する。両側面に円文と沈線を施す。外面は縦位LRを充填し、下端に横位隆線を巻く。内面器壁割落	中期未葉?
127	深鉢 口縁部突起	Cr-101	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色 粒・輝石③良好	8字状突起。口縁部に沿う円形刺突文	後期初期
128	深鉢 口縁部	Cq-100	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	波頂部に大型の半渦巻状突起を付す。口縁部横位細隆線が派生し、体部にはLRを充填する。突起内面は中位に円文を配す	後期初期
129	深鉢 口縁部突起	Co-99	①-②-③-	①明黄褐色②粗:白色 粒・雲母少③良好	大柄の8字状突起。口縁部横位沈線。刺突文を施す。突起内面中位刺突文と弧状沈線を配す	後期初期
130	深鉢 体部+底部	Dc-115	①-②-③- 7.3	①褐色②粗:白色粒・ 石英・黒色粒③やや軟 質	体部上半に大型の楕状把手を設ける。単位は不明。無節Lを縦位施文するが、器面磨滅のため判然としな	中期未葉
131	深鉢 口縁部	Cr-100	①-②-③-	①鈍い褐色②細:白色 粒・輝石③やや軟質	あるいは波状縁か。口縁部は無文で直立意味に外反する。横位細隆線以下細隆文LRを縦位に施す	後期初期?
132	深鉢 口縁部	Cr-110	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・ 褐色粒・輝石③良好	口縁部横位細隆線は比較的整った貼付。体部は横位LRを施す。	中期未葉
133	深鉢 口縁部	Co-100	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色 粒・石英・輝石③良好	口縁部横位細隆線以下、縦位LRが施す	中期未葉・ 後期初期
134	深鉢 口縁部	Cp-102	①-②-③-	①鈍い褐色②細:白色 粒③良好	口縁部横位細隆線以下垂下沈線に両された滑消部懸垂文構成。LR縦位充填施文	中期未葉
135	深鉢 口縁部	Cq-100	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	口縁部横位細隆線に小突起が付され、垂下隆線が派生する。縦位LR充填施文	中期未葉?
136	深鉢 口縁部	Cl-106	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 石英・輝石③良好	波状縁か。口縁部横位細隆線以下LRを充填施文する	中期未葉
137	深鉢 口縁部	Co-99	①-②-③-	①明黄褐色②粗:小礫・ 石英③良好	口唇部やや歪む。口縁部横位細隆線以下、縦位LRを施す	中期未葉・ 後期初期
138	深鉢 口縁部	Co-100	①-②-③-	①明褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口縁部横位細隆線に小突起を付す。体部は縦位LRを充填する	中期未葉・ 後期初期
139	深鉢 口縁部	Da-110	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口縁部横位細隆線以下縦位LRを充填施文する。破片左端に横位隆線に突起を付す丸を見る	中期未葉
140	深鉢 口縁部	Cr-105	①-②-③-	①赤褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口縁部横位細隆線を設ける。体部は無文	中期未葉?
141	深鉢 口縁部	Cs-110	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色 粒・石英・雲母少③ 良好	口縁部横位細隆線に小突起を付し、両下端より2条の弧状隆線が分岐懸垂する。縄文は縦位LR充填施文	中期未葉
142	深鉢 口縁部	Cs-109・ 110	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 石英多③良好	傾みを施す口縁部横位細隆線に円形貼付文を付す。下端より垂下隆線が派生する体部懸垂文構成。頸白部に幅広い横位刺突文を埋める	中期未葉? 後期初期?
143	深鉢 口縁部下	Cp-101	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色 粒多・石英③良好	口縁部突起より横位弧状の頸部隆線が派生する。体部は1条の垂下沈線による懸垂文構成か。無節L縦位施文	中期未葉
144	深鉢 口縁部	Cr-100	①-②-③-	①浅黄褐色②粗:白色粒・ 石英・雲母③良好	内湾する口縁部に横位隆線を付し沈線を無線とする。以下縦位LRを充填する	中期未葉
145	深鉢 体部上半	Cq-104	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 石英多・雲母少③良好	弧状隆部。楕円状区画文か。以下体部にはLRを不方向性に施文する	中期未葉?
146	深鉢 口縁部	Cq-101	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・ 輝石③良好	口縁部横位細隆線下部に横位LRを施す以下沈線で割された弧状意匠あるいは渦巻状意匠を配す。LR充填施文	中期未葉

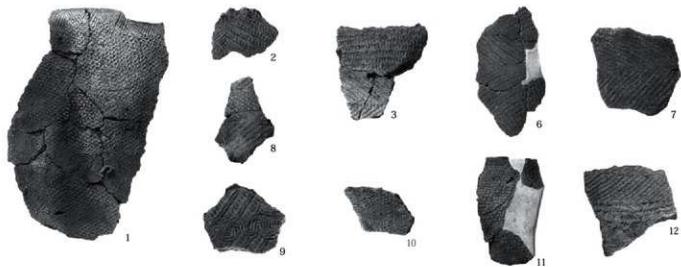


番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
147	深鉢 口縁部	Ct-112	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石③良好	沈線で割された施文部・無文部の渦巻状意匠か。施文部は無彫り位位充填施文。破片左端に貼付文の痕跡を見るが判然としない	後期初葉
148	深鉢 口縁部	Cq-101	①-②-③-	①浅い赤褐色②細:白色粒・雲母少量③良好	波状線、口縁部内湾し、沈線で割された磨消部弧状意匠あるいは渦巻状意匠を配す。RL 充填施文	中期末葉
149	深鉢 体部	Cp-101	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石③良好	沈線で割された磨消部弧状意匠か。あるいは渦巻状意匠。LR 斜位充填施文	後期初葉
150	深鉢 体部中位	Cs-103	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	2条の細沈線で画された磨消部弧状意匠か。縄文は RL 充填施文	中期末葉・ 後期初葉
151	深鉢 体部中位	Co-100	①-②-③-	①褐色②細:白色粒・輝石③良好	沈線で割されたリ字状区画が懸架する。区画内は縦位・斜位 LR 充填施文	中期末葉・ 後期初葉
152	深鉢 口縁部	表採	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・石英③良好	波状線、波頂部下に沈線で割されたリ字状意匠と逆U字状意匠が配される。LR 充填施文	中期後葉
153	深鉢 口縁部上半	Co-100	①-②-③-	①灰赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	沈線を割線とした施文部と磨消部の交互配列。紡錘状の区画意匠か。細縄文 LR を充填する	後期初葉
154	浅鉢 口縁部～体部	Cs-105	① 28.4 ② 9.8	①明赤褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	口縁部に幅広い凹線が巡る。内外面とも丁寧な研磨を施す	中期後葉
155	深鉢 底部	Da-110	①-②-③ 9.8	①明赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	大型の深鉢か。厚手の器厚を呈し、体部下半は外反気味に開く。内外面とも丁寧な調整で	中期後葉?
156	深鉢 底部	Da-110	①-②-③ 7.0	①黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	厚手の器厚で量感ある印象を得る。体部下半は外反気味に開く。縦位 LR を施すか。判然としない	中期後葉?
157	深鉢 体・底部	Da-110	①-②-③ 9.0	①褐色②粗:白色粒・石英・褐色粒③良好	体部中位で僅かに屈曲する器形を見せる。底部は突出し、外反気味に立ち上がる。無文	中期後葉?
158	浅鉢 底部	Ct-117	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒多・石英③良好	外反気味に開く体部下半。内外面とも丁寧な研磨を施す	中期後葉
159	浅鉢 底部	Ct-117	①-②-③ 8.5	①黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	強く開く体部下半。無文で内外面とも丁寧な研磨を施す。外器面磨減	中期後葉
160	浅鉢 口縁部～体部	Da-118	①-②-③-	①鈍い赤褐色②粗:白色粒・石英多③良好	口縁部強く屈曲し上端に施文面を持つ。沈線による渦巻文が配される内外面とも丁寧な研磨を施す	中期後葉
161	器台 台部～脚部	Da-110	上径 14.0 下径 16.5 高 12.6	①明赤褐色②粗:白色粒・輝石③良好	台部極めて厚手。脚部は外反気味で、中位に径 1.8cm の円孔を 4 単位配す。脚端部は平坦	中期後葉
162	器台 台部～脚部	Da-116	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	脚部上半に 4 単位の孔を設ける。径は 1.5cm 程度か。台部上面は平滑	中期後葉
163	深鉢 口縁部	Dc-129	①-②-③-	①鈍い褐色②粗:白色粒・輝石③良好	口縁部下に横位沈線を測し、横位 LR を充填する。器厚薄手	後期中葉?
164	深鉢 底部	Cp-100	①-②-③-	①明赤褐色②粗:白色粒・片岩③良好	直立気味に外反する体部下半。無文で、底面に馴代痕を残す	後期前葉?
165	ミニチュア 土器	Cs-112	①-②-③ 2.5	①明赤褐色②粗:白色粒・石英③良好	深鉢底部のミニチュアか。縦位密接条線の下端部を見る	中期後葉
166	土製円盤 体部	Cr-100	①-幅:3.7	①明赤褐色②粗:白色粒・石英③やや軟質	体部破片を利用。周縁を丁寧に調整し、円形に仕上げた。縦位 RL か、器面磨減	中期後葉
167	耳栓	Ct-118	①-②-③-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石③良好	滑車状を呈し、上下面とも平滑に仕上げる。上面に微量の赤彩痕を見る	中期後葉
168	耳栓上部	Dr-99	上径:2.9	①鈍い赤褐色②細:白色粒・石英③良好	鉢状で上面に沈線による弧線文を配す	中期後葉?
169	耳栓	Ct-115	上径:1.8 下径:2.0	①鈍い褐色②細:白色粒・輝石③良好	小型の滑車状をなす。ほぼ中央に径 7mm 程の孔を丁寧に設ける。上下面はやや磨減するが、側面は平滑	中期後葉?
170	貝輪状土製 品	Co-99	①-厚:1.2 ②-	①鈍い黄褐色②細:白色粒・輝石③良好	やや幅広く凹凸ある仕上げ。無彫りしを施す	中期後葉?
171	貝輪状土製 品	不明	①-厚:0.9 ②-	①褐色②粗:白色粒・輝石③やや軟質	上下端部丸みを帯びる。LR を施す。磨減著しい	中期後葉?
172	貝輪状土製 品	Cq-100	①-厚:0.8 ②-	①褐色②粗:白色粒・輝石③良好	細片のため傾斜角度は不明。下端を強く調整する。LR を施す	中期後葉?
173	貝輪状土製 品	Cp-100	①-厚:1.0 ②-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	細片のため傾斜角度は不明。上端は内削ぎ状に調整。無彫りしを施す	中期後葉?
174	貝輪状土製 品	不明	①-厚:0.9 ②-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・褐色粒③やや軟質	縁身で、器厚もやや薄手。無彫りしか?施文箇所白色付着物が残る	中期後葉?
175	貝輪状土製 品	Cp-99	①-厚:0.9 ②-	①明黄褐色②粗:白色粒・石英・輝石③やや軟質	やや幅広く強い湾曲を示す。外面磨減	中期後葉?
176	貝輪状土製 品	Da-115	①-厚:0.7 ②-	①鈍い褐色②粗:白色粒・褐色粒③良好	あるいはミニチュア土器か。強く湾曲し、LR を施す	中期後葉?
177	深鉢 口縁部突起	Cq-101	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・雲母・輝石③良好	鳥頭状突起か。内面は嘴状に突出する。両側面とも円形刺突文を施す。赤彩が残る	中期末葉?
178	深鉢 口縁部突起	Dc-115	①-②-③-	①鈍い黄褐色②粗:白色粒・輝石③良好	鳥頭状突起か。両面に小双環状突起を配し、右側面は嘴表現をなす。上面に縦位 LR、外面には円形刺突文を施す	中期末葉?
179	甕 胴～体部	Dc-129	①-②-③-	①褐色②粗:白色粒・石英・輝石③良好	頸部は沈線で割された LR 施文部と磨消部による方形区画意匠を横位に繋ぎ、体部は LR 縦位・斜位施文	弥生中期

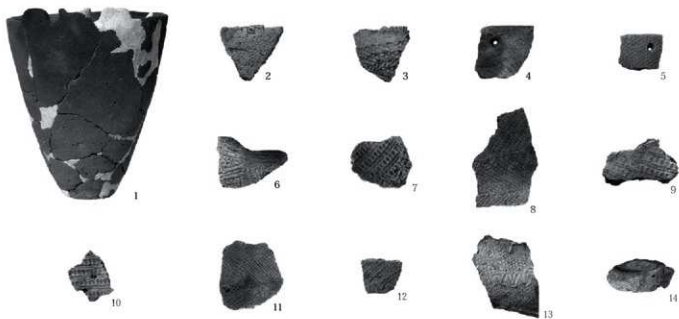
出土土器観察表

番号	器種・残存	出土位置	計測値 (cm)	①色調②胎土③焼成	文様の特徴	時期・特徴
180	甕 体部上半	Cs-108	①-②-③-	①鈍い橙色②微細：白色粒③型焼	胴部に纏描き波状文を横位に施す。体部外面は縦位研磨。内面は横位研磨で	弥生後期
181	甕 体部	Cr-108・ Cs-109	①-②-③-	①明黄褐色②微細：白色粒③型焼	緩やかな内湾を呈す。無文で粗い縦位研磨を施す。内面は横位研磨で	弥生後期
182	甕 体部	Cr-108・ Cr-109	①-②-③-	①橙色②微細：白色粒・輝石③型焼	無文。上半は横位削りか。下半は粗い縦位研磨。内面は横位研磨で	弥生後期
183	甕 口縁部	Db-114	①-②-③-	①鈍い黄褐色②微細：白色粒③良好	口唇部に横位の纏描き波状文。頸部屈曲部に縞状文を施す	弥生後期
184	甕 口縁部	Da-114	①-②-③-	①鈍い黄褐色②微細：白色粒・輝石③良好	口唇部に纏描き波状文を横位に配し。頸部屈曲部に縞状文を施す	弥生後期
185	甕 頸部	Da-114	①-②-③-	①鈍い黄褐色②微細：白色粒・輝石③良好	横位縞状文以下に纏描き波状文を横位に施す	弥生後期
186	甕 体部上半	Cq-105	①-②-③-	①鈍い橙色②微細：白色粒③良好	纏描き波状文を横位多段に施す	弥生後期
187	甕 体部～底部	Db-120 IV層上部	①-②-③-	①橙色②粗：白色粒③良好	体部中位が強く膨らむ。外面は粗で縦位研磨。内面横位研磨で	弥生

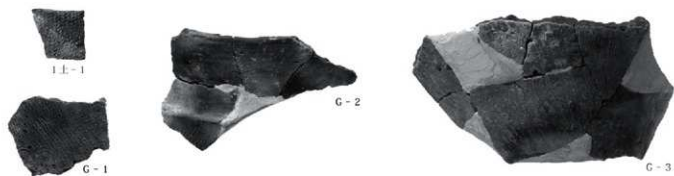
# 写 真 图 版



2区 1号住居出土土器



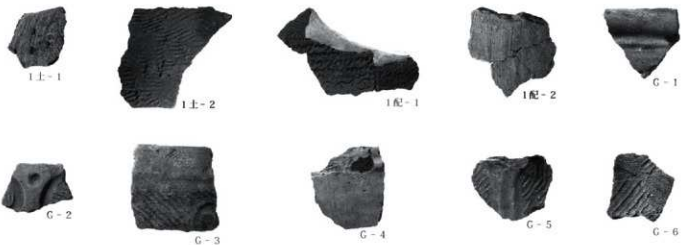
3区 1号住居出土土器



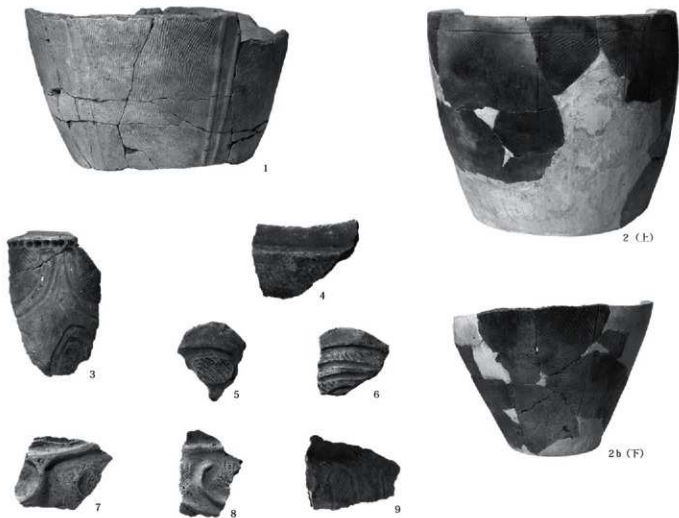
3区 出土土器



4区 1号・2号住居出土土器



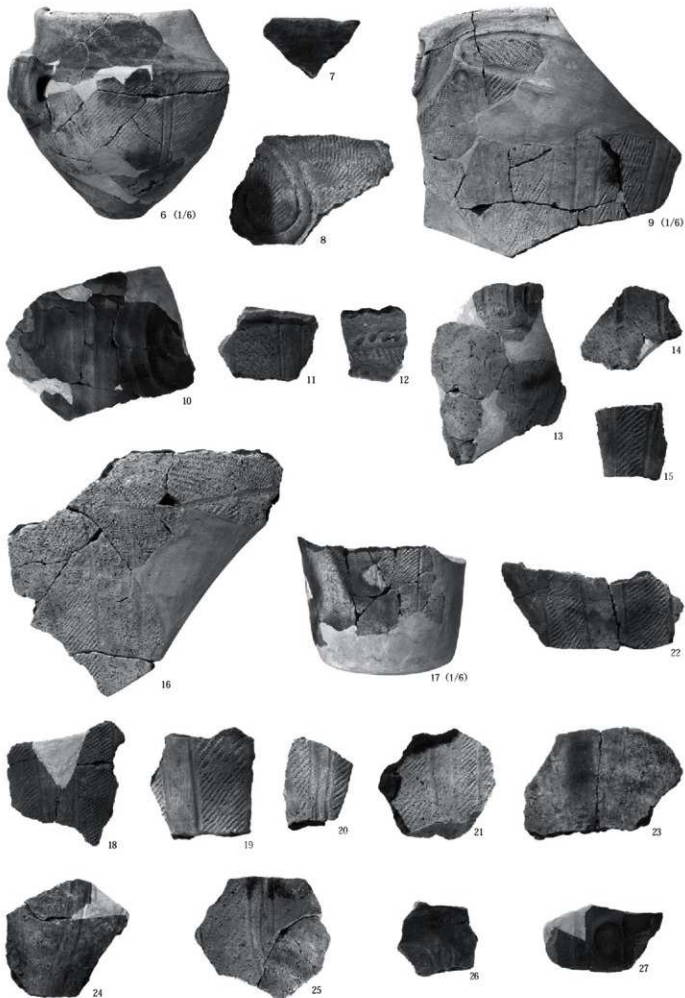
7区 出土土器



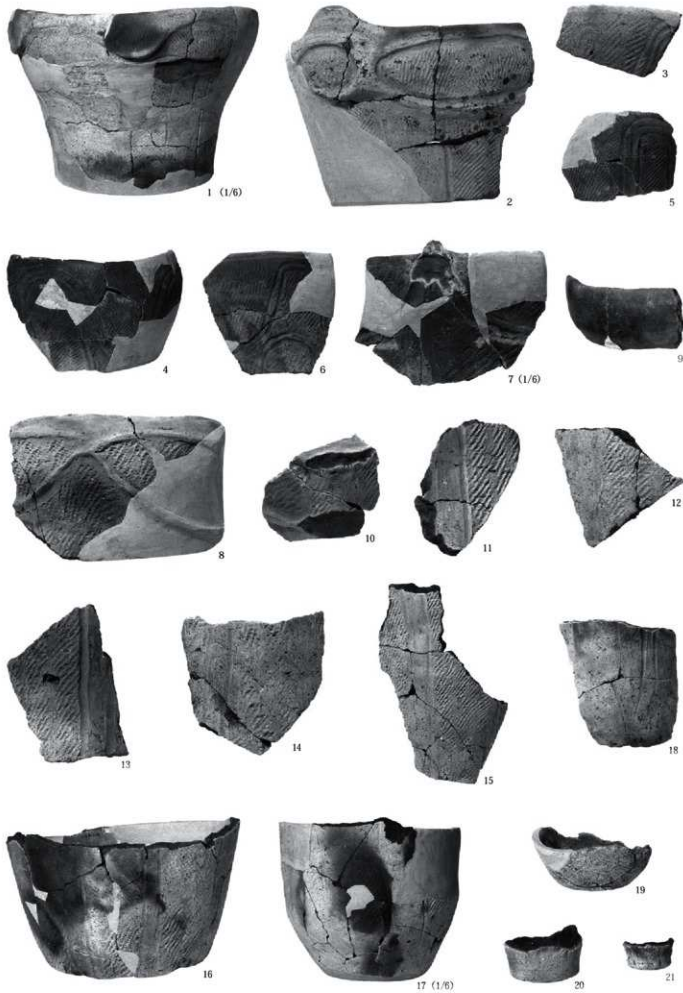
8区 1号住居出土土器



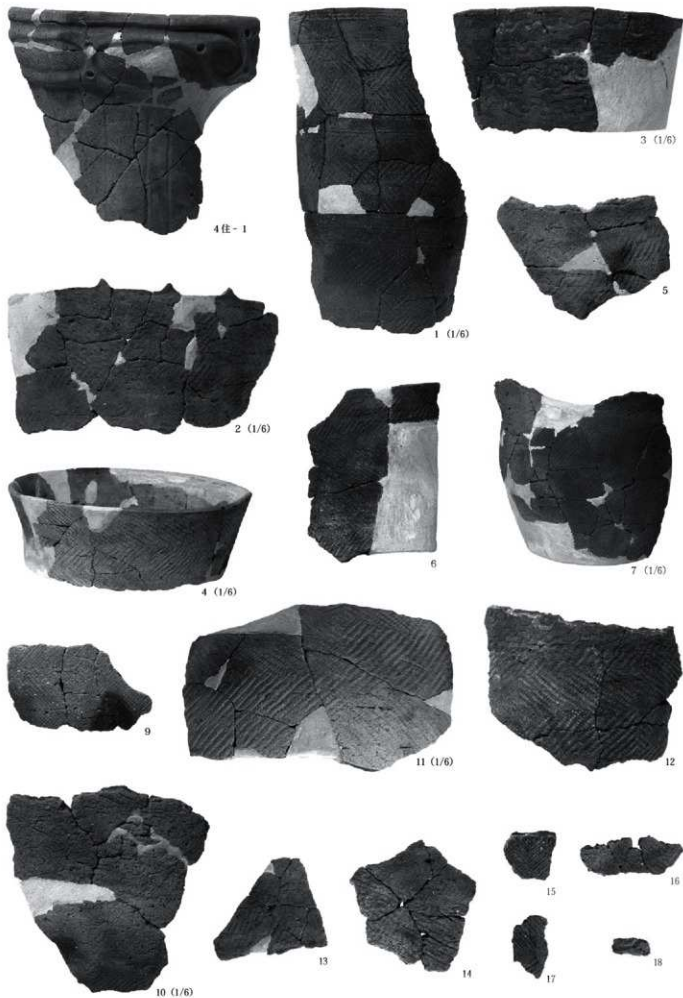
8区 2号住居出土土器 (1)



8区 2号住居出土土器(2)



8区 3号住居出土土器



8区 4号・5号住居出土土器 (1)





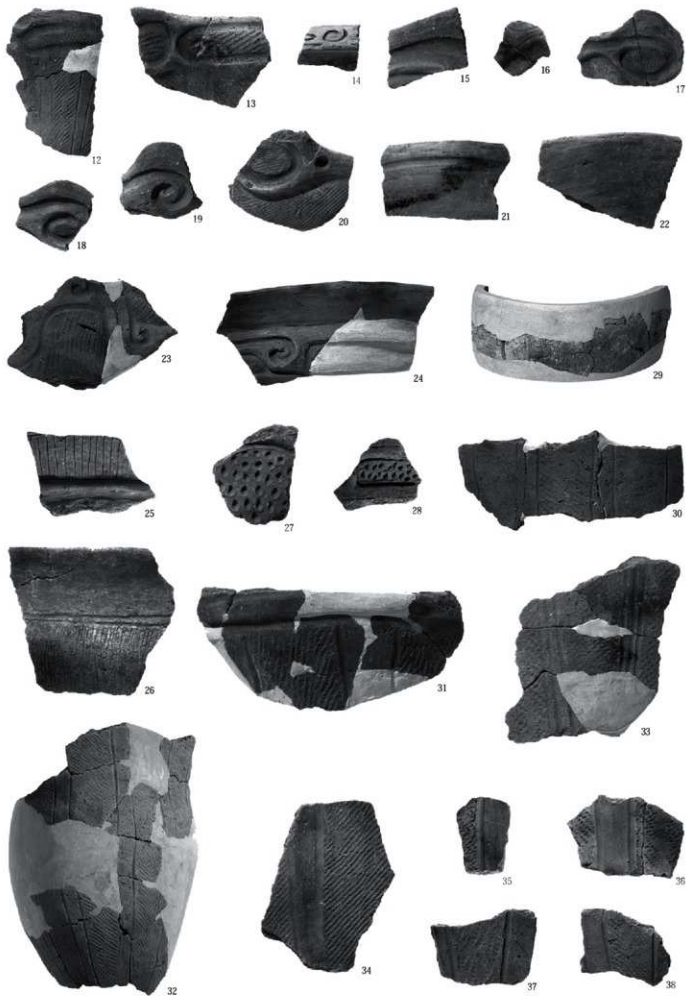
8区 5号住居出土土器(2)



8区 6号住居出土土器



8区 7号住居出土土器(1)

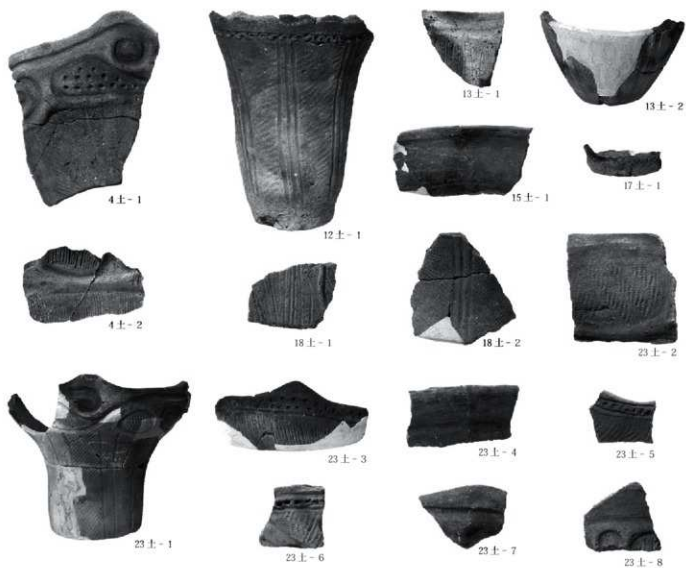




8区 7号住居出土土器(3)



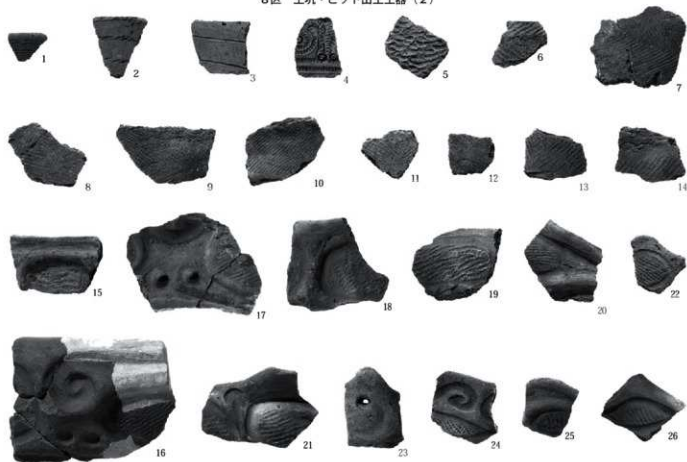
8区 8号住居出土土器



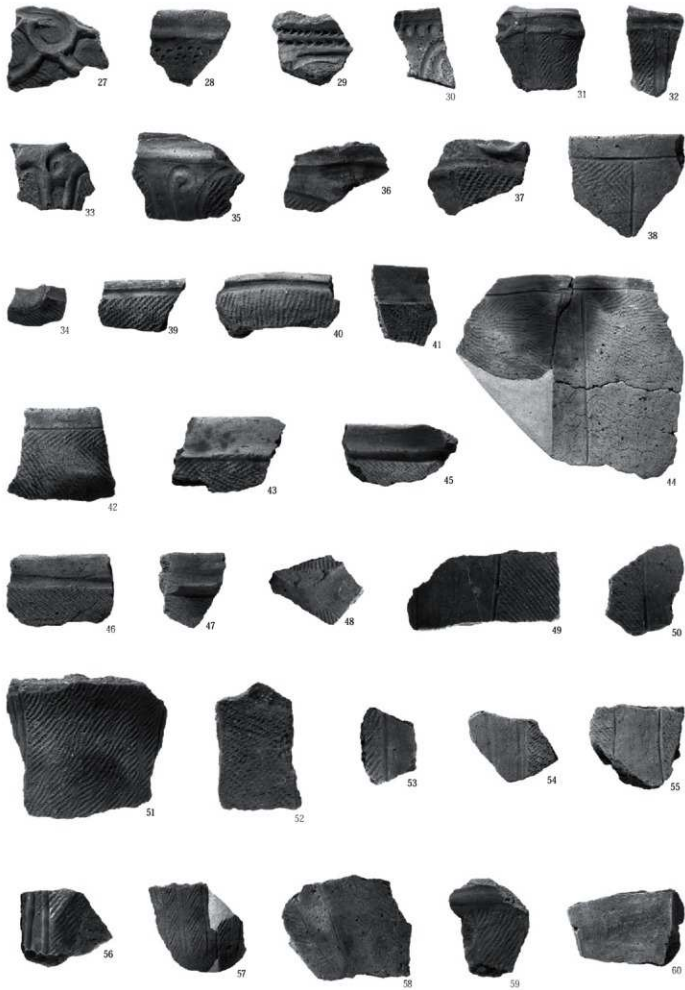
8区 土坑出土土器(1)

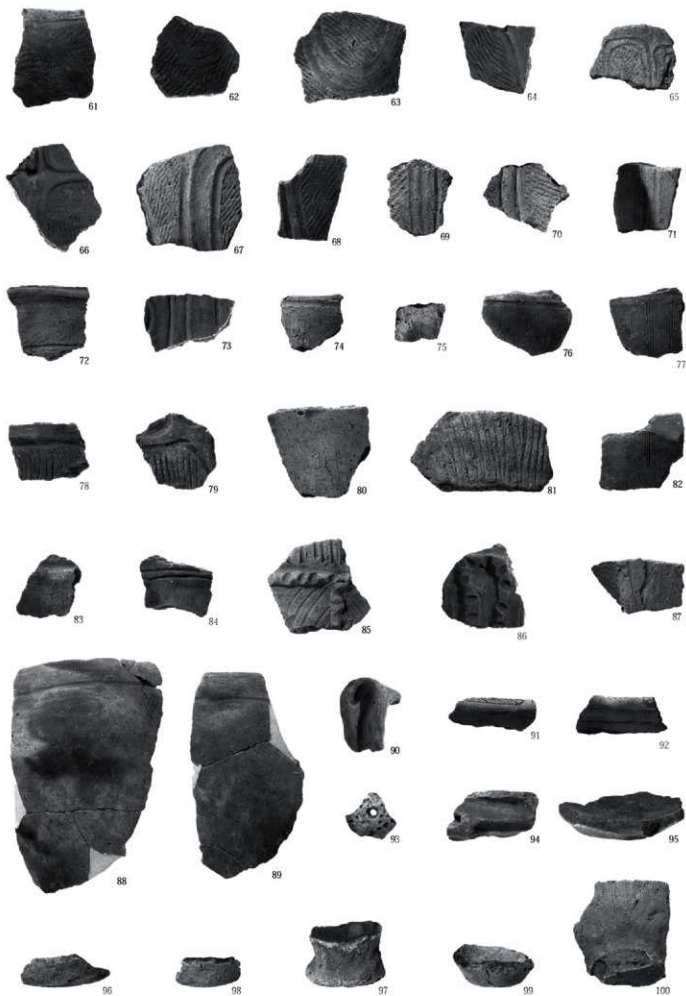


## 8区 土坑・ピット出土土器(2)



## 8区 遺構外出土土器(1)

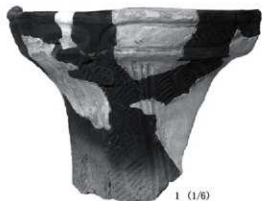




8区 遺構外出土土器 (3)



9区 1号住居出土土器



9区 2号住居出土土器

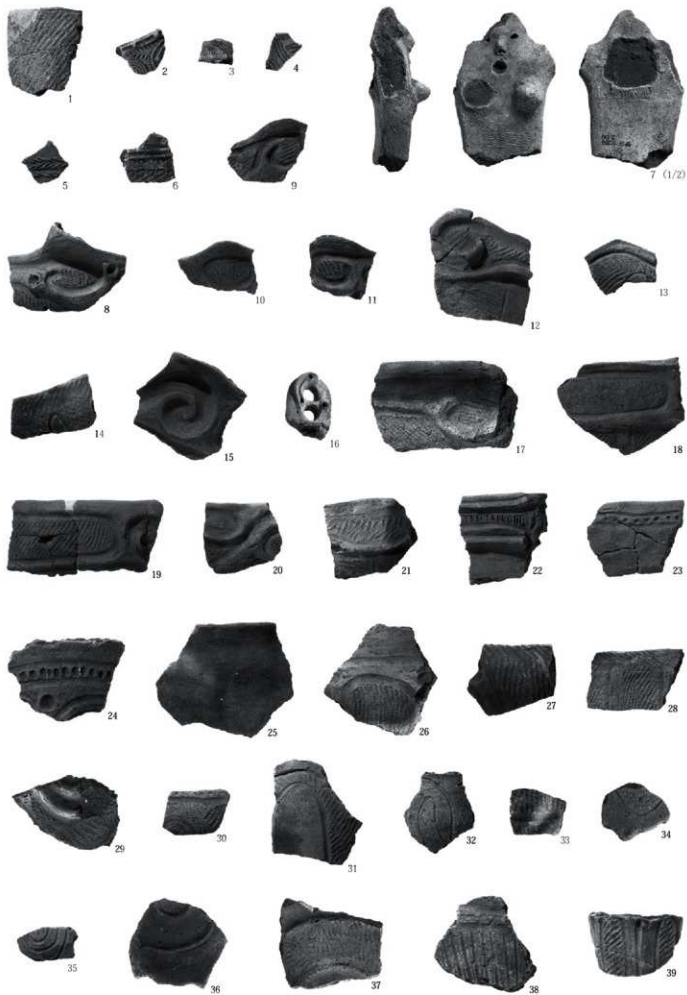


9区 土坑出土土器(1)

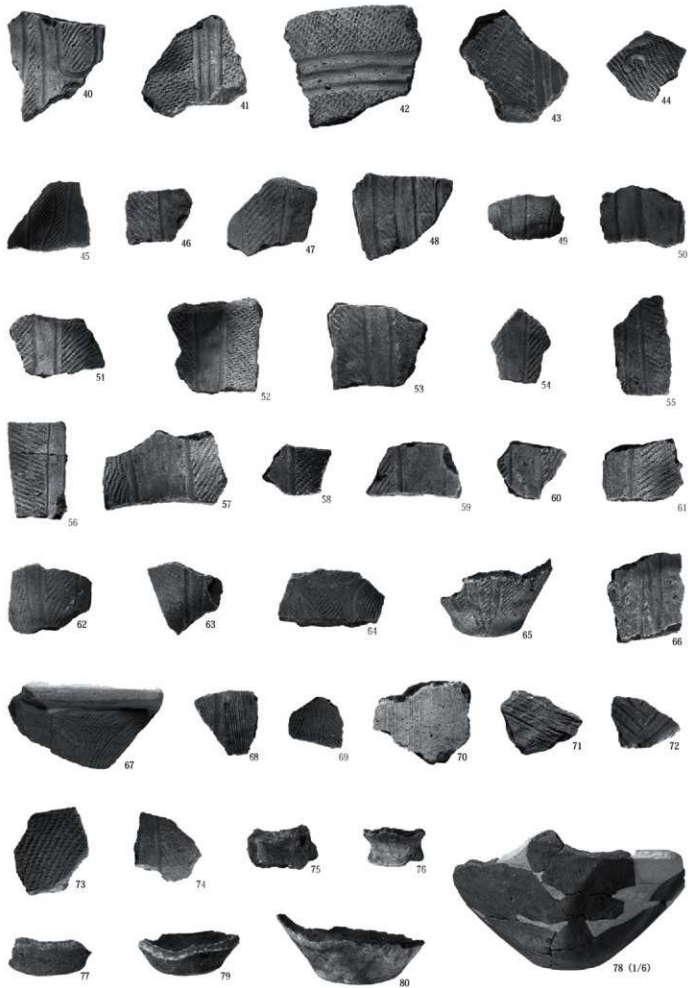




9区 土坑(2)·配石出土土器



9区 遺構外出土土器 (1)





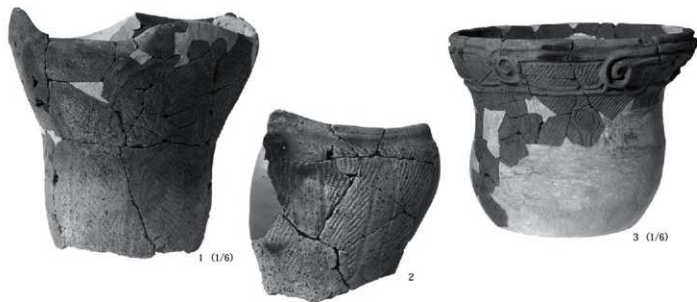
11区 1号住居出土土器(1)



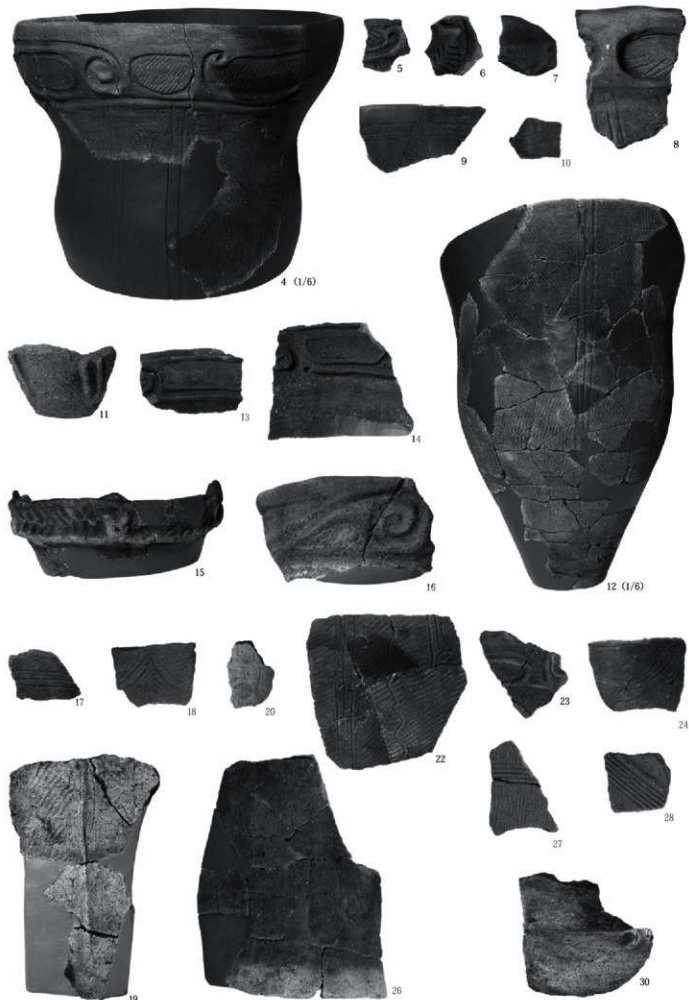
11区 1号住居出土土器(2)



11区 1号住居出土土器 (3)



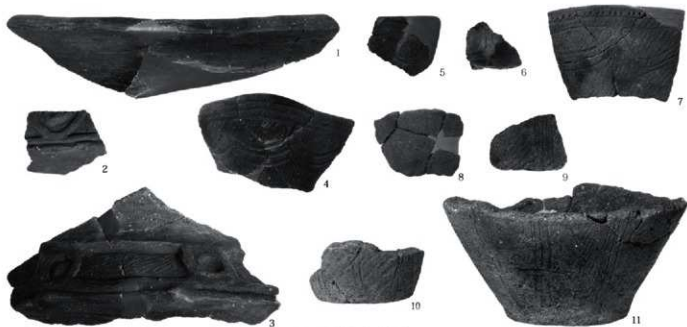
11区 2号住居出土土器 (1)



11区 2号住居出土土器(2)

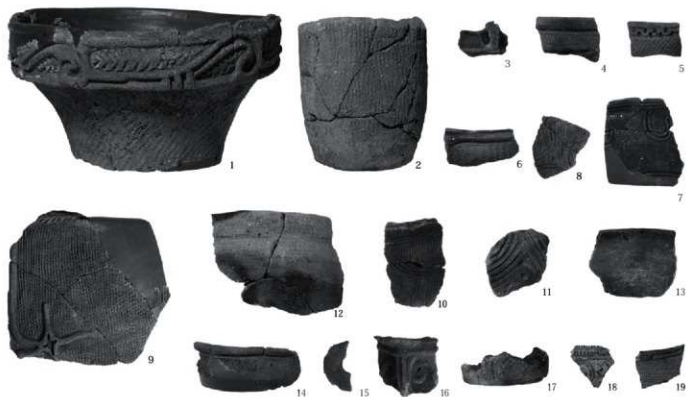


11区 2号住居出土土器(3)



11区 3号住居出土土器





11区 4号住居出土土器

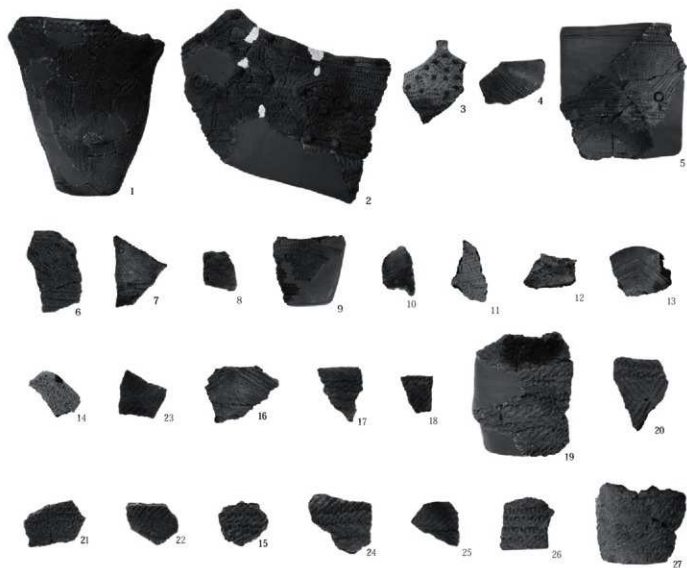


11区 5号住居出土土器(1)





11区 5号住居出土土器(3)



11区 6号住居出土土器



11区 7号住居出土土器



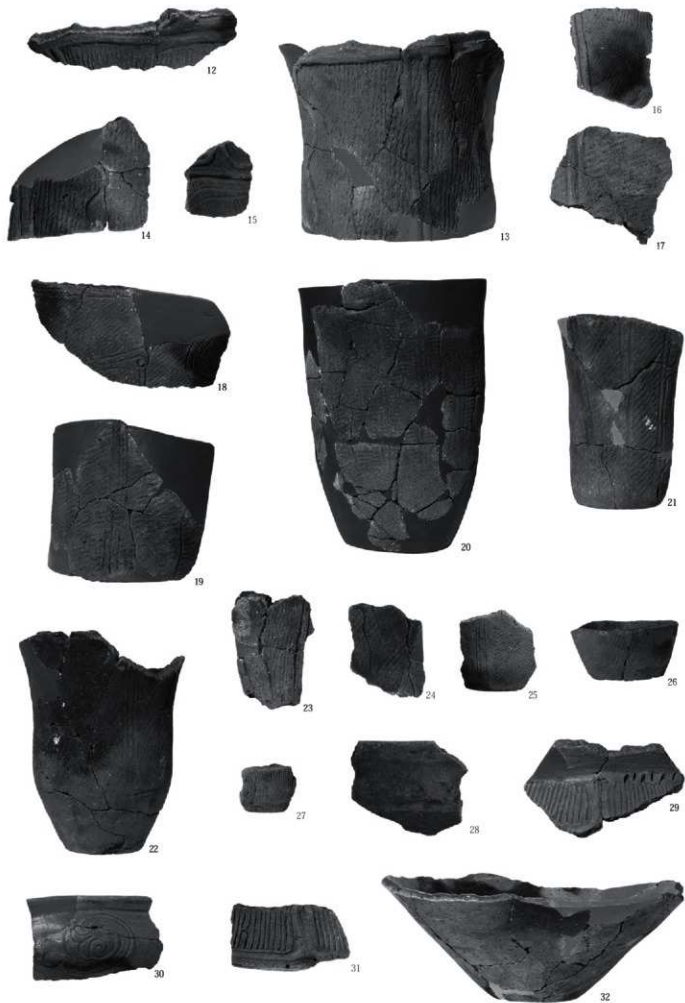
11区 8号住居出土土器



11区 9号住居出土土器



11区 10号住居出土土器 (1)



11区 10号住居出土土器(2)



11区 11号住居出土土器(1)

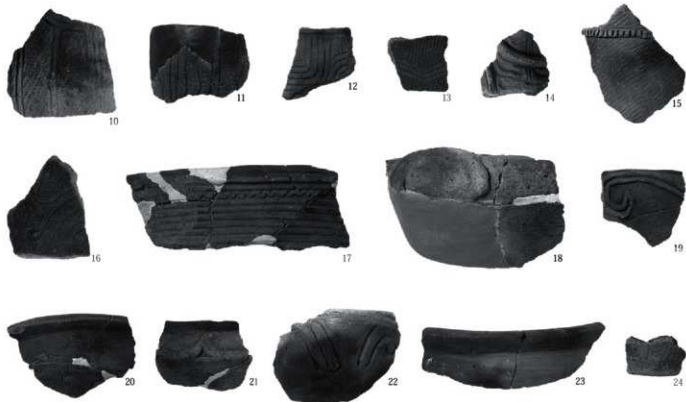


11区 11号住居出土土器(2)



11区 12号住居出土土器(1)





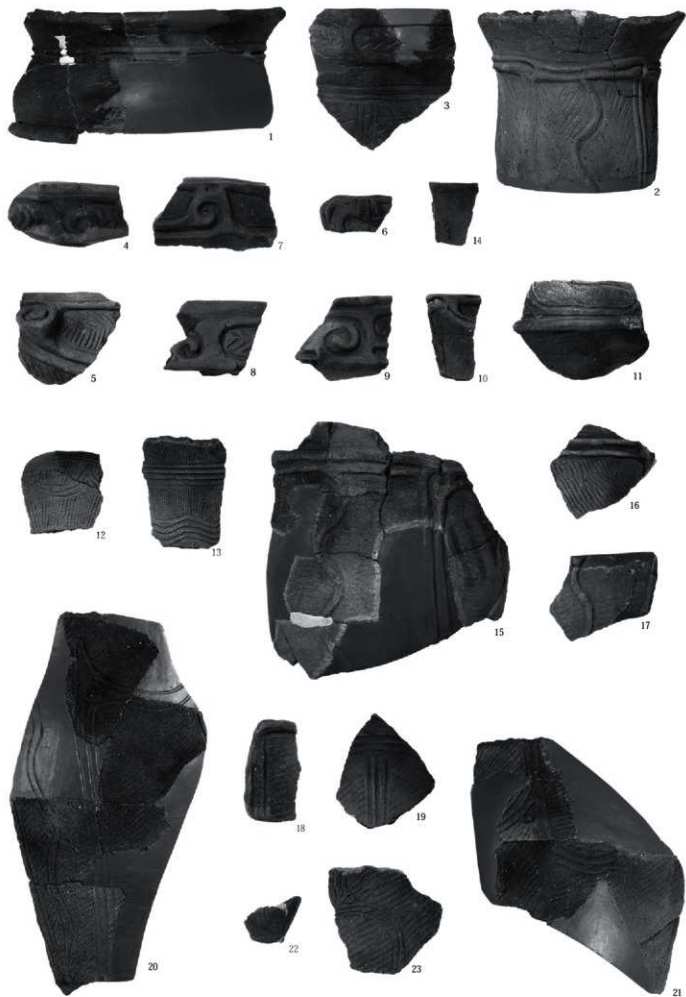
11区 12号住居出土土器(2)



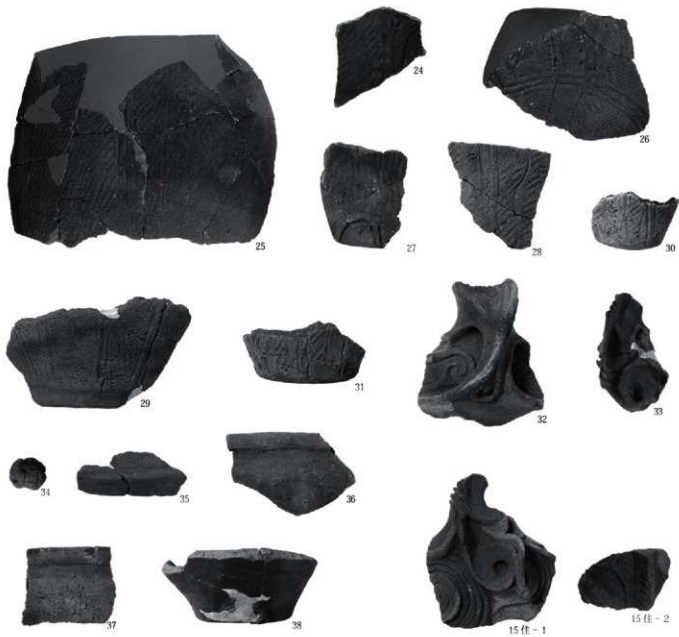
11区 13号住居出土土器(1)



11区 13号住居出土土器(2)



11区 14号住居出土土器(1)



11区 14号(2)・15号住居出土土器



11区 16号住居出土土器(1)



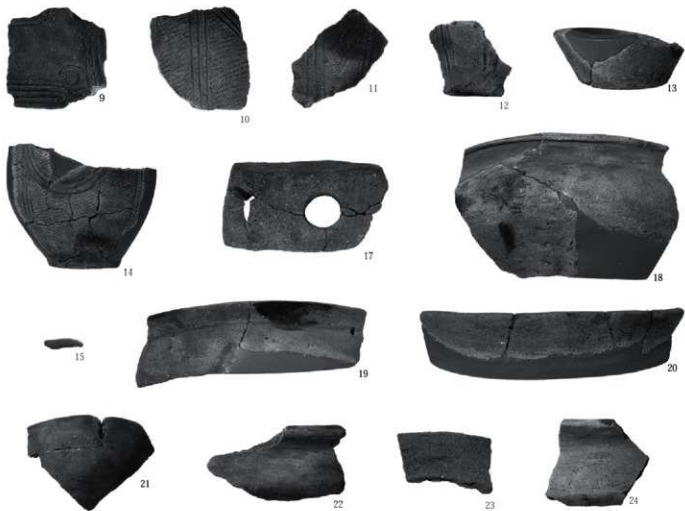
11区 16号住居出土土器(2)



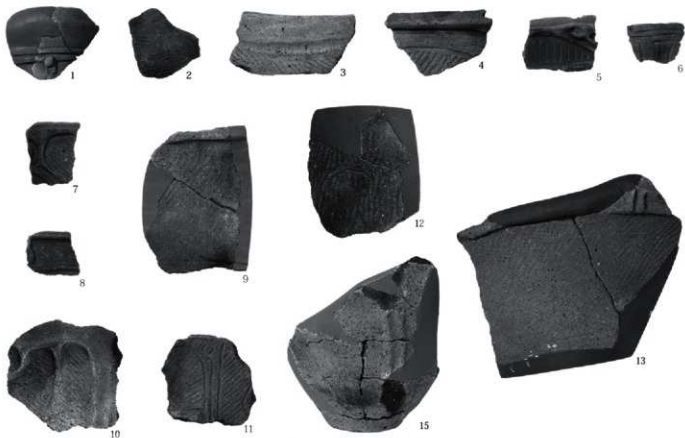
11区 18号住居出土土器



11区 19号住居出土土器(1)



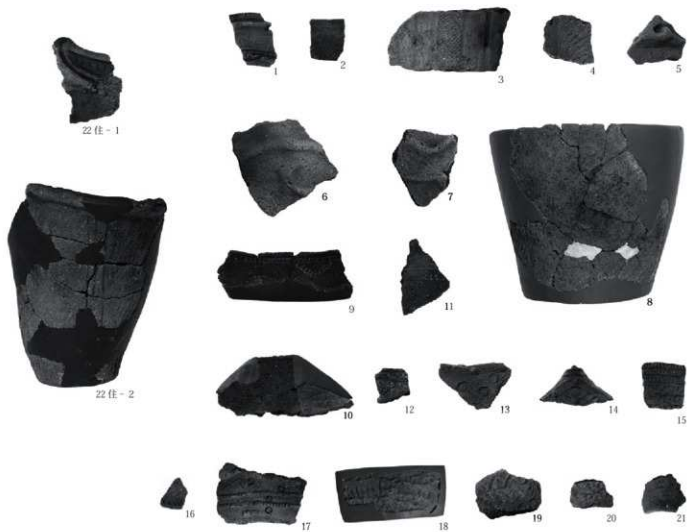
11区 19号住居出土土器(2)



11区 21号住居出土土器(1)



11区 21号住居出土土器(2)



11区 22号・23号住居出土土器

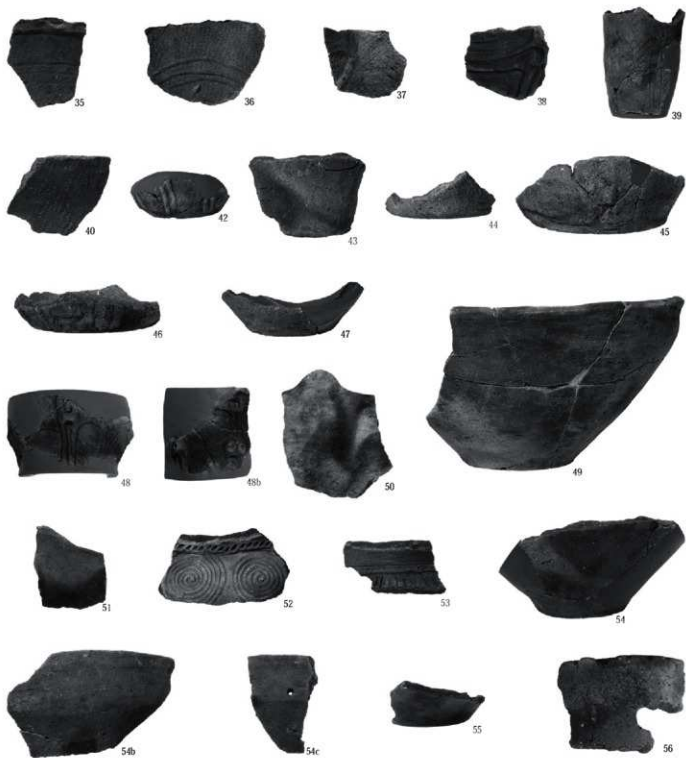


11区 24号住居出土土器(1)





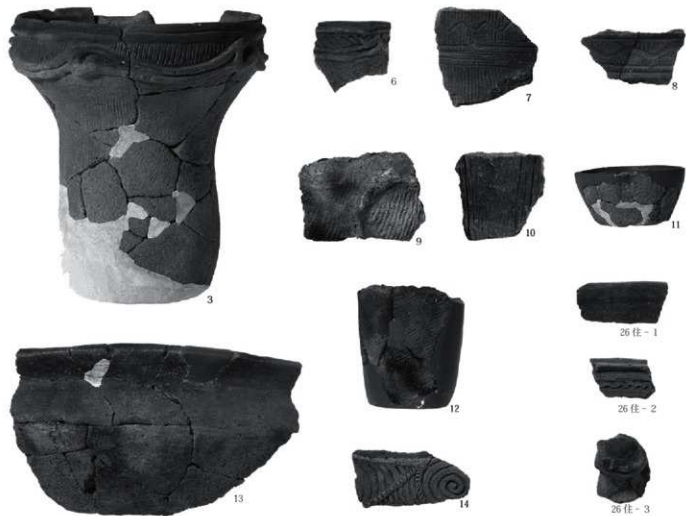
11区 24号住居出土土器(2)



11区 24号住居出土土器(3)



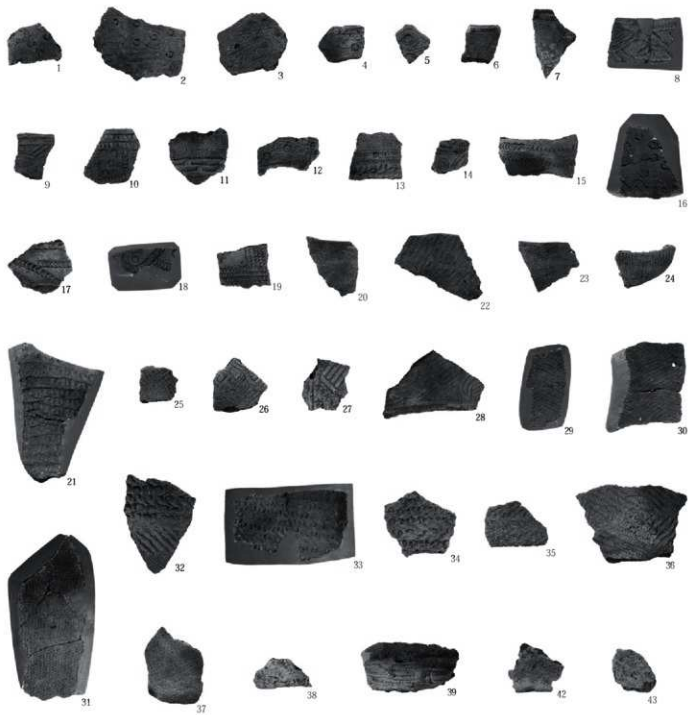
11区 25号住居出土土器(1)



11区 25号(2)・26号住居出土土器



11区 27号住居出土土器



11区 28号住居出土土器



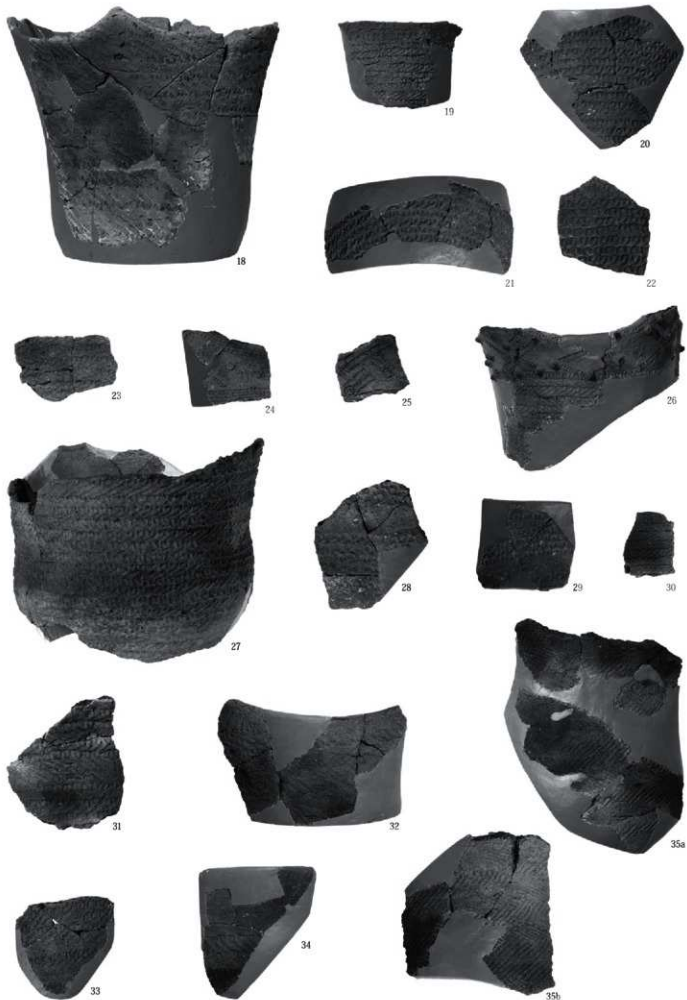
11区 29号住居出土土器



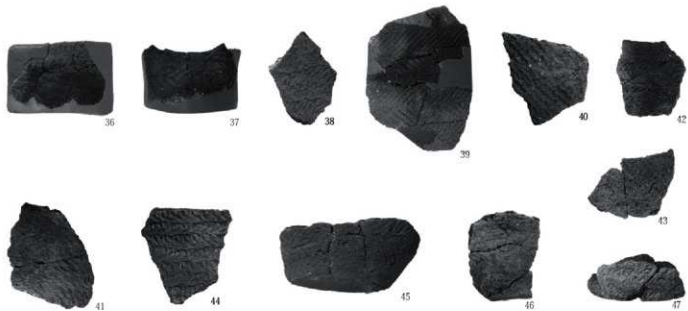
11区 30号・31号住居出土土器



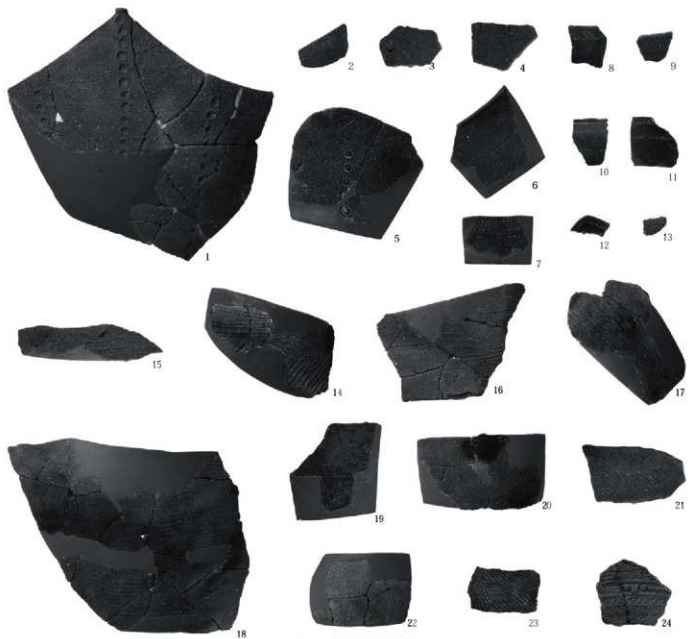
11区 32号住居出土土器(1)



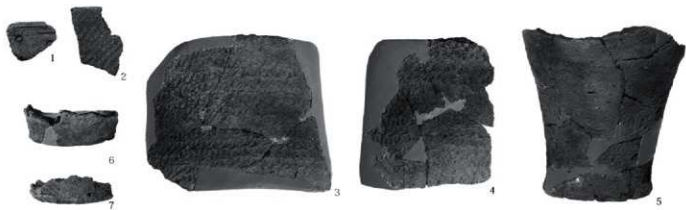
11区 32号住居出土土器(2)



11区 32号住居出土土器(3)



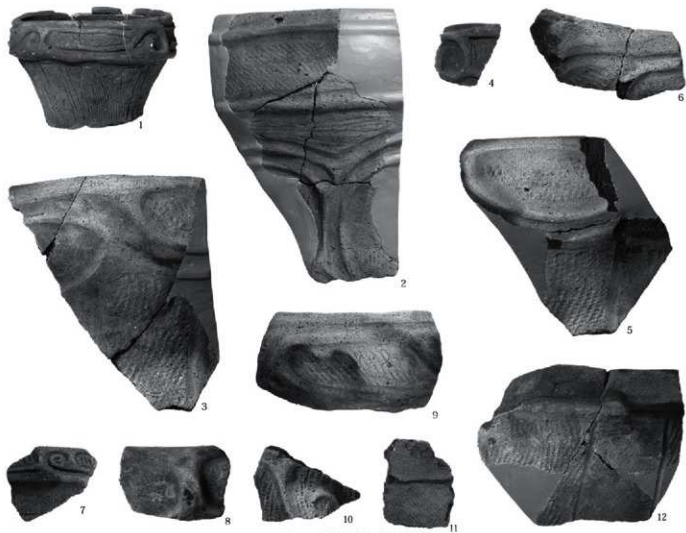
11区 33号住居出土土器



11区 35号住居出土土器

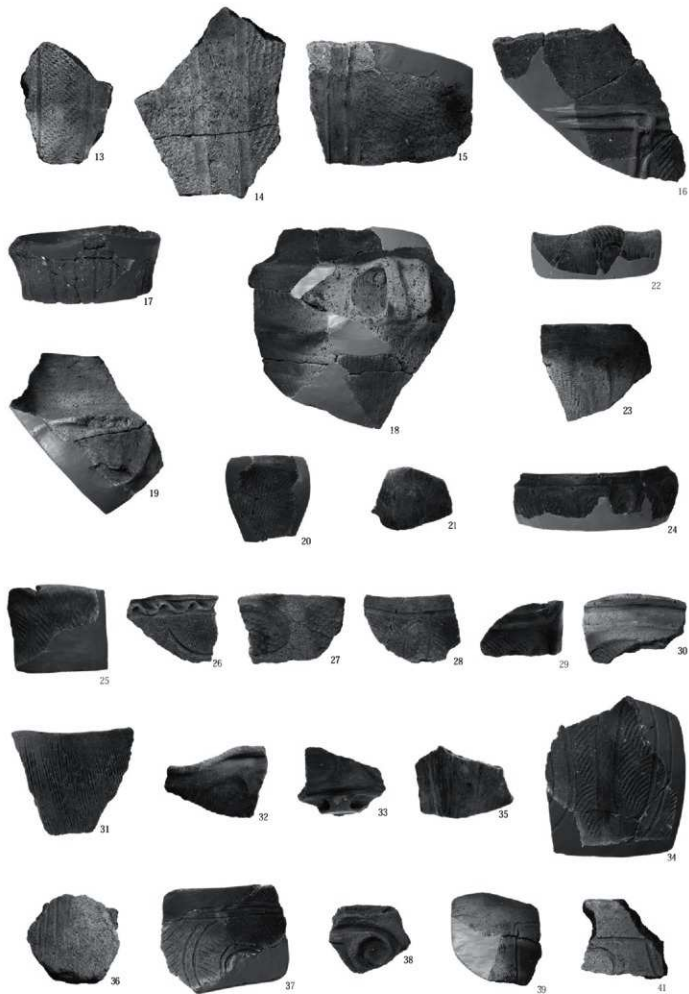


11区 36号住居出土土器



11区 37号住居出土土器(1)



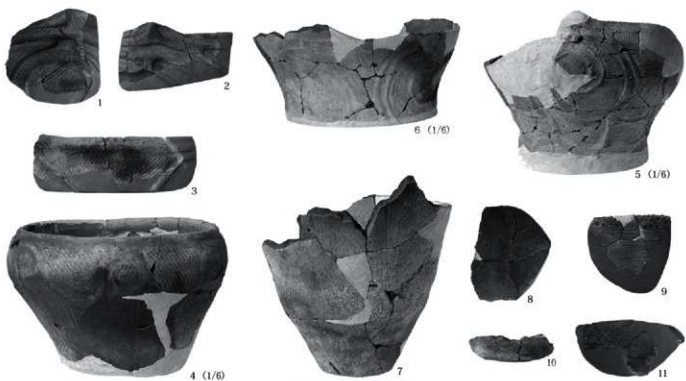




11区 37号住居出土土器(3)



11区 38号住居出土土器



11区 39号住居出土土器



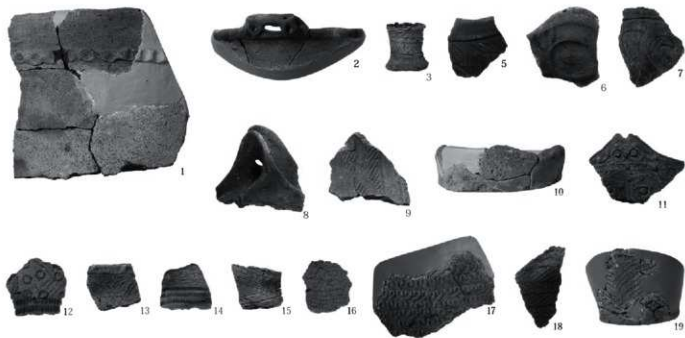
11区 40号住居出土土器



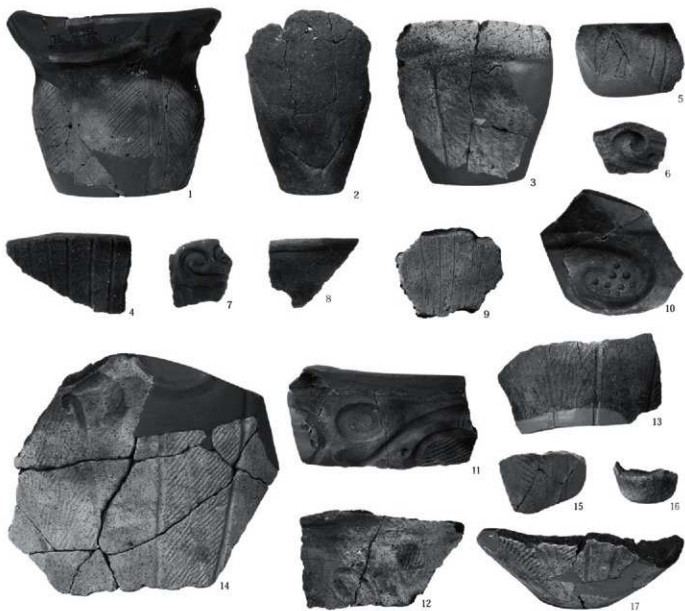
11区 41号住居出土土器



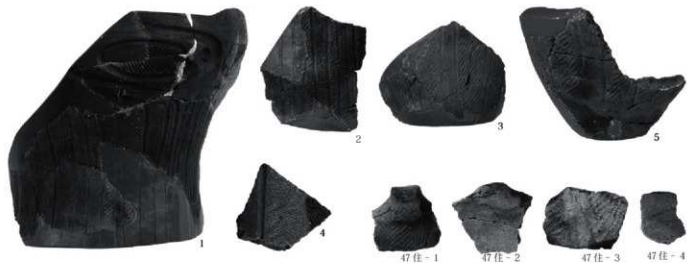
11区 42号住居出土土器



11区 43号住居出土土器



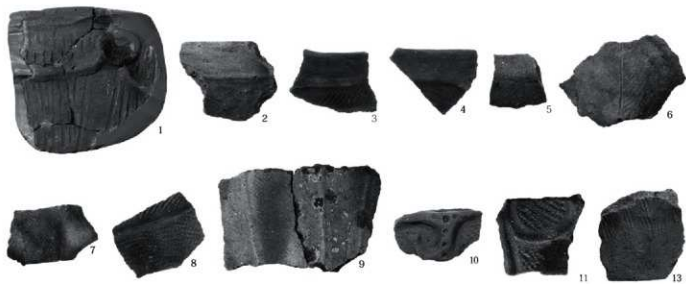
11区 45号住居出土土器



11区 46号・47号住居出土土器



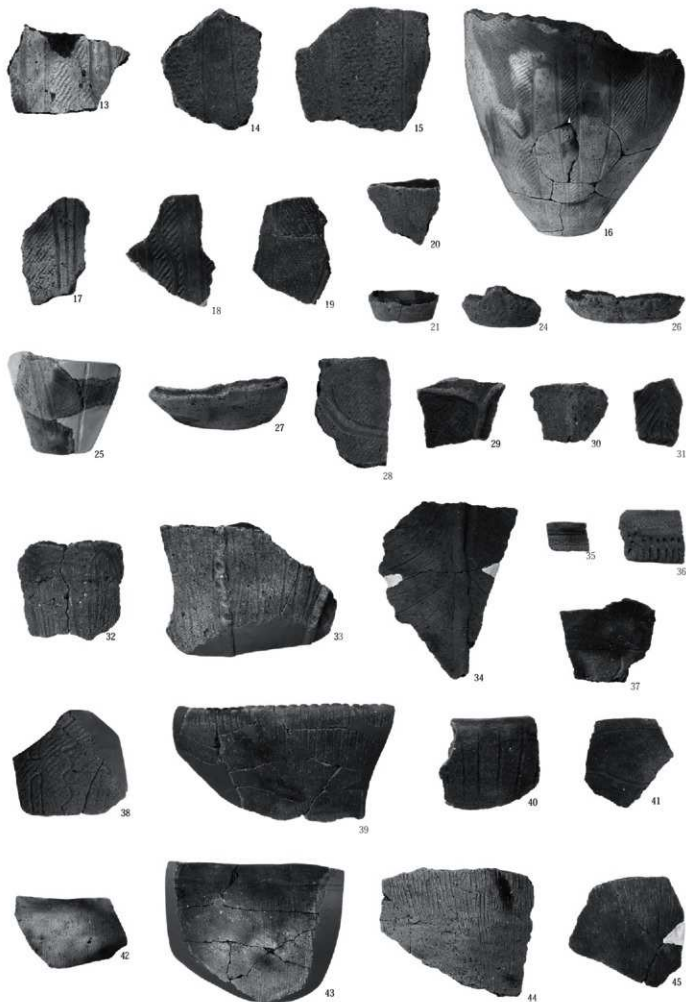
11区 49号住居出土土器

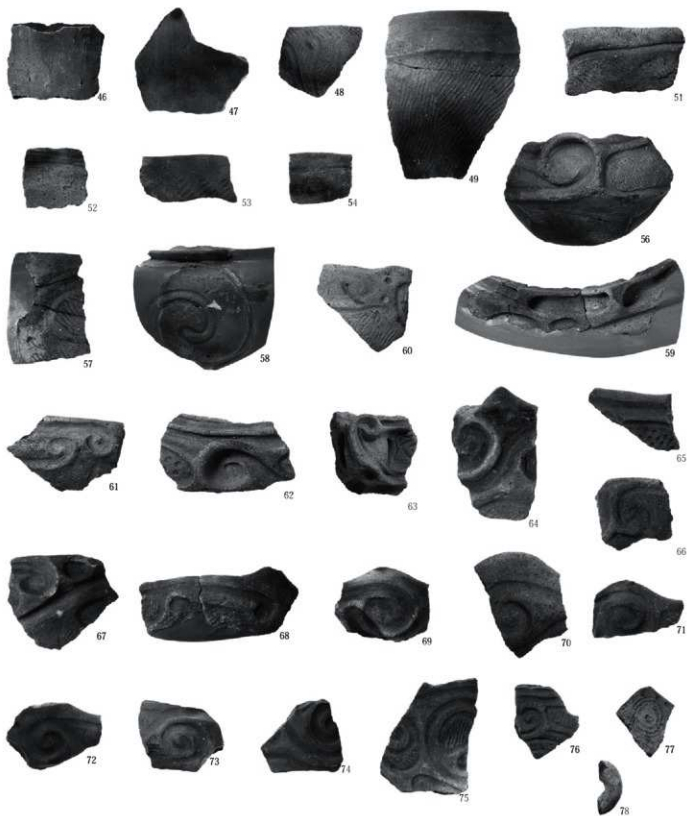


11区 50号住居出土土器



11区 51号住居出土土器 (1)





11区 51号住居出土土器 (3)

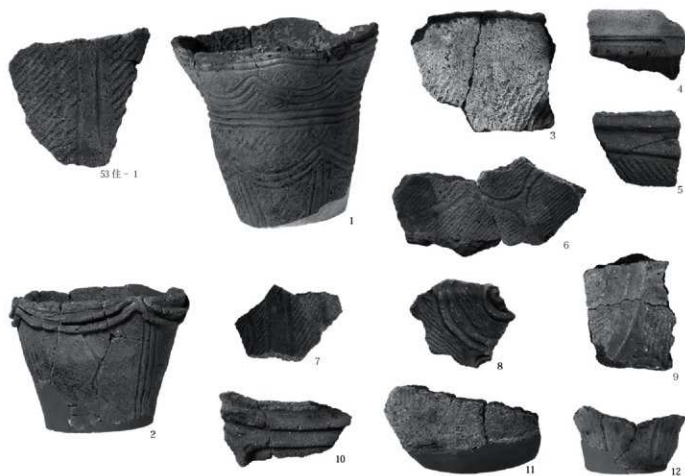


11区 52号住居出土土器 (1)





11区 52号住居出土土器(2)



11区 53号・54号住居出土土器

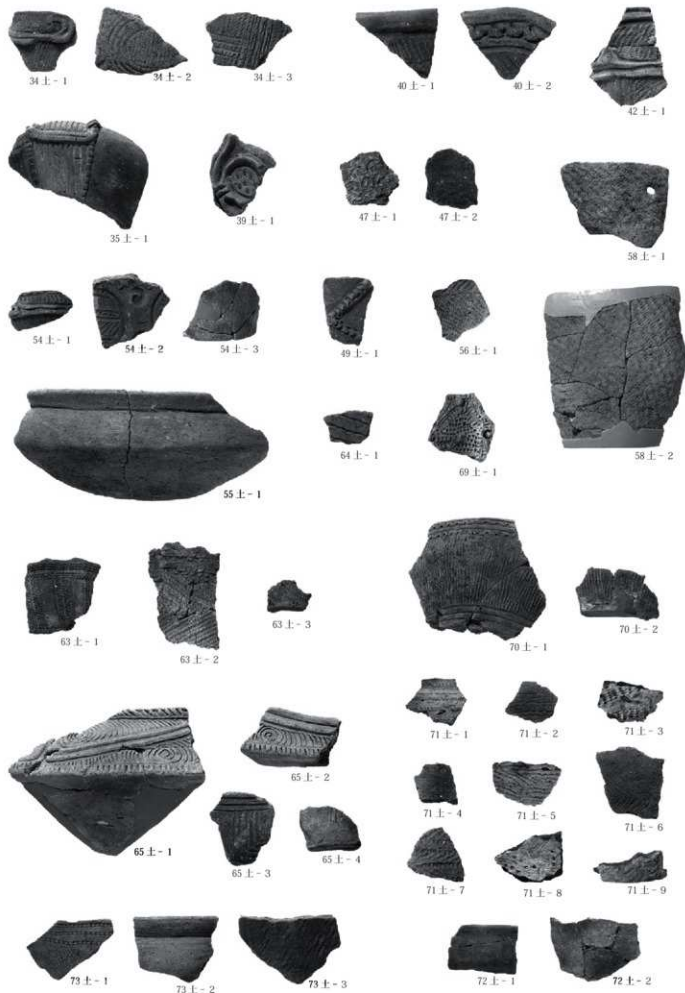


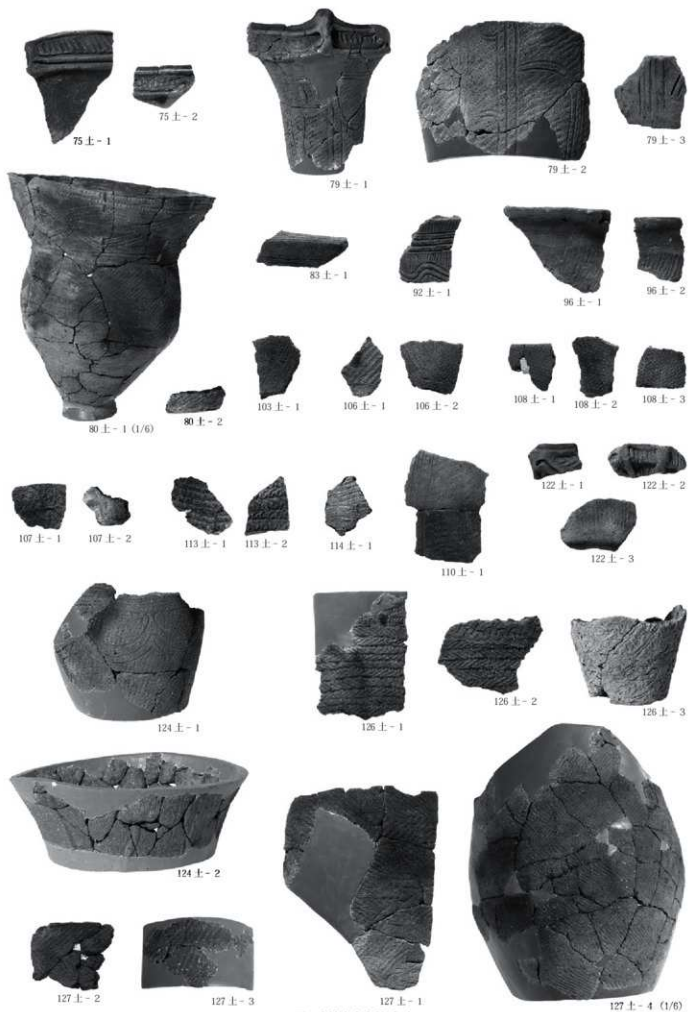
11区 55号・56号住居出土土器

土坑

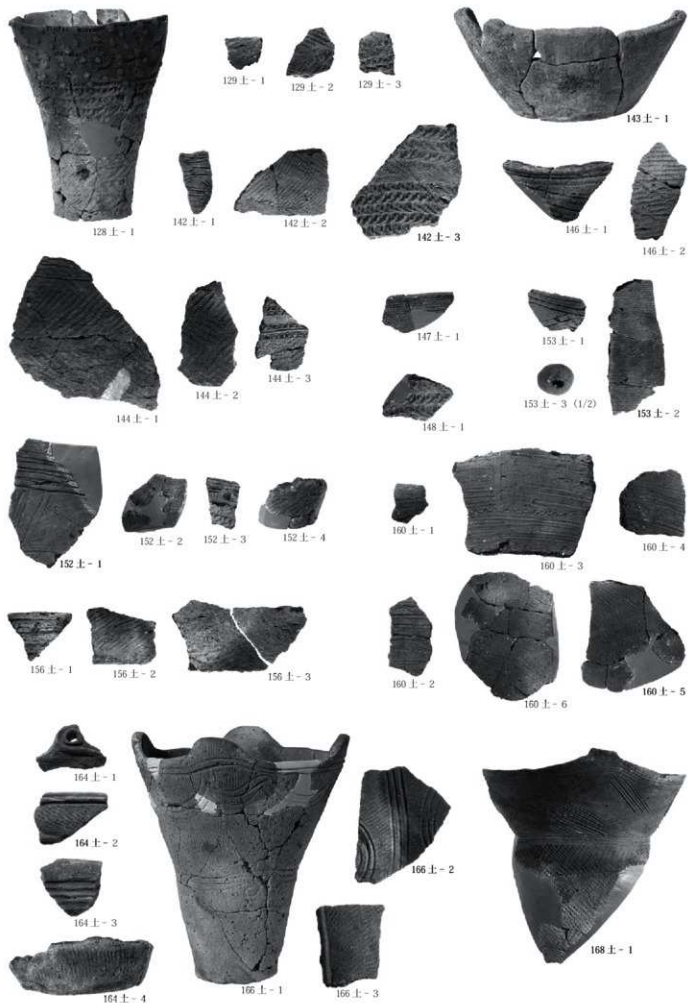


11区 土坑出土土器(1)

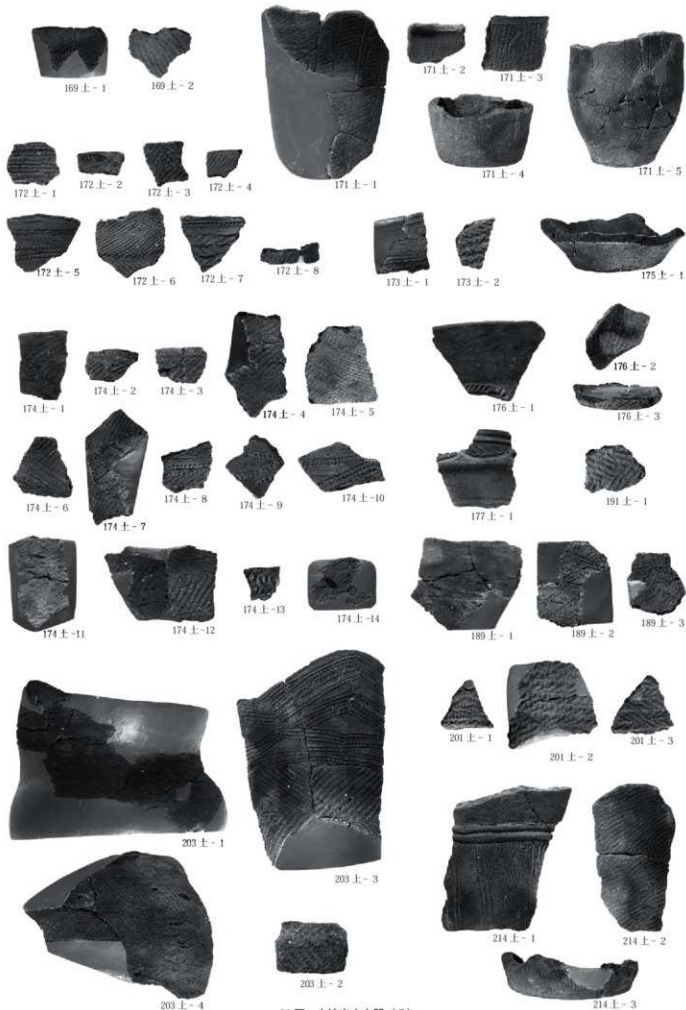




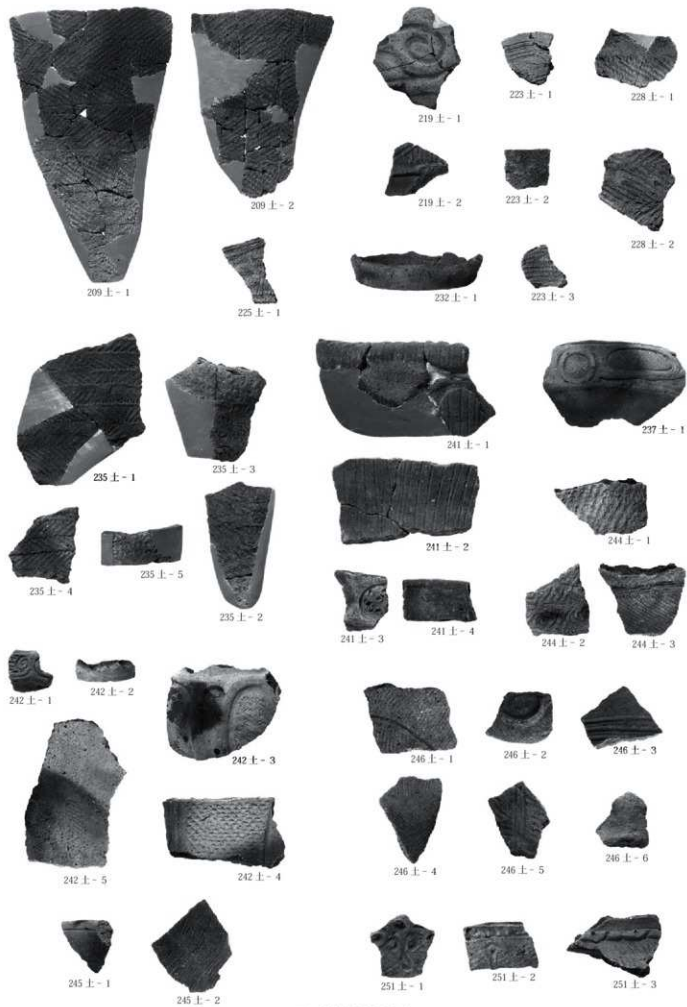
11区 土坑出土土器(3)



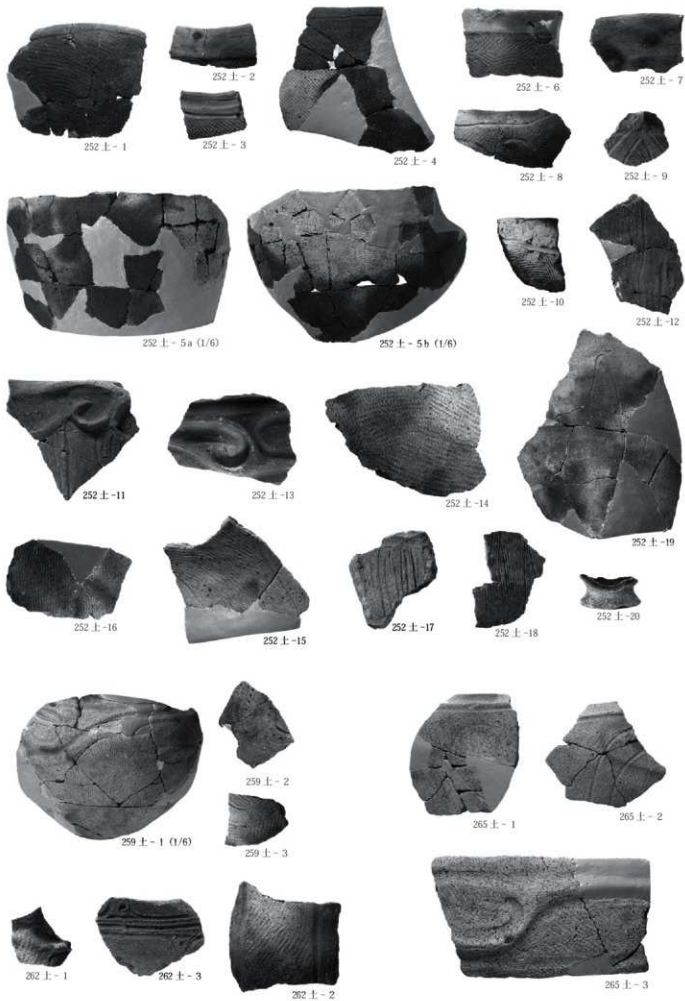
11区 土坑出土土器(4)



11区 土坑出土土器(5)

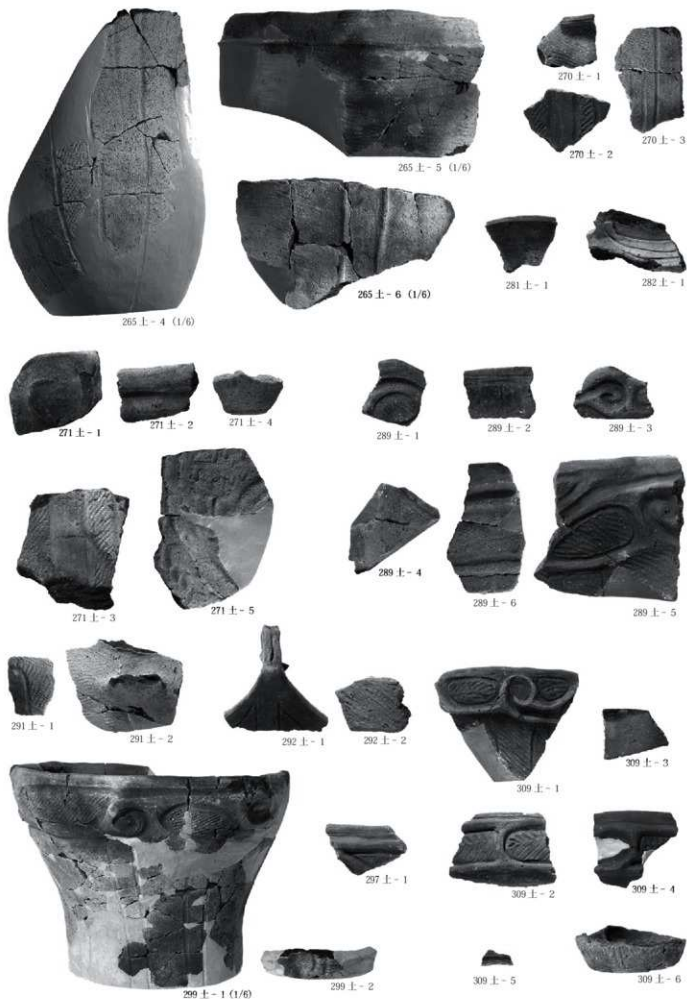


11区 土坑出土土器(6)

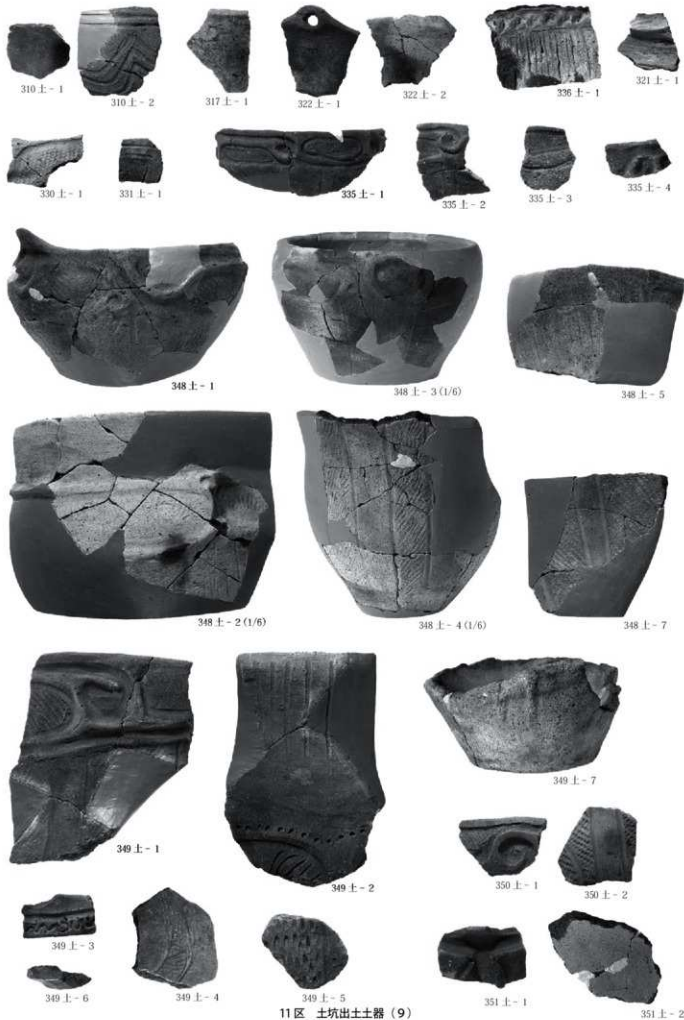


11区 土坑出土土器(7)

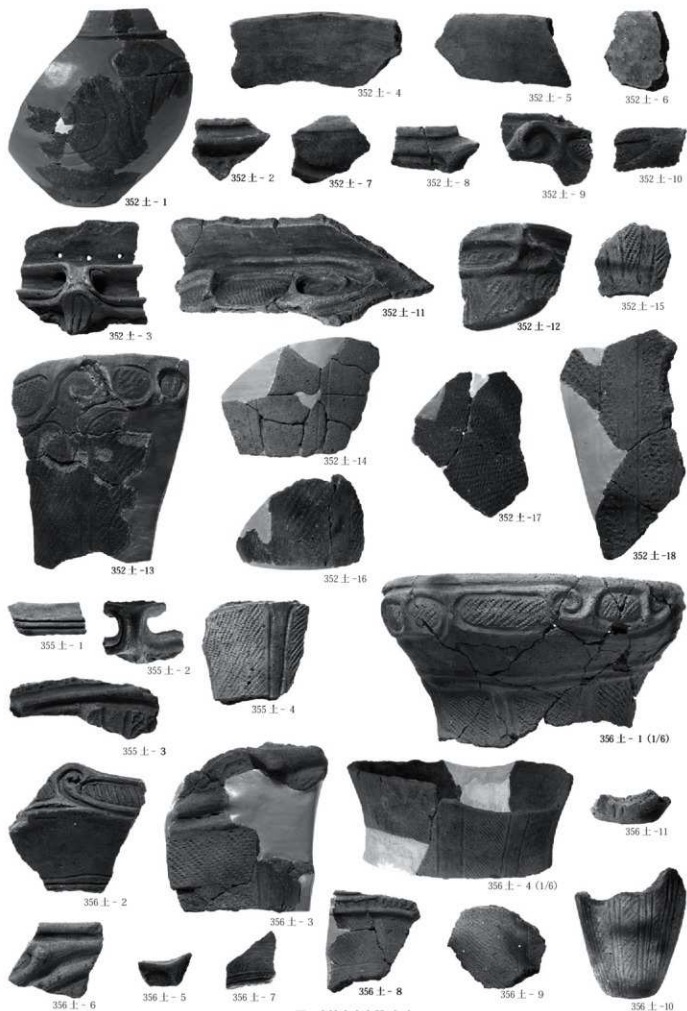


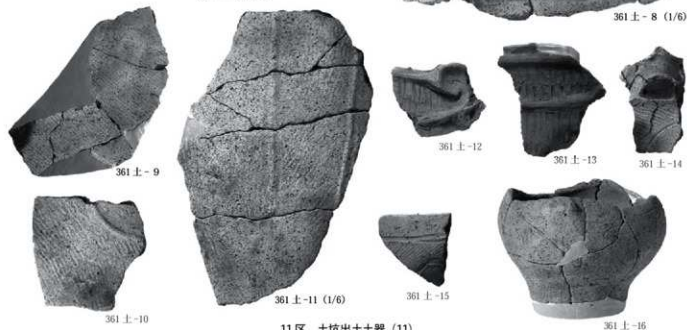
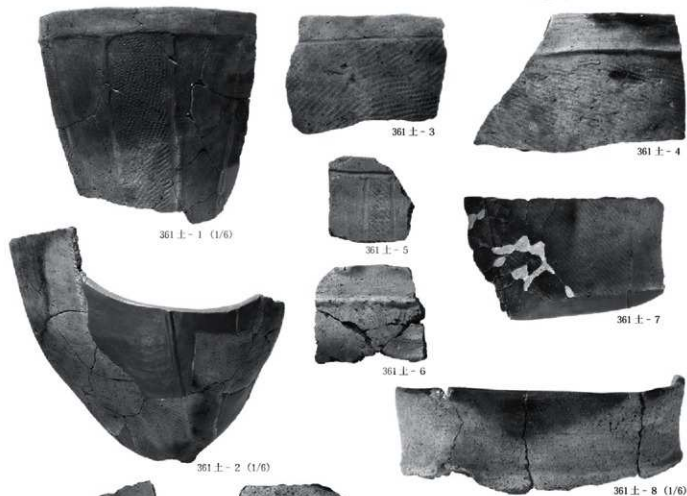


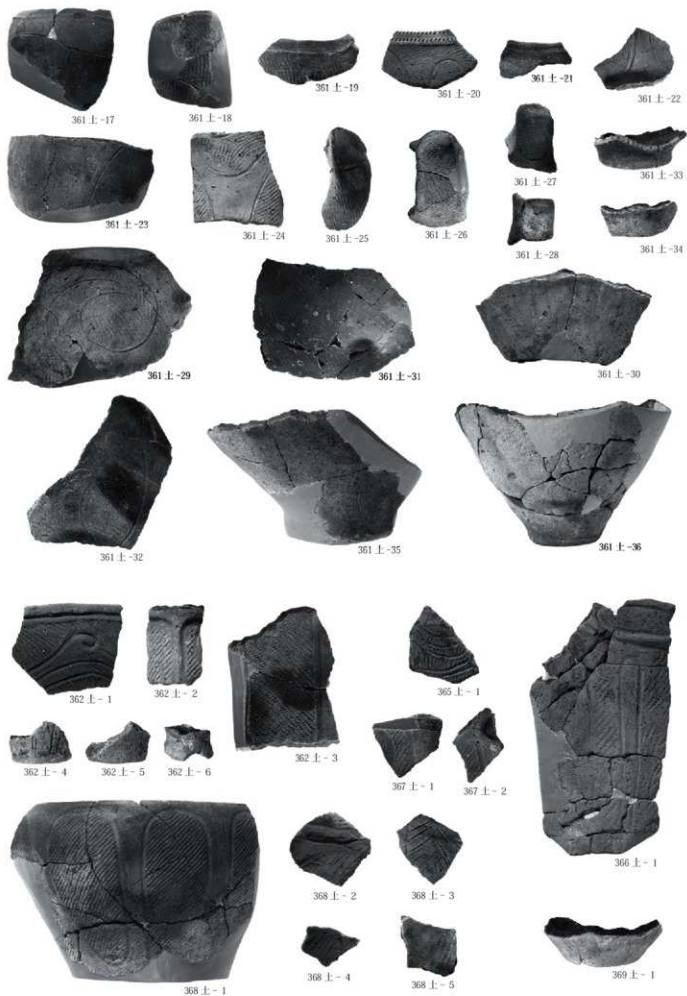
11区 土坑出土土器(8)

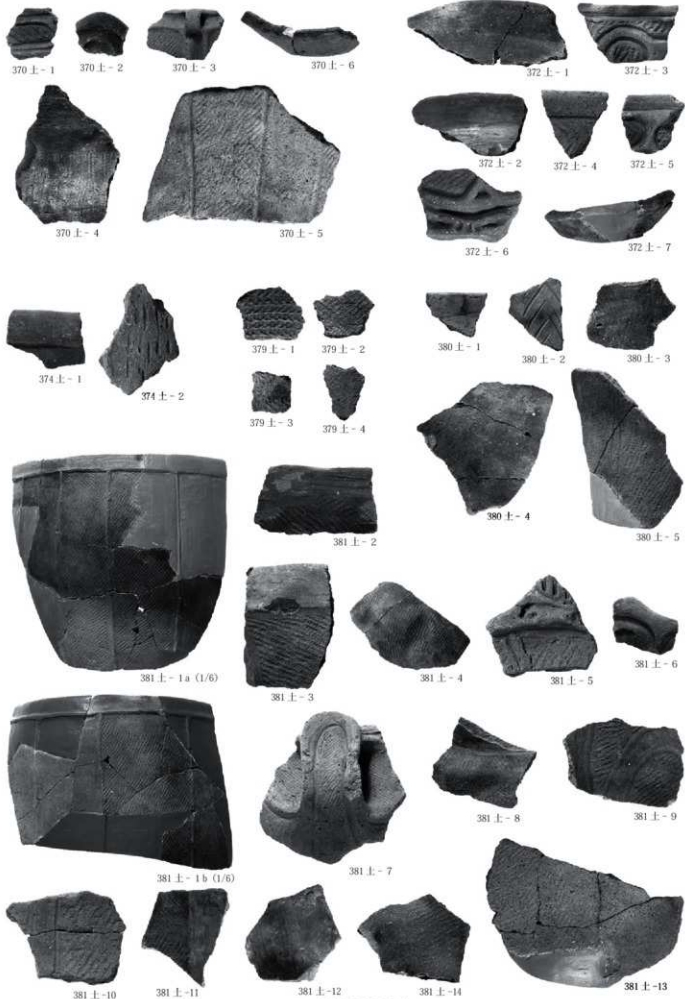


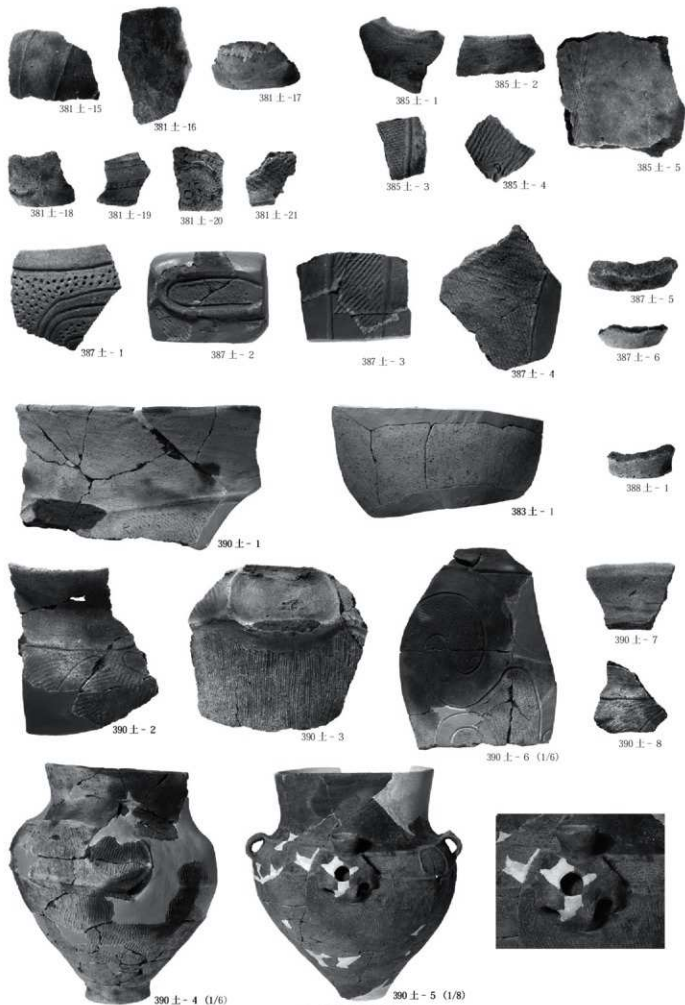
11区 土坑出土土器 (9)



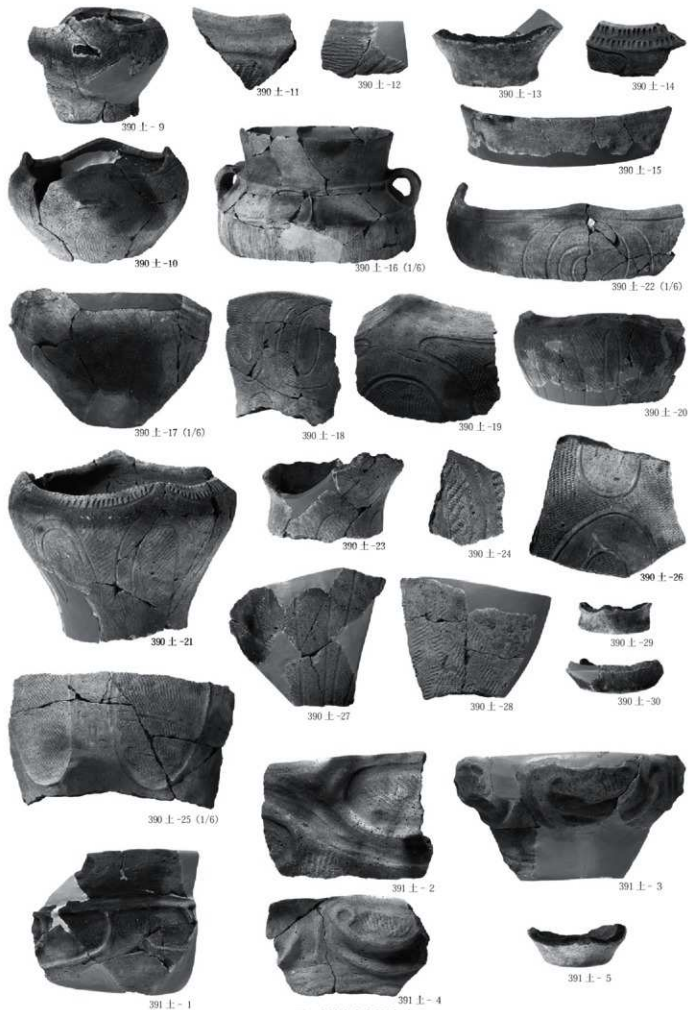






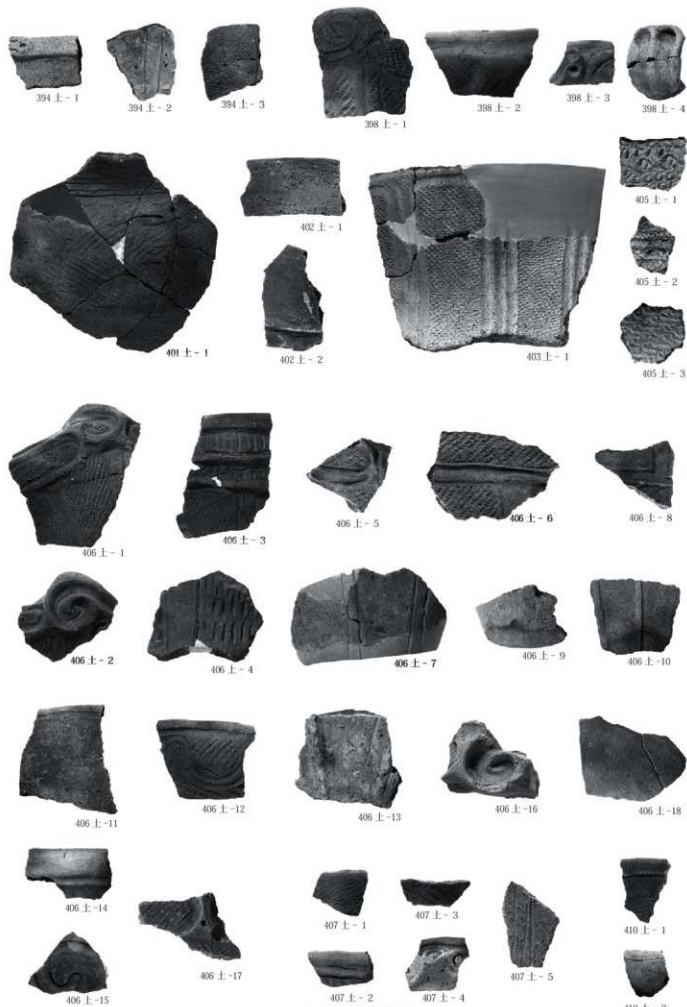


11区 土坑出土土器 (14)

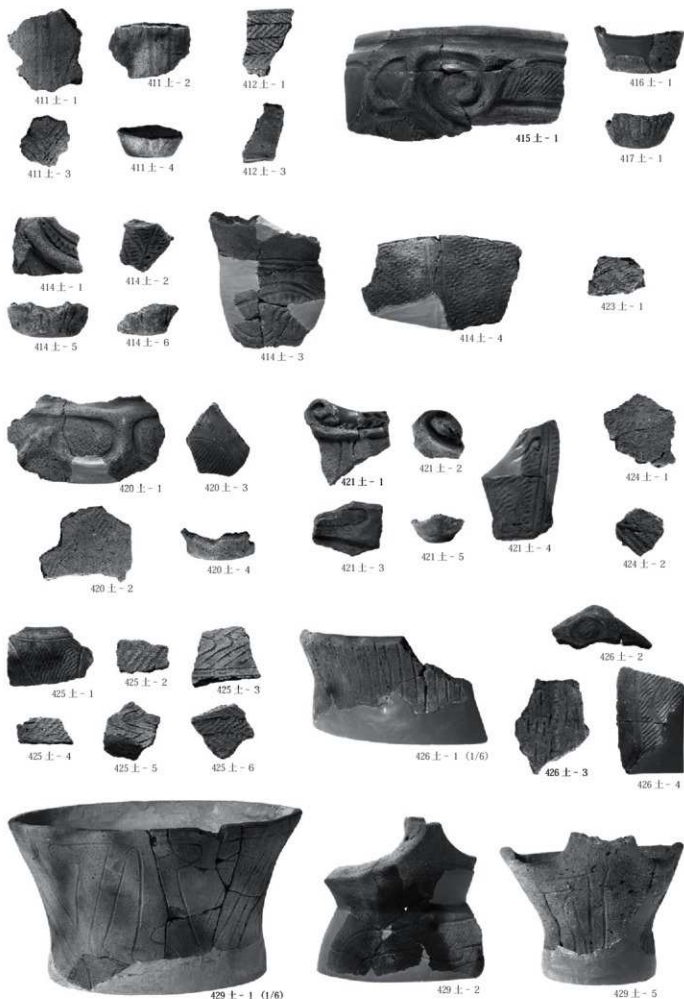


11区 土坑出土土器 (15)





11区 土坑出土土器 (16)



11区 土坑出土土器 (17)



429上-3 (1/6)



429上-4 (1/6)



429上-6



429上-7



429上-8



429上-9 (1/6)



429上-10



429上-12



429上-11



429上-13



429上-15 (1/6)



429上-14



429上-16



429上-17



429上-18



429上-19



429上-22



429上-20



429上-21



429上-23



429上-24



429上-25



430上-1



430上-2



430上-3



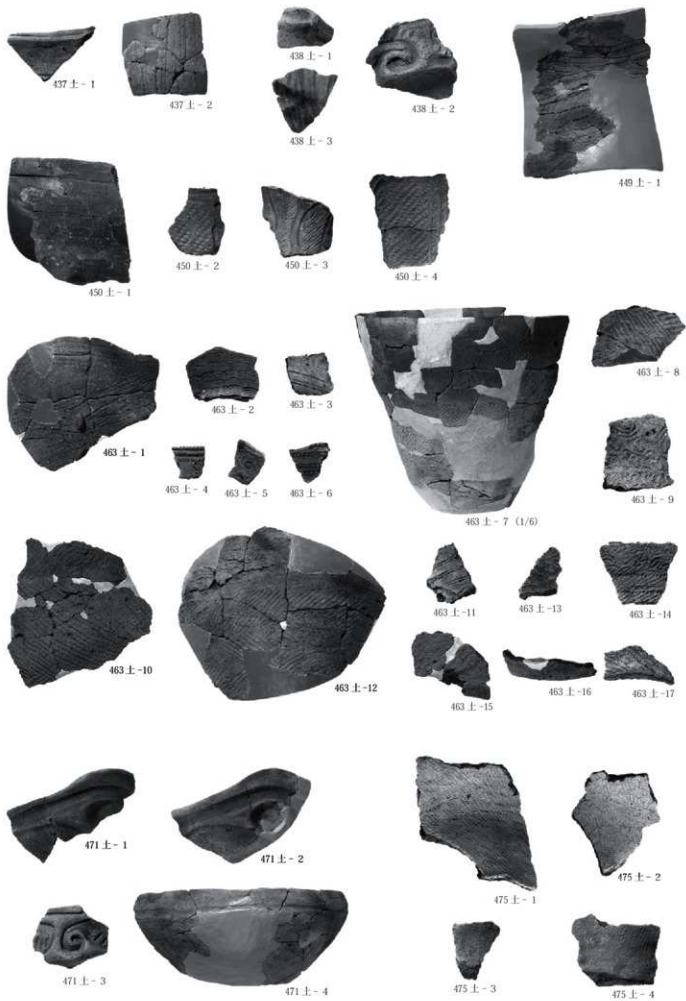
430上-4



430上-5



430上-6



11区 土坑出土土器 (19)



480上-1



488上-1



491上-1



503上-1



507上-1



488上-2



499上-1



506上-1



507上-2



508上-1



508上-2



510上-1



512上-1



508上-3



508上-4



512上-2



512上-4a (1/6)



512上-4b (1/6)



512上-3 (1/6)



517上-1



518上-1



520上-1



521上-1



526上-1



518上-2



527上-1



528上-1



529上-1



535 上-1



535 上-2 (1/6)



540 上-1



546 上-1



546 上-2



535 上-3



535 上-4



541 上-1



541 上-2



547 上-1



547 上-2



541 上-3



547 上-3



548 上-1



548 上-2



548 上-3



548 上-5



548 上-4

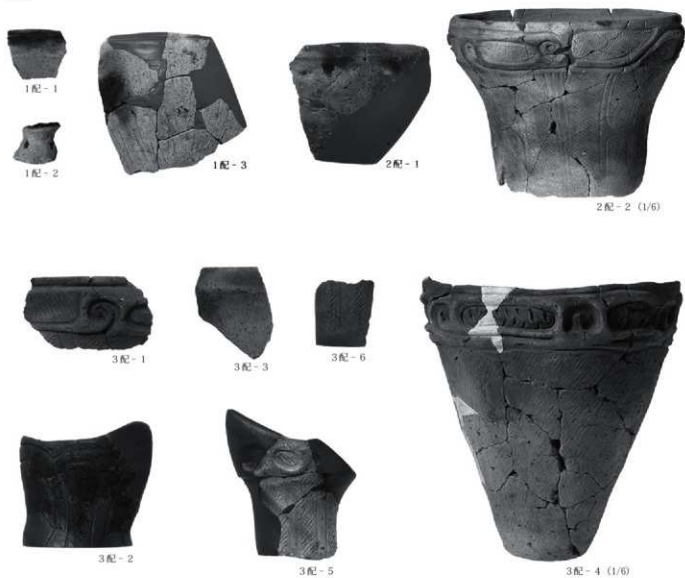


548 上-6



11 区 土坑出土土器 (22)

配石



11 区 配石出土土器

## 屋外炉



1屋外炉-1



1屋外炉-2

## 埋甕



1埋-1 (1/8)



2埋-1



3埋-3



3埋-4



3埋-1



4埋-2



3埋-2 (1/6)



4埋-1 (1/8)



5埋-1 (1/6)





5埋-3a (1/8)



5埋-3b (1/8)



5埋-2 (1/8)



8埋-1 (1/8)



6埋-1



6埋-2



6埋-3



10埋-1a (1/6)



9埋-1 (1/6)



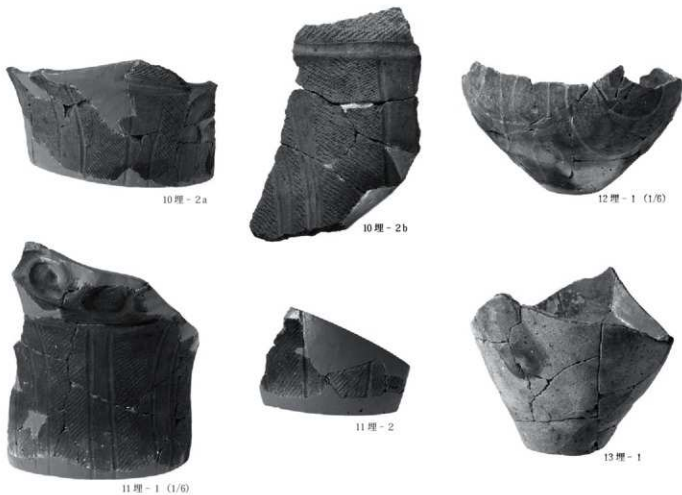
9埋-2



9埋-3



10埋-1b (1/6)

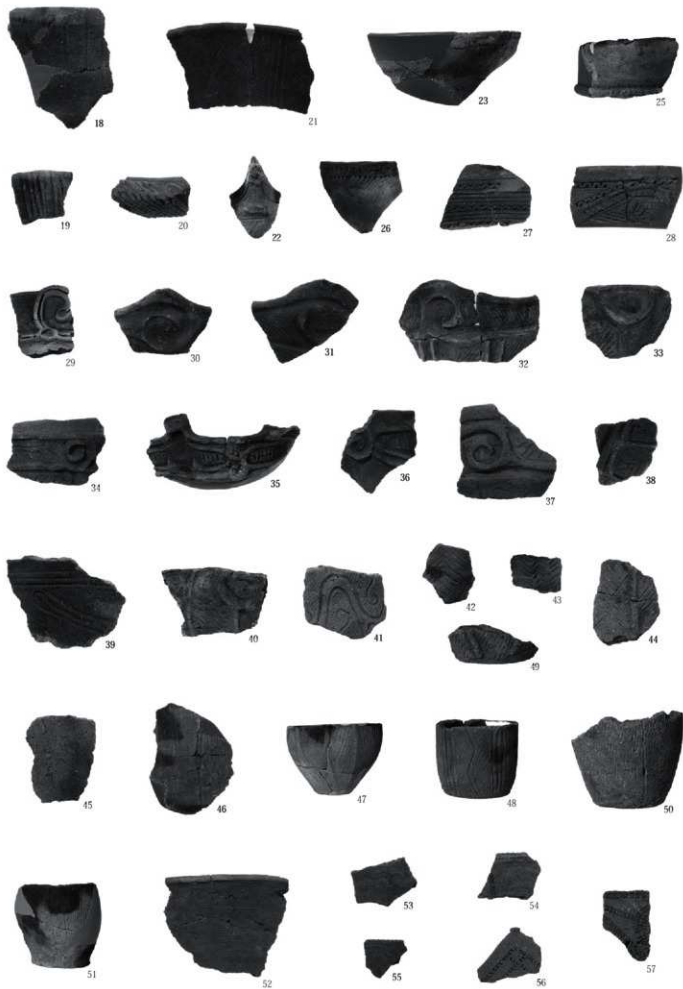


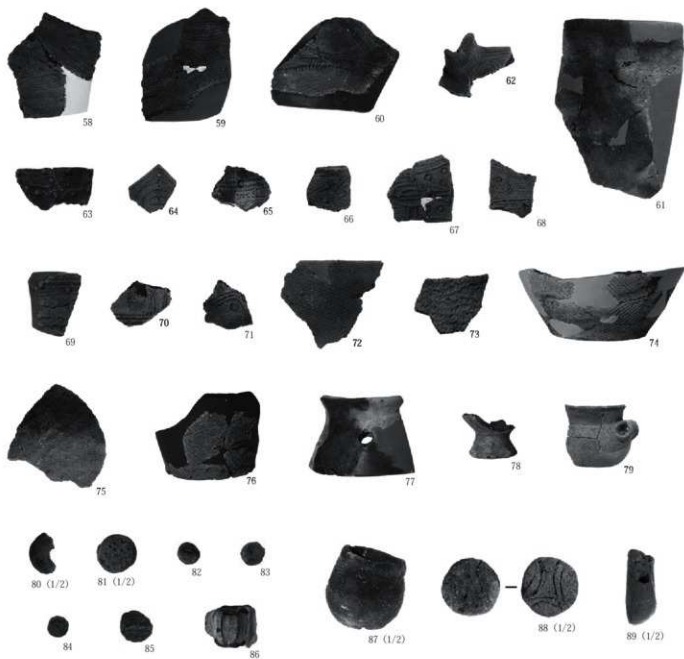
11区 埋藏出土土器 (3)

## 遺構外



11区 遺構外出土土器 (1)





11区 遺構外出土土器(3)



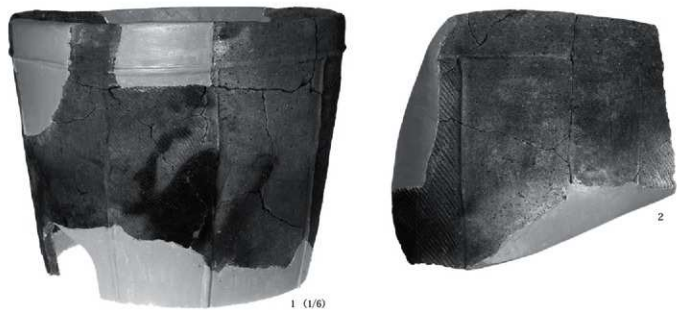
12区 1号住居出土土器



12区 2号住居出土土器(1)



12区 2号住居出土土器(2)



12区 3号住居出土土器



1 (1/6)



2a



2b (1/6)



3



4



6a



6b



5



7



9



14



15



16



17



18



19

12区 4号住居出土土器



1



2

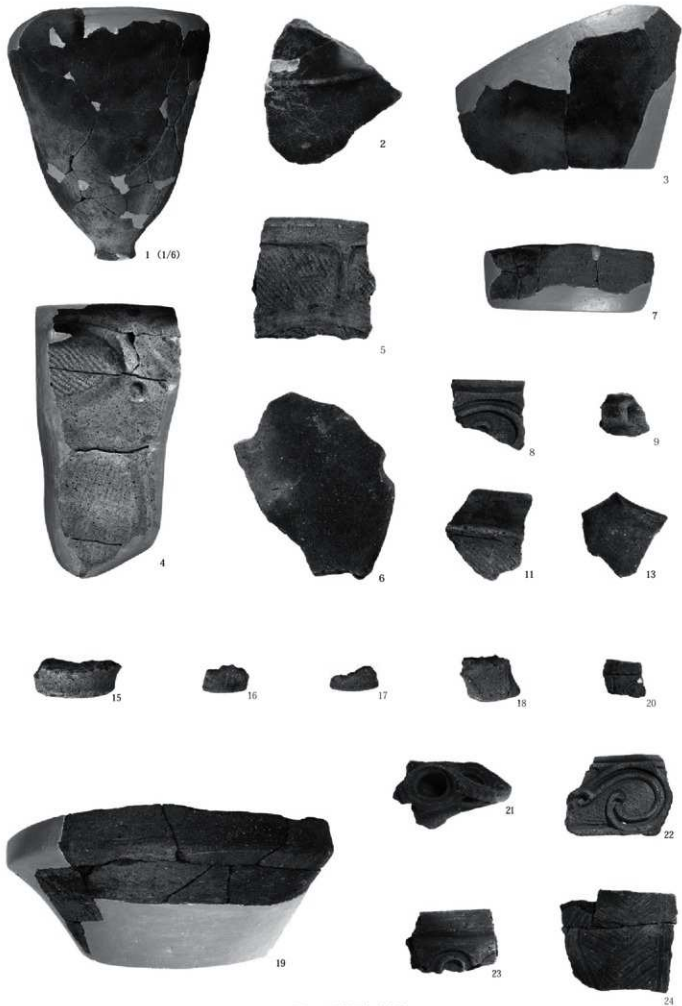


3

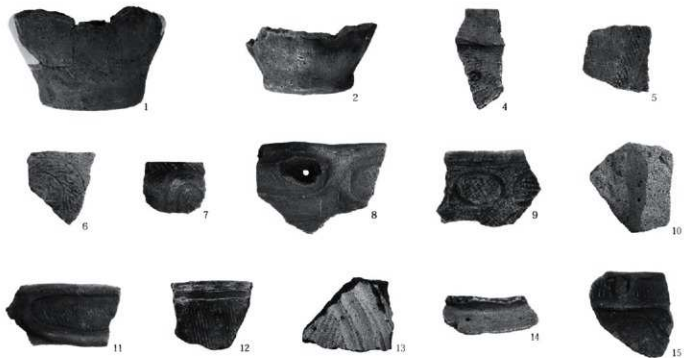


4

12区 5号住居出土土器







12区 7号住居出土土器



1a



2



1b



3



4 (1/6)

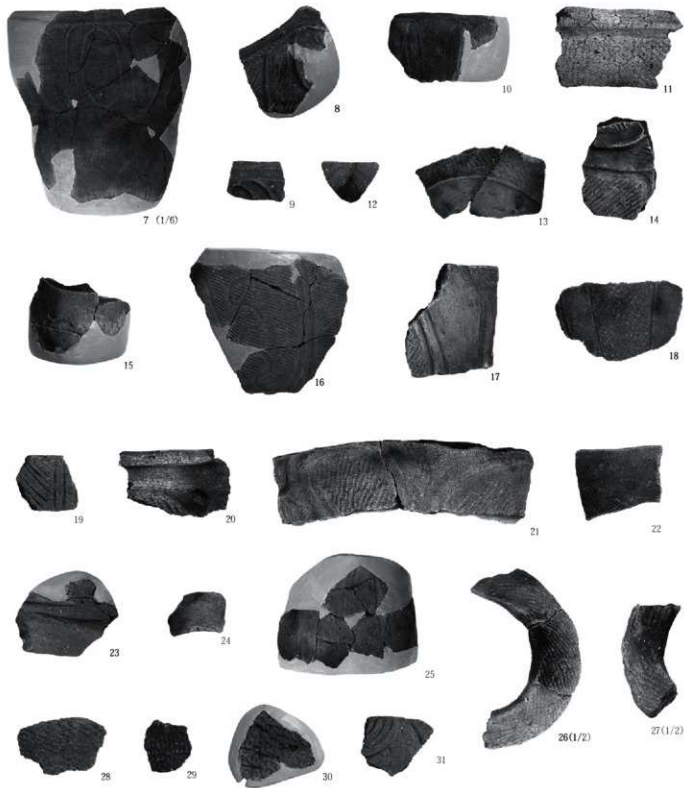


5 (1/6)



6 (1/6)

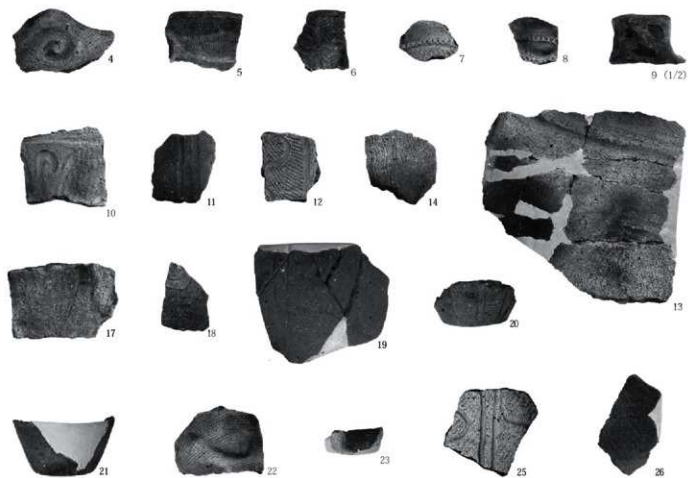
12区 8号住居出土土器 (1)



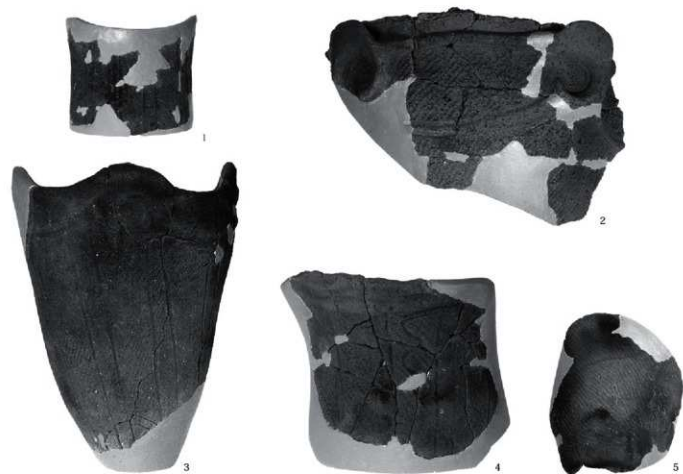
12区 8号住居出土土器(2)



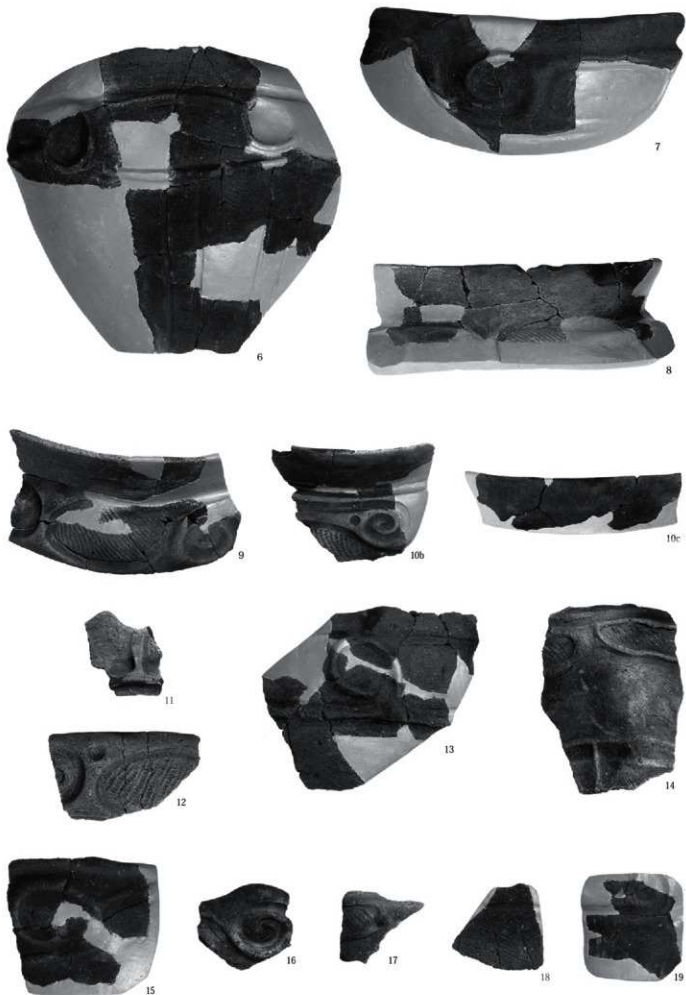
12区 9号住居出土土器(1)

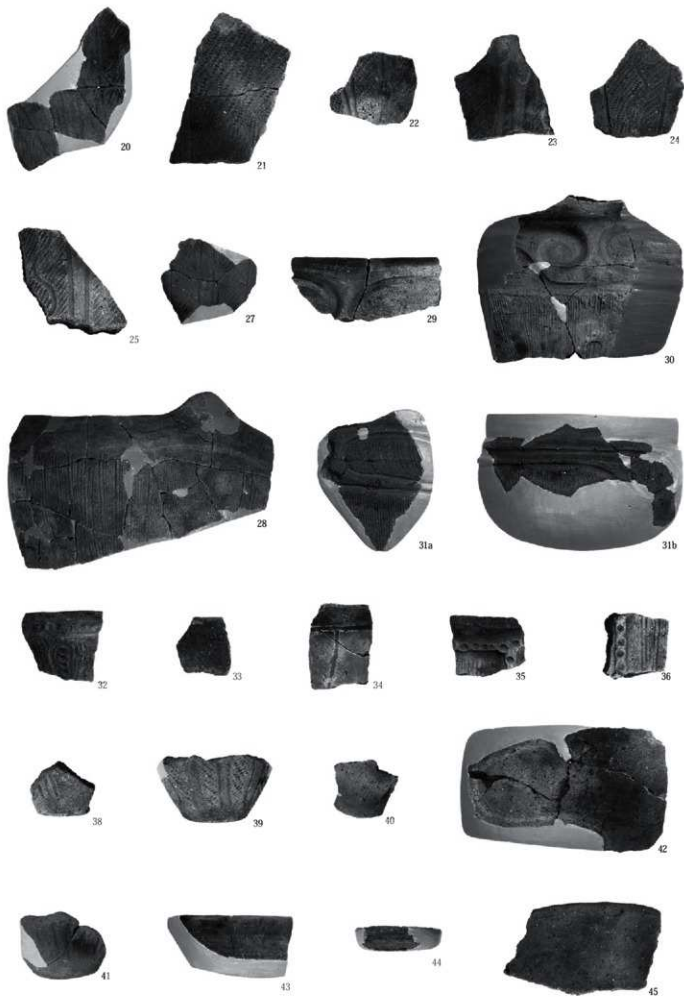


12区 9号住居出土土器(2)



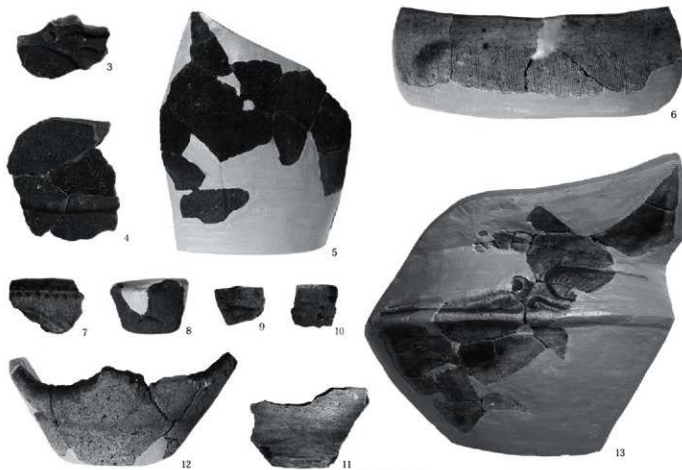
12区 10号住居出土土器(1)



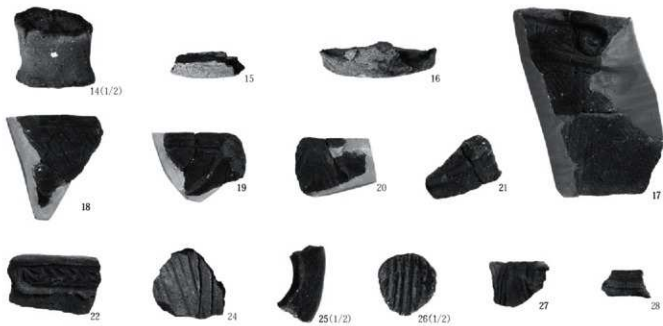




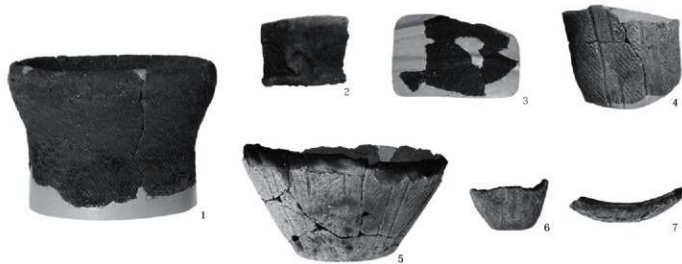
12区 10号住居出土土器(4)



12区 11号住居出土土器(1)



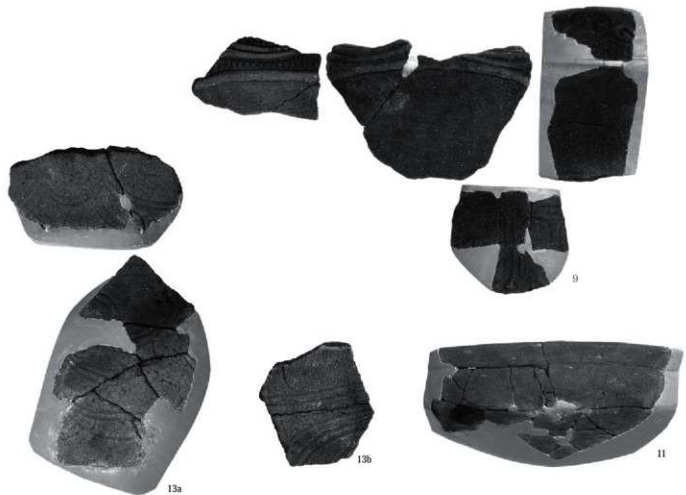
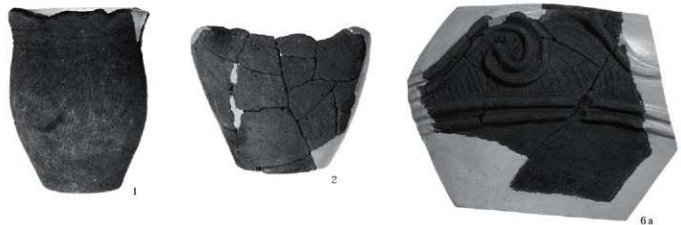
12区 11号住居出土土器(2)



12区 13号住居出土土器

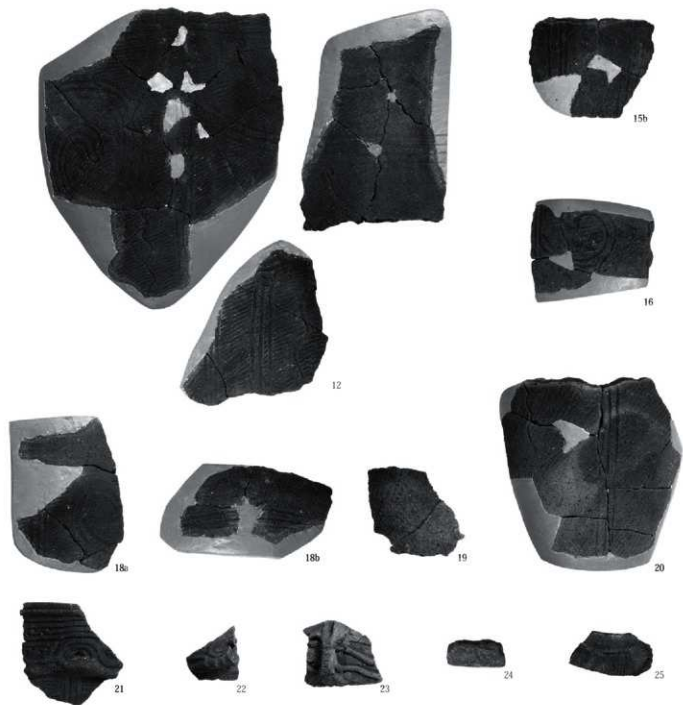


12区 14号住居出土土器



12区 15号住居出土土器(1)





12区 15号住居出土土器(2)



12区 16号住居出土土器(1)

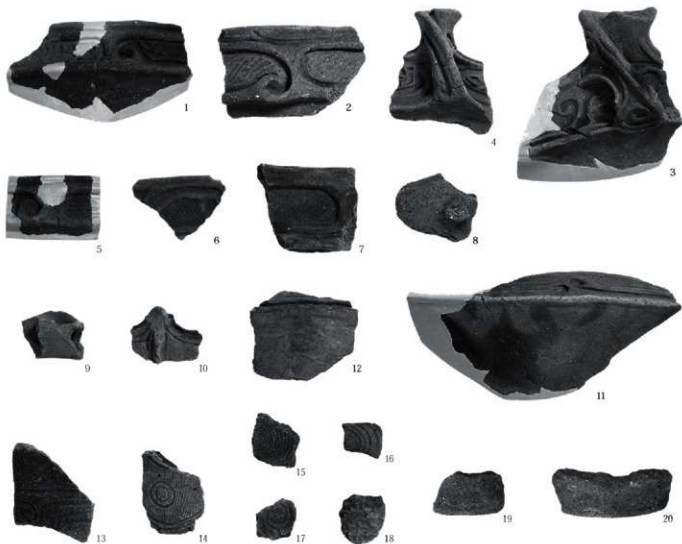




12区 16号住居出土土器(3)



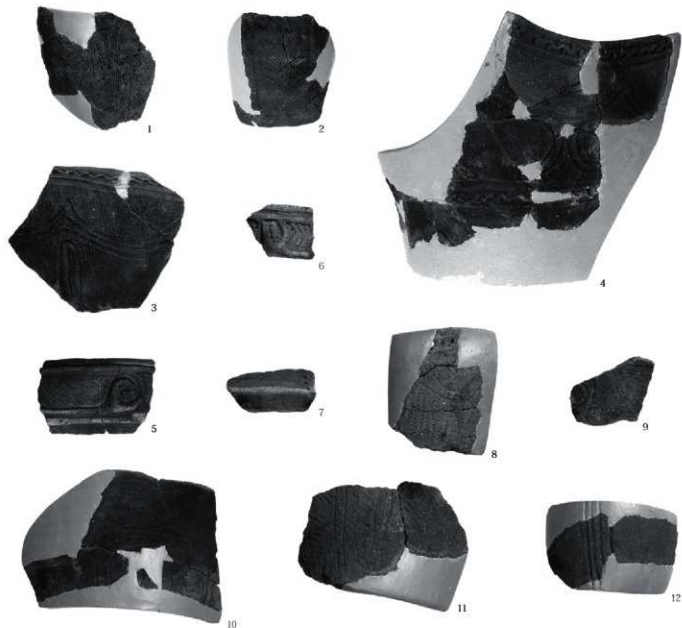
12区 18号住居出土土器



12区 20号住居出土土器



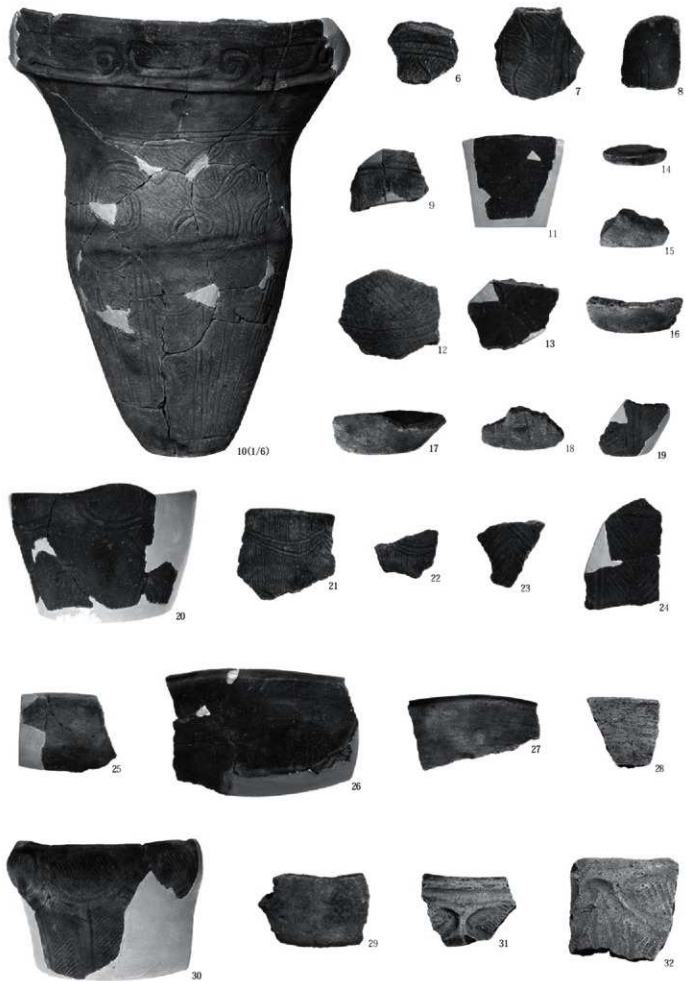
12区 21号住居出土土器

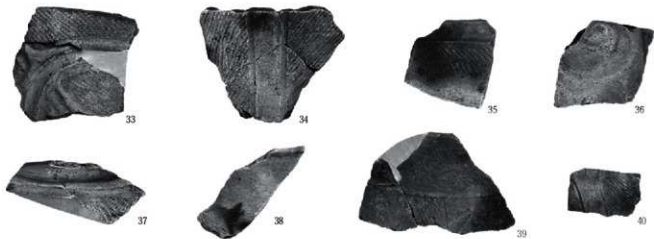


12区 22号住居出土土器

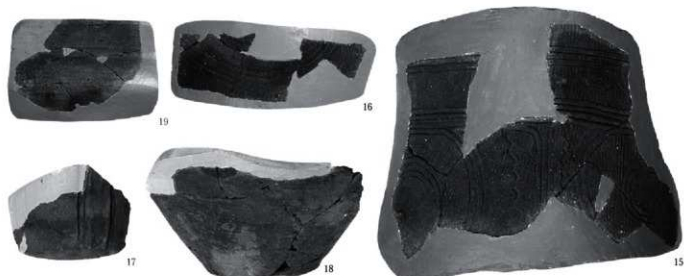


12区 23号住居出土土器(1)

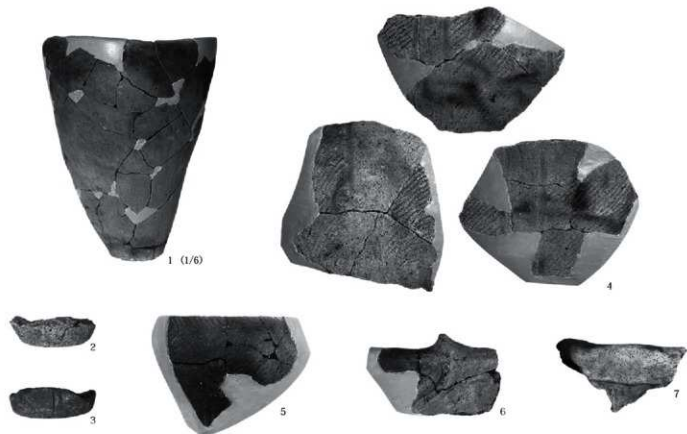




12区 23号住居出土土器(3)



12区 24号住居出土土器

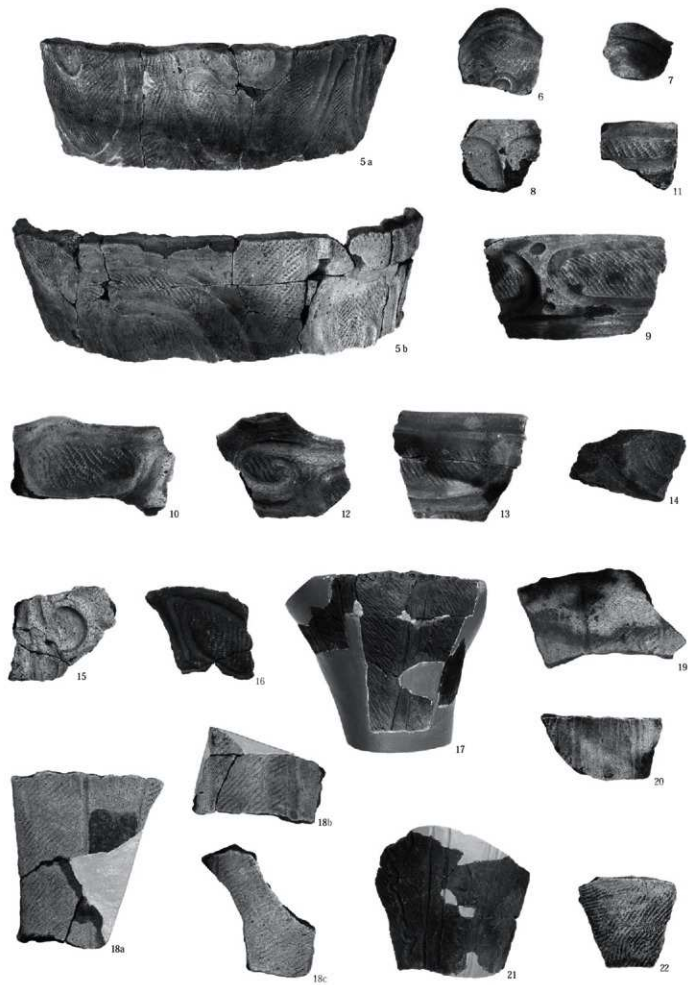


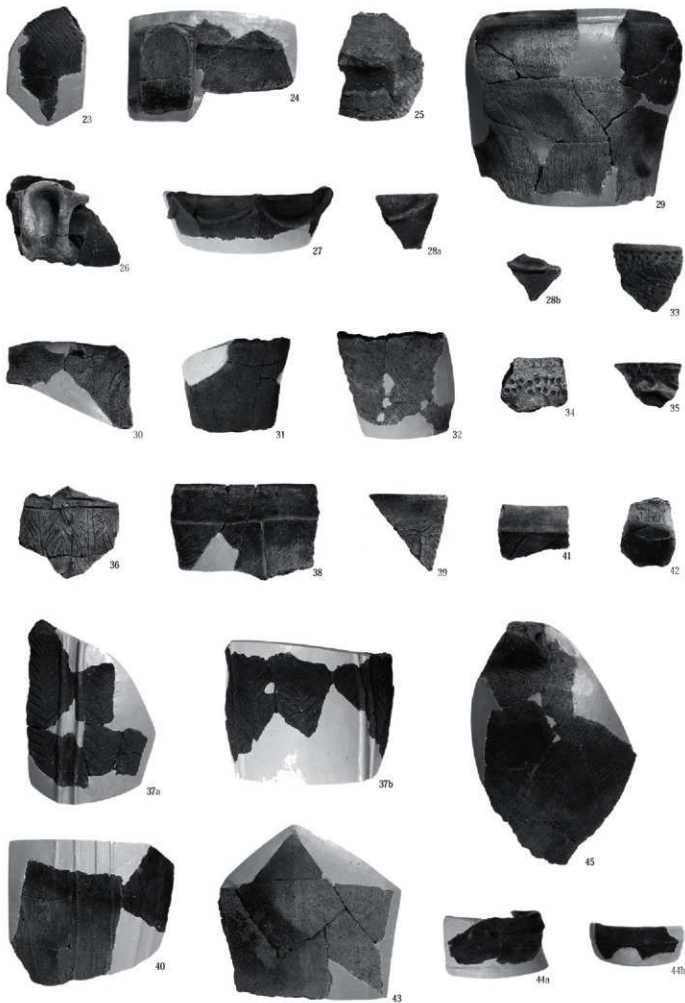
12区 25号住居出土土器



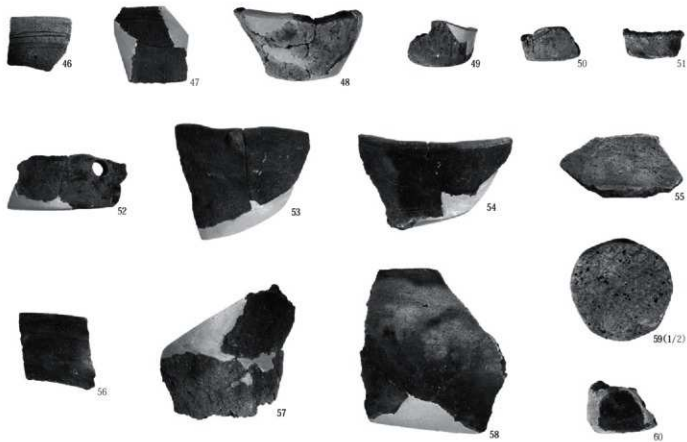
12区 26号住居出土土器(1)



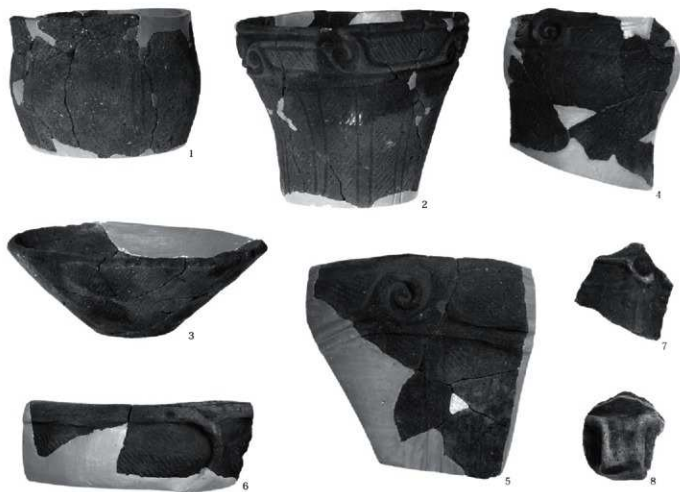




12区 26号住居出土土器(3)



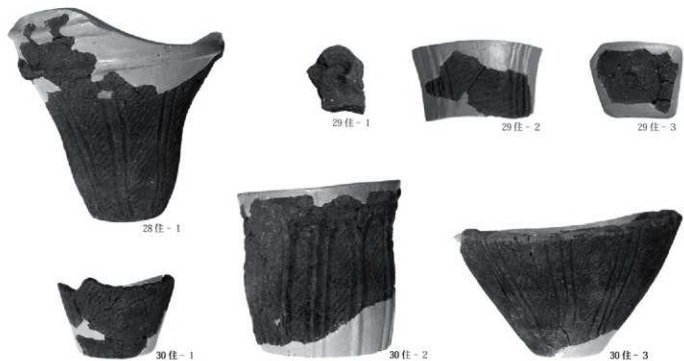
12区 26号住居出土土器(4)



12区 27号住居出土土器(1)



12区 27号住居出土土器(2)



12区 28号~30号住居出土土器



1



3



2



6



4



5



9



10



11



7



12



13



14



8



15

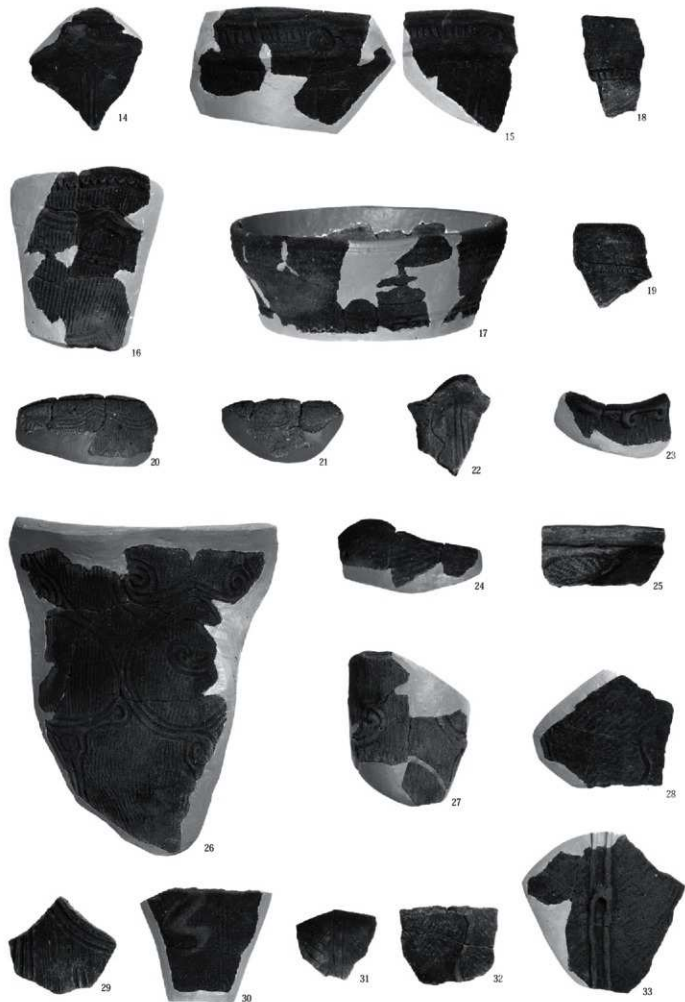


16

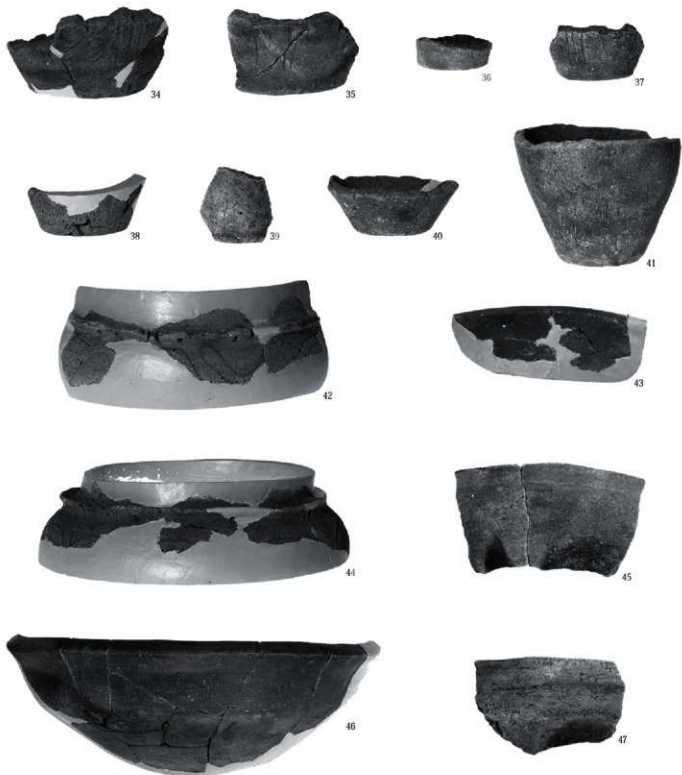


17





12区 32号住居出土土器(2)

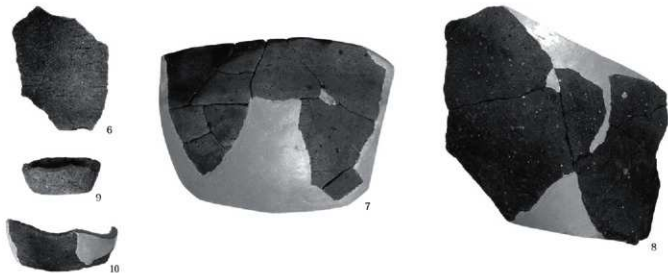


12区 32号住居出土土器(3)

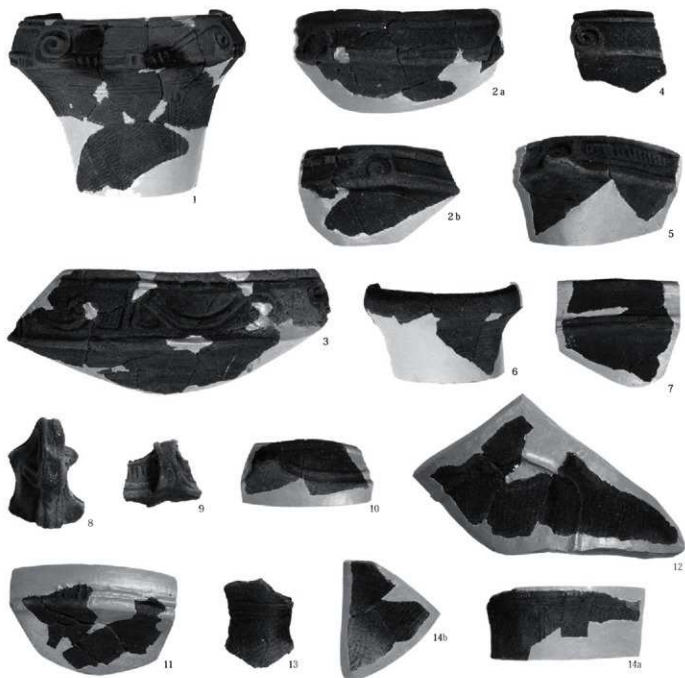


12区 33号住居出土土器(1)

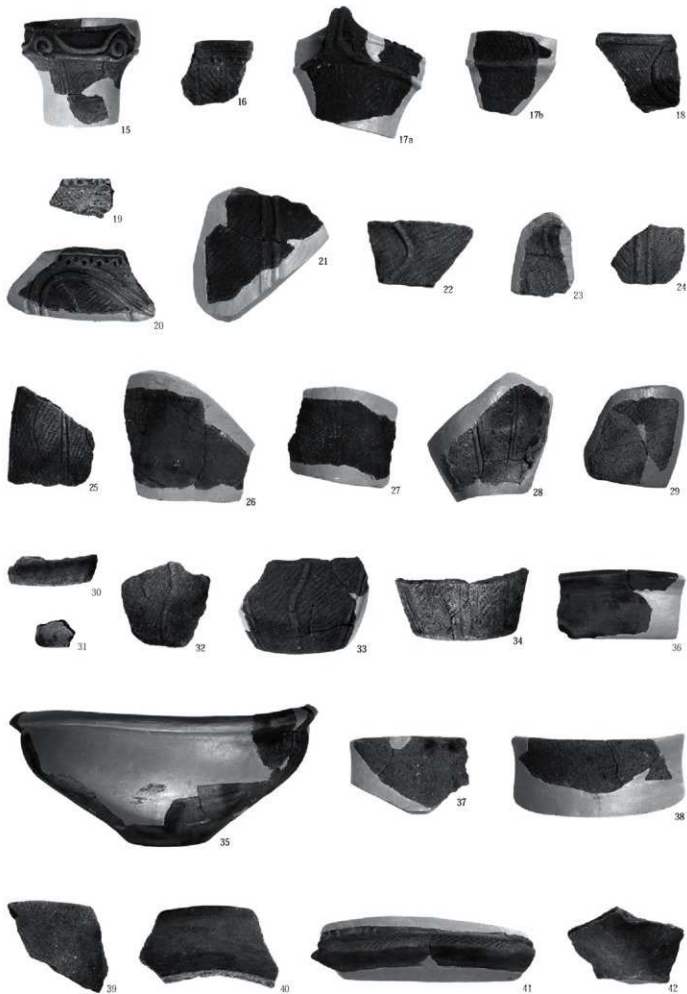


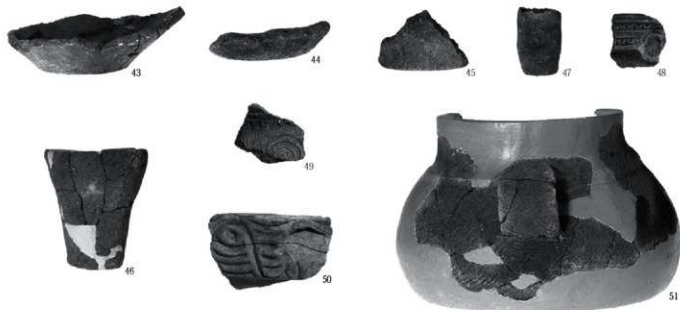


12区 33号住居出土土器(2)

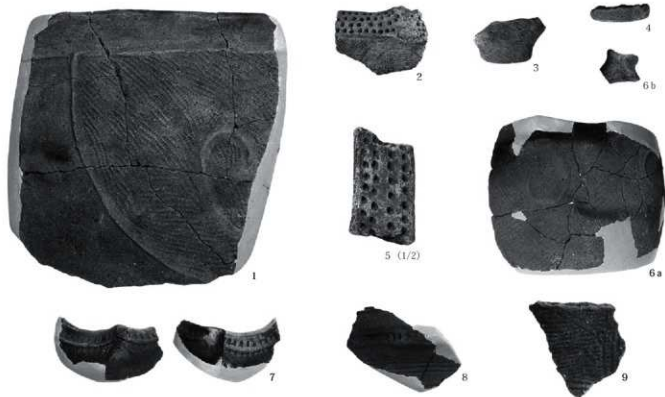


12区 34号住居出土土器(1)





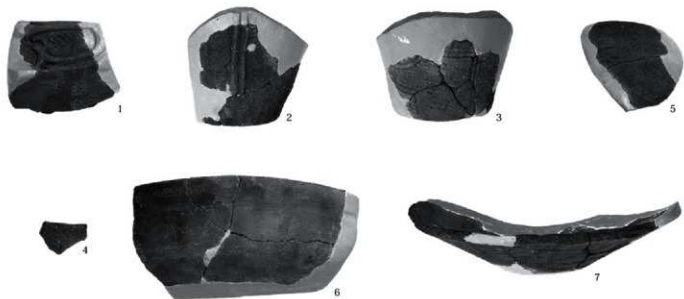
12区 34号住居出土土器 (3)



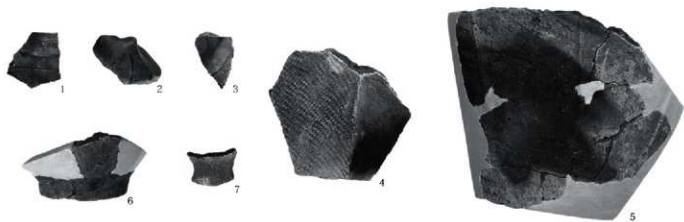
12区 35号住居出土土器



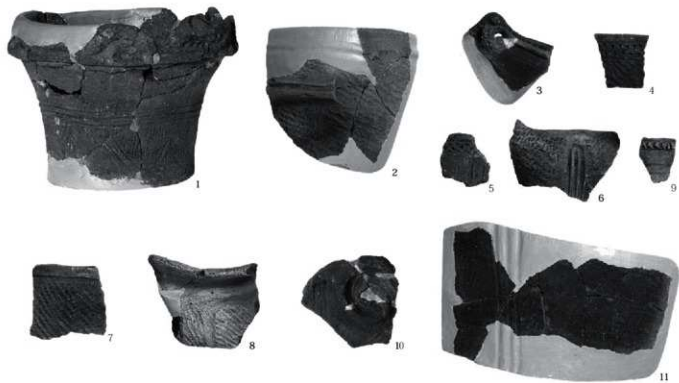
12区 36号住居出土土器



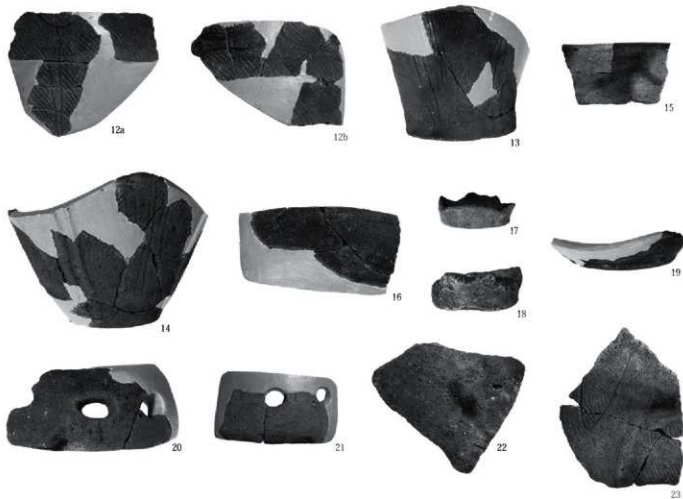
12区 37号住居出土土器



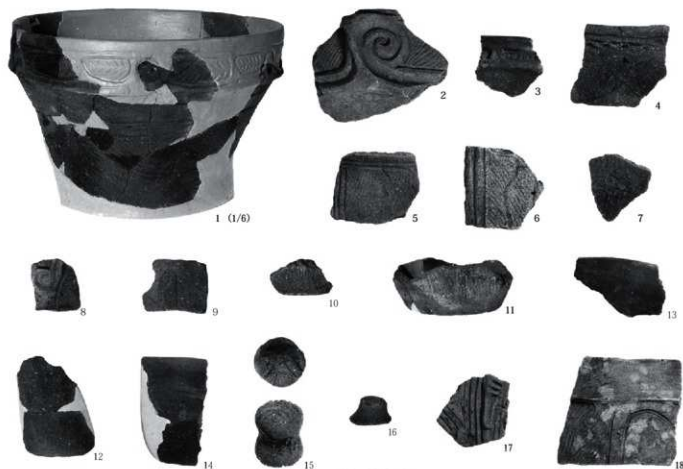
12区 38号住居出土土器



12区 39号住居出土土器(1)



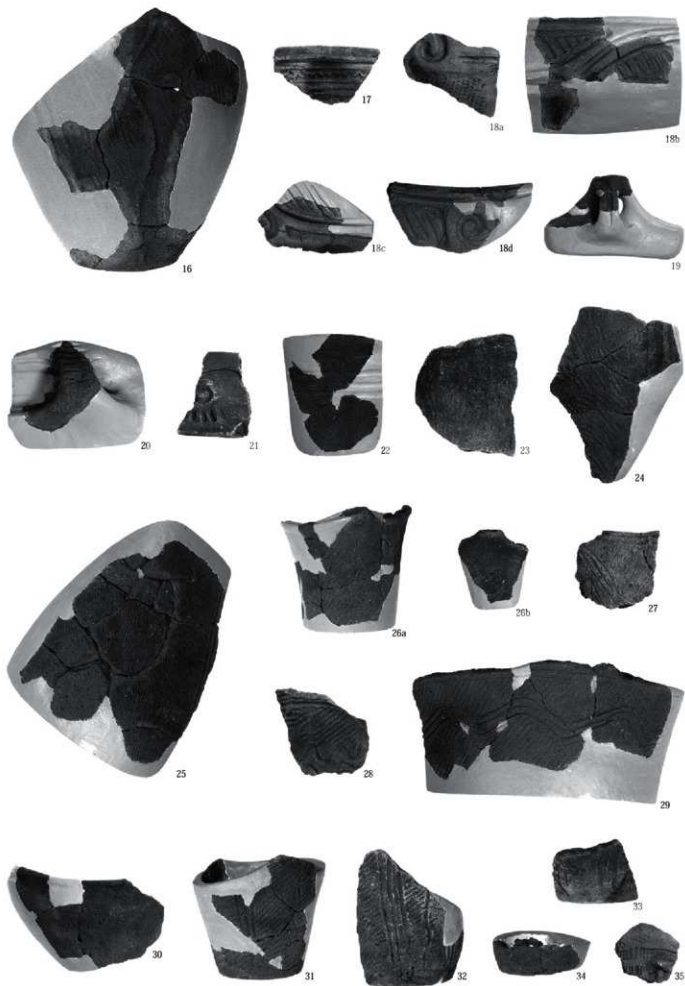
12区 39号住居出土土器(2)



12区 40号住居出土土器

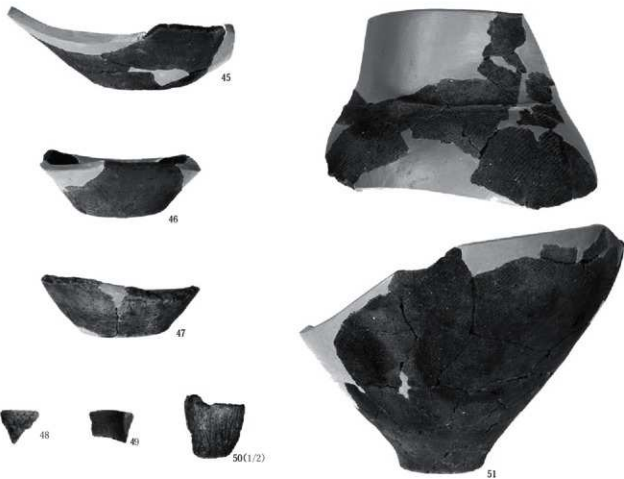












12区 42号住居出土土器(4)



12区 43号住居出土土器



12区 44号住居出土土器



45住-1



46住-1



45住-2



46住-2

12区 45号・46号住居出土土器



1 (1/6)



2



3



5



4a



4b



6



7



8



9



10



11

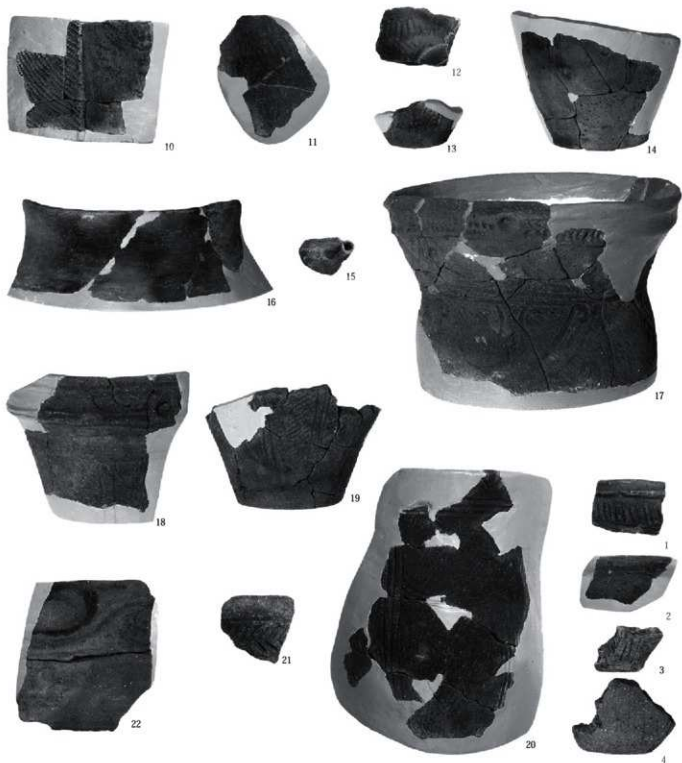
12区 47号住居出土土器



12区 49号住居出土土器

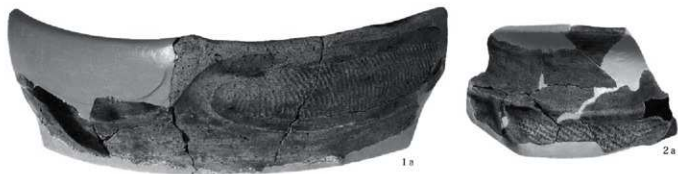


12区 50号・55号住居出土土器 (1)

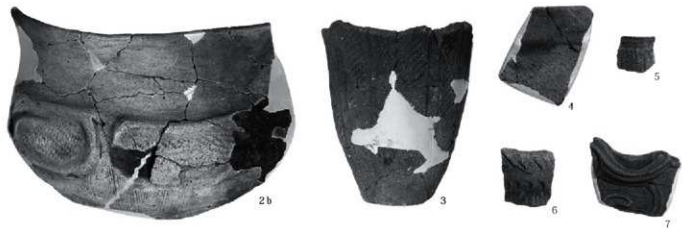


12区 50号・55号住居出土土器 (2)

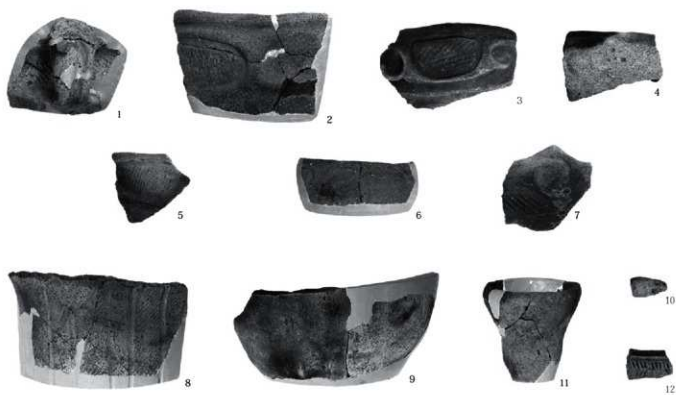
12区 51号住居出土土器



12区 52号住居出土土器 (1)



12区 52号住居出土土器(2)



12区 53号住居出土土器

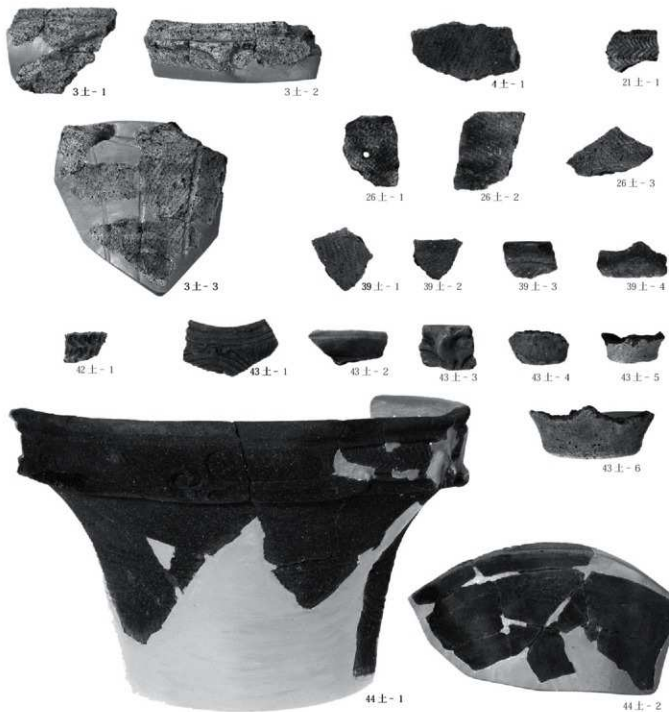


12区 54号住居出土土器



12区 56号・57号住居出土土器

土坑



12区 土坑出土土器(1)



45土-1a



45土-1c



45土-2



45土-5



45土-4a



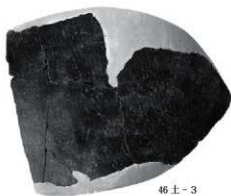
45土-4b



45土-3b



46土-1



46土-3



46土-2



46土-4





49上-1



55上-1



55上-2



55上-3



55上-4



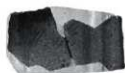
55上-5



55上-6



55上-8a



55上-7



55上-8b



55上-9



55上-10



57上-1



57上-2



57上-3



57上-5



57上-4



57上-7



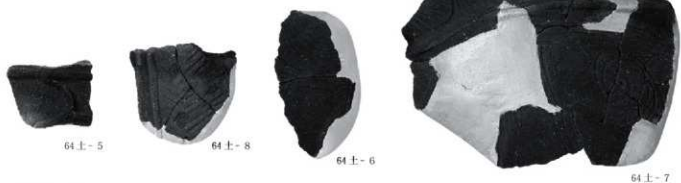
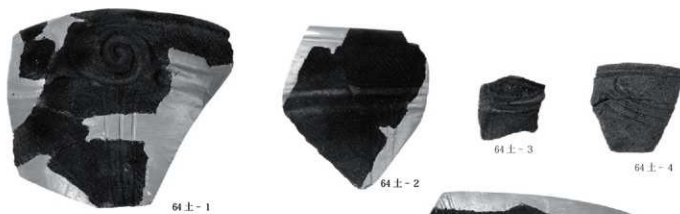
57上-8

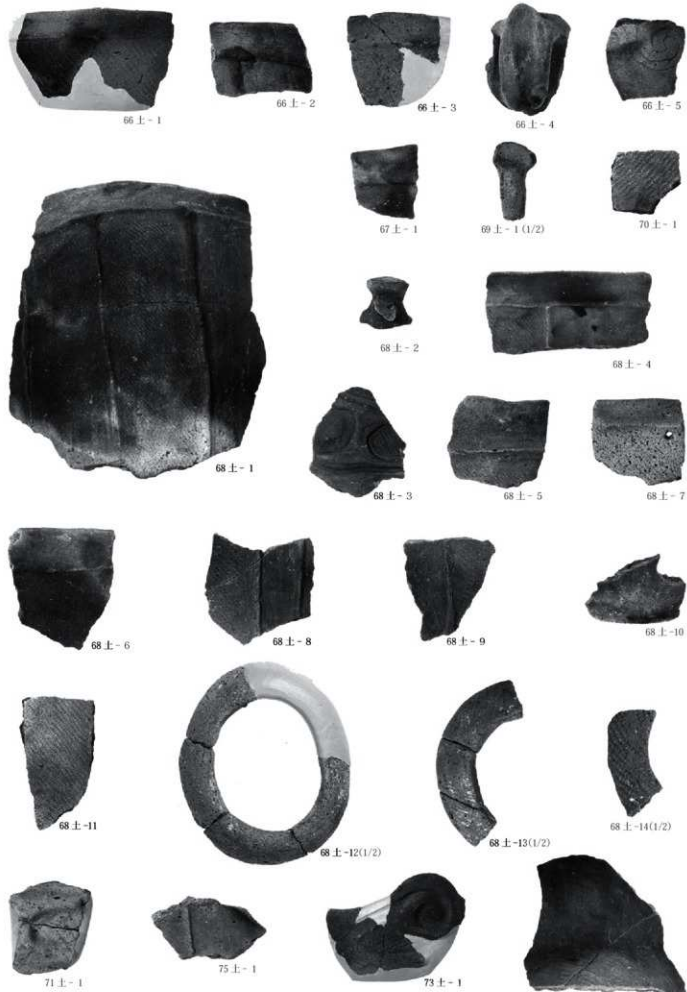


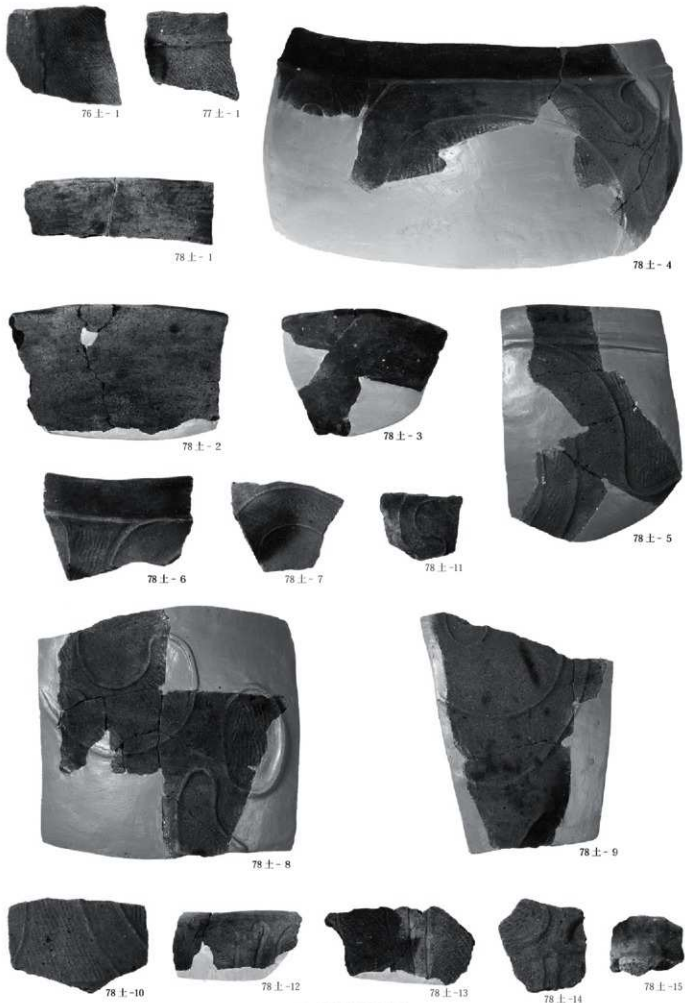
57上-6



57上-9







12区 土坑出土土器(6)



82上-1



82上-2



82上-3



82上-4



82上-6



82上-5



82上-7



82上-8



82上-9



82上-10



82上-11



82上-12



82上-13



82上-14



82上-15



82上-16



82上-17



82上-23



82上-18



82上-19



82上-20



82上-21



82上-22



82上-24



82上-25



82上-26



82上-27



83上-1



83上-2



83上-3 (1/2)



83上-4



85上-1



87上-1



87上-2



99上-1



87上-3



87上-4



99上-2



98上-1



98上-2



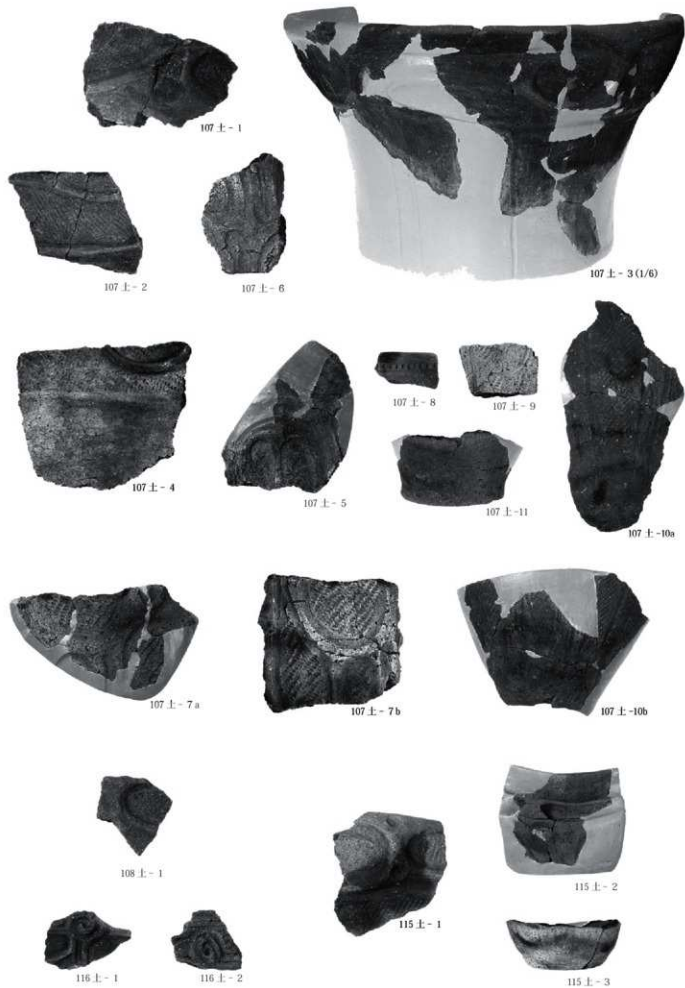
105上-1



105上-2



106上-1

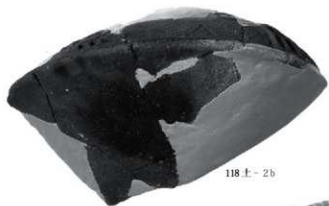




118 上-1



118 上-2a



118 上-2b



119 上-1



119 上-3



119 上-2



119 上-4



119 上-5



121 上-1



121 上-2



121 上-3



121 上-4



121 上-5



121 上-6



121 上-7





121 上-8



121 上-9



123 上-1



123 上-2



123 上-3



123 上-4



123 上-5



123 上-6



123 上-7



124 上-1



124 上-2



124 上-4



124 上-5



124 上-3



124 上-6



126 上-1



126 上-2



126 上-3



127 上-1



126 上-4



126 上-5



128 上-1



128 上-2



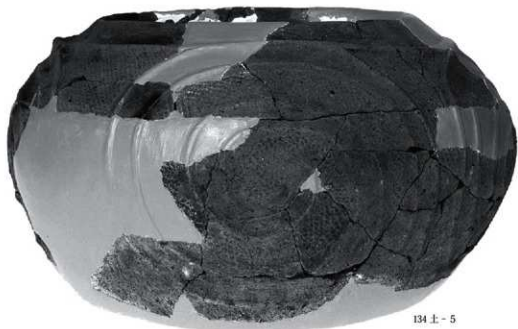
134上-1



134上-2



134上-3



134上-5



134上-4



134上-6



134上-7



134上-8



134上-9



134上-10



135上-1



135上-2



138上-1



138上-2



138上-3



138上-4



138上-5



138 上-6



139 上-1



139 上-2



139 上-3



141 上-1



142 上-1



144 上-1



144 上-2



146 上-1



146 上-2



146 上-3



150 上-1



152 上-1



154 上-1



157 上-1



157 上-2



160 上-1



160 上-2



158 上-1



162 上-1



162 上-2



162 上-3



162 上-4



162 上-5



162上-6



162上-7



162上-8



162上-10



162上-9



162上-11



162上-12



163上-1



164上-1



164上-2



164上-3



164上-4



166上-1



166上-2



169上-2



169上-1



170上-1



170上-3



170上-5



170上-2 (1/6)



170 上 - 4



170 上 - 6



170 上 - 8



170 上 - 7



170 上 - 9



170 上 - 10



170 上 - 13



170 上 - 15



170 上 - 11



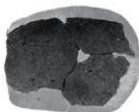
170 上 - 12



170 上 - 14



172 上 - 1a



172 上 - 1b



172 上 - 2



172 上 - 3



173 上-1



174 上-1



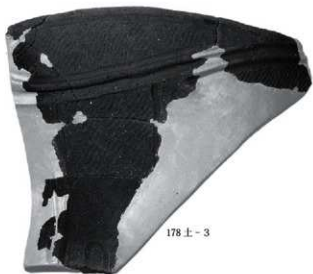
177 上-1



178 上-1



178 上-2



178 上-3



178 上-4



178 上-5



180 上-1



180 上-2



189 上-1



189 上-2



187 上-1



192 上-1

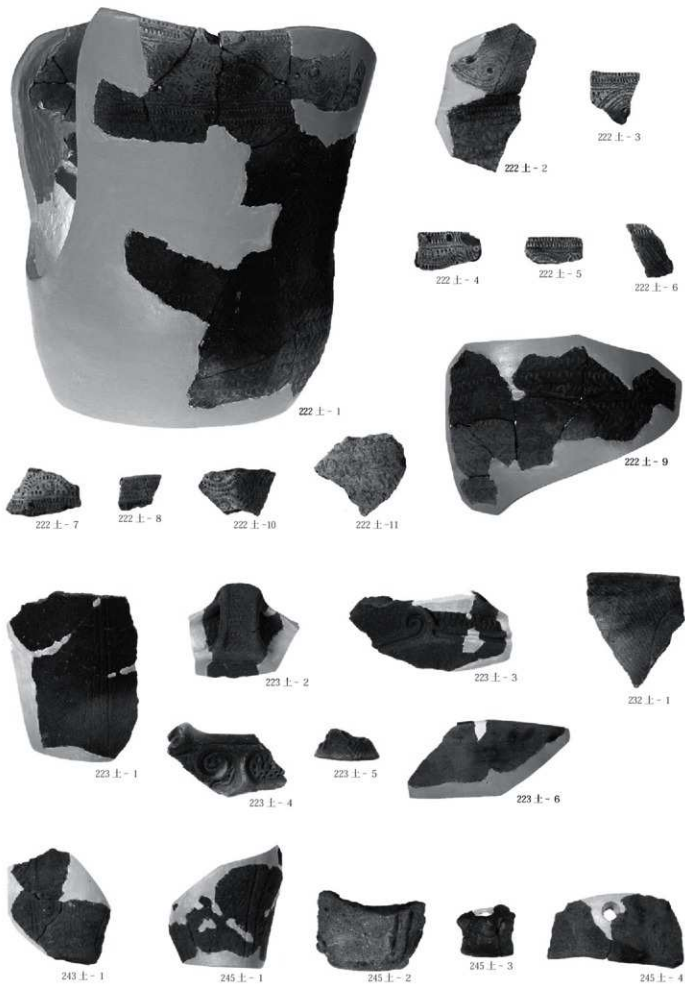


189 上-3

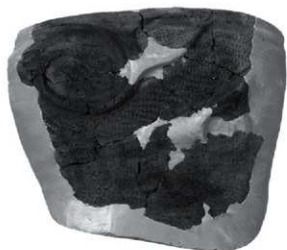


189 上-4 (1/2)









251 上-1a



251 上-1b



251 上-2



251 上-3



251 上-4



251 上-5



251 上-7



251 上-6



251 上-8



251 上-9



251 上-10



251 上-11



251 上-12

埋裏



2埋-1



2埋-2



2埋-3



2埋-4



3埋-1



4埋-1



5埋-1



6埋-1



6埋-2



6埋-3



7埋-1



(1/6)



3配-1 (3住)

(1/3)



3配-2 (3住)



3配-3 (3住)

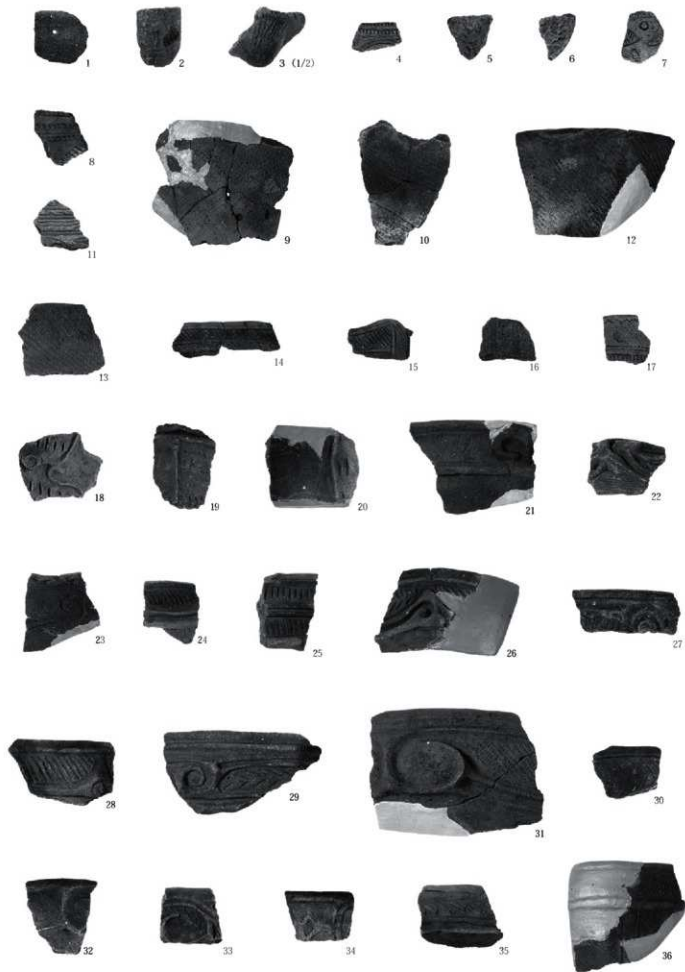


3配-4 (3住)

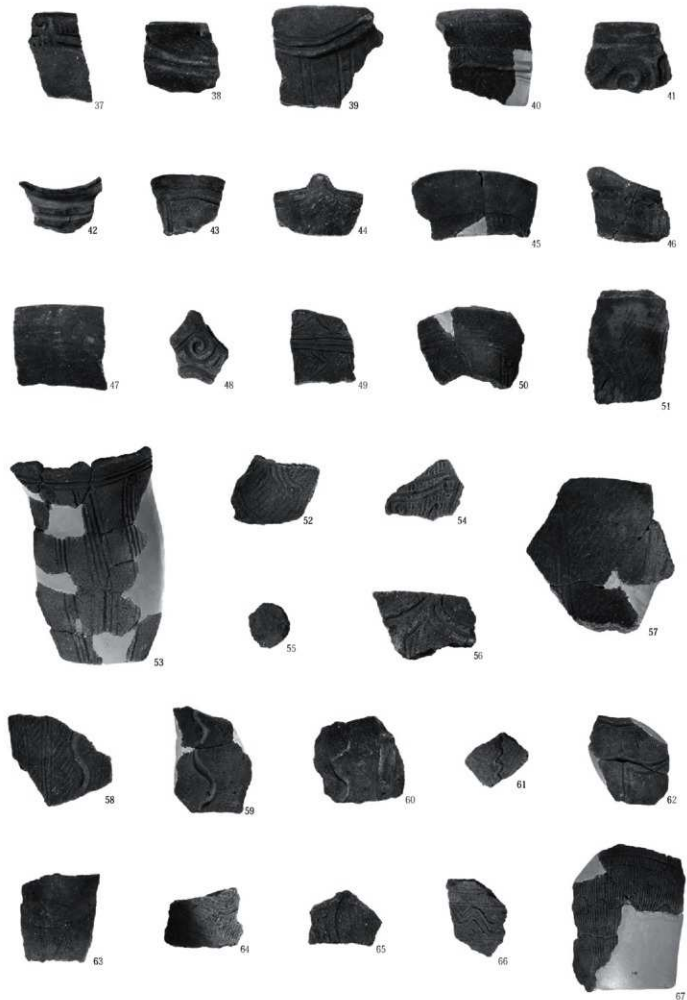


3配-5 (3住)

## 遺構外



12区 遺構外出土土器(1)





68



69



70



71



72



73



74



75



76



77



78



80



81



84



79



82



85



83



86



87



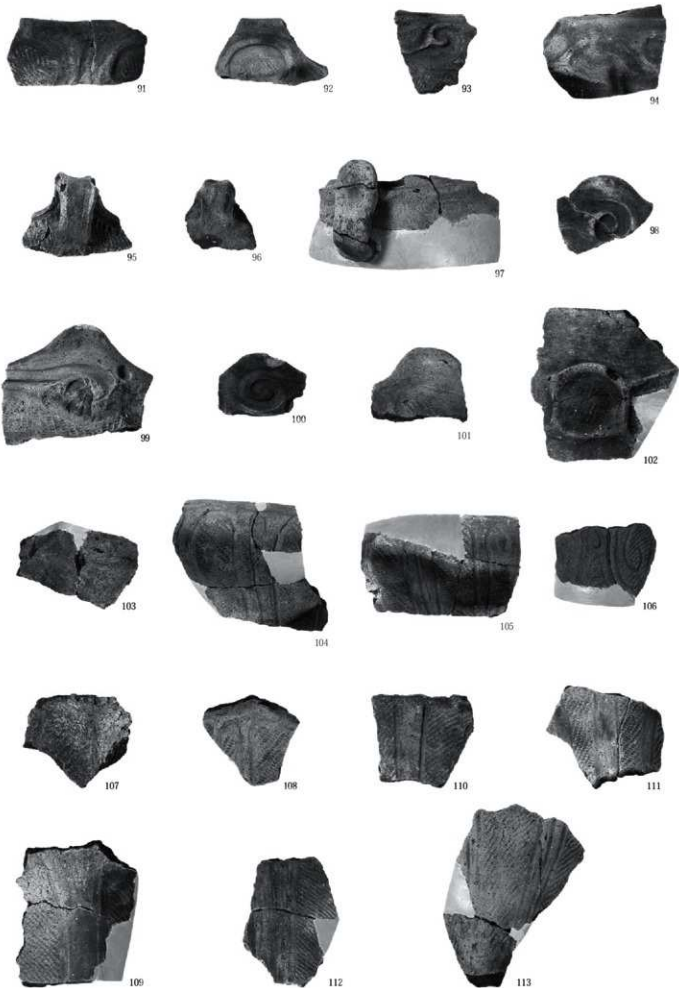
88

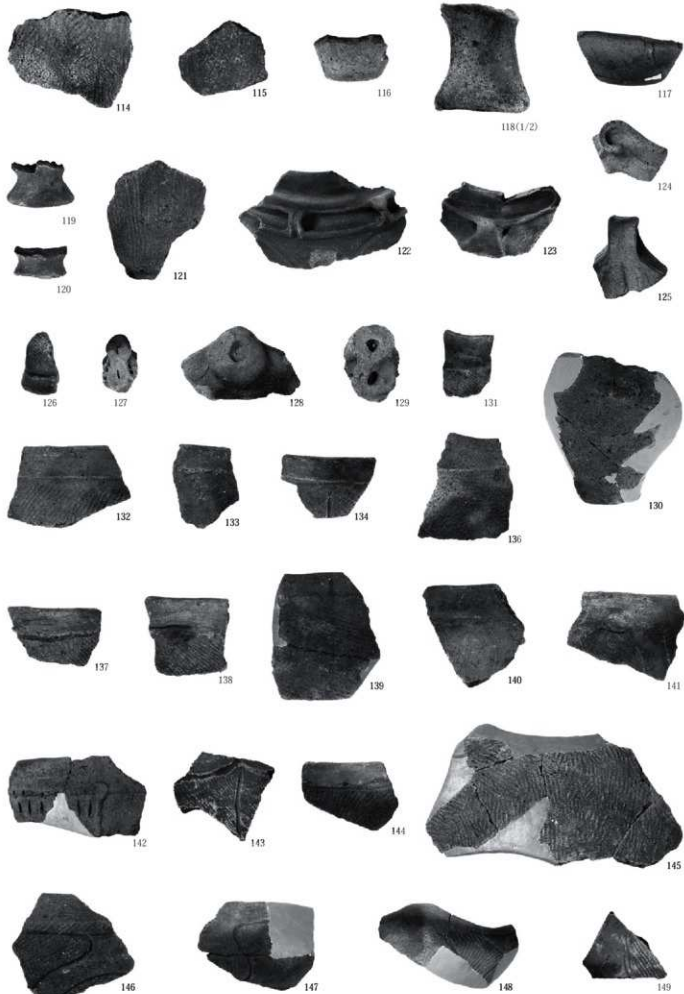


89

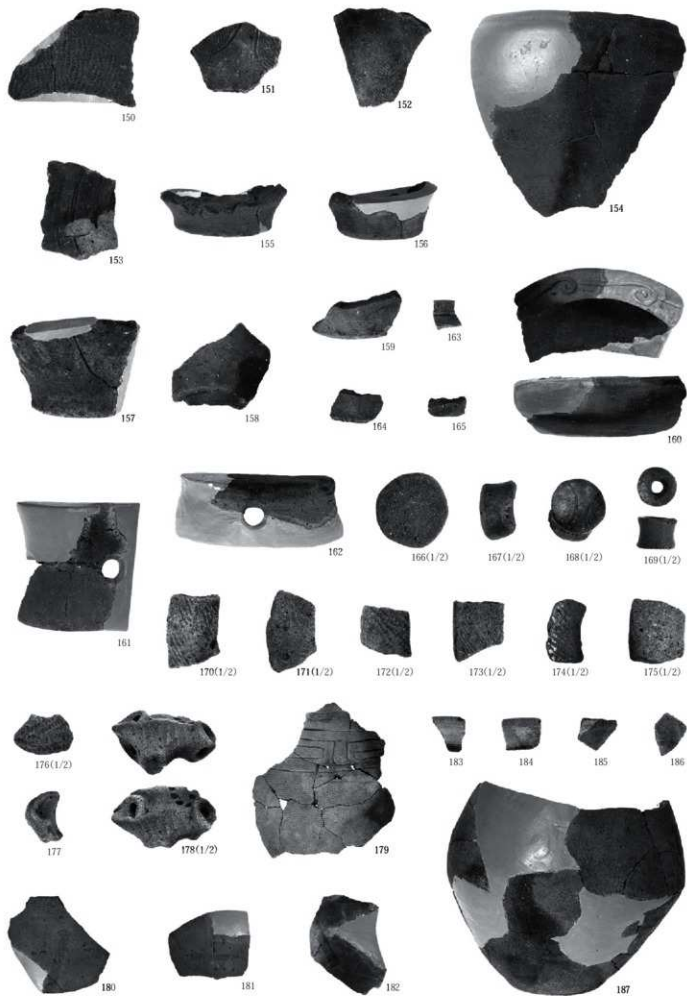


90









財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第482集

## 中郷遺跡(2) —旧石器・縄文時代編— 第2分冊 土器編

一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その2)報告書 第8集

---

平成22年(2010)3月5日 印刷

平成22年(2010)3月19日 発行

編集・発行/財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橋町下箱田784番地2

電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷/朝日印刷工業株式会社

---